

平成19年度

2007年

講義要綱・シラバス

目次

I	日吉設置共通授業科目	1
---	------------	---

II	少人数セミナー形式授業科目	97
----	---------------	----

	【文学部設置の少人数セミナー形式科目】	98
	【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】	99
	【法学部設置の少人数セミナー形式科目】	109
	【商学部設置の少人数セミナー形式科目】	115
	【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】	127

III	学部独自設置授業科目	137
-----	------------	-----

1	文学部	138
2	経済学部	
	〔基礎教育科目〕	146
	〔専門教育科目〕	155
	〔総合教育科目〕	161
3	法学部	
	〔数学・統計・情報処理科目〕	164
	法律学科	168
	政治学科	179
	〔社会科学科目〕	179
	〔政治学科目－基礎科目（必修）〕	182
	〔政治学科目－系列科目〕	185
	〔政治学科目－集中学習科目〕	188
4	商学部	
	〔基礎科目Ⅰ類（基礎必修科目）〕	196
	〔基礎科目Ⅱ類（基礎必修科目）〕	197
	〔専攻科目Ⅰ類（専攻核科目）〕	198
	〔専攻科目Ⅱ類（専攻基本科目）〕	202
	〔総合教育科目（Ⅲ類）〕	204
	〔総合教育科目（Ⅳ類）〕	205
	〔基礎科目Ⅰ類〕	207

〔基礎科目Ⅱ類 A群〕	207
〔基礎科目Ⅱ類 B群〕	208
〔基礎科目Ⅱ類 C群〕	208
〔専攻科目Ⅰ類〕	208
〔専攻科目Ⅱ類〕	209
〔総合教育科目（Ⅲ類）〕	209
〔自主選択科目〕	209
5 医学部	
第1学年	
〔基礎科学必修科目〕	210
〔医学基礎教育科目〕	212
〔人文・社会科学科目（選択履修）〕	213
6 理工学部	
〔基礎教育科目〕	214
〔専門基礎科目〕	218
〔総合教育科目〕	252

IV 研究所設置講座、履修案内 257

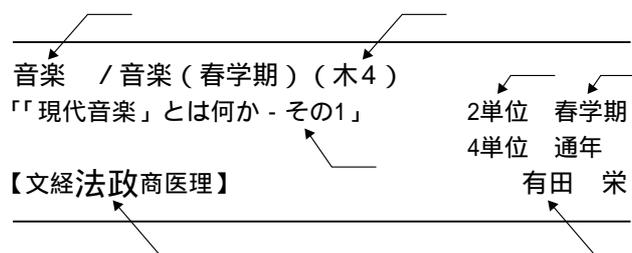
1 メディア・コミュニケーション研究所	258
2 体育科目（体育研究所）	260
体育学講義	262
体育学演習	264
体育実技A/B（ウィークリー・スポーツ）	265
体育実技A/B（シーズン・スポーツ）	274
3 保健管理センター	279
4 外国語教育研究センター	280
5 情報処理教育室	284
6 教養研究センター	286
7 国際センター	291
8 言語文化研究所	293
9 知的資産センター	297
10 教職課程センター	298
11 外国語学校	301

日吉設置共通授業科目

【科目の掲載順について】

日吉設置共通授業科目は、原則として科目名の50音順（アイウエオ順）で、同じ科目名の中では担当者名の50音順に掲載しています。ただし、同じ担当者が「」「」という科目名で春学期と秋学期を継続して授業を行う場合は「」の後に「」を掲載します。

<凡例>



科目名（太字部分）

学部・学年により科目名が異なる科目は科目名を複数記載しています

授業の曜日時限

曜日時限により授業の内容が異なる場合のみ曜日時限を記載しています

授業のサブタイトル

単位数

開講学期

通年 : 1年間通して行われる科目

春学期 : 春学期に開講される科目

秋学期 : 秋学期に開講される科目

春学期 / 秋学期 : 春学期と秋学期にそれぞれ開講される科目

科目設置学部

【】内の文字は以下の学部・学科を表し、それらの学部・学科の時間割にその科目が記載されています。科目を履修する場合は所属学部の時間割に記載のある登録番号（5桁の数字）で履修申告してください。

文：文学部 経：経済学部 法：法学部法律学科 政：法学部政治学科
 商：商学部 医：医学部 理：理工学部

他学部の科目は、科目設置学部（【】内の文字が大きく表示されている学部）の時間割に記載されている登録番号で履修してください。

科目担当者

【複数の科目名が併記されている科目について】

<例1>

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期)	
文学 (通年)	
「文学と演劇にみる文化継承の問題」	
	2単位 春学期 / 秋学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	井戸田 総一郎

同一担当者の科目で、科目名に a または b がつくものがあります。これらはそれぞれ半期科目ですが、2科目を共に履修することが義務付けられています。またこれらの科目は年度末に2科目一括して成績評価されます。(春学期終了時には成績評価はされません。)なお、これらの科目を通年科目として履修する場合は年度末に成績評価されます。

<例2>

文学 / 文学 (春学期)	
「物語・自己・歴史」	
	2単位 春学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	武藤 浩史

同一担当者の科目で、科目名に または がつくものがあります。原則として は春学期、は秋学期で1年間を通して継続する内容で授業が行われます。 と は共に履修することが望ましいものですが、それぞれ単独で履修することも可能です。

これらの科目を通年科目として履修する場合は(春学期分)と(秋学期分)の2つのシラバスを参照してください。継続する内容の授業については のシラバスの直後に のシラバスを掲載しています。なお、春学期と秋学期で担当者が変わる場合も継続する内容の場合は の順で掲載しています。

履修したい授業を、どの科目名で履修登録するかは学部によって異なります。所属する学部の時間割・履修案内などで確認した上で履修申告してください。

【科目認定用紙について】

所属学部の時間割に記載のない科目を履修希望する場合は、科目認定用紙の提出が必要になります。

用紙は科目設置地区・所属学部の学事センター窓口で配布しています。

授業に出席して科目担当者から履修許可を得てください。(詳細は所属学部の履修案内の「第2 履修申告までの流れ」で確認してください。)

他学部に開放していない科目もあり、履修できない場合もありますので注意してください。履修申告をする場合、科目設置学部(【 】内の文字が大きく表示されている学部)の時間割に記載されている登録番号を選択してください。

宇宙の科学

「宇宙の過去・現在・未来」

2単位 春学期

【商】

表 實

【授業科目の内容】

古来人類は夜空の美しさに魅せられてそこを舞台に多くの物語を創作し、星々の動きを指針にして日常生活の営みを決めてきた。また、これらの星の継続的な観測が、最初の自然科学ともいべき天文学の誕生を促した。

本講義では、自然科学の観点から現代宇宙の科学が明らかにした宇宙の姿について最近の成果を交えながら紹介し、さらに宇宙について何が解明されたかまた何が謎として残されているかについて考える。宇宙の過去・現在・未来の姿とはいかなるものであろうか、これが本講義全体を通して考えるテーマである。

講義を履修するに当たって、高校物理の知識は必要としません。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。

映像・音響文化論

2単位 春学期

【経商医理】

杉田 敦

【授業科目の内容】

映像や音響に関連する現代美術の作品や展覧会を通じて、表現に対する意識の持ち方の変化に始まり、その背後にある文化、思想、社会の在り方とその時代的変質まで、既存の領域に拘らずに横断的に論じていく。

春期は、フィッシャー&ヴァイス、エマニュエル・アンティレ、マシュー・バーニー、ヨゼフ・ボイス、ギャビン・プライヤーズら、現代美術作家、音楽家の実際の音、映像を体験しながら、エーコの美学、ボイスの芸術理論、ポスト・モダニズムなど、現代美術の基本的な考え方に力点をおく。

【参考書】

『メカノ 美学の機械、科学の機械』杉田敦（青弓社）

『ノード 反電子主義の美学』杉田敦（青弓社）

『リヒター、グールド、ベルンハルト』杉田敦（みすず書房）

『開かれた作品』U・エーコ（青土社）

映像・音響文化論

2単位 秋学期

【経商医理】

杉田 敦

【授業科目の内容】

映像や音響に関連する現代美術の作品や展覧会を通じて、表現に対する意識の持ち方の変化に始まり、その背後にある文化、思想、社会の在り方とその時代的変質まで、既存の領域に拘らずに横断的に論じていく。

秋期は、ポリティカル・コレクトネス（PC：政治的正当性）関連の問題として、セクシャリティの問題にスポットをあてつつ、それをエドワード・サイードのオリエンタリズム批判と並行するものとして、また、ファイヤアーベント、ハンス・ペーター・デュルらの過激な相対主義を延長したものとして位置づけることができるかどうか考察する。さらに、大きな物語を一掃したポスト・モダニズム以降の、物語を再建しようとする、ポスト・ポスト・モダニズムの動きについても紹介する。

【参考書】

『メカノ 美学の機械、科学の機械』杉田敦（青弓社）

『ノード 反電子主義の美学』杉田敦（青弓社）

『リヒター、グールド、ベルンハルト』杉田敦（みすず書房）

『開かれた作品』U・エーコ（青土社）

総合教育科目「音楽」について

慶應義塾大学日吉キャンパスでは、塾生諸君の興味や資質に併せ、導入的な授業から、かなり深い内容を扱うものまで、多彩な音楽関連の授業を提供しています。なかには、実習や実技、演習を含む音楽の授業もあり、このことは他の一般大学にない特徴です。

履修者は、次の各講義の要項をよく読んで、自分にあった授業を見つけてください。なお、設置学部関係でここに掲載されていない授業もありますので、詳細は音楽学研究室ホームページ<http://musicology.fbc.hc.keio.ac.jp/>も併せて参照してください。

音楽 / 音楽（春学期）

「バロックから古典派の音楽」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

石多 正男

【授業科目の内容】

バロック時代（ヴィヴァルディやバッハなど）から古典派（モーツァルトなど）までの18世紀の音楽を中心に講義します。遠いヨーロッパの国々で200年から300年も前に作られた曲が、なぜ我々に理解され愛されるのかという音楽の本質的な問題を理解できるようにします。

【教科書】

石多正男著『チャート式クラシック鑑賞術』（春秋社 3000円）

【参考書】

石多正男著『交響曲の生涯』（東京書籍 3200円）

音楽 / 音楽（秋学期）

「19世紀から現代の音楽」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

石多 正男

【授業科目の内容】

ベートーヴェンの後期からシューベルト、ショパン、ヴァーグナー、ヴェルディなどの19世紀、そして20世紀

の音楽について講義します。クラシック音楽についての教養を身につけることが第一の目的です。音楽って何か、音楽は我々には不可欠なものかなど、音楽の本質的な問題についても考えたいと思います。

【教科書】

石多正男著『チャート式クラシック鑑賞術』（春秋社 3000円）

【参考書】

石多正男著『交響曲の生涯』（東京書籍 3200円）

音楽（春学期）/ 音楽（秋学期）(水5)
音楽（通年）

「18世紀のオーケストラと演奏習慣」

2単位 春学期/秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

大塚 直哉

【授業科目の内容】

この授業は、ほとんどの学部では半期科目として開講されますが、1年を通して履修を希望する学生のみに履修許可を与える予定です。ただし、所属学部にもよりますが、出番の少ない楽器（例えばトランペット）を用いての履修希望者については、半期のみ履修を許可する場合もあります。詳しくはガイダンス時に説明を受けてください。

モーツァルト、ベートーヴェン、ハイドンなどが活躍していた18世紀後半は、オーケストラという概念が誕生して間もない頃です。その当時の作曲家達が抱いていたオーケストラ像は、グループ全体のサイズ、楽器の種類、演奏方法・概念、聴衆そして演奏会場の大きさなど、さまざまな点で現代のわれわれがオーケストラに持っているイメージとは違ったものであったようです。一方、18世紀後期に書かれた、交響曲と協奏曲を中心とした管弦楽曲は、スタンダード・レパートリーの一部として現代でも盛んに演奏されています。この授業では、現代のオーケストラで失われてしまったものがどのようなものなのかということ、18世紀に書かれた管弦楽曲を実際に演奏することにより模索します。

受講対象者は、弦楽器および管楽器を所有し またはそれらに常時アクセスでき かつそれを演奏する能力を備えている学生とします（ただし、コントラバスについては貸し出しを行っています）。本来は、当時の楽器またはそれを復元したものを使用するのを理想としますが、そのような楽器を揃えることは困難なことから、現代の楽器を使用しながら当時の演奏方法を検証します。ただし、授業の中ではできるだけ、それらの復元楽器（いわゆるパロックヴァイオリン等）にも触れてもらう機会も設けたいと思います。演奏および講義を通じて学んだ成果は、コンサートという形で発表を行います（年2回を予定）。

今年度は、ハイドンおよびモーツァルトを中心とし、オーケストラのサイズは、18世紀後半期のウィーンのそれに準じたものとします（約25名）。管楽器の募集は、オーボエ、ファゴット、ホルン（それぞれ2名）とし

す。弦楽器は、ヴァイオリンを12名程度募集し、ヴァイオリン、チェロ、コントラバスはそれぞれ若干名とします。その他の楽器については、ガイダンス時に説明を受けてください。

履修を希望する学生は、ガイダンスに必ず出席し、そこで履修希望届を教員に提出してください。その後、教員から履修許可証が発行されます。履修許可がないと履修登録ができません。注意してください。

音楽 / 音楽（春学期）

「民族音楽学概論1： 諸民族の伝統音楽にふれよう」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

尾高 暁子

【授業科目の内容】

諸民族の伝統音楽や芸能の多様な世界を、動画と音声、簡単な実践をとおして体験します。今年度は特にアジアに重点を置き、地域間の関係にも目を向けます。代表的音楽/芸能のジャンル、楽器、リズムと音組織の基本理論、文化的背景が音楽・芸能に及ぼす影響などを概観のポイントとする予定です。

【教科書】

柘植元一、塚田健一編『はじめての世界音楽 諸民族の伝統音楽からポップスまで』音楽之友社、1999

【参考書】

必要に応じて紹介します。

音楽 / 音楽（秋学期）

「民族音楽学概論2： 音楽と人間のかかわりを考える」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

尾高 暁子

【授業科目の内容】

民族音楽学は、「人間にとって音楽とは何か」という究極の問いに根ざしています。この探求の過程でえられた考察を紹介しながら、人はなぜ音楽を必要とし、いかに表現してきたかという問題を、あらためてみなさんと考えます。

【教科書】

なし

【参考書】

フィリップ・V. ポールマン著、柘植元一翻訳『ワールドミュージック/世界音楽入門』音楽之友社、2006

櫻井哲男、水野信男共編『諸民族の音楽を学ぶ人のために』世界思想社、2005

柘植元一、塚田健一編『はじめての世界音楽 諸民族の伝統音楽からポップスまで』音楽之友社、1999

その他、必要に応じて紹介します。

音楽 / 音楽 (春学期)
「オペラ入門」 2単位 春学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 加藤 浩子

【授業科目の内容】

オペラ初心者を対象に、オペラの基礎的な知識や歴史を学ぶことを目的とする。

【教科書】

特に用いない。

【参考書】

講義中に指示する。

音楽 / 音楽 (秋学期)
「リヒャルト・ワーグナーのオペラ」 2単位 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 加藤 浩子

【授業科目の内容】

ドイツ・オペラの巨匠で、オペラの革命児ともいえるワーグナーの作品を紹介、その軌跡をたどる。

できれば春学期と連続して受講することが望ましい。

【教科書】

特に用いない。

【参考書】

講義中に指示する。

音楽 / 音楽 (春学期)(水5)
「合唱音楽 (春学期)」 2単位 春学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

海外の大学には、よくコレギウム・ムジクムというものがあります。この授業は、その伝統に倣い、音楽を実際の演奏を体験します。合唱の名曲を歌うことを通じて、音楽の歴史を身体で感じ取っていきます。取り上げる曲は、古い西洋のものから、現代の日本のものまでです。

秋学期の終わりには授業時間内に演奏会を企画します。演奏会では、オーケストラとの共演も予定しています。

なお、春学期は、秋学期の演奏会準備という性格が強いのので、春学期(音楽)・秋学期(音楽)を通して履修してください。

【教科書】

その都度指示します。

【参考書】

その都度指示します。

音楽 / 音楽 (秋学期)(水5)
「合唱音楽 (秋学期)」 2単位 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

音楽 合唱音楽 (春学期) に引き続き、合唱音楽の歴史を歌いながら学び、秋学期は、学期の終わり近くで開かれる演奏会の準備を進めて行きます。

【教科書】

その都度指示します。

【参考書】

その都度指示します。

音楽 / 音楽 (春学期)(金3)
「声の音楽の歴史 古代～17世紀」 2単位 春学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

古代より人間は、声を使ったさまざまな音楽をつくってきました。この授業では、人間の根本的な音楽表現である「声」の音楽を扱います。この授業は、西洋の音楽を中心に扱っていきます。西洋において、声の音楽の歴史は、多声音楽の歴史に他なりません。この授業ではその歴史をたどっていきます。

春学期では、古代から声の音楽がどのように記録されてきたかについて扱ったあと、多声音楽がシステム化されていく過程と、楽譜の歴史について扱います。ルネサンス期の高度な声楽作曲法は、後の時代の音楽の礎ともなりました。声の音楽の歴史を辿ることは、人間にとって音楽とは何か、という根本の問いに取り組むことに他なりません。

【教科書】

指定しない

【参考書】

D. J. グラウト, C. V. パリスカ 『新西洋音楽史』上・中 (音楽之友社、1998年)

皆川達夫 『西洋音楽史：中世・ルネサンス』 (音楽之友社、1986年)

服部幸三 『西洋音楽史：バロック』 (音楽之友社、2001年)

音楽 / 音楽 (秋学期)(金3)
「声の音楽の歴史 18世紀以降」 2単位 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

声を使ったさまざまな音楽は、その時代時代で人間の精神文化を映し出してきました。春学期に引き続きその歴史をたどっていきます。この授業は、西洋の音楽を中心に扱っていきます。

秋学期では、18世紀以降を扱います。バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、フランク、プーランク、シェーンベルク、メシアンなどの西洋音楽史における記念碑的な声楽作品を取り上げ、それぞれの音楽の背後にあるものを探っていきます。

【教科書】

指定しない

【参考書】

D. J. グラウト, C. V. パリスカ『新西洋音楽史』下(音楽之友社、2001年)
柴田南雄『西洋音楽史: 印象派以後』(音楽之友社、1967年)

音楽 / 音楽 (春学期) (金5)

「音楽理論入門」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

本授業は、西洋音楽における理論的基礎を、実習を伴いつつ学ぶ授業です。授業は、1) 教科書『総合和声』に従った和声学の学習と、2) 西洋音楽理論の諸問題についての講義の、2つの部分からなります。

各回に、実習課題を課します。基礎編(春学期)においては、和声の原則を一通り学んだあと、簡単な4声体の和声を書けるようになることを目的とします。

内容的には高度の授業であり、予めそれなり心構えが必要ですが、秋学期まで履修し1年間終わったあとにはかなりの技術が身に付くはずですので、チャレンジしてみてください。

【教科書】

島崎讓他著『総合和声 実技・分析・原理』、音楽之友社、1998年。

【参考書】

U. ミヒェルス編『図解音楽事典』(日本語版監修、角倉一郎)、白水社、1989年。
野崎哲 著『新しい楽典』、音楽之友社。

音楽 / 音楽 (秋学期) (金5)

「音楽理論入門」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

音楽 音楽理論入門 (春学期)に引き続き、和声の学習と、音楽理論関連のトピックの講義を行います。

秋学期の目標は、借用和音、転調課題ができるようになることです。また、和声の学習を生かして、実際の音楽の楽曲分析も試みます。

【教科書】

音楽 音楽理論入門 と同じ。

【参考書】

音楽 音楽理論入門 と同じ。

音楽 / 音楽 (春学期) (火4)

「18~19世紀のオーケストラ音楽」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 広瀬 大介

【授業科目の内容】

18~19世紀のヨーロッパ各地(主にドイツとフランス)におけるオーケストラ音楽の歴史とその諸特徴を理解し、その特徴が生み出された社会的・思想的背景を併せて考察し、同時期における管弦楽作品の重要性について学びます。特に、弦楽器の奏法の拡大、新しい管楽器の発明という観点から、この時期に作曲された代表的な交響曲や管弦楽曲を捉え直します。必要に応じてオーケストラ付歌曲やオペラ、合唱曲も、声楽を伴う管弦楽作品という観点から取り上げる予定です。なお、秋学期に開講される『音楽』では、この『音楽』の続きとなる20世紀のオーケストラ音楽を取り上げます。連続して履修することが望ましいですが、必須条件ではありません。

【教科書】

授業で必要となる読み物については、資料用プリントを配布します。特に購入してもらう必要はありません。

【参考書】

Grout, Donald J. and Claude V. Palisca. *A History of Western Music*. New York: W.W. Norton, 2005 (7th ed.); 邦訳: 『新西洋音楽史』、上・中・下、音楽之友社、1998 - 2001。

ベルリオーズ、シュトラウス『管弦楽法』、小鍛冶邦隆監修、広瀬大介訳、音楽之友社、2006年。

音楽 / 音楽 (秋学期) (火4)

「20世紀のオーケストラ音楽」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 広瀬 大介

【授業科目の内容】

20世紀のヨーロッパ各地におけるオーケストラ音楽の歴史とその諸特徴を理解し、その特徴が生み出された社会的・思想的背景を併せて考察し、同時期における管弦楽作品の重要性について学びます。19世紀に拡大の一途をたどったオーケストラ音楽は、20世紀に至ってさまざまな発展の形を取ります。ここではその諸特徴を、個々の作曲家のケーススタディという手法で学んでいく予定です。必要に応じてオーケストラ付歌曲やオペラ、合唱曲も、声楽を伴う管弦楽作品という観点から取り上げます。なおこの『音楽』は、春学期に開講される『音楽』の続きです。連続して履修することが望ましいですが、必須条件ではありません。

【教科書】

授業で必要となる読み物については、資料用プリントを配布します。特に購入してもらう必要はありません。

【参考書】

Grout, Donald J. and Claude V. Palisca. *A History of Western Music*. New York: W.W. Norton, 2005 (7th ed.);

邦訳：『新西洋音楽史』、上・中・下、音楽之友社、1998 - 2001.

ベルリオーズ、シュトラウス『管弦楽法』、小鍛冶邦隆監修、広瀬大介訳、音楽之友社、2006年。

音楽 / 音楽 (春学期)

「ショパンの世界」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

福田 弥

【授業科目の内容】

ショパン (1810 - 49) といえば、ロマン派を代表する音楽家として知られている。しかしほぼ同世代のベルリオーズ、シューマン、リスト、ヴァーグナーの作品と比べると、彼の音楽は様式やジャンルの点でかなりの相違を示している。彼が活躍したワルシャワやパリの音楽環境を踏まえながら、西洋音楽史におけるショパンの位置と彼の音楽の特徴を理解することを目的とする。

【教科書】

教科書は指定しない。プリントを随時配付する。

【参考書】

講義時に指示する

音楽 / 音楽 (秋学期)

「フランツ・リストの世界」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

福田 弥

【授業科目の内容】

フランツ・リスト (1811 - 1886) といえば、大ピアニスト、超絶技巧で華やかな作品の作曲者というイメージが一般的であるが、それは彼の単なる一面に過ぎない。ピアニストのほか、新ドイツ派のリーダー、交響詩の創始者、教会音楽の改革者、20世紀音楽の先駆者、そしてピアノの教育者、著述家としても活躍し、パリ、ローマ、ヴァイマル、ブダペシュトをはじめ、ロシアを含めたヨーロッパの主要都市に足跡を残している。リストは「19世紀の音楽生活の縮図である」と言われるように、彼の音楽活動は、同時代の西洋音楽におけるさまざまな問題と結びついていた。同時代の音楽家たちの活動もあわせて考えながら、リストが19世紀音楽に果たした役割と、彼が目指した壮大な音楽世界について理解してもらいたい。

【教科書】

拙著『作曲家 人と作品 リスト』音楽之友社、2005年。

随時プリント (楽譜を含む) を配付する。

【参考書】

講義時に指示する

音楽 / 音楽 (春学期)

「近代の音楽文化 (モダニズム)」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

福中 冬子

【授業科目の内容】

音楽作品は作曲家個人の創造思想の結晶であると同時に、その時代の社会的、政治的、文化的様相を反映する鏡でもあります。当授業では音楽作品を通じて、異なる文化ジャンル (文学、絵画、舞踊、映画など) における潮流や歴史的、社会的な動きを考察します。主に西洋のクラシック音楽を扱いますが、ジャズやポピュラー音楽、民族音楽も視野に入れることにより、より広い視点から近代音楽文化の「語るもの」を解き明かしていきます。前期では主に19世紀の終わりから第二次大戦終了までの時代の作品が中心となります。またAV資料や楽譜のコピーを授業内に使用し、様々なスタイルの音楽作品に触れてもらいます。

【教科書】

毎回プリントを配ります。

【参考書】

ロバート・モーガン『音楽の新しい地平』(長木誠司監修、音楽之友社、1996年)

注：授業中には使用しませんが、現代音楽の歴史的・社会的背景を知る上で、必要に応じて指定箇所を準備として読んでもらいます。

音楽 / 音楽 (秋学期)

「現代の音楽文化 (ポスト・モダニズム)」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

福中 冬子

【授業科目の内容】

音楽作品は作曲家個人の創造思想の結晶であると同時に、その時代の社会的、政治的、文化的様相を反映する鏡でもあります。当授業では音楽作品を通じて、異なる文化ジャンル (文学、アート、パフォーマンス・アート、映画など) における潮流や歴史的、社会的な動きを考察します。主に西洋のクラシック音楽を扱いますが、ジャズやポピュラー音楽、民族音楽も視野に入れることにより、より広い視点から現代音楽文化の「語るもの」を解き明かしていきます。後期では主に第二次大戦終了以降に創られた作品が中心となります。またAV資料や楽譜のコピーを授業内に使用し、様々なスタイルの音楽作品に触れてもらいます。

【教科書】

毎回プリントを配ります。

【参考書】

ロバート・モーガン『音楽の新しい地平』(長木誠司監修、音楽之友社、1996年)

注：授業中には使用しませんが、現代音楽の歴史的・社会的背景を知る上で、必要に応じて指定箇所を準備と

して読んでもらいます。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(春学期)
 「化学結合と地球環境」 3単位 春学期
 6単位 通年
【文経法政商】 大場 茂

【授業科目の内容】

この授業では化学構造式の意味、その実体を学びます。また、科学史における化学の発展や、地球を取り巻く環境問題にも触れます。これを通して、世界の路線をより良い方向に切り変えるような大局観が、諸君に少しでも芽生えることを期待しています。

【教科書】

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(秋学期)
 「有機化学と生活環境」 3単位 秋学期
 6単位 通年
【文経法政商】 大場 茂

【授業科目の内容】

この授業では有機化合物の性質および反応性を学びます。社会と化学との関わり、および地球を取り巻く環境問題にも触れます。また、化学あるいは化学物質に関する調査・発表を各自に行ってもらいます。これを通して、諸君に化学に対する興味と理解が深まることを期待しています。

【教科書】

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(春学期)
 「現代化学のあけぼの」 3単位 春学期
 6単位 通年
【文経法政商】 小瀬村 誠治

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかっただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接するこ

とができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(秋学期) 3単位 秋学期
 6単位 通年
【文経法政商】 小瀬村 誠治

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかっただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学（実験を含む）/
 化学（実験を含む）(春学期)
 「現代化学のあけぼの」 3単位 春学期
 6単位 通年
【文経法政商】 清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱いな

どを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学課程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』(上、下)岩波書店

化学 (実験を含む) /

化学(実験を含む)(秋学期)

「現代化学のあけぼの」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学課程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』(上、下)岩波書店

化学 (実験を含む) /

化学(実験を含む)(春学期)

「物質の化学 基礎編」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。
【講義】 私たちのまわりには、実にさまざまな物質があふれています。物質のもつ性質、すなわち色や形状、導電性などはすべて化学構造と密接に関係しています。近年の技術向上により生み出されている“新素材”と呼ばれるものも特殊な機能をもたせるため、化学的に構造設計されたものがほとんどです。

講義では、化学の一般的な事柄を分かりやすく解説し、物質とその性質について考えていく基礎を養います。

【実験】 文科系の皆さんにとってこれから先、自分の手で化学実験を行う機会にめぐり合うことはまずありえないでしょう。実際に取り扱ってその性質を調べたり、物

質を合成したりすることは、化学を理解する上で必要不可欠です。

実験では、金属イオンの系統分析、炎色反応などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

化学 (実験を含む) /

化学(実験を含む)(秋学期)

「物質の化学 応用編」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】 講義では、物質とその性質について化学的に考えていきます。

【実験】 実験では、有機化合物の合成、色素の合成と染色、化学発光などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

科学史

「19世紀から現代までの科学技術の歴史」 2単位 春学期

【経法政商】

常石 敬一

【授業科目の内容】

西洋近代科学の始まりは17世紀ですが、この講義では19世紀以降の科学と技術と社会の歩みを、以下のような視点から総合的に見ていくつもりです。

近代科学とは見方によっては、それまで自然を認識する際に一定の役割を果たしていた「神」がその役割を失った、自然を認識する方法、ということもできます。そうした観点からいうと、科学が大部分の分野で現在のような認識の方法が確立されるのが19世紀ということになります。科学や技術が現在のような社会との深いつながりを持つようになったのも19世紀です。19世紀以降、科学は自然を認識する方法にとどまらず、技術と相互二人三脚で人間に物質的豊かさをもたらす手段として利用されて来ました。効き目の優れた薬の多くに副作用があり、それゆえ専門家の「処方」が必要であるように、科学や技術がもたらす豊かさには、多かれ少なかれそうした負の面があります。その負の面は科学や技術が本質的に持っているものもあれば、社会での利用方法が生み出す場合もあります。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

その都度お知らせします。

科学史

「日本の近代化と科学技術」

2単位 秋学期

【経法政商】

常石 敬一

【授業科目の内容】

明治元年は1868年、19世紀半ば過ぎです。日本での近代化はこの時期から始まります。近代化の手段として西洋の諸制度が取り入れられますが、その一環として西洋の、当時最先端の科学技術も取り入れられます。このことの意味は、日本は西洋の科学技術の導入にあたって、欧米各国が強いられた「試行錯誤」を参考にして、効率的にそれを行なうことができたということです。ヨーロッパでは科学の中身があり、科学者の社会への働きかけが、科学の社会的制度化の推進力であったのに対して、日本では国（政府）による制度化から始まり、それに続いて科学者の養成、そして科学の中身の創造、という順番と見ることができます。そのことが科学者の社会的意識や認識にどのような影響を持ったかを明確に述べることはできませんが、こうした視点から明治以降の科学そしてそれと密接につながっている技術の日本での歴史を見ていくつもりです。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

その都度お知らせします。

科学と社会

「生命と科学・社会」

2単位 秋学期

【文経商】

岸 由二 長沖 暁子 他

【授業科目の内容】

科学技術は社会との相互関係で発達します。体外受精、脳死・臓器移植、クローン胚、ES細胞、再生医療、オーダーメイド治療、次々と提示される生命に関わる技術は、現代社会の何を反映し、生命観にどのような変化を与えていくのでしょうか？

例えば、これらの技術によって、卵・精子、受精卵、細胞、臓器など、私たちの身体の一部は、パーツとして扱われ、材料となります。一方、その研究成果は特許となり、経済と結びつき、国家戦略として開発が推進されていきます。

このような科学の発達を、科学者の立場から、市民の立場からどのように考えるのか。規制することはできるのか？ 規制することはどのような意味を持つのか？

現在の生命科学によって引き起こされるさまざまな問題を、科学と社会の関係の中から解きほぐし、皆さんに科学のあり方を考えてもらおうと思います。

【教科書】

使いません

【参考書】

授業で紹介いたします

漢文a（春学期）／漢文b（秋学期）

漢文（通年）

「中国の紀行文を読む」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医】

千田 大介

【授業科目の内容】

漢文の読解力を養成する。

教材には紀行文を取りあげる。紀行文には、広大な中国の各地域ごとに風俗・文化の違い、観光名所とそれにまつわる詩歌、旅行を支える社会制度などなどさまざまな要素が含まれているので、これを詳細に読み解き考察することで、漢詩文を読み解く力のみならず、中国古典を理解するために不可欠な周辺知識をも身につけることができることだろう。

なお、二～三回、パソコンによる多漢字処理と、オンライン中国古典データベースの利用法について実習する。

【教科書】

教科書は使わない。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

基礎の数学

「数学が苦手な人のための数学」

2単位 春学期

【経商理】

中野 實

【授業科目の内容】

基本的には、昨年までの担当者 小松先生の方針を続ける。

一変数関数の微分法と積分法を中心とする内容を予定しているが、一部若干変更する可能性もある。高校数学の復習と問題演習に重点を置く（出席重視）。また、偏微分と2変数関数の極値（経済・商・理工の必修科目で学ばず）についても解説する。昨年までと違うのは、（一応の理論の元に）パソコンを使って微積分の高度な計算をマスターするのを大きな目的とすることである。理論は苦手でも計算だけは上手になれる・・・を目標に。

【教科書】

なし

【参考書】

Mathematica 基礎からの演習（サイエンティスト社）（マセマティカ、キソカラノ エンシュウ）

教育学 / 教育学（春学期）

「学校教育」を考える」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経医】

山梨 あや

【授業科目の内容】

本講義では、近代日本における学校教育の成立と展開という視点から、「教育」を考えたいと思います。

皆さんは、これまで様々な学校教育の経験を積み重ねてきているはず。それでは、「学校」とはいかなる機関で、どのように、なぜ成立したのか。そして人々はどのように学校に行くようになったのか。

このような素朴な問いを通して「学校」、ひいては「教育」の問題を考察するのが本講義のねらいです。

【教科書】

教科書・参考書ともに講義中に適宜紹介します。

教育学 / 教育学 (秋学期)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経医】

藤澤 啓子

【授業科目の内容】

本講義では、発達心理学におけるさまざまなテーマについて概説します。子どもの育ちの多様な側面について知ることを通して、人間の発達について考えを深めることを目的とします。

【教科書】

講義中に適宜紹介します。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

近代思想史 / 近代思想史 (春学期)

「常識をカッコに入れてみよう」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

有賀 誠

【授業科目の内容】

学問をすることの大きな喜びのひとつに、ものごとを根本から考え直してみることによって、当たり前だと思っていた常識があざやかにひっくり返されてしまうという経験があると思います。

例えば、皆さんは、「民主主義」と聞くと、「ともかくも素晴らしいもんなんだよね」と常識的な連想を働かせてはいませんか？ところが、面白いことに、その「民主主義」が世界で最初に花開いた古代ギリシアの大哲学者プラトン先生は、「民主主義」なんてくだらない、と大変な悪口を書いているのです。では、なぜプラトン先生は、そう考えたのでしょうか？きっと、それには、深いわけがあるはず。す。

本講では、こうした問いを大切にしながら、常識をいったんカッコに入れて、われわれの世界観を作り上げている基本概念を考え直してみることにしたいと思えます。

【教科書】

有賀、伊藤、松井編『ポスト・リベラリズム』(ナカニシヤ出版、2000年、3000円)

【参考書】

有賀、伊藤、松井編『現代規範理論入門』(ナカニシヤ出版、2004年、2600円)

近代思想史 / 近代思想史 (秋学期)

「考えることを考える」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

有賀 誠

【授業科目の内容】

不思議なことといったら、あなたは何を思い浮かべますか？UFO、心霊現象、超能力、さまざまな奇跡でしょうか。確かにこうしたものも不思議であるには違いないのですが、思想を学ぶことで得ることができるのは、一見、不思議でもなんでもない「当たり前」こそ、実は極めて大きな不思議を秘めたものなのではないかという視点の転換です。

例えば、われわれは食堂でコックさんの作ってくれた料理を平気で口にしていますが、よく考えてみれば、これってとても不思議なことではないでしょうか？だって、自分がその人柄をよく知っている母親(父親)の作ってくれた料理を安心して食べるのならいざしらず、われわれはコックさんのことを何ひとつ知らないのですから。近代社会は、実は、このような一般的な他者への「信頼」によってはじめて円滑に機能しているのですが、いったい何がこの「信頼」を成り立たせているのでしょうか？「近代思想史」に続いて、本講でも、近代社会の様々な基本概念について、「当たり前」を異邦人の眼で眺めるという視点を駆使しながら、再考してみたいと思っています。

【教科書】

有賀、伊藤、松井編『現代規範理論入門』(ナカニシヤ出版、2004年、2600円)

【参考書】

有賀、伊藤、松井編『ポスト・リベラリズム』(ナカニシヤ出版、2000年、3000円)

近代思想史 / 近代思想史 (春学期)

「近代日本における文明の受容と拒絶」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

小野 修三

【授業科目の内容】

わが国では幕末維新期以来、西洋文明と総称されるものに対しては、これを受容する歴史と、拒絶ないしこれ以上は不要とする歴史との、二つの対応があった。この近代の受容と拒絶との観点から、近代日本の歴史を考察して行こうと思う。

具体的には、1864年生まれの小河滋次郎という国家官僚に関する伝記的研究を中心に置くが、小河と直接また間接に関係した同時代人たちの「人と業績」も紹介して行く。また講義全般にわたってヨーロッパにおける近代思想の諸潮流に言及する。

【教科書】

無

【参考書】

拙著『公私協働の発端』(時潮社)、高畠通敏編『現代

市民政治論』(世織書房)

近代思想史 / 近代思想史(秋学期)

「解体と統合の継続」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

小野 修三

【授業科目の内容】

近代とは、オランダの歴史家ホイジンガの定義では「世界そのものの改良と完成をめざす道」であった。近代とは異なるのは「世界の外に通じる俗世放棄の道」と「きびしい現実から美しいみせかけへの逃避」の道であった。(『中世の秋』1919年)この近代を、近代以前と近代以後とを意識しつつ、原典およびその翻訳を通して、考察して行く。

【教科書】

無

【参考書】

随時紹介する。

近代思想史(春学期) / 近代思想史(秋学期)

近代思想史(通年)

「ドイツ近代社会思想における自由と共同」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

針谷 寛

【授業科目の内容】

ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、西欧近代社会とその思想の諸問題を検討する。材料としてはカント、ヘーゲル、マルクスなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的に取り上げる予定である。これらの理論を扱うに際しては歴史的なコンテキストの中で考察することに努める。これを材料にして、現代の生活についてもその特殊性をみずからの頭で考え表現する力を培ってほしい。

【教科書】

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

【参考書】

講義の中で紹介する。

近代思想史 / 近代思想史(春学期)

「独仏近代市民思想像」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

松村 宏

【授業科目の内容】

ドイツ近代思想像の定義の叙述を重ねていく行程に、その歴史的な文脈をさぐるというのが、本講の内容である。独仏の、英米文化圏との歴史的対応の中で、はじめて近代思想の省察が成立した。しかし、さらに日本との比較を加えないと近代世界史はわからないことになる。ヴェーバーのキリスト教と「儒教と道教」研究に日本儒学古学派研究を補充して考えていく。(本講を発展させた

「西洋文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。)

【教科書】

ヴェーバー著『職業としての政治』岩波文庫、丸山

『日本の思想』岩波新書、他はプリント配布

近代思想史 / 近代思想史(秋学期)

「独仏近代市民思想像」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

松村 宏

【授業科目の内容】

フランス近代思想像の定義の叙述を重ねていく中に、その歴史的な文脈をさぐるというのが、本講の内容である。独仏の、英米文化圏との歴史的対応の中で、はじめて近代思想の省察が成立したのであるが、日本との比較が近代世界史の理解に不可欠でもある。モンテスキューからコンスタン、ギゾー、トクヴィル、そしてジード、アロンまでのテキストを活用する。(本講を発展させた「西洋文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。)

【教科書】

プリント配布。

近代日本と福澤諭吉

2単位 秋学期

【文経法政商医】

小室 正紘 (コーディネーター)

岩谷 十郎 樽井 正義

寺崎 修 平野 隆

西澤 直子 米山 光儀

【授業科目の内容】

福澤諭吉が死去してから、すでに百年以上が過ぎているが、近年においても慶應義塾の内外を問わず福澤諭吉に関する論評や研究は相変わらず盛んである。このことは、肯定的に見るにせよ、否定的に見るにせよ、福澤が近代日本に与えた影響が極めて大きかったことを示している。このような認識のもとに、この講義では、慶應義塾福澤研究センターの所員が講義担当者となり、講義全体をつらぬく視点を踏まえて、おのおのの専門との関連で福澤諭吉を取り上げる。福澤の人と思想を考察することを通し、単に福澤を知るだけでなく、近代日本と十九世紀後半の世界を知ることを目的としたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

福澤諭吉『福澤諭吉著作集』慶應義塾大学出版会 2002～2003年

慶應義塾編『福澤諭吉の手紙』岩波書店 2004年

丸山真男『文明論之概略を読む』岩波書店 1986年

経済学 / 経済学 (春学期)
 「経済の理論と現実」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文法医理】 武藤 功

【授業科目の内容】

経済現象はかなり身近ではあるが、それを正確に語るとなるとかなり難しい。

経済を見る眼を、経済分析の基本的な枠組を学ぶことにより養いたい。

マクロ経済学に絞り、理論的な角度と歴史的な角度から日本経済の抱える問題を扱う予定である。

【教科書】

特に指定しません。適宜プリントを配布します。

【担当教員から履修者へのコメント】

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

【成績評価方法】

学期末試験 (定期試験期間内の試験) の結果による評価

経済学 / 経済学 (秋学期)
 「経済の理論と現実」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文法医理】 武藤 功

【授業科目の内容】

経済現象はかなり身近ではあるが、それを正確に語るとなるとかなり難しい。

経済を見る眼を、経済分析の基本的な枠組を学ぶことにより養いたい。

ミクロ経済学に絞り、理論的な角度と歴史的な角度から経済問題を扱う予定である。

【教科書】

特に指定しません。適宜プリントを配布します。

【担当教員から履修者へのコメント】

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

【成績評価方法】

学期末試験 (定期試験期間内の試験) の結果による評価

経済学 / 経済学 (春学期)
 「マクロ経済学の初歩」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文法医理】 吉岡 忠昭

【授業科目の内容】

マクロ経済学は、一国の経済全体の立場から、国民総生産・利子・物価水準などの重要な経済変数の決定について明らかにしようとするものである。これらの経済変数が経済政策によってどのような影響をうけるのかも検討する。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社
 酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣

経済学 / 経済学 (秋学期)
 「ミクロ経済学の初歩」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文法医理】 吉岡 忠昭

【授業科目の内容】

ミクロ経済学の基礎的・基本的事項のうちから重要なものを選んで講義する。また、近年、様々な分野で利用されるようになってきているゲームの理論の初歩についても経済分析との関連で取り上げる。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社
 酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣

経済人類学a (春学期) / 経済人類学b (秋学期)
 経済人類学 (通年)
 「現代市場経済を相対化する」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年
【文経商】 栖原 学

【授業科目の内容】

「経済人類学」という科目名は、多くの学生諸君にとって聞きなれないものかもしれません。経済人類学の創始者は、K.ポラニー (K. Polanyi, 1883 - 1964) だといわれていますが、この講義は、このポラニーの経済思想をてがかりに、現代市場経済の相対化を試みようとするものです。特に最近の市場経済は、「カジノ」にたとえられるほどリスクとスピードを伴い、予測が重要な要素を占め、激しい変動と不確実性を特徴としています。このような市場経済の不安定性の増大は、いつ頃から始まったのでしょうか。その歴史的起源をたどり、自己調整的市場原理が社会にどのような影響を与えてきたのか、あるいはその未来はどのようなのかについて考えてみたいと思います。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に文献リストを紹介する予定ですが、とりあえず次の著書を挙げておきます。K.ポラニー著、吉沢・野口・長尾・杉村訳『大転換 市場社会の形成と崩壊』東洋経済新報社、1975年。

健康科学
 「健康と環境因子、病気と薬」 2単位 春学期
【商理】 西村 多美子 手島 玲子

【授業科目の内容】

様々な化学物質が環境因子や医薬品として生み出され、人々の健康に対する認識も高まっています。本講義

では、皆の健康に対する興味をさらに深めるため、「健康と環境因子」及び「病気と薬」をとりあげ、身近な話題を例に解説します。

「健康と環境因子」 - 環境がヒトにどのような影響を与え、ヒトはどのように適応しているのか -

人々の健康を左右する天然ならびに人工の身近な環境因子を取り上げ、環境因子がヒトにどのように影響を与えるか、その仕組みについて考えると同時に、ヒトの持っている防御機構についても触れます。

「病気と薬」 - 薬が病気に効くとは、体に現れるどのような変化なのか -

元来生物が持つ調節機能のバランスが崩れた状態が病気であるとすれば、それをもとに戻す、あるいはもとに戻す手助けをするものが薬と考えられます。正しい使い方をすれば、安全に有効に使える薬も、使い方を誤れば、その有効性は発揮されず、安全性も保証されません。その理由を科学的に解説し、理解できるようにします。

【教科書】

講義において、プリントを配布します。

【参考書】

講義の時に紹介します。

言語学 / 言語学 (春学期)

「言葉の「しくみ」を探る」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医】 鈴木 亮子

【授業科目の内容】

いったい言葉とはなんだろうか。私たちが日頃何気なくつかっている言葉(言語)のしくみを音、単語、文構造、文のつながりなどさまざまな角度から学ぶ。言語のしくみにまつわる法則やパターンを学び、その系統だっているさまを、つばさに観察する。練習問題を通して様々な言語現象を丁寧に観察することを学び、日本語や英語などのデータの分析にも取り組む。

【教科書】

4月のガイダンス時に指示します。

【参考書】

授業時に必要に応じて紹介していきます。

言語学 / 言語学 (秋学期)

「ことば・人間・社会・こころ」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医】 鈴木 亮子

【授業科目の内容】

後期はことばを使う人間により焦点をあてて、言葉と性、敬語、言葉の歴史と変化、方言、子供の言語習得、文化と言葉の関係、などさまざまなトピックに取り組む。練習問題を通して様々な言語現象を丁寧に観察することを学び、データの分析にも取り組む。

【教科書】

秋学期のガイダンスにて指示する。

【参考書】

必要に応じて授業の中で紹介する。

言語学 / 言語学 (春学期)

「一般言語学概論」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医】 辻 幸夫

【授業科目の内容】

人間の言語とは何か、言語学とはどのような学問か、言語学の基本的な諸相について概観します。

【教科書】

辻幸夫編、『ことばの認知科学事典』大修館、2001年

【参考書】

辻幸夫編、『認知言語学キーワード事典』研究社、2002年

言語学 / 言語学 (秋学期)

「認知的視点からの言語」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医】 辻 幸夫

【授業科目の内容】

人間の認知と言語の営みを認知科学の一分野としての認知言語学的な視点から概観します。

できる限り演習形式を採用したいと思いますので、学生諸君の積極的な参加が期待されます。

【教科書】

辻幸夫編、『認知言語学への招待』大修館、2003年

山鳥重、辻幸夫著、『心とことばの脳科学』大修館書店、2006年

【参考書】

辻幸夫編、『ことばの認知科学事典』大修館、2001年
辻幸夫編、『認知言語学キーワード事典』研究社、2002年

吉村公弘、『はじめての認知言語学』研究社、2004年

山梨正明、『認知言語学原理』くろしお出版、2000年

山梨正明、『比喩と理解』東大出版会、1988年

言語学

「ことばと文化、ことばと認知」 2単位 春学期
【経法政商医】 篠原 俊吾

【授業科目の内容】

言語、文化、社会、認知といった単語をキーワードに、言語にまつわる諸問題を考えていきます。(単純に「言語=意志伝達的手段」という観点からではなく)言語には各文化特有のもの考え方、捉え方が反映され、その一方で、どの言語にも共通する普遍的なシステムも盛り込まれているという立場から検討を重ねていきます。

個別言語(日本語、英語など)に関する問題(「言語、文化、人間の認知はどの程度、相関関係があるのだろうか」「ことばが異なれば理解も異なるのか」)、どの言語にも共通の普遍的要素の問題(「あらゆる言語に共通するルールや原則はあるのか」)を巡って、なるべく多く

のデータを見て検証していく予定です。扱う言語は英語、日本語が中心ですが、それ以外にもなるべく多くのタイプの言語をみていくつもりです。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

教室で指示します。

言語学

「ことばと文化、ことばと社会」 2単位 秋学期
【経法政商医】 篠原 俊吾

【授業科目の内容】

言語学 で論じてきた、言語と文化の関係、言語の普遍的規則のメカニズムをさらに深く掘り下げていく。言語学 は、語のレベルの話が中心であるのに対して、言語学 は文レベルの問題、言語習得の問題、語用論の問題などにも注目していく。

【教科書】

プリントを配布

【参考書】

教室で指示する

言語認識論

2単位 秋学期
【経商医理】 井上 京子

【授業科目の内容】

本講座では、言語学の成果と方法をもとに、ことばと文化、および人間の相関性を探り、ことばを通して文化を読み解こうと試みます。

このような試み、すなわち環境のカテゴリー化と表裏一体である言語を研究することは、人間の認識体系を発見し、当の文化に固有の行動様式を探る重要な手がかりとなります。今日、世界中で異文化接触が進む中、言語と文化の切り離しがたい結びつきはますます強くなってきていますが、そうした状況を視野に入れ、多言語・多文化主義の広がり、その逆方向の英語のグローバル化といった問題に対して、私たちが今後どのようなスタンスで対応していったら良いのかをここで考えてもらいたいと思います。また、それと関連して、人間の外界認識方法がどう言語教育分野 / 応用言語学の分野に関わるかといった問題も取り上げる予定です。

授業中は、グループを構成し、グループごとのディスカッションを取り入れた双方向的な意見交換の場にしたと思っています。

【教科書】

なし

【参考書】

R. ダンバー 1996 [1998訳] 『ことばの起源』 青土社

M. トマセロ 1999 [2006訳] 『心とことばの起源を探る』 勁草書房

宮岡伯人編 1996 『言語人類学を学ぶ人のために』

(世界思想社)

G. レイコフ 1987 [1993訳] 『認知意味論』 紀伊国屋書店

松本曜編 2003 『認知意味論』 大修館書店

大堀壽夫 2002 『認知言語学』 東京大学出版会

今井邦彦 2001 『語用論への招待』 大修館書店

井出祥子 2006 『わきまえの語用論』 大修館書店

大堀壽夫編 2004 『認知コミュニケーション論』

井上京子著 1998 『もし「右」や「左」がなかったら』

大修館書店

飯野公一他著 2003 『新世代の言語学：社会・文化・人をつなぐもの』 くろしお出版

池上嘉彦 2006 『英語の感覚・日本語の感覚』 NHKブックス

小林春美・佐々木正人編 1997 『子どもたちの言語獲得』 大修館書店

渡部信一 2005 『ロボット化する子どもたち』 大修館書店

現代化学概論

2単位 秋学期

【商理】

栄長 泰明 他

【授業科目の内容】

理工学部化学科・応用化学科教員・外部からの特別講師がオムニバス形式で毎回、化学の最先端の内容(トピックス)を分かりやすく講義します。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

現代芸術論

「現代芸術の諸特徴」 2単位 春学期 / 秋学期
【経商医理】 高栞 和巳

【授業科目の内容】

現代芸術の諸特徴について検討します。ただし、正史をたどるのではなく、この奇妙なジャンルを成立させている諸条件を浮き彫りにするようないくつかのマイナーな特徴をテーマとして立てて説明する予定です。思想的アプローチもおこないます。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

授業中に指示します。

現代芸術論

「いったいなにが今日の美術をこれほどに変え、魅力的にしているのか？」 2単位 春学期

【経商医理】 村田 真

【授業科目の内容】

現代美術とはもつれた毛糸のようなもの。傍目には混

乱しているように見えるけど、丹念に解きほぐしていけば1本の糸につながっている。かつて美術でなかったものがいかに「美術」になり、その「美術」がいかに美術らしくなくなっていったのかを、毎回ひとつのキーワードに沿って講義する。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

授業中に指示します。

現代思想論

「ロラン・バルトの写真論」 2単位 秋学期

【経商医理】 荒金 直人

【授業科目の内容】

20世紀後半の現代思想に極めて大きな影響を与えたフランスの思想家ロラン・バルト。彼が1980年に事故死する直前に刊行された『明るい部屋』の読解を通じて、「写真の本質は何か?」という彼の問いの道のりを辿ります。

【教科書】

ロラン・バルト著、花輪光訳、『明るい部屋 写真についての覚書』、みすず書房、1985年

【参考書】

篠田浩一郎著、『ロラン・バルト 世界の解読』、岩波書店、1989年。
(その他、図書館などで探してみてください。)

現代思想論

「近現代に考えるということ」 2単位 春学期

【経商医理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

主として20世紀の思想から、私たちが考えるうえで参考になるはずのものを、テーマや人物ごとに(ただし非体系的に)解説します。

数回ごとに完結した話をする予定。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

授業中に指示します。

現代思想論

「現代思想の争点」 2単位 春学期 / 秋学期

【経商医理】 田辺 秋守

【授業科目の内容】

「現代思想」において近年どのようなことが話題になっているのか、その論争の「争点」になっている事柄を、分かりやすく紹介したい。「現代思想」は独立した科目としてはほとんど定義不可能である。一般に欧米の大学の学科編成の中には、伝統的に「哲学」「現代哲学」という科目はあるが、「現代思想」という科目は見当たらない。アメリカの現代思想家フレドリック・ジェイムソ

ンはそれと同等なものとして「現代の理論」という言葉を使っている。「現代」はおおよそ20世紀初頭から現在までであり、その理論として考えられるのは、哲学から社会学、精神分析から文学理論と多岐にわたる。そのなかでも特に「現代思想」として理解される理論のおもな特徴は四つある。(1)アクチュアリティ(actuality) (2) 脱領域性 (extraterritoriality) (3) ラディカリズム (radicalism) (4) 論争的性格 (polemic)。ここではおもに1960年以降の「現代思想」の基礎的な話題を取り上げたい。中心となるのはヨーロッパ、アメリカの思想家たちの議論である。しかしそうした議論がすでに現代日本の課題と地続きであり、「われわれの課題」であることがすぐに理解されると思う。

【教科書】

田辺秋守著『ピフオア・セオリー：現代思想の争点』(慶應義塾大学出版会)

【参考書】

詳細な参考文献一覧は開講時に配付する。

現代社会論

「国民国家と社会変動 - その形成と変貌 - 」 2単位 秋学期

【経商医理】 池田 緑

【授業科目の内容】

現代日本社会は、様々な社会システムの転換点にあります。私たちが子供の頃から「あたりまえ」と思っていたことは、じつはきわめて一時的な現象で特殊なものであり、これからは「あたりまえ」ではなくなる過程でもあります。この授業では、近代国民国家とともに発展してきた現在の社会システムとその転換を「脱工業化」と「植民地主義」という2つの視点から考えてゆきます。

まず前半では、近代国民国家の発展を支えてきた「工業化」が、どのように現在の社会システムをかたち作ってきたかを、フォーディズム、社会階層の形成、“地域”という枠組みの形成、などを通じて検討します。

さらに後半では、性差という社会制度を通して、国民国家における“女性”の構築と家族制度や婚姻制度と権力、植民地主義の関係を考えます。

授業全体を通じて、多様な選択肢を前にこれからの時代を生きてゆかなければならない私たちの社会との関係について、そのヒントを模索できる授業になればよいと考えています。

【教科書】

なし

【参考書】

授業中に紹介する

現代社会論

「高齢社会の実態と課題」 2単位 春学期

【経商医理】 岡田 あおい

【授業科目の内容】

わが国は、世界に類例のない速さで人口の高齢化が進

行している。高齢化が進む中で、高齢者の介護問題、年金問題、社会福祉・社会保険・老人医療の問題など、早急な解決を必要とする深刻な社会問題が山積している。こういった、いわゆる「高齢者問題」にいかに取り組みべきかを真剣に考え、迅速に対処することが現代社会を生きる私たちの一つの課題なのである。

本講義は、これまで提示されてきたさまざまな高齢化社会論を整理し、わが国の「高齢社会」の実態とその動向に伴う社会変化の必要性など、「高齢社会」とそこに内在する諸問題（特に介護問題）について具体的に考えていきたい。

【教科書】

なし

【参考書】

清水浩昭『日本人人口論』 放送大学
『高齢社会基礎資料』 中央法規

現代社会論

「犯罪からみる現代日本社会」 2単位 秋学期
【経商医理】 芹沢 一也

【授業科目の内容】

犯罪は社会を映す鏡だと言われる。本講義は犯罪を通して、現代日本社会を照射しようというものである。だが、ある犯罪を生み出した社会は一体いかなる社会なのか、という問いを立てるのではない。そうではなく、犯罪に対する見方、語り方に、その社会の特質が現われると考える。

具体的には、日本社会の治安が崩壊したとする言説が巷間に流布しているが、まずこのことがまったく事実ではないことを説明し、ではなぜそのような治安悪化言説が定着したのかを、犯罪をめぐる語りを分析することによって明らかにしていく。そして、犯罪をめぐる現在のわたしたちの社会が、いかなる方向に向かいつつあるのかを展望する。

講義を通じて、メディアや統計に対して懐疑的であること、つまりは批判的な態度をつねに保つことの重要性を学んで欲しい。

【教科書】

芹沢一也『ホラーハウス社会』（講談社＋ 新書）
浜井浩一・芹沢一也『犯罪不安社会』（光文社新書）

【参考書】

授業中に紹介する

現代生物学概論

「生命科学、生命工学の最先端」 2単位 秋学期
【商理】 井本 正哉 他

【授業科目の内容】

生命体は、タンパク質、糖、脂質等が整然と制御されて動的平衡にある化学物質の集合体と見ることもできる。また、血液が体の隅々まで流れ、神経細胞には電子が流れて刺激が伝わるように、精緻な物理現象の場であると見ることもできる。また、免疫作用や発生の仕組み

を見ればトータルなシステムとして制御されていると言うこともできる。さらに遺伝子や脳のことを考えれば、情報論の概念で捉えることもできる対象である。これらの神秘を解明することは興味の尽きないところであるが、一方これらの機能を護ること、利用することも非常に重要である。

「機能を護る」とは即ち健康を保つ、回復することであり、即ち医学ということになる。「使う」一例は、食料生産であり、物質変換にも生命機能は利用されている。

本講義では、これら様々な現代生物学の科学と工学に関するトピックの中から、幾つかのテーマを選び平易に解説する。

【参考書】

太田博道、柳川弘志編著
『生命科学への招待』三共出版、本体価格2200円

現代世界史

「20世紀の国際政治史とイラク戦争」 2単位 春学期
【経商医理】 斎藤 直樹

【授業科目の内容】

20世紀は二度にわたる世界戦争と半世紀近くに及んだ冷戦に彩られたことから、「戦争の世紀」と言われる。そうした「戦争の世紀」が終わったからといって、21世紀が調和と均衡のとれた明るく輝く世界であることが保証されているわけではない。これは2001年の「同時多発テロ事件」と2003年のイラク戦争の勃発が正確に物語るとおりである。今、21世紀を迎え世界は予想もできない混迷の時代に突入している。今後の21世紀がどのような世紀になるのだろうか。これを知るためには20世紀がどのような世紀であったのかという問いかけが行われる必要がある。20世紀の歴史は21世紀の世界に多くの教訓を与えるものであり、新世紀のための道しるべとなるはずである。本講はこうした問題意識の中で、20世紀の歴史を通観した上で、2003年に起きたイラク戦争を取りあげる。

【教科書】

斎藤直樹『イラク戦争と世界』現代図書

【参考書】

斎藤直樹『現代国際政治史』（上、下）北樹出版

現代メディア論

「メディア史から考える社会の変化と人間の変容」 2単位 秋学期
【経商医理】 木下 京子

【授業科目の内容】

身近なところでコンピュータや携帯電話の急速な普及や技術の進化は、生活形態や人間関係、社会環境だけではなく、私たち自身の思考法や諸感覚にまで大きな変化をもたらしている。そこでメディアの歴史を振り返り、新たなメディアが成立し発展する過程や社会にもたらした影響などをさまざまな角度より検証し、現況に照射して考察する。

【教科書】

授業時にプリントを配布

【参考書】

佐藤卓己『現代メディア史』岩波書店、1998年

現代メディア論

「美術と写真の関係からメディアとしての写真映像の特性を考える」 2単位 秋学期

【経商医理】

近藤 幸夫

【授業科目の内容】

私たちが日常でなげなく消費している写真映像の存在論的な部分を、絵画と写真の歴史的な関係、美術のなかで写真が如何に使われてきたか、写真を使った現代美術作品などを通じて考えます。

美術のさまざまな局面で現われる写真の使用を検討することによって表現媒体としての写真の特性を明らかにします。授業はスライドを使用し、ある程度個々の作品を覚えることを前提とします。映像や写真に興味のない学生にとって内容の特殊性から、授業についてゆけず単位を落としてしまうことも考えられますので注意してください。日頃、現代美術や写真に興味を持っている学生、あるいは、私の「美術」をすでに受講し美術の基礎知識をもっている学生の受講を希望します。

【教科書】

ありません

【参考書】

適宜、授業中に挙げます。

国語国文 / 国語国文（春学期）

「絵入り古典文学を読む」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経商医】

石川 透

【授業科目の内容】

日本の古典文学は多くの絵入り本を生み出した。その絵入り本について、具体的に取り上げ、実物の作品を鑑賞する。

【教科書】

石川 透『慶応義塾図書館蔵 図解御伽草子』慶応義塾大学出版会

国語国文 / 国語国文（秋学期）

「漢文入門」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経商医】

佐藤 道生

【授業科目の内容】

国文学を理解する上で必要な漢詩文の知識を教授する。授業では、初めに我が国の漢学について概説し、その後、日本人が慣れ親しんだ漢文学作品をいくつか取り上げて読解する。

【教科書】

こちらで用意する。

国語国文a（春学期）/ 国語国文b（秋学期）

国語国文（通年）（水2）
「国語国文研究」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経商医】

寺澤 行忠

【授業科目の内容】

日本語で書かれたすぐれた作品の一つとして、『伊勢物語』と、『徒然草』をとり上げ、講読する。

日本語の美しさを味わい、日本語で書かれた文章やことばの意味を正確に読みとる訓練を行う。

【参考書】

『伊勢物語』『徒然草』（ともに岩波文庫）

国語国文a（春学期）/ 国語国文b（秋学期）

国語国文（通年）（木2）
「西行の和歌をよむ」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経商医】

寺澤 行忠

【授業科目の内容】

中世は戦乱うち続く時代であったが、同時にそれは、人間が生死の問題について深い思索をめぐらした時代であり、その意味では、きわめて面白い時代である。

その中世の文学作品の中から、西行の作品をとり上げて、よんでみたい。西行は、『新古今和歌集』において、最多の歌を撰入された新古今を代表する歌人の一人であるのみならず、わが国の自由人の、いわば典型を確立した人物であり、西行存世時から今日に至るまで多くの読者を獲得してきた。

その西行の作品として、今日二千首余りの和歌が知られているが、それらの中からすぐれたものを選んで解釈・鑑賞する。

【教科書】

平野宣紀校註『山家集抄』笠間書院

ジェンダー論

2単位 春学期

【文経商医】

鈴木 晃仁 長沖 暁子 他

【授業科目の内容】

文化的・社会的に形成される男女の差異を「ジェンダー」といい、これを考察する学問を「ジェンダー論」と呼んでいます。ジェンダーは、過去30年間の人文・社会科学全般において、もっとも大きなインパクトを与えてきた視点であり、北米・ヨーロッパの各国で大学・大学院に Gender Studies などの名称を持ったコースが設置されてきました。日本では市民権を得たのはこの10年くらいですが、現在の日本においても歴史と現代を理解し、未来を構想するために必要とされている考え方の一つであるといってもいいでしょう。法律・政治・経済・文学など、さまざまな領域をジェンダーという視点から分析することが、可能であり、ジェンダー論の領域は広範で

す。この授業は、ジェンダー論の基本的な視点を、入門的に学ぶことができるように設置されているものです。

【教科書】

なし

【参考書】

それぞれの講義で参考図書を紹介します。

ジェンダー論

2単位 秋学期

【文経商医】 鈴木 晃仁 長沖 暁子 他

【授業科目の内容】

文化的・社会的に形成される男女の差異を「ジェンダー」といい、これを考察する学問を「ジェンダー論」と呼んでいます。ジェンダーは、過去30年間の人文・社会科学全般において、もっとも大きなインパクトを与えてきた視点であり、北米・ヨーロッパの各国で大学・大学院に Gender Studies などの名称を持ったコースが設置されてきました。日本では市民権を得たのはこの10年くらいですが、現在の日本においても歴史と現代を理解し、未来を構想するために必要とされている考え方の一つであるといってもいいでしょう。法律・政治・経済・文学など、さまざまな領域をジェンダーという視点から分析することが、可能であり、ジェンダー論の領域は広範です。この授業は、ジェンダー論の基本的な視点を、入門的に学ぶことができるように設置されているものです。

【教科書】

なし

【参考書】

それぞれの講義で参考図書を紹介します。

自然科学特論

「21世紀を生きるために知っていたい化学」

2単位 春学期

【法政】 志村 正

【授業科目の内容】

宇宙が誕生したのはるか昔から現在まで、そしてこれから先も永遠に、自然科学はきわめて重要な役割を担い続けています。時間の長さから考えれば、最も大切な学問分野であるといっても過言ではありません。しかし、その内容は残念ながら科学者の中だけで取り扱われていて、なかなか一般の人々にまで伝わっていないのが実情です。

この授業では、数ある自然科学分野の中から化学を中心に将来それを専門としない法学部の学生諸君に対して、21世紀を生きるために是非知っておいていただきたい知識をできるだけ分かりやすく講義します。併せて、自然科学的な発想力と思考法を学習していただこうと考えています。

【教科書】

講義資料はwebサイト(URLは授業でお知らせします)にアップロードする予定です。

自然科学特論

「自然界の資源から有用な材料へ」 2単位 秋学期

【法政】 小野 雅之

【授業科目の内容】

高校化学でもなじみのある「金属のイオン化傾向」を念頭に置きながら、金属の製法や性質について、実作業の体験などを交えて解説します。併せて金属の歴史、最近注目の金属についても解説します。

【教科書】

特に使用しません。資料は適宜配布します。

【参考書】

富永博夫・櫻井宏・白田利勝著『資源の化学』、新化学ライブラリー：大日本図書
その他

自然人類学

「進化の産物としての自分を知る」 2単位 春学期

【商理】 青木 健一

【授業科目の内容】

自然人類学は、生物としてのヒトが辿ってきた進化の道程を明らかにし、ヒトが進化の産物であるがために有する特徴を理解することを目的としている。ヒトの形成には、遺伝的な変化による「遺伝」進化のほか、文化的な変化による「文化」進化も大きく寄与している。この講義では、具体的な事例を踏まえて、両方の進化の原理について分かり易く解説する。進化によって獲得されたヒトの特徴はさまざまであるが、我々が日常的に行っている社会行動についても進化の視点から詳述する。

【教科書】

なし

【参考書】

授業中に参考資料を配布する

社会科学概論 / 社会科学の考え方 (春学期)

「社会学者の社会科学」 2単位 春学期

4単位 通年

【経商医】 小野 修三

【授業科目の内容】

社会科学が社会を対象とするとした時、そしてその社会をわれわれが構成すると考える時、そこで営まれる社会科学は社会科学を営む人たるわれわれ社会学者を対象とするという側面があるはずである。この社会学者を社会科学の正当な対象とする時、どんな社会科学が営まれると言えることが出来るであろうか。

本講義はそうした社会科学の例として、R.S.Lyndの『何のための知識か』を挙げるが、このR.S.Lyndに学びつつ、丸山真男、きだみのる、Michel Foucault、石田雄などの社会学者の業績を検討して行く。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

社会科学概論 / 社会科学の考え方 (秋学期)
 「近代日本の異色の人間像」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【経商医】 小野 修三

【授業科目の内容】

同時代人からは白い目で見られた人物でも、現代のわれわれにはむしろそうした人々の方がわれわれの価値観に近いものがある、と感じられることがある。この時間はそうした「異色の日本人」たちに関する私なりの伝記的理解を提示し、人間についての社会科学を営んでみたい。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

社会学
 「世相から日本社会を読み解く」 2単位 春学期

【文経法商医理】 中山 和久

【授業科目の内容】

日本の社会について「生活様式」という視点から考えて頂くことを目的とします。具体的には、日本における様々な文化を、特に明治・大正時代における生活の中に見られる習慣や風習について紹介・考察し、現代の文化を視野に入れた上で再考することを目的とします。社会を、実際に生きる人々の生活の中に位置付けて理解する視角を身につけることが目標です。それは他者との相互理解を深める基礎力になると思います。

【教科書】

柳田国男『明治大正史 世相篇』講談社学術文庫(新装版)、1994年、1,200円

【参考書】

色川大吉『昭和史世相篇』小学館ライブラリー55(1994年)1,000円

社会学
 「宗教社会学」 2単位 秋学期

【文経法商医理】 粟津 賢太

【授業科目の内容】

宗教社会学や宗教人類学などの、社会的次元から宗教現象を理解しようとするアプローチの理論と方法を論じる。基礎的な理論や学説を学ぶとともに、出来るだけ具体的な事例に即して共に考察したい。現代の日本社会や世界情勢の中で露になる現象を理解するために必要な宗教の基本的な知識を身につけることも目的とする。そして、社会学の理論的な中核である宗教社会学的なものの見方と基本的な知識を習得するとともに、その今日的な意義を問う。

【教科書】

使用しない。プリントを配布する

【参考書】

テーマにそくして、その都度指示するが、次のものを目を通しておくことが望ましい。

マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』大塚久雄訳、岩波文庫、1989年。

井上順孝(編)『現代日本の宗教社会学』世界思想社、1994年。

中野毅(他編)著『宗教とナショナリズム』世界思想社、1996年。

山之内靖『マックス・ヴェーバー入門』岩波新書、1997年。

大谷栄一(他編)『構築される信念：宗教社会学のアクチュアリティを求めて』ハーベスト社、2000年。

ブライアン・ウイilson『宗教の社会学：東洋と西洋を比較して』中野毅・栗原淑江訳、法政大学出版会、2002年。

伊藤雅之(他編)『スピリチュアリティの社会学：現代世界の宗教性の探求』世界思想社、2004年。

櫻井義秀・三木英(編)『よくわかる宗教社会学』(2007年10月刊行予定)

社会学 / 社会学 (春学期) 2単位 春学期

4単位 通年
 【文経法商医理】 三浦 直子

【授業科目の内容】

この講義の一番重要な研究対象となるのは、「今この日本に生きている『自分自身』の在り方」について、である。自分の中に深く根を下ろしている社会の「常識」(あるいは「偏見」と呼ばれる固定観念を問い直し、あらためて「自らの考え・行い」がどのような時代的・社会的影響を受けて形成されてきたのかを省みること。それは、既存の社会の枠組み(そして、そこに埋没してきた「自分自身」)から自由を得るための第一歩でもある。講義では、視覚教材を取り入れ、身近な日常世界に関する問題提起を行いつつ、そこから掘り下げて自分の心の内側に入り込んでいる様々な「社会の枠組み」を考察するために、現代社会の具体的な様相をミクロ(社会学・春学期分)からマクロ(社会学・秋学期分)へと至る諸事象・多岐にわたるフィールドから取り上げていきたい。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義時に適宜紹介します。

社会学 / 社会学 (秋学期)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

三浦 直子

【授業科目の内容】

秋学期分(の「社会学」)では、春学期に引き続き、よりマクロで動的な視点から、社会とそこに生きる「人々の考え・行い」について考えてみたい。まず、私たちが最初に接する社会集団である「家族」の歴史の変遷をたどりながら、人々の価値観(考え)の変化と社会における宗教の位置づけの変化について、将来の超少子高齢社会への展望も含めて検討する。次に、「家族」の背景にある「社会階層」が現代日本でどのような作用を及ぼしているのかについて、家族をめぐる感情の歴史的形成や、社会的行為としての恋愛、学校教育と家庭環境(ライフスタイルや言語)などとの関連から考察する。このような講義内容を通じて、いま一度「自らの考え・行い」がどのような影響を受けて形成されてきたかについて、マクロな社会的文脈のなかに位置づけて、考えをめぐらせてもらいたい。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義時に適宜紹介します。

社会学 a (春学期) / 社会学 b (秋学期)

社会学 (通年)

「社会心理学」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

榊 博文

【授業科目の内容】

現代社会心理学の対象・方法・歴史についてまず講義し、個人と個人の関係、個人と集団の関係、集団や社会の影響、集合現象について論じる。中でも、流行、流言、マスコミ、広告、デマ、普及、など、集合現象に重点を置いて講義する。

【教科書】

青池・榊 編著『現代社会心理学』慶應大学出版会

【参考書】

榊 博文『説得と影響 交渉のための社会心理学』ブレーン出版

社会学 a (春学期) / 社会学 b (秋学期)

社会学 (通年)

「食・農・地域の社会学」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

土居 洋平

【授業科目の内容】

本講義では、二つのことを行います。ひとつは、社会学という学問の視点・考え方を様々な現象を通じて紹介

していくことです。もうひとつは、私たちにとってもっとも身近な「食べること」というテーマを社会学的な視点をもって探求し、その農業生産や地域社会への広がりを考えていくことです。

前期の講義においては、社会学についてのごく基本的な考え方について紹介した後に、様々なトピックをもとに、社会学の考え方を紹介していきます。これを通じて、社会学の概要や全体像についてイメージできるようになることを目指します。また、後期の講義においては、「食べること」という身近な行為の背後に広がる世界～農業・農村・流通・消費～を、社会学的視点から描いていきます。これによって、ひとつのテーマについて社会学的に考える力を身につけることを目指します。

【教科書】

藤田弘夫・西原和久編 『権力から読みとく現代人の社会学・入門 増補版』有斐閣、2000年(前期)

榊 博文・松村和則編 『食・農・からだの社会学』新曜社、2002年(後期)

【参考書】

授業中に適宜指示します

社会学 a (春学期) / 社会学 b (秋学期)

社会学 (通年)

「コミュニケーションの社会学」2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

藤川 千歳

【授業科目の内容】

社会はいかにして成り立つか、と問うたときに、重要な答えとしてコミュニケーションが考えられます。コミュニケーションによって創られた無数の関係が網のように張り巡らされ、社会を、それを構成する私たち自身を作り上げています。けれど、あまりに自明のことゆえに、普段その仕組みや役割などを改めて問うことは稀でしょう。本講義では、コミュニケーションの構造や機能を紐解きながら、それがなぜ社会を作っているか、ということを考えていきます。

【参考書】

授業で、参考書リストを渡します。

社会心理学

「社会的認知と対人行動」

2単位 春学期

【政商メコ】

萩原 滋

【授業科目の内容】

春学期は、自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題を取り上げる。すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。

【教科書】

使用しない

【参考書】

山本真理子他編『社会的認知ハンドブック』 北大路書房、2001

唐沢穰・池上知子・唐沢かおり・大平英樹『社会的認知の心理学 社会を描く心のはたらき』 ナカニシヤ出版、2001

社会心理学

「メディアとコミュニケーション」 2単位 秋学期
【政商メコ】 萩原 滋

【授業科目の内容】

秋学期は、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」過程に関わる諸問題を取り上げる。対人コミュニケーションに関しては「説得効果」、マス・コミュニケーションに関しては「テレビの社会的機能、对人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究成果を紹介する。

【教科書】

使用しない

【参考書】

萩原滋・国広陽子編『テレビと外国イメージ メディア・ステレオタイプ研究』 勁草書房、2004
 萩原滋編著『変容するメディアとニュース報道 テレビニュースの社会心理学』 丸善、2001
 田中義久・小川文弥編『テレビと日本人 「テレビ50年」と生活・文化・意識』 法政大学出版局、2005

宗教学

「一神教研究の諸相：聖典テキストのなりたちと解釈の問題」 2単位 春学期
【文経法政商医理】 高木 久夫

【授業科目の内容】

ヘブライ語聖書（いわゆる旧約）は、ユダヤ教の聖典であるばかりでなく、キリスト教の正典の一部ともなり、イスラームにおいても啓示の原形をコーランと共有するとされます。このヘブライ語聖書の成立をめぐる文献学の議論を起点とし、まずユダヤ教の宗教的テキストの集成過程と中世における解釈理論を概観します。さらにキリスト教とイスラームがそれぞれ新約聖書、コーランなどのテキストをどのようにとらえて来たかにも簡単に触れます。宗教史的アプローチから一歩踏みこんで、テキストに付与された解釈があらたにテキストとなって行く連鎖的なダイナミズムを捉え、この三つの宗教における「テキスト解釈にもとづく宗教」という性格の重要性を理解することを目指します。

【教科書】

教科書ではありませんが、聖書（いわゆる旧約をふくむものなら訳は問いません）は必ず用意してください。講義でも資料を配布します。なお参考書のうち何を讀んだかを、試験のさい申告してもらいます。

【参考書】

聖書（“旧約”・新約）/コーラン/C.レヴィン『旧

約聖書 歴史・文学・宗教』教文館/R.C.ムーサフ＝アンドリーセ『ユダヤ教聖典入門』教文館/リチャード・ベル『コーラン入門』ちくま学芸文庫

宗教学

「一神教研究の諸相：中世社会は異教徒をどのように捉えたか」 2単位 秋学期
【文経法政商医理】 高木 久夫

【授業科目の内容】

中世のキリスト教世界とイスラーム世界が、少数派・異教徒をどのように捉えたかを、思想史と社会史の両面から概観します。一神教的な異教徒観の原形として、ユダヤ教（古代イスラエルの宗教をふくむ）の異教徒観を確認してから、“世界宗教”というセルフ・イメージをもつキリスト教とイスラームが、それぞれを、またユダヤ人をどのように見たかを検討します。宗教の狭さと寛さが、はたして「民族宗教」か否か、「律法主義」か否かというなりたちと関係するのか、また異教徒への寛容度とホスト社会内部での世俗知への寛容度に相関性はあるのかについて考えます。エスニシティの問題、多元主義の問題、宗教・政治・哲学という中世宗教思想の三つ組みなどを理解するうえで、有益な視点を提供することを目ざします。

【教科書】

とくに指定しませんが、講義で資料を配布します。なお参考書のうち何を讀んだかを、試験のさい申告してもらいます。

【参考書】

L. ポリアコフ『反ユダヤ主義の歴史』1～2巻・筑摩書房/M.R. Cohen:『Under Crescent & Cross』Princeton/A.マアルーフ『アラブが見た十字軍』/安達かおり『イスラーム・スペインとモサラベ』彩流社

宗教学a（春学期）/宗教学b（秋学期）

宗教学（通年）

「ユダヤ教・キリスト教・イスラームの歴史のアウトライン」 2単位 春学期/秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 高木 久夫

【授業科目の内容】

今日では中立的に Abrahamic religions と呼ばれることの多いユダヤ教・キリスト教・イスラームの歴史を概観し、それぞれの文化形成の特色と相互関係について理解を深めます。宗教への知的アプローチの類型にふれたのち、ヘブライ語聖書を生んだ古代イスラエルの思想、ラビ・ユダヤ教、キリスト教、イスラームを、おおむねオープンかつ時系列的に取りあげます。中世までを一応の範囲とし、できれば世俗主義擡頭の背景を考えて結びとします。日本人の啓示宗教理解は過去の欧米の宗教観に依存するため、無自覚的にキリスト教本位です。とくにユダヤ学の知見を取り入れ、これを可能なかぎり是正します。講義は人文学と思想史の方法に立ちますが、これ

は過去のテキストがしばしば今日のコンテキストをよく説明する一方、逆のアプローチはほぼ挫折するからです。履修後ある程度専門的な文献を独力で理解できることを目指します。

【教科書】

購入を義務づけはしませんが、聖書(“旧約”・新約)がないと不便でしょう。そのほかは講義で資料を配布します。なお参考書のうち何を読んだかを、試験のさい申告してもらいます。

【参考書】

聖書(“旧約”・新約)/コーラン/石田友雄『ユダヤ教史』山川出版社/J.グットマン『ユダヤ哲学』みすず書房/上智大学中世思想研究所編訳『キリスト教史』(6巻まで)平凡社ライブラリー/井筒俊彦『イスラーム思想史』中公文庫/中村廣治郎『イスラーム 思想と歴史』UP選書、など(講義で紹介します)

身体文化論

「ダンスと身体」

2単位 春学期

【経商理】

稲田 奈緒美

【授業科目の内容】

身体は、生理的、物理的な存在であると共に、歴史的、社会的な存在です。どのように身体を使って意志や感情を伝えるか、どのように身体を着飾って個性を表現するかなどは、時代、地域、社会、民族、性別、階級などによって異なります。多様で多義的な身体とその文化について、この授業では主にダンスという切り口を通して解説します。身体とその動きを素材、媒体とする芸術、文化であるダンスは、古今東西さまざまに変化してきました。様々なダンスの身体に現れる動作、身振り、フォーム、スピード、リズム、ダンサーの体格、衣装などを具体的に取り上げ、また、その社会的な背景を考えることによって、身体にまつわる文化を幅広く学びます。

【教科書】

特に使いません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

人文総合講座 / 人文総合講座

「21世紀のアメリカの行方」

2単位 春学期

【経法政商】 鈴木 透(コーディネーター)

近藤 光雄 杉浦 章介
マイケル・エインジ 奥田 暁代
常山菜穂子

【授業科目の内容】

21世紀のアメリカは、民族構成が大きく変化しつつある中、貧富の差の増大や文化戦争など、国内には分裂の危機を抱え、一方、対外的には、冷戦の終結からテロとの戦いへという転換点を迎えて、これまで未経験の次元に足を踏み入れようとしています。この授業では、「マイノリティー」、「メディア」、「コミュニティー」、「集団的記憶の再構築」の4つのキーワードを軸に、アメリカ

がこの難局をどう乗り越えようとしているのか、未来のアメリカを方向づけようとする知の潮流を、現代アメリカが抱える様々な社会現象・文化現象の中から領域横断的に探り当て、アメリカ社会の現状と今後を展望します。とりわけこの授業では、こうした新たな時代状況の中で、従来からの積み残し課題と現代アメリカ社会がどう向き合おうとしているのかに着目しながら、アメリカ社会にどのような変化が忍び寄ってきているのかを考えるとともに、そうした新たな動きがアメリカという枠を越えていかなるインパクトを持ちうるのか、考えていきます。

【教科書】

近藤光雄 他 『記憶を紡ぐアメリカ：分裂の危機を超えて』 (慶應義塾大学出版会、2005)

【参考書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』(慶應義塾大学出版会、2003)

住宅・建築史概論

2単位 春学期

【経商医理】

岸本 達也

【授業科目の内容】

建築デザインとその形式は、その時代の技術、文化や社会システムと関係している。この授業では古代から近現代までのその歴史的な変遷について学びます。

【教科書】

プリントを配布する予定

【参考書】

『三訂版 西洋建築史図集』 日本建築学会編 彰国社
『日本建築史図集』新訂版 日本建築学会編 彰国社
『建築史』 オーム社 堀口捨己ほか
『図説 建築の歴史 西洋・日本・近代』 西田雅嗣ほか 学芸出版社
『空間・時間・建築』 S.ギーディオ 丸善
『西洋建築入門』 森田慶一 東海大学出版会
『日本建築史序説』 大田博太郎 彰国社
その他

女性学

「性とは何か？」

2単位 春学期

【文経商理】

長沖 暁子

【授業科目の内容】

性、もっとも身近でありながら、実ははっきり認識している人は少ないでしょう。もし、性別がなければ性別も存在しなかったはずで、セックス(生物学的な性)とジェンダー(社会的・文化的な性)の違いを学ぶことで、既成の女性観・男性観がどうやって作られてきたかを知ること、そしてさまざまな話題から性の多様性を知ることがこの授業の目的です。「性とは何か」を知るとは、各自の人間観・社会観を豊かにすることになるかもしれません。

この授業では、性に関するあらゆるテーマ、例えば性差、ジェンダー、性行動、セクシュアリティ、セクシュアル・マイノリティ、妊娠、出産、避妊・中絶、生殖技術、性行為感染症、性暴力、買春などを対象にし、グループ発表と討論を中心に考えます。

【教科書】

使いません。

【参考書】

テーマに応じて紹介します。

女性学

「セクシュアリティとジェンダー」 2単位 秋学期

【文経商理】 西山 千恵子

【授業科目の内容】

セクシュアリティは、性現象と訳されることがあります。やや抽象的ですが、女性学ではセクシュアリティ論として、性をめぐる諸問題、諸課題が論じられてきました。例えば性行動、性意識における男女差や、男女の関係、売買春、ポルノグラフィー、妊娠・避妊・出産・中絶など性と生殖に関する問題、性表現、性をめぐる欲望やファンタジー、性暴力、性教育、婚姻制度などさまざまに広がります。

一方、最近の女性学は、「女性・男性」という区分を自明視せず、性別を相対化して捉えようとする傾向があります。その中で、性別についての自己同一性や、異性愛、同性愛などの議論も展開してきました。また、女性学のみならず、セクシュアリティをめぐる研究やセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の主張を反映する社会的な動き、情報はますます広がりつつあります。

授業では、女性学のキーワードであるジェンダー（社会・文化的性別）概念を中心に、これらセクシュアリティ論の入門的理解を目指すとともに、現代の性をめぐる諸問題のいくつかを取り上げ検討します。ビデオ教材を使用することもあります。

【教科書】

特に使用しません。授業時に資料等を配布します。

【参考書】

授業時に適宜紹介します。

心理学履修ガイド

心理学は自分の所属する学部に設置されている心理学のみ履修申告できます。設置学部以外の学生は履修申告の結果、定員に余裕がある場合に限って心理学研究室で手続きの上、追加履修申告（5月上旬）時に申告することができます（下表参照）。追加申告できる心理学については4月下旬に発表予定の抽選結果で確認してください。

【文学部設置心理学】

文学部の学生のみ履修申告することができます。経済学部、法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は文学部の時間割で確認してください。

文	心理学	小嶋 祥三	春学期	2単位
文	心理学	小嶋 祥三	秋学期	2単位
文	心理学	増田 直衛	春学期	2単位
文	心理学	増田 直衛	秋学期	2単位
文	心理学	望月 要	春学期	2単位
文	心理学	望月 要	秋学期	2単位

【経済学部設置心理学】

経済学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は経済学部の時間割で確認してください。

心理学	曾我 重司	春学期	2単位
心理学	曾我 重司	秋学期	2単位
心理学	中野 泰志	春学期	2単位
心理学	中野 泰志	秋学期	2単位

【法学部設置心理学】

法学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、経済学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は法学部の時間割で確認してください。

心理学	菅野理樹夫	春学期	2単位
心理学	菅野理樹夫	秋学期	2単位
心理学	鈴木 恒男	春学期	2単位
心理学	鈴木 恒男	秋学期	2単位
心理学	福田 真実	春学期	2単位
心理学	福田 真実	秋学期	2単位

【商学部設置心理学】

商学部の学生のみ履修申告することができます。文学部、経済学部、法学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。登録番号は商学部の時間割で確認してください。

心理学	小松 英海	春学期	2単位
心理学	小松 英海	秋学期	2単位
心理学	木島 伸彦	春学期	2単位
心理学	木島 伸彦	秋学期	2単位

心理学

2単位 春学期

【文】

小嶋 祥三

【授業科目の内容】

春学期は下記の教科書を利用して、心理学のいろいろな領域の研究を広く（したがって浅くなる）紹介する。

【教科書】

心理学の基礎（三訂版）今田・宮田・賀集 共編（培風館）

心理学

2単位 秋学期

【文】

小嶋 祥三

【授業科目の内容】

主に認知機能に焦点をあてて、脳の機能をからませながら、この領域の研究の状況を解説します。

心理学

「知覚・認知」

2単位 春学期

【文】

増田 直衛

【授業科目の内容】

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。

心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで「心」を理解しようとしてきました。そして行動を個体と環境との相互作用としてとらえようとしています。

ここでは、個体がいかに環境からの情報を得て行動しているのか、知覚、認知を中心に講義をします。

【教科書】

テキストは特に指定しません。

講義中に参考になる図書をそのつど紹介します。

【参考書】

大山 正ほか著『心理学のあゆみ』（新版）有斐閣新書

野口 薫ほか著『心理学入門』（新版）有斐閣新書

心理学

「行動・個性」

2単位 秋学期

【文】

増田 直衛

【授業科目の内容】

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。

心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで

「心」を理解しようとしてきました。そして行動を個体と環境との相互作用としてとらえようとしています。

ここでは、環境に適応して生きていくためにどのような行動するか、動物も含めて行動変容のダイナミズムを講義します。また、個性はどのように理解され、それはどのように形成されてくるのか考えます。

【教科書】

テキストは特に指定しません。

講義中に参考になる図書をそのつど紹介します。

【参考書】

大山 正ほか（著）『心理学のあゆみ』（新版）有斐閣新書

野口 薫ほか（著）『心理学入門』（新版）有斐閣新書

心理学

「知覚と認知の心理学」

2単位 春学期

【文】

望月 要

【授業科目の内容】

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的方法で探求する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貰うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貰うことが、この授業の一番の目的である。春学期の『心理学』では、知覚と認知に関する心理学を取り上げる。秋学期の『心理学』と通して履修することが望ましい。

【教科書】

使用しない。授業資料は授業用web site

(<http://web.hc.keio.ac.jp/moc/psychology/>)で配布する。

【参考書】

授業中に随時紹介する。

心理学

「行動分析学入門」

2単位 秋学期

【文】

望月 要

【授業科目の内容】

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的方法で探求する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貰うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象

が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貰うことが、この授業の一番の目的である。春学期の『心理学』に引き続き、『心理学』では行動分析学について紹介する。できれば『心理学』と通して履修することが望ましい。

【教科書】

使用しない。授業資料は授業用web site

(<http://web.hc.keio.ac.jp/moc/psychology/>) で配布する。

【参考書】

授業中に随時紹介する。

心理学

「ヒトは環境をどのように知覚するのか」

2単位 春学期

【経】

曾我 重司

【授業科目の内容】

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。現代心理学の方法論、人間と他の動物の比較に基づく生物としての人間の特徴、有機体を取りまく環境世界からの情報をどのように取り入れているのかなど、主に知覚・認知的側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

【教科書】

特に指定しない(必要な資料は講義中に配布する)

【参考書】

特に指定しない

心理学

「ヒトは環境にどのように働きかけるのか」

2単位 秋学期

【経】

曾我 重司

【授業科目の内容】

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。ヒトが自らを取り巻く環境に対してどのように働きかけているのかについて主に行動・個性の側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

【教科書】

特に指定しない(必要な資料は講義中に配布する)

【参考書】

特に指定しない

心理学

「知覚・認知心理学の教育・福祉・支援技術への応用」

2単位 春学期

【経】

中野 泰志

【授業科目の内容】

心理学は人間や動物の純粋な経験(現象)を整理し、その働き(機能)や意味を明らかにし、さらにその背景にあるメカニズム(機序)を探究する学問です。その究極の目的は、人間や動物の「こころ」(行動)の理解と

予測であり、個々の豊かな生活(Quality of Life ; QOL)を保障し、過ごしやすい社会を形成するための知見を科学的に究明していくことです。

本講義の最大の特徴は、実験心理学の研究手法や成果を、主として障害児・者の教育・福祉や彼らの生活をより豊かにする支援技術等と関連させながら紹介する点にあります。超高齢社会を目前にしている今、障害や福祉は身近な問題になりつつあり、最先端科学技術等を用いてその問題点を解決する支援技術が注目を集めています。「障害」を理解し、支援技術等を用いて、障害がある人達の教育や福祉を実現するためには、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たします。例えば、目が不自由であっても単独で行動することは可能なわけですが、白杖(白い杖)や盲導犬が自動的に導いてくれるわけではありません。白杖や盲導犬という道具を使って目の不自由な人自身が「自分はどこに行きたいのか」「そのためにはどういうルートをとるのか」「そのルートに沿って移動するためにはどういう手がかりがあるのか」「ルート中に段差や穴や障害物はないか」「迷ってしまったときにどうするか」等を判断しながら移動していきます。このような判断がより安全に、効果的にできるためには、人が環境や地理を知覚・認知する方法を科学的に明らかにしなければなりません。このように、本講義では、知覚・認知心理学が対象とする諸現象や科学的方法論を障害児・者の教育・福祉に関する具体的な事例や支援技術開発と関連づけながら、わかりやすく解説します。

【教科書】

講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト「<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

【参考書】

適宜紹介します。

心理学

「行動・個性の測定と発達」

2単位 秋学期

【経】

中野 泰志

【授業科目の内容】

私達人間を含め、生物にはそれぞれ個性があり、同じ状況下でも、それぞれが異なる行動をすることがあります。そして、それぞれがユニークでかけがえのない存在です。本講義では、それぞれの行動や個性がどのように形成され、変容していくのかについて紹介します。また、科学としての心理学がどのような方法で行動や個性を測定するかについて、実習等を交えながら、解説します。それぞれの個性的な行動がどのようにして発達するのか、また、何らかの原因で発達が阻害された場合に、どのような困難(障害)が生じるのかについても概観します。さらに、行動や個性を変えるためには、どのような取り組みが可能かについて、適宜、事例も紹介しながら、理論的に解説します。

本講義の最大の特徴は、心理学の研究手法や成果を、教育や福祉や支援技術と関連させながら紹介する点です。少子化や超高齢化により、教育や福祉は身近な問題になりつつあります。これらの問題に対して、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たしていることを具体例を挙げながら、解説していきます。

【教科書】

講義内容のポイントをまとめた資料は、webサイト「<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakanoy/>」よりダウンロードできます。ただし、webサイトは、パスワードによるアクセス制限をかけています。パスワードは、講義の際にお伝えします。

【参考書】

適宜紹介します。

心理学

「精神の座の変遷と視覚系に関連する脳の構造と機能」
2単位 春学期
菅野 理樹夫

【法政】

【授業科目の内容】

科目概要と到達目標

心理学、あるいは環境心理学とは何かを、どのように明らかにしようとする学問なのかについて考える。自らを取り巻く日常生活のかかわり合いの中から考える。そして、その中で人間は環境をどう捉え、どのように関わりあうのか？ そのとき人間は環境のことをどれだけ知っているか、あるいは環境を知っている自分のことについてどれだけ知っているのだろうか？ このようなことを理解するためには何を知らなければならないかについてできるだけわかりやすく解説する。

本講は環境科学と行動科学の関連性を重視しながら人間の「意図」あるいは、その背景に潜む本質を考えることが目標である。これらのことを知るためには基礎的な知識が必要である。たとえば、人間の生理学的側面である脳の構造と機能、神経系、視覚系などである。また、心理学的側面として感覚、知覚、認知、記憶、学習、発達、知能などの領域がある。人間が環境世界をどのように見ているか、あるいは環境世界とどう折り合いをつけて共存していくかということについて考えていただきたい。特に基礎知識は必要としない。受講を希望する学生は講義でこれらのことを理解できるように努力する態度をもつことが望ましい。

【教科書】

作成中

【参考書】

随時案内

心理学

「人間は環境世界をどのように知覚し行動するのか 条件付けとは何か。知能の物語」
2単位 秋学期
菅野 理樹夫

【教科書】

作成中

【参考書】

講義の中で随時必要な文献を指示する。

以下の文献は知覚心理学を理解するために必要な概念とその歴史的、哲学的背景が詳述されているので参照されたい。

1. J.J.ギブソン著、古崎敬他共訳『生態学的視覚論 - ヒトの知覚世界を探る』サイエンス社 1985
2. T.J.ロンバルド著、古崎、境、河野監訳『ギブソンの生態学的心理学 - その哲学的、科学史的背景』勁草書房 2000
3. 境 敦史他共著『ギブソン心理学の核心』勁草書房 2002

心理学

「知覚・認知（見ることを考えることから論理的思考を養う）」
2単位 春学期
鈴木 恒男

【法政】

【授業科目の内容】

我々が物を見ることを日常的に行っているのだから、目を開けば見えることは当たり前だと思っている。しかし、見るとは何をやっているのかに関しては、自分で行っているのに自分では分からない。

この日常的な行動である誰でもが行っているが自分では何が行われているかが理解できない行為である見ることを考え、その行為を論理的に説明することを行う。その繰り返しから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要であれば授業で紹介する。

心理学

「行動・個性（人間の行動を観察することから論理的思考を養う）」
2単位 秋学期
鈴木 恒男

【法政】

【授業科目の内容】

我々が日常的に行っている行動はほとんど無意識である。何故その行動が起こるのであるのか、その行動は何を目的としているのだろうか、等のことは意識することはほとんど無い。日常的に行っている行動を取り上げ、その行動理由その他を分けることが出来るのだろうかを考えることから、社会科学の考え方の基本である論理的

思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要であれば授業で紹介する。

心理学

「心理学の基礎を学ぶ(知覚・認知)」実験から考える

2単位 春学期

【法政】

福田 真実

【授業科目の内容】

心理学的なものの方、考え方、研究のすすめ方について、様々なトピックスを例として解説し、実験とその解析を中心として心理学の基礎的な力を身につけることを目的とします。簡単な解説や実習を行います。ビデオやDVD、等を用います。

【教科書】

長谷川寿一『はじめて出会う心理学』(有斐閣アルマ)有斐閣

【参考書】

授業時に指示

心理学

「心理学の現在を学ぶ(行動・個性)」 2単位 秋学期

【法政】

福田 真実

【授業科目の内容】

心理学の様々な領域における研究の現状について学ぶこと、社会で話題になっている事柄を心理学で理解する可能性について探求します。トピックスに対して、自分の視点を作り、表現していくことが大切だと考えています。

【教科書】

長谷川寿一『はじめて出会う心理学』(有斐閣アルマ)有斐閣

【参考書】

授業時に指示

心理学

2単位 春学期

【商】

木島 伸彦

【授業科目の内容】

本講義では、心理学の広範な領域のうち、知覚心理学、認知心理学を中心とした基礎的な心理学について、基本的な知識や考え方を身につけることを目的とします。

心理学は人あるいは動物の行動を対象として科学的にアプローチする学問と言えます。人の「こころ」のようなどころのないものではなく、人や動物の測定可能な「行動」を対象とします。知覚心理学では、人間が外界をどのように知覚しているか、そのメカニズムとプロセスについて概説します。また、認知心理学では、人

が何かを理解するとはどういうことなのか、そのメカニズムとプロセスについて概説します。

さらに、知覚心理学、認知心理学では、参加者全員でできる実験を行います。また、希望者には、知能テストを受けてもらい、どのように「知能」を測定しているのかを、理論だけではなく、実際に体験してもらいます。

【教科書】

- ・特に指定しません。講義資料プリントを配布します。
- ・講義資料プリントはwebサイトよりダウンロードできます。
- ・webサイトのアドレスはガイダンスの時にお知らせします。

【参考書】

- ・特に指定しません。授業中に適宜紹介します。

心理学

2単位 秋学期

【商】

木島 伸彦

【授業科目の内容】

本講義では、心理学の広範な領域のうち、学習心理学、パーソナリティ心理学を中心とした心理学について、基本的な知識や考え方を身につけることを目的とします。

心理学は人あるいは動物の行動を対象として科学的にアプローチする学問と言えます。人の「こころ」のようなどころのないものではなく、人や動物の測定可能な「行動」を対象とします。本講義では、人の特定の「行動」が如何にして起こるのか、基本的なメカニズムを紹介しながら、人の様々な行動への理解を深めて行きたいと思えます。さらに、いわゆる「こころの病」と言われる症状について、様々な症状の特徴、治療法、予防法も紹介していきます。

また、本講義では、講義だけではなく、希望者にはパーソナリティ・テストを受けてもらい、巷に溢れている心理テストとは異なる学術的に用いられている心理テストの理論と実際にも触れてもらう予定です。

【教科書】

- ・特に指定しません。講義資料プリントを配布します。
- ・講義資料プリントはwebサイトよりダウンロードできます。
- ・webサイトのアドレスはガイダンスの時にお知らせします。

【参考書】

- ・特に指定しません。授業中に適宜紹介します。

心理学

「知覚・認知」

2単位 春学期

【商】

小松 英海

【授業科目の内容】

人間は外界を知覚し、その知覚した環境の中で行動している。心理学では、こうした人間の働きのうちで、知覚と認識の部分を重点的に考える。そもそも人間にとっての環境とは何で、そこから何を情報として得ている

のかに焦点を当て、日常生活での経験と関連づけて考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを随時行っていく。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

心理学

「学習・個性」

2単位 秋学期

【商】

小松 英海

【授業科目の内容】

人間は外界を知覚し、その環境の中で行動している。その行動は他者を含む周囲の環境との相互作用を経る中で変容していく。このことを心理学では学習と呼んでいる。心理学では、この学習に焦点を当て、人間を含む生体の行動の法則性について考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを行うこともある。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

人類学a（春学期）／人類学b（秋学期）

人類学（通年）

「自然界の中のヒト：進化と変異」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経】

高山 博

【授業科目の内容】

ヒト（Homo sapiens）の定義を知っていますか？人類学的定義には、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は、現生種ヒト（地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位）が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なんです。どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

講義内容に近いものとしては、埴原和郎「人類の起源」（講談社）ルーウィン、R.（保志訳）「ここまでわかった人類の進化」（てらぺいあ）、馬場・高山編著「人類の起源」（集英社）

人類学

「進化から見た人類の理解」

2単位 春学期

【経商】

真家 和生

【授業科目の内容】

生命誕生から現在のヒトが形成されるまでの進化過程をたどりながら、人類の特徴がどのように獲得されてきたかを講義する。履修者は人体に秘められた進化過程に伴う獲得形質を実感することを目標としてもらいたい。

【教科書】

授業中に指示する予定。

【参考書】

適宜紹介する。

人類学

「体のしくみから見た人類の理解」

2単位 秋学期

【経商】

真家 和生

【授業科目の内容】

人類が世界各地の環境にどのように適応して拡散移住したのか、そしてその結果として現在の人類がどのような多様性を持つに至ったかを講義する。履修者は自分がこうした多様性のなかのどのような位置にいるのかを実感することを目標としてもらいたい。また、人類の動作や生理的特徴を解説。履修者は自分が人類であることをより深く実感することを目標としてもらいたい。

【教科書】

授業中に指示する予定。

【参考書】

適宜紹介する。

数学 / 数学（春学期）

「数学からのトピックス」

2単位 春学期

4単位 通年

【文】

竹中 淑子

【授業科目の内容】

bringing mathematics to life をモットウとする。数学の学力・能力に関係なく、数学を知る感動を分かち合い、また、数学の科学や社会への大きな広がり、応用の重要性を理解できるようにしたい。

【教科書】

竹中淑子著『数学からの7つのトピックス』（培風館、2005年、1800円）

【参考書】

随時、授業中に知らせる。

数学 / 数学（秋学期）

「線形数学入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文】

竹中 淑子

【授業科目の内容】

線形性 (linearity) という数学の基本的で重要な構造について学ぶ。つまり線形性をもつ空間から線形性をもつ空間への線形性をもつ写像について学習する。行列論入門ともいえる。

多くの社会現象が、上手に定式化することにより、これらの理論が使えることになる。グラフとネットワークの理論、マルコフ連鎖、数理計画法などへの応用を視野に入れて講義する。

【教科書】

竹中淑子著「線形代数学」培風館、1996年、1400円

数学 (春学期)

「数学からのトピックス」

2単位 春学期

【文法】

竹中 淑子

*文学部生は履修できません

【授業科目の内容】

bringing mathematics to life をモットウとする。数学の学力、能力に関係なく、数学を知る感動を分かち合い、また、数学の科学や社会への大きな広がり、応用の重要性を理解できるようにしたい。

【教科書】

竹中淑子著「数学からの7つのトピックス」(培風館、2005年、1800円)

【参考書】

随時、授業中に知らせる。

数学 (秋学期)

「線形数学入門」

2単位 秋学期

【文法】

竹中 淑子

*文学部生は履修できません

【授業科目の内容】

線形性 (linearity) という数学の基本的で重要な構造について学ぶ。つまり線形性をもつ空間から線形性をもつ空間への線形性をもつ写像について学習する。行列論入門ともいえる。

多くの社会現象が、上手に定式化することにより、これらの理論が使えることになる。グラフとネットワークの理論、マルコフ連鎖、数理計画法などへの応用を視野に入れて講義する。

【教科書】

竹中淑子著「線形代数学」培風館1996年、1400円

政治学 / 政治学 (春学期)

「ネイション・ステイト(国民国家)とナショナリズム」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

阿南 友亮

【授業科目の内容】

ネイション・ステイトおよびナショナリズムに関する基礎的な知識を習得し、我々の意識に深く埋め込まれているネイション(民族・国民)という共同体概念および

ナショナリズムに対して客観的な視点を養うことが本講義の目的である。春学期においては、主としてヨーロッパ、特にフランスとドイツにおけるネイション・ステイトの形成過程を概観する。

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

谷川稔『世界史リブレット35 国民国家とナショナリズム』(山川出版社)

なだいなだ『民族という名の宗教 - 人をまとめる原理・排除する原理 -』(岩波新書)

アーネスト・ゲルナー著、加藤節訳『民族とナショナリズム』(岩波書店)

E.L.ホブズボーム著、浜林正夫訳『ナショナリズムの歴史と現在』(大月書店)

ベネディクト・アンダーソン著、白石さや・白石隆訳『想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』(NTT出版)

アンソニー・スミス著、巢山靖司訳『20世紀のナショナリズム』(法律文化社)

エティエンヌ・バリバル、イマニユエル・ウォーラーズティン著、若森章孝訳『人種・国民・階級 揺らくアイデンティティ』(大村書店)

ミシェル・ヴィノック著、川上勉訳『ナショナリズム・反ユダヤ主義・ファシズム』(藤原書店)

アンソニー・ギデンズ著、松尾精文訳『国民国家と暴力』(而立書房)

西川長夫、松宮秀治編『幕末・明治期の国民国家形成と文化変容』(新曜社)

政治学 / 政治学 (秋学期)

「東アジアにおけるネイション・ステイト(国民国家)の形成とナショナリズム」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

阿南 友亮

【授業科目の内容】

19世紀以降、東アジアにおいてネイション・ステイトの概念はどのように受容され、実際にネイション・ステイトはいかにして形成されたのか。また、その過程でいかなるナショナリズムが育まれたのか。こうした問題について主として中国の例を中心に概観する。それを踏まえて、中国のナショナリズムと日本との関係について考察する。

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

古田元夫『世界史リブレット42 アジアのナショナリズム』(山川出版社)

毛里和子『世界史リブレット51 現代中国政治を読む』(山川出版社)

姫田光義他編『中国20世紀史』(東京大学出版会)

西川長夫、山口幸二、渡辺公三編『アジアの多文化社会と国民国家』(人文書院)

土屋健治編『講座現代アジア1 ナショナリズムと国民国家』(東京大学出版会)
 中兼和津次編『講座現代アジア2 近代化と構造変動』(東京大学出版会)
 西村成雄『中国ナショナリズムと民主主義』(研文出版)
 西村成雄編『現代中国の構造変動3 ナショナリズム歴史からの接近』(東京大学出版会)
 毛里和子『現代中国の構造変動7 中華世界 アイデンティティの再編』(東京大学出版会)
 吉澤誠一郎『愛国主義の創成 ナショナリズムから近代中国を見る』(岩波書店)
 坂元ひろ子『中国民族主義の神話』(岩波書店)
 古厩忠夫『従属地域における国民国家形成 中国とトルコの国民革命』歴史学研究会編『講座世界史6必死の代案』(東京大学出版会)
 アレン・ホワイティング著、岡部達味訳『中国人の日本観』(岩波書店)
 横山宏章『反日と反中』(集英社新書)

政治学 / 政治学(春学期)
 「統治と自治」 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法商医理】 小野 修三

【授業科目の内容】

今日の国民国家(nation state)の基礎を成している諸条件に関して、「統治と自治」の観点から、歴史的な解説を加えていきたいと考える。最初に説明するポイントはstateという言葉の当初の意味である。ブルクハルトはその『イタリア・ルネサンスの文化』(1860年)のなかで、マキャベリにおいては「支配者と、それに付随するものをいっしょにして、lo statoと呼ぶ。そしてこの名称はやがて不当にも、一つの領土全体を意味することになる」という一節を、理解することから、この政治学の時間は始まる。

【教科書】
 無
 【参考書】
 篠原一『ヨーロッパの政治』(東大出版会)、高島通敏編『現代市民政治論』(世織書房)

政治学 / 政治学(秋学期)
 「国家と社会」 2単位 秋学期
 4単位 通年
 【文経法商医理】 小野 修三

【授業科目の内容】

今日の国民国家(nation state)の基礎を成している諸条件に関して、「国家と社会」の観点から、ヨーロッパ史上の出来事を材料に、解説を加えていきたいと考える。最初に説明するポイントは国家という言葉の当初の意味である。篠原一がその『ヨーロッパの政治』(1986年)のなかで、16世紀の「国家はのち、市民革命の発生

とともに生まれた国民国家と同一のものではなく、国王を中心とした中央機構の成立を意味するにすぎない」と述べた、その一節を理解することから、この政治学の時間は始まる。

【教科書】
 無
 【参考書】
 篠原一『ヨーロッパの政治』(東大出版会)、高島通敏編『現代市民政治論』(世織書房)

政治学 / 政治学(春学期)
 「民主主義の政治学」 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法商医理】 岡山 裕

【授業科目の内容】

民主主義的な統治が望ましいという考えは、今日世界のかなり広い範囲に浸透しています。日本でも、政治的な問題が生じると「政治をより民主的に」「真の民主主義を実現しよう」といった声がしばしば聞かれます。しかし、民主主義という統治形態が他よりも望ましいと広く考えられるようになったのは、実は世界的には割に最近のことです。それに、民主主義が実現すれば理想の政治が直ちに出現するわけではなく、また民主主義という政治の方式は固有の難しさを抱えていることが知られています。この授業では、民主主義をただ礼賛するのではなく、むしろ民主主義という「暴れ馬」をどうしたら乗りこなせるのかという観点から様々に再検討することで、政治の必要性和面白さを理解し、政治学の基本的な発想法を身につけてもらうことを目的としています。

【教科書】
 とくに指定しません。
 【参考書】
 授業時に案内します。

政治学 / 政治学(秋学期)
 「現代政治の制度と過程」 2単位 秋学期
 4単位 通年
 【文経法商医理】 岡山 裕

【授業科目の内容】

現代の先進民主主義国を念頭において、国内政治について考えるうえで、本質的に重要と考えられる諸要素を取り上げて検討を加えます。ただし、「現代世界の政治の動向」を具体的な事実・出来事に即して解説していくわけではなく、実際に生じる政治現象が理論やモデルという分析上の道具立てを使ってどのように説明されるか、また説明がいかに困難かといった、分析的な発想を身につけてもらうことに重点をおきます。なかでも、(新)制度論と呼ばれる、政治学のみならず社会科学の多くの分野で今日重要とされている考え方を体得してもらうのが重要なねらいとなります。そのために、受講者の多くにとって最も馴染みがあると思われる日本の政治以外に、制度論的な理論分析が徹底的に加えられている

アメリカの政治に、頻繁に言及する予定です。

【教科書】

とくに指定しません。

【参考書】

授業時に案内します。

政治学 / 政治学 (春学期)

「政治現象理解のために(国内政治編)」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 粕谷 祐子

【授業科目の内容】

現代の政治現象を構造的に、かつ複眼的視点をもって理解したい人のための入門的講義。春学期は国内政治(domestic politicsであり、Japanese Politicsではありません)に焦点をあて、有権者・政治家や利益団体の行動、政治制度の機能、公共政策の決定過程などを理解するための分析道具を提供します。具体的には、これらの政治現象に関し、政治学においてなにが研究され、どのようなものの見方が存在し、なにが研究者間の通説として確立しているのか、そして、一般理論をどのように個々の現実政治分析に応用できるのか、に焦点をあてます。特定の国の政治解説はしませんが、理論や分析枠組みの説明をよりわかりやすくするため、あるいは理論の応用力をつけるための事例として、日本の政治を中心に世界各地の政治に言及する予定です。政治思想、政治史は本講義の対象外なので、これらの分野に興味のある学生の受講は勧めません。本講義を通じ、現在進行形でおこなっている世界各地の政治現象を批判的に考察する能力を身に付けてもらうことが目標です。

【教科書】

特になし。シラバス及び講義資料は講師のホームページよりダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

政治学 / 政治学 (秋学期)

「政治現象理解のために(国際政治経済編)」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 粕谷 祐子

【授業科目の内容】

現代の政治現象を構造的に、かつ複眼的視点をもって理解したい人のための国際政治経済学に焦点をあてた入門的講義。国際政治経済学は、「政治」と「市場」の相互作用を分析する国際関係論の一分野です。より具体的には、政治が市場に対しなぜ、どのように介入するのか、そして、市場は政治家の行動や政策にどのように影響するのか、を考察します。本講義では、国際政治経済学の主要なテーマに関する重要な概念、分析枠組み及び理論の紹介、そしてそれらの現実への応用方法を解説します。国際政治史上のできごとそのものは本講義の中心的関心ではありませんが、理論的考察に必要な範囲で紹介しま

す。本講義を通じ、現在進行形でおこなっている国際政治経済現象を批判的に考察する能力を身に付けてもらうことが目標です。

【教科書】

特になし。シラバス及び講義資料は講師のホームページよりダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

政治学 / 政治学 (春学期)

「アフリカの政治」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 加茂 省三

【授業科目の内容】

日本にとってアフリカは遠き大陸であるが、その重要性は年々高まっている。日本政府によるTICAD(東京アフリカ開発会議)の定期的な開催がその代表例であろう。その一方で、我々がアフリカを知る機会が多いとはいえない。それは、アフリカにニュースがないからでなく、アフリカをニュースにしないからである。この授業では、そのようなアフリカの政治・経済情勢を初学者にわかりやすく講義し、スライドやビデオを用いて、受講者の理解を深めていきたい。

【教科書】

特になし。

【参考書】

小田英郎編『アフリカ』自由国民社、1998年

政治学 / 政治学 (秋学期)

「フランスの政治」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 加茂 省三

【授業科目の内容】

日本ではフランスは文化大国としてのイメージが強いですが、フランスは政治大国です。そこで、受講者のみなさんには、政治大国としてのフランスを「共和国」という側面から学び、フランスが独自に築いてきた政治的特色を学ぶことを本授業の目的とします。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中に適宜指示。

政治学 / 政治学 (春学期)

「戦後日本政治を理解する基礎」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 河野 武司

【授業科目の内容】

戦後日本政治の展開を歴代内閣の業績と選挙結果を通して解説し、さらにはそれらに関連する政治学の基礎知識を適宜紹介することで、学生諸君の現代日本政治のこ

れまでの展開を理解する目を養うことが本講義の目的です。春学期に開講される本講義では、55年体制の成立まで取り扱います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

石川真澄『戦後政治史』新版（岩波新書、2004年）、その他適宜紹介します。

政治学 / 政治学（秋学期）

「現代日本政治を理解する基礎」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 河野 武司

【授業科目の内容】

戦後日本政治の展開を歴代内閣の業績と選挙結果を通して解説し、さらにはそれらに関連する政治学の基礎知識を適宜紹介することで、学生諸君の現代日本政治のこれまでの展開を理解する目を養うことが本講義の目的です。秋学期に開講される本講義では、55年体制以降から現代までを取り扱います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

・石川真澄『戦後政治史』新版（岩波新書、2004年）、
・河野武司他編『利益誘導政治』（芦書房、2004年）、
その他適宜紹介します。

政治学 / 政治学（春学期）

「徳富蘇峰とアメリカ 日露戦争まで」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 沢田 次郎

【授業科目の内容】

徳富蘇峰（1863～1957年）は近代日本を代表するジャーナリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。その言動を検証することによって、近代日本人のアメリカ認識が引き出せるのではないかと考えられる。春学期は、蘇峰が誕生してから日露戦争（1904～05年）に至るまでの時期をとり上げ、その中で蘇峰ひいては明治の日本人がアメリカといかに心理的に格闘したか、当時の時代背景を見ながらその軌跡を追ってみたい。

【参考書】

澤田次郎『近代日本人のアメリカ観 日露戦争以後を中心に』（慶應義塾大学出版会、1999年）

政治学 / 政治学（秋学期）

「徳富蘇峰とアメリカ 日露戦争以後」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 沢田 次郎

【授業科目の内容】

徳富蘇峰（1863～1957年）は近代日本を代表するジャーナリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。その言動を検証することによって、近代日本人のアメリカ認識が引き出せるのではないかと考えられる。秋学期は、日露戦争（1904～05年）から太平洋戦争（1941～45年）とその後に至るまでの時期をとり上げ、その中で蘇峰ひいては明治、大正、昭和の日本人がアメリカといかに心理的に格闘したか、当時の時代背景を見ながらその軌跡を追ってみたい。

ナリリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。その言動を検証することによって、近代日本人のアメリカ認識が引き出せるのではないかと考えられる。秋学期は、日露戦争（1904～05年）から太平洋戦争（1941～45年）とその後に至るまでの時期をとり上げ、その中で蘇峰ひいては明治、大正、昭和の日本人がアメリカといかに心理的に格闘したか、当時の時代背景を見ながらその軌跡を追ってみたい。

【参考書】

澤田次郎『近代日本人のアメリカ観 日露戦争以後を中心に』（慶應義塾大学出版会、1999年）

政治学 / 政治学（春学期）

「国際政治を見る眼」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 西野 純也

【授業科目の内容】

本講義は、国際政治学で用いられる基礎的概念、分析枠組みを紹介しつつ、現代国際政治の諸問題に関する理解を深めることを目的とする。講義を通じて、21世紀の国際政治を表層的にではなく構造的に分析する力を養うことを目指します。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

中西寛『国際政治とは何か』中公新書、2003年。
原彬久編『国際関係学講義（第3版）』有斐閣、2006年。
田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』有斐閣、2004年。
ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』有斐閣、2005年。

政治学 / 政治学（秋学期）

「東アジア国際関係と日本」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 西野 純也

【授業科目の内容】

本講義は、冷戦期から現在に至るまでの東アジア国際関係を日本との関わりを中心に検討する。とりわけ、冷戦後の東アジア国際関係の焦点となっている朝鮮半島をめぐる国際政治についての理解を深めることを目指す。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

五百旗頭真編『戦後日本外交史（新版）』有斐閣、2006年。
小此木政夫編『ポスト冷戦の朝鮮半島』日本国際問題研究所、1994年。
添谷芳秀『日本の「ミドルパワー」外交 戦後日本の選択と構想』ちくま新書、2005年。
読売新聞政治部『外交を喧嘩にした男 小泉外交2000

日の真実』新潮社、2006年。

船橋洋一『ザ・ベニンシュラ・クエスチョン』朝日新聞社、2006年。

政治学 / 政治学 (春学期)

「東アジア比較体制論」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 星野 昌裕

【授業科目の内容】

この授業は、東アジア各国各地域の政治体制を比較検討しつつ、東アジアの政治社会を理解するために必要不可欠な政治学の基本的な概念を実践的に理解してもらうことを目的とする。具体的には中国、台湾、韓国、北朝鮮などの政治体制を比較検討しながら、民主主義、権威主義、社会主義といった基本的な政治概念を習得してもらう。

【教科書】

授業で指示する。

【参考書】

授業で指示する。

政治学 / 政治学 (秋学期)

「現代中国・台湾における政治社会の構造変動と諸問題の検討」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 星野 昌裕

【授業科目の内容】

この授業では、中国と台湾を事例に取り上げながら、政治社会上の構造変動によってもたらされる諸問題が各国各地域の政治や対外関係にどのようなインパクトを与えているのかについて、地域研究および政治史の視点から解明することを目的とする。

【教科書】

国分良成『中国の統治能力 政治・経済・外交の相互連関分析』(慶應義塾大学出版会、2006年)

【参考書】

授業で指示する。

政治学 / 政治学 (春学期)

「日本の有権者意識からみた政治学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 三船 毅

【授業科目の内容】

本講義の目的は、政治学の基礎概念を整理・習得し、受講者各人が現代政治を理解できる能力を形成することにある。講義内容は政治学の基礎概念を整理しつつ、現代日本における有権者の政治意識から日本政治が如何なる政治過程を形成しており、そのどこに問題点が存在するのかを詳説する。現代の代議制民主主義は、その根幹に有権者による選挙・政治参加がある。本講義では、有権者の政治行動を形成する政治意識や政治制度・政党な

どから、現代の民主主義政治を解明していく。

【教科書】

小林良彰 編 (2005年)『日本における有権者意識の動態』慶應義塾大学出版会

政治学 / 政治学 (秋学期)

「日本の有権者意識からみた政治学」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 三船 毅

【授業科目の内容】

本講義の目的は、政治学の基礎概念を整理・習得し、受講者各人が現代政治を理解できる能力を形成することにある。講義内容は、政治学の基礎概念を整理しつつ、現代日本における有権者の政治意識から日本政治が如何なる政治過程を形成しており、そのどこに問題点が存在するのかを詳説する。現代の民主主義は、国家と地方自治体の複雑な関係から形成される。しかし、いずれにしてもその根幹には有権者による選挙・政治参加がある。

本講義では、有権者の政治行動を形成する政治意識・価値観や政治制度・政党、マスメディアなどから、現代の民主主義政治を解明していく。

【教科書】

小林良彰 編 (2005年)『日本における有権者意識の動態』慶應義塾大学出版会

政治学 / 政治学 (春学期)

「現代日本の立法過程」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 柳瀬 昇

【授業科目の内容】

この講義は、わが国の立法過程の基礎などについて学ぶことを通じて、現実の政治を考える際の視点を養うことを目的とする。

これから法律学や経済学などの社会科学を専門に学ぶとする学生にとっては、立法過程に関する基礎的な知識を習得することは不可欠である。また、人文科学や自然科学の道に進む学生も、現代社会において、政治と無関係に生きることはできない以上、自律的な市民生活を営むうえでの基礎的素養として、立法過程について学ぶことは、きわめて有益なことである。

わが国の政治制度はどのようになっていて、諸外国の制度と比較すると、どのような特徴が挙げられるのか。政党は、本来、どのような機能を果たすべきであり、そして、実際にわが国ではどのような機能を果たしているのか。選挙制度の類型にはどのようなものがあり、わが国の選挙制度はどのように変遷していったのか。戦後の政治・経済の歴史と呼応して、立法は、質的ないし量的に、どのように変化していったのか。法律が制定される過程は、どのようになっているのか。世界の議会はどのようになっているのか。わが国の国会の特徴とは何か。わが国の国会は、立法機関として十分に機能しているといえるのか。わが国の国会は、どのように改革すべきな

のか こういった問題について、受講する学生とともに考えていきたい。また、立法過程論とともに立法学を構成する立法政策論及び立法技術論についても講述することによって、制度デザインの構想力を養いたいという学生の知的欲求にも応えたいと思う。

なお、学生からの要望があれば、課外に、希望者のみで、霞ヶ関や永田町にある国の施設等の見学会を行うことも検討している。

【教科書】

教科書は指定しない。授業担当者がレジュメと資料を作成し、授業時間中に配布する。

【参考書】

この講義を受講するにあたって有用な参考書等は、第1回の講義において説明する。

政治学 / 政治学 (秋学期)

「現代日本の公共政策」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 柳瀬 昇

【授業科目の内容】

この講義は、わが国の公共政策の決定過程などについて学ぶことを通じて、現実の政治を考える際の視点を養うことを目的とする。

学問としての公共政策論は、どのように生成し、展開し、発展していくのか。そして、それは、現実の政策過程とどのような関係をもつのか。わが国の行政機関の組織は、どのようになっているのか。公共政策は、どのように形成され、遂行されているのか。公務員制度は、どのようになっているのか。橋本行革は、何だったのか。小泉改革は、何を目指し、何を実現したのか。国の財政の仕組みはどのようになっているのか。地方の政治システムは、どのようになっているのか。民主的な政策決定とは、どうあるべきなのか。そもそも民主主義とは何なのか こういった問題について、受講する学生とともに考えていきたい。また、公的年金制度、少子高齢社会対策、初等・中等教育制度の改革、行刑制度、産業振興政策など、さまざまな個別具体的な政策分野についても、受講する学生の問題関心などに応じて、概観していくこととする。

なお、必要に応じて、現役の官僚や政治家など、ゲストスピーカーを呼ぶことや、任意の学生による自主的な調査研究成果の報告会を設けることなども検討している。

【教科書】

教科書は指定しない。授業担当者がレジュメと資料を作成し、授業時間中に配布する。

【参考書】

この講義を受講するにあたって有用な参考書等は、第1回の講義において説明する。

生物学 (実験を含む) /
生物学 (実験を含む) (春学期) /
生物科学 (春学期)

「ニュースの中の生物学」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 秋山 豊子

【授業科目の内容】

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。一般社会人も、生物学的背景を持った社会問題にさらされているといえます。BSEと狂牛病の問題、鳥インフルエンザ問題、遺伝子鑑定、遺伝子組み替え食品などの遺伝子関連の話題、クローン、臓器移植、代理母、ガンやエイズなどの病因解析、さまざまな環境問題などなど、これらの話題は専門家のみならず、現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、これらの生物学的背景を持った社会問題をトピックスとして各回一話完結型で取り上げます。生物科学の入門編ではありませんが、体系的な概論ではなく、映像資料や教材も加えて、最後に問題点を自分で考えるように進めていきます。このため、予備知識が無くても理解できるように基礎用語から解説していきます。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解するように用意されています。実習の前にプリントを配付し、目的や手順を説明します。講義の始めに、年間授業予定を検討しますので皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまでに余り生物に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

【教科書】

「生きているってどういうこと」種田保穂・秋山豊子 共著 培風館 (2006年刊行)

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

生物学 (実験を含む) /
生物学 (実験を含む) (秋学期) /
生物科学 (秋学期)

「ニュースの中の生物学」 3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 秋山 豊子

【授業科目の内容】

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。一般社会人も、生物学的背景を持った社会問題にさらされているといえます。BSEと狂牛病の問題、鳥インフルエンザ問題、遺伝子鑑定、遺伝子組み替え食品などの遺伝子関連の話題、クローン、臓器移植、代理母、ガンやエイズなどの病因解析、さまざまな環境問題などなど、これらの話題は専門家のみならず、

現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、これらのトピックを各回一話完結型で取り上げます。生物科学の入門編ではありますが、体系的な概論ではなく、映像資料や教材も加えて、最後に問題点を自分で考えるように進めていきます。このため、予備知識が無くても理解できるように基礎用語から解説していきます。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解するように用意されています。実習の前にプリントを配付し、目的や手順を説明します。講義の始めに、年間授業予定を検討しますので皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまでに余り生物に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

【教科書】

『生きているってどういうこと』種田保穂・秋山豊子 共著 培風館（2006年刊行）

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期)
生物科学（実験を含む）(春学期)

「遺伝子の基本機能とヒトの遺伝」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

近年の遺伝子研究の進歩にはめざましいものがあり、そこで生み出される知識や技術は、専門家以外の人には簡単に理解できるものではありません。しかし文系学部の皆さんもヒトという生物である以上、「知らなくて良いこと」ではありえません。これらの知見は医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動に深く関与しているので、これからの時代を生き抜くための判断の材料に必要なからです。

講義では遺伝や遺伝子の仕組みについて、基礎から解説することが中心になりますが、それが我々ヒトの生老病死にとってどのような意味を持ち、将来どのような判断を迫られる可能性があるのかについても解説を加えます。実験ではショウジョウバエを用いて「遺伝」「遺伝子」「酵素」「分子生物学」が統合的に理解できるようなプログラムを用意しています。実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な『調査・研究レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期) /
生物科学（実験を含む）(秋学期)

「ヒトの高次生命現象を分子生物学的に見る」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

遺伝子工学や細胞工学技術の発展により、これまで「運命」とされていたヒトの高次生命現象にも科学的介入が行われるようになってきました。このクラスではヒトの発生や免疫といった高次生命現象を解説しながら、遺伝子診断（着床前診断）、移植医療、環境ホルモン、エイズ、アレルギー、BSE、アルツハイマーなどトピックスについて、「遺伝子」「細胞工学」という切り口から、現在何が分かって何ができるのかについて解説を加えていきます。現在ではまだ法整備や倫理面での調整が付いていないことが多くありますので、これからの社会を担う皆さんに「生命科学技術がどうあるべきか」よく考えていただきたいと思っています。実験では実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な『調査・研究レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期) /
生物科学（実験を含む）(春学期)

「ヒトの生命活動」 3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

ヒトは生きている間に様々な生命活動を行っている。ヒトは空腹になると食物を食べる。食物は消化され、分解されてエネルギーが生成される。そのエネルギーを使いヒトは運動することができるし、体の一部をつくり成長させることができるのである。これらの生命活動は細胞という、生命の基本単位で行われる。細胞の核にはDNAという高分子化合物が存在していて、その一部は遺伝子という、生命の設計図になっている。それは生殖により子孫に伝えられていくのである。このようなヒトの生命活動を生物学的に理解することが、この講義の目的である。

実験は講義内容の理解を深めるために、細胞の観察、細胞運動の観察、DNA模型作製、DNAの抽出、体細胞分裂などのテーマで隔週行われる。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

生物学（実験を含む）/
 生物科学（実験を含む）(秋学期) /
 生物学（実験を含む）(秋学期)

「環境因子と生物」 3単位 秋学期
 6単位 通年

【文経法政商】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

今日、地球環境の悪化は深刻な問題になっている。クロロフルオロカーボン（フロン）がオゾン層を破壊することにより、地上に到達する有害紫外線量が多くなり植物の生育が阻害され、ヒトの皮膚がんが増えると予想されている。アスベストによる肺がん増加、ダイオキシンなどの環境ホルモンの生殖細胞への影響も懸念されている。このような様々な環境因子が生物に対してどのような影響を及ぼすのか、また生物はそれにどのように対応しているのかを理解することが、この講義の目的である。

実験は講義内容と関連するテーマで隔週行われる。高浸透圧と原形質分離、気孔の観察、酵素反応、ヒトの染色体、発がん物質による染色体異常の観察などを予定している。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

生物学（実験を含む）/
 生物学（実験を含む）(春学期)

「どうして私たちは、今ここにいるのか？：生物の進化」
 3単位 春学期
 6単位 通年

【文経法政商】 金子 洋之

【授業科目の内容】

あなたたちは、「自分がどうして今ここにいるのか？」といった疑問を持ったことがあるだろうか？この問いは、現在、そして未来を生きていくあなたたちに、生物としての自分、そして自身の存在意義を考えさせることに繋がる大変重要なテーマである。何故なら、あなたたちの身体には、生物進化の歴史が刻まれており、両親の愛の結晶として生まれてきたといった個人レベルを越えた約38億年もの時間があなたたちの背景に存在している。このような壮大な時間軸を背負っていることを明確に意識すれば、急速に変化を遂げている社会に個人としての尊厳無しに埋没させられがちな状況、対人関係などの些細な悩みに、全く別の視点（知的根拠）を持って立ち向かえると考えられる。さらに、あなたたちは人間社会のみでなく、地球家族の一員でもあり、ヒトのみが行うようになった自然破壊の危険を本当に自覚できるようになると思われる。

生物進化を少し紐解いてみたい。地球が46億年前に誕生し、細胞のプロトタイプが出来てきたのが38億年前。現在のバクテリアのような生き物であったと考えられている。そのうちにあるものは酸素を排出し、またあるものは酸素を利用するシステムを獲得し、約20億年といっ

た気が遠くなるような膨大な時間をかけて、現在のあなたたちを構成する細胞と似たものになってきた。最初は、これらの生き物（細胞）は個々に生活していたが、そのうちに互いが集合し、協調して生活する状態の多細胞生物が現れた。約18億年前のことである。多細胞生物は多様な形や生活様式を可能にするようになったと思われ、5億3000万年前のカンブリア紀と名付けられている時期では、約1万種とも推測される「かたち」の創出を試みた生き物たちが海の中に生存していた。そのうちの1種、ピカイアは私たちの先祖であり、他の多くの種は滅んでいった。やがて海から川を経由して、魚の一部が陸に上がり、最初は水部で生活していたが、代謝システムを発達させ、次第に陸の奥深くまで進出していった。

繁栄を窮めた恐竜の中で冴えない連中が哺乳類への進化を遂げた。この過程でも、多くの生き物は絶滅し、ほんの一部が地球環境の変化の荒波に偶然生き残り、リスからサルへ、そしてヒトへと分かれていった。地球46億年の歴史の中で、カンブリア紀以降の進化は加速している。現在の地球上に見られる多種多様な生き物は、絶滅の危機を回避しているものであるが、ヒトはその1種にしか過ぎない。

本講義では、生物進化に軸足を置き、「どうして私たちは今ここにいるのか？」というテーマで自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

M.ホーランド『Oh 生きもの！』（三田出版会）
 石原勝敏他『目でみる生物学』（培風館）

生物学（実験を含む）/
 生物学（実験を含む）(秋学期)

「私っていったい何？：生物としての身体の成り立ち」
 3単位 秋学期
 6単位 通年

【文経法政商】 金子 洋之

【授業科目の内容】

多かれ少なかれ、あなたたちは自分の身体について何らかの興味を持ったことはあるだろう。しかし、それは自身が病気の時であったり、マスコミが何らかの形で紙面を賑わしていたりする時のみであったりするのかもしれない。もう少し幅を広げた視点から、生き物としての自分を学んでみると、あなたたちは如何に精緻な生き物であるかに驚かされると思う。そして、その理解は己の潜在的な能力だけでなく、逆にその脆さをも、日々の生活の中で意識させることに繋がると考えられる。それゆえ、これらの知識は、あなたたちに個人としての自立のための知的根拠を提供する。

講義内容を少し紹介してみよう。あなたたちの身体の構造は、クラゲの身体が2段階ほど複雑になっただけである。またそのボディプランは、ハエやヒトデと一緒にある。一方、脊椎動物でもあるあなたたちは、無脊椎動物の生体防御システムを踏襲しながら、日吉と三田のバクテリアを識別して攻撃できる精密な防御システムを備えており、親兄弟での移植手術も不可能なことが多い程の生き物としての独自性を持っている。さらに脊椎動物でも最大に発達したあなたたちの脳は、本能的な、そして崇高な愛を遂行する器官であり、思考を介しての柔軟な記憶回路をも備えている。約60兆個もの細胞から成るあなたたちの身体には、機能的な無駄もあることは分かっているが、細胞どうしが協調し、互いに連携を行う効率性の高いシステムを完備した芸術品であることに気付かれることだろう。

本講義では、「私っていったい何？」というテーマのもと、自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。

具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

M.ホーランド『Oh 生きもの!』(三田出版会)
石原勝敏他『目でみる生物学』(培風館)

生物学 (実験を含む) /
生物学(実験を含む)(春学期)
「生物多様性をまなぶ」

3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 岸 由二

【授業科目の内容】

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として、進化論の視野を基礎としつつ、微生物、植物、動物、ヒトにわたる多様多彩な生物の特性をまなぶ。講義と隔週で実施される実験では多様な生きものにふれ、理解する機会を提供する。

【教科書】

なし

【参考書】

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店(1996年)

生物学 (実験を含む) /
生物学(実験を含む)(秋学期)
「地球環境危機と生物多様性」

3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 岸 由二

【授業科目の内容】

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として地球環境危機を主体的・構造的に理解するための基本ツール、ならびに生物多様性の危機に関する基本的な理解を提供する。講義と隔週で実施される実験では身近な機会を活かして生物多様性と生態系の姿にふれる。

【教科書】

なし

【参考書】

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店(1996年)

生物学 (実験を含む) /
生物学(実験を含む)(春学期)
「遺伝子の理解を深める」

3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 関 俊則

【授業科目の内容】

地球上に生息する単細胞のバクテリアをはじめ多細胞のヒトに至るまで、生物は核酸の一つであるDNAという共通の物質を持っています。DNAには遺伝情報をもつ遺伝子が存在しています。遺伝子の研究は飛躍的に発展し、得られた成果や技術が医療・医薬・農業・司法・産業などのあらゆる分野との係わりを持つようになり私達にとって身近なものになっています。遺伝子を含むバイオ関連の研究・応用の推進は国の重要政策にもなっています。しかしながら、近年、多くの人によって気軽に使われている「遺伝子」、あるいは「DNA」という語をどれだけの人が正しく理解した上で使っているのでしょうか。自然科学関連だけではなくあらゆる分野で「遺伝子」が使われる現状(将来も)は、文系であっても疎かにできません。この授業は、遺伝子とこれに関連する事項について講義と実習を通して遺伝子の理解を深めることを目的にしています。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業の際に配布します。

【参考書】

講義の際、関連した図書を紹介します。

生物学 (実験を含む) /
生物学(実験を含む)(秋学期)
「話題の生物学」

3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 関 俊則

【授業科目の内容】

生命科学の発展は日々目を見張るものがあり、これまで手の施しようがなかった難病についても病因の解明、治療法が確立されるようになってきました。今や、生命科学は自然科学分野だけではなくあらゆる分野で関わりを持つようになり、新聞などメディアを通して身近になっています。この授業は、講義 ~ の範疇に入るヒト

に関連する話題を、日常接するメディアなどから取り上げ理解を深めることを目的にしています。講義と隔週で行われる実習は比較的平易なテーマですが、自らが手を下して理解し、「一方的」ではなく「自ら問題解決する姿勢と能力」を培うことでもあります。さらに、自ら問題解決する姿勢と能力を培うため、取り上げた話題について、各自がどのように捉え、どのように考えるかをプレゼンテーションする時間を設ける予定です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業の際に配布します。

【参考書】

講義の際に、関連した図書を紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期)

「科学技術・生殖技術と人間」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 長沖 暁子

【授業科目の内容】

生物・の講義と実習を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知ることがテーマにします。生物では性と生殖をめぐる問題をベースに科学技術と人間のあり方を考えます。

【教科書】

使いませんが、必要に応じて資料・プリントを配布します。

【参考書】

テーマに応じて紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期)

「環境と人間」 3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 長沖 暁子

【授業科目の内容】

生物・の講義と実習を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知ることがテーマにします。生物では地球の歴史とヒトの誕生、環境問題をベースに科学技術と人間のあり方を考えます。

【教科書】

使いませんが、必要に応じて資料・プリントを配布します。

【参考書】

テーマに応じて紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期)

「誕生と死をめぐる先端生命技術」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 中島 陽子

【授業科目の内容】

ヒトの遺伝子は二万個余りといわれています。私たちのこの精巧な体はマウスとほぼ同じタンパク質という有能な部品で作られ運営されているということです。遺伝子研究の進展は、遺伝子の異常が病気の原因となることも明らかにしました。私たちは発病前にその病気になる可能性を知ることができる水晶玉を手に入れたのです。治療法の無い病になると予告されて生きねばならない人の想いは如何ばかりでしょう。この水晶玉は生まれてくる子の未来も予測できます。子供がほしいカップルのための体外受精の技術を組み合わせると病気の可能性の低い受精卵を選んで妊娠することも、さらにはまたその遺伝子を加工することも可能です。命の選別という人間の未来にかかわる課題をはらむ技術をわれわれは手にしているのです。

生命技術の発展はまた、病気の治療法の一つとして、壊れたパーツを入れ替えるように病んだ臓器を取り替える臓器移植も可能にしました。「命のリレー」として脳死体からの移植臓器の提供が期待されています。しかし、脳死体はヒトの生とは？死とは？死のときは？など、尽きぬ問題を提起しています。一方、移植技術の普及向上による恒常的な臓器不足への対策、脳死という他人の死を期待しないですみ、拒絶反応も避けられる胚性幹（ES）細胞から任意の臓器を分化させる技術に熱い視線が注がれています。

有性生殖をするわれわれにとって死は必然です。誕生と死にかかわるこれらの先端生命技術は私たちの生活のあらゆる場面に深く入り込み、相互に複雑に絡み合う多様な側面を持っています。この授業が目指していることの一つは、柔軟な目で物事を多面的に見ることができるようになるということです。先端生命技術の理解と受容、さらには自己決定について、ともに考えていきたいと思っています。

【教科書】

使用しません
レジュメハンドアウトを配布します

【参考書】

小比賀・中島著『現代生命科学入門』 慶応大学出版 2001（講義の構成と直接リンクはしませんが、現代社会で避けて通れない生命科学技術の理解のための解説読み物として紹介します。）

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期)

「いま地球に生きる」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

中島 陽子

【授業科目の内容】

生命の仕組みを学ぶと、人間はヒトという生物の一種であるということに改めて気づかせることができます。どんなに進んだ技術を以ってしても私たちの生物学的側面を切り離すことはできません。38億年の生命の歴史を受け継いで、今ここに生きる私たちは、相互に深くかかわりあいながら未来に命を引き継いでいく生き物たちの一員です。このことを認識することが、いま世界が抱えている環境問題や生命倫理の問題を解く鍵になるのではないかと考えます。

講義は『いま地球に生きる』というテーマで、地球生物の歴史の中で人類はどのような位置を占めているのか、ヒトを人たらしめている脳の仕組み、その人類は自然からどのような制約を受け自然環境へどのような影響を与えているのかを考えていきます。

生きていくには病むこともあります。確かに人はヒトという生物種ですが、病の苦しみはその生物学的側面からだけでは理解しきれないでしょう。たとえば、エイズについて原因ウイルスや免疫システムについて知ることが大切ですが、否応無くそのウイルスにさらされてしまう人たちのいる社会の問題にまで目配りをしてはじめて、この病気の理解に近づいたことになるのではないのでしょうか。日本では薬害エイズで幼い子供が命を失いました。これは、血友病の治療薬がエイズウイルスに汚染されていた、それを未然に防げなかったためにおきた悲惨な事件です。愛するわが子の命を助けようと血液凝固剤を注射したお母さんは、自分の手で自分の息子の体内にエイズウイルスを送り込んでいたということになるのです。この授業が目指していることの一つは、柔軟な目で物事を多面的に見ることができるようになるということです。『病の苦しみは社会が作る』という章は、そのお母さんの口惜しさにまで想いを致してみられるようになることを目指しています。

【教科書】

使用しません

レジュメハンドアウトを配布します

【参考書】

小比賀・中島著『現代生命科学入門』 慶応大学出版 2001（講義の構成と直接リンクはしませんが、現代社会で避けて通れない生命科学技術の理解のための解説読み物として紹介します。）

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期)

「生物のしくみを知ると見えてくるもの」 3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

西川 純雄

【授業科目の内容】

生物はどんなに原始的、単純なものでも合理的で自己完結した系を作っているように見える。ゾウリムシのような単細胞生物にも口の役割を果たす構造があり、一方わたしたち人間にも食物を摂取する複雑な口腔が見られる。どんなに構造が違っていても、生物は要求される機能に対応している。生物は巧妙な仕掛けを、驚嘆するほどの精度で作りと同時に、ある働きを行うためにさまざまなやり方をフレキシブルに利用しているように見える。この授業ではこれらの一端を、基本単位である細胞を中心として生命を理解し、さらに発展的にいくつかのトピックスについて話題を提供し理解を深める。トピックスとしては、組織の例としての歯や骨の生物学、細胞の死（アポトーシス）等を取り上げる予定である。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義の際に紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期)

「生物のしくみを知ると見えてくるもの」 3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

西川 純雄

【授業科目の内容】

生物はどんなに原始的、単純なものでも合理的で自己完結した系を作っているように見える。ゾウリムシのような単細胞生物にも口の役割を果たす構造があり、一方わたしたち人間にも食物を摂取する複雑な口腔が見られる。どんなに構造が違っていても、生物は要求される機能に対応している。生物は巧妙な仕掛けを、驚嘆するほどの精度で作りと同時に、ある働きを行うためにさまざまなやり方をフレキシブルに利用しているように見える。この授業ではこれらの一端を、基本単位である細胞を中心として生命を理解し、さらに発展的にいくつかのトピックスについて話題を提供し理解を深める。トピックスとしては、免疫系、感覚に関わる神経系、細胞骨格、遺伝子と遺伝、発生の生物学、動物の比較解剖・生理等を取り上げる予定である。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義の際に紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期)
「ヒトに見る生物学」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 長谷川 由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられています。現代は、文系の人たちにとっても、生命科学に対して無関心ではいられない時代となっています。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる社会問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期)
「ヒトに見る生物学」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 長谷川 由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられています。現代は、文系の人たちにとっても、生命科学に対して無関心ではいられない時代となっています。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる社会問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期)
「生命のしくみを探る（遺伝子から見た生命）」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 福澤 利彦

【授業科目の内容】

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。バイオの知識と技術が我々に恩恵をもたらす一方で、「何をどこま

でやるか」ということが大きな問題となっている。これからの時代においては、「生命とは何か」という本質的な問いかけに一人一人が真剣に向き合い、自分の“生命観”を持つことが必要になる。そこで本講義では、生命の設計図である遺伝子DNAの構造・機能を踏まえた上で、生命のしくみを分りやすく解説する。また、遺伝子DNAに関する応用技術・トピックなど、生物学や医学の興味深い話題も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実験を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期)
「生命のしくみを探る（遺伝子から見たヒト）」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 福澤 利彦

【授業科目の内容】

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。このような時代だからこそ、「生命とは何か」「ヒトとは何か」といった、根源的な問題を生物学的に考えることが重要になっている。そこで本講義では、ヒトに関するさまざまな生命現象をとりあげ、ミクロレベル・マクロレベル・進化的観点から多角的に考察し、分りやすく解説する。また、遺伝子が関係する身近な病気やトピックなど、我々の健康に関する有用な情報も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実験を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(春学期)
「生物の多様な世界」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 福山 欣司

【授業科目の内容】

未知種も含めると地球上に暮らす種（species）の数は一千万から三千万種に達するのではないかとされています。これらの種は、程度の差はあるものの、お互いに異なった形態と異なった生活手段を持っています。言

うならば、生物の世界には三千万通りもの多様な形態や生活様式があるわけです。

この授業では、こうした生物の多様性がどのように進化してきたかを理解することを目的とします。内容的には、細胞レベルの現象にはあまり踏み込まず、個体レベルや集団レベルと言った、いわゆる「生き物まるごと」を扱うような授業になります。授業は、講義と実習を隔週で行います。実習では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

生物学（実験を含む）/
生物学（実験を含む）(秋学期)

「生態系とその危機」 3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】 福山 欣司

【授業科目の内容】

生物と環境あるいは生物間の調和のとれた関係を生態学 (ecology) の視点から理解することを目的とします。また、生物の世界に与える人間活動の影響という観点から地球環境問題についても考えてみたいと思います。授業は、講義と実習を隔週で行います。講義では、通常の講義以外に新聞などを材料に今日的な話題を取り上げ、グループ発表を行います。実習では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

生命現象の分子科学

2単位 秋学期

【商理】 柳川 弘志

【授業科目の内容】

現在の生物では遺伝情報の流れは、DNA RNA (リボ核酸) タンパク質となっている。これはセントラルドグマ (中心教義) と呼ばれている。DNAの情報がいったんmRNA (メッセンジャーRNA) に転写され、それからその情報がタンパク質に翻訳される。情報は核酸が、機能はタンパク質が担っている。核酸はタンパク質の働きによってつくられ、そのための情報は核酸がもっている。どちらが先に出現したのだろうか。本講では、分子生物学の立場から、生命の基本的な性格や特徴、仕組み、セントラルドグマ、生命の起源や化学進化、タンパク質と酵素の働き、RNAの基本的な性質とRNA触媒、進化分子工学、ゲノムと医療などについて、基礎から先端分野まで解説する。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

配布プリント

柳川弘志著『遺伝子情報は人類に何を問うか』ウエッジ選書、ウエッジ

柳川弘志 (共著)『新しい地球史・46億年の謎』有隣堂

柳川弘志著 (共著)『地球惑星科学入門』岩波講座・地球惑星科学第1巻、岩波書店

生命の科学

「生命科学の最前線の現況と問題」 2単位 春学期

【文経商医】 竹内 勤 岡野 栄之

*医学部生は履修できません 相磯 貞和 末松 誠

大前 和幸 小安 重夫

岡本 真一郎 鹿島 晴雄

白波瀬 丈一郎 向井 万起男

【授業科目の内容】

最近の生命科学の進歩には著しいものがあるが、それにつれて人文、社会科学などとの接点が次第に複雑、多面化しつつある。従って、相互の理解を推進することは益々重要になってきている。このような状況に鑑み、本科目においては現在の生命科学のうち最も先端的なテーマを選定し、人文、社会、理工など他領域との接点に配慮しながら、医学部の専門研究者が平易な解説を行う予定である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

世界の政治

「グローバル化する世界と日本」 2単位 春学期

【経商医理】 明田 ゆかり

【授業科目の内容】

グローバリゼーションの進行は、安全保障や経済的繁栄の追及における多国間協力の必要性を高める一方で、世界各地での地域主義の増大を招いています。この講義では今日の国際関係におけるこの多国間主義と地域主義の関係を理解し、またそれに対する日本のこれまでの政策と今後の戦略についての理解を深めることを目的としています。第1部では集団安全保障の枠組みである国連 (UN)、第2部では多国間の貿易レジームである世界貿易機関 (WTO)、そして第3部では地域統合の代表である欧州連合 (EU) およびアジアにおける地域主義を扱い、それぞれにおける日本の立場を解説します。

講義ではパワーポイントと教材提示装置を用い、毎回講義のハンドアウトを配布します。さらに必要に応じてビデオ、インターネットを活用します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

・藤原帰一・他 [編]『国際政治講座』1-4 (東京大学

出版会、2004年、各2625円)

- ・ John Baylis and Steve Smith, The Globalization of the World Politics, Oxford University Press, 2005.
- ・ テーマ毎の参考書は毎回配布するハンドアウトに記載します。

戦争と社会 2単位 春学期
【経商】 長谷川淳一 矢野 久 他

【授業科目の内容】

20世紀は 戦争の世紀 といっても過言ではないほど、戦争や虐殺がおこなわれ、地域紛争も絶えなかった世紀であった。20世紀の戦争は、戦争の手段、技術あるいは規模といった点で、19世紀までの戦争とは根本的に異なる性格をもっている。そして、今世紀は9・11で始まり、対イラク戦争などが生じ、戦争が終わる徴候は一向にみられない。

本総合講座は、戦争にかかわるさまざまな問題を社会・歴史に関係させて多面的に考えてみようという試みである。戦争は政治、経済、社会、文化、宗教などさまざまな要因がからんでいるからである。また、「戦争と社会」といっても、多様な考え方がある。本講座では、さまざまや領域で活躍する人を、経済学部スタッフをはじめ多数の講師を学外から招いて、それぞれの立場から、戦争と社会の問題を論じてもらう。

造形・デザイン論 2単位 秋学期
 「茶の湯の文化と日本の美術」
【経商医理】 木下 京子

【授業科目の内容】

喫茶の習慣は中国より日本にもたらされたが、やがて「茶の湯（茶道）」へと昇華し、日本独自の文化として認識されるようになる。茶の湯の発展に伴い、茶道具や茶掛けの書画なども変化に富むようになり、数々の名品が世に輩出される。本授業では、主に室町時代から江戸時代にかけての茶の湯にまつわる美術品を中心に、各時代を代表する作品のスライドを見ながら、日本の造形デザイン、そして作品に垣間見られる日本人の美意識について考察する。

【教科書】

授業時にプリントを配布

【参考書】

辻惟雄監修『日本美術史』美術出版社、1991年

造形・デザイン論 2単位 秋学期
 「ヴィジュアルの意味：すぐれた造形、良いデザインとは？」
【経商医理】 児島 やよい

【授業科目の内容】

「造形・デザイン」を広くとらえ、日常接するもの、メディアで目にするものから、美術、建築、ファッション

ン、映像なども含め、「ヴィジュアル」の意味を考えてみましょう。そのヴィジュアルはなぜカッコイイのか？なぜ人の心を打つのか？と。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。

授業時にプリントを適宜配布します。

地域研究—スペイン事情 2単位 春学期
 「スペインにおける国と地域」
【文経商医】 八嶋 由香利

【授業科目の内容】

スペインと聞くと皆さんは何をイメージしますか。フランメンコや闘牛でしょうか。それともサッカーですか。最近ではマドリードの列車爆破テロが世界を驚かせました。スペインは実に多様な地域からなり、地中海と大西洋、内陸中央と周縁部では気候・風土や言語、歴史、文化・習慣などがかなり異なっています。サッカーなどのスポーツからテロという社会問題に至るまでこの「地域性」が関わっているのです。本授業ではスペインの基礎的な知識を習得し、「国」と「地域」との関係を軸にこの国の多様性について理解を深めたいと思います。

【教科書】

特になし（授業中にプリント配布）

【参考書】

- ・ 坂東、戸門、碇編『現代スペイン情報ハンドブック』（三修社、2004年）
- ・ 碇順治『現代スペインの歴史』（彩流社、2005年）（授業中にビブリオ配布）

地域研究—スペイン事情 2単位 秋学期
 「グローバル化の中のスペイン」
【文経商医】 八嶋 由香利

【授業科目の内容】

国境を越えてヒトやモノが容易に移動する今日、スペインでも近年外国人労働者の存在が社会問題化しています。スペインはジブラルタル海峡を挟んでアフリカと接しているため南からの不法入国が絶えず、ベルリンの壁崩壊後、東欧からの流入者も増えています。さらに歴史的繋がり強い中南米諸国からも不法入国が続いています。マドリード列車爆破テロやフランスでの暴動発生後、スペイン人の問題意識も高まっています。また、外国人ではないものの、長い間一般スペイン人から疎外されてきた「ヒターノ（ジプシー）」と呼ばれる人びとも暮らしています。授業では少子高齢化社会に向かうスペインが「外国人」や「他者」とどのような関係を築き上げようとしているのかについて考えます。この課題はアジアの人びとと向き合う私たち日本人にとっても無縁ではありません。最後に、やはり現代社会が共通に抱える問題として「環境」を取り上げます。スペインならではの水不足や山火事といった事例をとりあげて解説します。

【教科書】

特になし（授業中にプリント配布）

【参考書】

- ・坂東、戸門、碇編『現代スペイン情報ハンドブック』（三修社、2004年）
- ・碇順治『現代スペインの歴史』（彩流社、2005年）（授業中にビブリオ配布）

地域研究－中国事情

「近代中国の歩み」

2単位 春学期

【文経商医】

宇 振領

【授業科目の内容】

中国はアヘン戦争（1840 - 1842）で負けた。その年から中国が二千年以上も続いた封建社会が終わり、半植民地・半封建社会に入った。それまで、「天朝大国」とうめぼれていたが、この敗戦より強い屈辱感を受けた。アヘン戦争から第二次アヘン戦争（アロー号事件）、清仏戦争、日清戦争、八国連合軍の北京占領...、敗戦の連続だった。敗戦の恥をそそぎ、外国列強の抑圧から抜け出す熱望が近現代中国の底流になっている。

当講義では、中国近代史で大きな役割を果たした人物また事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

【教科書】

参考資料を配布する。

【参考書】

適宜に指示する。

地域研究－中国事情

「現代中国の歩み」

2単位 秋学期

【文経商医】

宇 振領

【授業科目の内容】

第一次世界大戦と第二次世界大戦の時、アジア唯一の強国 日本はその機に乗じて、中国や東南アジアでの勢力範囲を拡大した。特に、中国での権益を守り、さらに拡大のために、「満洲事変」「盧溝橋事件」などを起こし、八年間も続く「日中戦争」に発展した。中国は国際戦線の一員として戦勝を得た。

その後、蒋介石と毛沢東はさらに五年間の戦争を経て、新中国建国。やっと外国列強の抑圧と戦乱から逃れた人民大衆は、平和な生活を望んだが、それと裏腹に建国後も「運動」に続く「運動」の混乱による災難が余儀なく経験させられた。

当講義では、中国現代史で起った事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

【教科書】

参考資料を配布する。

【参考書】

適宜に指示する。

地域研究－北米事情

「文化地理への入門」

2単位 春学期

【文経商医】

近藤 光雄

【授業科目の内容】

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。全米各地の文化地理を紹介します。将来旅行、留学、滞在を考えている学生には特に有益な授業になると思います。

【参考書】

Luther S Luedtke, Making America, 1988

田辺裕『世界の地理：図説大百科、アメリカ』（朝倉書店、2000）

地域研究－北米事情

「多様なアメリカ文化」

2単位 秋学期

【文経商医】

近藤 光雄

【授業科目の内容】

（北米事情 を履修していない学生も履修してもかまいません）

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。現在のアメリカ社会の多様性についての文化・歴史背景を探って、アメリカ社会をまとめているものは何かを探っていきます。合衆国の人びとのもつどのような価値観からアメリカ合衆国がなぜ世界や日本にたいし現在にいたる態度をとるのか。アメリカ合衆国を中心に北米社会の種々な問題を歴史、言語、文化、エスニックの巨視的観点から論じ講義をすすめます。

【参考書】

坂本一哉『日米同盟の絆』（有斐閣：2000）

五十嵐武士編『アメリカ外交と21世紀の世界：冷戦史の背景と地域的多様性をふまえて』（昭和堂、2006）

Studs Terkel: Race (NY: The New Press, 1992) スタツ・ターケル『人種問題』（晶文社、1995）

紀平英作他『グローバリゼーションと帝国』（ミネルヴァ書房、2006）

地域生態文化論

「自然と共存する都市をつくる」

2単位 春学期 / 秋学期

【文経商】

岸 由二

【授業科目の内容】

自然と共存する都市あるいは都市文化の形成は、環境回復の時代を拓く大テーマのひとつである。本講義は流域を中心とする自然ランドスケープ、ならびに生態文化複合という概念を手がかりとして、都市における自然保全、あるいは自然共生型都市づくりの方法、モデル、現在進行中の実践実例などを学ぶ。

【教科書】

なし

【参考書】

- ・岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）
- ・岸由二『リバーネーム』リトル・モア（1994年）
- ・岸由二ほか『流域圏プランニングの時代』技報堂（2005）
- ・慶応義塾経済学部編『変わりゆく共生空間』弘文堂（1999年）
- ・本間義人『国土計画を考える』中公新書（1999年）

地域文化論

「極私的ドイツ文化概説 「ドイツ的」って何だろう？」

2単位 春学期/秋学期

【経商医理】

識名 章喜

【授業科目の内容】

一口に「ドイツの文化」と言っても、ドイツ語圏はオーストリアやスイスなどさまざまである。そして、だいたい「ドイツ」と聞くと「ビール・ソーセージ・サッカー・車」といったステレオ・タイプのイメージを思い浮かべる人が多いのではないだろうか？それで結構である。日本人と言えば「富士山・芸者・サムライ・相撲」と連想されてしまうのと同じで、あまりに浅薄すぎて辟易させられるけれども、一方でかなり特徴的な一面を示していることも偽らざる事実であるからだ。もちろん、「国民性」といった包括的な概念がもはや有効でないこともわかっている。しかし、だからこそ、外（つまりドイツ語圏の人にとっては外国人である私）からの視点で、すなわちドイツ文学をかじり、ドイツ語を教えたきた私の個人的な「ドイツ語圏文化」への思い入れ（憧れ、こだわり、幻滅、再認識などなど）を出発点にしなければ、「ドイツの文化」については語れないのである。本講義はその意味で「極私的」というタイトルを付けてみた。理工学部の授業である以上、私が以前から気になっている（私はドイツのSFについて研究している）ドイツ人のテクノロジーへの微妙な距離感についても論じてみたい。参加者が、共感や反発も含めて「ドイツの文化」に興味を抱いてもらえればよいと考えている。

【教科書】

教科書は使用せず、資料等を適宜配布します。

【参考書】

初回に文献案内を配布します。各自毎回のテーマに沿って、自ら文献を調べ、考えておいてください。入門として薦めたいのは、高橋義人『ドイツ人のこころ』（岩波新書）

地域文化論 ～ の今年度開講の授業は次の通りです。

地域	科目名	担当者
アメリカ	「地域文化論」	大和田 俊之
アメリカ	「地域文化論」	奥田 暁代
アメリカ	「地域文化論」	鈴木 透
アメリカ	「地域文化論」	常山 菜穂子
イギリス	「地域文化論」	太田 昭子
イギリス	「地域文化論」	武藤 浩史
イギリス	「地域文化論」	横山 千晶
イギリス	「地域文化論」	武藤 浩史
		太田 昭子
		横山 千晶
ドイツ	「地域文化論」	三瓶 慎一
ドイツ	「地域文化論」	許 光俊
フランス	「地域文化論」	笠井 裕之
フランス	「地域文化論」	笠井 裕之
フランス	「地域文化論」	鶴崎 明彦
フランス	「地域文化論」	鶴崎 明彦
スペイン	「地域文化論」	渡邊 千秋
スペイン	「地域文化論」	鈴木 恵美子
ラテンアメリカ	「地域文化論」	大久保 教宏
ラテンアメリカ	「地域文化論」	矢澤 達宏
ラテンアメリカ	「地域文化論」	本谷 裕子
ラテンアメリカ	「地域文化論」	本谷 裕子
中国	「地域文化論」	林 秀光
中国	「地域文化論」	安田 淳
中国	「地域文化論」	加茂 具樹
中国	「地域文化論」	安田 淳
		林 秀光
ロシア	「地域文化論」	山田 恒
ロシア	「地域文化論」	山田 恒

地域文化論

「アメリカ研究入門」

2単位 春学期

【経法政商医】

大和田 俊之

【授業科目の内容】

今後とも日本にとって重要な国であり続けるアメリカを理解するには、統合化と多様化という相反するベクトルが、この国の推進力としてどのように作用しているのかを把握する必要があります。この授業では、アメリカに関わる問題を扱う際に欠かせない基礎知識や背景の知識を整理しながら、これら二つのベクトルを軸に実験国家としてのアメリカ文化・社会の特質を考えます。アメリカ史の概略も理解できるよう、各回のテーマを組んでいます。

【教科書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会（2003年 2400円）

地域文化論

「アメリカ南部論」

2単位 秋学期

【経法政商医】

奥田 暁代

【授業科目の内容】

イラクのアブグレイブ刑務所における囚人虐待の実態が明らかになり説明を求められたブッシュ大統領は、虐待写真に「嫌悪を催す」、虐待は「私の知っているアメリカを反映していない」と述べた。虐待の担い手としてマスコミに大々的に報じられ、軍法会議では実刑判決を受けた女性兵士リンディー・イングランドは、南部の田舎出身いわゆる「ヒルビリー」である。アメリカは往々にして犯した過ちやネガティブなイメージを南部の教養もなく貧しい白人に押しつけようとし、このときもそうだった。過去の人種差別にしても現在の移民に対する反発にしても変わらない。

それでいてブッシュ大統領は「南部的」だと言われる。また、上院、下院両議会で実権を握る政治家の多くも南部出身者である。アメリカの恥部を象徴し（あるいはそのスケープゴートとなる）、なおかつアメリカの中核でもある「南部」を歴史的に考察することによって、見えざるアメリカの姿を解明するのがこの授業の目的である。

講義では、

- (1) 南部には、奴隷制度、人種差別、貧困、低教育水準などつねに否定的なイメージがつきまとってきた、
 - (2) しかし、南部に内在する諸問題はアメリカの諸問題でもある、
 - (3) しかも、南部はアメリカ社会、文化、政治、経済に多大な影響を及ぼしてきた、
 - (4) 現在、アメリカ全体が「南部化」している
- という点を前提に、おおまかに年代を追いながら以下の話題を取り上げ、現代アメリカの抱える諸問題について

考えていく。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003年）

地域文化論

「スポーツから考えるアメリカ」

2単位 春学期

【経法政商医】

鈴木 透

【授業科目の内容】

アメリカという国を思い浮かべるとき、スポーツのことを連想する人は少なくないでしょう。実際、アメリカは各種プロ・スポーツが盛んな国であり、それは、アメリカ以外の多くの人々をもひきつけています。しかし、スポーツがアメリカという国の特質を語る上で恐らく重要かつ顕著な社会現象・文化現象であろうということは感覚的に理解できるにしても、それをアメリカ研究の視点から学問的に解明しようとする試みはこれまであまり行なわれてきてはいません。その原因は、アメリカのスポーツが、教育や生活改善運動、人種問題やメディア、地域の活性化やスポーツ・ビジネスの国際化など、様々な領域の事柄が交差するところに位置しているために、どれか一つの専門分野からだけのアプローチでは、その全体像を捉えることが難しいという点にあるといえるでしょう。

そこで、この講義では、アメリカのスポーツをとりまく、歴史的、社会的、文化的、政治的、経済的側面を総合的に検証しながら、アメリカにおける各種スポーツの変遷から、この国のどのような特質が浮かび上がってくるのか考えていきます。授業では、

アメリカのスポーツが、いかにスポーツ以外の様々な領域の事柄と結びつきながら成立・発展してきたのか
アメリカのスポーツの歩みからは、逆にこの国のいかなる特質を読み取れるのか

現在のアメリカのスポーツをめぐる状況は、現代アメリカをとりまくどのような文化的・社会的・政治的・経済的状況を映し出しているのか

という3点に留意し、ほぼ時代順に並べた以下のような話題を軸に進めます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003）

地域文化論

「アメリカ演劇文化史」
【経法政商医】

2単位 秋学期
常山 菜穂子

【授業科目の内容】

「演劇」はもっとも社会的な芸術だと言われる。それは、日本語で「演劇」とひとことで表される文化形態は「drama（戯曲テキスト）」と「theater（興業、上演）」の二要素からなっており、特に後者の「theater」は時代の流れと観客の要求を強く反映せざるを得ないものだからである。その意味で、現在知りうる演劇史は、作品が制作・上演された状況を記録した「記憶装置」であり、ハムレットの言葉を借りれば「自然の鏡」なのだと言えよう。演劇文化の考察は、その文化を生み出した国家・国民、政治・経済、精神風土を知る有力な手がかりを提供する。本講義では、戯曲テキストの作品解釈を行うのではなく、演劇文化活動を社会的視座から広く取り上げて、text（戯曲作品、一次資料）とcontext（社会的文脈）を突き合わせるにより、その内に意識的あるいは無意識的に織り込まれた「アメリカ」の姿を辿る。

本年度は、17世紀植民地時代から独立・建国期、19世紀、20世紀、そして現代までを時系列に沿って追いながら、その時代毎の演劇がいかにアメリカの社会と国民を映し出してきたかを考察し、社会と文化の相互関係を探る視点を養う。

【教科書】

毎回プリント資料を配布し、映像作品を使う。プリントは当該回の授業中のみ配布する。

【参考書】

初回の授業でリストを配布する。

地域文化論

「イギリス地域研究入門」
【経法政商医】

2単位 春学期
太田 昭子

【授業科目の内容】

日吉で開講される、イギリス地域研究の「地域文化論～」の入門講義として、イギリス社会の様々な側面を概説します。（詳細は授業計画を参照して下さい。）歴史的展望という縦軸、他の諸国との比較という横軸の双方から考察を進め、イギリス社会を立体的に捉えることを目指します。様々な「他者」へのまなざし（内なる「他者」＜地域ナショナリズム／アイルランド問題／階級＞、目に見える「他者」＜人種問題／帝国意識／多文化主義への対応＞、社会的弱者という「他者」＜社会福祉・倫理観／ジェンダー＞）を探ることが考察の核となる予定です。

【教科書】

特に使用しません。

【参考書】

参考文献表などを随時配布します。

地域文化論

「イギリス的想像力とイギリス社会」
【経法政商医】

2単位 秋学期
武藤 浩史

【授業科目の内容】

映画、音楽、文学などの芸術作品を用いて、第二次世界大戦後のイギリス的想像力の諸相と政治・社会・文化との関係を探ってゆきたい。もっとも、戦後は戦前と繋がっているから、戦前のイギリス文化の伝統がどのように受け継がれ、どのように断絶しているかも、合わせて検討することになるだろう。中心を成すのはピートルズを核として世界を席卷した1960年代のイギリス発「文化革命」論である。

【教科書】

D.H.ロレンス著『チャタレー夫人の恋人』（ちくま文庫）

【参考書】

川端康雄、武藤浩史他編『愛と戦いのイギリス文化史 1900 - 1950年』（慶応義塾大学出版会）

地域文化論

「芸術・社会・教育 19世紀のイギリスを中心に」

2単位 春学期

【経法政商医】

横山 千晶

【授業科目の内容】

美術、芸術という言葉は、いったい何を表しているのでしょうか。

私たちの生活の中で、芸術はいったい何を意味し、どのような役割を果たしているのでしょうか。そして美的感覚とは「教える」ことができるのでしょうか。

この講義では、世界に先駆けて大規模な機械による生産体制を導入した19世紀のイギリスに焦点を当て、当時盛んに論じられた芸術の意味と社会との関わりを見ずえ、後世への影響を考察します。

「芸術」が消費社会の中に組み込まれていく19世紀のイギリスで、「芸術」は国力の象徴という役割と同時に、「商品」としての位置も与えられました。同時に理想の「美」とは何かをめぐる論争が戦わされ、理想の芸術を見出し生み出していく活動が芽吹きます。これらの運動は、やがて世界へと広がっていくことになるのです。日本もそのひとつです。

めまぐるしく変わりゆく社会と経済体制を背景に、芸術家たちが独自の足場を築こうとした努力、そのような芸術家たちを指南した人や思想、消費者や鑑賞者の動向、大衆芸術教育の出現、そしてそれらの影響をとともに追っついていきましょう。その過程でヴィクトリア朝の人々の活動や思想が、広く私たちの芸術観の基本となっていると言っても過言ではないことを、体感していただきたいと思います。

【教科書】

なし。ハンドアウトを使います。

【参考書】

授業の中で紹介します。

地域文化論

「愛と戦いの20世紀（前半）イギリス」 2単位 秋学期
 【経法政商医】 武藤 浩史 太田 昭子
 横山 千晶

【授業科目の内容】

20世紀前半に、さまざまな領域で、イギリス文化が花開いた。

アルフレッド・ヒッチコックとチャーリー・チャップリンという2人のイギリス人が揺籃期の映画を20世紀の芸術に育てあげた。コナン・ドイルがシャーロック・ホームズを書きアガサ・クリスティがエルキュール・ポワロやミス・マーブルを生んで、探偵小説が一大ブームをまきおこした。J・M・バリの戯曲『ピーター・パン』は、子どもだけでなく大人も楽しめる意味深い児童文学を誕生させた。『タイム・マシン』や『透明人間』や『宇宙戦争』を書いたSF小説の父H・G・ウェルズがいた。繊細きわまる女流作家ヴァージニア・ウルフや『チャタレー夫人の恋人』を書いた爆弾児D・H・ロレンスがいた。ラジオや大衆新聞が大流行し、ウェンブレイ・スタジアムが出来て、プロ・サッカーが盛り上がった。

しかし、文化が花開く時代は常に激動と混乱の時代である。20世紀前半のイギリス社会は、第一次世界大戦に大きく傷めつけられ、フェミニズムと婦人参政権が絡んだ女性運動で揺さぶられ、精神分析やオカルトが流行り西洋的理性信仰が弱体化して、インドやアイルランドの独立問題で頭を悩ました。しかし、アメリカの追い上げにも関わらず、いまだイギリスは世界最大の植民地を誇り、構造改革と不況による深刻な階級戦争と失業者問題にもかかわらず、経済は成長を示した。そして、ヒトラーとナチス政権の誕生、第二次世界大戦、戦時中の左傾化。その結果、1945年には労働党が多数派となり、戦後福祉社会が実現される。

本講義では、このような20世紀前半の多彩な文化を、さまざまな角度から紹介しようと思う。われわれは『愛と戦いのイギリス文化史』という題のイギリス地域文化論を執筆中だが、そこから美味しいところを抜き出して、武藤を中心としながらも、他の研究者の協力を得て、イギリス文化の楽しさと怖さを紹介したいと思っている。

【教科書】

武藤ほか編『愛と戦いのイギリス文化史 1900 - 1950年』（慶應義塾大学出版会）

【参考書】

参考文献については、毎回の授業の中で紹介していきます。

地域文化論

「現代ドイツ入門」 2単位 春学期
 【経法政商医】 三瓶 慎一

【授業科目の内容】

ドイツという国、その自然景観、気候風土、社会、文

化、歴史、言語などについて考える。ドイツというと思いつくいくつかのイメージ、あるいは日本でドイツ文化と捉えられているものは、ともするとステレオタイプであるかもしれない。現代ドイツを理解するために不可欠な視座を持つために、ここではステレオタイプからの脱却を試みてみたい。同時にドイツの現代を語るためのドイツ語のキーワードの習得を目指す。コンピューターソフト、インターネットを駆使し、CD、ビデオ、スライド等の資料を多用する講義形式である。

【教科書】

各自がまとめたノート。

【参考書】

初講日に文献リストを配布する予定。

地域文化論

「ドイツの文化」 2単位 秋学期
 【経法政商医】 許 光俊

【授業科目の内容】

ドイツおよび周辺地域のさまざまな文化を概観する。

【参考書】

私が書いた約20冊の本など。

地域文化論

「フランス文化入門（中世から19世紀前半まで）」 2単位 春学期
 【経法政商医】 笠井 裕之

【授業科目の内容】

いかなる時代・文化に属すものであれ、フランス文化の所産に関心をもつ諸君を対象に、これだけは欠かせないと思われる基本的知識を習得してもらうことが目的である。時代を画し、あるいは時代を変革するにいたった重要な文化事象を年代を追って取り上げていく。諸君がこれからフランス文化に親しんでいく上で、多少とも有益な見取図を描くことができればと考えている。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

授業中に適宜、紹介する。

地域文化論

「フランス文化入門（19世紀後半から20世紀まで）」 2単位 秋学期
 【経法政商医】 笠井 裕之

【授業科目の内容】

春学期に続いて19世紀後半から20世紀までを取り上げる。われわれの時代により近い、近現代の所産となれば、諸君にもおそくなじみのある芸術家の名が多く登場することになるだろう。ただ、単なる知識の確認に終わらせず、各自の体験にもとづく考察の端緒となるように、主な作品に実際に触れる機会を増やし、諸君のあらたな発見を手助けできればと考えている。とくに20世紀初頭

のパリを舞台にあらゆる芸術ジャンルを巻きこむ形で展開したロシア・バレエ団（バレエ・リュス）の活動の軌跡をたどり、現代の文化・芸術を特徴づける要素である「異質なものの交錯によって生まれる創造力」について考察したい。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

授業中に適宜、紹介する。

地域文化論

「第二帝政期のパリー近代都市生活と芸術ー」

2単位 春学期

【経法政商医】

鶴崎 明彦

【授業科目の内容】

第二帝政期（1852～1870年）はフランス近現代史の分岐点となった時代です。ナポレオン一世の甥ナポレオン三世は、クーデターで帝位に就くや革命と動乱の時代に終止符を打ち、イギリスに遅れを取った産業の振興とフランスの近代化を強力に推進していきます。人口増加、コレラの流行、犯罪と暴動に苦しむパリは空前の大改造によって壮麗な近代都市に変貌し、また万国博の開催は産業社会、消費社会への起爆剤となりました。デパートの誕生、そしてモードと歓楽のパリの出現。つまり我々が知る現代のパリは、第二帝政期にそのおおよその姿ができあがったのです。それは近代都市社会の原風景でもありました。しかし、パリのあまりに急激な変貌は、そこに住む人々のいわば生態系に大きな歪みを生み出し、普仏戦争の敗北で第二帝政が崩壊した時、パリ・コミューンとなって爆発します。このように功罪相半ばするナポレオン三世の再評価は、近年になってようやく始まったばかりです。

ところで、パリの町、社会と風俗の急激な変貌は、うつろいゆく同時代の諸相を描く、芸術における現代性（モデルニテ）の追求を促し、新しい表現を目指す芸術家たちは、永遠不変の理想美を旨とする伝統的な芸術との葛藤を経ながら近代芸術を生み出していきます。第二帝政期は、マネや後のいわゆる「印象派」の画家たちが活動を始めた時期でもありました。

また、産業の発展によって台頭した新興ブルジョワジーが従来の王侯貴族に代わり芸術の新たなパトロンとなったことで、芸術創造をめぐる環境は注文制作から不特定多数のための制作へと変化し、現代の芸術制作のあり方の原点となりました。さらにイギリスとの経済競争は産業振興のため産業と美術の融合を促し、それは世紀末の「アール・ヌーヴォー」につながる装飾芸術運動の発点となりました。そして芸術家たちが万国博を通じて出会った日本美術は、美術・工芸の両面で西欧芸術を変革する触媒となったのです。

このように様々な領域で既存のシステムが変動する過渡期であった第二帝政期のパリの社会・風俗・文化・芸術を、できるだけ多くの映像資料を使用しながら考察します。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

参考文献一覧を配布いたします

地域文化論

「ベル・エポックのパリ 知の変革の時代」

2単位 秋学期

【経法政商医】

鶴崎 明彦

【授業科目の内容】

19世紀末から第一次世界大戦までのフランスは、「ベル・エポック」（よき時代）と呼ばれ、世紀末の退廃と新しい時代の予感がないまぜになった享乐的な都市文化が爛熟した時代です。

「ベル・エポック」は、急速な科学技術の発達により世界の一体化が進行すると同時に、日常生活の様式が大きく変化した時代でした。こうした科学文明のシンボルが、1889年パリ万博の際に建設されたエッフェル塔です。

一方で、現代史の負の部分形成された時代でもあります。科学・経済・軍事力の圧倒的優位を背景にヨーロッパが世界をのみ込んだ、帝国主義による世界の序列化の時代だったのです。特に普仏戦争の敗北の後、フランスではナショナリズムが異常なまでに高揚し、傷ついた威信を回復するため帝国主義の道をひた走り、世界第二の植民地帝国を形成します。「人権宣言」を謳ったフランス革命の後継である第三共和制と植民地主義の矛盾。またドレフュス事件はフランス社会に深刻な分裂を引き起こすと同時に、20世紀のユダヤ人迫害の前兆ともなりました。

ヨーロッパによる世界支配。しかしその裏では、急激な科学の発達によって旧来の世界観が動揺し、近代合理主義に対する疑念が生じた、ヨーロッパ精神の危機と知の変革の時代でもありました。物質主義に対する嫌悪はデカダンスの文学や象徴主義の絵画を生み、世界の一体化による異文化の流入が、伝統的世界観の解体と新たな創造を促す。ヨーロッパはその圧倒的な力で世界に影響を及ぼしましたが、一方で世界から多くのものを受け取っていったのです。パリはそうした異文化との出会いが新たな創造を生む舞台となりました。日本美術との出会い、ジャポニスムはゴッホやゴーガンの絵画に影響を与えると同時に世紀末の装飾芸術運動「アール・ヌーヴォー」の源泉の一つとなり、アフリカ芸術との出会いはキュビスムを生む起爆剤となりました。

様々な矛盾を抱えた知の変革の時代、「ベル・エポック」のパリに生まれた芸術について、できるだけ多くの映像資料を使用しながら考察していきます。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

参考文献一覧を配布いたします

地域文化論

「スペイン文化入門」

2単位 春学期

【経法政商医】

渡邊 千秋

【授業科目の内容】

現代のスペインでは、いわゆるスペイン語（カステーリヤ語）の他、ガリシア語、バスク語、カタルーニャ語など、様々な言語を母語とする人々が暮らしており、社会文化的にみて多様で豊かな要素が存在しています。しかし、この多様性は一方で、歴史上さまざまな紛争を呼び起こす要因の一つともなりました。また地理的な面からは、ヨーロッパとアフリカの間に存在することによる様々な歴史文化的影響を指摘することができます。この授業では、受講生の皆さんに現代スペインの文化・社会・政治的状况に関する知識を深めてもらうことを目的とします。

【教科書】

指定なし。

【参考書】

立石博高他編『スペインの歴史』昭和堂（1998年）、立石博高他編『スペイン・ポルトガル史』山川出版社（2000年）他、参考文献は授業内で適宜紹介します。

地域文化論

「スペイン語の世界」

2単位 秋学期

【経法政商医】

鈴木 恵美子

【授業科目の内容】

スペイン語は、世界の20カ国以上で約3億5千万人という莫大な話者によって話されている言語です。この授業は、多様な文化・社会をもつスペイン語圏に第一歩を踏み出すために、スペイン語とはどのような言語か、世界の中でどのような位置を占めるかなど、特に言語に関する基本的な知識を得ることを目的とします。スペイン語を出発点にしてどのような知の世界が広がっていくか、皆さんに何らかの糸口を見出してもらえればと思います。

【教科書】

特に指定しません。随時プリントを配布します。

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

地域文化論

「中米・カリブ海地域とメキシコ」

2単位 春学期

【経法政商医】

大久保教宏

【授業科目の内容】

一口にラテンアメリカと言っても、あまりにも広大な地域であり、国の数も多いため、当地域文化論では便宜的にパナマより北の部分の扱います。そこには世界でも有数の小国地帯かつ「文化混淆地帯」である中米・カリブ海地域が広がっています。この地域に着目することで、大国、先進国中心の現代世界の捉えられ方を相対化

し、「ラテンアメリカは本当にラテン文化圏なのか」という具合に地域と文化の関連を問うことも可能です。併せて、「ラテンアメリカの大国」メキシコについても学ぶことで、同じラテンアメリカという地域内での対照性を見ることができるよう。取り上げるテーマは、宗教、人種、言語、運河、鉄道、バナナ、コーヒー、さとうきび、海賊、地震、火山、国立公園、遺跡、革命、内戦、非武装中立、ノーベル平和賞、経済統合など様々です。これらを通して国をこえた地域としての連続性とその内部での多様性、地域内各国の個性について考察していきます。

「国と地域」という視点から講義を進める関係上、ラテンアメリカ、カリブ海地域33か国の場所、国名、首都名くらい覚えておいてもらいたいため、これらについて期末試験でこれらを問う問題も出します。スリナムの首都はパラマリボで、アンティグア・バーブーダの首都はセントジョンズだ、といったことを覚えてもらいます。くだらないと思われるかもしれませんが、たとえば首都がロンドンであることを知らずにイギリスのことを、イタリア、スペイン、ドイツなどと接していることを知らずにフランスのことを語れないのと同じと考えてください。

地域文化論

「ブラジルの社会と文化」

2単位 秋学期

【経法政商医】

矢澤 達宏

【授業科目の内容】

「ブラジル」と聞いて、何を思い浮かべるであろうか？ サッカー、コーヒー、サンバ、アマゾン、日系人。これらはたしかにブラジルを語る際には欠かせないキーワードではあろう。しかし、これらキーワードを挙げるとき頭のなかで描いているイメージは、それらの実際のありようとどの程度まで合致しているであろうか？ また、一般的に流通しているこうしたキーワードでは象徴されてこなかったブラジル社会の横顔には、どのようなものがあるだろうか？

ブラジルの社会や文化の様々な側面は、かねてより外部の人々の好奇心を刺激し、それに触れた多くの者たちを魅了してきた。「未来の国」、「人種の楽園」など、これまでに生み出されてきた数々のレッテルがそのことを物語っている。しかし同時に、そこに足を踏み入れ、容易ならざる社会矛盾を目の当たりにして、とまどいを覚えてきた人々もまた少なくない。理想、希望と現実とが交錯し、表裏一体をなすブラジル社会は、多くの人々にとって様々な示唆に富んだ興味深い対象であるに違いない。

この授業は、ブラジルの社会・文化のなりたちと現在のありように対する理解を深めてもらうことを目的とするものである。主たる対象はブラジルのケースではあるものの、性格を共有する地域として、あるいは比較の対象として、他の南米諸国に関しても折に触れて言及していければと思っている。

なお、ビデオやスライドなどもできるかぎり利用して

いく予定である。

【教科書】

本授業では特定の教科書は使用せず、各トピックごとに要点をまとめたレジュメと、必要に応じて資料を配布する予定である。

【参考書】

- ・ 全般的なものとして、以下のものを挙げておく。その他についてはトピックごとに適宜、紹介していきたい。
- ・ ブラジル日本商工会議所編『現代ブラジル事典』新評論、2005年
- ・ シッコ・アレンカール他『ブラジルの歴史 ブラジル高校歴史教科書』明石書店、2003年
- ・ 斉藤広志『新しいブラジル 歴史と社会と日系人(新版)』サイマル出版会、1983年
- ・ アンジェロ・イシ『ブラジルを知るための55章』明石書店、2001年

地域文化論

「メソアメリカ(おもにメキシコ・グアテマラ)からラテンアメリカ世界を知ろう！」 2単位 春学期

【経法政商医】 本谷 裕子

【授業科目の内容】

この授業ではメキシコ・グアテマラを中心とするメソアメリカ地域をとりあげ、ラテンアメリカ世界の不思議とその魅力について学んでいきたいと思ひます。授業内容は、アステカ・マヤをはじめとする先スペイン期の話(遺跡がいろいろ)、チョコレートやとうもろこし、タバコ・コチニールをはじめとするメソアメリカ原産の食べ物と大航海時代の話、メキシコ建国に見る国民国家形成とアイデンティティの話、メキシコ壁画運動やチカーノ(アメリカ生まれのメキシコ人)の壁画運動をはじめとするメキシコ現代美術の話、メキシコ南部からグアテマラ北西部高地に暮らす先住民たちとその暮らしから考える南北問題などを予定。考古学・歴史学、はたまた民族学や社会学、美学美術史などさまざまな視点とテーマからこの地域について学びつつ、この地域のかかえる社会経済的問題や文化問題の所在について、みなさんとともに考えていきたいと思ひます。

【教科書】

最初の授業の際にお話します。

【参考書】

最初の授業の際にお話します。

地域文化論

「メキシコ 「文化装置」としてのアート」 2単位 秋学期

【経法政商医】 本谷 裕子

【授業科目の内容】

メキシコをはじめとするラテンアメリカ諸国が経てきた歴史を鑑みると、16世紀にはじまるスペインとの文化接触の意義は、征服や搾取といったどちらかといえば異文化接触のもたらした功罪の「罪」の部分に目を向け

て語られがちでした。そうした負の遺産が現在のラテンアメリカをとりまく貧困問題の根源であるのは事実です。しかしながら、「アート」という視点からラテンアメリカを見つめなおすと、功罪の「功」の部分、つまり旧大陸と新大陸の異なる価値観が融合した結果、ラテンアメリカにはヨーロッパのものとは明らかに異なる、不思議な生命力と魅力に満ち溢れた独自の芸術文化が花開き展開されてきたという歴史の新たな側面が見えてきます。そこで、この授業ではメキシコの事例をとりあげ、「アート」をキーワードに、考古学・歴史学・建築学・美学・映画学・民族学といったさまざまな分野の専門家をお呼びして、メキシコの歴史を紐解いていきたいと思ひます。

地域文化論

2単位 春学期

【経法政商医】 林 秀光

【授業科目の内容】

中国はその悠久の歴史に育まれてきた民俗や政治文化が多様かつ変化に富んだものであるため、観察の対象としてそれ自体は不思議な国である。一方日本では中国に親近感をもつ人、なんとなく中国が好きになれないあるいは反感をもつ人に分かれるというのも不思議である。その背景に、中国の歴史や文化のロマンに惹かれつつも、今日の中国の政治体制に違和感を覚えたり、アジアまたは世界で影響力を増していく中国の姿が威圧に感じたりする、という複雑な感情が存在する。とはいえ、近年、エネルギー問題を中心に日中間で新たな関係の構築が模索されている。そこで、この授業は中国の全体像を把握した上、中国のエネルギー問題とりわけ電力開発をめぐるさまざまな動きを取り上げる。中国の実像に迫ることによって、中国をより身近な国に捉えられるようにするのが本講義の目標である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

各授業の前に適宜に指定する。

地域文化論

「現代中国の軍事と安全保障」 2単位 秋学期

【経法政商医】 安田 淳

【授業科目の内容】

現代中国が、その歴史的な要因、多様な環境、地理的位置関係などいずれの点においても、世界の安全保障環境に大きな影響を与え、また国際関係から大きな影響を受けていることは改めて言うまでもない。なかでも中国の軍事については、まだ不明な点も多く、また理解も不足している。中国の、またひいては東アジアの安全保障を考察する際に無視することのできない中国の軍事についての理解を深め、併せて中国と日本の間の安全保障にかかわる諸問題についての基礎的な知識を習得することが、この講義の目的である。

〔参考書〕

講義中に適宜、提示する。

地域文化論

「現代中国の統治の装置をよむ」 2単位 春学期

〔経法政商医〕 加茂 具樹

〔授業科目の内容〕

中国共産党は、現代中国の政治社会如何に指導しているのか。周知のとおり、現代中国の政治社会の特徴の一つは中国共産党が政治社会を指導することにある。それ故に、この問いは現代中国の政治社会を理解するための核心といえる。

本講義の目的は、この問いに答えることをつうじて、現代中国の政治社会の有り様をよみ解く視座の形成をこころみようとすることである。具体的には、指導者である中国共産党が設けた法や制度（統治の装置）に注目をし、中国共産党が統治の装置に託した「ねらい」と、そうした装置の機能の実態という「現実」との「あいだ」の抽出をこころみたい。

〔教科書〕

講義およびweb - site

(<http://web.hc.keio.ac.jp/tomoki/>)にて適宜紹介をする。

〔参考書〕

講義およびweb - site

(<http://web.hc.keio.ac.jp/tomoki/>)にて適宜紹介をする。

地域文化論

「東アジアの中の日中関係」 2単位 秋学期

〔経法政商医〕 安田 淳 林 秀光

〔授業科目の内容〕

今日、日中関係にはさまざまな問題が生じているが、この日中関係は東アジアにとっても世界全体にとっても重要な国際関係の一つである。この授業では、そうした日中関係を総合的・歴史的に検討し、今後の日中関係を考察するための材料を提供する。単なる日中関係の通史を学ぶのではなく、これまで比較的取り上げられることの少なかった事象にも、東アジアの中の日中関係という視点から光を当てること、この授業の目的である。したがって近現代の日中関係に関する多様な分野のそれぞれの専門家を招き、オムニバス形式で授業を展開する。なおこの授業は東アジア研究所の協力を得て開講される。

〔教科書〕

初回ガイダンス時及び授業中に提示する。

〔参考書〕

初回ガイダンス時及び授業中に提示する。

地域文化論

「ロシア」 2単位 春学期

〔経法政商医〕 山田 恒

〔授業科目の内容〕

ロシア文化が日本の文化に大きな影響を与えたことは良く知られているが、その影響を検討するには常に部分的な、あるいは一部分の紹介にとどまっていた、ロシア文化の総体を取り上げられることは殆どない。この講義ではロシア民族の誕生からキリスト教の受容、さらに近代までのロシア文化を概観する予定である。歴史的な経緯に関しては、ことに政治経済的な側面に関しては、かなり紹介されているが、ロシア文化の根底をなす民族的な信仰について紹介されることは少ないように思われる。フォークロアとロシア正教がロシア文化の根底をなしていることは、ドストエフスキーやトルストイといった作家の作品によって明らかであろう。ドストエフスキーの『罪と罰』の主人公は、なぜ大地に接吻するのか、なぜトルストイの『イワンの馬鹿』でも大地が大きな意味を持っているのか、チャイコフスキーのバレエ『白鳥の湖』の創作における白鳥のイメージはどこから生まれたのか、こうした疑問に答えるには、ロシア・フォークロアの知識が必要である。

芥川龍之介の『蜘蛛の糸』はドストエフスキーの『カラマーゾフの兄弟』における「一本の葱」そのものであるが、「一本の葱」もロシア民衆の信仰と深く関わっている。

春学期にはこうしたロシア文化の基礎を紹介する予定である。また日露文化交渉についても、マトリョーシカなどを例として取り上げる。

〔教科書〕

日本語で読めるものはない。

〔参考書〕

授業で触れるテーマに関する参考書は、授業ごとに配布するペーパーで紹介する。

地域文化論

「ロシア」 2単位 秋学期

〔経法政商医〕 山田 恒

〔授業科目の内容〕

一度に花開いた感のある19世紀末から20世紀初頭のロシア文化の紹介が秋学期のテーマである。春学期からの継続と言う点では、例えばロシア民衆のルサールカ伝説とバレエ『白鳥の湖』、地母神信仰とドストエフスキーの小説などを想定しているが、秋学期からの履修者も考慮して講義を進める。

ロシアの舞台芸術では演劇やバレエ、文学では19世紀リアリズム小説、エイゼンシュテインを中心としたロシア映画などを紹介する予定である。一つのテーマに割ける時間は5 - 6時間程度であるので、かなりの量のペーパーを配布し、少ない時間をカバーしたい。

随時アンケートを行い、履修者の希望の多いテーマを

取り上げる。昨年度は文学とバレエだった。

【教科書】

特になし。

【参考書】

毎回ペーパーを配布し、その中でテーマに関連する参考文献を紹介する。

地学 / 地学 (春学期)

「地球は生きている惑星」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経商理】

大路 樹生

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

地球は他の死んだ惑星とは異なり45億年にわたって生き続けている惑星である。この「地学」では、地球の基本構造の理解、地震、火山などのなじみ深い現象から学び、この地球がダイナミックな動きを持つ特異な惑星であることを理解する。また地質時間(年代)の概念、その測定法、過去の環境推定なども解説する。理科系科目に弱い学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。

【教科書】

資料集を配布します。

【参考書】

「地球を動かしてきた生命」、ピーターウェストブルック著、遠藤・阿部・大路訳、国際書院、2,625円。

地学 / 地学 (秋学期)

「地球と生命の歴史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経商理】

大路 樹生

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

地球表層環境と生命は互いに影響を及ぼしながら、いわゆる「共進化」を行ってきた。「地学」では、生命進化を中心とした地球史をたどり、生命現象が地球表層環境とどのようにかわりながら進化してきたのかをたどる。理科系科目に弱い学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。

【教科書】

資料集を実費販売します。

【参考書】

「進化する地球惑星システム」阿部・田近・茅根他、東京大学出版会、2,625円。

地学 / 地学 (春学期)

「地球を知る 測地学入門」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経商理】

里 嘉千茂

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

地球は私たち人間の生活の場であり、それをよりよく理解することは基本的に重要なことであると思います。この授業では、地球を測地的な観点から概観し、その理解を深めることを目的とします。はじめに、地球の形と大きさに関連して地球球形説や地球楕円体説などについて学びます。次いで、測地測量や近年発展してきたGPSに代表される宇宙測地技術、さらに、地殻変動や地球の重力とその測定方法、地球磁場、地球潮汐と地球回転などについて概説します。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じて講義資料プリントを適宜配布します。

【参考書】

- ・力武常次著『地球科学ハンドブック』(聖文社、1992年)
- ・日本測地学会監修・大久保修平編著『地球が丸いってほんとうですか?』(朝日新聞社、2004年)

地学 / 地学 (秋学期)

「地球を知る 地震・火山・テクトニクス」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経商理】

里 嘉千茂

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

私たちの生活の場である地球を、地震や火山、テクトニクスなどの観点から概観し、その理解を深めることを目的とします。はじめに、身近な地学現象であり、かつ、私たちの生活にも関連が深い地震や火山などについて、地球内部構造にも触れながら重点的に講義します。次に、これらの地学現象と密接に関連するプレートテクトニクスについて、その基礎としての大陸移動説や海洋底拡大説、さらに、より新しい考えであるブルームテクトニクスにも触れながら、概説します。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じて講義資料プリントを適宜配布します。

【参考書】

- ・パリティ編集委員会編『地震の科学』(丸善、1996年)
- ・中村一明・松田時彦・守屋以智雄共著『火山と地震の国』(岩波書店、1987年)
- ・瀬野徹三『プレートテクトニクスの基礎』(朝倉書店、1995年)

地学 / 地学 (春学期)

「地球システムの科学」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経商理】

鹿園 直建

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

以下の内容の授業を行う。

1. 地球システムの構成物質についての理解を深める。
2. 地球システム構成物質間の相互作用(地学現象)

3. 人間 - 自然システム間の相互作用 (資源)

【教科書】

鹿園直建著「地球システム科学入門」東大出版(1992年)

【参考書】

鹿園直建著「地球システムの化学」東大出版(1997年)

鹿園直建著「廃棄物とのつきあい方」コロナ社(2001年)

地学 / 地学(秋学期)

「地球システムの科学」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経商理】 鹿園 直建

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

以下の内容の授業を行う。

1. 人間 自然システム間相互作用(環境、自然災害)
2. 地球システムの進化

【教科書】

鹿園直建著『地球システム科学入門』東大出版(1992年)

【参考書】

鹿園直建著『地球システムの化学』東大出版(1997年)

鹿園直建著『廃棄物とのつきあい方』コロナ社(2001年)

地学 / 地学(春学期)

「宇宙の科学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経商理】 坪田 幸政

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

宇宙の科学の基礎と自然観の変遷を学習する。そして、現代の宇宙観や地球観を養い、現代社会と科学の関係について考える。

【教科書】

坪田幸政訳『宇宙の科学』丸善

【参考書】

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

地学 / 地学(秋学期)

「地球・人間システムの科学」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経商理】 坪田 幸政

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

このコースはアメリカで開発された「地球規模の変動」を理解するためのプログラム(Global Change Instruction Program)を用いて、地球規模の環境やその変化について学習する。太陽地球システム、雲と気候、地球史における気候変動、成層圏オゾン、気候変化の天気と人間活動への影響などのモジュールをシステム科学

の立場から学習し、持続可能な社会についての理解を深め、地球人として自ら判断・行動できるようになることを目標とする。

【教科書】

<http://www.dpc.ucar.edu/globalChange/index.html>

【参考書】

坪田幸政・吉田優著『インターネット気象学』クライム

地球科学概論

「気象学概論」 2単位 春学期
【商理】 坪田 幸政

【授業科目の内容】

- ・地球科学の諸分野の中の気象学を体系的に学習します。
- ・この授業を通して気象学の基礎を理解し、地球環境問題に対して、各自の意見を持てるようになることがこの授業の目的となります。
- ・内容は気象予報士試験の学科試験と一致しており、履修者の中から夏の試験の合格者が出ています。

【教科書】

小倉義光著「一般気象学 第2版」(東京大学出版会)

【参考書】

坪田幸政・吉田優著「インターネット気象学」(クライム)

高橋庸哉・坪田幸政訳「ワクワク実験 気象学」(丸善)

地球科学概論

「インターネット気象学」 2単位 秋学期
【商理】 坪田 幸政

【授業科目の内容】

- ・地球科学の諸分野の中で、特に気象学に焦点を合わせて授業を行う。
- ・天気予報を主体的に利用できるようになり、その評価を科学的に行えるようになる。
- ・地球環境に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、地球人として自ら判断・行動できるようになる。

【教科書】

坪田幸政・吉田優著「インターネット気象学」(クライム)

【参考書】

高橋庸哉・坪田幸政訳「ワクワク実験 気象学」(丸善)

<http://www.dpc.ucar.edu/globalChange/index.html>

中国事情

中国の風習と地方文化入門『詩歌の中の歳時 伝承と習俗』日本の年中行事と比較して 2単位 春学期

【文経商医】 許 曼 麗

【授業科目の内容】

何気なく過ごしている毎日の中に、実にたくさんの中

国文化と出会うことが出来る。この授業は、中国の歳時行事を中心に講義をし、それにまつわる詩歌を紹介しながら、日本のそれと対比しつつ、表象の違いを認識し、その伝来と変遷のプロセスを考察していきたい。そして、この講義を通して、中国が身近な存在であることを改めて実感してもらい、より深い理解をすることを期待したい。

【教科書】

ガイダンスで指示する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

中国事情

「現代中国入門」

2単位 秋学期

【文経商医】

孟 若燕

【授業科目の内容】

この授業は現代中国について全般的に解説する。中華人民共和国成立前から今日に至るというタイムスパンを対象に、地理、歴史、政治体制、経済体制、政府政策や社会的な変容など現代中国の基本問題を理解できるようにする。

【教科書】

特に指定なし。

【参考書】

1. 毛里和子著『現代中国政治』、名古屋大学出版会、2004
2. 南 亮進・牧野文夫編『中国経済入門 目覚めた巨龍はどこへ行く』、日本評論者、2001
3. 家近亮子ほか編『5分野から読み解く現代中国』、晃洋書房、2005
4. 国分良成編『中国の統治能力』、慶應義塾大学出版会、2006

地理学a（春学期）／地理学b（秋学期）

地理学（通年）

（火曜日）

「企業の活動を考える」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

長田 進

【授業科目の内容】

地理学は実証的な学問でありそのとり扱う分野は幅広い。ここでは企業活動について取り上げることとする。

さて、企業活動について取り上げると述べたが、ここでは（1）企業が進出する時にどのようにその進出先の場所を選択するのか、と（2）企業の活動が地域経済にどのように影響を与えるのか、ということを考えるために重要な理論を紹介していく予定である。

講義の具体的内容は、古典的立地論を学ぶことに始まり、多国籍企業の展開例や政策と企業との関係について考察を行うことまで網羅する予定である。

【教科書】

指定の教科書は用いない。必要な資料は授業のときに配布する。

資料の配布は教育支援システムを利用して行う予定である。（詳しくはガイダンスの時に説明する。）

【参考書】

配布資料の最後に、参考資料のリストを明示する。

地理学a（春学期）／地理学b（秋学期）

地理学（通年）

（金曜日）

「都市問題を考える」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

長田 進

【授業科目の内容】

地理学で取り扱う幅広い分野のうち、この講座では、都市問題に関連する話題を取り上げる。

この講座において、諸君には、前期に「都市とは何か？」という問題について取り上げることで、都市の本質について考察してもらいたいと考えている。そして、後期に「今、都市をめぐるってどのようなことが問題となっているのか」という現実の社会現象について、学問的に考察する機会を持ってもらいたいと考えている。

【教科書】

指定の教科書は用いない。必要な資料は授業のときに配布する。

資料の配布は教育支援システムを利用して行う予定である。（詳しくはガイダンスの時に説明する。）

【参考書】

配布資料の最後に、参考資料のリストを明示する。

地理学a（春学期）／地理学b（秋学期）

地理学（通年）

（月曜日）

「自然災害の地理学的解析」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

松原 彰子

【授業科目の内容】

人類は、長年にわたって気象災害・地震災害・火山災害などのさまざまな被害を受けてきた。近年では、これらに加えて地盤沈下や海岸侵食なども新たな災害として問題になっている。本講義では、災害の原因や実態を解説すると共に、災害と地理的条件（特に地形条件）との関係について考察し、災害予測のための基礎資料を示す。

【教科書】

松原彰子著『自然地理学 自然環境の過去・現在・未来』（慶應義塾大学出版会、2006年、2000円 ISBN4-7664-1255-9）

【参考書】

適宜紹介します。

地理学a（春学期）／地理学b（秋学期）
 地理学（通年）（金曜日）
 「自然地理学的視点から見た地球環境変動」
 2単位 春学期／秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 松原 彰子

【授業科目の内容】

近年の地球環境問題を理解する上で、広域的な視野に立ち、長時間スケールで自然環境の変動を把握することがきわめて重要である。本講義では、自然地理学の立場から、最も新しい地質時代である第四紀後期における地球環境変遷を中心に、環境変動の原因と実態を解説する。

【教科書】

松原彰子著『自然地理学 自然環境の過去・現在・未来』（慶應義塾大学出版会、2006年、2000円 ISBN4-7664-1255-9）

【参考書】

適宜紹介します。

地理学a（春学期）／地理学b（秋学期）
 地理学（通年）
 「日本と世界の農業・農村地域」
 2単位 春学期／秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 水嶋 一雄

【授業科目の内容】

この講義は、農業・農村地域の持続的発展に関わる方策を考えるため、日本と世界の農業・農村地域の現状と変化、問題点を、具体的な事例で理解することを目的とする。春学期は、日本の食料自給の現状と問題点、環境保全型農業（持続的農業）の考え方と問題点、水田開発の過程を地形や水との関わり、などについて講義する。秋学期は、近年における農業地域の現状と変化、とくに農業形態の変化を具体的な事例を紹介して講義する。また、アジア諸国やカリフォルニア州の農業・農村地域についても、日本との関連性を踏まえながら具体的な事例で講義する。講義内容を補足するために、ビデオやスライドを使用する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業時間中に指示する。

地理学 / 地理学（春学期）
 「～歴史地理学研究、その方法と実際～」
 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 宮瀧 交二

【授業科目の内容】

人文地理学の中における歴史地理学研究の目的・方法を確認したうえで、古代・中世を対象とした具体的調査事例から研究の実際を学ぶ。

【教科書】

講義の中で適宜紹介する。

【参考書】

講義の中で適宜紹介する。

地理学 / 地理学（秋学期）
 「～歴史地理学研究、その方法と実際～」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 宮瀧 交二

【授業科目の内容】

人文地理学の中における歴史地理学研究の目的・方法を確認したうえで、古代・中世を対象とした具体的調査事例から研究の実際を学ぶ。

【教科書】

講義の中で適宜紹介する。

【参考書】

講義の中で適宜紹介する。

地理学a（春学期）／地理学b（秋学期）
 地理学（通年）
 「現代の地域問題を地理学から考える」
 2単位 春学期／秋学期
 4単位 通年
【文経法商医理】 宮地 忠幸

【授業科目の内容】

この授業では、現代における地域問題の特質を具体的に学んでいきます。地理学の一つの特質は、地域で発現している諸事象を具体的に把握する研究方法にあります。授業では、まず身近な地域にみられる地域問題から日本社会の構造的な特質を予察します。その上で、戦後の日本経済・社会の構造的な特質とそれに条件づけられてきた大都市問題、地方都市問題、農山村問題の実態について、代表的な地理学分野の研究成果から学んでいきます。最後に、地域や地域問題の認識方法について検討を加え、現代の地域問題を考えるために必要な視角を考察したいと思います。こうした一連の学習を通して、私たちの生活空間であり、市民社会の基盤でもある地域の見方・考え方について理解を深めることができると思います。

【教科書】

とくに指定しません。授業中に講義資料プリントを配布します。

【参考書】

- ・富田和暁(2004)：『地域と産業 - 経済地理学の基礎 - 』原書房。
- ・中俣均編(2004)：『国土空間と地域社会』朝倉書店。
- ・伊藤喜栄(2004)：『図説 日本の生活圏』古今書院。
- ・杉浦章介・松原彰子・武山政直・高木勇夫(2005)：

『人文地理学 - その主題と課題 - 』慶應義塾大学出版会。
 ・上野和彦ほか編(2007)：『地理学概論』朝倉書店。

哲学 / 哲学(春学期)
 「行為の哲学」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 浅野 光紀

【授業科目の内容】

行為にまつわる哲学的な諸問題を論じる。行為は心と物の結節点、心をもった人間が自然世界に働きかける唯一の方途である。自由な振る舞いとしてみればそれは法則によって必然化されてはならず、単なる身体運動、物質の振る舞いとしてみれば、それは自然法則に支配されていなければならない。この両義性に、行為にまつわるパラドクスの全ての源泉がある。

本講義は、行為という概念を軸にした初学者向けの哲学概論という性格を持たせたいと考えている。そのため行為と心、世界との関わりを広く問うものにした。扱うトピックは、心身問題、自由意志と決定論、意識の問題、自己知の問題、他我問題、実在の構成：個体と性質、心の因果性、行為と人格、非合理性などを予定している。

【教科書】
 使用しない。

【参考書】
 授業の進行に従って指示する。

哲学 / 哲学(秋学期)
 「行為の哲学」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 浅野 光紀

【授業科目の内容】

行為にまつわる哲学的な諸問題を論じる。行為は心と物の結節点、心をもった人間が自然世界に働きかける唯一の方途である。自由な振る舞いとしてみればそれは法則によって必然化されてはならず、単なる身体運動、物質の振る舞いとしてみれば、それは自然法則に支配されていなければならない。この両義性に、行為にまつわるパラドクスの全ての源泉がある。

本講義は、行為という概念を軸にした初学者向けの哲学概論という性格を持たせたいと考えている。そのため行為と心、世界との関わりを広く問うものにした。扱うトピックは、心身問題、自由意志と決定論、意識の問題、自己知の問題、他我問題、実在の構成：個体と性質、心の因果性、行為と人格、非合理性などを予定している。

【教科書】
 使用しない。

【参考書】
 授業の進行に従って指示する。

哲学 (春学期) / 哲学 (秋学期)
 哲学(通年)
 「ジャック・デリダの思想」 2単位 春学期 / 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 荒金 直人

【授業科目の内容】

ジャック・デリダ(1930 - 2004)の著作の読解を通じて、彼の思想への接近を試みます。

【教科書】
 未定。初回の授業で説明します。

【参考書】
 (デリダについての解説書は数多くありますが、例えば以下のものが参考になると思います。)
 高橋哲哉、『デリダ 脱構築』講談社、2003年。
 ジャック・デリダ / ジョン・D. カプート、『デリダとの対話 脱構築入門』法政大学出版局、2004年。
 斎藤慶典、『デリダ なぜ「脱 - 構築」は正義なのか』NHK出版、2006年。

哲学 / 哲学(春学期)
 「問題からの哲学入門」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 飯田 隆

【授業科目の内容】

哲学は、ひとの話をただ聞いたり、ひとの書いたものをただ読むだけでは、なかなかその面白さがわからないものです。言ってみれば、哲学というのは、「勉強する」ものではなく、自分で「やってみる」ものなのです。そのためのもっとも正統的なやり方は、多くのひとびとによって議論されてきた哲学的問題のいくつかに自分で取り組んでみることでしょう。哲学的問題と言っても、じつにさまざまなものがありますが、この授業では、もっぱら理論的な事柄に関する話題を取り上げます。

【教科書】
 なし

【参考書】
 野矢茂樹『哲学の謎』講談社現代新書
 大森荘蔵『流れとよどみ』産業図書

哲学 / 哲学(秋学期)
 「テキストからの哲学入門」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法政商医理】 飯田 隆

【授業科目の内容】

春学期の哲学 (問題からの哲学入門)に引き続く、哲学への入門的講義の第二部です。この学期では、哲学の歴史のなかで偉大な存在だとされている哲学者たちのテキストの一部を細かく読むことを通じて、哲学の問題を考え、その解決をはかるというのはどういうことなのかを具体的にみます。扱う哲学者としては、プラトン、

アリストテレス、デカルト、ヒューム、カントなどを考えています。扱うテキストは、どの哲学者についても、翻訳で、しかも、せいぜい2 - 3頁ですが、それだけのものをきちんと読むのにどれだけの手間がかかるかを知ってもらおうと思います。

【教科書】

必要なテキストのコピーを授業の際に配布します。

【参考書】

熊野純彦『西洋哲学史 古代から中世へ』岩波新書
熊野純彦『西洋哲学史 近代から現代へ』岩波新書

哲学 / 哲学 (春学期)

「西田哲学研究」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 板橋 勇仁

【授業科目の内容】

世界でますます注目を集めつつある、哲学者西田幾多郎 (1870 - 1945) の『善の研究』を講読し、順次その内容を検討し議論する。単なる日本的あるいは東洋的な思想にはとどまらない、世界的な普遍性を持つ哲学として、しかも日本語で書かれた哲学として、西田哲学は必読に値する。『善の研究』は、西田哲学の出発点であり、かつ代表作の一つである。主題は、意識と実在、自然と精神、自我と他者などが各々対立する以前の最も具体的で豊かな経験、すなわち「主客未分」ないし「主客合一」の経験のありようである。最初の数回で、西田の生涯と思想、『善の研究』の内容についての簡単なガイダンスを行う。講読は第二編「実在」を予定しているが、受講者の希望に応じたい。

なお受講者には以下の取り組みを課す。授業を充実したものにするためである。すべて詳細は初回 (ガイダンス) 授業時に提示する。必ず出席のこと。

1) 学期初めに受講にあたっての小レポートの提出。2) それを含めて計4本のレポートの提出。3) 授業では参加者にその場で当てて、段落毎の「要約」の発表を求める。各自の事前予習が必須。4) 毎回の授業終了時に小レポートの作成。

【教科書】

西田幾多郎『善の研究』(岩波文庫)

【参考書】

板橋勇仁『西田哲学の論理と方法』(法政大学出版社)
永井 均『西田幾多郎』(NHK出版)

哲学 / 哲学 (秋学期)

「西田哲学研究」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 板橋 勇仁

【授業科目の内容】

世界でますます注目を集めつつある、哲学者西田幾多郎 (1870 - 1945) の『善の研究』を講読し、順次その内容を検討し議論する。単なる日本的あるいは東洋的な思想にはとどまらない、世界的な普遍性を持つ哲学として、

しかも日本語で書かれた哲学として、西田哲学は必読に値する。『善の研究』は、西田哲学の出発点であり、かつ代表作の一つである。主題は、意識と実在、自然と精神、自我と他者などが各々対立する以前の最も具体的で豊かな経験、すなわち「主客未分」ないし「主客合一」の経験のありようである。最初の数回で、西田の生涯と思想、『善の研究』の内容についての簡単なガイダンスを行う。哲学 (春学期) で読了した部分の続きを講読する予定しているが、受講者の希望に応じたい。

なお受講者には以下の取り組みを課す。授業を充実したものにするためである。すべて詳細は初回 (ガイダンス) 授業時に提示する。必ず出席のこと。

1) 学期初めに受講にあたっての小レポートの提出。2) それを含めて計4本のレポートの提出。3) 授業では参加者にその場で当てて、段落毎の「要約」の発表を求める。各自の事前予習が必須。4) 毎回の授業終了時に小レポートの作成。

【教科書】

西田幾多郎『善の研究』(岩波文庫)

【参考書】

板橋勇仁『西田哲学の論理と方法』(法政大学出版社)
永井 均『西田幾多郎』(NHK出版)

哲学 / 哲学 (春学期)

「アウグスティヌスにおける存在理解」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐藤真基子

【授業科目の内容】

パルメニデス以来哲学の主要な主題である存在について考える。とくにこの授業では、古代末期に生きたラテン教父であり、中世哲学の出発点ともみなされるアウグスティヌスにおいて、「ある」ということがいかなる仕方でも論じられているか、彼の対話篇『ソリロクィア』をテキストとして検討する。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

適宜紹介する。

哲学 / 哲学 (秋学期)

「アウグスティヌスにおける存在理解」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐藤真基子

【授業科目の内容】

パルメニデス以来哲学の主要な主題である存在について考える。とくにこの授業では、古代末期に生きたラテン教父であり、中世哲学の出発点ともみなされるアウグスティヌスにおいて、「ある」ということがいかなる仕方でも論じられているか、彼の対話篇『ソリロクィア』をテキストとして検討する。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

適宜紹介する。

哲学 / 哲学（春学期）

「近代における個の概念 ライプニッツを中心に」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

田子山和歌子

【授業科目の内容】

教科書的な理解においては、17世紀の哲学者ライプニッツは、近代的な意味での「個」の概念を確立したといわれているが、それは本当だろうか。ライプニッツの中期の著作『形而上学叙説』および『ライプニッツ＝アルノー往復書簡』の精読を通し、検討したい。

【教科書】

ライプニッツ『形而上学叙説』（岩波文庫）

【参考書】

必要に応じてそのつど配布する

哲学 / 哲学（秋学期）

「近代における個の概念 ライプニッツを中心に」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

田子山和歌子

【授業科目の内容】

教科書的な理解においては、17世紀の哲学者ライプニッツは、近代的な意味での「個」の概念を確立したといわれているが、それは本当だろうか。ライプニッツの中期の著作『形而上学叙説』および『ライプニッツ＝アルノー往復書簡』の精読を通し、検討したい。

【教科書】

ライプニッツ『形而上学叙説』（岩波文庫）

【参考書】

必要に応じてそのつど配布する

哲学 / 哲学（春学期）

「心の歴史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

中川 純男

【授業科目の内容】

われわれ現代人は、過去の意味をいまの視点から評価しがちであるが、過去のほんとうの意味は、それがわれわれの現在の一部となっていること、いまが過去によって意味を与えられていることにある。いまに蓄積された過去、それが文化とか文明と呼ばれるものの本質である。この講義では、古代から近世に至る思想史の中から、いくつかの主題を取り上げ、その思想がわれわれにとって身近なものであることを実感することを目指す。

【教科書】

用いない。

【参考書】

授業中に指示する。

哲学 / 哲学（秋学期）

「心の歴史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

中川 純男

【授業科目の内容】

われわれ現代人は、過去の意味をいまの視点から評価しがちであるが、過去のほんとうの意味は、それがわれわれの現在の一部となっていること、いまが過去によって意味を与えられていることにある。いまに蓄積された過去、それが文化とか文明と呼ばれるものの本質である。この講義では、古代から近世に至る思想史の中から、いくつかの主題を取り上げ、その思想がわれわれにとって身近なものであることを実感することを目指す。

【教科書】

用いない。プリントを配布する。

【参考書】

『中世哲学を学ぶ人のために』中川純男・加藤雅人編、世界思想社、2005年、定価2100円

哲学 / 哲学（春学期）

「心と知識の哲学」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

長澤 英俊

【授業科目の内容】

この講義では、心の哲学と知識論における諸問題、および心の哲学と形而上学の境界線上にある諸問題を取り上げます。論じられる予定になっているのは、以下のようなテーマです。自由意志、人格の同一性、志向性、知識とは何か、内在仕儀と外在主義、自己知、およびそれらに関係する諸問題。主として20世紀以降の英語圏における様々な理説を検討しながら、哲学的な問題設定に慣れるとともに自分なりの解決策を見出すことを目標にしたいと思います。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

西脇与作『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会 2002年。
ジョン・R・サール 山本貴光・吉川浩満 訳『マインド：心の哲学』朝日出版社 2006年。

哲学 / 哲学（秋学期）

「心と知識の哲学」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

長澤 英俊

【授業科目の内容】

この講義では、心の哲学と知識論における諸問題、および心の哲学と形而上学の境界線上にある諸問題を取り上げます。論じられる予定になっているのは、以下のようなテーマです。自由意志、人格の同一性、志向性、知

識とは何か、内在仕儀と外在主義、自己知、およびそれらに關係する諸問題。主として20世紀以降の英語圏における様々な理論を検討しながら、哲学的な問題設定に慣れるとともに自分なりの解決策を見出すことを目標にしたいと思います。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

西脇与作『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会 2002年。
ジョン・R・サール 山本貴光・吉川浩満 訳『マインド：心の哲学』朝日出版社 2006年。

哲学 / 哲学（春学期）

「イスラーム世界における哲学の展開」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 仁子 寿晴

【授業科目の内容】

イスラーム世界では9世紀から10世紀にかけてアリストテレスや新プラトン主義の影響を受け、アラビア語でファルサファ（falsafa）と言われる哲学的営為が定着した。このファルサファの成立過程を10世紀バグダードの哲学者ファーラービーを中心に追ってみたい。ファルサファを取り巻く状況を概説したのち、ファーラービー思想における論理・神・言語といったテーマを掘り下げる。イスラーム思想の用語、ファルサファ用語などの解説は丹念に行なう。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

初回到参考文獻リストを配ります。

哲学 / 哲学（秋学期）

「イスラーム世界における哲学の展開」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 仁子 寿晴

【授業科目の内容】

イブン・スィナー（d.1037）が出現して以降のイスラーム世界における哲学（ファルサファ）の歴史は「多様化」と捉えることができる。ファルサファが逍遙学派（マッシャーイー）や照明学派（イシュラーキー）に分かれていくといった展開を見せるだけではなく、神秘主義・神学などに大きな影響を及ぼしていく。その過程を辿りたい。特に13世紀の神秘主義思想家イブン・アラビーの存在一性論との関わりを論じる。哲学だけではなく、神秘主義思想にもなじんでいただきたい。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

初回到参考文獻リストを配ります。

哲学 / 哲学（春学期）

「心の哲学概説」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 星野 嶽男

【授業科目の内容】

これまで哲学において議論されてきた問題の中から、特に我々の「心」に関するものを取り上げ、どのような解決を与えることができるか考えます。

テーマは「心の哲学」ですが、そこには心についての哲学的な「説」だけでなく、言語や論理に関わるものなど、多岐に及ぶ議論があります。また哲学には、ものを考えるための独特の議論の手法があります。

この授業では出来るだけ多くの話題を紹介しますが、これはあくまで背景知識であり、自分で実際に考えてみる事が重要です。その作業を通して、哲学的なものの考え方を身につけて頂ければと思います。

【教科書】

特に指定しません。適宜プリントを配布します。

【参考書】

西脇与作『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会 2002。
その他、適宜紹介します。

哲学 / 哲学（秋学期）

「心の哲学概説」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 星野 嶽男

【授業科目の内容】

これまで哲学において議論されてきた問題の中から、特に我々の「心」に関するものを取り上げ、どのような解決を与えることができるか考えます。

テーマは「心の哲学」ですが、そこには心についての哲学的な「説」だけでなく、言語や論理に関わるものなど、多岐に及ぶ議論があります。また哲学には、ものを考えるための独特の議論の手法があります。

この授業では出来るだけ多くの話題を紹介しますが、これはあくまで背景知識であり、自分で実際に考えてみる事が重要です。その作業を通して、哲学的なものの考え方を身につけて頂ければと思います。

【教科書】

特に指定しません。適宜プリントを配布します。

【参考書】

西脇与作『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会 2002。
その他、適宜紹介します。

哲学 / 哲学（春学期）

「物理学と数学の概念的基礎に関わる哲学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 横尾 剛

【授業科目の内容】

現代において「哲学」という学問分野として研究され教育されている事柄は多岐にわたっている。この講義では、物理学および数学の基礎的な概念に関わる哲学的問題を解説する。

講義の序盤では、下記の教科書に沿って哲学の主題とその方法についての知識を共有することを目的とする。それを踏まえた上で、具体的な問題を検討していく。講義の全体は教科書の第1章から第3章の範囲にほぼ対応するが、適宜、下記の参考書などから補足が加えられる。なおこの講義では、哲学、物理学、数学に関する知識を特に前提とはしていない。

春学期は、主に物理学の基礎的な概念に関わる問題が扱われる。

講義で使用するプリントなどは、すべて次のところから入手できる：

<http://phil.flet.keio.ac.jp/person/yokoo/index-j.html>

【教科書】

『現代哲学入門』西脇与作 慶應義塾大学出版会 2002年

【参考書】

『科学の哲学』西脇与作 慶應義塾大学出版会 2004年

哲学 / 哲学 (秋学期)

「物理学と数学の概念的基礎に関わる哲学」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

横尾 剛

【授業科目の内容】

現代において「哲学」という学問分野として研究され教育されている事柄は多岐にわたっている。この講義では、物理学および数学の基礎的な概念に関わる哲学的問題を解説する。

講義の序盤では、下記の教科書に沿って哲学の主題とその方法についての知識を共有することを目的とする。それを踏まえた上で、具体的な問題を検討していく。講義の全体は教科書の第1章から第3章の範囲にほぼ対応するが、適宜、下記の参考書などから補足が加えられる。なおこの講義では、哲学、物理学、数学に関する知識を特に前提とはしていない。

秋学期は、主に数学の基礎的な概念に関わる問題が扱われる。

講義で使用するプリントなどは、すべて次のところから入手できる：

<http://phil.flet.keio.ac.jp/person/yokoo/index-j.html>

【教科書】

『現代哲学入門』西脇与作 慶應義塾大学出版会 2002年

【参考書】

『科学の哲学』西脇与作 慶應義塾大学出版会 2004年

哲学 / 哲学 (春学期)

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

荒谷 大輔

【授業科目の内容】

後日掲示参照

哲学 / 哲学 (秋学期)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

荒谷 大輔

【授業科目の内容】

後日掲示参照

天文学 / 天文学 (春学期)

「進化する宇宙」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経商理】

茂山 俊和

* 理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

宇宙は波瀾万丈で、ダイナミックな出来事に満ちている。宇宙がどのように始まり今ある姿になったのか、そもそも変化する宇宙という概念がどのように培われてきたのかを理解することがこの講義の目的である。まず、宇宙観が歴史的にどのような変遷をとげたかを見る。アリストテレスの宇宙から、現代ビッグバン宇宙にいたるまでのいろいろな発見と試行錯誤の歴史に注目したい。宇宙は高温高密度の大爆発で始まり、次第に冷えていく中で銀河や星ができた。このようにしてできた銀河は宇宙にどのように分布し、動いているのか。銀河の形態が多様なのはなぜか。宇宙空間はどう変化するのか。変化に富んだ宇宙について調べ、グループ発表を行うので、初回の講義に出て説明をうけること。

【教科書】

加藤万里子著『新版 100億年を翔ける宇宙』恒星社

天文学 / 天文学 (秋学期)

「宇宙の中の人間」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経商理】

茂山 俊和

* 理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

宇宙は波瀾万丈で、ダイナミックな出来事に満ちている。私たちはなぜ地球に生まれたのか、宇宙の中で地球と人間のおかれた位置を明らかにすることがこの講義の目的である。星は今でも生まれている。星は核融合反応のエネルギーで光っており、最後には超新星爆発など劇的な現象を引き起こす。そのとき星の中にあつたいろいろな元素が宇宙にまき散らされる。太陽系には地球型惑

星と木星型惑星がある。地球型惑星は岩石と金属からなる星で、わたしたち生物はそこで生まれて進化してきた。からだを作っている元素は、むかし星の中心部で核融合反応により作られたものである。太陽系で起こったことは、宇宙のどこかでもやはり起こった可能性がある。宇宙のどこかにいるかもしれない知的生命とめぐりあうことはあるのだろうか。グループ発表や絵本製作を行うので、初回の講義に出て説明をうけること。過去の履修者が作成した絵本は<http://sunrise.hc.keio.ac.jp/mariko/astro.html>にある。

【教科書】

加藤万里子著『新版 100億年を翔ける宇宙』恒星社

21世紀の実学

2単位 秋学期

【文経商】

コーディネーター 鈴木 順二
竹内美佳子

【授業科目の内容】

社会に対する自主的関心と豊かな発想をもってつねに新しい課題に取り組み、大学で体得した科学的態度と教養を積極的に問題解決に適用できる人物を社会に送り出すことはわれわれ教員の目標とするところである。このような実学の精神を具現化し実社会で指導的役割を担っている先輩には枚挙にいとまがないが、この授業はこれらの人々の力を借り展開される。

各回の授業に実社会で活躍している方々を講師として招きオムニバス形式の講義を展開する。そこでは、他人と協働するとはどういうことなのか、実社会で指導的役割を果たすとはどういうことなのか、社会に出て実学の精神を実践するためには学生時代いかに過ごすべきかなど、先輩の立場から話してもらい、大学における勉学の意味を積極的に考える機会を諸君に持ってもらおうと思っている。各回異なる講師による講義が展開されるため具体的な講義内容は多岐にわたることになるが、大学初年級の君達が有意義な大学生活を送れることを目標にして、実社会での成功あるいは失敗の経験から得られた講師の知恵に基づいて講義がなされることは共通している。

日本の政治

「現代日本の政治過程」

2単位 春学期

【経商医理】

水戸 克典

【授業科目の内容】

周知の通り、わが国の憲法では主権在民がうたわれています。しかしながら、実際に誰が政治の実権を握り、政策を決定しているかについては、ほとんどの国民にとって闇の中にあるといっても過言ではありません。

本講義では具体的事例を取り上げながら、日本政治についていわれている様々な特質を解説し、わが国における政治力学を多面的に検討していきます。

【教科書】

授業中に適宜指示します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

比較文化論a（春学期）／比較文化論b（秋学期）
比較文化論（通年）

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経商医】

コーディネーター 山本 賀代
根岸 宗一郎 佐谷 眞木人
田代 眞

【授業科目の内容】

海外旅行はお手軽になり、さらにインターネットさえあれば、私たちは自室にいながら世界と繋がることができる。しかし世界が小さくなればなるほど、異文化体験における私たちの衝撃は薄くなり、均質化を生むメディアによって、異文化に対する感覚を鈍らされてはいないだろうか。

本講義では、異文化に対するあこがれや好奇心あるいは反発が時代を動かす大きな原動力となった時代、主に西洋、中国そして日本が近代化を迎えた激動の時代における異文化交流・接触について、具体的な検証と考察を行なっていく。山本はドイツとヨーロッパ、日本の関係、根岸は中国と日本・西洋の関係、佐谷は西洋と日本の関係をそれぞれ紹介する。最後に田代の講義では、「比較文化」とは何か、その理論的枠組みやアプローチのさまざまな可能性を探求する。

「ヨーロッパのゲーテ 日本のゲーテ」(担当者：山本賀代)

神聖ローマ帝国とは名ばかり、実際には300近くの小国に分裂していたドイツにおいて、初めてナショナリズムがわき起こるのは18世後半、若い知識人たちは自国の文学・文化を強く求めるようになった。その文化的後進国ドイツが初めてヨーロッパに送り出したベスト・セラー小説、それがヨーハン・ヴォルフガング・ゲーテ(1749 - 1832)の『若きヴェルターへの悩み』(1774)であった。一方、60年近い年月をかけて完成させた戯曲『ファウスト』(第1部は1808、第2部は1832)は、中世ドイツで生まれたファウスト伝説を下敷きにしている。この伝説はゲーテ以外にも多くの作家の創作意欲をかき立て、さまざまな国・時代のファウスト博士が生み出されている。ゲーテの作品を紹介しながら、ヨーロッパ文化とドイツ・ゲーテの関係を多角的に考察したい。あわせて、近代日本におけるゲーテ受容についても紹介する。

「近現代中国と日本・西洋」(担当者：根岸宗一郎)

中国は13億を超える人口をかかえる国であり、イギリス・フランス・ドイツといったヨーロッパ近代国家の20倍近い規模をもつ。しかし、ウエスタン・インパクトを受けて中国の近代国家形成は極めて急速に進んだ。本講義は、中国の近代国家形成の問題(ナショナリズム、言語)から出発し、激動の20世紀中国を日本・西洋との関係、東洋文化と西洋文化の間の問題に注目しながら考察

していく。中国は20世紀初頭、日本を經由して西洋文化を吸収していくため、西洋との関係も日本との関係抜きには語ることができない。そこで、激動の時代の中で突出した観察眼を有した中国と日本の知識人たち、具体的には中国知識人の魯迅、周作人、日本知識人の夏目漱石、芥川龍之介、武者小路実篤などに焦点を当てながら、時代を追って進めていく予定である。

「幕末・明治初期における西洋と日本」(担当者：佐谷眞木人)

幕末から明治初期にかけて日本は西洋文明と出会い、さまざまな摩擦や衝突を繰り返しながら受容していく。当時の日本人には、西洋はどのように見えた(あるいは見えなかった)のだろうか。また、逆に、日本を訪れた欧米人には当時の日本はどのように映ったのだろうか。この講義では、当時の日本人や日本を訪れた欧米人の残した文章を手がかりとして、日本と西洋とがどのように出会ったのかを検証したい。そこには、それぞれの文化に固有の偏向した視点が認められる一方で、異文化に対する新鮮な驚きや感動も記されている。それは、双方にとって価値観を揺るがせるような経験であったと言える。また、その出会いからは近世の日本という、「失われた文明」の姿も垣間見ることができる。今日にいたる日本と西洋の関係が基礎付けられた時代を確認することを通して、現代の日本文化のあり方を振り返る契機としたい。

『文化』、『翻訳』、『比較』(担当者：田代真)

本講義の科目名には「文化」という言葉が含まれています。「文化」という言葉は現在英語で言うcultureの翻訳語に相当するものとして定着していますが、その意味範囲は曖昧で、同じくcultureの翻訳である「教養」、カタカナ語「カルチャー」さらには同義語である「文明」の意味範囲と重複したり、あるときには対比的に使われたりしているのが現状だと思います。「文化」という言葉がすでに漢語であり、cultureに「文化」という語を充てることはいわば外国語でもって外国語を翻訳しているということになり、「文化」という一語の中にさえ、複数の文化の相互干渉が見られるわけです。私の担当分では、「翻訳」を、単に異言語間の翻訳という字義的な意味にとどまらず、他の文化や他の文化ジャンルの移入や書き換え、混淆といった広義の文化現象を含むものととらえ、その諸相を各回のトピックのうちに探ることによって、本講義の科目名に含まれるもうひとつの言葉「比較」について考えていきたいと思います。各トピックは現段階の暫定的なものなので取り上げる順番や内容の変更があるかもしれません。私の担当分の初回の授業でそうした変更を含め詳しい内容を説明する予定です。

【教科書】

特になし

【参考書】

授業中に適宜指示・紹介します

美術 / 美術 (春学期)

「日本の近世絵画」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 金子 信久

【授業科目の内容】

日本の近世(安土桃山~江戸時代)の絵画史を概観します。織田信長、豊臣秀吉による政治体制、イエズス会の布教に伴って生まれたヨーロッパとの交流など、安土桃山時代には、新しい社会を背景に生まれたダイナミックで洗練とした造形活動がみられます。また、江戸時代には、長期にわたる安定した政権と、鎖国という歴史上特異な環境のもとで、絵画芸術は独特の深まりや多様化をみせました。画人ひとりひとりの芸術性だけでなく、鑑賞者や社会的背景にも留意し、また、それ以外の時代の美術との連続性や違いにも時折触れながら、近世絵画の魅力や特質について講義します。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

その都度紹介します。

美術 / 美術 (秋学期)

「18世紀日本の画人たち」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 金子 信久

【授業科目の内容】

江戸時代後期、中でも18世紀は、日本美術の歴史の中でも大きな変化が現れた時代でした。文芸の精神や、ヨーロッパや中国からもたらされる美術の刺激、美術の鑑賞者層の広がりなどを背景に、伝統を発展させ、あるいは打ち破ろうとする創作意欲に富んだ画人たちが現れました。その感覚は多彩で、奇抜さ、鋭さに溢れています。そして、次々と生みだされる新たな芸術に驚きつつも楽しんでいた、当時の人びとの感性や精神には、未知の感覚に目まぐるしく接している現代の私たちでさえ驚かされます。講義では、この時代に活躍した6人の画人を選び、それぞれの作品世界について掘り下げていきます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

その都度紹介します。

美術 / 美術 (春学期)

「スペイン美術」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 木下 亮

【授業科目の内容】

16世紀から19世紀初頭までのスペイン美術を、エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤを中心に概観する。またスペイン美術の特質を理解するために、スペインと他のヨー

ロップ諸国との美術における影響関係についても適宜ふれていきたい。

【教科書】

なし

【参考書】

講義のなかで紹介する。

美術 / 美術 (秋学期)

「スペイン美術」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

木下 亮

【授業科目の内容】

19世紀後半から現代までのスペイン美術を、ガウディ、ピカソ、ダリを中心に概観する。またスペインに影響を与えた他のヨーロッパ諸国の前衛美術についても適宜ふれていきたい。

【教科書】

なし

【参考書】

講義のなかで紹介する。

美術

「20世紀の美術 - キュビズム以降」

2単位 秋学期

【文経法政商医理】

近藤 幸夫

【授業科目の内容】

この授業は私の春学期の授業「美術」の知識が前提となります。つまり「美術」で扱った内容の後の時代、キュビズムからシュルレアリスムまでを取り上げます。特にピカソの絵画については丁寧に説明したいと思っています。

(「美術」は2007年度 休講です)

【教科書】

特にありません。

【参考書】

「カラー版20世紀の美術」美術出版社など授業中に適宜指示します。

美術 / 美術 (春学期)

「日本の仏教美術 (飛鳥時代から平安時代前期)」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

塩澤 寛樹

【授業科目の内容】

美術史を総合的に理解するには、建築、彫刻、絵画、工芸などの造形芸術各ジャンルにわたって知ることが理想ですが、限られた時間の中でこれらを各時代にわたって網羅的に取り上げることは困難です。

そこで本講は、日本美術の中でも最も主要なジャンルである仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連続と流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史を

中心にして通史的に日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解することを目指しますが、ここではそのうちの飛鳥時代から平安時代前期までを扱います。

また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情などとも密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指します。

講義では、なるべく多くの画像を写し、視覚的な理解に努める予定です。

なお、本講は「美術 平安時代後期から江戸時代」と併せて通史的に構成される内容の半期分に当たります。

【教科書】

特に指定しません。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布します。

【参考書】

倉田文作『仏像のみかた』(第一法規出版) 佐和隆研『仏像図典』(吉川弘文館) 中村元・久野健編『仏教美術事典』(東京書籍)

美術 / 美術 (秋学期)

「日本の仏教美術 (平安時代後期から江戸時代)」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

塩澤 寛樹

【授業科目の内容】

美術史を総合的に理解するには、建築、彫刻、絵画、工芸などの造形芸術各ジャンルにわたって知ることが理想ですが、限られた時間の中でこれらを各時代にわたって網羅的に取り上げることは困難です。

そこで本講は、日本美術の中でも最も主要なジャンルである仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連続と流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史を中心に、通史的に日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解することを目指しますが、ここではそのうちの平安時代後期から江戸時代までを扱います。

また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情などとも密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指します。

講義では、なるべく多くの画像を写し、視覚的な理解に努める予定です。

なお、本講は「美術 日本の仏教美術 (飛鳥時代から平安時代前期)」と併せて通史的に構成される内容の半期分に当たります。

【教科書】

特に指定しません。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布します。

【参考書】

倉田文作『仏像のみかた』(第一法規出版) 佐和隆研

『仏像図典』(吉川弘文館)、中村元・久野健編『仏教美術事典』(東京書籍)

美術 / 美術(春学期)
 「イタリア・ルネサンスの絵画」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 末吉 雄二

【授業科目の内容】

美術や音楽を理解し愛好するのは、その人の趣味にすぎないと思われ、残念ながら、日本社会の指導的な立場に居ながら「私は美術は全くわからない」と言って恥じない者も少なくない。しかし、傑作か否かを問わず、芸術作品一点には、それを産出し・受容し・保持してきた社会と個人の価値観(制度・思想)が結晶しているので、それを理解するのはきわめて知的な営みである。美術作品を知って楽しむことは、知性と感性をバランスよく育むことができた者の特権なのである。この授業はこのような観点に立ってイタリア・ルネサンスの絵画を鑑賞するための「入門講座」である。

【教科書】

特に指定しないが、限られた授業時間内に多数の作品を紹介することは困難なので、各人が美術全集などでできるだけ多くの作品を「見る」ようにしてほしい。ヨーロッパの「歴史」および「キリスト教信仰」が深く関わってくるので、各自勉強してほしい。講義の資料は授業の際に配布する。

【参考書】

聖書とギリシア・ローマ神話に関しては解説書が各種あるが、美術作品の主題を知るためには『西洋美術解説辞典』(河出書房新社)が便利。『黄金伝説』(人文書院)、『キリスト教大事典』(教文館)などにも目を向けてほしいが、文化史としては『イタリア・ルネサンスの文化』(J・ブルクハルト著)が「ルネサンス」概念の理解のためには不可欠。『世界美術大全集』、『世界美術大事典』(共に小学館)。

美術 / 美術(秋学期)
 「イタリア・ルネサンスの絵画」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 末吉 雄二

【授業科目の内容】

美術や音楽を理解し愛好するのは、その人の趣味にすぎないと思われ、残念ながら、日本社会の指導的な立場に居ながら「私は美術は全くわからない」と言って恥じない者も少なくない。しかし、傑作か否かを問わず、芸術作品一点には、それを産出し・受容し・保持してきた社会と個人の価値観(制度・思想)が結晶しているので、それを理解するのはきわめて知的な営みである。美術作品を知って楽しむことは、知性と感性をバランスよく育むことができた者の特権なのである。この授業はこのような観点に立ってイタリア・ルネサンスの絵画を鑑賞するための「入門講座」である。

【教科書】

特に指定しないが、限られた授業時間内に多数の作品を紹介することは困難なので、各人が美術全集などでできるだけ多くの作品を「見る」ようにしてほしい。ヨーロッパの「歴史」および「キリスト教信仰」が深く関わってくるので、各自勉強してほしい。講義の資料は授業の際に配布する。

【参考書】

聖書とギリシア・ローマ神話に関しては解説書が各種あるが、美術作品の主題を知るためには『西洋美術解説辞典』(河出書房新社)が便利。『黄金伝説』(人文書院)、『キリスト教大事典』(教文館)などにも目を向けてほしいが、文化史としては『イタリア・ルネサンスの文化』(J・ブルクハルト著)が「ルネサンス」概念の理解のためには不可欠。『世界美術大全集』、『世界美術大事典』(共に小学館)。

美術 / 美術(春学期)
 「イギリスの風景画」 2単位 春学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 杉村 浩哉

【授業科目の内容】

人間が自然とかがかわる中から生まれてきたイギリスの美術についての講義です。春学期は中世の絵地図から18世紀までを概観します。個々の美術作品を歴史的な脈の中でとらえること、また広く美術一般についての関心を深めることを目的とします。

【教科書】

特に指定しません。授業時に資料プリントを配布します。

【参考書】

授業の中で適宜指示します。

美術 / 美術(秋学期)
 「イギリスの風景画」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経法政商医理】 杉村 浩哉

【授業科目の内容】

人間が自然とかがかわる中から生まれてきたイギリスの美術についての講義です。秋学期は19世紀から現代までを概観します。個々の美術作品を歴史的な脈の中でとらえること、また広く美術一般についての関心を深めることを目的とします。

【教科書】

特に指定しません。授業時に資料プリントを配布します。

【参考書】

授業の中で適宜指示します。

美術 / 美術 (春学期)

「19世紀西洋美術史概説 (前期)」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 富田 章

【授業科目の内容】

西欧の19世紀は、社会構造が大きく変化した時代であった。美術の世界にもその影響は及んでいる。美術が広い階層に受け入れられるようになり、その結果として受容層の多様な趣味が制作側の意識にも反映されるようになった。このことは具体的には描かれる主題の変化という形であられた。これは歴史画を最も価値あるものとするアカデミーの中でさまざまな軋轢を生み出すこととなる。本講義では、以上のようなことを踏まえて、19世紀前半の西洋美術史を概観する。毎回、キイ・ワードと重要作品をひとつずつあげ、それをもとに美術史の展開をたどっていく。「美術 / 美術 (秋学期)」とあわせて受講することが望ましい。

【教科書】

特に定めなし

【参考書】

必要に応じて随時指示する

美術 / 美術 (秋学期)

「19世紀西洋美術史概説 (後期)」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 富田 章

【授業科目の内容】

19世紀に美術の受容層が変化したことは、美術の主題の変化だけではなく、アカデミーを含む美術の体制にも変革を迫ることとなった。一方で科学技術の発展は人々の生活を一編させ、美術の手法にも変化をもたらした。そして、個人と個性を尊重する傾向が強まっていったことが、こうした変化を促進することになった。本講義では、以上のようなことを踏まえて、19世紀後半の西洋美術史を概観する。毎回、キイ・ワードと重要作品をひとつずつあげ、それをもとに美術史の展開をたどっていく。「美術 / 美術 (春学期)」とあわせて受講することが望ましい。

【教科書】

特に定めなし

【参考書】

必要に応じて随時指示する

美術 / 美術 (春学期)

「日本美術の魅力 古代・中世の美術」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 内藤 正人

【授業科目の内容】

古代より中世までの日本の美術史の魅力ある特色を、作品を通して理解してもらうための授業です。教科書や

一般書などで著名な絵画や彫刻・工芸、建築を、美術の歴史という観点から再考し、「骨董」「鑑定」の俗説とは異なる学問的観点からの考察を加えた入門編としたいと思います。

【教科書】

とくになし。

【参考書】

とくになし (必要があれば別途指示します)

美術 / 美術 (秋学期)

「日本美術の魅力 近世・近代の美術」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 内藤 正人

【授業科目の内容】

近世・近代の日本の美術史上魅力ある特色を、作品を通して理解してもらうための授業です。教科書や一般書などで著名な絵画や工芸、染色を、美術の歴史という観点から再考し、「骨董」「鑑定」の俗説とは異なる学問的観点からの考察を加えた入門編としたいと思います。

【教科書】

とくになし。

【参考書】

とくになし (必要があれば別途指示します)

人の尊厳

「社会と人権」 2単位 秋学期
【文経商医】 渡辺 秀樹 関場 武
安藤 寿康

【授業科目の内容】

国内外の情勢を眺めたとき、今日ほど人の尊厳の基盤が危機に瀕している時代はない。国際情勢においては民族間の葛藤が、国内においては少年犯罪、同和問題、性差別、児童虐待、さまざまなハラスメントや、いじめなどの諸問題が、また科学の領域では遺伝子情報や生命操作に絡む倫理的危機が、そしてわが心のうちには自分自身の尊厳を見いだすことができずにさまよう一人一人の精神的・思想的危機がある。これらは一見別々の問題のようでありながら、実は互いに連動しあっている。この講義は単なる「知識を得る」ための授業ではない。これら多様な問題に自ら立ち向かっておられるさまざまな分野の専門家に毎回登場いただき、自らの経験や問題状況を語っていただく。それを受けて、学生諸君には、これらの諸問題を考え、さらには自らを振り返り自分自身の考え方や生き方を問い直すきっかけをつかんでほしい。それが、この講義の目的である。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業時に各講師が適宜紹介する。

表象文化論a (春学期) / 表象文化論b (秋学期)
 表象文化論 (通年)

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経商医】 コーディネーター 小湊 昭夫
 杉原 賢彦 林 栄美子
 藤崎 康

【授業科目の内容】

「写真と映画の誕生」林栄美子

人間が初めて「映像」を手にしたのは19世紀です。写真は19世紀前半に、映画は19世紀末に誕生しましたので、人間の長い歴史の中ではつい最近のことと言えます。それでも短い間に映像は我々の周りに氾濫し、いつのまにか人間を変え、今では映像の存在しない世界を想像することさえ難しくなっています。写真を初めとする映像は、人間に何をもたらしたのでしょうか。写真や映画の誕生の頃に戻って、それらがどのようにして生まれてきたのかを知り、黎明期の写真・映画を今改めて見てみると、それらの面白さに驚かされます。写真については誕生から1930年代ぐらいまでの、映画については19世紀末から20世紀半ばまでの、実際の映像資料に接して楽しみながら、写真とは映画とは何かを考えてみましょう。

「ショート・フィルムに見る映像表現の現在・未来」
 杉原賢彦

現在、インターネットや映画祭を中心にしてショート・フィルム＝短編映画に対する注目度が高まっています。ところで、こうしたショート・フィルムには、劇場用長編映画とは異なった表現形態が存在することは、あまり知られていません。

ショート・フィルムを通して、映像表現とその可能性、さらにその現在と未来を見てゆくことにより、表象文化としての映像芸術の在り方を考察し、またさまざまな映像芸術に触れ、そのリテラシーを実体感します。

「映画史の名作を奪還せよ！」藤崎 康

ヒッチコックや小津安二郎さえ知らない若い人がふえてしまった。まあそれは、「時」の風化作用であるゆえ致し方なからう(日本人の「知の崩壊」「思考停止」はあらゆる年齢層で進行し尽くしてしまったが、それを憂いても仕方ない)が、だからこそ今、ヒッチや小津を、あるいは山中貞雄を(きみはあの美しい『丹下作膳余話』を見たか!?)、ジョン・フォードを(きみはあの崇高な『搜索者』を見たか!?)、黒沢清を、マックス・オフルスを、ハワード・ホークスを、カール・ドライヤーを「発掘」せねばなるまい。授業では、古今東西の名作映画をビデオ、DVDなどで紹介し、あわせて映画史、撮影技法、演出などについて講義する。

「メディアとしての文学・絵画・音楽・写真・映画」小湊昭夫

- 1) 絵画と音楽と文学(詩)と音楽と映画・・・「シテール島への船出」- 幸福を求めて
- 2) 神話と絵画と音楽(オペラ)と演劇・・・「エレクトラ」 父を想う娘の物語

- 3) 悲劇と絵画と現代演劇・・・「メディーア」「オンディーヌ」ほか
- 4) 映画と音楽・・・「アタラント号」「二十四時間の情事」「2001年宇宙への旅」ほか
- 5) 映像と音楽との融合・・・「コヤニスカッツイ」「ポアカッツイ」「ナコルカッツイ」「めぐり合う時間」ほか
- 6) 文学と映画・・・「赤と黒」「女の一生」「居酒屋」「肉体の悪魔」「存在の耐えられない軽さ」

【教科書】

(林栄美子) なし
 (杉原賢彦) とくに指定しません。講義時に資料プリントを配布します。

【参考書】

(林栄美子) 授業中に紹介する
 (杉原賢彦) 講義時に適宜、指示します。
 (藤崎康) 教室で言及する。

物理学 (実験を含む) /
 物理学 (実験を含む) (春学期)

「ミクロの世界と量子力学」 3単位 春学期
 6単位 通年

【文経法政商】 青木 健一郎

【授業科目の内容】

原子論はギリシア時代からありましたが、原子の实在を確かめ、その構造を解明したのは20世紀の物理学の大きな功績です。この講義では、ミクロの視点から物のふるまいを考えます。それに必要な量子力学的な考え方について説明し、原子の構造を理解します。量子力学は奥深いおもしろい分野で、量子コンピューターなどの分野で近年も発展し続けています。原子論のミクロを突き詰める考え方は現在は素粒子物理や超弦理論と受け継がれています。これらの分野の最先端の展開についても解説します。原子論的な視点は、ブラック・ホールズ理論におけるデリバティブの評価などの経済物理にも応用されており、それについても時間があれば扱います。

実験から結果をどのように導くかを体験し、自然科学における「事実」とは何かを実感できると思います。また、自分で行い結果を得るのは楽しいと思います。実験の前に、実験の内容と日常経験する現象と結び付きや、講義の内容との関連について解説します。

物理の本質は「なぜ」という問題に答えるところだと思います。理屈だけではなく、その理論の実証的根拠を実験も通じて理解することを重視しながら講義を進めます。

【教科書】

実験の教科書：「物理の実験」慶應義塾大学日吉物理学教室編。

講義の教科書：適宜紹介します。

【参考書】

テーマごとに紹介します。

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(秋学期)
「宇宙物理と相対性理論」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 青木 健一郎

【授業科目の内容】

人類の宇宙に対する強い興味は古代からのものですが、宇宙像は20世紀にもっとも大きく変わったものの一つです。19世紀には銀河の存在さえも確立されていませんでした。講義では、現在の宇宙像をその根拠となる観測の持つ意味とともに理解することを目的とします。宇宙はどのように変化してきたのか？

星の構造、そしてブラックホールは何なのか？といったトピックを扱います。

相対性理論は20世紀初頭にアインシュタインの作った理論です。一方、相対性は自然な考え方であり数百年前にもありました。講義では相対性の考え方を中心にアインシュタインの相対性理論を解説します。相対性理論は重力レンズやブラックホールの理解には不可欠です。相対性理論が様々な現象や技術製品にどのように反映されているかも説明します。

実験の前に、実験の内容と日常経験する現象と結び付きや、講義の内容との関連について解説します。

【教科書】

実験の教科書：「物理の実験」慶應義塾大学日吉物理学教室編。

講義の教科書：適宜紹介します。

【参考書】

テーマごとに紹介します。

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(春学期)
「時間と空間の構造 相対性理論」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 表 實

【授業科目の内容】

物理学（実験を含む）は、隔週で講義と実験を交互に実施する3単位(通年履修者は春学期・秋学期で6単位)の科目です。相対性理論は、人類が獲得した最も美しい理論体系の一つであり、時間と空間に関する従来の考え方を根本的に変革し、人類の自然観に大きな影響を及ぼしました。講義では、現代物理学の一つの柱である相対性理論を中心にして、物理学の時間と空間に関する認識の在り方を話します。

実験では、自らの手で基本的な物理量の測定を経験することにより、観測と実験の意義を理解すると同時に、自然界の構造の魅力に触れることを目指しています。なお、実験は二人で協力して行う基礎的なものであり、実験の経験があることを前提としていません。

【教科書】

講義については特に指定しません。実験は、慶應義塾

大学日吉物理学教室編「物理の実験」をテキストとして使用します。

【参考書】

特に指定しません。

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(秋学期)
「自然界のミクロとマクロの構造 素粒子と宇宙」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 表 實

【授業科目の内容】

物理学（実験を含む）は、隔週で講義と実験を交互に実施する3単位(通年履修者は春学期・秋学期で6単位)の科目です。物質を構成する究極の要素は何か、ミクロ世界の不思議を支配する物理法則とは、また我々の宇宙の構造は如何なるものであり、それはどのようにして作られたのであろうか。これらの問題について、現代物理学は何を明らかにし、また未解明の問題として何が残されているか。本講義では、素粒子物理学と宇宙物理学を中心に、自然界のミクロとマクロな構造について話します。

実験では、自らの手で基本的な物理量の測定を経験することにより、観測と実験の意義を理解すると同時に、自然界の構造の魅力に触れることを目指しています。なお、実験は二人で協力して行う基礎的なものであり、実験の経験があることを前提としていません。

【教科書】

講義については特に指定しません。実験は、慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」をテキストとして使用します。

【参考書】

特に指定しません。

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(春学期)
「身の回りの物理」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 小林 宏充

【授業科目の内容】

皆さんは身の回りで起こっている現象の裏に潜む物理法則に興味はないでしょうか？例えば、昼間の空は青いが、夕暮れには空が赤くなるのはなぜでしょう。これは、光の散乱に関する法則から説明されます。飛行機が飛ぶのはなぜか。これは、カーブボールが曲がるのと同じ物理法則で説明できる。電子レンジを使うと冷めた料理が温められるのはなぜか。これは、テレビやラジオさらには携帯電話などで使われている電磁波が関係している。このように講義では、身の回りの物理現象を取り上げ、その現象はどのような物理法則に支配されているかを理解してもらうことを目標とする。

本授業では、講義と実験を隔週で行う。実験は、「物

理の実験」のテキストに従って、毎回異なるテーマについて二人一組で行う。

【教科書】

講義：講義ノート(webサイトからダウンロードできるようにします。

実験：「物理の実験」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

【参考書】

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

物理学 (実験を含む) /

物理学(実験を含む)(秋学期)

「オムニバス現代物理」 3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 小林 宏充

【授業科目の内容】

20世紀以降の物理学は、細分化され、それぞれの分野で大きな発見・進展があった。講義では、これらを毎回異なるテーマでオムニバスの紹介する。自然現象に潜む物理法則を見つけ出し、その法則を科学技術に応用してきた偉大な科学者たちの功績を理解してもらうことを目標とする。

本授業では、講義と実験を隔週で行う。実験は、「物理の実験」のテキストに従って、毎回異なるテーマについて二人一組で行う。

【教科書】

講義：講義ノート(webサイトからダウンロードできるようにします。

実験：「物理の実験」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

【参考書】

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

物理学 (実験を含む) /

物理学(実験を含む)(春学期)

「素朴な疑問に答える物理学」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 下村 裕

【授業科目の内容】

実験と講義を隔週におこなう授業です。物理学的なものを見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験I」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、誰もがいただく素朴な疑問に対して物理学がどのように答えるのかを解説します。

【教科書】

「物理の実験」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

物理学 (実験を含む) /

物理学(実験を含む)(秋学期)

「相対性理論入門」 3単位 秋学期
6単位 通年

【文経法政商】 下村 裕

【授業科目の内容】

授業科目の内容(*従来の講義要綱に相当する部分)

実験と講義を隔週におこなう授業です。物理学的なものを見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験II」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、物理学でもっとも美しい理論だといわれる相対性理論を、できる限り数式や専門用語に頼らず解説します。アインシュタインによって作り上げられたこの理論は、単純な原理から時間と空間に対する我々の常識を覆します。たとえば「動くものは、長さが縮み、時間の進みかたが遅くなり、質量が増える」などは信じがたい事実です。ビデオ等も援用して、相対性理論の考え方を理解し、その描く不思議な世界(宇宙)を学びます。

【教科書】

「物理の実験II」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

佐藤勝彦監修「『相対性理論』を楽しむ本」(PHP文庫、1998年、500円)

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

物理学 (実験を含む) /

物理学(実験を含む)(春学期)

「19世紀の物理学を中心に」 3単位 春学期
6単位 通年

【文経法政商】 新田 宗土

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週で行います。高校の物理学、数学の知識は仮定しません。人々は太古から日常の様々なレベルで様々な疑問を抱いてきました。熱い、冷たいとはどういうことか?温度とは何か?熱とは何か?光とは、色とは何か?音とは何か?このような日常の疑問に加えてもっと哲学的な疑問を持つ人もいるかも知れません。時間とは、空間とは何か?力とは何か?そもそも物とは何か?このような様々な疑問に答えるために生まれた学問が物理学です。物理学では、19世紀までに物理学の到達した世界観について学びます。

【参考書】

「一般教養としての物理学入門」和田 純夫(著)、岩波書店、ASIN: 4000050443

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(秋学期)
「20世紀、21世紀の物理学を中心に」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 新田 宗土

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週で行います。高校の物理学、数学の知識は仮定しません。物理学に引き続き、現代物理学を解説します。19世紀とは異なり、20世紀の物理学はより哲学的な疑問にまで答えられるようになってきました。時間とは何か？空間とは何か？物質とは何か？そして人々の常識を覆すような概念の変革がありました。相対性理論と量子論です。アインシュタインや数々の天才達が世の中の謎を解いていく様子はドラマチックでもあります。森羅万象に対して、現代の物理学がどこまで答えることができ、どこから答えることができないのかをわかってもらえるように工夫します。

【参考書】

「一般教養としての物理学入門」和田 純夫（著）岩波書店、ASIN：4000050443

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(春学期)
「プラズマを通した物理学入門」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 横井 喜充

【授業科目の内容】

物質の第四の状態といわれるプラズマは宇宙空間のほとんどの部分を占めるとともに、蛍光灯、プラズマ・テレビから雷、オーロラまで、我々にとって身近な存在です。プラズマの振る舞いを調べるために、力学、電磁気学、熱力学、統計力学、流体力学などさまざまな物理学の手法が用いられてきました。本講義では、プラズマ現象を素材にして、そこに現れる物理学について概観します。現象の物理とそれを記述する数学について「なぜそうなるのか」「どうしてそう考えるのか」など、身近な言葉で理解することを目標とします。

実験は「物理の実験」にあるさまざまなテーマを二人一組で行ないます。

【教科書】

「物理の実験」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

【参考書】

高部英明著「さまざまなプラズマ」(岩波書店、2004年、1400円、ISBN4-00-011135-3)

その他、講義時に適宜紹介します。

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(秋学期)
「非線型科学への招待」 3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 横井 喜充

【授業科目の内容】

非線型現象はフラクタルやカオスなど興味深い振る舞いを示します。本講義では、非線型力学で登場するさまざまな概念を、物理・天体現象に加えて生物・社会現象などの例も用いて説明していきます。同時に、新しい自然科学としての非線型物理学の側面を紹介し、時間の方向、ゆらぎと構造形成などといった根本的な問題を物理学でどう捉えるかについて考えていきます。

実験は「物理の実験」にあるさまざまなテーマを二人一組で行ないます。

【教科書】

「物理の実験」(慶應義塾大学日吉物理学教室編)

【参考書】

戸田盛和著「ソリトン、カオス、フラクタル - 非線形の世界」(岩波書店、1999年、2400円、ISBN4-00-006624-2)

蔵本由紀著「新しい自然科学 - 非線形科学の可能性」(岩波書店、2003年、2415円、ISBN4-00-026642-X)

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）(春学期)
「日常体験する現象（台風のような流れも含む）を通して運動への理解を深める」 3単位 春学期
6単位 通年
【文経法政商】 吉澤 徹

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週に行う授業です。講義では、物理法則を覚えるのではなく、物理的な見方を養うことを目的とし、できる限り数式に頼らず直感的に理解することに重点をおきます。このため、高校での物理の知識を前提としません。実験では、約3.14という身近な円周率の値を興味深い方法で知るなどのテーマを通して、実験感覚を養います。

【教科書】

【講義】とくにありません。

【実験】慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」を使用します。

【参考書】

とくにありません。

物理学（実験を含む）/
物理学（実験を含む）（秋学期）
「オーロラを通して地球や太陽のさまざまな現象を理解する」
3単位 秋学期
6単位 通年
【文経法政商】 吉澤 徴

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週に行う授業です。講義では、物理法則を覚えるのではなく、物理的な見方を養うことを目的とし、できる限り数式に頼らず直感的に理解することに重点をおきます。このため、高校での物理の知識を前提としません。実験では、気体1モル（約22.4リットル）中の分子数（アボガドロ数）を巧妙かつ簡単な方法で知るなどの興味深いテーマを通して、実験感覚を養います。

【教科書】

【講義】とくにありません。
【実験】慶應義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」を使用します。

【参考書】

とくにありません。

文学 / 文学（春学期）
「舞踊論」 2単位 春学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 石井 達朗

【授業科目の内容】

シャーマニズム、儀礼、祭祀における舞踊から、伝統舞踊としての様式化が確立したものまでを含めて、アジアの舞踊を考察する。とくに、インド、インドネシア、韓国を対象とする。

【教科書】

石井達朗『身体の臨界点』

【参考書】

石井達朗『男装論』青弓社
石井達朗『異装のセクシュアリティ』新宿書房
元藤子『土方巽とともに』筑摩書房
土方巽『病める舞姫』白水社
ロデリーク・ランゲ『舞踊の世界を探る』音楽之友社
イサドラ・ダン＝カン『芸術と回想』富山房
海野弘『モダンダンスの歴史』新書館
市川雅『ダンスの20世紀』新書館
マーサ・グレアム『血の記憶』新書館
ダンスマガジン編『ダンス・ハンドブック』新書館

文学 / 文学（秋学期）
「舞踊論」 2単位 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 石井 達朗

【授業科目の内容】

現代の舞踊について考察する。バレエ、モダンダンス、

ポスト・モダンダンス、コンテンポラリーダンスなどが対象になる。

【教科書】

石井達朗『身体の臨界点』

【参考書】

石井達朗『男装論』青弓社
石井達朗『異装のセクシュアリティ』新宿書房
元藤子『土方巽とともに』筑摩書房
土方巽『病める舞姫』白水社
ロデリーク・ランゲ『舞踊の世界を探る』音楽之友社
イサドラ・ダン＝カン『芸術と回想』富山房
海野弘『モダンダンスの歴史』新書館
市川雅『ダンスの20世紀』新書館
マーサ・グレアム『血の記憶』新書館

文学（春学期）/ 文学（秋学期）
文学（通年）
「私的ドイツ文学十三講」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 石光 輝子

【授業科目の内容】

現代において文学はまことに旗色が悪い。ものの役に立つか立たないかということが全ての基準になっている今日、文学は役に立たない物の筆頭にあげられ、様々なところで切り捨てられかねない状況にあります。しかし、文学のない人間世界はあり得ません。「おはなし」を作ったり聞いたりすることは、歌や踊りと同様、人間の原初的営みのひとつなのです。文学は出版された文学作品の書物のなかにあるだけでなく、様々なところに入り込んでいます。いま隆盛の映画やテレビドラマにしても文学の後ろ盾なしにはやってゆけないのです。映画化された文学作品を映画と比較してみると、映画の持つ、文学とは異なった可能性が華麗に提示されますが、同時にその不可能性もわかります。古典的メディアである文字によって書かれた言葉の集積としての作品が、テクノロジーの発達したこの時代においてなおいかなる優位性を有しているかということ（を（当然ながらビデオ・DVD・CD・図版などの異なるメディアはできるだけ比較参照しつつ）、ドイツ文学の作品を素材として、この講義のなかで明らかにしていきます。

【参考書】

授業のなかでそのつど指示します

文学a（春学期）/ 文学b（秋学期）
文学（通年）
「文学と演劇にみる文化継承の問題」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 井戸田総一郎

【授業科目の内容】

ヨーロッパ文学と日本文学および双方の演劇を考察しながら、文化の継承とその断絶の問題を扱います。ヨー

ロップ文学における古典ギリシャ・ローマの継承をめぐる現象をルネッサンスやフランス古典主義、特にドイツ文学のゲーテとニーチェのなかにみている。日本文学については特に明治初期に光をあてて、鷗外や逍遙などをとりあげます。比較文化学も含めた広い視点から、文化継承の問題域について理解を深めてもらいます。

【教科書】

プリントで配布。

【参考書】

その都度指示します。

文学 / 文学 (春学期)

「フランスのおとぎ話とファンタジー」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 片木 智年

【授業科目の内容】

「眠れる森の美女」、「サンドリヨン(シンデレラ)」、「赤頭巾」、「長靴を履いた猫」といった皆さんもよくご存知の物語は、フランスの宮廷人にして、文学者でもあったシャルル・ペローの「物語集」に収められていました。これが、世界中に広がって、有名になったのです。グリムのテキストの多くも、「ペロー童話」を基にしたものだとわかっています。こういった小品の背後にあるなぞを探っていく授業です。

【教科書】

拙著『ペロー童話のヒロインたち』せりか書房

【参考書】

各種フランス童話

文学 / 文学 (秋学期)

「『星の王子さま』を精読する」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 片木 智年

【授業科目の内容】

だれでも、タイトルぐらいは耳にしたことがあるフランスの短編小説。日本では「児童書」とされることの多いいわくつきの本です。昨年、岩波の翻訳の独占権が切れてなんと、十数種類に及ぶ新訳が出ました。時代や作者との関係を考えながら、「大人読み」してみましょう。特にフランス語の知識は問いませんが、大学でフランス語を第2外国語として選んだ方にはよりいっそう、意味深いものと思います。

【教科書】

拙著『星の王子さま学』慶應義塾大学出版会

【参考書】

各種翻訳

文学 / 文学 (春学期)

「フランス文学を読む - テオフィル・ゴーチエの『ポンペイ夜話』」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 木俣 章

【授業科目の内容】

フランスロマン主義を代表する作家の一人であるゴーチエ(1811 - 1872)の代表的な幻想小説『ポンペイ夜話』(1852)を読みます。ポンペイの遺跡から出土した熔岩に型押しされた美女の乳房。それに魅入られた青年の時空を越えた不可能な愛を描いた掌編で、「何ものも死にはしない。すべては永遠に生き続ける」との信念に裏付けられたゴーチエ美学の片鱗がうかがえる作品になっています。

【教科書】

テオフィル・ゴーチエ著、田辺貞之助訳『死霊の恋、ポンペイ夜話』(岩波文庫版)

【参考書】

授業で適宜紹介します。

文学 / 文学 (秋学期)

「フランス文学を読む - モーパッサンの『脂肪のかたまり』」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 木俣 章

【授業科目の内容】

フランス自然主義の作家ギー・ド・モーパッサン(1850 - 1893)の出世作『脂肪のかたまり』(1880)を読みます。敗色濃厚な普仏戦争を背景に、一人の娼婦を取り囲むブルジョアや貴族、修道女などさまざまな人々たちの非道な振る舞いを通して、戦争の悲惨さと人間への絶望的な不信を滲ませた秀作です。プロシアに破れたあとのフランスの時代状況などに留意しながら読み進めます。

【教科書】

モーパッサン著、高山鉄男訳『脂肪のかたまり』(岩波文庫版)

【参考書】

授業で適宜紹介します。

文学 / 文学 (春学期)

「シェイクスピア講義：文化の中の作品論」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 小菅 隼人

【授業科目の内容】

ウィリアム・シェイクスピア(1564~1616)の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。

今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が400年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

【教科書】

プリント

【参考書】

小菅隼人編著、『腐敗と再生』（慶應義塾大学出版会、2004）、4200円

小菅隼人他訳、『ベスト・プレイズ』（白凰社、2000）、4500円

文学 / 文学（秋学期）

「シェイクスピア講義：作品の中の思想」2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

小菅 隼人

【授業科目の内容】

ウィリアム・シェイクスピア（1564～1616）の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。

今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が400年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

【教科書】

プリント

【参考書】

小菅隼人編著、『腐敗と再生』（慶應義塾大学出版会、2004）、4200円

小菅隼人他訳、『ベスト・プレイズ』（白凰社、2000）、4500円

文学a（春学期）/ 文学b（秋学期）

文学（通年） 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

高橋 宣也

【授業科目の内容】

古今、作家たちは様々なジャンルの芸術から刺激を受けながら小説や詩や芝居を書いてきました。また別ジャンル

の芸術家も文学に靈感を求めています。そうした影響の相互関係のなかから、この授業では文学と音楽との関わりについて探っていきます。具体的には、イギリス文学とクラシック音楽との結びつきに注目し、文学作品に見られる音楽への言及、そして作曲家が文学に刺激されて作った音楽作品を、具体的な例を豊富に紹介しながらたどっていきます。

文学 / 文学（春学期）

「日本」文学のアイデンティティ」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

鉄野 昌弘

【授業科目の内容】

「日本」は、7世紀後半、この列島内に新たに立ち上げられた国家でした。この国の最初の文芸として立ち上げられたのが5-7の定型を持つ歌です。それは、中国文明の文芸と対峙しながら、自分たちのアイデンティティを作り上げてゆきます。この授業では、「万葉集」の歌と中国文学との関係を通して、「日本」文学のアイデンティティの形成過程を追ってゆきたいと思います。春学期は、「初期万葉」と柿本人麻呂の歌を中心に話します。

【教科書】

佐竹・木下・小島編『万葉集』本文篇（塙書房）2100円

坂本・毛利編『万葉事始』（和泉書院）700円

【参考書】

小島・木下・東野校注 新編日本古典文学全集『万葉集』1～4

文学 / 文学（秋学期）

「日本」文学のアイデンティティ（承前）」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

鉄野 昌弘

【授業科目の内容】

奈良時代に入ると歌は、中国文学と張り合いながら共存し、そこから多くの方法を学んでゆきます。この授業では、春学期に引き続いて、「万葉集」の歌と中国文学との関係を通して、「日本」文学のアイデンティティとは何かを考えてゆきたいと思います。大伴旅人、山上憶良、大伴家持らの歌を中心とし、古今和歌集をも視野に入れます。

【教科書】

佐竹・木下・小島編『万葉集』本文篇（塙書房）2100円

坂本・毛利編『万葉事始』（和泉書院）700円

【参考書】

小島・木下・東野校注 新編日本古典文学全集『万葉集』1～4

文学a(春学期) / 文学b(秋学期) (水曜日)
文学(通年)
「和歌文学の歴史」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 寺澤 行忠

【授業科目の内容】

和歌は、万葉の時代から今日に至るまで、長い年月にわたり、歌いつがれ、読みつがれてきた。その和歌文学の歴史を、主要な作品あるいは歌人に焦点を合わせながらたどる。近世までを範囲とし、歌謡や俳諧などにも言及する。できるだけ多くの歌をとりあげ、文学史の理解を深めたい。

講義資料プリントを毎回配布する。

【教科書】

『日本詩歌選』(新典社)

文学a(春学期) / 文学b(秋学期) (金曜日)
文学(通年)
「百人一首をよむ」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 寺澤 行忠

【授業科目の内容】

かつては、正月になると、どの家庭でも『百人一首』を楽しみ、多くの人が百首の歌をそらんじていたものである。長い年月にわたり、国民の間に広く愛され、日本人の教養の基盤を形成してきた。だから、『百人一首』は、日本人が必ず知っておかなければならない、最も重要な古典の一つなのである。

この『百人一首』は、藤原定家が、王朝和歌の精髓を集めたものである。これを一首ずつよみ解きながら、王朝歌人たちの詩と真実を考えていきたい。

講義資料プリントを毎回配布する。

【教科書】

『百人一首』(笠間書院) 『字典かな』(笠間書院)

文学 / 文学(春学期)
「幕末維新期の文学」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 中丸 宣明

【授業科目の内容】

日本の近代文学は明治の20年代に西洋文学の影響のもとに形成したと考えられ、江戸期の文学から連続する面は軽視されてきた。今年度は今まで文学不毛の時代とされてきた幕末維新期の文学と文化に注目し、近代文学とは何かに迫ってみたい。また、「文学」の概念も広くとり、現代のサブカルチャーにも通ずる文化現象を俎上に載せたいと思っている。また、視聴覚教材を積極的に用いたいと思っている。

【教科書】

プリント等による。

【参考書】

教室で指示

文学 / 文学(秋学期)
「幕末維新期の文学」 2単位 秋学期
4単位 通年
【文経法政商医理】 中丸 宣明

【授業科目の内容】

日本の近代文学は明治の20年代に西洋文学の影響のもとに形成したと考えられ、江戸期の文学から連続する面は軽視されてきた。今年度は今まで文学不毛の時代とされてきた幕末維新期の文学と文化に注目し、近代文学とは何かに迫ってみたい。また、「文学」の概念も広くとり、現代のサブカルチャーにも通ずる文化現象を俎上に載せたいと思っている。また、視聴覚教材を積極的に用いたいと思っている。

【教科書】

プリント等による。

【参考書】

教室で指示。

文学a(春学期) / 文学b(秋学期)
文学(通年)
「フランス文学、その発想と感覚」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 西尾 修

【授業科目の内容】

歴史と文学、文学と社会、というような観点から、いわゆる「文学」について語り、ある作品なり、文学現象なりの内容と周辺を探りながら、そのとき活用される歴史的想像力について考えることが中心となる。文学を自分なりに感得するには様々なやり方があるが、さて、文学作品らしいと思われるものを読み、鑑賞し、これを楽しむという側に立つとき、ひとつのやり方として、それがたとえ簡便なものであれ、歴史的想像力の活用という方策もあるのではないかとと思われるからである。

対象は主にフランスを舞台とするもの、時代は大革命以後、とりわけ19世紀前半(ロマン主義の時代)のものが多くなる。担当者の専門が、19世紀前半に生きた小説家バルザックであるという事情からそうなるのだが、とはいっても時代を問わず日本のものについても語ります。

準備としては、十九世紀フランスの小説(翻訳)を何かひとつ(短くない作品)読んでおくと後が楽(スタンダール『赤と黒』、バルザック『ゴリオ爺さん』、フローバール『感情教育』等々)。

【教科書】

指定なし。

【参考書】

参考書は特に指定しませんが、できれば文庫本程度の簡単な文学史(たとえば岩波文庫別冊「フランス文学案

内」、高校教科書の「日本文学史」等々)で結構、時代区分などを少しは気にしながら一度でいいからざっと目を通しておけば申し分なし。フランス文学についてより高い関心のある諸君は慶應義塾大学出版会の「十九世紀のフランス文学」なども好適。

文学 / 文学 (春学期)

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 秋学期担当 竹内 美佳子
西川 僚介

【授業科目の内容】

アメリカの建国の歴史は、他に類例のないもので人工的な実験国家の成立と発展といってもよいでしょう。この特異な建国のプロセスからアメリカ文学が誕生し、独自の言語表現として成立していく過程を、歴史的な背景と文化の形成とを重ね合わせて考察します。

【教科書】

プリント

【参考書】

授業の時に紹介。

文学 / 文学 (秋学期)

「アフリカ系アメリカ人の歴史と文学」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 春学期担当 西川 僚介
竹内 美佳子

【授業科目の内容】

アメリカは、民主主義の理念を掲げながら奴隷制度という矛盾を抱えて建国し、歴史を乗り越え続けねばならなかった国である。授業では、移民国家の社会建設を担うべく移住を強いられたアフリカ系アメリカ人の歴史に焦点を当て、アメリカの作家や言論人が、その表現行為を通じていかに社会・政治的現実と向き合ってきたかを考察する。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

本田創造著『アメリカ黒人の歴史』岩波新書

文学 / 文学 (春学期)

「スペイン語圏文学を歴史的に探訪する - スペイン編 - 」
2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 前田 伸人

【授業科目の内容】

・この授業は、中世から現代までのスペイン文学を広く読み味わいながら、各時代の歴史的 = 空間的環境と関連づけて、その文学的な特徴や価値、影響を明らかにすることが主なテーマです。ここで扱う作品は、できる限り邦訳のある作品にしますので、スペイン語を知

らなくても案ずるには及びません。

- ・この講義を通じて、二つのことを理解してもらいたいと思います。一つは、スペイン文学を築きあげた環境に関するものです。つまり、イベリア半島内部の多様性と、地中海世界（イスラム文明やイタリアの存在）やヨーロッパ世界という外界との緊張が、育んだということ です。
- ・いま一つは、文学一般がもつ複合的・統合的な視点の重要性です。以前に比べると、私たちは文を綴る機会が飛躍的に広がりましたが、事実の断片が飛び交うだけです。個々の事実を意味づけ、全体像を作り上げるのは言葉の力以外にはありません。それを感得し、実践するには、文学を学ぶことが一番です。
- ・ともあれ、学期の終わりには、文学そのものやスペイン語世界により関心を持って下されば、これに過ぎる喜びはありません。

【教科書】

特に指定しません。毎回、講義用プリントを配布します。

【参考書】

牛島信明『スペイン古典文学史』(名古屋大学出版会)、他にも適宜授業中に紹介します。

文学 / 文学 (秋学期)

「スペイン語圏文学を歴史的に探訪する - ラテンアメリカ編 - 」
2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 前田 伸人

【授業科目の内容】

- ・この授業は、スペイン植民地期から現代に至るラテンアメリカ文学を広く読み味わいながら、各時代の歴史的 = 空間的環境と関連づけて、その文学的な特徴や価値、影響を明らかにすることが主なテーマです。ここで扱う作品は、できる限り邦訳のある作品にしますので、スペイン語を知らなくても案ずるには及びません。
- ・この講義を通じて、二つのことを理解してもらいたいと思います。一つは、ラテンアメリカ文学を築きあげた環境に関するものです。春学期に扱ったスペイン文学の場合よりもさらに視界を広げる必要があります。土着の要素としては、アメリカ大陸の先住民がいます。外来の要素としては、スペインやポルトガルといったイベリア半島からの渡来者の他、アフリカから連行されてきた黒人奴隷がいます。これら三者による融合・反発・並存が展開しました。そしてなお、ラテンアメリカは現在もなお大きな変動を迎えています。
- ・春学期にも挙げましたが、いま一つは、文学一般がもつ複合的・統合的な視点の重要性です。以前に比べると、私たちは文を綴る機会が飛躍的に広がりましたが、事実の断片が飛び交うだけです。個々の事実を意味づけ、全体像を作り上げるのは言葉の力以外にはありません。それを感得し、実践するには、文学を学ぶことが一番です。ラテンアメリカの文学に“魔術的レアリズム”の語が冠されるのも、言葉の力を遺憾なく発揮

している故でしょう。

・ともあれ、学期の終わりには、文学そのものやラテンアメリカ世界により関心を持って下されば、これに過ぎる喜びはありません。

【教科書】

特に指定しません。毎回、講義用プリントを配布します。

【参考書】

適宜授業中に紹介します。

文学 / 文学（春学期）

「物語・自己・歴史」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 武藤 浩史

【授業科目の内容】

人は言葉を発するとそれは大抵物語を作り上げます。「今日は雨が降っていやな日だった」も「今日は雨にぬれたけれどもかえって気持ちよかった」もすでに1つの物語です。人はそうして大量の物語を作り、又、大量の物語を外から受容しながら自己との関係、他者との関係を作り、物語の中に自己・社会・歴史を屈折させながら反映してゆきます。つまり、皆さんは知らず知らずの内にたくさんの物語の中で生きながら自己像や社会・歴史像を造っているのです。

そこで、皆さんが否応なくその中で生きている物語とは何か、みなさんが無意識の内にどのような物語を作ってその中で生きているのか、その中で生きることによってどのような自己、社会、歴史像が生まれるのか、物語ることによって混沌の中からどのような秩序が生まれ、又、どのような秩序が破壊されるのか、そして物語れないこととは何かなどについて、様々な芸術作品にふれながら考えてゆきたいと思います。

また、現代とはどういう時代か、そこに生きる僕たちとは何者？というのが隠れテーマです。

【教科書】

武藤浩史著『「ドラキュラ」からブンガク』、岡崎京子著『リバーズ・エッジ』、ミヒヤエル・エンデ著『モモ』、D・H・ロレンス『チャタレー夫人の恋人』（武藤浩史訳、ちくま文庫）

文学 / 文学（秋学期）

「物語・自己・歴史」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 武藤 浩史

【授業科目の内容】

文学の続きですが、戦後日本文化をテーマとして物語と歴史について考えてゆきます。『青い山脈』（石坂洋次郎）や『墮落論』（坂口安吾）から始めて、やくざ映画を経由し、現代にたどりつこうと思います。読みたい本の希望をつのります。

現代に生きる私たちの諸問題を小説とともに考えてゆきます。

【教科書】

石坂洋次郎『青い山脈』（新潮文庫）ほか。

文学a（春学期） / 文学b（秋学期）

文学（通年）
「季節の詩学」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 森 英樹

【授業科目の内容】

四季の風物とその表現を探ります。すなわち、和歌、俳句、漢詩、近代詩などを読むことを通して、日本に古くからある言葉、風物、情調、およびその表現や思考を学びます。時には外国の詩をも併せて読んで、風土や情緒を比較することもあります。

今年度からは人数を少なくして、短歌や俳句、それに漢詩や口語韻律詩の実作を試みる演習的な要素も加えるつもりです。

【教科書】

森 南仙著 『南柯唱和抄』

【参考書】

森 南仙著 『南柯の四季』、俳句歳時記、短歌歳時記などの類

文学 a（春学期） / 文学 b（秋学期）

文学（通年）
「戦後ドイツと現代作家」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 八木 輝明

【授業科目の内容】

1990年に統合されてから現在までのドイツにおいて、政治・文化・教育・メディアなどあらゆる分野で中心的役割を担ってきた世代は、「68年世代」と呼ばれます。彼らの多くは、第二次世界大戦後に生まれ、未曾有の犯罪を犯したナチスドイツの過去と向き合い、その時代を検証、記憶し、現在と未来へつなげる作業を通じて、克服しようとしてきました。

文学においても、彼らはさまざまなアプローチをしながら、作品のなかでこの問題を取り上げています。また、作家として深く政治に関わってきた人たちもいます。講義では、世界的ベストセラー『朗読者』を生み出したベルンハルト・シュリンクの作品やエッセイを紹介するとともに、ペーター・シュナイダーなどの「68年世代」作家を中心に、戦後から現在にいたるドイツ文学における「過去への取り組み」と「未来への展望」を考察し、最近のドイツのベストセラー小説などにも言及していきます。

講義の進度をみながら、68年世代の次の世代の監督によって製作された最近のドイツ映画も紹介し、2000年を過ぎてから顕著になったドイツ国内の論調の変化について説明します。

ドイツのみならずEU諸国も含めた時代の動き、社会の政治・文化的状況などと広く関連づけながら、講義を

進めていきたいと思っています。

ドイツ語の知識がなくても受講可能です。

【教科書】

必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

授業を進めるなかで、参考になる資料を紹介していきますが、この講義の必読書として：新潮文庫『朗読者』（B・シュリンク著）をあげておきます。この本からも戦後ドイツの歴史を読み取っていきます。法律の分野に興味がある受講生には：岩波書店『過去の責任と現在の法』（B・シュリンク著）をあわせて読むことをおすすめします。その他の参考文献は講義のなかであげていきます。

文学 / 文学（春学期）

「昭和文学の愉しみ」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

山下 真史

【授業科目の内容】

大正末から始まるいわゆる昭和文学の諸相を明らかにします。新感覚派やプロレタリア文学から始まって、戦時下の文学を経て、戦後文学に至る歴史的な流れを押さえ、その中から代表的な作家・作品を取り上げて講義します。具体的には、川端康成、横光利一、堀辰雄、太宰治、中島敦、坂口安吾などを取り上げ、その作品を精読します。

【教科書】

短い作品はプリントで、長い作品は文庫本を指定します。

文学 / 文学（秋学期）

「昭和文学の愉しみ」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

山下 真史

【授業科目の内容】

大正末から始まるいわゆる昭和文学の諸相を明らかにします。新感覚派やプロレタリア文学から始まって、戦時下の文学を経て、戦後文学に至る歴史的な流れを押さえ、その中から代表的な作家・作品を取り上げて講義します。具体的には、川端康成、横光利一、堀辰雄、太宰治、中島敦、坂口安吾などを取り上げ、その作品を精読します。

【教科書】

短い作品はプリントで、長い作品は文庫本を指定します。

文学 / 文学（春学期）

「20世紀イギリス劇作への入門」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】 レイサイド・ジェームズ M.

【授業科目の内容】

20世紀ではイギリス文学のジャンルのなかで一番繁栄したのは恐らく演劇だと思われます。特に戦後のイギリス人の劇作家の活躍が目撃されました。そのためにロンドンの劇場街が世界的に有名になりました。

シェークスピア以外にイギリス演劇についてもっと知りたい学生の為に現代イギリスの舞台を紹介するつもりです。できるだけビデオなどを沢山利用して、言葉上の説明だけではなく、実際の出演、演出仕方も見せる予定です。

春学期では、20世紀初期から50年代までの作品と作者について話します。主には：ショー（Shaw）、カウアード（Coward）、オズボーン（Osborne）、ベケット（Beckett）。

秋学期になると60年代から90年代までの若い世代の劇作家を取り上げます。ピンター（Pinter）、ストッパード（Stoppard）、シェイファー（Shaffer）、ヘア（Hare）など。

【教科書】

プリント

【参考書】

シェークスピアの喜劇と悲劇を一遍ずつとイブセン（Henrik Johan Ibsen）の作品を一遍読んでおくことが望ましい。20世紀前の戯曲に対する基本的な知識があれば、授業の内容はもっと理解しやすくなるでしょう。

その他

評価：期末小論文

出席：75%出席率がないと不合格。しかし、出席率は基本条件で、満たせば評価に繋がるといものではありません。

尚、春学期は1900年から1955年までのイギリスドラマ、秋学期では1955年から世紀末までというように講義内容を分けました。したがって、春学期のみ、あるいは秋学期のみ履修してもかまいません。評価は上に書いてあるように期末レポートに基づきます。

文学 / 文学（秋学期）

「20世紀イギリス劇作への入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】 レイサイド・ジェームズ M.

【授業科目の内容】

20世紀ではイギリス文学のジャンルのなかで一番繁栄したのは恐らく演劇だと思われます。特に戦後のイギリス人の劇作家の活躍が目撃されました。そのためにロンドンの劇場街が世界的に有名になりました。

シェークスピア以外にイギリス演劇についてもっと知りたい学生の為に現代イギリスの舞台を紹介するつもりです。できるだけビデオなどを沢山利用して、言葉上の説明だけではなく、実際の出演、演出仕方も見せる予定です。

春学期では、20世紀初期から50年代までの作品と作者について話します。主には：ショー（Shaw）、カウアード（Coward）、オズボーン（Osborne）、ベケット（Beckett）。

秋学期になると60年代から90年代までの若い世代の劇作家を取り上げます。ピンター（Pinter）、ストッパード（Stoppard）、シェイファー（Shaffer）、ヘイア（Hare）など。

【教科書】

プリント

【参考書】

シェークスピアの喜劇と悲劇を一遍ずつとイブセン（Henrik Johan Ibsen）の作品を一遍読んでおくことが望ましい。20世紀前の戯曲に対する基本的な知識があれば、授業の内容はもっと理解しやすくなるでしょう。

その他

評価：期末小論文

出席：75%出席率がないと不合格。しかし、出席率は基本条件で、満たせば評価に繋がるというものではありません。

尚、春学期は1900年から1955年までのイギリスドラマ、秋学期では1955年から世紀末までというように講義内容を分けました。したがって、春学期のみ、あるいは秋学期のみ履修してもかまいません。評価は上に書いてあるように期末レポートに基づきます。

文化人類学

「身近な不思議の探究」

2単位 春学期

【経商医理】

井上 京子

【授業科目の内容】

文化人類学という学問は、言語、心理、宗教、婚姻形態などを比較分析することにより、多角的視野に立って人間を全体像としてとらえるものです。ここでは特に、文化の一般論化に伴う危険性に焦点を当てながら、日本文化を他の文化と照らし合わせていきます。すると今まで知らない間にみなさんが身に付けていた先入観が、浮き彫りとなって来るはず。自分自身を世界の様々な人間社会における一つの枠組みの中での存在としてとらえ直せるような、客観的視野を養うことがこのコースの目的です。

特にコースの前半は言語と文化の関わりを中心に、後半は文化の多様性を採り上げて、身近な不思議を探究しその解明を目指します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

祖父江孝男著『文化人類学入門』増補改訂版，中公新書

斗鬼正一著『目からウロコの文化人類学』ミネルヴァ書房

綾部恒雄編『文化人類学20の理論』弘文堂

飯野公一他著『新世代の言語学：社会・文化・人をつなくもの』くろしお出版

井上京子著『もし「右」や「左」がなかったら』大修館書店

佐藤郁哉『フィールドワーク』新曜社

米山俊直／谷泰編『文化人類学を学ぶ人のために』世

界思想社

文化人類学

「異文化理解の歴史と方法」

2単位 秋学期

【経商医理】

坂本 邦彦

【授業科目の内容】

人類が地球上に誕生してから今日までの間、さまざまな民族によって多種多様な文化がつくられてきた。現在、世界には6000をこえる言語があるといわれる。これは、また、それだけの異なった民族によって世界が構成されているということにほかならない。人間は、自ら生まれ育った文化の中だけで世界を完結させてきたわけではない。異なった文化に触れ、人類が積み重ねてきた知の多様性をさまざまな形で理解しようとしてきたのである。

本講では、これまで文化人類学が研究対象としてきたさまざまな社会に関する民族誌をもとに、文化のコンテクストにそって異文化を理解するとはどういうことかを考えていく。アフリカに関するデータを中心に、アジア、オセアニアなどからの研究データも取り込んでいく予定である。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

随時紹介する。

文化人類学 / 文化人類学（春学期）

「異文化への眼差しの歴史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経医】

法橋 量

【授業科目の内容】

文化人類学は異文化を理解しようとする学問であると同時に、異文化を鏡として自らの文化を振り返る営みでもあります。言葉を換えれば「他者」への理解をとおして自己を知る学問といえます。異文化を理解するアプローチは一つではありませんが、文化人類学は、現地でのフィールドワークの経験をもとに民族誌を書き、また書かれた民族誌を読むことによって、他者を知ろうとするところに特色があります。しかし、ヨーロッパに端を発する文化人類学という、異文化を見る方法・眼差しは、時代の移り変わりとともに、またそれぞれの国の思想や社会背景によってつねに変化してきました。

本講では、個別的な異文化の実相というより、そうした他者に向けた人類学の眼差しに注目し、その変遷を歴史的にたどります。そして、グローバル化、多文化化が進む現代社会において、私たちが他者（異文化）を理解し、さらに自文化を認識するために、文化人類学的視点をどのように活かしていくべきかを考えていきます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

適宜指示します。

文化人類学 / 文化人類学 (秋学期)
 「現代文化と民俗・伝統文化」 2単位 秋学期
 4単位 通年
【文経医】 法橋 量

【授業科目の内容】

従来、文化人類学は、非西欧社会を主な対象としてきましたが、近年では、西欧社会をもその射程に収めるようになってきました。ヨーロッパでは、これまで、自文化を対象とする分野として、日本と同様、民俗学という分野が存在していましたが、現在ではヨーロッパ民族学として、伝統文化に限らず、より広範な日常文化を扱うようになっており、方法論の上でも文化人類学と大きく重なり合っています。

本講では、ヨーロッパ民族学・民俗学の方法論を手がかりに、日欧のまつりや都市伝説など、身近な材料を取り上げながら、私達が生きる現代の日常文化を意識化し、分析してゆく可能性を考えてゆきます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

随時紹介します。

文明学説史
 「由来学からみた福沢学」 2単位 春学期
【経商】 松村 宏

【授業科目の内容】

福沢諭吉の名著「文明論之概略」は、なお今日の現代世界転回期に有効な真理を多く含んでいる。それは戦国末期と江戸中期の日本文明(上級武士道)の頂点となっている学説(由来学)を土台としていたからでもある。テキスト批判から始めて、福沢学の内容を解釈する作業を進めながら、学生諸君の学業練習を求めていく。(本講を発展させた「日本文明学説史」を土曜日三田に開講している。)

【教科書】

『文明論之概略』岩波文庫、『職業としての学問』岩波文庫、他はプリント配布。

【参考書】

『文明論之概略を読む』岩波新書、日本思想大系「荻生徂来」岩波書店

文明学説史
 「由来学の近現代的意味」 2単位 秋学期
【経商】 松村 宏

【授業科目の内容】

戦国末期に日本文明の頂点として各独立職業人の業績が達成されている。その思想的省察の結晶として姿を現したのが、江戸中期の由来学であった。由来学のテキスト批判と直近の訓読復元から内容解釈まで研究と論述をすすめるながら、学生諸君の学業練習を求めていく。

(本講を発展させた「日本文明学説史」は、土曜日三田に開講している。)

【教科書】

プリント配布。

【参考書】

日本思想大系『荻生徂来』岩波書店、吉川幸次郎著『論語』朝日新聞社

法学 (憲法を含む) /
 法学 (憲法を含む)(春学期)
 「法の主要な分野である憲法、民法(財産法、家族法)、
 刑法の基本的な問題の検討」 2単位 春学期
 4単位 通年

【文経法商医理】 石渡 哲

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法は、国家と個人、国家相互、個人相互等の関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野(春学期には、憲法と民法の財産法)の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる。

【教科書】

石渡哲=渡井理佳子著『シュタットプラン法学』(成文堂)

六法(法令集)『ポケット六法』(有斐閣)か『デーリー六法』(三省堂)など。他の出版社のものでもよいが、最新版を用意すること。

【参考書】

金子宏ほか編『法律学小辞典』(有斐閣)。その他、教科書に参考文献のリストがある。授業中にも適宜紹介する。

法学 (憲法を含む) /
 法学 (憲法を含む)(秋学期)
 「法の主要な分野である憲法、民法(財産法、家族法)、
 刑法の基本的な問題の検討」 2単位 秋学期
 4単位 通年

【文経法商医理】 石渡 哲

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法は、国家と個人、国家相互、個人相互等の関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野(秋学期には、民法の家族法と刑法)の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる。

【教科書】

石渡哲=渡井理佳子著『シュタットプラン法学』(成文堂)

六法(法令集)『ポケット六法』(有斐閣)か『デーリー六法』(三省堂)など。他の出版社のものでもよいが、

最新版を用意すること。

【参考書】

金子宏ほか編『法律学小辞典』(有斐閣)。その他、教科書に参考文献のリストがある。授業中にも適宜紹介する。

法学 (憲法を含む) /

法学 (憲法を含む)(春学期)

「法および法律についての基礎知識」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法商医理】 河村 好彦

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかしたとえば、下宿を借りる行為も、パンを買う行為もすべて法と関わるものだから、人は好むと好まざるとにかかわらず法とつきあっていかなければならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法的問題に適切に対処するためにむしろ法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。法学は、このような視点から法についての基礎理論を説明したうえで、憲法を中心として具体例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

【教科書】

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学 (憲法を含む) /

法学 (憲法を含む)(秋学期)

「法および法律についての基礎知識」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】 河村 好彦

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかしたとえば、下宿を借りる行為も、パンを買う行為もすべて法と関わるものだから、人は好むと好まざるとにかかわらず法とつきあっていかなければならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法的問題に適切に対処するためにむしろ法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。法学は、このような視点から民法を中心として具体例などを挙げながら、市民とし

て、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

【教科書】

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学 (憲法を含む) /

法学 (憲法を含む)(春学期)

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】 河原田有一

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事等を利用して、いかに法がみづかな存在であるかを学んでいきたい。

【教科書】

石川明編『プライマリー法学憲法』信山社

【参考書】

講義資料プリントを配布します。

法学 (憲法を含む) /

法学 (憲法を含む)(秋学期)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】 河原田有一

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事等を利用して、いかに法がみづかな存在であるかを学んでいきたい。

【教科書】

石川明編『プライマリー法学憲法』信山社

法学 (憲法を含む) /

法学 (憲法を含む)(春学期)

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】 佐藤 拓磨

【授業科目の内容】

本講義は、一般教養として必要な、法学についての基礎的知識を修得することを目的とします。全13回のうち、前半部分を法に関する基礎理論の解説に割り、後半部分で我が国の憲法について概説し、基本的人権や統治機構について学習します。加えて、我が国の裁判制度、2009年5月までに導入されることが予定されている裁判員制

度等のテーマについても扱う予定です。

【教科書】

六法（小型のものでよい）

【参考書】

必要に応じて指示します。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）（秋学期）

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

佐藤 拓磨

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

春学期に引き続き、法学についての基礎知識を修得することを目的とします。秋学期は主に、民法及び刑法の概略について解説します。また、医療をめぐる法律問題などといったトピカルなテーマも織り交ぜる予定です。

【教科書】

六法（小型のものでよい）

【参考書】

必要に応じて指示します。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）（春学期）

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

藤田 祥子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

【参考書】

倉沢康一郎『ブレップ法と法学』弘文堂

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）（秋学期）

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

藤田 祥子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

【参考書】

倉沢康一郎『ブレップ法と法学』弘文堂

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）（春学期）

「法学の基礎および日本国憲法」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

本田 耕一

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法学の基礎として、諸種の社会規範との関係における法の特徴、近代法の成立とその性格、成分法（憲法・法律・命令・規則・地方自治法規・条約）及び不文法（慣習法・判例法・条理）とその効力、法の実用的ないし理論的な分類、法の解釈等を取扱う。

【教科書】

特に特定しません。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）（秋学期）

「法学の基礎および日本国憲法」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

本田 耕一

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

日本国憲法に関して、これにより保障される基本的人権や統治機構、地方自治、平和主義と国際関係等を取扱う。

【教科書】

特に特定しません。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）（春学期）

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの見方」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

山田美枝子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常生活を送るなかで、意識するとなしにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、知らず知らずのうちに法律関係に立ち入ってしまっています。学生生活、職業活動、家族関係等においても、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記の1)～6)において、法律を実践的に学び、法的なものの見方を身につけてほしいと思います。

【教科書】

池田真朗他著「法の世界へ〔第4版〕」有斐閣（2006年）

【参考書】

小型の六法

法学（憲法を含む）／

法学（憲法を含む）（秋学期）

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの方」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

山田美枝子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常社会生活を送るなかで、意識するとしなやかにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、知らず知らずのうちに法律関係に立ち入ってしまっています。誕生してから老後、死亡に至るまで、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記の1)～5)において、法律を実践的に学び法的なものの方を見方を身につけるとともに、同6)において、法学の基礎に触れてほしいと思います。

【教科書】

池田真朗他著「法の世界へ〔第4版〕」有斐閣（2006年）

【参考書】

小型の六法

法学（憲法を含む）／

法学（憲法を含む）（春学期）

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

尹 仁河

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義では、法的思考のために不可欠な法学の基本概念を正確に理解し、私たちの身近にある様々な問題を法的な観点から分析する力を養うことを目標にします。講義全体の基軸となるキーワードは「人権」です。私たち一人一人にはどのような人権がどのような法で保障されているか、その保障に至るまでにはどのような経緯があったか、もし人権が侵害された場合にはどのような方策をとりうるか、弱者を常に意識しつつ、国内さらには世界に目を向けて「人権」を考える時間にしたいと思いません。

春学期は、法学を学ぶにあたっての基礎を理解した上で、国の最高法規である憲法を中心に、具体的事例を検討しながらともに学んでゆきます。

【教科書】

講義資料プリントを配布します。小型の「六法」をなるべく持参してください。

【参考書】

開講時に一覧を示します。

法学（憲法を含む）／

法学（憲法を含む）（秋学期）

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

尹 仁河

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義では、法的思考のために不可欠な法学の基本概念を正確に理解し、私たちの身近にある様々な問題を法的な観点から分析する力を養うことを目標にします。講義全体の基軸となるキーワードは「人権」です。私たち一人一人にはどのような人権がどのような法で保障されているか、その保障に至るまでにはどのような経緯があったか、もし人権が侵害された場合にはどのような方策をとりうるか、弱者を常に意識しつつ、国内さらには世界に目を向けて「人権」を考える時間にしたいと思いません。

秋学期は、春学期の続編として法学の基礎および憲法の復習を十分に行い、私たちの生活に密着している民法、国の刑罰権を枠づける刑法の基本的考え方について、具体的事例を検討しながらともに学びます。その上で、憲法および国際法（各人権条約）による人権保障について考えてゆきます。

【教科書】

講義資料プリントを配布します。小型の「六法」をなるべく持参してください。

【参考書】

開講時に一覧を示します。

法学（憲法を含む）／

法学（憲法を含む）（春学期）

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

頼松 瑞生

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

まず、憲法について、基本的な内容を中心にして、その体系がどのようになっているのかということをお話していきます。

次に、国会において、法がどのようにして制定されていくのかということをお話します。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

法学（憲法を含む）/
法学（憲法を含む）(秋学期)

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法商医理】

* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

国会以外のところで、法というものがどのようにして生成され、社会においてどのように機能しているのかということを学びます。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

民族文化論

「民族と民族イメージ」

2単位 秋学期

【文経法政商】

コーディネーター 羽田 功
臼杵 陽 工藤多香子
佐谷 眞木人 鈴木 透
種村 和史

【授業科目の内容】

「民族問題」は21世紀に入り、いよいよ混迷の度を深めている。ところが、残念ながら私たちは「民族問題」あるいは「民族」について必ずしも十分な理解を持っているわけではない。しかも、たとえば「民族」という用語を取り上げてみても、時代や地域によってその意味するところは多様であり、一義的に定義することはできない。その結果、ある「民族」の実際とこれにまつわる「民族イメージ」の間に大きな乖離が生じる場合も少なくない。

そこでこの授業では、「民族」と「民族イメージ」のさまざまな関係のあり様をできるだけ幅広い時間・空間の中で取り上げることで「民族問題」を考える一つの切り口を提示すると共に、この授業が自己を理解し、他者を理解するための土台作りの一助となることを目的としている。

【教科書】

羽田功（編著）『民族の表象 歴史・メディア・国家』（慶應義塾大学出版会、2006年、ISBN4 - 7664 - 1310 - 5）

【参考書】

担当者ごとに適宜指示する

ラテンアメリカ研究a（春学期）/
ラテンアメリカ研究b（秋学期）/
ラテンアメリカ研究（通年）

「多様なラテンアメリカ社会：現在と過去」

2単位 春学期/秋学期
4単位 通年

【経商医】

コーディネーター 八嶋由香利
出岡 直也 工藤多香子
清水 透 敦賀 公子
伏見 岳志 安井 伸
山本 昭代 横山和加子

【授業科目の内容】

オムニバス形式で進められるこの授業では、学内外のラテンアメリカ、スペイン研究者が一堂に会して、それぞれがもっとも得意とする専門領域から「ラテンアメリカ」という地域にアプローチして講義します。今年度は、グローバル化の大波の中で揺れるラテンアメリカが抱える様々な問題群を取り上げます。春学期には「人種、民族、ジェンダー」「言語、文化」、秋学期には「貧困、経済格差」、そして最後にこれらの諸問題を生み出した歴史的背景を学ぶことで、錯綜しつつも多様な価値観を示してくれるこの地域への理解を深めてもらいたいと思います。

倫理学 / 倫理学（春学期）

「倫理学の理論」

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

柘植 尚則

【授業科目の内容】

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わることがらについて哲学的に考えるものです。この講義では、倫理学の代表的な理論を学び、現実の倫理問題を考えるための基礎を身につけることを目標とします。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内 理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

【参考書】

講義の中で紹介します。

倫理学 / 倫理学（秋学期）

「倫理学の課題」

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

柘植 尚則

【授業科目の内容】

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わることがらについて哲学的に考えるものです。この講義では、現実の倫理問題について考えながら、倫理のあり方を探ることを目標とします。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内 理論と課題』(慶應義塾大学出版会、2006年)

【参考書】

講義の中で紹介します。

倫理学 / 倫理学 (春学期)

「倫理学するってどういうこと?1(倫理学の諸理論)」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

奈良 雅俊

【授業科目の内容】

倫理学の代表的な理論を概観します。倫理学は何を研究対象とし、どのように考えをすすめる、また、どのような形で私たちの現実と関わっているのかについて、一定の知識を身につけることを目標とします。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内 理論と課題』 慶應義塾大学出版会 2006年

倫理学 / 倫理学 (秋学期)

「倫理学するってどういうこと?2(応用倫理学)」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

奈良 雅俊

【授業科目の内容】

現代社会が直面しているさまざまな倫理的問題を取り上げ、これらに対して倫理学がどのような取り組みを行っているかについて、一定の知識を身につけることを目標とします。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内 理論と課題』 慶應義塾大学出版会 2006年

倫理学 / 倫理学 (春学期)

「責任と自由」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

成田 和信

【授業科目の内容】

ある人の行った行為に関して「あの人はそれに関して責任がある」と言えるためには、その人はその行為を自由に行ったのでなければならない。この授業では、「この自由(つまり責任に必要な自由)とは何か」という問題を、近代から現代までの西洋哲学の諸理論に触れながら考えます。それを通して「人とはどのような存在なのか」ということを少しでも明らかにできればよいと思います。

【教科書】

『責任と自由』成田和信著(勁草書房2004年)

【参考書】

『自由: 哲学的分析』: M. クランストン著(岩波新書)

『「責任」ってなに?』: 大庭健(講談社現代新書)

倫理学 / 倫理学 (秋学期)

「幸福論」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

成田 和信

【授業科目の内容】

この授業では、「幸福とは何か」あるいは「その人にとって良い生き方とは何か」という問題について、現代までのさまざまな哲学的理論を振り返りながら、検討します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に案内します。

倫理学 / 倫理学 (春学期)

「倫理学の基礎」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

二見 千尋

【授業科目の内容】

如何なる判断・行為が「善く」「正しい」のか?この問いに答えを出すことの難しさは、過去の歴史が証明していると言えましょう。自明なように見えて、実はその根拠が明確でない点に、道徳のアポリアがあると思われる。本講義は、前年度同様、倫理学の主要な理論(立場)を批判的に検討することで、道徳について考える(「善い」「正しい」とはどういうことなのか?)ための基盤を固めることを目的としています。

【教科書】

小松光彦他編『倫理学案内』慶應義塾大学出版会(2006年)

(「第1部 理論」の内容を中心に講義します。)

【参考書】

永井均著『倫理とは何か』産業図書(2003年)

他、講義中に適宜紹介します。

倫理学 / 倫理学 (秋学期)

「倫理学の基礎」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

二見 千尋

【授業科目の内容】

道徳とは何か?これは万人が引き受けるべき問いではありません。道徳的でない生き方(しかも、適切な仕方でも)も十分に可能だからです。それでも尚、わたしたちが生きるプロセスの背後には、道徳の問題が常に潜んでいます。それはつまり、誰もが道徳のアポリアに捕らわれ得ることを意味しています。本講義の目的は、道徳に関する諸問題のいくつかに触れることを通じて、各自が「この私にとって、道徳的であるとは如何なることか?」を考えることを楽しんで(?)もらうことにあります。

【教科書】

得に指定しません。

【参考書】

小松光彦他編『倫理学案内』慶應義塾大学出版会(2006年)

永井均著『倫理とは何か』産業図書(2003年)

R.ノーマン著『道徳の哲学者たち(第2版)』ナカニシヤ出版(2001年)

他、講義中に適宜紹介します。

倫理学 / 倫理学(春学期)

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

村山 達也

【授業科目の内容】

私たちの生活には、その微細な点に至るまで「道徳」が浸透しており、私たちの生活を様々な仕方で行かしています。この授業は、西洋の倫理学における主要な理論を学び、あわせて「幸福」や「人生の意味」といった話題を論じることを通じて、「道徳」という現象をはっきりと意識し、私たちにとって「道徳」が持つ意味を考えることを目指しています。

【教科書】

『倫理学案内 理論と課題』(慶應義塾大学出版会, 2006年, ¥3150, ISBN4 - 7664 - 1251 - 6)

倫理学 / 倫理学(秋学期)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

村山 達也

【授業科目の内容】

今日の社会が直面している様々な問題・課題を解決しようとする時、私たちはどうしても倫理的な考察をする必要に迫られますし、逆に倫理学もまた、そうした問題・課題によって、これまで考えてもみなかった数多くの困難を提示され、回答を求められています。この授業は、前期で学んだことを踏まえつつ、今日的な問題・課題はどのような倫理学的問題を含んでいるのか、また逆にそれらの問題・課題は倫理学に対してどのような問題を提起しているのか、といったことを考えることを通じて、倫理学的な問題に対する感受性を涵養することを目指しています。

【教科書】

『倫理学案内 理論と課題』(慶應義塾大学出版会, 2006年, ¥3150, ISBN4 - 7664 - 1251 - 6)

倫理学 / 倫理学(春学期)

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

森 庸

【授業科目の内容】

社会の諸制度や法などはいかにあるべきか。これが中心テーマです。この問題に主に近現代の道徳哲学者や社会哲学者はどのように取り組んできたかについて講義します。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内』(慶應義塾大学出版会, 2006年, 3150円)

【参考書】

ジェームズ・レイチェルズ『現実をみつめる道徳哲学』(晃洋書房, 2004年, 2940円)

倫理学 / 倫理学(秋学期)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

森 庸

【授業科目の内容】

社会の諸制度や法などはいかにあるべきか。これが中心テーマです。今学期はとくに、経済活動はいかに行われるべきか、を中心に講義します。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内』(慶應義塾大学出版会, 2006年, 3,150円)

【参考書】

ジェームズ・レイチェルズ『現実をみつめる道徳哲学』(晃洋書房, 2003年, 2,940円)

倫理学 / 倫理学(春学期)

「倫理学の基礎概念」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

山内 志朗

【授業科目の内容】

倫理学は、様々な価値(善、幸福、平和)、それを実現するための能力としての徳、社会的ないし個人的な模範としての義務などを扱う学問です。この講義では、倫理学の代表的な理論と基本的な概念を学び、現実の倫理問題に対処するための基本を身につけることを目指します。なお、特に本年は価値が発見されたり創造されたりする様式ということに注目して、進めます。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内 - 理論と課題』(慶應義塾大学出版会, 2006年)

【参考書】

授業中に紹介します。

倫理学 / 倫理学(秋学期)

「倫理学の諸問題」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

山内 志朗

【授業科目の内容】

倫理学は、様々な価値(善、幸福、平和)、それを実現するための能力としての徳、社会的ないし個人的な模

範としての義務などを扱う学問です。この講義では、倫理学の代表的な理論と基本的な概念を学び、現実の倫理問題に対処するための基本を身につけることを目指します。この講義では、現代の具体的な問題と倫理との関連を主題化します。

【教科書】

小松光彦・樽井正義・谷寿美編『倫理学案内 理論と課題』（慶應義塾大学出版会、2006年）

【参考書】

授業中に紹介します。

歴史 / 歴史（春学期）

「旧石器時代・縄文時代概説」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 安藤 広道

【授業科目の内容】

日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、狩猟採集社会の時代である旧石器時代と縄文時代について、東アジア的な視点を含めて概観します。特に、人々の生活の変化とその背景について、社会経済史的観点からの解説に力点を置くつもりです。併せて考古学という学問の紹介もしたいと思います。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

必要に応じて講義の中で紹介します。

歴史 / 歴史（秋学期）

「弥生時代・古墳時代概説」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 安藤 広道

【授業科目の内容】

日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、弥生時代と古墳時代について、つまり農耕社会の成立から古代国家の成立までを、東アジア的な視点を含めて概観します。特に、人々の生活の変化とその背景について、社会経済史的観点からの解説に力点を置くつもりです。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

必要に応じて講義の中で紹介します。

歴史 / 歴史（春学期）

「アーリー・モダンとしての江戸時代」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 井奥 成彦

【授業科目の内容】

江戸時代を近代・現代へと連続する時代と捉え、その時代の諸相を見ていきます。

【教科書】

特に用いない。

【参考書】

随時紹介します。

歴史 / 歴史（秋学期）

「近代日本社会経済史」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 井奥 成彦

【授業科目の内容】

急速な発展を遂げた近代日本の経済と社会の諸相を、現代との関連において見ていきます。

【教科書】

特に用いない。

【参考書】

随時紹介します。

歴史 / 歴史（春学期）(火1)

「中東における宗教と文化：現代中東理解のために」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 勝沼 聡

【授業科目の内容】

わずか数年足らずの今世紀に限定してみても、パレスティナ、アフガニスタン、イラクなどの中東地域で発生している諸問題が国際社会の耳目を集めていることは明白である。この講義では、それらを考察するさいに前提となる、イスラームを中心とした中東地域の宗教や文化についての知識を学ぶことを目的とする。通時的な制約にとらわれることなく、担当者が特に重要と考えるトピックを中心に扱う予定である。また、いわゆる「教科書的」な知識だけでなく、現在の中東地域の宗教や文化の実態に関する知見もできるだけ提供するようにしたい。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

歴史 / 歴史（秋学期）(火1)

「日本におけるイスラーム/ムスリム観の変遷」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 勝沼 聡

【授業科目の内容】

我々のイスラーム/ムスリムに関する理解は、現状では欧米経由の知識にその多くを負っている。しかし、日本社会と彼らとの接触が歴史的に皆無であったわけではない。特に近代以降、近代化の過程や対アジア戦略の立案にさいしてその重要性が認識され、相互接触が増加していった。この講義では、主として近代を中心に日本においてみられたイスラーム/ムスリムに対するさまざまな認識について論じ、それらが成立した背景や問題点について考えてみたい。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に適宜指示するが、主なものとして以下をあげておく。杉田英明『日本人の中東発見：逆遠近法のなかの比較分化史』東京大学出版会、1995年。

歴史 / 歴史 (春学期)(金5)

「欧米におけるイスラーム / ムスリム観の変遷」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

勝沼 聡

【授業科目の内容】

昨今、米大統領やローマ教皇といった欧米の政治・宗教指導者による発言が、ムスリム(イスラーム教徒)たちからの激しい反発を受ける事件が相次いでいる。欧米地域は我々と比すれば歴史的にも地政学的にも中東地域と密接な関係にあったにも関わらず、未だにこうした発言がなされるのは一体何に起因するのだろうか。この講義では、欧米において成立したイスラームやムスリムに対する認識の歴史の変遷およびその背景について論じ、その原因を探ることにしたい。さらにはいまだ欧米経由の知識にその多くを負っている我々のイスラーム / ムスリムに対する認識の相対化も試みたい。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

歴史 / 歴史 (秋学期)(金5)

「現代中東における諸問題の歴史的起源：近代を中心に」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

勝沼 聡

【授業科目の内容】

中東地域が国際社会の耳目を集めるたび、中東・イスラーム文化それ自体に対する理解の重要性が指摘されるが、現在の中東において発生している諸問題に直接関わる歴史的起源を探る作業もまた重要である。現代中東における諸問題の起源をたどれば、19世紀以降の「近代」と呼ばれる時代にたどりつくことがほとんどである。この講義では、現在の情勢との関連を意識しながら、近代における中東地域の歴史的展開を当時の欧米の対中東戦略などもふまえて論じることによって、中東地域の現状に対する多角的理解を目指す。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

歴史

「海とイスラーム史」

2単位 春学期

【文経法政商医理】

栗山 保之

【授業科目の内容】

西アジアにイスラームが誕生した7世紀から、西欧勢力がインド洋に出現する15世紀までの時期において、西アジアを中心としたイスラーム世界の歴史の展開を、海(インド洋、紅海、ペルシャ湾)との関係から考えてみたいと思います。

【教科書】

なし

【参考書】

なし(授業時にご紹介します)。

歴史 / 歴史 (春学期)

「中世武家政権の成立」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

清水 亮

【授業科目の内容】

日本で初めての武家政権である平氏政権の成立過程から、治承・寿永内乱、鎌倉幕府成立前後までの政治史・土地制度史を概説する。

【参考書】

元木泰雄編『日本の時代史7 院生の展開と内乱』(吉川弘文館)、大山喬平『鎌倉幕府』(小学館)

歴史 / 歴史 (秋学期)

「中世武家政権の展開」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

清水 亮

【授業科目の内容】

鎌倉幕府成立からその倒壊に至る政治史と土地制度史を最新の研究成果に基づき概説する。

【参考書】

五味文彦編『日本の時代史8 京・鎌倉の王権』(吉川弘文館)、網野善彦『蒙古襲来』(小学館)

歴史 / 歴史 (春学期)

「武家政権の成立と展開 - 織豊政権・徳川政権を中心に - 」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

白根 孝胤

【授業科目の内容】

我が国では、源頼朝による鎌倉幕府の成立をはじめ、室町幕府・織豊政権・徳川政権(江戸幕府)と、変化を遂げながらも武家による政権が存続しました。このことをふまえて、春学期の講義では、戦国時代とよばれた動乱期のなかで、武家による統一政権の樹立を目指していた織田政権・豊臣政権の構造や徳川政権の成立過程を

中心に検討していきます。その際に重要な基本史料や古文書を提示しながら、武家政権の特質を具体的に明らかにしていきます。

【教科書】

特にありません。毎回講義で使用する資料プリントを配布します。

【参考書】

『日本の時代史』第13・14巻（吉川弘文館、2003年）、『日本史講座』第5巻（東京大学出版会、2004年）。その他、授業のなかで適宜紹介します。

歴史 / 歴史（秋学期）

「江戸時代前期・中期の政治と文化」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 白根 孝胤

【授業科目の内容】

江戸時代は、徳川将軍家による武家政権が250年以上にもわたって存続した、日本史上においても注目すべき時代と言えます。そして、この時代に展開された政策や文化は、現代においても継承されているところが数多く見られます。

そこで、秋学期の講義では、春学期の続きとして、17世紀後半～18世紀（とくに慶安期から享保期）における徳川政権の構造について、諸大名の動向を視野に入れながら検討するとともに、長年にわたる平和な時代のなかで、大名庭園や江戸屋敷で行われた将軍と諸大名、旗本、公家などとの文化交流の実態を、古文書・絵図類などを提示しながら具体的に明らかにしていきます。

【教科書】

特にありません。毎回講義で使用する資料プリントを配布します。

【参考書】

『日本の時代史』第14・15・16巻（吉川弘文館、2003年）、『日本史講座』第5・6巻（東京大学出版会、2004年、2005年）。その他、授業のなかで適宜紹介します。

歴史 / 歴史（春学期）

「医学と医療の歴史1500 1800」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 鈴木 晃仁

【授業科目の内容】

ヨーロッパを中心に、医学と医療の歴史を講義する

【参考書】

なし

歴史 / 歴史（秋学期）

「医学と医療の歴史1800 1930」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 鈴木 晃仁

【授業科目の内容】

ヨーロッパを中心に、医学と医療の歴史を講義する

【参考書】

なし

歴史 / 歴史（春学期）

「ペルシャ文化史論」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 中村 公則

【授業科目の内容】

現代のイラン人がどんな国で、人々はどんな暮らし方をしているのかを具体的に紹介する。併せて、イスラーム期イラン史を通観する。

【教科書】

なし

【参考書】

本田実信著「イスラム世界の発展」講談社

歴史 / 歴史（秋学期）

「ペルシャ文化史論」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 中村 公則

【授業科目の内容】

順序が逆になる様だが、秋学期は、春学期で話せなかった部分の残りを片付け、古代ペルシャの文化にも言及したいと思う。現代イランの政治についてもふれる。

【教科書】

なし

【参考書】

本田実信著「イスラム世界の発展」講談社

歴史 / 歴史（春学期）(火3・4)

「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画、政治、社会など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。十九世紀フランス文化史・文明史として位置づけられる。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会（2000年）

歴史 / 歴史（秋学期）(火3・4)

「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、

絵画、政治、社会など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。十九世紀フランス文化史・文明史として位置づけられる。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会（2000年）

歴史 / 歴史（春学期）（火5）

「バレエの歴史」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。春学期は十九世紀フランス・バレエまでを論じる。ヨーロッパ近代文化史・文明史として位置づけられる。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会（2000年）

歴史 / 歴史（秋学期）（火5）

「バレエの歴史」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。秋学期はロシアにおけるバレエと現代バレエを論じる。ヨーロッパ近・現代文化史、文明史として位置づけられる。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應義塾大学出版会（2000年）

歴史 / 歴史（春学期）（水1・2）

「ヨーロッパ商業の誕生」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

今日的な現象として「グローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。この長期的なプロセスで、大きな意義を持ったのが、ヨーロッパの商業的な発達と、その外部世界への進展である。この講義（春学期）では、とくに古代から中世ヨーロッパで商業が形成されていく過程を辿りながら、今日のグローバル化について、長い歴史的な文脈で考えることを試みる。そのうえで、「グローバル化」を題材として、歴史的思考が現代の問題にどのように関与するのかについて考えてみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

講義中に適宜指示します

歴史 / 歴史（秋学期）（水1・2）

「近世ヨーロッパの海外進出」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

今日的な現象として「グローバル化」が大きく取りあげられているが、このプロセスは最近に始まったわけではなく、はるかに昔から長い時間をかけて進行してきたものである。この長期的なプロセスで、とくに大きな意義を持ったのが、ヨーロッパの商業的な発達と、その外部世界への進展である。この講義（秋学期）では、とくに16 - 18世紀にヨーロッパ商業が外へと拡大していく過程を辿りながら、今日のグローバル化について、長い歴史的な文脈で考えることを試みる。そのうえで、「グローバル化」を題材として、歴史的思考が現代の問題にどのように関与するのかについて考えてみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

講義中に適宜指示します

歴史 / 歴史（春学期）（木1）

「環大西洋世界の歴史的展開：その形成」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

近年、歴史学では海をテーマにした研究が盛んである。大西洋についてもその例外ではなく、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカがこの大洋によって結びつけられていく過程について、とくに欧米の歴史学者たちが考察を重ねてきた。こうした考察をふまえながら、この講義（春学期）では、大西洋世界共通の歴史を素描していく。そのうえで、より一般的に「海」という視点をとることによって、新たに理解できることは何であり、理解できないことは何であるのかについて、考察してみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

講義中に適宜指示します

歴史 / 歴史（秋学期）（木1）

「環大西洋世界の歴史的展開：その展開」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

近年、歴史学では海をテーマにした研究が盛んである。大西洋についてもその例外ではなく、ヨーロッパ、アフリカ、アメリカがこの大洋によって結びつけられていく過程について、とくに欧米の歴史学者たちが考察を重ねてきた。この講義（秋学期）では、こうした研究者たち

の思考をふまえて、大西洋世界が相互に依存していく様子を素描していく。そのうえで、より一般的に「海」という視点をとることによって、新たに理解できることは何であり、理解できないことは何であるかについて、考察してみたい。

【教科書】

使用しない

【参考書】

講義中に適宜指示します

歴史 / 歴史 (春学期)

「近世日本の国際環境」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松方 冬子

【授業科目の内容】

近世すなわち江戸時代の日本、というと、「鎖国」というイメージが強いと思います。一方で、ここ20年近く、近世日本は「四つの口」すなわち長崎（オランダ・中国）・対馬（朝鮮）・薩摩（琉球＝中国）・松前（アイヌ）によって、世界に開かれていたという説を前提にした諸研究も進んでいます。授業では、それらの研究を紹介しながら、最終的には皆さんが、近代化以前の日本を取り巻いていた国際環境について、自分なりのイメージを描けるようになること、興味があれば自分で調べ研究できる素地を持つことを目標にしたいと思います。主に注目するのは、日本とオランダとの関係、特に「オランダ風説書」という、オランダ人が幕府の要請で長崎にもたらした世界情報ですが、単純な日本とオランダの2国間関係としてではなく、当時の日本と世界を知るための導入として考えたいと思います。

歴史 / 歴史 (秋学期)

「近世日本の国際環境」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松方 冬子

【授業科目の内容】

近世すなわち江戸時代の日本、というと、「鎖国」というイメージが強いと思います。一方で、ここ20年近く、近世日本は「四つの口」すなわち長崎（オランダ・中国）・対馬（朝鮮）・薩摩（琉球＝中国）・松前（アイヌ）によって、世界に開かれていたという説を前提にした諸研究も進んでいます。授業では、それらの研究を紹介しながら、最終的には皆さんが、近代化以前の日本を取り巻いていた国際環境について、自分なりのイメージを描けるようになること、興味があれば自分で調べ研究できる素地を持つことを目標にしたいと思います。主に注目するのは、日本とオランダとの関係、特に「オランダ風説書」という、オランダ人が幕府の要請で長崎にもたらした世界情報ですが、単純な日本とオランダの2国間関係としてではなく、当時の日本と世界を知るための導入として考えたいと思います。

歴史 / 歴史 (春学期)

「アメリカ史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松本 典久

【授業科目の内容】

アメリカ合衆国史上の主要な出来事について、入植時から現在にかけて、時代を追ってお話しします。

【教科書】

拙著『日米比較文化論』（慶応大学出版会） 授業でそのまま使用することはありませんが、授業内容に関連する重要事項が取り上げられています。必ず読んでください。1990年代以降の展開については、秋学期用に掲げた拙稿4点のうち、はじめの2点を参照してください。

【参考書】

以下の3点のうち、いずれか一冊を読むことをお勧めします。

有賀貞・大下尚一編著『概説アメリカ史』（有斐閣選書）

岡田泰男・永田啓恭編著『概説アメリカ経済史』（有斐閣選書）

斉藤真『アメリカ政治外交史』（東大出版会）

歴史 / 歴史 (秋学期)

「アメリカ史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松本 典久

【授業科目の内容】

第二次世界大戦後のアメリカ合衆国史、およびアメリカを中心とする世界情勢（グローバリゼーション）についてお話しします。

【教科書】

拙著『日米比較文化論』（慶応大学出版会） 春学期に読んだ方はそのままお使いください。さらに以下3点を加えます。拙稿「グローバリズムと反グローバリズム」（『日吉紀要、英語英米文学』43、2003年）、拙稿「歴史のおわり、もしくは新しい歴史のはじまり」（『同誌』44、2004年）、拙稿「グローバリズムの研究、18世紀以降の英米経済を中心に」（『同誌』47、2005年）、拙稿「グローバリズムの研究、アメリカにおける消費資本主義の発展を中心に」（『同誌』49、2006年）、日吉紀要Web上、もしくは担当者のサイト

（<http://www.geocities.jp/proteus11jp>）で閲覧できます。

【参考書】

以下の3点のうち、いずれか一冊を読むことをお勧めします。

有賀貞・大下尚一編著『概説アメリカ史』（有斐閣選書）

岡田泰男・永田啓恭編著『概説アメリカ経済史』（有斐閣選書）

斉藤真『アメリカ政治外交史』（東大出版会）

歴史 / 歴史 (春学期)
 「フランス革命史」 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 宮崎 洋

【授業科目の内容】

18世紀に生じたフランス革命はフランスばかりか、他の多くの国々に大きな衝撃と影響を与えた。革命は政治的には正面から封建制と絶対王政を否定し、共和制という民主主義政治の体制を、社会的、経済的、文化的には新しい考え方やシステムを導入した。この授業は講義形式で、主として絶対王政末期の社会、経済、政治状況から、革命下1792年の対外戦争までの歴史的経過とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

柴田三千雄他編「フランス史2」世界歴史大系、山川出版社

歴史 / 歴史 (秋学期)
 「フランス革命史」 2単位 秋学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 宮崎 洋

【授業科目の内容】

フランス革命の通史です。授業は講義形式で、主として1792年8月10日の革命から1799年11月のナポレオンによるブリュメール18日のクーデタまでの歴史的経過と革命の成果を対象とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

柴田三千雄他編「フランス史2」世界歴史大系、山川出版社

歴史 / 歴史 (春学期)
 「世界遺産から見る東アジアの歴史と文化」 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 村松 弘一

【授業科目の内容】

東アジア各国は文化面において、多くの共通性を有する一方、地域による差異性も有している。共通性と差異性がどのように形成されたのか？本講義ではこの点に注目しつつ、中国・日本・朝鮮半島の世界遺産をめぐるながら、東アジアの歴史と文化に関する理解を深めることとしたい。

【教科書】

特に指定はしません。毎回配布するプリントをもとに講義をします。

【参考書】

授業中に紹介します。

歴史 / 歴史 (秋学期)
 「人と環境の中国史」 2単位 秋学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 村松 弘一

【授業科目の内容】

人間は周囲の自然環境とどのようにかかわってきたのか？その関係を復元し、現在の環境問題の解決に生かす歴史研究は環境史とよばれている。本講義では中国の環境史に関するさまざまなトピックを紹介し、新しい歴史学にふれてもらうこととしたい。

【教科書】

特に指定はしません。毎回配布するプリントをもとに講義をします。

【参考書】

授業中に紹介します。

歴史
 「現代中東とクルド人問題」 2単位 秋学期
 【文経法政商医理】 山口 昭彦

【授業科目の内容】

中東における民族問題の一つとしてクルド人問題を取り上げ、この問題の形成過程と現状を解説します。この作業を通じて、前近代から近代、さらに現代へと時代を経るなかで、中東地域の政治体制や社会統合のあり方がいかなる変容を遂げたのか、そして今後どのような方向に向かうのかを展望することを目指します。主にトルコのクルド人問題を対象とします。

【教科書】

授業中にハンドアウトを配布します。

【参考書】

授業で紹介いたします。

歴史 / 歴史 (春学期)
 「8世紀までの日本文化史」 2単位 春学期
 4単位 通年
 【文経法政商医理】 湯浅 吉美

【授業科目の内容】

寺院の造営や僧侶の活動など、仏教文化的な事象を中心として日本の古代史を見てゆく。すなわち春学期分としては、仏教伝来から奈良時代までをとりあげる。

文化史には、つくり出すはたらき、受け容れるはたらき、つくられたもの、以上3つの視点がなければならないという。しかし、とにかく についてののみ考え、作品名や人名を列挙して、それで「文化史」だとする風潮が強い。この講義では、むしろ や の解明に力点を置く。そして願うところは、一人でも多くの諸君が、歴史的遺産を愛し、守り伝えてゆく気持ちをもつ社会人に育ってほしいということである。

【教科書】

とくに使用しない。

【参考書】

井上光貞監修『図説 歴史散歩事典 2版』（山川出版社、1982年）

講義そのものには必須ではないが、博物館や史跡巡りをしたい人、日本史に強い興味をもつ人にお薦めする。

歴史 / 歴史（秋学期）

「9世紀から12世紀までの日本文化史」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

湯浅 吉美

【授業科目の内容】

寺院の造営や僧侶の活動など、仏教文化的な事象を中心として日本の古代史を見てゆく。すなわち秋学期分としては、平安時代初期から院政期までをとりあげる。

文化史には、つくり出すはたらき、受け容れるはたらき、つくられたもの、以上3つの視点がなければならないという。しかし、とにかく についてのみ考え、作品名や人名を列挙して、それで「文化史」だとする風潮が強い。この講義では、むしろ や の解明に力点をおく。そして願うところは、一人でも多くの諸君が、歴史的遺産を愛し、守り伝えてゆく気持ちをもつ社会人に育ててほしいということである。

【教科書】

とくに使用しない。

【参考書】

井上光貞監修『図説 歴史散歩事典 2版』（山川出版社、1982年）

講義そのものには必須ではないが、博物館や史跡巡りをしたい人、日本史に強い興味をもつ人にお薦めする。

歴史 / 歴史（春学期）

「イングランド王国の形成と「封建社会」」 2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

吉武 憲司

【授業科目の内容】

現在のイギリス（イングランド）という国の基礎ができあがるのは、中世の時代のことです。それは、さまざまな民族の侵入・定住・征服の過程の中で形成されてきたもので、現在の我々が当たり前と考えるものとは異なった観念を前提として成り立っていました。イギリスの地理的枠組み自体、今ある形になる必然性もありませんでした。授業では、この形成の過程を、さまざまなトピックを選びながら解説していきます。

【教科書】

エドモンド・キング『中世のイギリス』（慶應義塾大学出版会 2006年）

歴史 / 歴史（秋学期）

「中世後期のイングランド王国」 2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】

吉武 憲司

【授業科目の内容】

現在のイギリス（イングランド）の制度の多くの基礎は、実質的に中世後期に確立されたものです。庶民院・貴族院からなる議会制などがその典型です。この授業では、12世紀にようやく明確な形をとり始めるイングランド封建国家が、その後さまざまな変容・発展を経て、近代以後の社会や制度の基礎を築いていく過程を考察します。

【教科書】

エドモンド・キング『中世のイギリス』（慶應義塾大学出版会 2006年）

論理学（月5）

「論理的推論の理解とその応用」 2単位 春学期

【文経法政商医理】

岡田 光弘

【授業科目の内容】

論理的思考や正しい論理推論の基準を明らかにする。命題論理及び述語論理の論証理論（証明論）及び意味論を中心に、現代論理学の基本的な考え方を学習していく。また、論理学の種々の応用についても具体例を用いながら解説を加えたい。

命題論理を中心とした入門的内容となる。特に現代的な立場から新しい教材も用いて、論理的思考や正しい推論の基準等の学習を進める。

【教科書】

指定しない。

【教科書】

プリントをダウンロードして頂きます。詳しいことは各学期最初の授業で指示します。

【参考書】

必要に応じて授業中に指示します。

論理学（月5）

2単位 秋学期

【文経法政商医理】

串田 裕彦

【授業科目の内容】

述語論理について、その意味論および構文論を学ぶ。また、ラムダ計算や直観主義論理についても考察する。授業では、命題論理についての知識は前提して話を進める。

論理学1を履修したもの、あるいは命題論理について同程度の理解をもつものに受講してもらいたい。

論理学（春学期）／論理学（秋学期）(火4・5)
論理学（通年）

2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

論理学の基礎を学びながら、真理及びその我々にとっての意味について考察します。

論理学は論理学の続きです。論理学の内容を前提にして授業をすすめますので、論理学をも合わせて履修して下さい。

【教科書】

特に用いない。

論理学（春学期）／論理学（秋学期）(金5)
論理学（通年）

2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 串田 裕彦

〔授業科目の内容〕

論理学の基礎を学びます。特に「数学の形式化」を主題とし、ゲーデルの不完全性定理の証明とその意義を理解することを最終的な目標とします。

論理学 / 論理学（春学期）

「形式論理学入門」

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐々木 昭則

〔授業科目の内容〕

演繹的推論について勉強する。特に、推論が正しいかどうか確かめる方法について様々なアプローチを紹介し、その技術を学生に習得してもらう。

【教科書】

特に指定せずプリント配布。

【参考書】

教室で適宜指示。

論理学 / 論理学（秋学期）

「形式論理学入門」

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐々木 昭則

〔授業科目の内容〕

春学期に引き続いて授業を行う。したがって、春学期の内容を前提としている。

秋学期は量化理論を中心に扱う。

【教科書】

特に指定せずプリント配布。

【参考書】

教室で適宜指示。

論理学 / 論理学（春学期）

「妥当な推論（確実な根拠付け）の基準の研究」

2単位 春学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを通じて、論理を捉えようとする。この授業では、このような論理学の人工言語の中で最も基本的なものである命題論理の言語について解説する。

【教科書】

講義資料プリントを作成する。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

論理学 / 論理学（秋学期）

「妥当な推論（確実な根拠付け）の基準の研究」

2単位 秋学期
4単位 通年

【文経法政商医理】 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを通じて、論理を捉えようとする。この授業では、このような論理学の人工言語の中で基本的なものである述語論理の言語について解説する。

【教科書】

講義資料プリントを作成する。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

論理学序論

「記号論理学の基礎」

2単位 春学期
弓削 隆一

【経商医理】 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

命題論理・述語論理の基本的な考え方について説明した後、形式的な証明のシステムの一つであるゲンツェンのLKについて解説します。LKでの具体的な証明図の作成の演習も行いたいと思います。

【教科書】

適宜プリントを作成します。

【参考書】

授業時に適宜指示します。

論理学本論

「述語論理の基本的なメタ定理の紹介」

2単位 秋学期
弓削 隆一

【経商医理】 弓削 隆一

〔授業科目の内容〕

述語論理の完全性定理、LKのカット除去定理などの、述語論理の基本的なメタ定理について解説します。時間に余裕があれば、ゲーデルの不完全性定理についても紹介したいと思います。

【教科書】

適宜プリントを作成します。

【参考書】

授業時に適宜指示します。

少人数セミナー形式授業科目

ここからは、各学部で設置されている少人数セミナー形式の授業科目について紹介します。各学部で開講されている少人数の特色ある科目を、できるだけ多くの学生に共有してもらいたいという願いから、2003年度から、相互に、他学部の学生に授業を開放しています。他学部に開放された授業では、所属学部の学生の履修が優先された上で、履修人数に余裕のある限り、他学部の学生が履修することができます。

他学部の「少人数セミナー形式授業科目」を履修した場合、下記科目の単位となります。

文学部 : 総合教育科目の系列外科目
経済学部 : 総合教育科目(系)
法学部 : 自主選択科目
商学部 : 総合教育科目(・類)
医学部 : 自由科目
理工学部 : 自由科目

各学部の時間割に全学部分の「少人数セミナー形式授業科目」時間割を掲載しているので、曜日時限を確認してください。

「少人数セミナー形式授業科目」は、他学部設置の科目を履修する場合でも、科目認定用紙の提出の必要はありません。

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】

総合教育セミナー ・ (各2単位)

主として、文学部1年生を対象に開講する少人数、セミナー型講義科目です。担当するのは、文学部の日吉所属教員で、三田所属教員が開講している「特論」とよく似た形態です。いわゆる教員が壇上で講義をしていく形態の総合教育科目とは違って、各教員が専門とする研究に沿って討論、対話、輪講などの形式で進められます。内容・講義形式等については、各担当教員が自由に設定しますので、必ず第1回目の授業に出席して、内容等を確認してください。

科目名は、**ゴシック(太字)**部分です。()カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考(証明書などに記載されない科目名)です。

総合教育セミナー (グローバル化と言語の多様性)
「グローバル化と言語の多様性(1)」 2単位 春学期
【文】 足立 健次

【授業科目の内容】

皆さんは世界中にどれくらいの数の言語が存在しているかご存知でしょうか。2002年にユネスコ(国連教育科学文化機関)は少数派言語消滅の危機を表明しました。英語圏を代表する文芸批評家ジョージ・スタイナーは、それより25年も前に英国のBBCテレビで一般向けに講演を行い、少数派の言語が消滅の危機に瀕していることに警鐘を鳴らしています。しかし、この問題が国際社会の中で重要視されるまでに実に四半世紀もの歳月が費やされました。なぜこの地球上に何千という数多くの言語が存在しているのか、という素朴な疑問から始まるスタイナーの英文を読み解きながら、最近になってようやく表面化してきた言語の多様性の問題をさまざまな側面から考えてみたいと思います。

【教科書】

The Tongues of Men (南雲堂)

【参考書】

必要に応じて紹介します。

総合教育セミナー (20世紀の科学の発見)
2単位 春学期
【文】 大場 茂

【授業科目の内容】

科学はどのようにして発展してきたのだろうか。世界の常識を覆すような発見や発明が、どのようになされたのだろうか。20世紀における科学の発展を振り返り、その時代背景や基礎的な科学の概念を学びます。

【教科書】

毎回プリントを配布します。

総合教育セミナー (人類学)
「動物園・水族館で進化を学ぶ」 2単位 春学期
【文】 高山 博

【授業科目の内容】

現在、生きている動物を観察することで、人類の進化について基礎知識を学ぶ機会としたい。今年度は、特に脊椎動物(魚類以降)の動物に注目して観察していく予定です。講義時間以外に、動物園・水族館等へ出かけますので、休業日(日・祝)の観察会も講義の一環となります。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜紹介していきます。

総合教育セミナー (グローバル化と言語の多様性)
「グローバル化と言語の多様性(2)」 2単位 秋学期
【文】 足立 健次

【授業科目の内容】

皆さんは世界中にどれくらいの数の言語が存在しているかご存知でしょうか。2002年にユネスコ(国連教育科学文化機関)は少数派言語消滅の危機を表明しました。英語圏を代表する文芸批評家ジョージ・スタイナーは、それより25年も前に英国のBBCテレビで一般向けに講演を行い、少数派の言語が消滅の危機に瀕していることに警鐘を鳴らしています。しかし、この問題が国際社会の中で重要視されるまでに実に四半世紀もの歳月が費やされました。今や世界共通語が出現しつつあるのか。仮にそうであるとして、果たして私たちはそのような共通語を必要としているのか。こうした疑問を提示したスタイナーの英文を読み解きながら、言語の多様性と統一の問題をさまざまな側面から考えてみたいと思います。

【教科書】

The Tongues of Men (南雲堂)

【参考書】

必要に応じて紹介します。

総合教育セミナー (細胞行動データベースの作成)
「細胞行動・高次生命現象・そして人間社会」
2単位 秋学期
【文】 金子 洋之

【授業科目の内容】

文系の学生諸君にとって、細胞行動、高次生命という言葉からどういった状況が思い浮かべられるだろうか?生物の構成単位である細胞が疑人化され、何らかの振る舞いを行い、ダイナミックな細胞社会が構築され、その結果が高次生命現象として捉えられるのでは?との答えで十分正解である。多細胞生物の身体で生じる多彩な細胞行動が、ダイナミックな細胞社会を存在させているこ

とは事実である。これらの知見を体系化できれば、人間行動と人間社会を新たな視点から考察できないだろうか？本講義では、理系と文系の学際領域の開拓を目指し、生命科学が明らかにしてきた多くの知見を平易に解説しつつ、細胞行動の情報収集を試行する。これらを通して高次生命現象理解のための細胞行動データベースを作成することを体験してもらいたい。

【教科書】

指定しない。教材は教員が準備する。

【参考書】

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

総合教育セミナー（イタリアの文化）

【文】 白崎 容子

【授業科目の内容】

「イタリア」はデザイン、音楽、映画、スポーツなど、生活や趣味に密着した領域で私たちの日常に取り入れられています。なかでもいちばん馴染みの深いのが、食文化でしょう。料理を作る・食べる、というだけでなく、たとえば食材をはじめとする食文化と芸術のかかわりについて考えてみるのはいかがでしょうか。イタリアの文学作品や映画のなかで、「食」がどのように扱われているか、詩のなかには食材がどのようなイメージとともに登場しているか、美術作品ではどのように描かれているか。そしてまた、食材や料理名の語源を探ってみることにより、なにげなく口にしていたイタリアの食べ物たちについて新たな発見が出来るかもしれません。

総合教育セミナー（人類学）

「骨に聞く、骨を読む」 2単位 秋学期

【文】 高山 博

【授業科目の内容】

人体骨格についての基礎知識を習得しながら、人類学（化石人類学、骨格人類学）の基礎にふれる機会としたい。人類進化の道筋を化石模型等に触れながら、形態進化を実体験していく予定。受講者のレベル等によりますが、他大学・研究所の見学にも出かけることもあります。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜紹介していきます。

【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】

自由研究セミナー

「Java でプログラミングをしてみよう」

2単位 春学期

【経】 青木 健一郎

【授業科目の内容】

Javaは現在様々な局面で使われている実用性の高いプログラミング言語です。

また、Javaは文法も合理的で現代的な言語であり、プログラミングを学ぶ言語としても最適です。

このセミナーでは、プログラムを書くことによってプログラミングについて理解する事を目的とします。複雑なプログラムよりも、自分で完璧に理解できる簡単なプログラム（特に applet）を書くようにします。セミナーの初めよりグラフィックスを使ったプログラムを作ります。

Javaの主な特徴はオブジェクト指向性と様々なプラットフォームで使える汎用性です。絵を描いたり、画像を表示したりすることがプログラミングし始めてすぐから出来るのも魅力です。プログラミングで重要な事は、楽に正しく作ることで、オブジェクト指向性はこれにおおいに役立ちます。オブジェクト指向性などの概念は、意識せずともプログラムを書くことによって自然と実感できると思います。

【教科書】

「初体験Java」丸の内とら著（技術評論社）

【参考書】

特にありません。

自由研究セミナー

「自分の出身高校を研究しよう！」 4単位 春学期集中

【経】 赤林 英夫

【授業科目の内容】

私立が良いか、公立もすてたものじゃないか？問題はそれだけではありません。男女共学化、コース制教育、スーパー 高、総合学科、単位制、中高一貫、通学区域の廃止など、高等学校は、今、大きく変わっています。それは、いったいなぜ起きているのでしょうか？それがもたらしたものでしょうか？それらを経験した皆さんにしか、分からないことがあるはずで。

このセミナーでは、皆さんの経験を通じて、高等学校とそれを取り巻く教育政策を研究します。人生を考え始めるのも、生き方に差が出始めるのも高校時代です。それを支えるのは高校であり、その先生であるはずで。今、世間はニートだフリーター・学力低下だと騒いでいます。自分が通り過ぎてきた高校は、自分に何をしてくれ、何をしてくれなかったのか、それはなぜなのか、振り返って見ませんか？

高校を研究して何になるのか？現在の教育改革は、全体として「教育の市場化」の方向にあります。特に、高

校はそれが進んでおり、市場化が教育現場をどう変えるのか、考える上で格好の材料です。高等学校は、皆さんが経験した中でもっとも身近な「市場化政策」の現場なのです。僕も、皆さんの経験から学び、いっしょに考えたいと思っています。

東京近辺の高校であれば、訪ねていく機会もつくりたく思います。母校の先生は、国や自治体の政策・学力問題・履修科目問題をどのように考えているのでしょうか。今だったら言えることがあるかも知れません。皆で調べてみませんか？

【参考書】

とりあえず、文部科学省のHPにある「高等学校教育改革」のページ

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kaikaku/ma_in8_a2.htm#sankou をご覧下さい。他に適宜指示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「国際経済の計量分析」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 秋山 裕

【授業科目の内容】

(1) 貿易、為替レート、海外直接など、国際経済における経済現象について、回帰分析を中心とした簡単な計量分析を履修者が行えるようになること、(2) 株式投資についてポートフォリオ理論の簡単な実践を履修者が行なえるようになること、(3) 『通商白書2007』の輪読を通じて、現在の国際経済分野の諸問題について見識を深めることがこのセミナーの目標です。授業は 担当者による講義と 履修者のグループ発表からなります。

セミナーを効率的かつ活発で楽しいものにするため、演習、発表ではグループによる共同作業も行ないます。(2006年度のクラスでは、日本経済新聞社主催の学生円ダービーや日経ストックリーグなどのコンテストにもチームを編成して参加しました。コンテスト参加にあたって、MS Excelの分析ツールを中心に実践的な分析手法を習得していきます。)そのため、授業時間以外で準備の時間、および、課題をこなすための時間がある程度必要となります。

【教科書】

『通商白書2007』(春学期中に発行の予定)

計量分析手法の学習、ポートフォリオ理論の学習にあたっては、講義資料としてプリントを配布します。

【参考書】

随時、担当者から指示があります。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「都市・建築に現れる伝統的デザイン 近代都市、建築のなかに現れる日本人の美意識が求めるもの」

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 伊藤 行雄

【授業科目の内容】

最近、日本の近代的な建築のなかに、建築家芦原義信氏が指摘するように、「内から眺める風景」としての「坪庭」のような空間を取り込んだ建物が増えてきている。塀で囲まれた庭を家のなかから見る風景、すなわち「内から眺める庭の風景」はあくまでも敷地内を完結的な世界として捉え、そこには外部の空間とか公共性への配慮がみられない。しかしこうした日本的な「うち」から見る世界を日本の近代建築のなかにデザインとして取り入れられているのを見ると、日本人にはある種の心の安らぎを感じる瞬間がある。画一化した高層ビルが多くなった時代、日本人が本来もっている「内」と「外」との境界の曖昧な空間意識は、近代的な都市生活の深層部分でも見え隠れしていると思われる。マンションでも各戸の入り口に門扉がつけたり、床の間があり、堀炬燵があったりする。遣り水のようなせせらぎや築山をマンションの庭園に取り入れるなど、モダンな空間のなかに日本人の美意識が反映するようなデザインが至るところに工夫されるようになってきた。旧市街を頑なに守るヨーロッパの古い都市と、日々新たに変貌していく東京の様相などを、この研究会では、ヨーロッパと日本の都市、建築、さらに空間意識の相違を手がかりとして日本ヨーロッパの文化を比較しながら、これにまつわるさまざまな問題点を、都市や建築のデザインなど、ときには文学作品などの例を用いて、分析していく予定である。

研究会は参加者の発表や討論によって進められる。同時にレジュメの作成の方法、発表の基礎的なトレーニングを行う。6月から各自研究発表のテーマを考えて秋には研究発表の実施を行う。そのほかレジュメ発表、研究発表の準備の方法の指導も行う予定。

【参考書】

- 芦原義信 『続・街並みの美学』(岩波現代文庫)
- 和辻哲郎 『風土』(岩波文庫)
- 楳文彦 『見えがくれする都市』(鹿島出版会)
- 楳文彦 『ヒルサイドテラス+ウエストの世界 都市、建築空間とその生活 -』(鹿島出版会)
- 隈 研吾 『負ける建築』(岩波書店)
- ドナルド・キーン 『日本人の美意識』(中公文庫)
- その他

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー
「Introduction to Film Studies」2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【経】 エインジ, マイケル

【授業科目の内容】

Movies “capture the imagination” -but what is meant by that? Movies “open up dream worlds” -but whose dreams, and toward what ends? Movies are also said to “tell it like it is” -but what do they in fact tell (or show), how do they do so, and what is the effect of their stories and images?

The purpose of this course is to introduce students to, and develop their use of, some of the analytic tools necessary for academic criticism, which the students will then use to refine and articulate their own critical method. Those selected (class size is limited) will be introduced to several major film theories, and apply those to analyses of selected films. Toward that end, in addition to the Wednesday - afternoon class sessions, regular film screenings will be held on Wednesday evenings. Attendance at the former is mandatory, though students unable to attend the latter may watch films on their own. Additional films for viewing will be recommended. Not surprisingly, a substantial amount of reading will be assigned, both of primary sources - i.e., film theorists' writings, as well as commentary on those theories - and secondary sources, such as analyses of specific films and general material on Film History. In - class lectures, presentations and discussions will offer students a forum for testing the various analytic methods, while the final paper will allow them to demonstrate their analytic skills.

NOTE: THIS COURSE IS A PREREQUISITE FOR PROF. AINGE'S KENKYU PROJECT.

【教科書】

To be announced at the first meeting.

【参考書】

To be announced at the first meeting.

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー
「都市・自然・人間における詩と映像と音楽の融合」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【経】 小瀧 昭夫

【授業科目の内容】

東京、パリ、ニューヨーク、日吉そして皆さんの出身地をテーマにして詩・映像・写真・音楽・映画を作製し、作品を日吉キャンパス空間で発表する。ヒヨシエイ

ジ2007における映像制作を行う。
【教科書】(参考書と区別してください)
授業中に指示する
【参考書】
授業中に指示する

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー
「地域振興」について考える」2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【経】 長田 進

【授業科目の内容】

現代社会が抱える問題の中には、地域の衰退及び振興の問題が存在する。例えば、新聞でよく見かける「中心市街地活性化」の問題などが良い例である。今回の講座ではこのような問題について、問題が発生した背景について考察することに始まり、どのような対策を行うことが望ましいかについて自分たちなりの提案をすることまでを目標におくこととする。また、この目標に対して身に付けておくべき研究技術を学ぶ機会になるようアレンジしたいと考えている。

【教科書】

最初のセミナーの時間に指定する。

【参考書】

授業の中で適宜指定する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー
「経済分析の理論的方法」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年
【経】 長名 寛明

【授業科目の内容】

経済現象は、自然現象や社会現象と同様に複雑であって、どのような要因がどのように作用し合って生じているか、理解するのが必ずしも容易ではない。

これを理解するためには、当面の問題に直接関係がないと思われる要因を思い切って捨象して考えることが有益である。不必要と思われる要因を捨象して残ったものが、経済分析に使われるモデルあるいは理論である。モデル(模型)が実物と異なることは当然であるが、経済学を学び始める者の中のある者は、理論が現実と乖離していることに驚き、経済学への興味を失う。これは学問を始めようとする者にとって極めて不幸なことであると思われるが、かなり多くの者に観察されるようである。これは一種のアレルギー反応といえるものであり、理論の理解と共に消失する。

また経済理論は、かなり本質的な部分において数学的分析を必要としており、したがって、この分析方法を習得しないと十分な理解に達することが難しい。

この自由研究セミナーでは、ミクロ経済学の主要項目について演習形式で理解を深めることを目指す。必要な数学的分析方法についても訓練する予定である。

【教科書】

H. R. Varian, Intermediate Microeconomics, Norton (7th Edition), 2005.

【参考書】

神谷和也・浦井憲著「経済学のための数学入門」(東京大学出版会)
その他必要に応じて指示する。

自由研究セミナー

2単位 秋学期

【経】

金子 勝

【授業科目の内容】

財政政策・地方財政論、社会保障・社会福祉、あるいは格差問題などの日本経済論を題材にして、議論する。まず、参加者の希望を尊重してテキストを1冊選び、それを批判的に読む。つぎに、参加者自らがテーマを選び、報告し、それに基づいて議論する。

ただし、参加を希望する者は、上記の領域で何かテーマを選んでレポート(A4用紙で3~5枚)を必ず提出すること。

【参考書】

拙著『戦後の終わり』(筑摩書房、2006年)

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「食」にまつわる自由研究」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】

河田 幸視

【授業科目の内容】

このセミナーでは、春学期については、食に関わるさまざまなテーマを取り上げます。食料安全保障、食品安全性など経済学的なアプローチがなされているテーマだけではなく、調査捕鯨による鯨肉の利用、養殖魚の利用とその問題点、食品添加物の危険性、お茶と健康、地産地消と地域活性化、農薬・化学肥料と環境問題、忌避する食物と食文化などの多様なテーマを、受講者の関心を踏まえつつ取り上げる予定です。秋学期は、受講者と相談の上、類似のテーマを扱いたいと思います。

【教科書】

ガイダンスの時に指示します

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「日吉の自然・実践的入門」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】

岸 由二

【授業科目の内容】

日吉の森の散策、雑木林再生作業への実践的な参与、資料を利用した討論、読書等を通して、危機と再生の中にある都市自然のモデルとして、日吉台地の生物多様性やランドスケープをまなびます。学習と体験の成果は毎

回簡単なレポートとして提出し、同時にそれらを取りまとめて、年間を通して、受講生それぞれが一冊のパーソナルな<日吉・ナチュラリストダイアリー>としてまとめることをめざします。

【教科書】

- ・岸 由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店
 - ・伊藤隆広『日吉の森野鳥紀行』
 - ・ほか資料
- 参加人数を配慮して適宜指定します。

【参考書】

- ・R.カーソン『センス・オブ・ワンダー』
- ・岸ほか『流域圏プランニングの時代』

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「フィールドワーク入門 ライフストーリー・インタビューに挑戦」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

工藤 多香子

【授業科目の内容】

この授業では、文化人類学におけるライフストーリー・インタビューの方法について考えます。はじめにインタビューに基づく研究のあり方や倫理的問題についてテキストを読みながら議論します。その後、学生のみなさんには夏休みを利用して実際にインタビューを実施してもらいます。インタビューの内容やその分析に関する数回の報告を経て、最終的には簡単なモノグラフにまとめるのが最終目標です。

【教科書】

菅原和孝編『フィールドワークへの挑戦』世界思想社
桜井厚・小林多寿子編著『ライフストーリー・インタビュー 質的研究入門』せりか書房
その他は適宜授業内に指示します。

【参考書】

- ダニエル・ベルト著『ライフストーリー』ミネルヴァ書房
- クリフォード・ギアーツ著『文化の読み方 / 書き方』岩波書店
- オスカー・ルイス著『サンチェスの子供たち』みすず書房
- ヴィンセント・クラパンザーノ著『精霊と結婚した男』紀伊国屋書店

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「アナログとデジタルの世界 人間にとって完全なデジタル化とは？」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

クナウプ・ハンス J

【授業科目の内容】

世界のデジタル化はますます進んでおり、現代ではITを活用しない人や組織はもはや時代遅れといわれる

ような状況になっている。デジタル化による様々な情報の活用は、現代において確かに利便性が高いが、その反面、人間が本来もっている処理能力をはるかに超えたヴァーチャルな世界が展開され、人間が必要とする時間と空間意識が希薄なものとなり、デジタル化された情報と現実の諸現象との間に大きなズレが生じている。

一方、書物などから得られる知識や、日常生活のなかで身体が自然に感知できる能力は、デジタル化が飛躍的に進んだとしても、最終的には排除できるものではない。この授業では、情報のデジタル化が進む現代において、「アナログの世界の再認識」というテーマを念頭におきながら、人間のデジタル化に対する順応性の限界を考察していきたいと思っている。その際、単に理論的に考察するのではなく、いくつかの実験・作業（たとえば映像作成・音声の分析・文字の伝達方法）を通して、リアルな世界とヴァーチャルな世界との比較を検討していく予定である。

【参考書】

P.ヴィリリオ著 『瞬間の君臨 リアルタイム世界の構造と人間社会の行方』 新評論

『情報エネルギー化社会 現実空間の解体と速度が作り出す空間』 新評論

F.キトラー著 『グラモフォン、フィルム、タイプライター』 筑摩書房

その他の参考資料、ゼミの進め方などについては、第1回目の授業で説明します。

自由研究セミナー

「医学と物語」 2単位 春学期 / 秋学期

【経】 鈴木 晃仁

【授業科目の内容】

医学における物語、医学を題材にした物語を読み、文化と社会の中の医学の姿をさぐる

【教科書】

なし

【参考書】

なし

自由研究セミナー

「近・現代における経済と社会」 2単位 春学期

【経】 崔 在東

【授業科目の内容】

本セミナーは、近代に生きる人々が直面していた様々な問題を多面的に考察します。具体的に取り上げるテーマは、家族と経済、土地と経済、人口と経済、エネルギーと経済、宗教と経済などです。各問題について国家と人々はどのような戦略を取っていたか、その歴史的含意はどのようなものであるかを議論します。また、現代経済の諸問題と原理的にどのようにつながっているのかを模索します。

【教科書】

特に指定しません。資料プリントを配布します。

【参考書】

適時に提示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「中国現代文化研究」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 千田 大介

【授業科目の内容】

現代中国の文化事象について、幅広く考察する。

現代中国では、純文学などのエリート文化が急速に力を失うとともに、映画・ポップミュージック・ライトノベル・テレビ番組といったサブカルチャーが、インターネットの普及を背景に隆盛を極めている。本セミナーでは、こういったさまざまな文化事象を取りあげ、具体的な作品や事例に基づいて検討するが、特に、中国における日本文化の受容のズレ、および文化を規定する社会や制度の実態に注目し考察することで、ステレオタイプに陥らないリアルな中国理解を目指す。

【教科書】

『チャイニーズ・カルチャー・レビュー』Vol.3 (好文出版、ISBN4 - 87220 - 107 - 8)、その他講義中に適宜指示する。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「「グローバル化」と倫理」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 蔦木 能雄

【授業科目の内容】

現代世界は「相互依存性」を益々強めています。古典を通して「グローバル化」と倫理の問題を考えることが本授業の目的です。

【教科書】

アダム・スミス著 水田洋訳 『法学講義』(岩波文庫、2005年、1,100円、ISBN4-00-341058-0)

【参考書】

水田洋著 『新稿 社会思想小史』(ミネルヴァ書房、2006年、2,800円、ISBN4-623-04346-10)

自由研究セミナー

「社会思想とは何か」

2単位 春学期

【経】 蔦木 能雄

【授業科目の内容】

社会思想を通して「社会科学」について学びます。

【教科書】

水田洋著 『新稿 社会思想小史』(ミネルヴァ書房、2006年、2,800円、ISBN4-623-04346-10)

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「カウンセリングと精神療法を学ぶ」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 土屋 博政

【授業科目の内容】

この授業の目的は、人間の心理的メカニズムを学ぶことにより、精神的な病に悩み、苦しむ人への理解と共感を深めることです。この授業では、病を治そうとすることよりも、まず病がその人の自己表現であること、又それなりの理由があつての病であることを理解しようとしています。従つて、一年間この授業を受けることで、自分のことや他者のことが少しばかり客観的に理解できるようになり、以前よりも肩の力を抜いて生きる事ができるようになるでしょう。

講義は必要に応じて行いますが、この授業はセミナーですので、中心は受講者の皆さんの発表と議論です。アパシー（無感動）、引きこもり、リストカット、虐待、家庭内暴力、ストーカー、カルト等の問題はなぜ起るのか。主として春学期の授業では、皆さんが今疑問に思っている問題を扱った書物を読み、そこから分かったこと、また依然として解けない点をまとめ、それをクラスの仲間の前で発表してもらいます。毎回の授業での発表者は一人、ないし二人です。皆さん個人が感じた問題は、今の若者全般に何らかの形で関わる問題です。それを授業で一緒に考えることが大切だと考えます。皆の前で発表することは、自分を客観視するのに役立つだけでなく、他の人の意見を聞く機会が与えられ、多面的なものの見方を学ぶよい機会ともなります。テーマは皆さんが自由に選んで下さい。

また秋学期は、配布するテキストと一緒に読むことで、カウンセリングと精神療法はどのように行われるのか、具体的に学んでいきます。尚、英文テキストは第一部「フロイトと弟子達」、第二部「フロイト理論からの離反者」、第三部「特殊な精神分析手法」に分かれ、それぞれの部がフロイト、カール・アブラハム、メラニー・クライン、セオドア・ライク、ユング、アドラー、ホーナイ、サリヴァン、カール・ロジャーズら一流の専門家による症例研究によって構成されています。

【教科書】

Harold Greenwald (ed.), *Great Cases in Psychoanalysis* (Ballantine Books) テキストは絶版になっていますので、コピーして授業時に配布します。

【参考書】

参考書は授業時に必要に応じて示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「日本とアジアの人口、家族、経済」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 津谷 典子

【授業科目の内容】

本科目は、人口増加と経済発展 (population growth and economic development)、人口増加と環境・資源 (population growth and the environment)、人口高齢化と高齢者介護 (population aging and care of the elderly)、出生・家族形成 (fertility and family formation)、結婚とその解消 (marriage and marital disruption)、死亡・保健・衛生 (mortality and health)、労働力と就業 (labor force and employment)、家族・世帯 (family and household)、ジェンダー (gender relations) など、人口学や経済学が取り扱う様々なトピックや問題についての英文文献を読み、それらに関するクラスでの発表と討論を通して、人口問題と経済に関する知識・理解を深めることを目的とする。人口変動と経済変動は密接に関連しており、人口変動はまた環境・資源の最も重要な決定変数の1つである。人口は重要な政策的課題でもあるため、本科目では各トピックの政策的含意についても検討する。

【教科書】

教科書は特に指定しない。なお、本科目で取り上げる論文は、比較的平易かつ具体的内容をもつものを、現在わが国および国際社会が置かれている状況を考慮して、適切であると思われるものを講師が予め選別する。

【参考書】

河野稔 『世界の人口』(第2版), 2000年, 東京大学出版会。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「海外における日本文化」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 寺澤 行忠

【授業科目の内容】

私は2005年度、「海外における日本文化受容の研究」というテーマで各国を訪問する機会を与えられ、海外における日本文化の実情を調査するとともに、多数の各国大学の日本学担当者、在外公館の文化担当者、日本文化機関関係者と懇談し、意見を交換してきた。

そのような経験を踏まえて、海外における日本文化のありようを多方面から検討し、さらによりよい形で日本文化を海外に紹介するには、いかなる方策が有効かを考えてみたい。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー 2単位 春学期 / 秋学期
「ヴィクトリア朝の社会と文学」4単位 通年
【経】 永井 容子

【授業科目の内容】

本セミナーでは、ヴィクトリア朝時代の主要な文学作品を通して、当時の社会的、並びに文化的背景を理解することを目的としている。ヴィクトリア朝時代（1837 - 1901）といえば、産業革命に伴う都市型物質主義・自由主義と田園起源の静的秩序と精神文化が葛藤した時代である。都市が爆発的に成長を遂げた19世紀前半には、人々の注意が現代と未来に向けられたが、19世紀末には、新しいものとの釣り合いを正すために、あるいは現代の圧迫感からの救済を求めて、伝統や古きものが重んじられた。当時の刊行物には、このような時代の流れまたそこに生きる人々の意識の変化を鋭敏に捉える手がかりが数多く存在する。春学期の授業では、幅広い文献を通し時代の特徴を捉え、秋学期では、授業で予め決めたテキストを参加者が分担して具体的な考察を試みる。参加者には、自由な発想で作品に取り組んでもらい、自らの切り口でヴィクトリア朝時代を語り、時代の空気を感じ取ってもらいたい。

【教科書】

<春学期>特に指定しない。必要に応じて資料プリントを配布する。

<秋学期>授業内で相談。

【参考書】

リチャード・D・オールティック著 『ヴィクトリア朝の人と思想』（音羽書房鶴見書店）。その他、適宜紹介する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー
「生殖の政治学」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 長沖 暁子

【授業科目の内容】

不妊のカップルへの福音として登場した体外受精、その応用である他者からの卵、精子の提供、代理出産、胎児を選別しようという目的で使われる出生前診断、そして人口政策の特効薬として開発される長期ホルモン避妊薬や抗妊娠ワクチン、現在、生殖をめぐるさまざまな問題が起こっています。

しかし、そのどれもが女性を対象に使われるという点では共通しています。妊娠、出産という機能を持つ女性のからだは国家や家の支配・管理の対象として考えられてきました。これに対し世界の女性たちは、1970年前後の中絶の合法化運動、80年代以降の開発途上国の強制的な人口抑制政策に抵抗する運動と、性と生殖に関する自己決定権（リプロダクティブ・ライツ）を求めて闘ってきました。

春学期は『自己決定権とジェンダー』江原由美子著 岩波書店を輪読し、生殖にかかわる技術とジェンダーの関係を考えたいと思います。それを下敷きに、秋学期は現代の性と生殖をめぐる問題について、それぞれが関心を持ったテーマに関して調べ、発表・議論したいと思います。

【教科書】

使用しません

【参考書】

春学期『自己決定権とジェンダー』

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー
「文化/社会/歴史/文学、その発想と感覚」
2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 西尾 修

【授業科目の内容】

何でもいから、興味あることについてしゃべる（喋る） そういった授業です。

担当者の専門領域は19世紀のフランス文学ですが、別段それにこだわるつもりはありません。

日本のこと、現代のこと、あるいはそれ以外の世界のこと、硬質なものから軟弱なものまで何でも、テーマ選びには地域、時代を問いません。授業に参加する諸君個々人が、それぞれに関心を抱くテーマをまずは持ち寄って、そのテーマについて、皆でとにかく自分の考えていることを口にする、そういった授業です。真面目ぶっていえば、議論する、討論するという経験を通して、通常それ以外のコミュニケーション手段で得られるものとはまた別のナニモノかを得られれば格別。この授業が参加者諸君の自己発見、自己開発の一助になれば、と願っています。

授業は、毎回、メンバーの誰かがあるテーマについて発表し、その後、皆で議論するという形式で行います。詳しくは第1回目の授業で説明します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー
「中国時事・文化を「読む」」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 根岸宗一郎

【授業科目の内容】

現在も高度経済成長を続ける中国は、政治・経済・文化・社会いずれもが日々めまぐるしく変化している。来年いよいよ北京オリンピックを迎え、2010年には上海万博が控える中国の変化はいよいよ加速していくに違いない。この授業では、中国の最新のニュースを中国の新聞・雑誌記事を通して読み、急速に変化する中国の姿を追ってゆく。初級中国語をクリアできていれば、この授業を通して生の中国語の新聞・雑誌記事を「読む」力とリアルタイムの中国社会・文化を「読む」力を養えるで

あろう。

【教科書】

適宜配布する。

【参考書】

適宜配布する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「写真への接近」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 林 栄美子

【授業科目の内容】

写真が発明されたのは1839年のことである。人間の長い歴史の中に置いてみれば、つい最近のこととさえ言えるだろう。しかし人間が手にした最初の「映像」である写真は、飛躍的な進歩をとげ、今や誰もが写真を撮り、撮られるという体験が日常的なこととなり、無数の写真に取り巻かれて我々は生きている。氾濫する写真は、我々の世界の捉え方にまで多大な影響を与えている。「写真」とはいったい何か？そのことを具体的に考えるために、写真を撮るという行為、それを見せるという行為と、写真のさまざまなありようの考察とを、意識的に並行して行ってみよう。写真史を概観することもその助けとなるだろうし、写真家たちの作品にふれることも必要になるだろう。ただし、写真についての知識や体験は問わない。ただし、これは写真をうまく撮れるようになるための講座ではない。あくまでも「写真について考える」こと、それを通じて「見ること」「感じること」「人やものと接すること」を考え直す場だと思ってもらえればいだろう。

カメラを手にして歩いたり、自分で写真展に出かけたりの実践作業の好きな人、議論しながら共に考えることの好きな人を歓迎する。

【教科書】

なし

【参考書】

飯沢耕太郎著『わかりたいあなたのための現代写真・入門』JICC出版、ほか。授業中に紹介する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「エミール・ゾラを比較文学（文化）的に読み解く」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 林田 愛

【授業科目の内容】

19世紀フランスの自然主義作家、エミール・ゾラ（1840 - 1902）の作品は、今日もなお多くの人々に読み継がれています。ゾラは大衆作家として人気を博しながらも、常に弱者の立場に立ち、下層から上流まで社会全体に渦巻く不正や欺瞞、頹廃や病理を鋭くえぐり、普遍的真理とは何かを問い続けた作家でした。ユダヤ人将校

の冤罪事件として有名なドレフュス事件の真相究明におけるゾラの貢献は有名ですが、その正義への限りない愛は教権主義や科学主義などのドグマティズム、そして神秘主義への憧憬やデカダンスに代表される知的・道徳的衰退に対する深い憤りにつながっています。セミナーでは、このゾラの小説を比較文学（文化）的に読み解きません。前期は毎回ゾラについての講義の後、みなさんと小説の内容について議論します。後期は、前期に読んだゾラの中から一つ選び、テーマに沿って日本、ヨーロッパの文学作品または思想・哲学書との比較分析を試みて発表してもらいます（例：ゾラの『ブラッサンの征服』とチェーホフの『6号室』における精神病院と＜狂人＞、ゾラの科学思想とシューマッハーの経済理念における「非暴力の概念」など、枠にとらわれない自由な発想を求めます）。

各々の作品が生み出された歴史的背景を考慮しながらも、国や時代を超えた共通点を見出し、みずみずしい感性を持って分析に取り組むことは、きっとみなさんに新たな発見をもたらす知の領域を広げてくれることでしょう。

【教科書】

授業中に指示します。

【参考書】

授業中に指示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「マルセル・ブルースト作『失われた時を求めて』を読む」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 比留川 彰

【授業科目の内容】

マルセル・ブルースト作「失われた時を求めて」全7巻を学生諸君に翻訳で読破していただくことを目標とします。

第一次世界大戦をはさんでフランスで発表された「失われた時を求めて」はフランス文学のみならず世界文学の最高峰に位置する作品と言っても過言ではありません。この小説は恋愛、芸術美学、ベル・エポックのフランス社交界、さらには同性愛までも描いており、その作品の豊かさは他に類を見ないといつてよいでしょう。この小説を読破することは人生における一つの出来事となりえます。人生観、世界観が一新されることさえあるのですから。しかし、ブルーストが十数年を費やして書いた作品を読破するのはそれほど簡単なことではありません。フランスでは冗談半分に、「失われた時を求めて」を読破した者はその事実を名刺に刷り込むだけの価値があるとまで言われているそうです。

【教科書】

授業中に指示します。

【参考書】

授業中に指示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 福山 欣司

【授業科目の内容】

このセミナーはカエルをモチーフにして「人と動物との関わり」について考察していこうという授業です。一般的にはカエルのイメージは、気持ち悪い、汚い、などマイナスであることが多いようです。ところがその一方で、カエルは私たちの生活や文化の中に頻繁に登場します。子どものおもちゃ、日用雑貨、文具、広告、オブジェ、絵画、写真、書物、音楽など、さまざまな場面で私たちはカエルと遭遇しています。マイナスのイメージのある生き物が何故頻繁に登場するのでしょうか。カエルのイメージがどのように扱われているかを実際の例に当たりながら、人はカエルをどう見ているのかを考えてみたいと思います。また、現実のカエルは日本を含む世界各地で急激に減少しています。授業では環境問題としてのカエルも取り上げる予定です。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「応用経済分析への招待」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 藤田 康範

【授業科目の内容】

この自由研究セミナーでは、知識を構造化し、経済理論の活用方法を身につけ、戦略や政策を策定できるようになることを目標とします。

自由研究セミナーという科目の性質上、プレゼンテーションやディスカッションを重視しますが、無理なく丁寧に進めることを基本とし、必要なことについては随時説明しますので、特別な予備知識は不要です。

春学期は主としてマクロ経済理論的視点から、秋学期は主としてミクロ経済理論的視点から経済を把握します。

【教科書】

特にありません。必要に応じて文献を紹介します。

【参考書】

藤田康範『よくわかる経済と経済理論』学陽書房
藤田康範『よくわかる金融と金融理論』学陽書房
中嶋寿康監修・有限会社アデッセ・藤田康範研究室共著『株式公開の基本と実務がよ〜くわかる本』秀和システム

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「社会史としてのアーサー王伝説」

2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 不破 有理

【授業科目の内容】

アーサー王と円卓の騎士を知っていますか？ 今なお映画や小説の題材として取り上げられるアーサー王は、イギリス史上もっともよく知られた「王様」です。しかしながらその実像は謎に包まれ、果たして実在したかどうかさえ定かではありません。本セミナーでは、アーサー王伝説が社会的、政治的、文化的な脈絡の中でどのように変容し、人々を魅了してきたのか、年代記や中世騎士道物語、絵画や映画などを題材に分析します。アーサー王伝説を通観することによって、イギリスの新たな社会史の側面を提示したいと考えています。各回短い講義（もしくは各担当者の発表）と学生諸君による文献の分析と討論によって進める予定です。秋学期は19世紀（マーク・トウェイン）と20世紀（メアリー・ステュアート）の小説を分担講読します。

【教科書】

Mary Stewart, *The Wicked Day*. (Harpercollins; リプリント版、ペーパーバックASIN: 006054828) そのほか、資料プリントを随時授業内で配布します。

【参考書】

トマス・マロリー著・井村君江訳『アーサー王物語』全5巻(筑摩書房、2006年) Mark Twain, *A Connecticut Yankee in King Arthur's Court* (Oxford World's Classics) (ペーパーバック) ASIN: 0192839020 翻訳: マーク・トウェイン『アーサー王宮廷のコネティカット・ヤンキー』

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「地球環境と人間」 2単位 春学期 / 秋学期
4単位 通年

【経】 松原 彰子

【授業科目の内容】

地球環境問題や自然災害について、各自の関心のあるテーマについて調べた結果を発表し、討論を行うことを主要な目的とする。春学期は文献紹介、秋学期は夏休み各自が行った現地調査の成果を発表して、その内容について全員でディスカッションを行う。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

松原 彰子著『自然地理学 自然環境の過去・現在・未来』(慶應義塾大学出版会、2006年、2000円 ISBN4 - 7664 - 1255 - 9)

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb
自由研究セミナー

「報道番組で知る中国語と中国社会」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 村越 貴代美

【授業科目の内容】

中国中央テレビ台の人気報道番組「焦点訪談」を教材に、中国語ニュースを利用するための読解力とヒヤリング力を強化し、同時に現在中国社会への理解を深めることを目的とする。

この番組は、事件や事故、政治・経済問題、文化・科学技術の紹介、道徳教育や政策の宣伝など、多岐にわたる話題を取り上げて解説・紹介するもので、長さは1話10分程度である。最初と最後にキャスターの解説があり、本題で記者の取材、関係者へのインタビューなどが入る。

中国語としても多様で、キャスターの正確で早口の標準語、記者の一般的な中国語、取材される関係者の訛りや個性の強い言葉、があり、には字幕がつく。中央テレビ台のホームページに、1日遅れ程度でも含めた全文のスク립ト（文字）が掲載され、内容をまとめた紹介文も掲載される。

授業では、まず紹介文を読み、話題について理解する。内容を正確に伝えることに重点を置いた説明文なので、初級中国語を終えた人なら、辞書を引きながら案外読めるものである。中国語は、かたい文章のほうが読みやすい。

次に、キーワードに注意しながら、紹介文を音読する。自分の口で言える言葉でない聞き取れないし、また逆に、聞き取れない言葉は話すこともできない。耳と口は一体である。

続いて放送を見るが、話題を知り、キーワードを押さえ、映像の助けがあるとしても、発言を一字一句ぜんぶ聞き取るのは至難のわざである。一部を選んで書き取り（ディクテーション）の練習をし、残りは映像を見ながら適宜解説を加える。分量やレベルは、受講者に合わせて決める。文字資料と映像資料があるので、興味のある話題について、教室では取り上げなかった部分を自分で練習することもできるであろう。

【教科書】

プリントとDVDを教員が用意する。

自由研究セミナー

「高度成長社会を生きた人々 父と母の子供時代再考」
2単位 秋学期

【経】 柳沢 遊

【授業科目の内容】

1955年から始まった高度経済成長は、日本列島にくらす人々の生活・労働、そしてコミュニケーションを大きく変えた。「昭和30年代」ブームといわれる現在の地点から、この時代の歴史的意味を再考してみたい。城山三

郎の小説、西岸良平のコミック、テレビとクルマの時代の開始を、広い社会経済的文脈からときあかしていくことが、本セミナーのねらいである。

【教科書】

大門正克他編『高度成長の時代』青木書店、2007年刊行予定

【参考書】

中村政則『戦後史』岩波新書、石井寛治編『近代日本流通史』東京堂出版、吉川洋『高度成長』読売新聞社、1997年

自由研究セミナー

「日本の社会保障」

4単位 秋学期集中

【経】 山田 篤裕

【授業科目の内容】

社会保障とは人々の生活を保障する政策です。具体的には、就労できる者については就業することで生活が保障されるようにし、一時的あるいは永続的に就労できない者については、年金・医療・介護・雇用・労災保険、生活保護あるいは福祉サービスにより、生活が保障されるようにする政策です。

本セミナーでは、日本の社会保障について国際比較の視点も入れながら、現在、直面する問題を一緒に考えていくことを目的とします。

【教科書】

以下の参考文献から、履修者の関心に応じて決めたいと思います。

【参考書】

広井良典『日本の社会保障（新書）』岩波書店1999.01

中垣陽子『社会保障を問いなおす 年金・医療・少子化対策（新書）』筑摩書房2005.05

湯沢雅彦編『少子化をのりこえたデンマーク』朝日新聞社2001.12

グスタ・エスピン・アンデルセン『ポスト工業経済の社会的基礎：市場・福祉国家・家族の政治経済学』（渡辺雅男・渡辺景子訳）桜井書店2000.5

なお文献は日吉図書館の一角にある教科書コーナーで入手可能なようにしておきます。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「ドイツ映画の黄金時代」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 山本 賀代

【授業科目の内容】

19世紀末に産声を上げたドイツ映画は、第一次世界大戦中に市民の娯楽として発展し、ドイツ最大の映画会社「ウーファ」のもとで、ワイマール共和国の大衆文化を代表する存在になりました。本セミナーでは、『プラーグの大学生』（1913）から「黄金の20年代」に製作されたサイレント映画の数々の名作、そしてトーキー移行後、

マレーネ・ディートリヒを世に送り出した『嘆きの天使』（1930）など、ナチが政権を握るまでのドイツ映画黄金時代の諸作品を上映し、映画について自由に討論したいと思えます。

【教科書】

授業内でプリント配布

【参考書】

『カリガリからヒトラーまで』（S・クラカウアー著、平井正訳、せりか書房1971）

その他、適宜授業中に紹介します。

【法学部設置の少人数セミナー形式科目】

自然科学研究会

「ヒトと生物環境との共存を考える」 2単位 春学期

【法政】

秋山 豊子

【授業科目の内容】

少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定し、発表・討議など進行も行います。自分で学習して積極的・主体的に学びたいという学生諸君に履修を勧めます。

現在社会は、ようやく経済的に明るさが見えてきたものの、大量消費とその後の経済的な低迷期の結果、私たちの生活環境にはさまざまな問題が生じています。他方、良い意味では、持続できる地球を目指して大量消費していた多くの製品でリサイクルをし、無駄を省いてシンプルな生活へと向かっているように思われます。スローライフの勧めや自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象の中にあるように思われます。環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染、野生動物の保護、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題など、現代人の関心事となっています。ヒトと多様な生物との共存の道を考察するという視点から、これらの現代社会における自然科学を背景とした問題を考えてゆきます。自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題を考える第一歩となれば良いと考えています。

今年は、校外活動、資料収集、観察、臨海実習などキャンパス外での活動も考えています。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

「生きているってどういうこと」種田保穂・秋山豊子 培風館 2006年刊行

自然科学研究会

「文系学生向けバイオテクノロジー寺子屋」

2単位 春学期

【法政】

小野 裕剛

【授業科目の内容】

ヒトゲノム計画やクローン人間、遺伝子治療、組換え体作物など私たちの身の回りに最新バイオテクノロジーを応用した技術が迫ってきています。「全部理系の人にお任せ」で良いのでしょうか？これらの技術をしっかり理解しておくことは医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動を考える時に大きな武器になります。この科目では、文系の講義科目では扱いにくい、ちょっと専門に深入りしすぎたくらいのバイオテクノロジーについて膝詰めで説明していく形態をとります。また、可能な範囲で遺伝子研究の現場を視察・体験することもあります。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

履修者と相談の上、紹介します。

自然科学研究会
「植物成分の効能」

2単位 秋学期

【法政】

金谷 信宏

【授業科目の内容】

植物は成長のための代謝のほかに独自の代謝経路をもち、その植物特有の様々な化学物質を合成します。それらは香辛料、薬剤、毒薬としてヒトに利用されています。この研究会では各自が興味をもった植物成分の効能について調べ、他の履修者の前で発表します。その発表に対して全員で討論することにより植物成分についての知識をより深められることが期待されます。

自然科学研究会

「化学の言葉で自然の不思議をひも解け」

2単位 春学期

【法政】

小瀬村 誠治

【授業科目の内容】

改札をぬけると、そこには眩いばかりのイチョウ並木が広がる。小わきに分厚い履修案内を抱えていても、その新緑の美しさに心を奪われていないだろうか。やがて秋の訪れとともに、黄色く色づき風に舞うイチョウの葉。

さて、“なぜ”イチョウの葉は黄色く色づき、風に舞うのだろうか。これは一例であるが、自然現象に接して“なぜ”と考えた時、諸君はその答えを見つけることができるだろうか。講義では、氷はなぜ水に浮くのか、リンゴはなぜ赤いのか、などの不思議をひも解き、また後半の授業では、諸君が自然に接して“なぜ”と感じたことを自ら調べ発表してもらう。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

自然科学研究会

「ヒトと生物環境との共存を考える」

2単位 秋学期

【法政】

秋山 豊子

【授業科目の内容】

少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定し、発表・討議など進行も行います。自分で学習して積極的・主体的に学びたいという学生諸君に履修を勧めます。

現在社会は、ようやく経済的に明るさが見えてきたものの、大量消費とその後の経済的な低迷期の結果、私たちの生活環境にはさまざまな問題が生じています。他方、

良い意味では、持続できる地球を目指して大量消費していた多くの製品でリサイクルをし、無駄を省いてシンプルな生活へと向かっているように思われます。スロライフの勧めや自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象の中にあるように思われます。環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染、野生動物の保護、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題など、現代人の関心事となっています。ヒトと多様な生物との共存の道を考察するという視点から、これらの現代社会における自然科学を背景とした問題を考えてゆきます。自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題を考える第一歩となれば良いと考えています。今年、校外活動、資料収集、観察、臨海実習などキャンパス外での活動も考えています。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

「生きているってどういうこと」種田保穂・秋山豊子 培風館（2006年刊行）

自然科学研究会

「バイオテクノロジーが引き起こす諸問題を考える」

2単位 秋学期

【法政】

小野 裕剛

【授業科目の内容】

バイオテクノロジーに関連するトピックスの中から、受講者自らが問題点を見だし、グループディスカッション、情報収集とプレゼンテーションを実践します。取り扱う課題例として「生殖医療（クローン人間、遺伝子による選別）」、「ゲノム創薬と遺伝子診断」、「組換え体作物と食の安全、農業政策」、「新規感染症対策（エイズ・BSE・SARS・トリインフルエンザ等）」、「種の保存（外来移入種に対する・組換え体作物に対する・生殖工学を利用した）」をあげておきます。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

履修者と相談の上、紹介します。

自然科学研究会

「植物と環境」

2単位 秋学期

【法政】

金谷 信宏

【授業科目の内容】

動物と植物の大きな違いは、動物は動けるけど植物は動けないことです。環境が悪くなったら動物はその場所から逃げることができますが、植物は動けないので体内の環境を変えることにより、その環境悪化に対応しようとします。また、植物は光合成により大気中の炭酸ガスを有機物に変えます。これにより植物は地球温暖化を引き起こす炭酸ガスを減らすだけでなく、他の生物に食糧

を供給しているのです。このことから植物は環境中で重要な役割を担っているといえます。この研究会では、このような植物と環境の関わりについて、各自がテーマを見つけ、自分で調べて他の履修者の前で発表します。その発表に対して全員で討論することにより、環境中での植物の重要性をより理解できるものと期待されます。

自然科学研究会

「自然科学で考える」

2単位 秋学期

【法政】

志村 正

【授業科目の内容】

情報があふれ、それに振り回されている感のある現代社会。その中に身をおいているとどんなことでも知っているかのような錯覚に陥ります。分かっているようで実は何も分かっていない。例えば、環境破壊が一向に収束する気配がないのも、その仕組みが周知されていないからなのです。それこそが最大の環境問題なのではないでしょうか。

この授業は、履修者ひとりひとりがテーマを持ち寄って研究発表し、全員で議論して、知識を深めることを目的としています。併せて、自然科学的な考察を行うことにより、その発想と思考を身につけていただきます。

人文科学特論

「マニエリスム・バロック入門 マニエリスム・バロックとは何であり、何であったか? (総論・井田) および各国のマニエリスム・バロック美術・音楽(および哲学)の鑑賞(講読)と検証(分析)(各論・受講者)」

2単位 春学期

【法政医】

井田 三夫

【授業科目の内容】

いわゆる「マニエリスム/バロック現象」は、16世紀後半から18世紀前半にかけて美術、音楽、文学などの多くの領域に共通して現れた歴史的現象であり、この意味では特定の時代に限定された様式概念である。他方、これを古典主義(ルネサンス様式)と対立する歴史的な単なる様式概念と見ず、ヨーロッパ全歴史(精神史)にあってと古典主義と交互的に、これと対立して現れるあらゆる反古典主義的(反自然主義的)傾向を指す普遍的な様式概念として、それも単に美術のジャンルのみでなく、音楽、文学、思想といった精神生活のあらゆる領域をも規定する一つの時代思潮として包括的に捉える考え方も提出されてきた。バロックやマニエリスムをこのように広義・包括的に考える見方は、前者にあっては例えばベネデット・クローチェやエウヘーニオ・ドールスがあり、後者では例えばE・R・クルティウスやアーノルド・ハウザーあるいはG・R・ホッケといったドイツ系の学者がいる。またこうした広義の見方を支持する立場から、「20世紀芸術・文学におけるバロック/マニエリスム(性)」とか「マラルメ(あるいはカフカ)におけるマニエリスム」といった問題提起も行われてきた。そこでこの授業では、前半ではまず総論として、私が「マニ

エリスム/バロック」とは何か、といった本質論をはじめ、両者の関係あるいはルネサンス(古典主義)様式(精神)との関係、さらにはその相違点と共通点などについて検討してみたい。またマニエリスム/バロック現象を16-18世紀の歴史事象と見た場合、これを現出させ成立させた真の要因ないし経済的・社会的あるいは精神的背景は何であったかといった問題についても検討してみたい。後半では、受講生各自が1人または2~3名のグループとなって予め発表期日を決め、各国における(広義の)マニエリスム・バロック美術あるいは音楽さらには哲学・思想の傾向を持っていると思われる芸術家・音楽家あるいは哲学者・思想家を選び、その時代背景やマニエリスム・バロックの特徴を、美術の場合は画像や写真を、音楽の場合はCD・MDなども使って、発表してもらい、その後で質疑応答を行い、最後に私が講評、さらに掘り下げるべき点や再考すべき点あるいは修正・補足すべき点などを指摘するといった授業の仕方を考えています。各自が研究・発表したものを、質疑応答や私のコメントを踏まえて、試験に代わるレポートとして各自で仕上げ、期末に提出すること。

【参考書】

- ・アーノルド・ハウザー『マニエリスム ルネサンスの危機と近代芸術の始源』(岩崎美術社)
 - ・グスタフ・ルネ・ホッケ『迷宮としての世界 マニエリスム芸術』(美術出版社)
 - ・下谷和幸『マニエリスム芸術の世界』(講談社)
 - ・「バロック・コレクション」(第1巻:バロックの愉しみ、第2巻:バロック的理性と女性原理、第3巻:天使の饗宴、第4巻:歪んだ真珠)(筑摩書房)
 - ・エウヘーニオ・ドールス『バロック論』(美術出版社)
 - ・若桑みどり『マニエリスム芸術論』(岩崎美術社)
 - ・イヴ・ボヌフォア『バロックの幻惑』(国書刊行会)
- マニエリスム・バロック関連文献はこれ以外にも、日本語で読めるものだけでも多数あるので欧文文献も含め、授業中に紹介します。

人文科学特論

「モーツァルトのオペラとその演出」

2単位 春学期

【法政医】

岩下 真好

【授業科目の内容】

モーツァルトのオペラ《後宮からの誘拐》と《フィガロの結婚》を取り上げ、それぞれ、どんな作品なのかを概観したうえで、従来の演出による上演の映像、続いて最新の演出による上演の映像を鑑賞して、演出によって作品がどう変わってしまうかを詳細に吟味する。これをとおして、オペラが娯楽イベントであることを脱して《芸術》となりうるための可能性と条件を考えてみたいと思う。つまり最終的には《芸術》とはなにかを考えてみようということだ。《芸術》というものは本物になればなるほど、一般に考えられているよりも、はるかに危険で、人々を「家出」へと誘惑する。どこから、どこへの「家出」なのか?

授業では、さらに、モーツァルトの他のオペラや他の作曲家のオペラを取り上げることもあるし、授業担当者の最新の研究と著作および音楽批評家としての仕事のなかから、テーマに関連したホットな話題をいろいろと提供してゆくつもりだ。機会に恵まれれば、授業の一環として、実際のオペラ公演（学生券利用）やりハーサル見学に行くこともありうる。また、演出の意味することや演出家の意図を理解してもらうために、かなりいろいろな本を読んでもらうことになるだろう。

【教科書】

なし。

【参考書】

必要に応じて、その都度指示する。授業担当者のオペラとその演出についての基本的見解をあらかじめ大筋で知りたい人は次の雑誌掲載論文を参照してほしい：岩下眞好「戦争と現代のオペラ演出」（季刊『前夜』2005年秋号）、同『250年目のモーツァルト体験』（『グランド・オペラ』36号、2006年）。モーツァルトのオペラを概観するには、『グランド・オペラ』第32号（2004年）が、モーツァルトのオペラ全体を豊富な写真を含めて取り扱った入門的かつマニアックな大特集なので便利だ。

人文科学特論

「日本の開国と世界 「近代」の黎明」 2単位 春学期

【法政医】

太田 昭子

【授業科目の内容】

春学期は、幕末維新期の日本の対外関係史を、主として日本人の対外論、開国日本を訪れた外国人の記録などを読み解きながら考察します。国家レベルの外交関係の背景にある、社会的・文化的な交流史の視点を重視し、異文化接触のあり方を、できるだけ原典を読みながらたどります。対外論・対外意識の変容を探る素材として、いわゆる外交政策論だけでなく、瓦版や錦絵、美術・工芸、博覧会、ファッションなどにも着目し、幅広くこの時代を検証したいと考えています。文庫版などで比較的簡単に入手できる文献を読み、当時の人々の視点や視座の特徴を探りたいと思います。時間に余裕があれば、横浜開港資料館や日本新聞博物館の見学なども行ないたいと考えています。

【教科書】

特にありませんが、田中彰編『開国』（『日本近代思想大系』第1巻、岩波書店、1991）は役に立つと思います。

【参考書】

文献表を、ガイダンス・ウィーク翌週の初回授業に配布します。

人文科学特論

「怪しくて危険な文学」 2単位 春学期

【法政医】

許 光俊

【授業科目の内容】

隠微で、暗くて、危なくて、じとじとしていて、エロティックで、微妙で、謎めいていて、反道徳的で、滑稽

な文学を読む。本当は文学はみな怪しく危険である。人間というものがそもそも怪しく危険である以上、それが当然なのである。しかし、日本の国語教育は事実上道徳教育であるがゆえに、そうした面は隠蔽されている。だから国語という科目がつまらないのだ。森鷗外、川端康成、三島由紀夫などなど、本当は教科書には載せられないような作品をいっぱい書いた。この授業では、20人ほどの少人数で、こうした作品をねっとりじくじくと楽しみたい。18歳未満禁止。良家の子女は親に黙って来ること。

【教科書】

拙著『世界最高の日本文学』（光文社新書）

人文科学特論

「アメリカの文学史拾い読み」 2単位 春学期

【法政医】

久我 俊二

【授業科目の内容】

昨年度は、19世紀末から20世紀末までの文学傾向を考察した。背後にある社会的事象にも注目し、受講者に作家や社会的事件などについて発表を行ってもらいながら、時代と文学への知識を深めた。同時に代表的作品のDVDを鑑賞した。特に文学に興味はなくても、少しは知識を持っておきたいと思う学生、しかし熱意はある学生の受講を歓迎する。

【教科書】

授業の最初に指示する。

【参考書】

特になし。ネットの活用などを薦める。

人文科学特論

「ことばの認知科学への招待（基礎編）」

2単位 春学期

【法政医】

辻 幸夫

【授業科目の内容】

人間のことばと意味に関する諸問題について認知科学的観点から広く考察します。具体的には、言語学、心理学、人類学、哲学、脳神経科学、行動科学、生物学、社会科学、情報工学などの言語研究分野の鳥瞰図と共に、特に人間が営む意味の生成と復元に関する認知プロセスとの関係を考察します。

【教科書】

山鳥重、辻幸夫著、『心とことばの脳科学』大修館書店、2006年

【参考書】

辻幸夫編、『ことばの認知科学事典』大修館、2001年
 辻幸夫編、『認知言語学キーワード事典』研究社、2002年
 辻幸夫編、『認知言語学への招待』大修館、2003年

人文科学特論

「マニエリスム・バロック入門 各国文学におけるマニエリスムバロック的作品の発見・鑑賞と検証（受講者）およびフランスマニエリスム・バロック詩の観賞と分析（井田）」 2単位 秋学期
【法政医】 井田 三夫

【授業科目の内容】

秋学期は、各論で初講日から二回目の間に出席者のほぼ全員が1人でまたは2~3人でグループとなって行う発表の期日を予め決定します。その上で例えばモンテーニュ、コルネイユ、パスカルといったフランスの作家・思想家やミルトン、シェイクスピア、ジョン・ダンといったイギリス作家、セルヴァンテス、ゴンゴラと言ったスペイン作家、さらに清少納言、上田秋成、三島由紀夫、泉鏡花といった我が国の作家など、受講者各自が（広義の）マニエリスム的／バロック的と考える作家・詩人を各自の発表日までに自ら「発見」し、その生涯・作品を調べ、その表現（文体）および思想（精神）におけるマニエリスムないしバロック的傾向（特質）を抽出、発表してもらい、それについて皆で質疑・応答し、最後に私が講評、さらに掘り下げるべき点や再考すべき点あるいは修正・補足すべき点などを指摘するといった授業の仕方を考えています。初回と第2、3回の授業では、春学期を履修しなかった受講生のために、マニエリスム・バロックについての総論・概説を話し、以後は各時間（発表者が多い場合は隔週）の三分の一程度を使って私が翻訳のほとんどないフランスマニエリスム・バロック詩の実例を上げながら、鑑賞、分析するといった授業を考えています。

【参考書】

- ・アーノルド・ハウザー『マニエリスムルネサンスの危機と近代芸術の始源一』（岩崎美術社）
- ・グスタフ・ルネ・ホッケ『迷宮としての世界—マニエリスム芸術』（美術出版社）
- ・グスタフ・ルネ・ホッケ『文学におけるマニエリスム』（現代思潮社）
- ・藤井康生『フランス・バロック演劇研究』（平凡社）
- ・倉田信子『フランス・バロック小説の世界』（平凡社）
- ・ジャン・ルーセ『フランスバロック期の文学』（筑摩書房）
- ・高山宏『綺想の饗宴』（青土社）

マニエリスム・バロック関連文献はこれ以外にも、日本語で読めるものだけでも多数あるので、欧文文献も含め、授業中に紹介します。

人文科学特論

「モーツァルトのオペラとその演出」 2単位 秋学期
【法政医】 岩下 真好

【授業科目の内容】

モーツァルトのオペラ《後宮からの誘拐》と《フィガロの結婚》を取り上げ、それぞれ、どんな作品なのか

を概観したうえで、従来の演出による上演の映像、続いて最新の演出による上演の映像を鑑賞して、演出によって作品がどう変わってしまうかを詳細に吟味する。これをとおして、オペラが娯楽イベントであることを脱して《芸術》となりうるための可能性と条件を考えてみたいと思う。つまり最終的には《芸術》とはなにかを考えてみようということだ。《芸術》というものは本物になればなるほど、一般に考えられているよりも、はるかに危険で、人々を「家出」へと誘惑する。どこから、どこへの「家出」なのか？

授業では、さらに、モーツァルトの他のオペラや他の作曲家のオペラを取り上げることもあるし、授業担当者の最新の研究と著作および音楽批評家としての仕事の中から、テーマに関連したホットな話題をいろいろと提供してゆくつもりだ。機会に恵まれれば、授業の一環として、実際のオペラ公演（学生券利用）やりハーサル見学に行くこともありうる。また、演出の意味することや演出家の意図を理解してもらうために、かなりいろいろな本を読んでもらうことになるだろう。

【教科書】

なし。

【参考書】

必要に応じて、その都度指示する。授業担当者のオペラとその演出についての基本的見解をあらかじめ大筋で知りたい人は次の雑誌掲載論文を参照してほしい：岩下真好「戦争と現代のオペラ演出」（季刊『前夜』2005年秋号）、同『250年目のモーツァルト体験』（『グランド・オペラ』36号、2006年）。モーツァルトのオペラを概観するには、『グランド・オペラ』第32号（2004年）が、モーツァルトのオペラ全体を豊富な写真を含めて取り扱った入門的かつマニアックな大特集なので便利だ。

人文科学特論

「近代日本人の対外認識／自己認識 明治中期以降の対外思想」 2単位 秋学期
【法政医】 太田 昭子

【授業科目の内容】

秋学期は、明治中期以降の日本人の対外論、海外からのまなざしの双方に目配りしつつ、近代日本の対外観における連続性と非連続性、ナショナリズムのあり方を検討し、近代日本人の対外認識／自己認識などを分析したいと考えています。基本的なスタンスの取り方は春学期と同じです。時間に余裕があれば、横浜開港資料館や日本新聞博物館の見学なども行なう予定です。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

文献表を、秋学期初回の授業で配布します。

人文科学特論

「妖美な映画」

2単位 秋学期

【法政医】

許 光俊

【授業科目の内容】

妖美な映画（もっぱら日本映画）のじっとりとした鑑賞とねっとりとした研究。18歳未満禁止。良家の子女は親に黙って来ること。時々アダルトビデオやポルノ映画の鑑賞を行う授業だと勘違いしている者がいるが、そういったものは自分で楽しむように。

人文科学特論

「アメリカの文学史拾い読み」

2単位 秋学期

【法政医】

久我 俊二

【授業科目の内容】

昨年度は、19世紀末から20世紀末までの文学傾向を考察した。背後にある社会的事象にも注目し、受講者に作家や社会的事件などについて発表を行ってもらいながら、時代と文学への知識を深めた。同時に代表的作品のDVDを鑑賞した。特に文学に興味はなくても、少しは知識を持っておきたいと思う学生、しかし熱意はある学生の受講を歓迎する。

【教科書】

授業の最初に指示する。

【参考書】

特になし。ネットの活用などを薦める。

人文科学特論

「ことばの認知科学の展開」

2単位 秋学期

【法政医】

辻 幸夫

【授業科目の内容】

同じ担当者の人文科学特論（春学期）で勉強したことを土台に、さらに人間のことばと意味に関する諸問題について認知科学的観点から敷衍して考察を深めます。

【教科書】

前期の人文科学特論の最終日および、後期同特論の最初の授業時もしくは掲示にて詳細をお知らせします。

【参考書】

前期の人文特論（春）に同じ。

自然科学総合講座

「右と左のサイエンス」

2単位 秋学期

【法政】

志村 正・下村 裕・金谷 信宏

【授業科目の内容】

この講座は自然科学における物理学・化学・生物学・心理学・数学などといった従来の壁を取り払い、特定のテーマについて異なる専門分野の複数の担当者が、さまざまな角度からアプローチを試みる総合的・学際的内容となっている。このような手法により新鮮で多様な側面

が現れ、多くの知識が得られるばかりでなく、自然科学的なものの考え方・解析の仕方が理解されるであろう。これからの法学部の学生諸君には、法律学・政治学を中心とした専門知識ばかりでなく、他分野の教養を広く会得することも社会的に求められており、この講座の履修が将来の可能性を広げることに繋がっていくものと考えられる。

本年度は、サブタイトルを“右と左のサイエンス”として、物理学・化学・生物学の担当者がそれぞれの視点から講義を展開する。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】 総合教育セミナー履修案内

総合教育セミナーのすめ

大学における教育は多くの場合、講義という形態をとります。先人から受け継いだ知識を正確に教師から学生に伝達することが大きな目標のひとつですが、これを達成する効率的な方法として講義は優れています。しかし、講義の弱点は、学生が積極的に考え始め、教師と議論をしたり、さらに学生同士が意見の交換をしたくなった時にはあまり小回りがきかないことです。また、積極的な議論を誘発する雰囲気にならなくなる傾向があることもあげられます。

この弱点を補うために、商学部では総合教育セミナーと呼ばれる授業形態を提供しています。教師と学生、あるいは学生同士との交流が授業時間内に活発に行われるようにとの配慮で、少人数のクラスとなっています。商学部の学生の資質として、自分の考えを論理的にまとめることができ、その考えを的確な日本語あるいは外国語のことばや文章で表現でき、さらに他人のことばや文章の意味を正確に理解でき、その上で有益な議論を展開できる能力が求められています。この能力を養うことが総合教育セミナーの主な目的なのです。

総合教育セミナーとして開講されるトピックスには様々なものがあります。積極的に参加してください。君達の興味に最も合うものを選べばよいと思います。総合教育セミナーに参加し、教師や学友と親しく接することにより、大人として生きるかぎり陰に陽に問われる君たちの人生観や価値観を形成するきっかけも得られるかもしれません。

総合教育セミナーの履修上の注意

この科目は、選択必修科目ではありません。

また**仮登録が必要な科目でもありません。**(エントリーシート提出不要)

以下の講義要綱は、「外国語科目・総合教育セミナー履修案内(2007年)」に記載されている内容と同一です。

少人数のゼミという形態の授業ですので、担当者によって、履修人数の制限がされることがあります。

履修希望者は、必ずオリエンテーション期間中にある初回の授業に出席してください。出席できない場合は、履修できないこともあります。

総合教育セミナーD(類)

「天体観測と天文学」 4単位 通年
【商】 表 實

【授業科目の内容】

夜空を眺めれば無数の星が光り輝いています。これらの星の正体は……。宇宙には数々の謎があります。本セミナーでは、インターネット望遠鏡を利用して実際に天体の観測をし、取得したデータに基づいて天文学につ

いて考えてみます。なおインターネット望遠鏡とは、東京都府中市と慶應義塾NY学院に設置した望遠鏡を、大学や自宅からインターネット経由でアクセスして操作できる装置を意味します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。

総合教育セミナーD(類)

「応用論理学としての社会選択理論」 4単位 通年
【商】 白旗 優

【授業科目の内容】

社会選択理論は、望ましい社会のあり方を、個々人の意見の集約として民主的に決定することは不可能である、というアローの定理に発する学問分野で、ケネス・アロー(1972年ノーベル経済学賞)、アマルティア・セン(1998年ノーベル経済学賞)らによって発展させられてきました。

アローの定理は、ある一定の条件を満たす関係についての一般的な定理で、数理論理学の手法を使って厳密に証明できます。この授業では、社会選択理論を数理論理学の応用と位置づけ、アローの定理や社会選択理論での他の定理の証明を、数理論理学の枠組みの中できちんと記述できるようになることをめざします。

数理論理学については、予備知識を前提としないで、登場してくる事例に即して学んでいきます。補助教材として、ソフトウェアを使用することもあります。

【教科書】

ガイダンス時に、社会選択理論に関する日本語の入門書を一冊指定します。

【参考書】

『論理学の基礎と演習』(ジョン・パーワイズ、ジョン・エチメンディ著、大沢、白旗、中川、中戸川、橋本訳、慶應義塾大学出版会)を参考書とします。

総合教育セミナーD(類)

「生命科学と社会の接点を考える」 4単位 通年
【商】 長谷川 由利子

【授業科目の内容】

遺伝子診断、遺伝子組み換え農産物、臓器移植、エイズ、狂牛病、生殖工学、新型インフルエンザなどの例をあげるまでもなく、数多くの生命科学に関連する話題が、現代社会に対して倫理的・社会的・経済的な問題を投げかけています。このセミナーの目標の一つは、このような話題を取り上げて、どのような問題が生じているのかを調査し、解決策を模索することです。もう一つの目標は、資料収集の仕方、発表や討論の仕方、レポートのまとめ方などを身につけることです。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。

【参考書】

新聞・雑誌・学術書・インターネットなどから最新の資料を収集することもセミナーの大事な一部なので、調査に必要な資料は自分で探すことを原則としますが、相談には応じます。また、こちらから紹介する場合もあります。

総合教育セミナーD (類)

「バイオテクノロジー・バイオビジネスを探る」

4単位 通年

福澤 利彦

【商】

【授業科目の内容】

今やバイオの時代である。バイオテクノロジーは飛躍的に発展し、それに伴ってさまざまなバイオビジネスが出現している。このセミナーでは、バイオ関連の話題の中から、各自興味のあるテーマを決めて文献調査・考察を行い、その結果をパワーポイントによって発表してもらおう。さらに、質疑応答・ディスカッションを通して、議論を深める。各自プレゼンテーションした内容は、レポートにもまとめてもらう。このセミナーの目的は、問題発見・解決能力や、社会に出てから必要とされる情報発信・コミュニケーション能力を鍛錬することである。バイオテクノロジーとバイオビジネスの現場を知ってもらうために、バイオ企業の研究所見学も予定している。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じて資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

総合教育セミナーD (類)

「生活の中の確率」

4単位 通年

安田 公美

【商】

【授業科目の内容】

私たちの社会活動や自然現象の中に現れる確率的現象にはどのようなものがあるでしょうか。ゲーム、くじやギャンブル、株価の変動や品質管理、或いは天候、遺伝学など、身近に起こり得る問題を題材にしなが、その中の数学的法則を見つけてみましょう。前半ではパズルのような問題を扱いながら、少しずつ複雑な問題にもチャレンジできるよう進んでいきます。後半には確率・統計に関連した自由課題について調査・研究をします。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD (類)

「数学と文化と社会」

4単位 通年

渡部 睦夫

【商】

【授業科目の内容】

数理的な考え方の諸科学の浸透は目覚ましいものがある

ります。近い将来、数学的素養は重要な要件の一つになるかもしれません。数理科学のエンジンとなっている数学を生み出すものは何なのでしょう。未知なるものへの好奇心もあるでしょうし、数学それ自身の内発的な力もあるでしょう。さらには、外界である他の諸科学・文化・社会に触発されて、新しい考え方を発見したり新しい視点に出会ったりすることもあるでしょう。

このセミナーでは、メソポタミアから現代にいたる歴史の流れの中において、特に、18世紀、19世紀に限定して数学・文化・社会の相互作用を概観し、「“無知”との戦いがいかになされてきたか」を問い、数学を中心に考察してみることを目的とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

テーマごとにその都度、授業のときに説明する。

総合教育セミナーD (類)

「イギリス文化研究」

4単位 通年

【商】

浅川 順子

【授業科目の内容】

イギリス文化について理解を深めること、研究・発表の方法を身につけることがこの授業のねらいです。演劇、音楽、美術、文学、スポーツなど各分野について世界に発信されるイギリス文化の魅力を探り、それを生み出した社会や歴史について考察します。最近では、『ハリー・ポッター』が話題になりましたが、その作品世界がもつ魅力の背景にはイギリス・ヨーロッパ文化の長い歴史があります。魔術、錬金術、占星学、占いはアラブ世界から中世ヨーロッパにもたらされた学問です。どのような学問だったのか、それらはどのように近代科学へと移行していったのか、などと興味を持ったら科学史の研究につながるでしょう。イギリスはまた演劇の盛んなことで知られています。イギリスにおける演劇はどのように始まり、発展してきたのでしょうか。これらは一例ですが、授業ではイギリス文化を概観し、履修者各自の興味関心に応じた問題設定の可能性を探ることから出発します。その後、テーマを絞って発表・討論し、小論文にまとめていきます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業時に紹介します。

総合教育セミナーD (類)

「アメリカ研究」 <文学>を通してみる多民族国家の歴史と文化」

4単位 通年

【商】

朝比奈 緑

【授業科目の内容】

多様な民族の移民の歴史をふりかえり、その固有の文化が、どのようにアメリカ合衆国の<文学>のなかで、表現されてきたのかを検証する。<文学>と美術・音

楽・映像等との関連性も考察する。

【教科書】

授業にて指定する。

【参考書】

授業にて指定する。

総合教育セミナーD (類)

「原書講読セミナー(ドイツ語): ゲーテの悲劇『ファウスト 第一部』 作品分析と解釈」 4単位 通年

【商】 石原 あえか

【授業科目の内容】

ドイツ語中級レベル以上の原書講読セミナーです。テキストとするレクナム文庫の*Lektüreschlüssel*は、ドイツにおける大学入学資格試験(Abitur)準備用の作品ガイドとして使用されています。このテキストを使って、文豪ゲーテの代表作のひとつ・悲劇『ファウスト』第一部を読み込みます。文学作品をただ漫然と読むのではなく、大学で研究対象とする場合の分析・解釈の方法を徹底的に学ぶことがねらいです。

【教科書】

- 1) *Lektüreschlüssel. Johann Wolfgang Goethe: Faust I.* Reclam Universal - Bibliothek Nr.15301
- 2) ゲーテ: 『ファウスト 第一部』(* 必要に応じて授業中に参照するため、文庫版が便利。特に翻訳者は限定しないが、必ず一冊入手し、授業開始までに一読しておくこと)。

【参考書】

柴田翔: 『ファウスト 第一部を読む』白水社 本体価格2400円 その他、必要に応じて紹介します。

総合教育セミナーD (類)

「文化学を学ぶ」 4単位 通年

【商】 石光 輝子

【授業科目の内容】

「文化学」というのは文字通り文化を扱う学問ですが、人文科学において旧来の分野分け(たとえば哲学、歴史、文学など)に対抗する新しいパースペクティブの提示を試み、伝統的メソッドでは拾いきれない文化現象や文化行動を分析する新しいメソッドを探る、分野横断的な知のありかたです。いわゆるカルチュラル・スタディーズというのは主に英米で確立されてきた手法ですが、ここではカルチュラル・スタディーズも文化学の内に含めて考えます。文化学は非常に間口が広く、文化人類学からジェンダー論、メディア論なども含み、その対象は文化に関するものなら何でも成りうるわけですが、映画、写真、電話、コンピューター、サブカルチャー、神話、都市などあらゆる時代・地域にわたる文化現象です。新しいアプローチの仕方というものは常に足元をすくわれる危険性ははらんでいますが、このセミナーでは、文化学の基礎的文献を愚直に読んでゆき、文化学の手法の基礎を学ぶことを目指します。

同時に、文献の調べ方、論文の書き方、口頭発表の仕

方など、大学での勉強で知っておかなければならない基礎的スキルを学ぶこともセミナーの目標です。

【教科書】

プリントを使用

【参考書】

授業内でそのつど指示

総合教育セミナーD (類)

「国際関係論・入門」 4単位 通年

【商】 宇津木 愛子

【授業科目の内容】

ビジネスにおけるグローバル化が進む中、もう一度健全な国際関係の原点のようなものを考える時が来ていると思います。担当教員はイギリスと日本の関係に焦点を置き、学生の皆様はそれぞれに関心のある国に焦点を当て、共通項を模索するなどしながら一緒に語り合ってみましょう。

【教科書】

書籍、及び新聞記事からのコピーを配布いたします。

【参考書】

- 『グローバルシステムの社会学』L.スクレアー著、野沢慎司訳、玉川大学出版、1995。
『グローバル化の行方』山脇直司他著、新世社、2004。

総合教育セミナーD (類)

ドイツ語圏の世紀末
「ウィーンとプラハを中心として」 4単位 通年

【商】 大畑 純一

【授業科目の内容】

19世紀から20世紀への世紀転換期のドイツ語圏、いわゆるハプスブルク帝国末期、第一次大戦にいたる時代を扱います。21世紀の今日なおアクチュアルな問題でありつづける、ヨーロッパ統合、民族問題、ユダヤ人問題、宗教紛争、そしてその中に開花した文学・芸術。ほぼ100年前のこの時代がいまだにわれわれにとって様々な意味で意味を持ち続けていることを、種々の文献を読みながら考えてみたいと思います。流れとしては時代の社会・政治状況から文学を中心とする芸術の領域へと話を進めていくつもりですが、カフカの文学が一つの中心となるでしょう。カフカの作品が「文学」に対して持つ決定的な重要性という問題にもできれば触れたいと思います。

【教科書】

特になし。

【参考書】

随時紹介します。

総合教育セミナーD (類)

「ハリウッドのシェイクスピア: 戯曲と映像表現」 4単位 通年

【商】 大矢 玲子

【授業科目の内容】

「ハリウッド最高の売れっ子シナリオライターはシェイクスピアだ」という説があります。確かに400年近く前にイギリスの田舎で生涯を終えたこの劇作家の作品は、サイレント時代にすでに600回以上映画化され、その後も、世界の著名な映画監督や人気俳優によってシェイクスピアの映像化されてきたことは、黒澤明の『乱』・『蜘蛛巣城』、アカデミー賞受賞の『恋に落ちたシェイクスピア』、ディカプリオ主演の『ロミオ&ジュリエット』などにも明らかです。この授業では、ハリウッド映画を中心に、映像化されたシェイクスピア作品をとりあげ、原作との比較や、映画がつけられた時代背景の分析などをとおして、劇の不変の生命力と、無限ともいえる変化の可能性をさぐることを目的とします。シェイクスピアを手がかりに、受講者たちが総合芸術である映画の魅力にふれる機会となることをねがっています。またアメリカ型資本主義社会のなかの芸術のありかたを考える、よい手がかりにもなるでしょう。

【教科書】

シェイクスピアの作品（特にエディションは指定しません。原典を読むことは求めません。入手しやすいのは、白水Uブックスから出版されている、小田島雄志訳のシェイクスピア全集など。）

【参考書】

ラッセル・ジャクソン編；井上優[ほか]訳 『シェイクスピア映画論』（東京：開文社出版、2004）

総合教育セミナー（類）

「社会行政と社会事業 公私協働の歩み」 4単位 秋集中
【商】 小野 修三

【授業科目の内容】

私自身がこれまで翻刻してきた石井十次の岡山孤児院の大阪事業・東京事業に関する日誌（明治40年代末から大正初年）また同じく私の翻刻した明治・大正期の監獄行政官僚小河滋次郎の草稿（明治40年頃執筆）などを読み、大阪の地における社会事業の展開が大阪府行政当局から援助される様子、また当時の人々の生活状態（貧困）を把握したいと思う。福祉は国家の財政状況によって左右される側面があり、日露戦後の財政状況をも見ておく必要がある。

大学で歴史を勉強したいと思っている学生の参加を期待する。第一次資料を扱う経験を積むことができるはずである。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

総合教育セミナーD（類）

「日本に於ける中国文化」 4単位 通年
【商】 許 曼 麗

【授業科目の内容】

中国古来の文物が、日本の文化・風習に対して、多大

の影響を与えたことは周知のことである。何気なく過ごしている毎日の中に、実にたくさんの中国文化と出会うことができる。このセミナーは、日本の様々な分野において、中国文化の伝来と変遷のプロセスを探り、相互影響についても視野に入れて、考察していきたい。そして、この考察のプロセスを通して、中国が身近な存在であることを改めて実感してもらいたい。

【教科書】

ガイダンスに指示する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD（類）

「音楽を鍵にしてフランスを解く」 4単位 通年
【商】 コミネティ、フィリップ

【授業科目の内容】

文化の総合紹介というものはイメージから始まり、イメージに終わりがちです。このセミナーではフランスで生まれた音楽、作曲家の書簡、音楽理論、文学作品などを幅広くとりいれ、厳密な歴史的理解を志し、それから異なる物の比較の仕方を磨くことにします。このように音楽の様々な側面を考察することで、フランス文化の様々な側面も見えてくる筈です。

【教科書】

なし

【参考書】

プリント/第一回到文献リストを配布します。

総合教育セミナーD（類）

「恋愛論から社会を読む」 4単位 通年
【商】 識名 章喜

【授業科目の内容】

「冬ソナ」だとか「セカ中」、「電車男」だの、社会全体が純愛に浮かれている一方で、「モテ」を究極の理想的生き方として、マーケティング戦略に組み入れる「恋愛資本主義」の風潮に、どこか釈然としないものを感じている、そこのあなた。このセミナーでは、「恋愛」というきわめて個人的な妄想が、社会を通して、どのように一般化され、共同幻想を生み出していくのか、その仕組み理解するうえでの論点を、「恋愛論」と呼ばれる、ちょっと気恥ずかしくなるようなジャンルの本を大量に読みながら、整理してゆくことを目標にします。従って、あらかじめ釘をさしておきますが、このセミナーに参加したからといって、モテようになるわけでもないし、また、みんなが勝手に自分の恋愛観や体験をしゃべりあう場でもありません。最近そこらへんを誤解した学生が多くなったので、一言書いておきます。参加者には「恋愛論」本を購入する本代をケチらず、一週一冊のペースで本を読み、レポートを書き続けることを求めます。

夏休みをはさんで、秋学期からは、各自があたためたテーマに沿って、発表を行ないます。一人最低20分はしゃべり続けてほしい。その後各自討論や質疑応答にうつ

ります。

【教科書】

授業初回到文献リストを配布します。以下春学期に読む本をシラバスとして列挙しておきます

【参考書】

小谷野 敦（編）『恋愛論アンソロジー ソクラテスから井上章一まで』（中公文庫）

総合教育セミナーD（ 類）

「日仏比較文化入門」

4単位 通年

【商】

神保 剛

【授業科目の内容】

多様なフランス社会と文化について理解を深め、さらに日仏比較文化の視点から、フランス的な物の見方について考察していくことがこのセミナーの目的です。

フランスに関するいくつかの基礎的文献を講読した後、各自が関心のあるテーマについて調査・発表を行い、それに基づき全員で討論し、レポートにまとめていきます。そしてこの一連の作業を通して、フランスの社会と文化に関する様々な知識を得るとともに、日本文化との比較において、「フランス的であるとはなにか？」ということのを皆で考えていく場にしたいと思います。

受講生諸君がフランスに対して抱いている漠然たるイメージに、多少とも修正が加えられれば幸いです。

【教科書】

特になし。

【参考書】

必要に応じて随時紹介します。

総合教育セミナーD（ 類）

「コレクティング行動・コレクション・文化」

4単位 通年

【商】

高山 晶

【授業科目の内容】

コレクティング行動、コレクション、文化（文化資源・文化力）の3つのキーワードで人の営みを考えます。コレクティング、コレクションという言葉からすぐに連想されるのは「物」のコレクションですが、収集の対象は必ずしも「物」とは限りません。「経験」、「情報」、「技術」、「言葉」の収集もあります。コレクションは、公的なものでも私的なものでも、大きなものでも小さなものでも、多種多様な切り口で切り取られた「文化（資源）」の凝縮されたひとつの表れとも言えるでしょう。

そしてコレクティング行動は、しばしば、有形無形のコレクションを「記録化・資料化」する過程で完成します。

収集の対象が「物」のときには、「展示」で完成するパターンもあります。ここで、美術館、博物館、図書館、アーカイブズも視野に入ってきます。公的なコレクションの「展示」です。しかし、図書館を例にとると、電子図書館であれば、収集対象は「物」ではなく「情報」ですし、図書館では「展示」でコレクションが完成するわ

けではなく、時々刻々とコレクティングも行われています。あるいは、美術館と博物館はどうちがうのか、ちがわないのか？そしてアーカイブズとは？例にあげたのは、公的なコレクションですが、もちろんテレビ番組のような、個人による「物」のコレクションも、「世界のすべての国と地域を訪れる」といった「経験」のコレクションも、それらを記録化・資料化したケースも、広くセミナーの対象にしたいと思います。実際に、コレクション「展示」の場である展覧会を観て、展覧会を料理にたとえると、その「材料」（どのような文化資源が使われているか）、「料理のレシピ」（文化資源の切り取り方・組み合わせ方・味付け）、「料理の評価」（社会的影響・文化力）等をテーマに、担当者をきめて発表し、レポートを作成する課題があります。

【教科書】

プリントを配布します。

総合教育セミナーD（ 類）

「イベリアとイベロアメリカの歴史・文化」4単位 通年

【商】

瀧本 佳香子

【授業科目の内容】

スペイン・ポルトガルのイベリア両国は、8世紀初頭から7世紀以上に及ぶイスラム支配を経験した結果、他のヨーロッパ諸国と共通の基盤を持ちつつもきわめてユニークな文化を築き上げました。レコンキスタが終結した15世紀末には近代国家としての原型を整えると同時に、アメリカとアジアに進出して大航海時代の立役者となり、世界史に決定的な方向転換をもたらしました。欧米諸国主導という現代世界の勢力図のもとができたのは、この大航海時代だといえます。日本にも、コロン（コロンブス）の航海から約半世紀後にポルトガル人が到来しますが、この最初の西洋文明との接触において日本は、世界史上でもまれな2世紀に及ぶ鎖国の道を選びました。

このセミナーでは、以上のような流れを念頭に入れつつ、イベリアとイベロアメリカの文化と歴史について、各自テーマを見つけてレポート（最低400字×25枚）を書いてもらいます。

*参考までに、過去3回のこの授業で提出されたレポートのテーマを挙げておきます。

「スペインにおけるイスラム文化とヨーロッパ文化の出会い - コルドバ・メスキータを通して - 」

「イスラム教スペイン 後ウマイヤ朝その興亡」
「ブラジルのモノカルチャー経済の進展」

「スペイン無敵艦隊 - フェリーペ2世とアルマダの海戦 - 」 「アントニオ・ガウディ」

「イサベルとコロン - スペインによる新大陸発見とその背景 - 」 「フランシスコ・フランコ」

「イベリア半島での宗教の共存 - レコンキスタの時代 - 」 「日本に伝わったキリスト教」

「ブラジル音楽の歴史 - サンバを中心に - 」 「中世のトレド」 「WBCから見るキューバ」

「ジャがいも」「スペイン・サッカー」「ラテン・ポップ」「マヤ文明」

*対象とする時代に制限は設けませんが、中世～近代が望ましい。

*対象とする地域はスペイン語圏・ポルトガル語圏であれば可。ただし、ラテンアメリカに関しては、時間割が許す限り、ラテンアメリカをテーマとして開講されている他の総合教育セミナーの履修をお勧めします。

【教科書】

開講時に指示します。

【参考書】

開講時に指示します。

総合教育セミナーD(類)

「外国との交流から見た日本」

4単位 通年

【商】

種村 和史

【授業科目の内容】

日本は、古代から現代に至るまで多くの国々と関わりその文化を受容しながら、独自の文化を創り上げてきた。本セミナーでは、そのありさまを様々の側面から探り、日本について広い視野から考える能力を養うことを目的とする。

【教科書】

随時指定します。

総合教育セミナーD(類)

「中国政治と日中関係」

4単位 通年

【商】

段 瑞聡

【授業科目の内容】

本セミナーは、現代中国に関する基礎知識を身につけるための場を提供するものである。同時に日中関係をめぐる諸問題に対しても検討を加えたいと思う。

春学期は、家近亮子・唐亮・松田康博編著『5分野から読み解く現代中国』を輪読し、現代中国が抱えている諸問題を検討する。

秋学期は、家近亮子・松田康博・段瑞聡編著『日中関係』を輪読し、日中関係を取り巻く諸問題を検討する。

【教科書】

家近亮子・唐亮・松田康博編著『5分野から読み解く現代中国』、晃洋書房、2005年。3300円。

家近亮子・松田康博・段瑞聡編著『日中関係』、晃洋書房、2007年刊行予定。

【参考書】

授業中、適宜紹介する。

総合教育セミナーD(類)

「SEMINAR IN LEADERSHIP OF GLOBAL ORGANIZATIONS」

4単位 通年

【商】

トビン, ロバート

【授業科目の内容】

This course examines current issues in global business leadership. Topics will include entrepreneurship, communication, marketing, joint ventures, leadership styles, market entry, and human resource development.

The course will be conducted as a seminar with lecture-discussions, student group presentations, case studies, video segments, experiential class activities, a simulation, and research assignments.

This course is conducted entirely in English and is open to all students.

【教科書】

1. Learning To Lead, Bennis and Goldsmith
2. Good To Great By Jim Collins
3. Virtual Leader Simulation

【参考書】

I urge you to read as much as possible in English, including Fortune, Business Week, the Economist, Asian Wall Street Journal, and to watch CNN, CNBC and BBC.

総合教育セミナーD(類)

「幸福について」

4単位 通年

【商】

成田 和信

【授業科目の内容】

このセミナーでは、幸福とは何か、その人にとって良い生き方とは何か、「その人のためになる」とはどのようなことなのか、といったことを、古代ギリシャから現代までの西洋哲学の文献(抜粋)を読みながら考えます。翻訳のあるものはなるべく翻訳を使いますが、半分くらいは英語で読むことになるかもしれません。それぞれの文献ごとに担当者を決めて、そこで何が書かれているかを自分の言葉で説明してもらい、それをもとに皆で議論します。それを通して、自分なりの幸福観をまとめることができればよいと思います。それに加えて、論理的で抽象的な議論を理解し、それを他の人になるべくわかりやすく伝える力を養うことができれば幸いです。学年末には短いエッセイを提出してもらいます。

なお、このセミナーの履修を希望する者は、かならず第一回目の授業に出席してください。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

授業中に案内します。

総合教育セミナーD(類)

「イギリス研究2007」

4単位 通年

【商】

西川 正二

【授業科目の内容】

自分でイギリスに関する興味のあるテーマを見つけて、発表し、レポートにまとめることが、この授業の目的です。2007年度はイギリスの庭園に関して様々な文化

的側面を考えていきたいと思っています。自発的な学習のための授業ですので、積極的に自ら調べ、問題を考察できるように努力することが求められます。他の人の発表に対し、質問し、ディスカッションをする力をつけることも重要です。自分の考えを積極的に述べ、他人との違いを理解し多面的な思考、理解力を得る訓練が大切です。自分の頭でものを考えられる人間になることを目指しましょう。

履修するには必ず最初のガイダンスウィーク中の授業に出席すること。

【教科書】

なし

【参考書】

川崎寿彦『庭のイングランドー風景の記号学と英国近代史』名古屋大学出版会

総合教育セミナーD (類)

「現代社会を考える」

4単位 通年

【商】

西川 僚介

【授業科目の内容】

明治維新から第二次世界大戦を経て、現代日本社会の抱える政治、経済、思想、心理等の諸問題について、日本の視点のみならず国際的な視座から考えてゆくセミナーとします。受講する学生は、社会的な問題に関心を持っていることが望ましい。本セミナーにおいて受動的に知識を得るのではなく、主体的関心により積極的にテーマを選択し、思考と論理を深め発表することを目的とします。

【教科書】

ハンナ・アレント『人間の条件』福沢諭吉『文明論之概略』Erich Fromm『Escape from Freedom』

【参考書】

クラスにて、随時紹介。

総合教育セミナーD (類)

「もう一つの言語としての映画」

4単位 通年

【商】

橋本 順一

【授業科目の内容】

19世紀末に誕生した映画の歴史を、創生期のサイレント時代から20世紀を経て21世紀の現代に至るまで通史的に大急ぎで回顧しながら、表現のメディアとして「様式(スタイル)」や映画固有の「言語」を、どのようにみずから鍛え上げてきたか、また先行する芸術メディアとどう違うか、その特殊性や限界と可能性などを考察しつつ、この言語を解読する(というと大げさですが)鍛錬するのがこのセミナーです。要するに、さまざまなジャンルにわたって、無数の映像作家たちが残した作品をつぶさに見て、それらに固有の文法と、またそれらに共通する普遍的な文法規範を(再)発見しながら、同時に映画の審美眼を養うことが、このセミナーの目的です。

【教科書】

特になし。

【参考書】

ヒッチコック『映画術』ほか、適宜授業で指示。

総合教育セミナーD (類)

「English Presentation Skills (Intermediate Level)」

4単位 通年

【商】

マシュー・ハンリー

【授業科目の内容】

The main aim of this seminar is to develop your presentation skills in English. With this aim in mind, I will show you some basic model presentations at first, followed by comprehension questions, discussion, and analysis of successful and effective presentations. You will then be free to choose presentation topics that interest you, but I will have to approve them. I am particularly interested in interdisciplinary topics that connect the various subjects that you are studying at Hiyoshi with your own interests. Once you have chosen appropriate topics, you will have a chance to research them in the library and on the Internet. Your research, which I will supervise, will give you the vocabulary and expressions necessary to discuss your topics in English. It will also improve your ability to summarize and analyze written texts. Finally, you will have to present your results orally in PowerPoint presentations. Depending on the size of the seminar, your presentations may be given individually or in small groups.

Briefly, in addition to improving English presentation skills, this seminar should have the following outcomes:

Increased vocabulary and mastery of English expressions

Improved listening comprehension skills

An ability to summarize texts and arguments

Improved critical thinking skills

The ability to make connections in English among discreet academic subjects

A better knowledge of the Internet and PowerPoint

An additional benefit is that the skills you acquire should also be useful to you in Japanese (or whatever your own native language or second foreign language happens to be).

The seminar will be held in a classroom equipped with computers. Everyone will have Internet access, and much of our material will be Web based.

*Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC

account by the first day of class.

【教科書】

Internet-based materials, printed articles and books appropriate to your research topics, and occasionally part of a video-taped program. Model presentations from my files, Yale Global Online, BBC, and UC Berkeley Websites. There is no set textbook.

*Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

【参考書】

I will give you a list of recommended books early in the semester. During the course of the semester, we will develop individual reading lists tailored to each student's research interest. Since we will be using a computer-equipped classroom, we will have access to most of the best dictionaries on the Internet.

*(Again!) Be sure to have Internet access via a Hiyoshi ITC account by the first day of class.

総合教育セミナーD (類)

「旅 ドイツの旅、今と昔」 4単位 通年

【商】 フォーグル、ヴァルター

【授業科目の内容】

ドイツのガイドブックのなかでおそらく一番有名で由緒あるものと思われるベーデカーを使って、ドイツをできるだけ多くの観点から知ることを本授業の眼目とする。ベーデカーの実用的な使用を通じて、学生はドイツの歴史、地理、文化、そして政治に対する理解を得るだけでなく、さらに旅行に関連した語彙を学び、各自がドイツへの「自分の旅」を計画し、また一般的に「旅」というテーマそのものや、旅の歴史、あるいはツーリズム(観光)についても考えをめぐらすことになる。

【教科書】

Deutschland. Baedeker Allianz Reisefuehrer (Highlights in 3D), Verlag Baedeker, Ostfildern, ISBN: 3829710798

【参考書】

内容のしっかりした独和辞典。Marc Walter, Alain Rustenholz, Sabine Arque: Legendäre Reisen in Deutschland, Verlag Frederking & Thaler, ISBN: 3829711468

総合教育セミナーD (類)

「世界の言語の共通点・相違点と研究発表の方法」 4単位 通年

【商】 深澤はるか

【授業科目の内容】

本セミナーの目的は2つある。

1つめは、世界の言語の共通点と相違点を探究することである。人間の言語は5000以上あると言われている。それぞれの言語の構造はもちろんのこと、それが話され

ている社会、文化、起源など大変異なっているように思われる。しかしながら人間はどこに生まれてもそこで接する言語を母語として自然に身につけることができる。また人間の発声、発音の器官、言語を司る脳のしくみはどの言語を話す人も同じようである。世界の言語は一見したように異なるものなのか、それとも何らかの共通点があるものなのか？なぜ母語は容易に自然に獲得するのに外国語の習得は難しいのか？世界中の言語をさまざまな角度から分析・分類・探究することにより、言語の不思議を探る。

2つめは、そのテーマを基に、研究の仕方、研究の口頭発表およびポスター発表の仕方、レポートの書き方を学ぶことである。与えられたテーマに対し学生自らの視点を持ち、それを研究していく仕方、その研究の口頭発表、ポスター発表の仕方を学ぶ。また討論・議論・レポートにまとめる仕方も学ぶ。

【教科書】

(1)「探検！ことばの世界」(2004) 大津由紀雄著 ひつじ書房

(2) その他(担当教員よりの配布資料)

【参考書】

随時指示する。

総合教育セミナーD (類)

「歴史認識をめぐる諸問題」 4単位 通年

【商】 伏見 岳志

【授業科目の内容】

歴史認識をめぐる相違や摩擦に関する議論が、近年盛んになっていますが、このセミナーでは、そうした議論を念頭に置きつつも、より根本的な疑問として、そもそも歴史を認識するとはいったいどういうことなのか、ということを考えることを目指しています。このセミナーの主たる関心は理論的なものであり、個々の事実をめぐる最近の対立に直接的な解決をあたえることは目的にしていません。授業形式は討議中心の参加型です。参加者は、このテーマに関わる文献を探し、調査や読書をして、自分なりの意見を持ち、他の人と議論することを学びます。

【教科書】

使用しません

【参考書】

適宜指示します

総合教育セミナーD (類)

「中国経済入門」 4単位 通年

【商】 孟 若燕

【授業科目の内容】

この授業の目的は、中国経済についての基本知識を学ぶことです。一国の経済を理解するには、まず人口や地理、資源、民族、政治制度、社会構造などから入る必要があります。政治経済学の視点からすれば、これらの要素がいずれも経済成長に大きな影響を与えるわけです。

それから、1979年末から始まった経済改革・対外開放政策とその実践について勉強します。計画経済から市場経済への転換、それに伴った一連の改革措置の導入およびそれらの成果。例えば、よく聞かれる国有企業改革はどのようなことなのか、私有企業は現在どのような位置づけなのか、等等、一つ一つ理解してもらいたいと思います。

【教科書】

Stephanie Hemelryk Donald and Robert Benewick, The State of China Atlas, University of California Press, 2005 (約3000円)

【参考書】

白井早由里著『人民元と中国経済』、日本経済新聞社、2002年。

井出亜夫編著『アジアのエネルギー・環境と経済発展』、慶應義塾大学出版会、2004年。

井村秀文/勝原健著『中国の環境問題』、東洋経済新報社、1995年。

向山英彦著『東アジア経済統合への途』、日本評論社、2005年。

伊藤元重編『日中関係の経済分析【空洞化論・中国脅威論の誤解】』東洋経済新報社、2003年。

渡辺利夫編『東アジア経済連携の時代』、東洋経済新報社、2004年。

総合教育セミナーD (類)

「Psychology in Business」

4単位 通年

【商】

森吉 直子

【授業科目の内容】

The main objective of this course is to learn about human mechanisms that can influence activities that take places in business contexts. We human beings are born and grow up in society. Hence, we cannot be completely culture-free. When we negotiate, interact, and cooperate with people from the same or different cultures, we need to understand how others feel, think, and act differently.

The focus will be on psychology in business contexts. Therefore, students are expected to learn psychology related to marketing research, international economy and other business areas. It is essential that students actively participate in both in-class and outside class activities. In order to enhance understanding and application of knowledge, students will be required to engage in academic library research (in English). An information literacy seminar will be provided for students who are not familiar with library research. All class activities will take place in English.

【教科書】

Will be announced.

【参考書】

Will be introduced in class.

総合教育セミナーD (類)

「地域研究としてのラテンアメリカ研究」 4単位 通年

【商】

安井 伸

【授業科目の内容】

よく現代は「グローバルに考え、ローカルに行動する」ことが求められる時代だと言われる。では「グローバルに考える」とはどういうことだろうか。それには少なくとも「先進国」からの視点だけではなく、「周辺」あるいは「南」から世界を見る視点をも身に付けることが不可欠だろう。

もし仮に地球上のすべての人々が先進国並みの生活様式を送れば、地球環境はとても持ちこたえられないと言われる。だとすれば一般に「途上国」と呼ばれる国々は、一体どの程度までなら発展することが許されているのだろうか？そもそも「途上国」としての問題は本当に「発展の不足」にあるのだろうか？それとも「発展の仕方」そのものが問題なのだろうか？それならば、代替的な発展は可能なのか？

本セミナーでは、常にこれらの問いかけを行いつつ、現代ラテンアメリカが抱える諸問題(民主化、人権侵害、経済統合、金融危機、環境問題、貧困・不平等、インフォーマルセクター、児童労働・麻薬・売春、テロ・内戦、日系移民etc.)を議論して行きたい。

授業の進め方としては、春学期には教科書の輪読を通じて、社会科学的な地域研究の方法および題材としてのラテンアメリカに関する基礎知識を学び、同時に、レジユメの作り方や発表・討論の基本を身につけることを目指す。その間に各自テーマを選択し、夏季休暇中にレポートを作成、秋学期にはそれをたたき台に2度の発表(2度目はパワーポイントを用いる)を行う。最後に学生および教員のコメントを参考にして改善されたレポートを提出し、論文集を作成する。この間、適宜、基本的な論文作成法(テーマ設定、資料の検索・収集、文章構成、注の付け方等)の指導を行う。

【教科書】

ビクター・バルマー=トーマス『ラテンアメリカ経済史 独立から現在まで』名古屋大学出版会 2001年

【参考書】

国本伊代・中川文雄編著『ラテンアメリカ研究への招待[改定新版]』新評論 2005年

松下洋他編『ラテンアメリカ 政治と社会[全面改訂版]』新評論 2004年

西島章次他編『ラテンアメリカ経済論』ミネルヴァ書房 2004年

その他、授業時に紹介する。

総合教育セミナーD (類)

「スペイン語圏世界とその周辺：都市」

4単位 通年

【商】

横山和加子

【授業科目の内容】

この総合教育セミナーは、商学部でスペイン語を履修

する学生を対象とし、主として中南米の国々をとおしてスペイン語圏世界を知ることを目としている。スペイン語を話す国と地域はヨーロッパとアメリカ大陸双方にまたがっている。古代文明の時代から現在まで、中南米にはさまざまな人々が去来し、文化が盛衰して、多様な歴史が展開された。この広大なスペイン語圏諸国を理解するための切り口として、2007年度もひきつづき「都市」というテーマをあつかいたい。

中南米の古代文明は都市国家を中心に栄えていた。スペイン人による征服の後には、西欧風の植民都市が建設され、支配の拠点・文化の中心となった。20世紀後半からは都市が急速に拡大し、公害、貧困、暴力などの問題が深刻化した。都市問題は農村問題と表裏をなし、依然解決の兆しはない。いっぽう、中南米の都市の中には、植民地時代の旧市街の美しい街並みがユネスコの世界文化遺産に指定されているところが少なくない。そこには、植民地の富を背景にはぐくまれた、西欧とは一味違う文化や芸術の香りが残されている。

都市とは人が集まって住む場所である。つまり、都市という切り口からは人間社会全体を見渡すことができる。このセミナーへの参加者は、スペイン都市、イスラム都市など、中南米の文化に影響を与えた地域の都市へ関心を広げたり、多様な都市の類型（鉱山都市、港湾都市、観光都市など）や建築物、あるいは都市社会や都市文化など、都市をめぐるさまざまな題材にも目をむけるなど、好奇心をもってこのテーマに取り組んで欲しい。

【教科書】

オリエンテーションで指示する。

【参考書】

参考文献はセミナーの中で順次指示する。

総合教育セミナーD (類)

「異文化間トレーニング」

4単位 通年

【商】

吉田 友子

【授業科目の内容】

異なる文化の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じて文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。この授業では英語でのレクチャー、ディスカッション、ケーススタディーの分析やシミュレーション等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらう。授業はすべて英語で行われ、学生の積極的な参加を求む。

【教科書】

プリントを授業で配る。

【参考書】

- (ア)「異文化トレーニング：ボーダレス社会を生きる」
八代京子、町恵理子、小池浩子、磯貝友子(著)
1998年 三修社出版
- (イ) Intercultural Communication Training: An Introduction By: Richard Brislin & Tomoko Yoshida (1994). Sage Publications.

総合教育セミナーD (類)

「地域との対話」

4単位 通年

【商】

牛島 利明

柏崎千佳子

【授業科目の内容】

この授業では、皆さんが学ぶキャンパスの後背地である日吉、および他の地域でフィールドワークを行いながら、地域の抱えるさまざまな問題（商店街の活性化、子育て、高齢者、障害者や外国人居住者の支援、地域コミュニティのあり方など）について考察・提言を行います。大学の立地する地域を、単に生活したり消費したりする場所と捉えるばかりではなく、地域の問題・課題を発見し、多様な人々が安心して暮らせる魅力ある「まち」を支える新しい制度や文化を創出しようと試みる意欲ある学生の参加を歓迎します。

【教科書】

特になし。必要な文献は適宜授業で指示します。

【参考書】

佐藤郁哉『フィールドワーク 書を持って街へ出よう』新曜社、1992年。

総合教育セミナーD (類)

「留学生セミナー」(国際交流を考える)

4単位 通年

【商】

佐藤 望

【授業科目の内容】

このセミナーは、留学生の皆さんの日本語能力を高めるとともに、皆さんの日本での生活をサポートすることを目的としています。また、日本人の学生も参加して相互の交流を進めることも意義のひとつです。

基本的には、大学で学ぶために必要な能力、すなわち学問的方法で調査し、自ら考え、評価し、表現する能力を総合的に身につけることを目的としています。すなわち、本の調べ方、読み方、情報収集、整理、文章の書き方、プレゼンテーションとディスカッションなどを、日本語でしっかりと行うことができるよう勉強していきます。商学部の留学生は必ずこのセミナーを受講しなければなりません。

留学生と交流をしながら、これらの能力を身につけた日本人の学生の参加も歓迎します。

【教科書】

適宜指示します。

【参考書】

適宜指示します。

総合教育セミナーD (類)

「観光・航空経営研究入門」

4単位 通年

【商】

中条 潮

【授業科目の内容】

本講義では、観光および観光とかわりの深い航空輸送産業について、現場担当者や経験者による講義も交えて、入門的知識を提供するとともに、学生にはレポート

執筆とプレゼンテーションを課し、文章の書き方、PPTによるプレゼンテーション技術の基礎を学んでもらうことを目的とする。春学期は、水曜2時限および昼休みを利用して講義とプレゼンテーションを行なう。秋学期はレポートの添削を適宜行なう。

【教科書】

特になし

【参考書】

適宜、指示する。

総合教育セミナーD (類)

「荘内藩致道館徂来学」

4単位 通年

【商】

松村 宏

【授業科目の内容】

日本中でめずらしく存続している上級武士文化人集団の伝統たる致道館徂来学と一緒に学習研究する。彼らの教養と強健と品格を求めて体得すれば今の世界市民ビジネス上層青年に文化的中軸を与える。その古典主義の新たな創造的体現への練習を積むことが、ここでの我々の目的であり方法でもある。初心者が対象なので素養は問わない。出席者に応じたレベルから出発する。題目は文字通りの無骨でも、内容は、狩野永徳の絵をどう見るか、京都派の雅楽はどう演奏されていたか、古流剣道の形(かた)は、どういう呼吸であるかという部類の問題である。(具体的方法は、授業内容に示す)

【教科書】

すべて原資料を複写して配布。

【参考書】

各回毎に指示。

総合教育セミナーS (類)

「医学、心理学の生の情報に触れてみよう」

2単位 春学期

【商】

木島 伸彦

【授業科目の内容】

本講義では、インターネットで手軽に手に入る専門家向けの情報のうち、PubMedに注目して、PubMedを自由に使いこなせるようになり、医学あるいは心理学に関する専門的情報を集めて自分なりの判断ができるようになることを目的とします。

現在、情報はとても手軽に入手できる時代になりましたが、その情報には真実から遠いものも少なくありません。更に困ったことに、教科書、新聞、政府の情報等権威づけられているものが常に正しいとは限りません。我々現代人は、巷に過剰に溢れる情報におぼれることの無いよう、「正しい」情報を取捨選択して、自分なりの判断の材料としなければなりません。

例えば、病気になった場合、全てを医師に委ねますか？それとも、賢明にも自分で少しでも調べてみますか？でも、どうやって調べたらいいのでしょうか。表現の自由が保障されている書籍には、間違えや「昔は正しいと思っていたけど、今は否定されたもの」や明らかな

嘘まで含まれています。ノーベル賞を取った権威ある治療法でさえ、後年、否定されたものさえあります。つまり、書籍も重要ですが、十分ではないということです。

そこで、PubMedを利用してみましょう。PubMedは、インターネットを使える環境にあれば、誰でも無料で利用できます。PubMedは、Public Medicineの略で、全ての人のためのものです。基本的に医学に関するものですが、心理学に関する研究も載っています。早速、自分の興味のあることを調べてみましょう。医学、心理学以外の専門知識の情報を調べる良い練習になります。

【教科書】

・特に指定しません。

【参考書】

・古川壽亮著 エビデンス精神医療 EBPの基礎から臨床まで 医学書院

総合教育セミナーS (類)

「医学、心理学の生の情報に触れてみよう」

2単位 秋学期

【商】

木島 伸彦

【授業科目の内容】

本講義では、インターネットで手軽に手に入る専門家向けの情報のうち、PubMedに注目して、PubMedを自由に使いこなせるようになり、医学あるいは心理学に関する専門的情報を集めて自分なりの判断ができるようになることを目的とします。

現在、情報はとても手軽に入手できる時代になりましたが、その情報には真実から遠いものも少なくありません。更に困ったことに、教科書、新聞、政府の情報等権威づけられているものが常に正しいとは限りません。我々現代人は、巷に過剰に溢れる情報におぼれることの無いよう、「正しい」情報を取捨選択して、自分なりの判断の材料としなければなりません。

例えば、病気になった場合、全てを医師に委ねますか？それとも、賢明にも自分で少しでも調べてみますか？でも、どうやって調べたらいいのでしょうか。表現の自由が保障されている書籍には、間違えや「昔は正しいと思っていたけど、今は否定されたもの」や明らかな嘘まで含まれています。ノーベル賞を取った権威ある治療法でさえ、後年、否定されたものさえあります。つまり、書籍も重要ですが、十分ではないということです。

そこで、PubMedを利用してみましょう。PubMedは、インターネットを使える環境にあれば、誰でも無料で利用できます。PubMedは、Public Medicineの略で、全ての人のためのものです。基本的に医学に関するものですが、心理学に関する研究も載っています。早速、自分の興味のあることを調べてみましょう。医学、心理学以外の専門知識の情報を調べる良い練習になります。

【教科書】

・特に指定しません。

【参考書】

・古川壽亮著 エビデンス精神医療 EBPの基礎から臨床まで 医学書院

総合教育セミナーS (類)
 「数学の独立自学を目指して」 2単位 秋学期
 【商】 小宮 英敏

【授業科目の内容】

このセミナーの第一の目的は数学の本を一人で読み進むことができる能力を身につけることです。数学に限らずあらゆる学問において、他人から教えられ触発されることは重要なことに違いはありませんが、最終的には自分の責任で自分の考えを構築していくことが要求されます。大学でのその最初の経験をしてほしいと思いこのセミナーを開講しました。サブタイトルの「独立自学」という言葉は福澤先生の「独立自尊」から連想した造語ですが、「独立自学」の第一歩として君達が慣れ親しんだ数学という題材を使おうと思っています。

第二の目的は英語で書かれた教材を使うことにより、英語により自分が得たいと思う情報をとらえる経験を積むことです。君達は中学、高校と少なくとも6年間英語を勉強していますが、英語を使い英語以外の科目を学習した経験はほとんど無いのではないのでしょうか。これは残念なことです。君達の英語学習の年月を考えるならばもう十分に英語を使いこなせる能力が身につけています。特に、数学の教科書の英語は構文が単純ですので、専門用語を覚えてしまえば読み進むことにそれほどの困難を感じないものと思われまます。

以上記したように、英語を使い数学の学習能力を身につけることを通して、大学で勉強するとはどういうことなのかを体験することを目的にこのセミナーは開かれています。

【教科書】

教科書は使いません。適当な教材を配布します。

【参考書】

必要になった時点で、授業の中で紹介します。

総合教育セミナーS (類)
 「相対性理論の紡ぐ時間と空間」 2単位 春学期
 【商】 新田 宗土

【授業科目の内容】

アインシュタインの発見した相対性理論は、時間・空間の概念を一新しました。そこでは、時間と空間は一体となった時空として理解できます。そして、宇宙旅行に関する双子のパラドックスなど様々なパラドックスが存在します。これらのパラドックス一緒に解いて行きましょう。目標は、新しいパラドックスを見つけることです。果たして、時間旅行、タイムマシンは出来るのでしょうか？

【教科書】

「数式いらず！見える相対性理論」竹内 建 (著) , 岩波書店, ASIN: 4000055291

総合教育セミナーS (類)
 「ドイツを楽しむ7つの方法」 2単位 秋学期
 【商】 足立 典子

【授業科目の内容】

ドイツという国名を知らない人はいないものの、現在の日本人にとってはむしろ、あまり親しみのわかない遠い国のひとつではないでしょうか？これは、かつての近すぎた関係の不幸な裏返しにほかならない訳ですが、これほどの「不幸」はありません。ドイツの文化ほど、奥深い魅力と挑発的な矛盾に満ちたものはないからです。

実は現在のドイツ人自身にとっても敬遠の対象である「ドイツ」なるものについて、参加者がそれぞれ、自分の得意とする分野から分析を試みます。

総合教育セミナー S (類)
 「入門フランス学」 2単位 春学期
 【商】 鈴木 順二

【授業科目の内容】

フランスは、私たちの生活のなかで比較的身近に感じることのできる国の一つでしょう。フランス語を学んだり、映画や美術、あるいは料理やワインなどの食文化を通じてこの国に親しみを持っている人も多いと思います。

しかし改めて考えてみると、フランスの社会やフランス人について、私たちははたしてどれほどのことを知っているのでしょうか？例えば、フランス本土でも少なからぬフランス人が地域語と呼ばれるフランス語以外の少数言語を使って生活していることを。また、フランスの産業というと、観光、農業、流行のブランド品などを思い浮かべます。しかし先端科学技術を結集した航空・宇宙産業も盛んで、ミサイルや戦闘機も実は重要な輸出品なのです。

フランスに関する基本的知識を深め、フランスとフランス人の真の姿を探るのがこのセミナーの目的です。そのことはまた、日本と日本人自身について改めて考えるきっかけともなるでしょう。

【教科書】

『フランス』清水 徹・根本長兵衛ほか (新潮社)

【参考書】

授業で紹介します。

総合教育セミナーS (類)
 「アメリカと現代社会」 2単位 春学期
 【商】 竹内 美佳子

【授業科目の内容】

9.11以後のアメリカは、自国に対する敵意を力で抑え込む、単独行動主義への傾斜を強めてきました。本セミナーでは、過去2世紀にわたる対外関係史の検証から現代的課題を浮き彫りにした、アメリカ論を輪読します。

自由、民主主義、愛国主義の意味を問うた政治批判の書を通して、現代社会を考察します。

【教科書】

アーサー・シュレジンガー, Jr. 著『アメリカ大統領と戦争』(岩波書店、2005年)

【参考書】

授業で紹介します。

総合教育セミナーS (類)

「Research and Methods」

2単位 春学期

【商】

英 知明

【授業科目の内容】

選択したテーマに沿って自らリサーチ・収集した内容をわかりやすく説得力ある論にまとめ、「論文のマナー」に従って良質な日本語で表現する技術的訓練を行う。また定められた字数の中で、自身の考えを過不足なく効果的に盛り込んだ「書評」や「論考」を書くことを通じ、豊かな語彙と正確な日本語を駆使する能力を養う。短期集中型科目(履修は半期のみ可:春学期・秋学期とも同じ内容)で密度の濃い授業を目指すため、履修者数の制限をする場合もある。

【教科書】

一部に英語のプリントを使用。授業中に配布します。

【参考書】

特になし

総合教育セミナーS (類)

「Research and Methods」

2単位 秋学期

【商】

英 知明

【授業科目の内容】

選択したテーマに沿って自らリサーチ・収集した内容をわかりやすく説得力ある論にまとめ、「論文のマナー」に従って良質な日本語で表現する技術的訓練を行う。また定められた字数の中で、自身の考えを過不足なく効果的に盛り込んだ「書評」や「論考」を書くことを通じ、豊かな語彙と正確な日本語を駆使する能力を養う。短期集中型科目(履修は半期のみ可:春学期・秋学期とも同じ内容)で密度の濃い授業を目指すため、履修者数の制限をする場合もある。

【教科書】

一部に英語のプリントを使用。授業中に配布します。

【参考書】

特になし

【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】

総合教育セミナー〔春学期〕・〔秋学期〕

本科目は知的探求の基本である論理的思考とその口頭ならびに記述による表現力の養成を目指します。上限20人程度の少人数クラスで、教員と学生、そして学年同志の密なコミュニケーションを通じ、調査、発表、ディスカッション、レポート作成など、学問の基本的手順・在り方を体験してゆきます。設けられた多様なテーマの中から自分が関心のあるものを選び、積極的に授業に参加して下さい。

理工学部以外の学生が履修を希望する場合は、2007年4月6日(金)15:00までに、日吉学事センター理工学部窓口へ申し出て下さい。

総合教育セミナー

「メディアの世界」

2単位 春学期

【理】

浅見 昇吾

【授業科目の内容】

メディアのさまざまな世界を具体的に知ってもらいたいと思います。ただし、受動的な知識を身につけることが目標ではなく、メディアを自分なりに積極的に活用できるようになることが目標です。メディアを利用したプレゼンテーション、企画書の作成などもして頂きたいと考えています。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

総合教育セミナー

「写真について考える」

2単位 春学期

【理】

荒金 直人

【授業科目の内容】

写真 あるいは厳密には写真と呼べないような様々なタイプの静止画像 は我々の生活の場に満ち溢れており、もはや写真のない世界 そしてその世界で生きていた人々の感受性 を想像することさえも困難なほどです。かつてロラン・バルトは写真を、過去の存在を意味によって処理せずに提示するものとして考えようとなりました。「それはかつてあった」というリアリティを感じさせる強制力に、写真の本質を求めたわけですが、しかしこのような視点は、デジタル画像が支配的になった現代において、なおも説得力を持っているのでしょうか。写真の本質 写真だけに固有の性質 とは何なのか? 写真のリアリティとは何なのか? 等々、このセミナーでは、写真についてどのような考え方があるのかを調べ、その上で我々なりに写真というものについて深く考えてみたいと思います。

【教科書】

「教科書」という形でのテキストは特にありません。

【参考書】

授業中に指示するつもりですが、例えば以下のものが参考になると思います。 ロラン・パルト著、花輪光訳、『明るい部屋の謎 写真についての覚書』、みすず書房、1985年。 セルジュ・ティスロン著、青山勝訳、『明るい部屋の謎 写真と無意識』、人文書院、2001年。 スーザン・ソクタグ著、近藤耕人訳、『写真論』、晶文社、1979年。 ヴァルター・ベンヤミン著、久保哲司編訳、『図解・写真小史』、筑摩書房、1998年。 京都造形芸術大学編、『現代写真のリアリティ』、角川書店、2003年。 飯沢耕太郎、『デジグラフィ』、中央公論新社、2004年。 近藤耕人編、『写真との対話』、国書刊行会、2005年。 小林美香、『写真を 読む 視点』、青弓社、2005年。

総合教育セミナー

「デザインするということ。」 2単位 春学期
【理】 大西 瞳

【授業科目の内容】

主にランドスケープ、建築、プロダクト、グラフィック等のデザイン例を取り上げ、また、現状のデザインの現場を知り、デザインを考える基本的な方法を学びます。そして、実際に自分でデザインを考え、プレゼンテーションするところまでを目標とします。

【教科書】

未定

【参考書】

未定

総合教育セミナー

「語彙意味論入門：身近な言葉を分析しよう」 2単位 春学期
【理】 小原 京子

【授業科目の内容】

日頃私達は日本語を使いこなしてはいますが、日本語について気付いていない事柄もたくさんあります。たとえば、「言う」と「話す」の違いを外国人に説明できますか？「そわそわ」の意味は？「越す」と「越える」はどう使い分けられますか？

そんな時国語辞書を見ても、あまり参考にはなりません。それは、今の国語辞書の多くが、他の言葉での置き換えを主に載せていて、その言葉の使い方に関する知識やナマの生きた用例を充分載せていないからです。

このセミナーでは、普段何気なく使っている日本語の語句の意味や使い方に関する、日本語ネイティブスピーカーが持っている知識を分析します。特に、外国人が理解できるようにその言葉を説明するには、という観点から考えます。日本語ネイティブスピーカーが持つ、各々の日本語語句に関する背景知識を記述した、現在構築中のオンライン日本語語彙情報資源にアクセスして、それが外国人が日本語を学習する際にどの程度どんな点で有効か、どうすればさらに外国人の日本語学習に役に立つか、調査・検討します。また、逆に今度は私たち自身「ノンネイティブスピーカー」として、英語の語句に関

するどのような知識が欠けているかを調べるため、英語ネイティブスピーカーが持つ各々の英語語句についての背景知識を網羅した、オンライン英語語彙情報資源にアクセスし、それが私達の英語学習にどのように有効か、どのように改良・応用すべきかを調べます。

このような作業を通じて、私達が無意識に駆使している言葉をこれまでとは違った観点から捉え、言葉の意味に関する調査の仕方を学びます。また、調査結果の口答発表と質疑応答、調査結果のレポートへのまとめ方とその推敲の仕方についても、実地に学んでいきます。

【教科書】

授業中に指示します。

【参考書】

<http://jfn.st.hc.keio.ac.jp/>

<http://www.icsi.berkeley.edu/framenet/>

仁田義雄著『辞書には書かれていないことばの話』

岩波書店、2002年

その他は授業中に指示します。

総合教育セミナー

「カルチャーショックを考える」 2単位 春学期
【理】 熊野谷 葉子

【授業科目の内容】

国際化と情報化が進む現在では、特に外国へ行かなくても異文化に関する情報はあふれている。だがそれでも、国内での文化の違いや外国人との接触の中で、思わぬカルチャーショックを受けることは多いだろう。私達はどんなことにカルチャーショックを感じ、それをどう乗り越えていくのだろうか。他人の行動に対するちょっとした違和感から、他民族に対するイメージや日本人像まで、具体的な事例を検討しながら意見を交換していきたい。

【教科書】

なし

【参考書】

授業内に適宜指示する

総合教育セミナー

「日本の多言語社会」 2単位 春学期
【理】 古賀 義顕

【授業科目の内容】

日本はすでに単一言語の国ではありません。そうした状況のなかで、日本語とわたしたちは、英語やアジアの諸言語をはじめとする複数の言語とのあいだにどのような関係を切り結んでいるのでしょうか。これらの問題をグローバルな視点から考察しつつ、調査や考察の方法、レポート作成やプレゼンテーションの作法を探求したいと思います。

【教科書】

河原俊昭・山本忠行編『多言語社会がやってきた 世界の言語政策Q&A』くろしお出版、2004年

【参考書】

石坂春秋著『レポート・論文・プレゼン スキルズ』

くろしお出版、2003年

総合教育セミナー

「言葉の向こうにあるもの 言語と文化・社会」
2単位 春学期
【理】 小林 潔

【授業科目の内容】

- ・言語と文化や社会との関わりを考察します。
- ・言語学の初歩にふれます。
- ・言語と文化・社会の関係に関して自覚的になり、言語に対する感覚を育てることが本セミナーの目的です。

【教科書】

- ・飯野公一・恩村由香子・杉田洋・森吉直子 『新時代の言語学 社会・文化・人をつなぐもの』 くろしお出版、2003年。
- ・講義資料プリント

【参考書】

- ・河原俊昭・山本忠行 『多言語社会がやってきた - 世界の言語政策Q&A -』 くろしお出版、2004年。
- ・佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦編著 『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』 慶應義塾大学出版会、2006年。

総合教育セミナー

「ユング心理学の世界に遊ぶ」
2単位 春学期
【理】 小林 邦夫

【授業科目の内容】

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「こころ」について、何も知らないに等しい。

C.G.ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた諸分野を、

堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「拠り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できよう。しかしユング心理学の魅力はまさにそこにこそあり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

【教科書】

『ユング』；文・大住誠、イラスト・田島薫美；FOR BEGINNERSシリーズ65 現代書館；1236円

【参考書】

『エセンシャル・ユング』；アンソニー・ストー編著 / 山中康裕監修； 創元社；3914円

総合教育セミナー

「人と自然とのつながりを考える 食の現在」
2単位 春学期
【理】 小宮 繁

【授業科目の内容】

20世紀は、人間の生産・消費活動に起因する未曾有の規模の自然破壊を経験した時代でした。それは、人間が一方向的に自然を収奪の対象として見るような思想が世界に広く、深く浸透した結果だといえます。そこで、こうした人間中心の自然観からの脱却ないし転換を果たし、人と自然とのあらたな持続可能な関係を構築していくことは、現在のわたしたちに課された重要な課題の1つといえるでしょう。

このセミナーでは、「食」を通して、人と自然とのかわり方を考えてみたいと思います。高度文明社会に暮らすわれわれが日常的な自然とつながりをわずかながらでも維持しているとすれば、それは唯一「食」を通じてということになるかと思われるからです。「食」について、様々な視点から考えることによって、われわれが置かれている現状がよりはっきりと見えてくるのではないのでしょうか。そこからさらに一歩進めて、一緒に人と自然とのあらたなかわりを見出すための議論を深めていきたいと考えています。

【教科書】

授業時に指示します。

【参考書】

授業時に指示します。

総合教育セミナー

「メディア・デザインの基礎：考え方を考える」
2単位 春学期
【理】 坂倉 杏介

【授業科目の内容】

あなたにとって、メディアとは、あるいはデザインとは何ですか？ 私たちが生活で触れるあらゆるメディアは、誰かの手でデザインされています。その「誰か」の一人になるためには、まず身の回りのデザインに敏感になることが大切です。本講義は、グループワークやディスカッションを通じて、メディア・デザインを感じ、考え、つくる力を高めていく、ワークショップ形式の授業です。

春学期は、デザインの見方の幅を広げるためのワークショップやディスカッションが中心です。いくつかの小さな課題制作を通じて、構想力と表現力の向上につながる「考える技術」を身につけます。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナー

「推理小説・推理小説論を読む(1)」 2単位 春学期
【理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

「推理小説」とは何か？ その実作品や、この奇妙なジャンル「について」書かれたものを読むことを通じて、「推理小説」に固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめくって、口頭発表やレポートで自分の見解を明瞭に伝える練習をします。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

教室で指示します。

総合教育セミナー

「異なる角度から見る日本語 コミュニケーション能力の強化のために」 2単位 春学期
【理】 羽田野 洋子

【授業科目の内容】

カタカナ語の多用、顔文字の使用、若者言葉、慣用表現の誤用、など言葉は刻々と変化しています。変化している日本語について各自が身近なテーマを設定し、具体的に調査・分析し、その作業を通じて今まで無意識に使用してきたであろう日本語をいろいろな角度から客観的に見ていきます。日常生活では、例えば、「今晚は雪が降る。」という断定の文に「今晚は雪が降る+(だろう・かもしれない・にちがいない・はずだ・と思う・と思われる・ようだ・みたいだ・らしい)」などの文末表現を自然に使い分け、円滑なコミュニケーションをはかっています。日本語を客観的に見ることで表現が緻密で豊かになっていきます。日常会話も口頭発表もメールも手紙もレポートも言葉によるコミュニケーションです。

このセミナーでは、場面・目的にあった適切な日本語で書き・話し、自分の考えを端的に伝えられるようになることを目指しています。コミュニケーション・ツールとしての日本語をみがきあいましょう。

【教科書】

必要に応じて関連資料を配布します。

【参考書】

山崎信寿、富田豊、平林義彰、羽田野洋子『科学技術日本語案内新訂版』慶應義塾大学出版会、2002年
 木下是雄『理科系の作文技術』中公新書、1981年
 石黒圭『よくわかる文章表現の技術』明治書院、2004年

総合教育セミナー (水3)

「化学でのぞく神秘の世界」 2単位 春学期
【理】 平林 義彰

【授業科目の内容】

私たちの身の回りをよく見ると、「化学」がいっぱい

ころがっています。

「衣」「食」「住」に「医」を加えた生活分野の多くの材料や道具は「化学」で作られています。また、自然現象の多くも「化学」で説明できます。このように見ると「化学」も楽しくなります。私たちの身の回りの「化学」を探して、文章にしたり、発表したりしませんか。

時間割の関係で春学期に履修できない時は、秋学期の総合教育セミナー〔水3または水4 平林 義彰〕を履修してください。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します

【参考書】

山崎信寿他『科学技術日本語案内 - 新訂版』慶應義塾大学出版会、2002
 相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』(非売品) 慶大理工学部、1998
 木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社、1981
 高木誠司『理科系の論文作法』丸善、1997
 山口喬『エンジニアの文章読本』培風館、1988

総合教育セミナー (水4)

「身近な化学を調べよう」 2単位 春学期
【理】 平林 義彰

【授業科目の内容】

私たちの身の回りには興味深い現象がゴロゴロしています。また、自然現象は化学的思考で説明できるでしょう。そこで諸君の周囲のちょっとした現象を探し、その成り立ちを考え、文章にしたり、発表したりしませんか。

時間割の関係で春学期に履修できない時は、秋学期の総合教育セミナー〔水3または水4 平林 義彰〕を履修してください。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します

【参考書】

山崎信寿他『科学技術日本語案内 - 新訂版』慶應義塾大学出版会、2002
 相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』(非売品) 慶大理工学部、1998
 木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社、1981
 高木誠司『理科系の論文作法』丸善、1997
 山口喬『エンジニアの文章読本』培風館、1988

総合教育セミナー

「20年後の未来技術を考える」 2単位 春学期
【理】 三木 則尚

【授業科目の内容】

インターネットや携帯電話など、20年前には夢だった技術が今現在では当たり前のように使われています。では今から20年後にはどんな技術が社会で使われているのでしょうか。本セミナーでは、受講生たちが自らの想う未来技術を考案、調査し、その社会へのインパクト、実現するための具体的な技術イノベーション、ビジネスプラ

ンを議論します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナー

「あったらいいな」の機能デザイン」 2単位 春学期

【理】

山崎 信寿

【授業科目の内容】

新製品企画、道具、家具、住居など、人間生活のためのモノ作りに興味を持つ人向きです。日頃不満に思っていること、こんなことができたらいいなと思っていること、一緒に考えませんか。生活を見つめ、新しいモノを発想し、発表し、議論し、再び考えてまとめていきます。このような作業を通じて多面的な見方と論理的思考力および表現力を身につけるのが、このセミナーの目標です。このため、書くことと話すことに慣れる様々な企画をしています。

【教科書】

特に指定しません。関連資料は配付します。

【参考書】

木下是雄『理科系の作文技術』中公新書、1981

日本機械学会編『生活を変えた技術』技報堂出版、1997

山崎信寿、富田 豊、平林義彰、羽田野洋子『科学技術日本語案内新訂版』慶應義塾大学出版会、2002

総合教育セミナー

「生命倫理の世界」

2単位 秋学期

【理】

浅見 昇吾

【授業科目の内容】

思想や倫理とは何かということからはじめ、生命倫理の具体的な問題について少しずつ知見を深めてもらう予定です。生命倫理では、社会の複雑な問題や人生の複雑な問題が比較的具体的な形で提示されます。生命倫理の問題を考え、社会や人生を生き抜くための手がかりを得て頂きたいと思えます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

総合教育セミナー

「日常生活における記号や意味の働きについて考える」

2単位 秋学期

【理】

荒金 直人

【授業科目の内容】

我々の日常は様々な媒体を通じて つまり様々な記号的な働きを通じて ひとつの意味環境を形成しています。この意味環境がどのようにして形成されているの

か、どのようなメカニズムで機能しているのか、それを具体的な事例の分析を通じて考えることによって、日常生活における記号の働きを批判的に読み解くための視点を獲得する、というのがこのセミナーの第一の目的です。

石田英敬著『記号の知/メディアの知』を教科書として使います。まずは記号学・記号論とメディア理論の基礎を確認し、次に建築・都市・広告・身体・政治・テレビ・サイバースペースなどにおける意味のメカニズムについて考え、議論したいと思います。

著者の考えをまとめ、それに対する自分の考えを持ち、それらを簡単なレジュメを作って口頭で発表し、他の人と意見を交換する これらの能力を高めるのがこのセミナーの第二の目的です。

【教科書】

石田英敬『記号の知/メディアの知 日常生活批判のためのレッスン』東京大学出版会、2003年。

【参考書】

授業の中で適宜指示します。

総合教育セミナー

「エレクトロニクスデザイン」

2単位 秋学期

【理】

石黒 仁揮

【授業科目の内容】

本セミナーでは、電子工作を通して理工学の基本である作る喜びを感じて欲しいと思っています。

図面と部品から、実際にハンダ付けしながら、一からトレーサーロボットを製作します。前半は、PIC、FET、センサー、初めは分からないことばかりですが、電子部品の動作を調べ、全体の回路の動作原理について学びます。後半はPICにプログラミングし、より安定にかつ高速にトレースできるアルゴリズムを開発します。電子製品は、ハードだけ、あるいはソフトだけではなく、両方を理解してこそ良い製品が作られることを理解して欲しいと思います。ハードとソフトの開発過程で、数回の発表を行い、自分の作ったトレーサーロボットについて、その特徴や苦労したことを文章でまとめます。

教材費として3千円(予定)必要です。

総合教育セミナー

「カワイイ」デザイン」

2単位 秋学期

【理】

井上 京子

【授業科目の内容】

「カワイイ」って何でしょう。何が「カワイイ」のでしょうか。

アニメや漫画から広がった、日本独自の「カワイイ」文化。日本製のキャラクター商品の普及とともに、世界中にその価値観が広がってきています。

本セミナーでは、「カワイイ」と人が感じる本質を探り、「カワイイ」デザインの定量化、定性化を試みます。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナー

「化学物質に対する「常識」を見直す」 2単位 秋学期
【理】 太田 博道

【授業科目の内容】

私達の日常生活は非常に多くの「化学物質」に囲まれている。多くのものは私達の生活に役に立たないしはなくてはならないものなので、多くの化学物質が身の回りにあるのである。にもかかわらず「化学物質」と言う言葉の語感は芳しくない。できれば遺棄したいという感じがする。しかし考えてみれば、私達の身体そのものが「化学物質」に他ならない。一つ一つの化学物質が全体として制御され、システムとして完成して生命力となっている。

このように「化学物質」そのものは地球上の生命体にとってなくてはならないものであるが、「例外的に」予期せぬ危害を生命に対して加えることがある。この面だけが増幅されるので「化学物質」=悪者の印象が多くの人の頭に刷り込まれて抜けない。しかし、化学物質の功罪を考えると、冷静に定量的に考え、リスクとプラス面をきちんと評価し、その結果に基づいて対策を考えなければならない。本セミナーでは以下の計画に沿って、現在の一般的常識や印象が本当に正しいのか皆で「検証」してみたいと思う。

【教科書】

John Emsley 著、渡辺 正 訳『逆説・化学物質 - あなたの常識に挑戦する』丸善、2200円
 (受講者は購入して下さい)

総合教育セミナー

「デザインするということ。」 2単位 秋学期
【理】 大西 瞳

【授業科目の内容】

主にランドスケープ、建築、プロダクト、グラフィック等のデザイン例を取り上げ、また、現状のデザインの現場を知り、デザインを考える基本的な方法を学びます。そして、実際に自分でデザインを考え、プレゼンテーションするところまでを目標とします。

【教科書】

未定

【参考書】

未定

総合教育セミナー

「語彙意味論入門：身近な言葉を分析しよう」 2単位 秋学期
【理】 小原 京子

【授業科目の内容】

日頃私達は日本語を使いこなしてはいますが、日本語について気付いていない事柄もたくさんあります。たと

えば、「言う」と「話す」の違いを外国人に説明できますか？「そわそわ」の意味は？「越す」と「越える」はどう使い分けられますか？

そんな時国語辞書を見ても、あまり参考にはなりません。それは、今の国語辞書の多くが、他の言葉での置き換えを主に載せていて、その言葉の使い方に関する知識やナマの生きた用例を充分載せていないからです。

このセミナーでは、普段何気なく使っている日本語の語句の意味や使い方に関する、日本語ネイティブスピーカーが持っている知識を分析します。特に、外国人が理解できるようにその言葉を説明するには、という観点から考えます。日本語ネイティブスピーカーが持つ、各々の日本語の語句に関する背景知識を記述した、現在構築中のオンライン日本語語彙情報資源にアクセスして、それが外国人が日本語を学習する際にどの程度どんな点で有効か、どうすればさらに外国人の日本語学習に役に立つか、調査・検討します。また、逆に今度は私たち自身「ノンネイティブスピーカー」として、英語の語句に関するどのような知識が欠けているかを調べるため、英語ネイティブスピーカーが持つ各々の英語語句についての背景知識を網羅した、オンライン英語語彙情報資源にアクセスし、それが私達の英語学習にどのように有効か、どのように改良・応用すべきかを調べます。

このような作業を通じて、私達が無意識に駆使している言葉をこれまでとは違った観点から捉える訓練をし、言葉の意味に関する調査の仕方を学びます。また、調査結果の口答発表と質疑応答、調査結果のレポートへのまとめ方とその推敲の仕方についても、実際に学んでいきます。

【教科書】

授業中に指示します。

【参考書】

<http://jfn.st.hc.keio.ac.jp/>

<http://www.icsi.berkeley.edu/framenet/>

仁田義雄著『辞書には書かれていないことばの話』岩波書店、2002年

その他は授業中に指示します。

総合教育セミナー

「日本文化の生成 - 異文化の受容とその展開 - 」 2単位 秋学期
【理】 木下 京子

【授業科目の内容】

日本文化は古くは中国や朝鮮半島、明治維新後は欧米諸国の文化の影響を強く受け、今日に至っている。一方、「スシ」や「テリヤキ」、「オタク」や「アニメ」などの言葉がそのまま通用するほど、日本の諸文化は海外にも浸透している。そこで本セミナーでは、受講者各自が日本文化に関する興味ある事項について、その成立背景や発展過程、あるいは海外における理解などさまざまな角度より調べて考察してもらおう。その成果を授業時に口頭発表し、文章にまとめる練習をする。できればこの機会に、パワーポイントを利用しての発表を試みることを期

待する。

【教科書】

プリントを配布

【参考書】

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論新社、1984年

総合教育セミナー

「笑いについて」

2単位 秋学期

【理】

金田一 真澄

【授業科目の内容】

笑いは、人間とサルのみが持つ特徴です。

「笑い」について、人間と笑いとの関係、笑いの研究史、笑いの原因など、様々な問題を議論します。

まず笑いについて書かれた文献を読み、様々な角度から笑いを検討していきます。ある程度読んだところで、学生一人一人が好きなテーマを選び、そのテーマで口頭発表をし、同時にその発表について皆でディスカッションをします。最後に各自レポートとしてまとめます。

【教科書】

なし

【参考書】

文献リストを配付します

総合教育セミナー

「言葉と文字とメディア」

2単位 秋学期

【理】

熊野谷 葉子

【授業科目の内容】

携帯電話やインターネットの普及によって、今やキー操作による文字情報の伝達は、もっとも簡便な連絡手段となっている。そこでは文字は空気や水のような存在に見えるが、実は世界には、文字のない言語は山ほどある。この授業では、文字を情報伝達のひとつの手段として捉えなおし、口承文芸の特徴や文字の発展、印刷技術が社会に与えた影響などを勉強しながら、現在の話し言葉と書き言葉、メールやチャットの文体、漫画における会話や音声の表現方法など、様々な視点から言葉を考えていく。

【教科書】

なし

【参考書】

授業内に適宜指示する

総合教育セミナー

「日本語と現代社会」

2単位 秋学期

【理】

古賀 義顕

【授業科目の内容】

近年見直されている方言の地位や敬語の用法、インターネットの日本語、メディアと日本語など、身近な素材と実際のデータをもとに、日本語が現代社会の中でどのような状態にあるかをグローバルな視点から考察しつつ、調査や考察の方法、レポート作成やプレゼンテーシ

ョンの作法を探究したいと思います。

【教科書】

河原俊昭・山本忠行編『多言語社会がやってきた 世界の言語政策Q&A』くろしお出版、2004年

【参考書】

石坂春秋著『レポート・論文・プレゼン スキルズ』くろしお出版、2003年

総合教育セミナー

「物語に意味はあるか 声、文字、文学」

2単位 秋学期

【理】

小林 潔

【授業科目の内容】

- ・文学研究なるものにふれ、言語作品の自覚的な読み方を学びます。
- ・テキストを読解し、そこから問題を取り出し調査・考察する練習をします。
- ・考察結果をクラスで発表し討議します。

【教科書】

- ・「青空文庫」としてネット上に公開されているものを題材にします。文芸作品にはこだわりません。
- ・書籍媒体も利用します。
- ・講義資料プリント

【参考書】

- ・佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦編著『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会、2006年。

総合教育セミナー

「夢分析入門」

2単位 秋学期

【理】

小林 邦夫

【授業科目の内容】

我々は何故夢を見るのでしょうか？夢って一体何？この問題の解決に出来得る限り接近しようとするのが、このセミナーの目的です。一人の人間が一生のうちで夢を見ている時間を全て合わせると、四年半にもなるそうですが、この不可解な、神秘に満ちた夢という現象を、様々な角度からアプローチします。以下の「授業計画」を参照。最先端の科学技術を駆使しても、恐らく、夢を見ることの出来るロボットを作り出すことはできないでしょう。このことは、コンピュータの世界と夢の世界の一番大きな違いを表わしている、と言えるでしょう。このセミナーでは、最終的に、自分の見た夢、他人の見た夢を何とか解釈してみる、即ち、夢分析ができるようになることを目標にします。

【教科書】

デーヴィッド・コクスヘッド＋スーザン・ヒラー著、河合隼雄＋氏原寛訳（イメージの博物誌3）『夢 時空を超える旅路』平凡社1850円

【参考書】

C.G.ユング著、氏原寛監訳（『ユングコレクション』8、9）『子どもの夢』、人文書院；（6695円）

(6592円)

総合教育セミナー

「20世紀の美術を考える」

2単位 秋学期

【理】

近藤 幸夫

【授業科目の内容】

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識を身につけます。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に人文分野の資料にアクセスするかといったことも学びます。

【教科書】

特にありません

【参考書】

見学した展覧会のカタログなどですが、適宜授業の中で指示します。

総合教育セミナー

「メディア・デザインの実践：つくり方をつくる」

2単位 秋学期

【理】

坂倉 杏介

【授業科目の内容】

あなたにとって、メディアとは、あるいはデザインとは何ですか？ 私たちが生活で触れるあらゆるメディアは、誰かの手でデザインされています。その「誰か」の一人になるためには、まず身の回りのデザインに敏感になることが大切です。本講義は、グループワークやディスカッションを通じて、メディア・デザインを感じ、考え、つくる力を高めていく、ワークショップ形式の授業です。

秋学期は、メディアの制作を中心に行います。この講義では、これまでミニFM局や商店街のCMを制作しました。機材の使用法だけでなく、自分自身の「つくり方」と「つくる力」を見つけます。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナー

「推理小説論を読む(2)」

2単位 秋学期

【理】

高桑 和巳

【授業科目の内容】

「推理小説」とは何か？ その実作品や、この奇妙なジャンル「について」書かれたものを読むことを通じて、「推理小説」に固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐる、口頭発表やレポートで自分の見解を明瞭に伝える練習をします。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

教室で指示します。

総合教育セミナー

「光への招待 - 光の持つ可能性を探る」 2単位 秋学期

【理】

二瓶 栄輔

【授業科目の内容】

光は我々の周りに満ち溢れています。そして我々は無意識のうちに光をさまざまな情報源として巧みに利用しています。しかし、光って何？と質問されたときに、すぐに答えられるでしょうか。

本セミナーでは、光が持っている性質を解き明かし、さらに、現在の高度情報化社会を支える光技術や、先端医療を支える光技術など、様々な分野で利用されている光技術を理解し、また自分で調査すると共に、実際に光を制御する実験を体験しながら、光の持つ可能性について考えていきたいと思えます。

【教科書】

プリント教材

【参考書】

授業中に紹介する

総合教育セミナー (水3)

「人類の未来の扉を開く玉手箱「化学」」 2単位 秋学期

【理】

平林 義彰

【授業科目の内容】

工学における「化学」は、衣料品や医薬品、生活用品、ハイテク製品、住宅関連資材など、我々の身の回りの衣・食・住に関わる材料や製品を作るときの「道具」として考えることができ、言ってみれば「玉手箱」です。ここでは「ものをつくる」という観点から「化学」をとらえ、身近な「化学」を探して発表したり、文章にしたりしませんか。

時間割の関係で秋学期に履修できない時は、春学期の総合教育セミナー〔水3または水4 平林 義彰〕を履修してください。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します

【参考書】

山崎信寿他『科学技術日本語案内 - 新訂版』慶應義塾大学出版会、2002

相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』(非売品) 慶大理工学部、1998

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社、1981

高木誠司『理科系の論文作法』丸善、1997

山口喬『エンジニアの文章読本』培風館、1988

総合教育セミナー（水4）

「化学が開拓する先端技術」

2単位 秋学期

【理】

平林 義彰

【授業科目の内容】

諸君の身の回りの便利な道具は先人が発明したものです。その開発には奇想天外な発想も関係し、また莫大なエネルギーを費やしています。最新の科学技術を探し、発表したり、文章にしてみませんか。

時間割の関係で秋学期に履修できない時は、春学期の総合教育セミナー〔水3または水4 平林 義彰〕を履修してください。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します

【参考書】

山崎信寿他『科学技術日本語案内 - 新訂版』慶應義塾大学出版会、2002

相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』（非売品）慶大理工学部、1998

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社、1981

高木誠司『理科系の論文作法』丸善、1997

山口喬『エンジニアの文章読本』培風館、1988

総合教育セミナー

「ものづくりが好きな人のための日本語教室 調べる・考える・伝える」

2単位 秋学期

【理】

村上 康代

【授業科目の内容】

ものづくりが大好きだけれど、書いたり話したりする日本語のコミュニケーションに自信がない人、レポート作成やプレゼンテーションがうまくなりたい人のためのクラスです。この授業では、各自が興味のある「ものづくり」に関する資料を広く集め、自ら設定したテーマに沿って調査し、クラスで発表・議論し、最終レポートにまとめます。調査対象とする「ものづくり」は、科学・技術分野の「モノづくり」から、芸術や社会の様々な分野での「創る」活動まで、幅広く考えています。作文添削と口頭発表の練習とを繰り返し、日本語のコミュニケーション能力の向上を目指します。

【教科書】

木下是雄『理科系の作文技術』中公新書、1981

【参考書】

大島弥生他5名『ピアで学ぶ大学生の日本語表現』ひつじ書房、2005

荒木晶子他2名『自己表現力の教室 大学で教える「話し方」「書き方」』情報センター出版局、2000

村上陽一郎『科学者とは何か』新潮選書、1994

その他、授業中に紹介します。

学部独自設置授業科目

1 文学部

科目名は、ゴシック(太字)部分です。() カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考(証明書などには記載されない科目名)です。

科目名の後に〔セット履修科目〕と表記のある科目は、春・秋共履修してください。

基礎情報処理(A)～(I)

2単位 春学期/秋学期

- (A) 岸田 和明
 (B) 三根 慎二
 (C) 森山 剛
 (D) 石川 尋代
 (E) (I) 井垣 竹晴
 (F) 宮本 忠
 (G)～(H) 福田 浩章

〔授業科目の内容〕

コンピュータや各種アプリケーションの使い方を学びながら、情報を処理する際に必要な「考え方」やネットワークを介したコミュニケーションを行う際に必要な「倫理」について解説します。コンピュータそのもののしくみを学ぶことよりは、コンピュータを利用して情報を扱う基礎知識を身につけ、大学での活動や今後の社会生活に役立たせることを目的としています。

言語学

「言葉 人間の本質を探る鍵」 4単位 通年
 金田一 真澄

〔授業科目の内容〕

言葉とは何かという素朴な疑問から入り、誰もが使う言葉の不思議な魅力に迫ります。

初めに、言葉について人はどのように考え、どのようにアプローチしてきたのか、その歴史を振り返ります。言語学の歴史を古代ギリシャから近代まで辿り、言葉に対する人間の飽くなき探究心の歴史を跡づけます。またその際に、言語と人間との関係を探ります。人間の認知や心理など、どちらかというところまで構造主義の言語学では敬遠されてきた側面に焦点を当て、人間にとって不可欠な存在である言葉の仕組みを明らかにします。したがって、生物学、脳科学、心理学、哲学、コンピュータ科学などの学際的領域についても言及します。そのほかのテーマとしては、意味論、語用論、メタファ論、カテゴリー論などを議論します。一方で、日本語表現の文法問題を扱い、自分が毎日何気なく使用している言葉について、その不可思議な性質を再発見します。毎回、授業の最後の20分ほどは、授業で扱ったテーマについて意見交換を行います。

年2回、各6000字のレポートを課題として要求します。

〔教科書〕

ありません。

〔参考書〕

- 『認知言語学への招待』
辻幸夫編、大修館書店、2003
- 『認知言語学』

大堀寿夫著、東京大学出版会、2002

- 『認知言語学入門』
F. ウンゲラー他著、池上他訳、大修館書店、1998
- 『はじめての認知言語学』
吉村公宏著、研究社、2004
- 『認知意味論』
松本曜編、大修館、2003
- 『認知言語学の発展』
坂原茂編、ひつじ書房、2000
- 『認知言語学キーワード事典』
辻幸夫編、研究社、2002
- 『ことばの認知科学事典』
辻幸夫編、大修館書店、2001
- 『意味論2. 認知意味論』
杉本孝司著、くろしお出版、1998
- 『認知意味論』
G. レイコフ著、池上他訳、紀伊国屋書店、1993

書物の世界 (春学期) / 書物の世界 (秋学期)

〔セット履修科目〕

「春学期 西洋書物史の愉楽 秋学期 書誌学の魅力」
 2単位 春学期/秋学期

高宮 利行	巽 孝之
松田 隆美	河内 恵子
大串 尚代	高橋 勇
佐藤 道生	石川 透
高橋 智	田村 俊作
安形 麻理	徳永 聡子他

〔授業科目の内容〕

IT時代に突入して以来、アナログ情報として代表的な書物の世界を新たに見直す動きが国際的に出てきました。電車に乗れば、携帯や電子ブックを使う人の隣には、依然として文庫本を読む人が座っています。

そこで春学期には、高宮君が西洋の書物史を、書写材料、音読と黙読、写本と印刷本、書物収集、書物流通、製本、蔵書と図書館などを多角的に、場合によってはデジタルの手段を用いて紹介します。

秋学期には、文学部内外の研究者が、英米文学、国文学、図書館情報学など、それぞれ所属する分野でお得意の書物学、書誌学の魅力について、あるときは美しい古書を前に、あるときはインターネットを用いて紹介します。

〔教科書〕

なし、原本やコピー、映像資料などを適宜使用します。

〔参考書〕

授業時に、各講師が適宜紹介します。

人類学

「自然界の中のヒト：進化と変異」

4単位 通年
高山 博

〔授業科目の内容〕

ヒト (Homo sapiens) の定義を知っていますか？人類学的定義には、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は、現生種ヒト (地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位) が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なのですが、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

〔教科書〕

指定しません。

〔参考書〕

講義内容に近いものとしては、埴原和郎「人類の起源」(講談社)、ルーウィン、R.(保志訳)「ここまで分かった人類の進化」(てらべいあ)、馬場・高山編著「人類の起源」(集英社)

朝鮮文化・文学の歴史 / 朝鮮文化・文学の歴史(春学期)

2単位 春学期

4単位 通年
野村 伸一

〔授業科目の内容〕

朝鮮民族の文化と文学を歴史のなかで考える授業です。前期、後期は独立したものですが、ともに、問題の所在を知らせるための講義をやり、そのあと受講生との質疑をします。

前期は朝鮮半島の伝統文化について幅広くみていきます。映画のなかの場面や風俗画、写真などを利用して人びとの日常生活や人生行事、宗教観に触れたいとおもっています。

後期は、文学とのかかわりのなかで文化の諸相を取り上げます。

〔教科書〕

毎回プリントを配布

〔参考書〕

講義時にプリントで提示。そのほか、ウェブサイト<http://web.hc.keio.ac.jp/shnomura/> および <http://www.flet.keio.ac.jp/shnomura/> (慶應義塾大学アジア基層文化研究会) に掲載されたものを参照してください(随時更新します)。

朝鮮文化・文学の歴史 / 朝鮮文化・文学の歴史(秋学期)

「想像力、そして交流と比較」

2単位 秋学期

4単位 通年

李 泰文

〔授業科目の内容〕

朝鮮文学の歴史を理解する前に、文学とのかかわりのなかで文化の諸相を取り上げます。人類の想像力と文学、そして技術と発展と文学など様々な観点から文学を照明してみます。

建国神話から朝鮮王朝の文学、そして近代文学まで文学の流れとその特徴についても概論していきます。西欧列強との葛藤、新興日本帝国による侵略といった難しい状況下、人びとの文化的な営みはどのようなものだったのか、知識人の模索した近代はどのような作品を生み出したのかを検討してみます。

〔教科書〕

毎回プリントを配布

〔参考書〕

講義時にプリントで提示。

『朝鮮を知る事典』、平凡社

『知れば知るほど理解が深まる「日本人と韓国人」なるほど事典』、PHP研究所

人文科学特論 (哲学) / 人文科学特論 (哲学)

「哲学入門」

2単位 春学期 / 秋学期

斎藤 慶典

〔授業科目の内容〕

哲学のテキストを読み、その内容について参加者の報告と問題提起を求め、全員でディスカッションをします。この作業の積み重ねを通して、厳密に思考し、それを表現する訓練の場としたいと思います。取り上げる哲学のテキストは古今東西を問いませんが、入門者向けの授業であることを考慮して、「シリーズ・哲学のエッセンス」(NHK出版)から何冊かを取り上げます。なお、授業担当者の専門と問題関心については、『文学部専任教員一覧』を参考にしてください。

〔教科書〕

上記のように「シリーズ・哲学のエッセンス」(NHK出版、各1000円+税)より適宜取り上げますが、一冊目として何を読むかについては科目ガイダンス時にお知らせします。

〔参考書〕

そのつど、必要に応じて紹介します。

人文科学特論 (哲学)

「レヴィナスを読む」

2単位 春学期

堀江 聡

〔授業科目の内容〕

エマニュエル・レヴィナスの名著を邦訳で講読する。

〔教科書〕

履修者と相談の上、決定する。

【参考書】

授業中、適宜指示する。

人文科学特論（哲学）

「レヴィナスを読む」 2単位 秋学期
堀江 聡

【授業科目の内容】

エマニュエル・レヴィナスの邦訳を講読する。

【教科書】

春学期と同じものにするか別のものに変えるか、履修者と相談の上、決定する。

【参考書】

授業中、適宜指示する。

人文科学特論（倫理学）

「古典を読む」 2単位 春学期
谷 寿美

【授業科目の内容】

東西の古典的名著の講読を通して、各文化圏の精神的基盤となっている宗教性に触れます。

【教科書】

プリントあるいは文庫本で。

人文科学特論（倫理学）

「古典を読む」 2単位 秋学期
谷 寿美

【授業科目の内容】

東西の古典的名著の講読を通して、各文化圏の精神的基盤となっている宗教性に触れます。

【教科書】

プリントあるいは文庫本で。

人文科学特論（倫理学古典読書会）

「倫理学書を音読する」 2単位 春学期
山内 志朗

【授業科目の内容】

この授業では、西田幾多郎の『善の研究』を読んでいきます。この書は難解なことで知られていますが、読み方によっては分かりやすい本です。西田幾多郎の日本を代表する大哲学者が、『善の研究』ということで、特に「善」ということで何をを目指していたのか味読することで、倫理学の基本を身につけることを目指します。

【教科書】

西田幾多郎『善の研究』岩波文庫、第2編を中心に進めます。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

人文科学特論（倫理学古典読書会）

「風土に関する倫理的考察」 2単位 秋学期
山内 志朗

【授業科目の内容】

この授業では、和辻哲郎の『風土 人間学的考察』を読み進めながら、人間存在の契機として含まれる「風土」ということを考察していきます。環境倫理の問題を考える上での基本文献でもありますが、未来に対して何を残すことができるのかを考える上でも、重要な指摘が行われています。広い視野から「風土」という問題を考えていきます。

【教科書】

和辻哲郎『風土 人間学的考察』岩波文庫、1979年

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

人文科学特論（音楽）

「作曲家研究入門」 2単位 春学期
西川 尚生

【授業科目の内容】

ある特定の作曲家について調査・研究しようとする際、どのようなアプローチの仕方があるのかを学ぶ。今年度は古典派の3人の作曲家（ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン）を題材として、伝記研究と作品研究のさまざまな方法論、作曲家研究の抱える諸問題について講義する。また履修者には課題を与え、授業内に発表してもらおう予定である。

【参考書】

西川尚生『モーツァルト』音楽之友社、2005年

久保田慶一『音楽の文章セミナー』音楽之友社、2006年

人文科学特論（音楽）

「西洋音楽史の名曲」 2単位 秋学期
西川 尚生

【授業科目の内容】

J. S. バッハ（1685 - 1750）以降の西洋音楽史の代表作を鑑賞し、作品の特徴、成立の背景等について考察する。履修者には課題を与え、授業内に発表してもらおう予定である。

【参考書】

授業内で指示する。

人文科学特論（美術）

「芸術の意味と解釈」 2単位 春学期
遠山 公一

【授業科目の内容】

西洋美術史、特にイタリアの14世紀ゴシック美術から17世紀バロック美術に至る絵画・彫刻作品を取り上げ、その意味と解釈について論じる。西洋美術史研究におけ

る主要な方法論とは、形や色などの造形的特徴を問題とする様式論、意味や主題を論じる図像学、また機能やパトローネージについて論じる社会的な方法などが挙げられる。そこにおいて特に図像学や図像解釈学による解釈例、また社会的観点から政治的・宗教的解釈を通じての解釈例を挙げて、西洋美術史学研究の現状を述べ、ひいては美術史とは何かということを知りたい。

【教科書】

特になし

【参考書】

授業内に指示

人文科学特論（美術）

「美術作品の見方 19世紀から20世紀初頭までのフランス美術を中心に」 2単位 秋学期
末吉 雄二

【授業科目の内容】

この授業は、教師が教壇から講義をするという形式ではなく、履修する学生諸君が、自分で美術作品を選び、その作品に対する自分の評価や考えを授業の時間に行う発表を中心として進めてゆく。19世紀から20世紀初頭のフランス美術を中心に作品を選んで、作家についてや、その作品が制作された経緯などを調べ、作品を観察し、分析して、その成果を20分程度で発表することを目指す。美学美術史学専攻の3・4年で履修する研究会（ゼミナール）のための「入門講座」となることを期待している。美術作品の鑑賞や理解は、本来、観光案内や簡単な解説書などに書かれている「知識」を詰め込んで受け売りすることとは無縁である。それは誰でも納得できることだが、だからといってただ個人的な「判断」を述べるだけでは、なかなか他人は納得してくれない。「作品をよく見る」といっても、何を見ればよいのか迷うことも多いだろう。この授業は「作品を見る」練習であり、自分の意見に説得力を与えるための訓練である。

【教科書】

特になし。学生諸君が、選んだ作品に関係する「情報」を自分で探す。教師はその手伝いをします。

【参考書】

ケネス・クラーク「絵画の見方」、高階秀爾「名画を見る目」など。授業時に詳しく案内する。

人文科学特論（日本史学）

『日本霊異記』を読む」 4単位 通年
三宅 和朗

【授業科目の内容】

『日本霊異記』は平安初期に成立した、現存最古の仏教説話集である。上中下3巻にあわせて116話をのせている。因果応報を説く諸説話からは、『続日本紀』などの国家が作成した正史と異なり、8世紀代の僧侶・地方豪族・庶民の生活や信仰の様子を具体的に知ることが出来る。本特論では日本古代史の立場から『日本霊異記』中巻を少しずつ読み進めていくことにしたい。

【教科書】

中田祝夫『日本霊異記』(中)全訳注(講談社学術文庫)

【参考書】

授業で適宜指示する。

人文科学特論（東洋史）

「歴史から見る現代中国」 4単位 通年
山本 英史

【授業科目の内容】

現代中国がかかえる諸問題について考えることを目的とする。

講義では毎回一つのテーマについて問題提起し、それに対する討論・質疑を中心に展開していく。

【教科書】

そのつどプリントを用意する。

【参考書】

中国百科 大修館書店

人文科学特論（西洋史）

「スポーツから見る近現代ヨーロッパ」 4単位 通年
山道 佳子

【授業科目の内容】

私たちにとって身近な存在であるスポーツ（特にヨーロッパ・サッカー）を題材として、ヨーロッパの地域文化の特質と、「近代」というものの意味について、歴史的に考察します。文献を読み、議論しながら、身体・ジェンダー・ナショナリズム・メディアといった歴史研究のホットな視点を紹介していきますので、暗記ものではない歴史の面白さを体得してもらいたいと思います。また、ゼミ形式で進めていきますので、レジュメを作成しての報告の仕方、参考文献の探し方、レポートの書き方といった基礎技術を身につけることも（副次的な）目標とします。

*報告者を決め、ゼミ形式で進めていきます。また毎回全員に質問やコメントなどの発言を求めます。履修者を制限することもありますので、1回目のガイダンスには必ず出席して下さい。

【教科書】

さしあたってのテキストとして：多木浩二『スポーツを考える 身体・資本・ナショナリズム』ちくま新書(680円)。

【参考書】

毎回の授業の中で指示します

人文科学特論（西洋史）

「ヨーロッパ中世世界への入門」 4単位 通年
吉武 憲司

【授業科目の内容】

ヨーロッパ世界は、中世の時代に形成されたものに他なりません。この授業では、ヨーロッパ中世史に関する古典的な著作を読みながら、ヨーロッパ世界形成の問題

を考えてみます。また、この作業を通して、歴史という学問はどういうものかといった点も考えてみたいと思います。

人文科学特論（民族学考古学）

4単位 通年

阿部 祥人 安藤 広道
佐藤 孝雄 杉本 智俊
山口 徹

【授業科目の内容】

この科目は、考古学及び民族学がどのような関心を持ち、成果を上げてきたのかを簡潔に紹介することを目的としている。文学部史学科民族学考古学専攻の教員5名がそれぞれの専門領域について基礎的な講義を行うので、最終的にはこれらの研究の全体像が大づかみで理解できるようになると期待される。担当は、それぞれ阿部が日本考古学（旧石器時代）、安藤が日本考古学（古吉地域の遺跡）、佐藤が環境考古学、杉本がオリエント考古学、山口がオセアニア考古学・民族学である。また、各担当が各地で行なう、各種のフィールドワークにも参加できる。

【教科書】

特に使用しない。

【参考書】

講義中に随時指示する。

人文科学特論（国文学）

「日本語・日本文芸の諸相」 4単位 通年
岩松 研吉郎 石川 透 川村 晃生
佐藤 道生 藤原 茂樹 松村 友視

【授業科目の内容】

国文学専攻の専任教師によるオムニバス形式の講義。上代（古代前期）から近・現代にわたる諸ジャンルの文学・芸能・図像・映像等のテキストについて、言語表現を軸として紹介・考察する。文献学的・書物学的な面からのアプローチがある一方、柳田国男・折口信夫の学統の民俗学的研究法による芸能史・古代学、平安期日本漢文を中心とする日中比較文学、メディア論・大衆文化論をもちいての明治～今日の作家・作品研究、文学と環境・人権・平和の問題、日本語学入門をかねた韻文・散文の表現史と、その間口・切口はひろく多様である。

【教科書】

なし。担当者ごとに、写本・板本・活字本の影印・複写を配布。原資料・映像資料等も適宜提示する。

【参考書】

担当者ごとに、それぞれの初回および講義内の随時に紹介。

人文科学特論（国文学）

「古代日本に於ける漢籍受容」 2単位 春学期
佐藤 道生

【授業科目の内容】

日本は古来中国文化の影響を強く受けながら自国の文化を形成した。しかし、中国から将来された文物を全て無批判に受け入れたわけではなく、そこには自ずと取捨選択の意志が働いた。本授業では、奈良・平安時代によく読まれた漢籍数点を取り上げ、上記の視点からその受容の実態を考察する。

人文科学特論（国文学）

「絵入り御伽草子を読む」 2単位 秋学期
石川 透

【授業科目の内容】

御伽草子は、室町時代から江戸時代前期にかけて成立して短編の物語群である。この御伽草子の中から作品を選び、挿絵を觀賞するとともに本文を活字本で講読していきたい。また、江戸時代以前制作の、実物の絵巻物や絵入り写本を身近に閲覧する。

人文科学特論（中国文学） /

人文科学特論（中国文学）
「オムニバス「中国学への誘い」...慶應のチャイニーズ・スタディーズ」 2単位 春学期 / 秋学期
（春） 山下 輝彦 関根 謙 八木 章好
（秋） 杉野 元子 吉永 壮介 渋谷誉一郎

【授業科目の内容】

文学部中文専攻の専任スタッフがそれぞれの専門分野から、「中国学＝チャイニーズ・スタディーズ」の入門的な紹介を行います。各担当者はおよそ4回の授業で完結する内容を用意し、古典文学、現代文学、中国語学などのジャンルから現在もっとも興味深い話をわかりやすく語ります。教材は担当者ごとに準備しますが、テキストのコピーのほか、映画なども紹介する予定です。

【教科書】

テキストなどは各担当者が用意します。

【参考書】

授業時に紹介します。

人文科学特論（英米文学） /

人文科学特論（英米文学）
「英語英米文学と視覚文化」 2単位 春学期 / 秋学期
河内 恵子 松田 隆美
大串 尚代 高橋 勇

【授業科目の内容】

みなさんはイギリスやアメリカの文学・文化にどのようなイメージをお持ちでしょうか。映像化されたものだけでも、イギリス文学なら『プライドと偏見』『オリバ

ー・ツイスト』『眺めのいい部屋』、アメリカ文学なら『風と共に去りぬ』『華麗なるギャツビー』『スカーレット・レター』など、さまざまな作品が思い浮かぶことでしょう。文学や映画の他、音楽や芸術などの文化的側面でも、イギリスやアメリカは常に視野に入ってくる国ですし、また「英語」という言葉は、わたしたちがもっとも親しんできた外国語の一つでもあります。

この講座では、英語学・英米文学に関連した様々な話題について、オムニバス形式で授業をすすめます。今年度は「英語英米文学と視覚文化」を全体のテーマとして、文学やことばの文化的位置づけをさぐる予定です。人間はことばを用いて考える動物ですが、視覚情報も思考の大きな要素であることはもちろんです。映像・画像をことばで表現したり、ことばを映像・画像、あるいは文字というレベルで「視覚化」することは、人間の歴史を通じてずっと行なわれてきました。言語・文学と視覚文化の関係を、英米文学・英語を例にとっているいろいろな角度から学んでいきましょう。

【教科書】

なし

【参考書】

各講義で指示します。

人文科学特論（独文学）

「ドイツの歴史と文学」

2単位 春学期

斎藤 太郎

【授業科目の内容】

画像・映像資料を使ってドイツの歴史を概観しつつ、時代ごとの政治的・社会的背景のもとでドイツ語圏の文学がどのように発展していったかを紹介します。

【参考書】

阿部謹也『物語ドイツの歴史 ドイツ的とは何か』中公新書 1998年

手塚富雄、神品芳夫『ドイツ文学案内』岩波文庫 1993年

人文科学特論（独文学）

「ドイツの歴史と文学」

2単位 秋学期

斎藤 太郎

【授業科目の内容】

画像・映像資料を使ってドイツの歴史を概観しつつ、時代ごとの政治的・社会的背景のもとでドイツ語圏の文学がどのように発展していったかを紹介します。

【参考書】

阿部謹也『物語ドイツの歴史 ドイツ的とは何か』中公新書 1998年

手塚富雄、神品芳夫『ドイツ文学案内』岩波文庫 1993年

人文科学特論（仏文学）

「20世紀フランス文学と思想」

2単位 春学期

市川 崇

【授業科目の内容】

「何のために書くのか」、「自分について、自分と世界の関わりについて、想像力を用いて文章を書くとき私たちは何をしているのか」、また「なぜ文学は必要なのか」、これらの身近であると同時に、難解な問いを巡って、受講者と自由に議論をしながら、ゼミ形式で授業は進められます。議論の材料として、春学期は主に、ブルトン、マルロー、バタイユ、ブランショ、サルトル、カミュなど、20世紀フランス文学の作家たちの作品、また彼らが「書く」ことを通じて持とうとした社会との関係を紹介し、フランス語の履修者が多い場合には、作品を原文で読む作業も取り入れたいと思います。テキストは、授業時間内に教室でプリントを配布します。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

サルトル『文学とは何か』人文書院

サルトル『存在と無』人文書院

バタイユ『文学と悪』筑摩文庫

バタイユ『内的体験』現代思潮社

ブランショ『文学空間』現代思潮社

ブルトン『シュールレアリスム宣言集』現代思潮社

バルト『零度のエクリチュール』筑摩文庫

デリダ『エクリチュールと差異』法政大学出版

ドゥルーズ『ブルーストと記号』法政大学出版

ドゥルーズ・ガタリ『千のプラトー』河出書房

イーグルトン『文学とは何か』岩波書店

大修館『フランス文学講座』

白水社『フランス文学史』

人文科学特論（仏文学）

「20世紀フランス文学と思想」

2単位 秋学期

市川 崇

【授業科目の内容】

「何のために書くのか」、「自分について、自分と世界の関わりについて、想像力を用いて文章を書くとき私たちは何をしているのか」、また「なぜ文学は必要なのか」、これらの身近であると同時に、難解な問いを巡って、受講者と自由に議論をしながら、ゼミ形式で授業は進められます。秋学期からは、サルトル、バタイユ、ブランショ、バルト、ドゥルーズ、デリダらの「書くこと」を巡る代表的な評論をも検討の対象とし、文学の社会的機能についてのさまざまな考え方を比較対照することになると思います。フランス語の履修者が多い場合には、作品を原文で読む作業も取り入れたいと思います。テキストは、授業時間内に教室でプリントを配布します。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

サルトル『文学とは何か』人文書院
 サルトル『存在と無』人文書院
 バタイユ『文学と悪』筑摩文庫
 バタイユ『内的体験』現代思潮社
 ブランショ『文学空間』現代思潮社
 プルトン『シュールレアリスム宣言集』現代思潮社
 バルト『零度のエクリチュール』筑摩文庫
 デリダ『エクリチュールと差異』法政大学出版
 ドゥルーズ『プルーストと記号』法政大学出版
 ドゥルーズ・ガタリ『千のプラトー』河出書房
 イーグルトン『文学とは何か』岩波書店
 大修館『フランス文学講座』
 白水社『フランス文学史』

社会科学特論（図書館・情報学）
 「情報社会，知の公共領域，情報アクセス」

2単位 春学期
 原田 隆史

【授業科目の内容】

図書館・情報学では、古代の記録から紙、さらに最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、これらの情報メディアに蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには、情報メディアの収集、提供、保存のための社会的な制度である図書館をはじめとする情報システムなどについて、様々な観点から取り扱っています。この講義では、図書館・情報学分野の基礎的なことについて、種々のトピックをとりあげながら紹介していきます。

春学期に設置されている社会科学特論（図書館・情報学）では、図書館のしくみやはたらきを中心にいくつかのトピックを選んで授業を行います。現代の図書館が、図書を保存し貸し出しを行うということ以外に多くの役割を果たしている状況や、映画に見られる図書館の取り扱われ方などを取り上げる予定です。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じて資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

社会科学特論（図書館・情報学）
 「情報社会，知の公共領域，情報アクセス」

2単位 秋学期
 原田 隆史

【授業科目の内容】

図書館・情報学では、古代の記録から紙、さらに最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、これらの情報メディアに蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには、情報メディアの収集、提供、保存のための社会的な制度である図書館をはじめとする情報システムなどについて、様々な観点から取り扱っています。こ

の講義では、図書館・情報学分野の基礎的なことについて、種々のトピックをとりあげながら紹介していきます。

秋学期に設置されている社会科学特論（図書館・情報学）では、インターネット上のサーチエンジンやデータベースの利用などを題材に情報へのアクセスについて考えます。PCを使って実際に検索も行います。また、効果的な検索を可能にするためには、どのような仕組みが使われているのかについても検討して行く予定です。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じて資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

社会科学特論（社会学）

「現代社会を読み解く」 4単位 通年
 浜 日出夫

【授業科目の内容】

「格差社会」「自由」「自己責任」「愛国心」「ナショナリズム」「グローバル化」などをキーワードとして現代社会を多角的に読み解く。

【教科書】

新書を中心に20冊程度。

社会科学特論（教育学）

2単位 春学期
 安藤 寿康

【授業科目の内容】

みなさんはこれまで「教育」の中で学び育ってきました。しかし自ら受けてきた「教育」を対象化し「教育とは何か」と言う問いを発し考えたことはほとんどなかったのではないのでしょうか。この授業では、それまでの自分の教育体験を対象化・相対化する作業を、文献購読とディスカッションを通して考えてゆきます。

【教科書】

イリイチ 「脱学校の社会」 東京創元社
 荻谷剛彦 学校って何だろう 教育の社会学入門 筑摩文庫
 安藤寿康 心はどのように遺伝するか 講談社ブルーバックス
 （その他履修者と相談の上決める）

社会科学特論（教育学）

2単位 秋学期
 安藤 寿康

【授業科目の内容】

みなさんはこれまで「教育」の中で学び育ってきました。しかし自ら受けてきた「教育」を対象化し「教育とは何か」と言う問いを発し考えたことはほとんどなかったのではないのでしょうか。この授業では、それまでの自

分の教育体験を対象化・相対化する作業を、自分の先生へのインタビューとディスカッションを通して考えてゆきます。

【教科書】

特に用いません

社会科学特論 (人間科学)

「社会学入門」

2単位 春学期

鹿又 伸夫

【授業科目の内容】

この科目では、＜社会的なものの方見方＞を習得することを目的とします。社会には、産業化、IT化、都市化、高学歴化、少子高齢化、階層や男女や地域の格差、フリーターやニート、失業、いじめ、自殺、環境汚染などなど、さまざまなできごとや現象があります。こうしたことを社会的に見るとは、どういうことかを一緒に考えていきたいと思ひます。

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿 - JGSSにみる意識と行動』有斐閣選書, 2200円。

社会科学特論 (人間科学)

2単位 秋学期

小林 ポオル

【授業科目の内容】

コミュニケーションを成り立たせているもの、そして人間のさまざまな行動・考えを分析する基本は言語です。しかし、言葉に出来ない、言葉にすると何か変わってしまうという思いも日常的に経験します。

われわれが漠然と思っているように、もしもこの言語が世界と必然的なかたちで結びついている記号システムなら、これは単に表現技術の問題になります。しかし、言語の成立を注意深く観察すると、言語はそのような便利なシステムではないし、現代社会はこの言語の特性に深く影響されていることがわかります。この授業では、ものを考える出発点としての言葉について、さまざまに議論していきたいと思ひます。

【教科書】

第1回目の授業で指示します。

【参考書】

丸山圭三郎『文化のフェティシズム』勁草書房
クラブ, O.E.(小池和子訳)『過剰と退屈』勁草書房

自然科学特論 (心理学)

「心は実験できるか？」

2単位 春学期

渡辺 茂

【授業科目の内容】

この教科書は出版後、大きな反響を呼び、特に心理学者からのクレームが相次いだといういわくつきの本であ

る。著者は心理学者であるが、本書はジャーナリストとしての立場で書かれている。もちろん、僕も反論したい部分はあるが、心理学者ならだれでも知っている10の実験を取り上げて、その紹介、社会的影響などをスリリングに述べている。この授業を通じて世間でいわれる”心理学”とアカデミズムでの心理学の違い、現代心理学の方法と、限界が理解できると思ひます。

【教科書】

スレイター「心は実験できるか」紀伊国屋書店

【参考書】

渡辺茂「ヒト型脳とトリ型脳」文春新書

渡辺茂「認知の起源をさぐる」岩波新書

自然科学特論 (心理学)

「実習による科学入門」

2単位 秋学期

増田 直衛

【授業科目の内容】

心理学は自然科学を手本として、私的な体験事実の客観化を目指してきました。具体的な体験を通して、科学的に考えるとどのようなことか、心理学の実習を通して理解する機会としてみよう。

【教科書】

資料プリントを配布します。

【参考書】

菊池 聡・谷口高士・宮元博章(編著)「不思議現象なげ信じるのか こころの科学入門」北大路書房
その他、その都度、授業時間中に指示します。

2 経済学部

基礎教育科目

線形代数	2単位 春学期
池田 薫	桂田 昌紀
佐古 彰史	立谷 洋平
田中 孝明	西岡久美子

〔授業科目の内容〕

ベクトルや行列の演算、行列式、その応用として連立1次方程式の解法について学ぶ。これらの知識は多変数関数の解析においても使われるので確実に理解しておく必要がある。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

2年次に経済数学、(99学則は経済数学 A、経済数学 B、経済数学)を履修しようとしているタイプの学生は必ず履修しておくこと。

〔教科書〕

「線形代数」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

微分積分	2単位 秋学期
相原 義弘	厚地 淳
小木曾啓示	鈴木 達夫
戸瀬 信之	光 道隆
丸山 文綱	宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

2変数関数の偏微分、1, 2変数関数の積分について学ぶ。偏微分は経済学を理解するために必須であり、また積分は統計学で必要となる。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

再履修する学生で1変数の微分法をしっかりと修得していない場合には春学期の微分積分入門も履修してください。

〔教科書〕

「微分積分」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

微分積分入門	2単位 春学期
「微分積分への導入としての1変数微分学の基礎」	
相原 義弘	厚地 淳
小木曾啓示	鈴木 達夫
戸瀬 信之	光 道隆
丸山 文綱	宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

春学期の「微分積分入門」ではイプシロン-デルタ論

法に基づく極限概念を導入し、そこからRolleの定理やTaylorの定理など説明し、さらに、その応用にまで話が及ぶ。演習も織り交ぜながら講義をする予定であるが、講義時間以外にも各学生が自主的な演習を行うことが望ましい。

秋学期の「微分積分」では春学期の「微分積分入門」の知識を前提とし講義を行う。従って、春学期に基礎教育選択科目の「微分積分入門」を未履修のものは秋学期必修科目の「微分積分」の合格がきわめて難しくなる(実質的に不可能となる)ので、必ず春学期に「微分積分入門」を履修すること(クラス指定有)。

〔教科書〕

「微分積分」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

線形代数続論	2単位 秋学期
池田 薫	桂田 昌紀
佐古 彰史	立谷 洋平
田中 孝明	西岡久美子

〔授業科目の内容〕

線形代数に引き続きベクトルや行列について学ぶ。2年次の経済数学、(99学則は経済数学 A、経済数学 B、経済数学)はこの講義の内容を前提とする。講義の中で演習も行い理解を確認しながら進む。

2年次に経済数学、(99学則は経済数学 A、経済数学 B、経済数学)を履修しようとしている学生は必ず履修しておくこと。

〔教科書〕

「線形代数」(慶應義塾大学経済学部)

〔参考書〕

授業中に指示する。

数学概論	2単位 春学期
	光 道隆

〔授業科目の内容〕

経済の成長や市場メカニズムなどの、経済の基本的な事項を記述するのに、数学が用いられている。そのため、経済学を理解するのに、数学、特に微分積分の考え方が必要になってくる。数学概論では高校ではあまり数学を勉強してこなかった学生諸君を対象にして、マクロ、ミクロ経済学で必要になる数学を準備する。

数学概論では高校の復習をしながら1変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

講義の冒頭で指定する。

〔参考書〕

須田宏『初学者のための微分積分入門』培風館
河添健『大学で学ぶ数学』慶應義塾大学出版会
戸瀬信之『経済学を学ぶための微分積分学』エコノミ
スト社

数学概論

2単位 秋学期
光 道隆

〔授業科目の内容〕

数学概論 で扱った1変数の関数 $f(x)$ は変数 x の値が決まると1つの値 $f(x)$ が決まるような関数であった。しかし、実際の現象では1つの要因によって決まるといことは珍しく、2つ以上の要因によって値が決まるといことが多い。そこで、数学概論 ではマクロ、ミクロ経済学で必要になる多変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

講義の冒頭で指定する。

〔参考書〕

須田宏『初学者のための微分積分入門』培風館
河添健『大学で学ぶ数学』慶應義塾大学出版会
戸瀬信之『経済学を学ぶための微分積分学』エコノミ
スト社

世界経済の現状と問題

「日本の通商政策入門」

2単位 春学期
馬田 啓一

〔授業科目の内容〕

本講義では、最新かつ重要な世界経済の諸問題を平易に解説します。講義を通じて、世界経済の現実の展開に対する学生諸君の関心と理解を大いに高めたいと思います。このため、単なる基礎的な経済理論の説明にとどまらず、いま論議を呼んでいる世界経済のトピックス、例えば、貿易摩擦、企業の海外投資、通貨危機、WTO交渉、FTA（自由貿易協定）の動き、各国経済事情などをできるだけ講義のテーマに取り上げて、わかり易く解説していく方針です。

〔教科書〕

馬田啓一／浦田秀次郎／木村福成編著『日本の新通商戦略』文眞堂、2005年、2600円

青木健／馬田啓一編著『日本の通商政策入門』東洋経済新報社、2002年、2800円

なお、毎回、簡単なレジュメを一枚配布します。

〔参考書〕

青木健／馬田啓一編著『日米経済関係論』勁草書房、2006年、3300円

青木健／馬田啓一編著『提言／日本の対アジア経済政策』日本評論社、2004年、2800円

青木健／馬田啓一編著『経済検証／グローバリゼーション』文眞堂、2001年、3300円

青木健／馬田啓一編著『ポスト通貨危機の経済学』勁

草書房、2000年、3800円

馬田啓一／大木博巳編著『新興国のFTAと日本企業』ジェトロ、2005年、2200円

世界経済の現状と問題

2単位 秋学期
竹森 俊平

〔授業科目の内容〕

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

〔教科書〕

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

日本経済の現状と問題

「戦後から今日の日本経済の動き」

2単位 春学期／秋学期
大村 達弥 他

〔授業科目の内容〕

このコースは、初めて経済学を学ぼうとする一年生を対象に、日本経済の実態を経済データや経済理論を用いて解説することである。特に、戦後の復興、高度成長、二度にわたる石油危機、プラザ合意とバブル経済、平成不況、金融危機そして近年の景気回復といった、戦後から今日に至る日本の経済の動きを歴史的に勉強する。また人口構造の変化を背景に深刻化しつつある財政赤字や社会保障費の累増などの問題にどう取り組むかといった構造改革の課題を扱う。その中では、どのような要因によって日本経済が動いているのか、それぞれの時期でどのような経済政策（財政・金融政策）が採られ、その効果はどのようであったのかを解説する。「世界経済の現状と問題」と合わせて履修し、経済を学ぶことへの知識と興味を持つことを期待したい。具体的な講義内容と講義の編成は、講義担当者によって異なる。

主な講義内容：

経済と経済学をいかに学ぶか

1. 経済現象をいかに理解するか
2. 経済データの読み方
3. 経済理論の意義と実証分析の方法
世界における日本経済

1. 世界における日本経済の大きさ
2. さまざまな経済システムと日本経済
3. 国際協力と日本経済
日本経済の発展と変動

1. 日本経済発展の軌跡
2. 日本経済発展のメカニズム
3. 日本経済の景気変動と経済政策

日本経済の構造変化と政策課題

1. 日本経済社会の構造変化と経済・社会政策
2. 日本の行政システムと政策決定
3. 日本経済の政策課題

〔教科書〕

各担当者が指定する。

情報処理履修上の注意事項

履修にあたっての学則上の制約などについて

1. 卒業するためには「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」のいずれか1科目2単位を履修し、合格しなければなりません。
2. ただ、これは一科目のみしか履修できないことを意味するわけではなく、複数の情報処理科目を履修することができます。
3. また違うサブタイトル*のものであれば同一名称の科目であっても履修することが可能です。たとえば同じ「情報処理 」であってもサブタイトルの違う「C言語プログラミング 」と「WWWによる情報発信とサービス提供 」の両方を履修できます。(もちろん履修単位上限の範囲を超えて履修はできません。)
*情報処理 (Windows入門) <既習者用>と情報処理 (Windows入門)は同一サブタイトルと見なします。
4. ただし同一名称の情報処理科目を複数履修する場合、2科目めからは自由科目として履修します。進級や卒業要件として算入される単位数には制約がありますので、注意してください。

進級単位

第2・3学年に設定されている**基礎教育科目の進級条件**には、「情報処理 」2単位、「情報処理 」2単位の合計4単位までが含まれます。

卒業要件

- a. 違うサブタイトルの同一科目(「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」)を複数履修した場合は、2科目めからは自由科目としての履修となり、卒業要件には含まれません。
- b. 「情報処理 」「情報処理 」の片方だけを履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目として卒業要件に認定されます。
- c. 「情報処理 」「情報処理 」の両方を履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目に、残りの2単位分は卒業単位認定科目として認定されます。
- d. 「情報処理 」は履修し合格すると1科目2単位分が基礎教育科目の選択科目として卒業単位認定科目に認定されます。

どのような科目を履修すればよいか

経済学部において「情報処理」は基礎教育科目として位置づけられています。今後、諸君が経済学部で必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的としています。もちろん必要最低限の知識を修得するだけでなく、さらに高度な知識を得られるような科目も用意されています。

諸君は、自らの興味と必要を満たすためにどの科目を受講すべきかを考えて、履修科目を決めましょう。

ただし、科目によっては、ある程度の知識を前提として必要とするものがあります。何も無い状態で教室に来てすべてがわかるほど学問というものには甘いものではありません。それは段階を追って必要な科目を履修することによって(もしくは自分で知識を得ることによって)得られるものです。たとえばある科目を履修したいと思ったならば、その科目を履修するために必要な知識は何かを見極め、それを得るために必要な科目を履修したのちに自分がターゲットとする科目を履修する、という**履修プラン**をたてましょう。

各科目を履修するために必要な知識については、各科目の講義要綱に記載されています。また科目によっては、はっきりとある科目の履修を前提としている場合もあります。これらについても講義要綱に記載されています。まず、講義要綱を熟読することが大事です。(以下にも表としてまとめられていますが、これはあくまでサマリーです。詳細については講義要綱を見てください。)

過去、時間割の「選択必修科目」という項目だけを見て、わけもわからず高度な内容の講義の教室に学生が多数殺到するという情けない状況が見られました。**自分のレベルはどの程度なのか、そして、自分がどういった知識を身につけたいのか、をきちっと把握してから、科目を選択しましょう。**

まずレベルについてですが、ただし初心者であればあるほど、自分のレベルは見極めにくいものです。だいたい次の表を目安としてください。

レベル	科目
まったくさわったことがない	情報処理 (Windows入門)
パソコンを使ったことがあるけれども ・ゲームで遊ぶだけ ・ホームページ*を見る程度	
Windowsパソコンで ・Eメールの文章の編集・送受信 ・WWWページを見る ・ワープロでの文章作成 をやったことがある	・情報処理 (Windows入門 既習者) ・情報処理 (UNIX入門) ・情報処理 の各科目

*) ちなみに世間一般に「ホームページ」と呼ばれているので、わかりやすくするためにこう書きましたが、これは誤用です。

次に前提とする知識ですが、どの科目をあらかじめ履修すべきかは各科目の講義要綱に記されています。また、必ずしも前提条件というわけではありませんが、関連する知識を提供する科目であるため、履修しておく、別の科目の理解が容易になる、という科目もあります。これらをまとめておきます。

科目名	前提となる科目	関連する知識を提供する科目
情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)		情報処理 (UNIX入門)
情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)	情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)	情報処理 (UNIX入門) 情報処理 (C言語プログラミング) 情報処理 (fortran言語による統計データ処理)
情報処理 (C言語プログラミング)		情報処理 (UNIX入門)
情報処理 (C言語プログラミング)	情報処理 (C言語プログラミング)	
情報処理 (fortran言語による統計データ処理)	統計学 (並行して履修すること)	
情報処理 (fortran言語による統計データ処理)	情報処理 (fortran言語による統計データ処理) 統計学 統計学 (並行して履修すること)	
情報処理 (Excelによる統計データ処理)	情報処理 (Windows入門) (もしくはそれ相当の知識) 統計学 / (並行して履修すること)	

以上の表と各講義の講義要綱をよく読んで、情報処理科目の履修プランをたてた上で、今年度の履修科目を決めましょう。

履修制限について

情報処理の各科目は講義とともにPCを使った演習を伴うため、配当された教室の定員が履修者数の上限となります。したがって、履修希望者が教室の定員を超えた場合、履修制限を実施することになります。

クラス指定のある「情報処理 (Windows入門)」

1. 情報処理 (Windows入門)(既習者向け)はクラス指定が設けられています。諸君は指定されたクラスのコマを履修してください。

クラス指定のない「情報処理（Windows入門）」、「情報処理（UNIX入門）」、情報処理、情報処理

1. クラス指定のない科目（情報処理（UNIX入門）、情報処理（Windows入門）（未習者向け）、情報処理、情報処理）で履修希望者が定員を超えた場合には**事前登録に基づいた履修制限**を行います。
2. 事前登録は、各科目の第1回目の講義（科目ガイダンス週間中）の際に行いますので、履修希望者は必ず出席するようにしてください。
3. 履修制限を行う場合、この事前登録を行ったものを優先的に扱うことになります。（ただし事前登録者数が教室定員を超えてしまった場合には、事前登録者の中から抽籤を行うことになりますので、事前登録者が必ず履修できるわけではないことをご承知おきください。）
4. なお、情報処理（Windows入門）（未習者向け）は、高校において情報科目を履修したはずの学生（2006年3月以降に高校を卒業した学生）は履修できません。高校で情報科目を履修したはずの学生は既習者向けクラスを履修してください。未習者向けクラスに事前登録をした場合、教室定員を超えない場合でも履修が制限されることがあります。

 情報処理 (Windows入門)

 2単位 春学期 / 秋学期
 赤林 由雄 他

【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあってもたりなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形での情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して(極端に言えば)全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならなくなることは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理」は、windows搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理(作成・編集・加工など)・データ処理(計算・グラフの作成など)・情報の受発信(Eメール・WWWなど)の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

なお、この授業では「既習者向け」のクラスと「未修者向け」のクラスが設置される。未修者向けクラスでは、電源投入の仕方・切断の仕方、マウスやキーボードの基本的な使い方、といったところから始まる。既習者向けクラスは、そういった初心者を対象とした部分は扱わない。高校において「情報」を履修してきた学生や既にある程度の経験がある学生にとっては、そのような内容をわざわざ習う必要はないはずであるから、「既習者向け」のクラスを受講すること。逆に未修者向けクラスは高校において「情報」が必修でなかった2005年3月以前に高校を卒業した者のみ履修可能である。

【教科書】

最初の講義で指示する。

【参考書】

最初の講義で指示する。

 情報処理 (UNIX入門)

 2単位 春学期 / 秋学期
 丸山 文綱

【授業科目の内容】

この授業では、一般的なパソコン(WindowsまたはMacintosh)しか扱ったことのない学生を対象にして、大規模なコンピュータにも使われているオペレーティングシステム(OS)の1つであるUNIX(あるいはPOSIX、LINUX)を通し、主にコマンドラインからコンピュータを操作する方法を学習します。

いわゆるパソコンは、いまや構成や仕組みをあまり知らなくてもひととおり「道具」として使えるようになっています。そのため多くの人は仕組みについて考えることなく、単に便利な道具として使っています。

しかし中身を知らないことにより、ときにはコンピュータを便利に使っているつもりが、コンピュータに振り回されるという皮肉な状況を産むことにもなります。たとえば、自分で新しいことを始めようと思ったり、トラブルに自分で対処しなければならなくなったり、トラブル防止の保守作業を自分でしたりするためには、コンピュータの仕組みと動作原理についての基本的な知識が必要になります。

WindowsでもMacintoshでも、OSやアプリケーションは、UNIX等の、コマンドラインから命令を与えて処理をする、という環境がもとになっています。UNIXの考え方を理解することで、コンピュータそのものの理解はもとより、たとえばコンピュータ業界の現状に関してもより理解しやすくなるはずです。

またネットワークの理解に必要なUNIXの標準的なアプリケーションの紹介もします。日吉ではUNIXを通して個人ホームページが持てるようになっていきますので、その方法も学習します。必要に応じ、さらに深いところまで説明することもあるかもしれません。

コンピュータの基本を、UNIXを通してひととおり体験、学習することで、コンピュータの理解、さらにコンピュータを使った将来の作業への助けとしてください。

【教科書】

特に指定しません。授業ではプリント等を配布するなどして、その回に必要な情報を提供します。

【参考書】

特に指定しません。授業ではプリント等を配布するなどして、その回に必要な情報を提供します。

 情報処理 (Excelによる統計データ処理)

 2単位 秋学期
 赤林 由雄

【授業科目の内容】

諸君には「統計学」が必修科目として課せられている。経済を分析するためには統計学の知識は不可欠だと考え

られているからである。(経済現象だけではなく、さまざまな現象を計量的に分析しようとするための作法として統計学は必須の知識である。)

ところが統計学では、時間数に比して学ぶことが多く、実際のデータを用いた演習が不足しがちである。(もちろん担当者による差異はある。)また、演習の際には大量の計算が必要であるが、そのために用いられているのは電卓であることが多いようである。(これには学生全員がパーソナルコンピュータを教室に持ち込める環境ではない、という事情もある。)

しかしながら、諸君が三田に来て直面するのは、実際に大量のデータを使った分析であり、その際には電卓での計算などはほとんど考えられず、多くの場合はコンピュータを駆使して計算せざるをえなくなるはずである。

この授業では、統計学の知識に基づいて(...といっても現実には忘れてしまっている学生が多いので、復習をかねた話を混ぜながら)統計学で学んだことをコンピュータで処理する方法、さらには、その前後で必要となるさまざまな処理法(たとえば、経済データを日経NEEDSなどの各種データベースから収集する方法など)について身につけてもらうことを目的としている。この授業を通じて、統計学の知識をより確実なものにし、実際のデータ分析にも強くなってもらおう、というのが、担当者のねらいである。

情報処理 (C言語プログラミング) /

情報処理 (C言語プログラミング)

2単位 春学期 / 秋学期

北川 尚 丸山 文綱

【授業科目の内容】

コンピュータとは、あらかじめ与えた手順に従って、終了の指示まで自動的に処理を行う機械です。

C言語がそなえるポイントを通して、このはたらきを理解してもらうことがこの授業の目的の一つです。

春学期の情報処理 (C言語プログラミング) では、これまでC言語を学んだことのない学生を対象にして、C言語の基礎的な内容を紹介します。

秋学期の情報処理 (C言語プログラミング) では、春学期の情報処理の内容を前提としてさらに高度な内容を紹介します。

プログラミングを通してコンピュータの処理を理解すれば、自前のアプリケーションの作成や開発もできるようになるでしょう。また、Windows等のアプリケーションでの高度な操作を容易に行えるようになるでしょう。

【教科書】

授業で毎回プリントを配布します。

【参考書】

最初の講義で指示します。

情報処理 (fortran言語による統計データ処理)

情報処理 (fortran言語による統計データ処理)

2単位 春学期 / 秋学期

赤林 由雄

【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたって、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。その際、強力なツールになるのはコンピュータであり、その処理の多くはワードプロセッサや表計算ソフト、統計処理パッケージなどのアプリケーションソフトで対処できるものである。しかしながらそこでできるのはあくまでお仕着せの処理であり、必ずしもかゆいところに手が届くような仕様になっているとは限らない。自分が本当にやりたいことをコンピュータにやらせるためには自分でプログラムを組む必要がある。そのためには何か一つ言語を習得しておくことが必須の条件である。

また自分でプログラムを組むことにより、コンピュータがさまざまな処理をどのようにおこなっているかの一端が理解できるようになる。これは決して無駄なことではない。この経験はアプリケーション・ソフトを使用している際に発生するさまざまなトラブルに遭遇したときに生きてくる。計算機での一般的な処理がわかればある程度の対処の仕方がわかってくるのである。

私が担当する情報処理 Ⅰ では、fortran言語を使ったプログラミングを扱う。

このfortranはコンピュータが実用化した当初からあるプログラミング言語であり、主に科学技術計算に使われている。計算機科学の専門家にはいつも時代遅れというレッテルを貼られ、まもなく廃れるであろうと言われ続けながらもしぶとく生き残ってきている言語である。それは大型コンピュータでもパーソナル・コンピュータでもそれほど使い勝手が変わらず、**初心者にとっては理解が容易な言語だから**というのがその理由の一つである。おそらく実際の処理に使える段階に到達する速度は他の言語よりもかなり早いのではなからうか。

諸君はこの言語によるプログラミングを通じて、コンピュータで情報を処理するためにはどのような手順をふむべきかを修得してほしい。ここで一つの言語と処理の手順をものにできれば、他の言語での処理の修得はかなり楽なものになるだろう。

また経済学部の学生がよく使う**計量分析用のパッケージTSP**はもともとfortran言語で開発されたという経緯があり、fortran言語に近いコマンド体系をとっている。したがってfortranを学ぶことにより、TSPを違和感なく高いレベルで使えるようになるだろう。

春学期の情報処理 Ⅰ ではプログラミング言語fortranの基本的な文法と基本的なアルゴリズム(処理の手順)の修得を目的とする。これはあくまで基本である。この基本を前提として、秋学期の情報処理 Ⅱ では諸君が経済学の研究を行っていくうえで実際に遭遇するであろうさまざまな事例を解決していくためのプログラミング技法の修得を目的とする。実際のデータを扱う場合、さまざま

まなデータの性質をふまえて処理をする必要がある。数値計算をするとき、統計処理をするとき、また大量のデータを効率的に処理しようとするとき、その場面に応じて必要となる技法がある。それらを具体例に即して覚えていき、この講義が終わったときには使えるプログラムを組めるようになることがこの講義の目標なのである。

【教科書】

浦 昭二編『FORTRAN77入門』(培風館)

【参考書】

- ・William H. Press, et al. NUMERICAL RECIPES The Art of Scientific Computing , Cambridge
- ・茨城俊秀・福島雅夫『岩波コンピュータサイエンス FORTRAN77最適化プログラミング』岩波書店

情報処理 (wwwによる情報発信とサービス提供)
「 HTMLによる情報発信(HTMLとスタイルシート) 」

2単位 春学期
細川 達己

【授業科目の内容】

当科目では、Webページを作成できるHTML関連の知識を習得することを目的とする。ただし、いわゆる個人の趣味的なページの作成に必要な能力ではなく、企業や各種団体のページなど、より公的な意味を持つページを作っていく技術の習得に目標を置き、Web関連の技術と方法論について学んでいく。

このようなWebページでは、単に画面のデザインや内容だけではなく、サイトのトータルデザインや、さまざまな環境における使いやすさ、そして視覚障害者への対応など、個人のWebページをつくる以上に考慮すべき事項が多くあり、またそれらは必ずしも「技術的」なものではない。

当科目では、日吉ITCの使用権(アカウント)とkeio.jp教育支援システムの利用権を持っていることを前提としている。また、パソコンやWebブラウザに関しても、基本的な操作の知識を持っていることが望まれる。テキストエディタ(Windowsなら「メモ帳」でもよい)を使ってテキストファイルを作成することが必要である。

当科目の対象は、例えば次のような人である。

- ・Webページを作ったことはあるが、より実際的なWebページの作り方に興味がある
- ・はじめてWebページを作ってみたいと思っており、HTMLの書き方に興味がある
- ・CGIなどを将来的に作ってみたいと思っている

なお、当科目では、各種プラグイン等のHTMLにあまり関係のない話題はあえてテーマから外し、HTMLとスタイルシートに話題を絞る。また、いわゆるHTMLエディタは使用せず、HTMLを直接テキストエディタで記述することで、HTMLの持つ意味を理解しながら学習していく。そして最終的にはHTMLエディタのようなツールをよりよく使えるようになることや、CGIを作成する基礎となるHTMLの知識を得ることを目的とする。

まずは「Webのコンテンツを書き、インターネット経由で公開する」ということが、従来の印刷による出版やワープロによる文章作成とどのように異なる性質を持つかという、もっとも根本的な問題からはじめ、その性質を踏まえてHTML(とスタイルシート)の使用法、活用法を学習していく。

【参考書】

- ・エ・ビスコム・テック・ラボ「XHTML+CSSスタンダード・デザインガイド」(毎日コミュニケーションズ、2005)
- ・神崎 正英「ユニバーサルHTML/XHTML」(毎日コミュニケーションズ、2000)

情報処理 (wwwによる情報発信とサービス提供)
「 CGIによるサービス提供 」 2単位 秋学期
細川 達己

【授業科目の内容】

HTMLによる静的なWeb情報提供サービスに動的な要素を加えたのはCGIであり、他にもさまざまな動的コンテンツに関する技術が出て来た現在でも、もっとも重要な技術のひとつである。

CGIはインターネットに対して、計算機資源を用いたサービスを公開する技術であり、従来であればネットワークプログラミングの経験豊かなプログラマが行なうことが多かったものである。このため、CGIを製作するには、ネットワークのセキュリティに対する一般的な知識も重要である。

また、情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供) で取り上げたさまざまなHTMLに関する知識を前提として、より公的なサービスに適用できるCGIの作り方を取り上げていく。

CGIのプログラミング言語としては、基本的にPerlを使用する。WebサーバとしてApache httpdをインストールしたUnixサーバを利用し、その上で演習を行なう。

当科目は、情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供) を前提とする。

対象となるのは、例えば以下のような人である。

- ・CGIの作り方に興味がある、プログラミングに興味がある
- ・Webサーバの管理をしたいと思っている、あるいはする予定がある
- ・ネットワークの管理者となる可能性がある

【参考書】

秋本 祥一、古川 剛「CGIプログラミング入門 第二版」(翔泳社、2002)

統計学

「データの記述・統計的推測・仮説検定」

2単位 春学期

赤林 由雄 秋山 裕
河井 啓希 宮内 環

【授業科目の内容】

- (1) 統計的記述（実際のデータをどのように捉えるか）
 (2) 統計的推測（標本から母集団の特徴をどのように推定するか）
 (3) 統計的検定（理論的主張をどのように検定するか）を学ぶことにより統計的分析の基礎を身につける。講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いた統計処理の解説も行う。

【教科書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

【参考書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

統計学

「回帰分析・社会科学分野における応用・統計学の数理的基礎」

2単位 秋学期

赤林 由雄 秋山 裕
河井 啓希 宮内 環

【授業科目の内容】

- (1) 回帰分析（複数の変数の間の因果関係についての分析）を学ぶことにより、経済理論の実証の基礎を身につける。
 (2) 応用分析（様々な経済・社会現象を統計的に分析）を学ぶことにより、統計学を現実社会で幅広く応用する力を身につける。
 (3) 統計学の数理的基礎を学ぶことにより、より高度な統計的分析に備える。講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いた統計処理の解説も行う。

【教科書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

【参考書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

専門教育科目

経済史

2単位 春学期

飯田 恭 崔 在東
長谷川淳一 安元 稔
矢野 久

【授業科目の内容】

経済史の入門的講義を行う。三田で欧米経済史、日本経済史、アジア経済史等を学ぼうとしている学生に対して基礎的知識を与え、また、理論、政策を中心に、学ぼうとしている者に対しては、その視野を広めることを目的とする。地域的には欧米を主に扱うことになる。

【教科書】

担当者が個別に指定する。

【参考書】

担当者が適時に提示する。

経済史

2単位 秋学期

鬼頭 宏 小室 正紀
杉山 伸也 古田 和子
柳沢 遊

【授業科目の内容】

15世紀 - 20世紀の中国・日本を中心とするアジアの経済史について入門的講義を行う。この講義の目的は、経済学を学習するために必要な歴史的視野の拡大と、日本経済史およびアジア経済史についての基礎的な知識を習得してもらうことにある。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

長岡新吉・太田和宏・宮本謙介編『世界経済史入門：欧米とアジア』ミネルヴァ書房、1992年

マクロ経済学初級

2単位 春学期

酒井 良清 塩澤 修平
白井 義昌 瀬古 美喜

【授業科目の内容】

国民所得あるいは国民総生産の大きさは、国民の経済活動の水準を示す指標である。その高さや変動の有様が、雇用と物価を定め、国民の暮らしに与える影響を与える。国民総生産、失業率、物価などの指標を見ながらそれらの統御を目指す政策をマクロ経済政策という。「マクロ経済学初級」では、まず経済学の基本的な考え方を説明した上で初歩のマクロ経済学を説き、経済変動とマクロ経済政策の問題を考えるための基礎を与える。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ 入門経済学』第3版 東洋経済新報社（2005年）

ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ マクロ経済学』第2版 東洋経済新報社（2001年）

N. グレゴリー・マンキュー著（足立他訳）『マンキュー マクロ経済学（1）入門篇・（2）応用篇』東洋経済新報社（1995年、1996年）

オリヴィエ・ブランシャール著『マクロ経済学』上・下 第2版 東洋経済新報社（2003 - 2004年）

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』（第3版）日本経済新聞社（2000年）

瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』（3版用）日本経済新聞社（2000年）

マクロ経済学初級	2単位 秋学期
伊藤 幹夫	大平 哲
尾崎 裕之	山田 太門

〔授業科目の内容〕

「マクロ経済学初級」で習得する知識を前提として、引き続きマクロ経済学の講義を行う。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

参考書については、「マクロ経済学初級」を参照のこと。

ミクロ経済学初級	2単位 春学期
長名 寛明	津曲 正俊
中村 慎助	丸山 徹

〔授業科目の内容〕

「ミクロ経済学初級」では、ミクロ経済学の入門的内容を講義する。消費者と生産者の選択が成立させる需要法則と供給法則を分析すると同時に、希少資源の配分問題を解く一つの経済メカニズムである「市場機構」の分析手法を学ぶ。これらの分析を通じて「市場機構」の機能に関する理解を深めることを目標とする。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

- (1) 入門書（経済学部以外の学生をも対象としたもの）
 - ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ ミクロ経済学』（第2版）東洋経済新報社（2000年）
 - 伊藤元重著『ミクロ経済学』日本評論社（2003年）
 - 矢野誠著『ミクロ経済学の基礎』（第2版）岩波書店（2001年）
 - 矢野誠著『ミクロ経済学の応用』岩波書店（2001年）
 - 奥野正寛著『ミクロ経済学入門』（2版）日本経済新聞社（1990年）
 - 石井安憲・西條辰義・塩澤修平著『入門・ミクロ経済学』有斐閣（1995年）
 - 塩澤修平著『経済学・入門』有斐閣（1996年）
- (2) 中級（経済学部教養過程）
 - 福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』（第3版）日本経済新聞社（2000年）
 - 瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』（3版用）日本経済新聞社（2000年）
 - 西村和雄著『ミクロ経済学入門』（第2版）岩波書店（1995年）
 - 武隈慎一著『ミクロ経済学』新世社（1989年）
 - ハル・R・ヴァリアン著（佐藤隆三監訳）『入門ミクロ経済学』勁草書房（2000年）
- (3) 中級以上（経済学部教養過程あるいはそれ以上）
 - 奥野正寛・鈴村興太郎著『ミクロ経済学』岩波書店（1985年、1988年）

根岸隆『ミクロ経済学講義』東京大学出版会（1989年）
Hal R. Varian, 『Microeconomic Analysis』（3rd ed.）（Norton, 1992.）

ミクロ経済学初級	2単位 秋学期
石橋 孝次	グレーヴァ香子
玉田 康成	津曲 正俊

〔授業科目の内容〕

「ミクロ経済学初級」で習得する知識を前提として、引き続きミクロ経済学の講義を行う。

〔教科書〕

授業内で指示する。

〔参考書〕

参考書については、「ミクロ経済学初級」を参照のこと。

経済思想の歴史

「経済学はどのように作られたのか」 2単位 春学期
伊藤 誠一郎

〔授業科目の内容〕

なぜ、そしてどのように経済学を学んだらいいのか、そのヒントを経済思想の歴史のなかに見出すことが本講の目的である。アダム・スミス以降今日に至るまで経済学は、一つの学問領域としてまとまりをもって一つの体系として自らを「発展」させてきたように見える。しかし、実際のところスミス以前も以降も、そして今日も経済学は現実の社会との関わりの中でその最大のメリットを発揮してきた。本講ではこうした経済学のもつ特性を頭に入れながら、とくに学としての経済学が誕生し成立していく17世紀から19世紀半ばまでに焦点をあわせ、過去において経済という現象はそれぞれの時代のコンテクストの中でどのように議論され、そしてどのように説明されてきたのかを見ていく。

〔教科書〕

使用しない。必要な資料はその都度配布する。

〔参考書〕

講義内で必要に応じて指示する。

経済思想の歴史

「経済学の成立から古典派およびマルクスまで」 2単位 春学期
神代 光朗

〔授業科目の内容〕

1890年にマーシャルの『経済学原理』が登場するまでは、経済学はすぐれて政治経済学（political economy）と言われ、理論・歴史・政策を統一した体系的な且つ政治的な学問としての特質と名称をもっていた。そして、この体系的統一の導きの糸こそが経済思想または歴史的ヴィジョンなのである。しかるに近年、とりわけこの10数年来、経済学の著しい専門・細分化の下で、現実世界の不安定に対応しきれない経済学の危機といわれる現状

がある。本講義では、重商主義からはじまり、古典学派をへて、マルクスに到る経済思想の概略を講じ、経済学のそもそもの成り立ちを考え、それによって経済学という学問の特質とあり方を考察したい。

【教科書】

特にスタンダードな教科書はない。履修者は必ず出席をし、ノートを自らとることを心掛けてほしい。

【参考書】

- ・内田義彦著『経済学史講義』（著作集第2巻）岩波書店または未来社（復刻版あり）
- ・内田義彦著『社会認識の歩み』岩波新書
- ・馬渡尚憲著『経済学史』有斐閣

経済思想の歴史

「日本の経済思想」

2単位 秋学期

小室 正紀 蔦木 能雄

【授業科目の内容】

この講義は、日本における経済思想史を扱う。学期の前半は、小室が担当し、江戸時代から明治初期までを扱い、後半は、蔦木が担当し明治時代から大正時代頃までを対象とする。

広く経済現象や経済問題についての考え方は、時代とともに変化するとともに、もちろん、国・地域・文化圏によっても相互に異なる。現代のように情報や知識が瞬時に世界を駆け回る時代においてさえも、国により経済についての考え方の違いはあるが、時代をさかのぼればさかのぼるほど、その違いは一層大きい。それは、それぞれの国や地域により社会形態が異なり、また特定の知性・学問・宗教などの伝統もあり、経済思想もその影響を受けざるを得なかったからである。そして、このような歴史的な相違は、単に過去の問題にとどまらず、現代の思想にも深く影響し、現実世界における経済思想の違いを形づくっていると言える。

そのような中で、日本の経済思想の特質を歴史的に把握することは、日本に特別な関心を抱く者の単なる興味を越えて、世界的に極めて大きな意義をもっている。従来、経済思想の歴史は、欧米における展開を中心に論じられてきた。それは、近代資本主義が世界に先駆けて成長したのが欧米であったからである。しかし、現代世界は、欧米のみでなく、多くの文明圏に資本主義経済が存在し、またそれを目指している国々が至る所にある。そして、日本は、非欧米世界の中で、最も早く、近代資本主義へと進んだ国であった。日本が歴史的に経験した、固有の経済思想の展開と、欧米から導入された思想や経済システムとの軋轢・融合の経過は、単に日本のみの問題ではなく、多くの非欧米圏の経済思想の問題でもある。そして、このような非欧米の事例を考えることなしに、現代世界の経済をグローバルな視点で理解することもまた出来ないのである。

なお、講義を江戸時代から始めるのは、その時期に、日本独自の経済社会の始動とともに、中国の思想の影響をうけつつも、日本独自の経済思想が形成されてくるからであり、それが、明治以降の経済思想の隠れた原型を

なしていると考えるからである。また明治初期については、小室が主に江戸時代から見る視点で扱い、蔦木が、明治以降の出発点としての視角から扱い、両者が取り上げることになる。講義の最後は、大正期ないし昭和恐慌の開始前に置かれる。これは、その時期をもって、「日本の近代化」に一応の区切りがつけられると考えるからである。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

- 逆井孝仁・藤原昭夫他編『日本の経済思想四百年』日本経済評論社（平成12年）
- テッサ・モリス・スズキ『日本の経済思想』岩波書店（平成3年）
- 杉原四郎・長幸男編『日本経済思想史読本』東洋経済（昭和54年）

経済思想の歴史

「現代経済思想の多様性」

2単位 秋学期

佐藤 方宣

【授業科目の内容】

この科目では限界革命以降の経済思想の歴史を講義します。新古典派や制度学派の興隆、厚生経済学の展開、ケインズ『一般理論』の登場からその批判へ...といった現代に至るプロセスをいくつかのトピックごとに論じていきます。その際、経済思想の歴史を現在の経済学への単線的な理論の発展史として捉えるのではなく、それぞれの理論や政策論の背後にある、あるべき社会や経済についてのヴィジョンの相違に注目し、経済社会をめぐる理念や思想の展開の歴史として論じてみたいと思います。それぞれの時代において人々がどのような問題に直面していたのか、そして個々の経済学説・経済思想はそれに対しいかなるかたちで解答しようとする試みであったのか、という点に注意を払って学んでいただければと思います。また必要な範囲で、倫理学や政治哲学など関連諸領域の論議についても積極的に紹介していきます。

【教科書】

小峯敦編『福祉の経済思想家たち』ナカニシヤ書店（2007年3月刊）

【参考書】

トピックごとに適宜指示します。

経済数学 [05学則] / 経済数学 A [99学則]

2単位 春学期

厚地 淳 小木曾啓示
桂田 昌紀 戸瀬 信之
西岡久美子

【授業科目の内容】

1年生の「微分積分」(履修タイプ)と「数学概論」(履修タイプ)に続いて多変数関数の微分とその応用について学ぶ。

ミクロ経済学やマクロ経済学などで使われる数学の定

理について証明をつけて解説するのでこれらの分野をきちんと理解したい人は是非履修して下さい。

線形代数、線形代数統論の知識を前提とするので、これらの科目を履修しなかった学生が講義を理解することはほとんど不可能である。

〔教科書〕

各担当教員が指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

経済数学 [05学則] / 経済数学 B [99学則]
2単位 秋学期
厚地 淳 小木曾啓示
桂田 昌紀 戸瀬 信之
西岡久美子

〔授業科目の内容〕

経済数学（99学則は経済数学 A）に続き多変数関数の極値問題について学ぶ。

経済数学 に比べて証明が長くなり難度も上がるので、レベルアップを目指し意欲的に取り組む学生向けである。

この科目を履修するためには経済数学 の内容を十分に理解しておく必要がある。

〔教科書〕

各担当教員が指示する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

経済数学 [05学則] / 経済数学 [99学則]
2単位 秋学期
内海 幸久

〔授業科目の内容〕

近年、社会科学においても数学やコンピューターが次々と取り入れられ、数理的な手法は社会科学を分析する上で必要不可欠な道具となっています。この講義では、数理的な分析手法の理解を深めつつ、経済分析に必要とされる基本的な手法の習得を目指します。

〔教科書〕

高橋渉著「現代解析学入門」(近代科学社、1990/04年)

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

経済数学 [05学則] / 経済数学 [99学則]
「最適化とゲームの数理」 2単位 秋学期
中山 幹夫

〔授業科目の内容〕

この講義では、経済学で必要な数理的思考と分析力を身につけ、最適化理論とゲーム理論の初歩について学びます。

〔教科書〕

特に指定せず、適宜、講義資料を配布します。Web

サイト

<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakayama/gakubu.html>
からダウンロードできるものもあります。

〔参考書〕

より詳細な数学的基礎の勉強には、たとえば

岡田章著『経済学・経営学のための数学』東洋経済新報社（2001年、3200円）などがよい。

経済と環境

「自然の人間のかかわり」 2単位 春学期
青木健一郎 細田 衛士

〔授業科目の内容〕

本講義は、環境問題を自然科学および社会科学（経済学）の目で眺め、問題が一体どこにあるのか、問題解決のために現象をどのように理解したらよいかを提示することを目的とする。環境問題と一口にいってもその現象形態・内容は多様である。もとより、すべての環境問題を語りつくすことはできないので、我々が学生諸君と共有したいと思っている問題を講義の中で提示したい。環境問題に的確に対処するためには、既成概念にとらわれることのない見方が必要である。履修を希望する学生には、柔軟な思考をすることを求めたい。現代のみでなく、歴史の中の環境問題にも目を留め、環境問題がいつの時代にもどこにでもあったことを明らかにする。歴史の中の環境問題と対比することによって現代の環境問題の特徴を明確にすることも本講義の一つの目的である。とりわけ身の回りの環境問題にスポットをあて、環境と経済のかかわりについて解き明かして行きたい。

〔参考書〕

授業中に提示する。

経済と環境

「経済活動をとりまく諸環境」 2単位 春学期
武山 政直 松原 彰子

〔授業科目の内容〕

今日の経済活動をとりまく自然、社会、情報の分野の諸環境に注目し、そこに見られる最近の話題や問題の理解を通じて、経済活動をそれらの「環境」から多様にとらえる視座と視点を獲得する。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料を配付します。

〔参考書〕

授業中に適宜紹介します。

経済と環境

2単位 秋学期
大沼あゆみ 清水 健一

〔授業科目の内容〕

今日の環境問題を、経済学と自然科学の立場から概観する。

〔教科書〕

[大沼担当分] ヒール著『はじめての環境経済学』(細

田・大沼・赤尾 記 東洋経済新報社)

【参考書】

授業中に適宜指示する。

経済と環境

2単位 秋学期

河田 幸視 福山 欣司

【授業科目の内容】

(福山担当分)

1. 地球環境の成り立ちと地球環境問題
2. 生物多様性とは何か
3. 生命を支える生態系
4. 生物多様性の危機 その1
5. 生物多様性の危機 その2
6. 自然環境の未来

(河田担当分)

1. 経済学と環境問題
2. 環境の経済的価値
3. 経済的手段
4. 自然資源の最適利用

【教科書】

教科書は使用しない

【参考書】

授業中に提示する

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」

2単位 秋学期

秋山 裕

【授業科目の内容】

コンピュータの発達および普及に伴い、経済現象を統計的に分析することは実社会でもごく当たり前の時代になってきました。計量経済学は、経済現象を統計的に分析するにあたって生じる様々な問題を解決していく研究分野であり、計量経済学概論は、統計学を履修した学生諸君を対象とした計量経済学の入門コースです。この秋山クラスは、経済現象として国際経済分野の例を中心として取り上げます。

講義を受けるだけで統計的分析を身に付けるのは難しいため、実際の経済データを用いての演習を行うことが不可欠となっています。そのため、講義においてはコンピュータを用いた分析の解説も行います。コンピュータでは、MS Excel(表計算ソフト)およびR(統計ソフト)を利用します。

本講義は入門コースなので、複雑な数式の展開は避け、図を用いての直感的理解を重視し、大変な計算はコンピュータに任せて進めていきます。

【教科書】

講義資料をプリントで配布します。

【参考書】

第1回の講義において担当教員から指示します。

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」

2単位 秋学期

河井 啓希

【授業科目の内容】

計量経済学(Econometrics)とは、観察可能な経済データからその資料の発生メカニズムを経済理論にもとづいて推測する方法を示すものである。一般に経済分析に登場するデータは自然科学のように条件をよくコントロールされた実験データではないため、経済分析固有の統計的問題がこりうる。この授業では、統計学で学んだ知識を確認しながら、経済分析固有の問題を実例を交えて紹介していく。

【教科書】

浅野哲・中村二郎『計量経済学』有斐閣

【参考書】

山本拓『計量経済学』新世社

蓑谷千鳳彦『計量経済学(第3版)』東洋経済

計量経済学概論

2単位 秋学期

田中 辰雄

【授業科目の内容】

計量経済学の基礎を講義する。2年生の段階では知識を広げるより、基礎的分析手法を確実に身につけた方がよいので、話題を絞ってトレーニングを行う。2回に1回はパソコンを使って演習を行い、受講生はデータを打ち込み、回帰分析を走らせるという作業を自ら行うことになる。統計解析のためのソフトは、エクセルを使う予定である。したがって、エクセルの操作に慣れておいてもらうと講義の理解がスムーズだろう。

前提とする知識は、学部の統計学の前期の知識だけである。講義の中で数式で説明した事は、そのあとグラフで補完して直感的な理解が得られるように工夫するので、数式の苦手な諸君も意欲さえあれば理解できるであろう。ただし、自分でパソコンを操ることを厭わないという決意だけはしておいていただきたい。成績は2回課すレポートを中心につける。計量分析は経済理論の実証という意味もあるが、それ以外に実世界に出てから使う場面が多い手法なので、この機会に是非覚えておく事をおすすめする。景気予測、支店の売上予測、マーケティング、コンサルティングなどの分野で計量分析が使われることは多い。将来留学を考えている人、国際機関に出て働きたい人も学んでおいて損はないだろう。「数字に強い」というのは将来の諸君の大きなセールスポイントになる。

なお、教室で同時に使えるパソコン台数に限りがあるため、受講人数に制限(100名強)がかかる。これを越える希望者が出た場合は、春学期冒頭に簡単なレポートを課して受講者を選ぶ予定である。掲示に注意されたい。

社会問題 2単位 春学期
倉沢 愛子

〔授業科目の内容〕

東南アジアの開発途上国が抱えている様々な社会問題を、ミクロな観点からとりあげ、個別な事例を紹介しつつ考察する。開発途上国の中でも特に、倉沢が専門とするインドネシアの具体的な例をとりあげ、「開発」がもたらした影響や社会変容を考察しながら論じていく。そこには日本などの先進国がかけているのとはまったく異なる社会問題が存在する。理解をたやすくするために毎回、写真やビデオを見せながら授業をする。

〔教科書〕

倉沢愛子『ジャカルタ路地裏フィールドノート』中央公論新社 2002

社会問題 2単位 秋学期
高草木 光一

〔授業科目の内容〕

いま目の前で起こっている個別の「社会問題」を近現代社会の構造との関係において分析し、同時に広義の「経済学」のあり方、新しい学問の枠組みについても考察する。

〔参考書〕

慶應義塾大学経済学部編『変わりゆく共生空間<市民的共生の経済学1>』弘文堂、1999年

慶應義塾大学経済学部編『マイノリティからの展望<市民的共生の経済学2>』弘文堂、2000年

慶應義塾大学経済学部編『家族へのまなざし<市民的共生の経済学3>』弘文堂、2001年

慶應義塾大学経済学部編『経済学の危機と再生<市民的共生の経済学4>』弘文堂、2003年

マルクス経済学 2単位 春学期
北村 洋基 神代 光朗
延近 充

〔授業科目の内容〕

カール・マルクスの主著『資本論』は、資本主義社会の経済的運動法則を解明することを目的として、資本主義経済の特質を総体的に明らかにした著書である。同書が出版されて1世紀以上過ぎたが、資本主義のメカニズムを構造的・体系的に明らかにした著書として、今日においてもなお有効性をもっている。

もちろん今日の資本主義はマルクスの時代とはかなり変化したところもある。「マルクス経済学」は資本主義の変化をも踏まえながら、現代資本主義を総体として把握するとともに、現代経済の諸問題を批判的に解明する理論的基礎を提供することを目的としている。

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

〔参考書〕

担当者が個別に指定する。

マルクス経済学 2単位 秋学期
北村 洋基 駒形 哲哉
延近 充

〔授業科目の内容〕

「マルクス経済学」における叙述を参照されたい。

〔教科書〕

担当者が個別に指定する。

〔参考書〕

担当者が個別に指定する。

解析学入門 2単位 春学期
「距離空間と位相構造」 宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

解析学入門・においては、確率論、ファイナンス数学などの解析学的色彩の強い分野を学習する際に必要と考えられる、位相や多変数解析学に関して基本的なことを学習する。また、解析学 a、b、(三田)のための基礎科目でもある。

解析学入門において解説される、距離空間や位相といった概念は解析学を学ぶ際の言葉であり、早い時期にこれを習得することで、以後の解析学の学習を確実なものにすることができる。数学における証明に慣れる良い機会でもある。

「入門」という名が付いているが易しい講義という訳ではなく本格的な数学の講義である。

〔教科書〕

「解析学入門」(慶應義塾大学経済学部)

解析学入門 2単位 秋学期
「多変数関数の微分、リーマン積分」 宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

「解析学入門」において、多変数関数の微分積分について、様々な分野で使われる基本的な結果を学ぶ。いずれも、理論的側面を強調していく。この講義を履修するには「解析学入門」を履修していることが必要である。

〔教科書〕

「解析学入門」(慶應義塾大学経済学部)

確率論入門 2単位 春学期
厚地 淳

〔授業科目の内容〕

近年、金融業務のリスク管理のために確率論を用いる手法が盛んに用いられている。「金融工学」という言葉を諸君は聞いたことがあるだろうが、金融工学を学ぶためには、それなりに数学の「修行」が必要である。その

ために、経済学部2年生に対して開講するのが「確率論入門」、「」および「解析学入門」、「」である。東京工業大学、一橋大学などでは、すでに金融工学の大学院が開設されているが、この科目はその進学をサポートすることをその目的の一つとしている。もちろん、金融工学に興味を持たないものも、確率的な発想は知的に生きるための一つの知恵であるので、履修する価値は十二分にある。

確率に関しては、「統計学」、「」でも、初歩的なことを学ぶことができるが、それでは将来、金融工学を学ぶために不十分であろう。また、「統計学」、「」では、数学的に厳密な構成がなされていない部分が多いが、この講義では完全とは言わないが、それなりに数学的な論理性を重視して教えるつもりである。その意味で、「統計学」、「」の別の意味での理解を促す役割も果たしたいと考えている。多くの計算実例を与えるので、「統計学」、「」の演習ともなるであろう。

講義の内容は常に具体的なモデルや実例を多く用いて理解を促すつもりである。そのために、多くの計算練習をしてもらう予定である。

確率論入門 では初等確率論の問題から始め、主に離散的な値をとる確率変数や、離散集合上の分布を扱う。

【教科書】

特になし。

【参考書】

森 真 (著), 藤田 岳彦 (著) 確率・統計入門 数理ファイナンスへの適用 講談社

藤田 岳彦 (著), 高岡 浩一郎 (著) 穴埋め式確率・統計らくらくワークブック 講談社

ピエール プレモー (著) モデルで学ぶ確率入門 シュプリンガーフェアラーク東京

その他いろいろあるので、講義時に適宜紹介する。

確率論入門

2単位 秋学期
厚地 淳

【授業科目の内容】

この科目では、前期の「確率論入門」に引き続き、確率論の初歩を学ぶ。前期では離散的なモデルを多く扱うが、後期では連続的なモデルを多く扱うこととする。

後期だけの履修は望ましくない。数学は積み上げていくものであり、一夜にして理解することは不可能だからである。

【教科書】

特になし。

【参考書】

森 真 (著), 藤田 岳彦 (著) 確率・統計入門 数理ファイナンスへの適用 講談社

藤田 岳彦 (著), 高岡 浩一郎 (著) 穴埋め式確率・統計らくらくワークブック 講談社

ピエール プレモー (著) モデルで学ぶ確率入門 シュプリンガーフェアラーク東京

その他いろいろあるので、講義時に適宜紹介する。

簿記a [05学則] / 簿記b [05学則]

簿記 [99学則]

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

高久 隆太

【授業科目の内容】

簿記は、「帳簿記入」の略称と言われ、企業の日々の経済活動を勘定科目と貸借記入原則によって記録・計算・整理し、その結果として財産計算と損益計算とを同時に行う記録システムである。

本講義では、複式簿記の基礎から決算手続きに至るまでを学習する。簿記には、固有の専門用語やルールがあり、初学者にはとっつきにくさがあるが、練習問題を通じて計算に慣れることで理解を図る。

【教科書 - 参考書】

武田隆二「簿記一般教程(第6版)」中央経済社

加古宣士 / 渡部裕巨編著「平成19年新検定簿記講義 3級商業簿記」中央経済社

簿記a [05学則] / 簿記b [05学則]

簿記 [99学則]

「財務諸表の技術的基礎」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

李 精

【授業科目の内容】

複式簿記とは、企業の行う経済活動を帳簿に複式記録することによって、企業の財政状態と経営成績を明らかにするものである。財政状態は貸借対照表(バランスシート)、経営成績は損益計算書によって示されるが、これらは複式簿記の手続きを経て誘導的に作成される。貸借対照表や損益計算書は企業の決算書類であるが、財務諸表と呼ばれる。

本講義は、複式簿記の基礎知識を提供するものであり、決算に至るまでの一巡の簿記手続きの理解を図ることを目的としている。

【教科書】

新田忠誓編著『エッセンス簿記会計』森山書店

なお、演習用に問題集を使うことも予定している。

総合教育科目

経済数学入門

「経済学で用いる解析学入門」

2単位 春学期

伊藤 幹夫

【授業科目の内容】

経済理論で用いられる解析学(微分・積分が中心)の基礎を講義します。マクロ経済学・ミクロ経済学・金融工学などで使われる例を引きながら、解析学の内容を丁

寧に解説します。

【教科書】

とくにありません。下記URLで配布予定の講義ノートを教科書に準ずるものとします。

<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/ito/lecture/>

【参考書】

神谷和也・浦井憲（1996）『経済学のための数学入門』東京大学出版会

経済数学入門

「経済学で用いる線形代数」

2単位 秋学期

伊藤 幹夫

【授業科目の内容】

経済理論で用いられる線形代数の基礎を講義します。マクロ経済学・ミクロ経済学・金融工学などで使われる例を引きながら、線形代数の内容を丁寧に解説します。通常の線形代数の教科書では通常扱わないけれども、経済学・金融工学では頻繁に使われるトピックが中心になります。

【教科書】

とくにありません。下記URLで配布予定の講義ノートを教科書に準ずるものとします。

<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/ito/lecture/>

【参考書】

神谷和也・浦井憲（1996）『経済学のための数学入門』東京大学出版会

データ解析

「線形モデルとデータ」

2単位 春学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけでなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、説明変数と被説明変数が想定される場合のデータ解析について講義する。受講者が、

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

【教科書】

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析

「特徴の抽出」

2単位 秋学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけでなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、多変量データが得られた場合に、それを要約する場合のデータ解析について講義する。受講者が、

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

【教科書】

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析入門

「データを探る」

2単位 春学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

ある事柄についてデータをもとに分析する場面が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、1変数の場合のデータ解析について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) データから基礎的な統計推論が可能となる
- (2) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

【教科書】

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析入門

「データによるモデル構成を行うには」

2単位 秋学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

ある事柄についてデータをもとに分析する場面が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、2変数の場合について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標と

する。

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 2変数間の関係について、仮説構築、検討、評価を行うことができる

【教科書】

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

ファイナンス数学

「確率論の基礎と金融商品の価格決定」 2単位 春学期
戸瀬 信之

【授業科目の内容】

金融商品の開発にあたって確率論的な手法が近年重要になってきている。この科目と秋学期で開講される「ファイナンス数学」では、その入門として「金融工学」の初歩について解説する。しかも、微分積分と線形代数を前提とする以外には、確率論・統計などの数学的な前提知識を準備しながら解説を進める。

前期では、ポートフォリオ理論について解説するとともに、後期で用いる確率論の準備をする予定である。時間が許せば、2項モデルと呼ばれる金融派生商品の価格モデルの極限としてのブラック・ショールズモデルについて解説する予定である。

【教科書】

指定しない

【参考書】

伊藤幹夫・戸瀬信之訳「デリバティブの数学入門」(共立出版)
戸瀬信之「経済数学」(新世社)

ファイナンス数学

「確率論の基礎と金融商品の価格決定」 2単位 秋学期
戸瀬 信之

【授業科目の内容】

金融商品の開発にあたって確率論的な手法が近年重要になってきている。この科目と春学期で開講される「ファイナンス数学」では、その入門として「金融工学」の初歩について解説する。しかも、微分積分と線形代数を前提とする以外には、確率論・統計などの数学的な前提知識を準備しながら解説を進める。

後期では、前期の準備のもとで最も単純な金融派生であるヨーロッパ・オプションの価格理論に対するブラック・ショールズのモデルについて解説する予定である。

【教科書】

指定しない

【参考書】

伊藤幹夫・戸瀬信之訳「デリバティブの数学入門」(共立出版)
戸瀬信之著「経済数学」(新世社)
蓑谷千鳳彦著「よくわかるブラック・ショールズモデル」(東洋経済新報社)
伊藤幹夫・戸瀬信之著「経済学とファイナンスのため

の数学(仮題)」(共立出版、2006年秋出版予定)

3 法学部

数学・統計・情報処理科目

基礎数学

「初等整数論（ユークリッドの互除法と連分数）」

2単位 春学期
山内 憲一

【授業科目の内容】

2以上のすべての正の整数は有限個の素数の積に分解され、その分解に現れる素数は積の順序を除いて一意的に定まるというのが、初等整数論の基本定理と呼ばれるものである。この講義の目標の1つは、この定理の成り立つ根拠を明らかにすることである。いままではこの定理は至極当然のこととして扱ってきたが、2次体の整数に関してはこの定理は成り立たない。このような例についても述べることにする。

ユークリッドの互除法、1次不定方程式、連分数の3つの事項は密接に関連している。これらの関係を述べるのが、この講義の目標の2つ目である。一般に無理数の小数展開は複雑、不規則（循環小数でないという意味）である。しかしながら無理数の連分数展開は単純な形をしている。これらについても述べる。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

初等整数論 H.スターク 著 芹沢正三・安藤四郎
共訳 現代数学社
整数論周遊 片山孝次 著 現代数学社

基礎数学

「初等整数論（整数の合同と平方剰余の相互法則）」

2単位 秋学期
山内 憲一

【授業科目の内容】

初等整数論では合同という概念はきわめて基本的である。2つの整数 a, b を正の整数 n で割ったとき余りが同じであれば a と b は n を法として合同であるという。この考えは数学の世界だけでなく日常的にも使われている。たとえば、1週間を7日とし、4と18を7で割れば余りが4であるから、4と18は7を法として合同である。それで4日と18日には同じ曜日を当てるのである。この合同という考えをきちんと理解してもらうのが本講義の目標の1つである。

x を変数とし、 a, n を整数とするとき、 x の平方と a が n を法として合同であるという2次合同式が整数解を持つとき、 a は法 n の平方剰余であるという。整数解を持たないとき、平方非剰余という。重要なのは n が奇素数（3以上の素数） p のときである。この場合平方剰余に関して重要ないくつかの定理がある。その1つが平方剰余の相互

法則である。これらの定理の応用として、いくつかの初等整数論の定理が証明される。講義の後半でこのことについて説明をする。平方剰余の相互法則をきちんと理解してもらうのが、本講義の2つ目の目標である。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

初等整数論 H.スターク 著 芹沢正三・安藤四郎
共訳 現代数学社
整数論周遊 片山孝次 著 現代数学社

基礎統計学

2単位 春学期
中野 文平

【授業科目の内容】

コインを何回か振ったとき表が出る回数は、およそ $1/2$ と予想されるが、実際、10回程度振ったとき、いつも振った回数 $1/2$ だけ表が出るとは限らない。しかし、多数回振れば、表が出る回数は、 $1/2$ にだんだん近くなるであろう。このような現象は、私たちの身の回りにいろいろあり、たくさんのデータがあって初めてその様子が分かる現象である。ここでは、多数あるデータの取り扱いの基礎を解説する。

1章 順列・組み合わせ

- (1) 順列
- (2) 組み合わせ
- (3) 二項定理と組み合わせ

2章 確率

- (1) 専門用語と記号
- (2) 和の法則
- (3) 乗法定理
- (4) 余事象の定理
- (5) ベルヌイ試行
- (6) メレの臨界値

3章 確率変数と確率分布

- (1) 離散型確率変数
- (2) 連続型確率変数
- (3) 確率の平均
- (4) 分散・標準偏差
- (5) 確率変数の変換

4章 代表的な確率分布

- (1) 二項分布
- (2) 二項分布の平均・分散・標準偏差
- (3) 大数の法則
- (4) 正規分布
- (5) 標準化正規分布
- (6) 標準化正規分布とその応用

5章 データの整理

- (1) 頻度分布
- (2) 頻度分布表

- (3) 累積分布関数
- (4) 資料の代表値

【教科書】

勝野恵子著『確率・統計学入門』八千代出版

【参考書】

福井幸男著『知の統計学』共立出版

基礎統計学

2単位 秋学期
中野 文平

【授業科目の内容】

基礎統計学 では確率の基礎とデータ整理まで学んだので、後期では体重と身長の関係などの扱い方、シミュレーション実験の基礎としての乱数の発生と使い方、標本調査の話などを解説する。基礎統計学 を学んでいることを前提として進める。

6章 相関関係

- (1) 共分散
- (2) 相関関係
- (3) 相関係数
- (4) 回帰直線

7章 確率現象のコンピュータシミュレーション

- (1) 乱数とは
- (2) 一様乱数
- (3) 正規乱数
- (4) 二項乱数
- (5) Excelを用いた様々な乱数の発生と分布の作成

8章 母集団と標本

- (1) 母集団
- (2) 標本調査
- (3) 確率変数の一次結合の平均と分散
- (4) 中心極限定理

9章 推定

- (1) 点推定
- (2) 不偏推定量
- (3) 母平均の区間推定
- (4) t分布
- (5) 母比率の区間推定
- (6) カイ自乗分布
- (7) 母分散の区間推定

10章 仮説検定

- (1) 帰無仮説
- (2) 片側検定と両側検定
- (3) 平均値の検定

【教科書】

勝野恵子著『確率・統計学入門』八千代出版

【参考書】

福井幸男著『知の統計学』共立出版

数学

「微分法と積分法」

2単位 春学期
山内 憲一

【授業科目の内容】

連続型の変数により記述される量があるとき、それが変化していく状態を調べるのに微分法は欠くことの出来ない道具である。微分法は曲線に接線を引くという問題から生じたが、力学における速度や加速度の表現に用いられて以来その重要性が認められた。

長さ、面積、体積などを求めるいわゆる求積法は、ずいぶん昔からいろいろと考えられている。17世紀にニュートンとライプニッツにより微分法が発見される以前の求積法では、個々の場合に工夫が必要であった。ところが、微分法の逆算法を用いれば求積問題が統一的に解けることがわかり、それによって求積法が長足の進歩を遂げた。微分法の逆算法が積分法であり、積分法は求積問題だけでなく多くの問題を解決するのに利用される。(この文章は下記の教科書第3章からの引用です。)

微分法と積分法について基本的な力を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

文科系の数学(第4版) 渡部 隆一/ 深見 哲造 共著 森北出版

【参考書】

解析入門(岩波全書) 田島一郎 著 岩波書店

数学

「線形代数学(ベクトル、行列式と行列)」

2単位 秋学期
山内 憲一

【授業科目の内容】

社会科学における数学的モデルでは、1つの数値でなく、いくつかの数値の組によって表現される量がしばしば登場する。そのような量はベクトルで表し、日常接している平面や空間に当てはめて考えると直観的でわかりやすい。ベクトルの項では、まず平面ベクトルと空間ベクトルについて学び、それを用いて基本的な図形の方程式やその性質を調べることにする。

ベクトルにつづいて、連立1次方程式、行列式、行列についての基礎的な知識を順を追って学んでいく。直線や平面の方程式は変数についての1次式で表される。多くの変数の間の1次式で表されるような関係は、それらの変数の間の関係を考える際に基礎的で重要なものである。線形代数を英語ではlinear algebraというが、linearには1次式の1次という意味もある。線形代数の知識が数学のいろんな場面で使われるのも当然といえる。(この文章は下記の教科書第4章、第5章からの引用です。)線形代数について基本的な力を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

文科系の数学(第4版) 渡部 隆一/ 深見 哲造 共著 森北出版

【参考書】

線形代数入門 光 道隆 著 培風館

統計学

「データの視覚的呈示法と読み取り方」 2単位 春学期
広田すみれ

〔授業科目の内容〕

IT社会において、数量的なデータの理解やコンピュータによるその計量的分析は必須の教養となりつつある。統計学はその基礎となるものだが、文系にとっては数学の一分野としての印象が強く、敬遠しがちなことも事実である。そこで、本講義は「文系のための」社会科学の実証的研究の基礎としての統計学の講義を行う。内容は法学部の学生が調査・分析を行う際の入門的知識として、データ収集とデータの基本的なまとめ方を中心に講義を行う。また雇用や犯罪などの社会統計、マスメディアの記事などを例に、様々なデータの読み取り方やその嘘、図表による効果的呈示法など、データの読み方・記述の基礎を視覚的に示しながら講義する。

〔教科書〕

広田すみれ(2005)「読む統計学 使う統計学」慶應義塾大学出版会

〔参考書〕

上田尚一(1988)「統計グラフの賢い見方・作り方」講談社ブルーバックス

統計学

「データの記述と予測、推測の基礎」 2単位 秋学期
広田すみれ

〔授業科目の内容〕

インターネットの普及により、数値で表現された定量的情報を直接入手できる機会が大幅に増大し、この莫大なデータをコンピュータにより適切に処理・理解し、有効利用する能力の重要性も飛躍的に高まっている。本講義では、人口・雇用・環境などの社会統計や国際統計を利用しながら、調査や実験において収集されるデータを記述・理解する方法について、統計学よりやや踏み込んで、具体的な手法を説明する。またコンピュータでこれらの手法を実行する方法についても紹介する。受講生諸君には「データを解読する楽しみ」を知ってほしい。

〔教科書〕

広田すみれ(2005)「読む統計学 使う統計学」慶應義塾大学出版会

〔参考書〕

鳥居泰彦(1994)「はじめての統計学」日本経済新聞社
福井幸男(2001)「知の統計学1 第2版」共立出版

統計学

「推測統計学の基礎」 2単位 春学期
大森 貴秀

〔授業科目の内容〕

統計学の基礎知識(記述統計・確率分布)を持つ学生を対象に、推測統計の論理と基本的な統計検定の手法を

解説します。ばらつきを持ったデータを用いてどのようにして事象の白黒を判断できるのかという検定の論理を理解し、実際の個々の検定手法の使い方を実習を通じて身につけてもらうことを目指します。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

P.G.ホーエル著、「初等統計学」(培風館、1981、1650円)

白旗慎吾著「統計解析入門」(共立出版、1992、2400円)

その他、講義内で適宜紹介します。

統計学

「多変量解析の基礎」 2単位 秋学期
大森 貴秀

〔授業科目の内容〕

統計検定の基礎知識を持つ学生を対象に、より複雑で多数のデータに対しておこなう多変量解析の主な手法について、その論理を解説し、Excelを用いて計算の実習をおこないます。また、SPSSによる実習を通して、どのようなデータがあるときに、どの分析法を選び、どうやって分析をおこない、どのように結果を解釈するのかについても学んでもらいます。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

田中豊・脇本和昌著、「多変量解析法」(現代数学社、1983、2900円)

その他、講義内で適宜紹介します。

情報処理 / 情報処理

「学部で必要な情報処理およびエクセルを使った統計処理の基礎」 各2単位 春学期/秋学期

恩田 憲一

〔授業科目の内容〕

これからの大学生活や社会に出てからも役に立つ実践的なコンピュタリテラシーの習得を目標として、インターネットとプレゼンテーション、そしてデータ処理に重点を置いた情報処理の講義と実習を行います。この科目では、日吉ITCのPCを使用して、電子メール、Web制作、ワードプロセッサ、プレゼンテーション、表計算など、様々な応用プログラムの使い方を学習します。また表計算の授業では、相関や回帰分析など統計学の基礎的な事項や、調査結果の分析に用いられる多変量解析など、法学部の学生としてやがて必要となるデータ処理について、表計算ソフトのExcelを用いた実習を行います。

この科目では、理論と実践の両面から学ぶ事により、「WordとExcelの深い使い方」と「統計処理に関する基礎知識」、そして「ネットとプレゼンテーションに関する正しい知識」の習得を目指しています。

【教科書】

講義のはじめに指示します。

【参考書】

講義の進行に従い、適宜紹介します。

情報処理 / 情報処理

各2単位 春学期 / 秋学期
木元 宏次

【授業科目の内容】

日吉ITCのPCを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。しかしながら、各応用プログラムの使い方を学ぶこと自体が目的ではなく、コンピュータを利用した情報の獲得、整理、加工、さらには伝達、発信するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが主目的である。また、インターネット時代の今日、ネットワーク上でのトラブルや被害にあわないために、情報セキュリティの基礎知識についても学んでゆく。

【教科書】

講義のはじめに指示する。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

情報処理 / 情報処理

各2単位 春学期 / 秋学期
遠山 朋子

【授業科目の内容】

パソコンで使用するワープロなどのソフトウェアの使い方を学びながら、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを理解する。それぞれのソフトウェアの使い方を学ぶこと自体が目的ではなく、コンピュータとインターネットを駆使して情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達する能力を身につけ、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方以外にも、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、の仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションスキルについても理解することが大切である。

【教科書】

なし

【参考書】

講義中に適宜指示する。

情報処理 / 情報処理

各2単位 春学期 / 秋学期
鼠屋 将志

【授業科目の内容】

日吉ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的で

はなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのみではなく、コンピュータの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。基本的に毎回、ITに関する時事問題の紹介・解説も行うので、新技術や世の中でのITの流れなどについて知識を得てもらうことも狙いとしている。

【教科書】

基本的には指定なし。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

情報処理 / 情報処理

各2単位 春学期 / 秋学期
松永 賢次

(情報処理)

【授業科目の内容】

コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための情報処理の基礎知識を学ぶ。実践的な実習を通して、それをこれからの大学生活や社会に出てからも役立てられるようにすることを目的とする。コンピュータやネットワークの仕組み、利用する上での様々な注意(情報倫理、著作権、セキュリティ、なりすまし、など)についてもあわせて学習していく。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

(情報処理)

【授業科目の内容】

情報処理 で身につけた情報処理能力を活用して、より実践的な情報処理活動ができるようにする。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

情報処理 / 情報処理

各2単位 春学期 / 秋学期
担当者未定

4月に法学部掲示板を参照のこと。

情報処理

2単位 春学期
三船 毅

【授業科目の内容】

この授業では、表計算ソフト(Excel)の基本的な使用方法に関して学ぶ。表計算ソフトは、簡単な計算から、統計分析まで多くの用途に用いることができる。この授業では、初歩的な計算と関数の使い方、各種グラフの作成の仕方について習得する。また、授業期間内の後半で

は、受講生各自に簡単なプレゼンテーションをしてもらうことを予定している。

情報処理

2単位 秋学期
三船 毅

【授業科目の内容】

この授業では、表計算ソフト（Excel）の基礎を踏まえて高度な使用方法に関して学ぶ。内容はより高度な関数を用いたデータ加工や、より複雑なグラフ作成である。Excel は、簡単な計算から、統計分析まで多くの用途に用いることができる。しかし現在では、難解な科学計算は専門的なソフトウェアを用いることが多い。しかし、データ作成に関しては、Excel を用いることは頻繁に行われる。このように、Excelは表計算ソフトとしての役割の他に、他の演算処理・統計分析ソフトウェアに対するデータ加工の役割を持っている。この授業では、より専門的なソフトウェアへの橋渡しとしての Excelの機能にも注目していきたい。

法律学科

2007年度入学者参照

2007年度入学者は下記の表に従ってシラバスを参照してください。

2007年度入学者の春学期科目名	2007年度入学者の秋学期科目名
法学（憲法を含む）	法学（憲法を含む）
憲法（総論・人権）	憲法（総論・人権）
民法（総論）	民法（総論）
刑法（総論）	刑法（総論）
法制史概論	法制史概論
法学演習（民法Ⅰ春）	法学演習（民法Ⅰ秋）
	法学演習（憲法Ⅰ秋）
	法学演習（刑法Ⅰ秋）
法学演習（刑事法Ⅰ春）	法学演習（刑事法Ⅰ秋）

2005・2006年度入学者参照

2005・2006年度入学者は下記の表に従ってシラバスを参照してください。

2005・2006年度入学者の春学期科目名	2005・2006年度入学者の秋学期科目名
法学（憲法を含む）	法学（憲法を含む）
憲法 A	憲法 B
民法 A	民法 B
刑法 A	刑法 B
法制史（基礎）	法制史（基礎）
民法演習 A	民法演習 B

2004年度以前入学者は、半期科目の履修はできません。

法学（憲法を含む）

／法学（憲法を含む）（春学期）*2004年度以前入学者
「現代社会と法の役割」
2単位 春学期
4単位 通年
田村 次朗

【授業科目の内容】

法学では、これから法律を学んでいくために必要となる法的なものの見方や考え方を紹介する。特に法律の世界で展開される抽象的な理論を深く理解するためには、具体的な事例から発想する視点が大切である。そこで講義では可能な限り、実際の事件や判例を素材に考えるというケースメソッドを重視する。

【教科書】

伊藤 正己、加藤 一郎（編）『現代法学入門 第4版』（有斐閣 2005）1,260円

【参考書】

参考文献は講義中、適宜指示する

法学（憲法を含む）

／法学（憲法を含む）（秋学期）*2004年度以前入学者
「法学の新しい展開」
2単位 秋学期
4単位 通年
田村 次朗

【授業科目の内容】

法学 では、法学 の理解を前提として、最新の法的

問題を取り上げ、問題解決としての法の機能と役割について学習する。法学 においても、ケースから考えることは重要である。さらに法律家は物事を多面的にとらえることが必要であり、このような能力を育成するため、法学 では、議論の多い問題を取り上げ、様々な観点から問題をとらえるための方法論を学ぶ。

【教科書】

伊藤 正己、加藤 一郎（編）『現代法学入門 第4版』（有斐閣 2005）1,260円

【参考書】

参考文献は講義中、適宜指示する

法学（憲法を含む）

／法学（憲法を含む）（春学期）*2004年度以前入学者
2単位 春学期
4単位 通年
鈴木 千佳子

【授業科目の内容】

法学部法律学科に入学した諸君は、これから4年間、法解釈、法制史、法思想、法社会学など色々な面から法律を勉強するでしょう。1年から同時にはじまる憲法・民法・刑法などの専門科目の授業では、その分野の法の詳細な内容と解釈を知ることができると思いますが、この授業の目的は、初学者としての1年生にどの分野の法律を勉強するにしても大切な「法の基礎知識」を与えることであると考えています。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

最初の授業の際に指示します。

法学（憲法を含む）

／法学（憲法を含む）（秋学期）*2004年度以前入学者
2単位 秋学期
4単位 通年
鈴木 千佳子

【授業科目の内容】

内容的には、法学（春学期）ないし法学 につづくものである。授業の目的などについては、そこに書いてあることを参照してください。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

最初の授業の際に指示します。

憲法（総論・人権）／憲法（総論・人権）*2007年度入学者

憲法 A／憲法 B*2005・2006年度入学者

憲法 *2004年度以前入学者

「憲法原理と基本的人権」 2単位 春学期／秋学期
4単位 通年

小林 節

【授業科目の内容】

国家生活の基本法たる憲法の基本原則とその憲法が私達に保障している基本的人権について、標準的な見解を体系的に語る。

【教科書】

小林節・園田康博著『憲法』（全訂版）南窓社

【参考書】

小林節・平沢勝栄著『憲法危篤！』KKベストセラーズ

憲法 A／

憲法（春学期）*2004年度以前入学者

「統治機構論・前編（「国家意思の形成と実現」）」

2単位 春学期

4単位 通年

駒村 圭吾

【授業科目の内容】

この授業では憲法における統治機構論を扱う。春学期では、「国家意思の形成と実現」と題して、近現代国家の特質、主権論、選挙権と選挙制度、国会、内閣、財政に関する主要論点を講義する。

【教科書】

特に指定しない。講義レジュメを配布する予定であるが、それはあくまで授業の理解を助けるためのものであり、各自独自にきちんとノートをとる必要がある。なお、担当者が念頭においている教科書としては、芦部信喜（高橋和之補訂）「憲法」（岩波書店）、小林節・園田康博「憲法」（南窓社）、佐藤幸治「憲法」（青林書院）、野中俊彦・中村睦男・高橋和之・高見勝利「憲法」（有斐閣）長谷部恭男「憲法」（新世社）などである。これ以外のものも含めて、各自、自分の好みと必要に応じて、教科書を入手してほしい。

また、統治機構論では、憲法条文や、その他の関連法令を参照する機会が多いので、各自、六法を必ず携行すること。

【参考書】

授業で触れた論点をさらに深く検討するために、小山剛・駒村圭吾編「論点探究・憲法」（弘文堂）を参考書とする。

憲法 B /
 憲法 (秋学期) * 2004年度以前入学者
 「統治機構論・後編(「法の支配」「自治」「天皇」「国防と国際平和)」」
 2単位 秋学期
 4単位 通年
 駒村 圭吾

【授業科目の内容】

この授業では憲法における統治機構論を扱う。春学期では、「法の支配」「自治」「天皇」「国防と国際平和」と題して、司法権の本質と限界、裁判所と裁判官、違憲審査制、憲法訴訟論、地方自治、天皇制の基本構造、9条、改憲論に関する主要論点を講義する予定である。

【教科書】

特に指定しない。講義レジュメを配布する予定であるが、それはあくまで授業の理解を助けるためのものであり、各自独自にきちんとノートをとる必要がある。なお、担当者が念頭においている教科書としては、芦部信喜(高橋和之補訂)「憲法」(岩波書店)、小林節・園田康博「憲法」(南窓社)、佐藤幸治「憲法」(青林書院)、野中俊彦・中村睦男・高橋和之・高見勝利「憲法」(有斐閣)長谷部恭男「憲法」(新世社)などである。これ以外のものも含めて、各自、自分の好みと必要に応じて、教科書を入手してほしい。

また、統治機構論では、憲法条文や、その他の関連法令を参照する機会が多いので、各自、六法を必ず携行すること。

【参考書】

授業で触れた論点をさらに深く検討するために、小山剛・駒村圭吾編「論点探究・憲法」(弘文堂)を参考書とする。

憲法 A /
 憲法 (春学期) * 2004年度以前入学者
 2単位 春学期
 4単位 通年
 小山 剛

【授業科目の内容】

憲法 A と B を通じて、日本国憲法の統治に関わる主要な論点について講述する。

憲法 A では、憲法の観念、国民主権、代表制などの基本概念の確認と、政党、選挙制度、国会までを対象とする。憲法 B とあわせて履修することが望ましい。

なお、開講の際に各週ごとの大まかな予定表を配布し、講義の際には詳細なレジュメを配布する。

【教科書】

野中俊彦ほか『憲法 第4版』有斐閣(2006年)

【参考書】

小山剛・駒村圭吾(編)『論点探究 憲法』弘文堂(2005年)

憲法 B /
 憲法 (秋学期) * 2004年度以前入学者
 2単位 秋学期
 4単位 通年
 小山 剛

【授業科目の内容】

前期に引き続き、日本国憲法の統治に関わる主要な論点について講述する。

憲法 B では、議院内閣制、司法権、憲法訴訟、財政、地方自治、憲法の変動が主たる対象となる。憲法 A とあわせて履修することが望ましい。

なお、開講の際に各週ごとの大まかな予定表を配布し、講義の際には詳細なレジュメを配布する。

【教科書】

野中俊彦ほか『憲法 第4版』有斐閣(2006年)

【参考書】

小山剛・駒村圭吾(編)『論点探究 憲法』弘文堂(2005年)

民法(総論) * 2007年度入学者
 民法 A * 2005・2006年度入学者
 民法 (春学期) * 2004年度以前入学者
 「民法総則」
 2単位 春学期
 4単位 通年
 平野 裕之

【授業科目の内容】

本講義では、講学上「民法総則」と呼ばれる、民法典の第1編「総則」の部分(1条から174の2条まで)の部分の講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために必要な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。1年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に勤めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っている。膨大な量がありスピードを上げなければ全部を説明することはできないが、ある程度の予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。

【教科書】

私の教科書で恐縮であるが、平野裕之『民法総則(第2版)』(日本評論社)を用いて、これをペースメーカーとして進めていく。詳細な教科書ではあるが、授業では読むべき箇所を指摘しつつ、ポイントを説明するので、基本的には復習用に使ってもらえばよい。

【参考書】

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していただきたい。『民法判例百選』(百選と俗称されるシリーズ。有斐閣)、『新判例マニュアル民法1総則』(三省堂)、『判例講義民法 総則・物権』(悠々社)は解説つ

きであるが、『民法判例集(総則・物権)』(有斐閣)は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。

民法(総論)	*2007年度入学者	
民法 B	*2005・2006年度入学者	
民法 (秋学期)	*2004年度以前入学者	
「民法総則」		2単位 秋学期
		4単位 通年
		平野 裕之

〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上「民法総則」と呼ばれる、民法典の第1編「総則」の部分(1条から174の2条まで)の部分を講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために必要な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。1年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に勤めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っている。膨大な量がありスピードを上げなければ全部を説明することはできないが、ある程度の予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。

〔教科書〕

私の教科書で恐縮であるが、平野裕之『民法総則(第2版)』(日本評論社)を用いて、これをペースメーカーとして進めていく。詳細な教科書ではあるが、授業では読むべき箇所を指摘しつつ、ポイントを説明するので、基本的には復習用に使ってもらえばよい。

〔参考書〕

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していただきたい。『民法判例百選』(百選と俗称されるシリーズ。有斐閣)、『新判例マニュアル民法1総則』(三省堂)、『判例講義民法 総則・物権』(悠々社)は解説つきであるが、『民法判例集(総則・物権)』(有斐閣)は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。

民法(総論)	*2007年度入学者	
民法 A	*2005・2006年度入学者	
民法 (春学期)	*2004年度以前入学者	
「民法総則(前半)」		2単位 春学期
		4単位 通年
		鹿野 菜穂子

〔授業科目の内容〕

民法1は、民法の最初の授業であるから、民法とりわけ財産法全般に関する重要かつ基本的な事項を取り扱う。より具体的には、まず、民法の意義と基本原理を明らかにし、その上で、民法第1編「総則」(第1条から第174条の2まで)についての講義を進める。取り扱う主な

内容は、権利の主体、権利の客体、錯誤・詐欺・強迫などによる契約の効力、無効と取消しなどである。法人については、別に「団体法」の講義が設置されているので、民法1では詳しくは取り扱わない。代理や時効については、民法2で取り扱うことを予定している。

民法総則では、抽象度の高い概念が多く出てくるが、1年生を対象としているので、講義はできるだけ多くの事例を取り上げながら理解を促すよう努めたい。

〔教科書〕

安井・後藤・中田・鹿野著『プリメール民法1[第2版]』(法律文化社・2005年)

〔参考書〕

川井健ほか編『新判例マニュアル民法 総則』(三省堂)
内田貴『民法』(東京大学出版会)

民法(総論)	*2007年度入学者	
民法 B	*2005・2006年度入学者	
民法 (秋学期)	*2004年度以前入学者	
「民法総則(後半)」		2単位 秋学期
		4単位 通年
		鹿野 菜穂子

〔授業科目の内容〕

民法1Bでは、民法 Aにおける授業を踏まえ、民法第1編「総則」の後半部分について講義する。取り扱う主な内容は、代理・時効・信義則と権利濫用である。

代理や時効をめぐる問題は解釈上の問題点が多いが、それらを、事例問題などを通してできるだけ分かりやすく説明していきたい。

〔教科書〕

安井・後藤・中田・鹿野著『プリメール民法1[第2版]』(法律文化社・2005年)

〔参考書〕

川井健ほか編『新判例マニュアル民法 総則』(三省堂)
内田貴『民法』(東京大学出版会)

民法 A /		
民法 (春学期)	*2004年度以前入学者	
「物権法」		2単位 春学期
		4単位 通年
		花房 博文

〔授業科目の内容〕

本講義は、前・後期を通じて民法典第二編「物権」を対象とした講義です。春学期は、第一章「総則」から第六章「地役権」までを範囲とし、物権の分類、物権変動、登記の機能や、所有権(共有も含む)・占有権・用益物権等に関する効力等を説明します。

前半(春学期)の講義では、特に、排他的な支配権を確立させるための前提となる制度、物権変動における静的安全と動的安全の調和、共同所有・共同利用関係の法理、多数の権利者間における権利の優先関係を

決定する基準、等への理解を深めていただき、秋学期以降の講義へと繋げたいと考えています。

【教科書】

初回の講義で指示します。また、理解状況をみながらレジュメを配布したり、適宜指示したいと考えています。

【参考書】

淡路・鎌田他編『民法 - 物権法(第2版補訂)』有斐閣Sシリーズ(有斐閣、2003年、1900円)

その他、適宜指示します。

民法 B /

民法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「担保法の基本構造を理解する」 2単位 秋学期
4単位 通年
斎藤 和夫

【授業科目の内容】

民法典中の担保物件、民事執行法による実行手続、が二つの柱となります。

【教科書】

斎藤和夫・レーアブーフ民法(担保物件法)・中央経済社・06年

【参考書】

随時、指示します。

浦野編・基本法コンメンタール・民事執行法(第5版)、(担保権の実行: 斎藤)・日本評論社・2004年

民法 A /

民法 (春学期) * 2004年度以前入学者

「物権法の基礎と諸問題」 2単位 春学期
4単位 通年
武川 幸嗣

【授業科目の内容】

民法の物権法に関する講義を行う。当該科目では、物権法入門および総論から、物権変動、占有の意義と機能、所有権、用益物権までを主要な講義対象とする。物権法に関する基本的理解の確立と問題思考力の養成に資する授業を目指している。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

【教科書】

上記の通り、講義は担当者によるレジュメにしたがって行うが、自習用のテキストとして、森泉章=武川幸嗣『民法入門 物権法』日本評論社を挙げておく。

【参考書】

同上

民法 B /

民法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「担保物権法の基礎と諸問題」 2単位 秋学期
4単位 通年
武川 幸嗣

【授業科目の内容】

民法典第二編・物権編のうち、担保物権にあたる部分を講義対象とする。民法典に規定されている担保物権のみならず、実務上重要な担保手段についても取り上げる予定である。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

【教科書】

上記の通り、講義は担当者によるレジュメにしたがって行うが、自習用のテキストとして、森泉章=武川幸嗣『民法入門 担保物権法』日本評論社を挙げておく。

【参考書】

同上

民法 A /

民法 (春学期) * 2004年度以前入学者

「契約および不法行為の基礎理論(第1部)」 2単位 春学期
4単位 通年
片山 直也

【授業科目の内容】

いわゆる「債権各論」中、「契約総論」および「財産権移転型契約(贈与・売買・交換)」の講義を行う。

【教科書】

笠井修=片山直也=前田陽『弘文堂NOMIKA4・債権各論』(2007年刊行予定)。同テキストが刊行されるまでは担当教員が作成したレジュメで補う。

【参考書】

講義の初回に解説する。

民法 B /

民法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「契約および不法行為の基礎理論(第2部)」 2単位 秋学期
4単位 通年
片山 直也

【授業科目の内容】

いわゆる「債権各論」中、「契約各論(財産権移転型契約を除く)」、「事務管理」、「不当利得」および「不法行為」の講義を行う。

【教科書】

笠井修=片山直也=前田陽『弘文堂NOMIKA4・債権各論』(2007年刊行予定)。同テキストが刊行されるまでは担当教員が作成したレジュメで補う。

【参考書】

講義の初回に解説する。

民法 A /

民法 (春学期) * 2004年度以前入学者

「債権各論1」 2単位 春学期
4単位 通年
北居 功

【授業科目の内容】

本講義では、講学上いわゆる債権各論と呼ばれる、債権発生原因論の前半部分を扱う。主として、契約法の基本的なモデルを習得することとなる。具体的には、契約総論と不当利得とを扱う予定でいる。

【教科書】

教科書は指定しない。講義はレジュメに沿って行う予定でいる。

【参考書】

参考書は、授業の最初に説明する。

民法 B /

民法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「債権各論2」

2単位 秋学期

4単位 通年

北居 功

【授業科目の内容】

本講義では、講学上いわゆる債権各論と呼ばれる、債権発生原因論の後半部分を扱う。契約法の各論と不法行為法の基本的なモデルを習得することとなる。

【教科書】

教科書は指定しない。講義はレジュメに沿って行う予定でいる。

【参考書】

参考書は、授業の最初に説明する。

刑法 (総論) * 2007年度入学者

刑法 A * 2005・2006年度入学者

刑法 (春学期) * 2004年度以前入学者

「刑法の基礎理論と犯罪論入門」

2単位 春学期

4単位 通年

伊東 研祐

【授業科目の内容】

本講義は、刑法 (秋学期分) ないし刑法 B / 刑法 (総論) と実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関して詳細に検討し、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、近時における幾つかの身近な社会的問題への刑法的対応の可能性、それがもたらす理念的変動の批判的検討等を通じて、現代社会における刑法犯罪論の基礎を固めることを第2の目的とする。今後、刑法 / 刑法 (各論) ・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論 (学) 領域を対象とするものである。

【教科書】

伊東研祐 (編著) 『はじめての刑法』、成文堂、2004年別冊ジュリスト刑法判例百選 総論 [第5版]、有斐閣、2003年

【参考書】

高橋則夫・伊東研祐・井田良・杉田宗久 『法科大学院テキスト 刑法総論』、日本評論社、2005年

刑法 (総論) * 2007年度入学者

刑法 B * 2005・2006年度入学者

刑法 (秋学期) * 2004年度以前入学者

「刑法の基礎理論と犯罪論入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

伊東 研祐

【授業科目の内容】

本講義は、刑法 (春学期分) ないし刑法 A / 刑法 (総論) と実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関して詳細に検討し、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、近時における幾つかの身近な社会的問題への刑法的対応の可能性、それがもたらす理念的変動の批判的検討等を通じて、現代社会における刑法犯罪論の基礎を固めることを第2の目的とする。今後、刑法 / 刑法 (各論) ・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論 (学) 領域を対象とするものである。

【教科書】

伊東研祐 (編著) 『はじめての刑法』、成文堂、2004年別冊ジュリスト刑法判例百選 総論 [第5版]、有斐閣、2003年

【参考書】

高橋則夫・伊東研祐・井田良・杉田宗久 『法科大学院テキスト 刑法総論』、日本評論社、2005年

刑法 (総論) / 刑法 (総論) * 2007年度入学者

刑法 A / 刑法 B * 2005・2006年度入学者

刑法 * 2004年度以前入学者

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

加藤 久雄

【授業科目の内容】

刑法総論 (A) 前期・(B) 後期は、通年で4単位の必須科目である。授業内容も前期・後期を分けずに講義する。

刑法総論で学ぶ基本的問題点と学習の仕方：

この刑法総論は、伝統的に「刑法 1」という名称の講義として行われてきたが、今年度の新カリキュラムにより設置された科目である。一年生での刑法総論は、単に、犯罪論や刑法解釈論を学ぶだけではなく、刑事法学 (刑法総論・各論、刑事訴訟法、刑事政策、少年法、行刑法、犯罪者処遇制度等を含む) と言われる領域の基本的諸問題を総合的に学習する科目である。拙著『ポストゲノム社会における医事刑法入門』新訂 (補正) 版・2006年・東京法令出版」を教科書として、刑事法学に関する基礎的知識を学んで行く。

わたしの講義は、「刑事法学は人間学である」というテーマからスタートする。

わたしの「刑事法学」研究のアプローチは、学祖福澤諭吉先生の現場主義、人道主義、人間平等主義に基礎を置き、刑事法学の学説史的視点、犯罪論・刑罰論の基礎になる法哲学的視点、国際社会で通用する国際比較刑事政策的視点に基づいている。

こうしたグローバルな視点から刑法の目的・機能とは何かというと、刑法はどのような法益（国家・社会・個人）を保護することにより犯罪の予防と防止、社会の安全の確保、犯罪者と被害者の権利の確保、平和で安全な社会の構築をすることに貢献できるのか、などについて学んでいく。その意味で、刑事法学は極めて実践的でなければならない。とくに、秋学期では、「刑法判例百選」（総論・ジュリスト別冊・有斐閣）で判例の検討をしながら実践的講義を展開したい。

刑法を学ぶ上での基本的視点として、人道主義的な刑事政策の「最後の手段性」（ウルティマ・ラティオ）という性質から派生する（1）罪刑法定主義、（2）責任主義、（3）刑法の謙抑性・補充性の原則という3大原則を尊重するところにある。この刑法総論では、これらの重要なキーワードである「罪刑法定主義」とは、「責任主義」とは何かなどの刑法の大原則の淵源、学説史、学派の争いなどについて、具体的・基礎的判例・学説について学んでいく。

刑法の基礎判例の徹底的研究：例えば、（1）信賴の原則（最高裁昭和42年10月13日）、（2）刑法における生命の「始期」と「終期」：末期医療における刑法の介入（東海大学病院殺人被告事件判決）、（3）統合失調症（精神分裂病）犯罪者の刑事責任能力の判定（元自衛官の殺人・殺人未遂事件：最高裁第2小法廷判1978年3月24日刑集32巻2号408頁以下）などの基本的判例の分析・検討の仕方を学ぶ。

刑法の適用に伴う「法的安定性」確保のために刑事制裁の量定基準の科学的客観化が必要である。そのため隣接諸科学の研究が必要となる。科学鑑定と刑事司法制度運用の科学化に関して、例えば、（1）DNA鑑定、（2）染色体異常と刑事責任能力、（3）脳死論・安楽死論・尊厳死論などのテーマを検討することにより「人の生命の始期と終期」における諸問題への関心を広げ、刑法の研究対象となるテーマを学際的に研究していく方法を学ぶ。

国際比較法的アプローチの重要性：ボーダーレス社会における刑法の犯罪論・刑罰論にとって大切なのは、日本人のみに通用する独り善がりの狭い価値観に基づく法解釈論を克服するために国際的な視野を身に付けることである。この国際比較法的アプローチにとって重要なのは、マスメディアなどの情報だけに頼らず情報のオリジナリティーを求めるのは当然であるが、可能なかぎり、現場主義に基づいて情報の正確性や客観性を確認するか、その情報の時代背景、原点に当たり著者の基本的立場を良く理解し、他の関連著作や情報との比較を行って、参考にしていく必要がある。法学部法律学科に入学したばかりの諸君には、まだこうしたアプローチの方法は難しいので、国際経験に基づくわたしの講義における情報を通してこうしたアプローチの方法を身につけて、「刑

事法学」の学習を通して、「人間」を理解する心（リーガル・マインド）を学んでほしい。

【教科書】

加藤久雄『ポストゲノム社会における医事刑法入門』（新訂（補正）版・2006年・東京法令出版）

【参考書】

加藤久雄『人格障害犯罪者と社会治療』（成文堂・2003年）

伊藤孝夫『瀧川幸辰 汝の道を歩めー』（ミネルヴァ書房・2003年）

刑法判例百選（ジュリスト増刊・有斐閣）

刑法 A / 刑法 B /

刑法 *2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

鈴木左斗志

【授業科目の内容】

「刑法典第2編罪」に規定されている個別の犯罪の検討

【教科書】

西田典之・山口厚・佐伯仁志編『判例刑法各論』（有斐閣）

【参考書】

最初の講義で説明する。

刑法 A / 刑法 B /

刑法 *2004年度以前入学者

「刑法各論の重要問題」 各2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

高橋 則夫

【授業科目の内容】

刑法総論が犯罪の一般的成立要件すなわち構成要件該当性・違法性・責任を中核とする犯罪論体系を問題とするのに対して、刑法各論は個々の具体的な犯罪（殺人罪、窃盗罪など）の成立要件を問題とする。

刑法各論は、各構成要件上保護される法益によって、その対象を区分する。すなわち、個人的法益、社会的法益、国家的法益の三分類がこれである。この中でもとくに重要な領域は財産犯であり、財産犯については体系的に全体を包括する形で勉強することが望ましい。

刑法各論における解釈論の基本的視点は次のとおりである。

各規定の解釈論の現状を明確に把握する必要がある。そのためには、判例と学説を整理して学習し、よく検討し、自分が採用したいと考える説を選択し、自説の根拠づけと反対説に対する批判を熟考しなければならない。

各犯罪の解釈に際して、現実的な意味、機能および実益という観点から考察することも必要である。

総論における基本的アプローチ、とくに行為無価値と結果無価値の対立が各論における解釈にどのように反映しているかを考える必要がある。

憲法との関係・接点を意識して各論の解釈を展開する必要がある。刑法の憲法的前提を解釈の枠組みとして設定する必要がある。

そして、最後に、処罰の限界を明確化させなければならない。

【教科書】

大谷實『刑法講義各論』（2007年、成文堂）
高橋則夫『刑法各論講義ファイル』（成文堂）
高橋則夫『刑法総論講義案』（2006年、成文堂）

【参考書】

『刑法判例百選 各論（第5版）』有斐閣

民法演習 A / 民法演習 B /

民法演習 *2004年度以前入学者

「物権法の基本的知識と事例分析力を習得するための科目」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

浅井 隆

【授業科目の内容】

授業の目的は、物権分野の、(1) 基礎知識の習得と、(2) 事例を考えることによって応用力を身につけることです。

そして授業は、当初の数ヶ月間は基礎知識の習得を重点に、その後は事例中心に行う予定です。事例を考えることで学生のみなさんが、いわゆるリーガルマインドを身につけられることを期待しています。

教科書は、内田貴著「民法」（総則・物権総論）同「民法」各第3版（債権総論・担保物件）を使用し、事例問題についても、同教科書にある事例を中心に使います。

各授業は、対象範囲をあらかじめ指定しますので、事前にその部分を読んで参加すると、より効果が上がるようになっています。また、六法は、必ず用意して授業に出席してください。

【教科書】

内田貴著『民法』, 同『民法』各第3版 東京大学出版会

【参考書】

六法（模範六法がよりベター）

民法演習 A /

民法演習（春学期）*2004年度以前入学者

「民法の基礎を習得する」

2単位 春学期

4単位 通年

岡 伸浩

【授業科目の内容】

民法の物権法（特に不動産物権変動）の分野を中心に、基本的事項を習得することを目指します。

原則として講義形式とし、指定の教科書の内容を分かりやすく解説します。

教科書に掲載された事例や参考書として指定した判例百選の重要判例の検討を通じて、民法の考え方や事例分

析能力を身に付け、参加した皆さんが興味をもって学習できるように工夫したいと考えています。また、弁護士として法律実務の話などにも触れたいと考えています。

毎回、指定教科書と六法全書を持参してください。

【教科書】

内田貴『民法 総則・物権総論』（第3版）東京大学出版会 3360円 ISBN - 4 - 13 - 032331 - 8

【参考書】

「民法判例百選 総則・物権」（第5版）ジュリスト有斐閣 2200円 ISBN - 4 - 641 - 11475 - 7

近江幸治『民法講義 物権法』（第3版）成文堂 2800円 ISBN - 4 - 7923 - 2492 - 0

民法演習 B /

民法演習（秋学期）*2004年度以前入学者

「民法の基礎を習得する」

2単位 秋学期

4単位 通年

岡 伸浩

【授業科目の内容】

民法演習 A（物権法）に引続き、物権法の残り部分と担保物権法を中心に、基本的事項を習得することを目指します。

原則として講義形式とし、指定の教科書の内容を分かりやすく解説します。

教科書に掲載された事例や参考書として指定した判例百選の重要判例の検討を通じて、民法の考え方や事例分析能力を身に付け、参加した皆さんが興味をもって学習できるように工夫したいと考えています。また、弁護士として法律実務の話などにも触れたいと考えています。

毎回、指定教科書と六法全書を持参してください。

【教科書】

内田貴『民法 総則・物権総論』（第3版）東京大学出版会 3360円 ISBN - 4 - 13 - 032331 - 8

内田貴『民法 債権総論・担保物権』（第3版）東京大学出版会 3675円 ISBN - 4 - 13 - 032333 - 4

【参考書】

「民法判例百選 総則・物権」（第5版）ジュリスト有斐閣 2200円 ISBN - 4 - 641 - 11475 - 7

近江幸治『民法講義 物権法』（第3版）成文堂 2800円 ISBN - 4 - 7923 - 2492 - 0

近江幸治『民法講義 担保物権』成文堂 3300円 ISBN - 4 - 7923 - 2471 - 8

民法演習 A /

民法演習（春学期分）*2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

流矢 大士

【授業科目の内容】

民法総則を一通り学習し、民法物権法をこれから学習しようとする諸君を対象とします。

「法律的なものの考え方」「民法的なものの考え方」の

基本を習得し、さらに理解を深めることを目的とします。また、訴訟実務を念頭に置き、訴状の記載事項、主張と認否、要件事実、立証責任、民事訴訟法、民事執行法等についても学習します。

教科書として、内田貴著 民法 [第3版](東京大学出版会)を指定します。精読して行きますので、各自で用意して下さい。

範囲は、物権総論を中心に行います。

最初は、教科書に従って、基本的な概念、用語の意味、制度趣旨・立法趣旨の把握等に主眼をおいて進めますが、それと共に、実際の判例や演習問題を題材として、紛争解決に向けての心構え、考え方、結論の出し方等をみんなで考えて行きます。したがって、受講生一人ひとりの考え方を聞いて行きます。

なお、毎回出席を取ります。

【教科書】

内田貴著 民法 [第3版](東京大学出版会)

【参考書】

『民法判例百選 総則・物権』[第5版 新法対応補正版](別冊ジュリスト 175、有斐閣)

民法演習 B /

民法演習 (秋学期分) * 2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

流矢 大士

【授業科目の内容】

民法総則・物権総論を一通り学習し、担保物権法をこれから学習しようとする諸君を対象とします。

「法律的なものの考え方」「民法的なものの考え方」の基本を習得し、さらに理解を深めることを目的とします。また、訴訟実務を念頭に置き、訴状の記載事項、主張と認否、要件事実、立証責任、民事訴訟法、民事執行法等についても学習します。

教科書として、内田貴著 民法 [第3版](東京大学出版会)を指定します。精読して行きますので、各自で用意して下さい。

範囲は、担保物権を中心に行います。

最初は、教科書に従って、基本的な概念、用語の意味、制度趣旨・立法趣旨の把握等に主眼をおいて進めますが、それと共に、実際の判例や演習問題を題材として、紛争解決に向けての心構え、考え方、結論の出し方等をみんなで考えて行きます。したがって、受講生一人ひとりの考え方を聞いて行きます。

なお、毎回出席を取ります。

【教科書】

内田貴著 民法 [第3版](東京大学出版会)

【参考書】

我妻栄著 『新訂担保物権法』(民法講義)(岩波書店)

『民法判例百選 総則・物権』[第5版 新法対応補正版](別冊ジュリストNo.175、有斐閣)

法学演習(民法)(春) * 2007年度入学者

民法演習 A * 2005・2006年度入学者

民法演習 * 2004年度以前入学者

「民法総則の基礎知識1」

2単位 春学期

4単位 通年

小坏 淳子

【授業科目の内容】

初学者の方を対象に、民法総則の基礎的知識をおさえることを目標とします。

【教科書】

特に指定しませんが、各自何か1冊教科書を用意して、授業に合わせて読み進めてください。

なお、六法は必ず持参してください。

法学演習(民法)(秋) * 2007年度入学者

民法演習 B * 2005・2006年度入学者

民法演習 * 2004年度以前入学者

「民法総則の基礎知識2」

2単位 秋学期

4単位 通年

小坏 淳子

【授業科目の内容】

春学期にひととおり民法総則を学んだことを前提に、具体的な事例について考えることにより、法解釈の考え方を身に付けることを目標とします。

【教科書】

特に指定しませんが、各自何か1冊教科書を用意して、授業に合わせて読み進めてください。

なお、六法は必ず持参してください。

法学演習(民法)(春) * 2007年度入学者

民法演習 A * 2005・2006年度入学者

民法演習 * 2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

菅野 智巳

【授業科目の内容】

主として民法総則の分野を中心に物権総論・契約法の一部にかかわる事例を題材に、講義・議論・判例研究等を行うことにより、法律的なものの考え方、民法的な思考法を身につけることを目的とします。あわせて民法の基本的知識の習得を目指します。

法律実務に関する話題も適宜提供していき、現に機能している法現象の一端に触れてもらえればと考えています。

できるだけ受講生が積極的に参加できる場を設けたいと考えています。

前期は講義中心・後期は演習中心になる予定です。

【教科書】

内田貴 民法

民法判例百選

民法判例百選 他

詳細はガイダンスにて紹介します。

【参考書】

ガイダンスにて紹介いたします。

法学演習（民法）（秋）＊2007年度入学者

民法演習 B＊2005・2006年度入学者

民法演習 ＊2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

菅野 智巳

【授業科目の内容】

主として民法総則の分野を中心に物権総論・契約法の一部にかかわる事例を題材に、講義・議論・判例研究等を行うことにより、法律的なものの考え方、民法的な思考法を身につけることを目的とします。あわせて民法の基本的知識の習得を目指します。

法律実務に関する話題も適宜提供していき、現に機能している法現象の一端に触れてもらえればと考えています。

できるだけ受講生が積極的に参加できる場を設けたいと考えています。

前期は講義中心・後期は演習中心になる予定です。

【教科書】

内田貴 民法

民法判例百選

民法判例百選 他

詳細はガイダンスにて紹介します。

【参考書】

ガイダンスにて紹介いたします。

法学演習（民法）（春）＊2007年度入学者

民法演習 A＊2005・2006年度入学者

民法演習 ＊2004年度以前入学者

「民法総則への理解を深める。」

2単位 春学期

4単位 通年

菅原万里子

【授業科目の内容】

民法総則について、適宜リーディングケースとなる判例や論点を中心に説明を加えていきたい。事例解決のための演習問題、実社会での役立つ法律問題についての演習もできればよいと考えている。（民法演習 Aでは民法の構造から民法総則の法律行為総則までを予定し、民法演習 Bでは Aに引き続き法律行為から時効までを予定している）

【教科書】

六法・その他適宜指定する。

【参考書】

「民法講義 民法総則」 近江幸治著 成文堂

「判例百選 民法」 有斐閣

法学演習（民法）（秋）＊2007年度入学者

民法演習 B＊2005・2006年度入学者

民法演習 ＊2004年度以前入学者

「民法総則への理解を深める。」

2単位 秋学期

4単位 通年

菅原万里子

【授業科目の内容】

前期民法演習1Aに引き続き、民法総則を学ぶ。

民法総則について、適宜リーディングケースとなる判例や論点を中心に説明を加えていきたい。事例解決のための演習問題、実社会での役立つ法律問題についての演習もできればよいと考えている。

【教科書】

六法・その他適宜指定する。

【参考書】

「民法講義 民法総則」 近江幸治著 成文堂

「判例百選 民法」 有斐閣

法学演習（憲法）（秋）＊2007年度入学者

2単位 秋学期

小山 剛

*2006年度以前入学者は履修できません。

【授業科目の内容】

基本的人権を中心に、事例演習を行う。

毎回課題を設定し、全員で検討を加える。レポーター形式を採用するかどうかは、受講生と相談の上決めたい。

【教科書】

初学者にも分かりやすい演習書を使用する。後日掲示するので、開講までに用意しておくこと。

【参考書】

適宜指示するが、以下の2冊をとりあえず挙げておく。

井上典之＝小山剛＝山本一（編）『憲法学説に聞く一ロースクール憲法』（日本評論社）

小山剛＝駒村圭吾（編）『論点探究憲法』（弘文堂）（ただし、上級者向き）

法学演習（刑法）（秋）＊2007年度入学者

2単位 秋学期

鈴木左斗志

*2006年度以前入学者は履修できません。

【授業科目の内容】

刑法。A履修済みの1年生を受講者として想定し、既修範囲の問題（たとえば因果関係・不作為犯・故意など）のより深い検討を目的にします。また、刑法 Bで取り扱われる問題（たとえば正当防衛・未遂犯・共犯など）についても、順次取り上げていきます。

教材としては、最近の最高裁判例を予定しています。取り上げる判例と検討課題をあらかじめ指示しますので、受講者は必要な資料に目を通し、課題について自分なりの考えをまとめたうえで出席してください。授業は、

受講者が積極的に発言することを前提にして進めます（アトランダムに指名して発言を求めます）。

できるだけ発言しやすい雰囲気を作るように心がけたいと思います。そのため、応募人数によっては、受講者の選抜をおこないます。

【教科書・参考書】

まずは、各自の教科書を十分に理解しておいてください。そのうえで、最高裁判所調査官による判例解説（＝年度ごとに『最高裁判所判例解説 刑事篇 平成 年度』〔法曹会〕という書名の単行本に収録されています。この本は図書館に収蔵されています）は必読文献です（とりわけ「実務家になりたい」と考えている人にとって）、その他の参考資料については初回の授業で説明します。

法学演習（刑事法）（春）＊2007年度入学者

法学演習（刑事法）（秋）＊2007年度入学者

各2単位 春学期／秋学期

小池 信太郎

＊2006年度以前入学者は履修できません。

講義内容は、4月に法学部掲示板を参照のこと。

法学情報処理

2単位 秋学期

池田 真朗 原田 隆史 他

【授業科目の内容】

この講義においては、法学研究および生涯学習に必要な各種の学術情報源、情報処理方法、図書館利用法について説明するとともに、法学関係資料・文献の利用法、法学論文の書き方などについて解説する。各テーマにつき、本塾大学文学部の原田隆史（図書館・情報学専攻）、法学部法律学科の池田真朗、駒村圭吾ら（担当者には追加・変更があり得る）がそれぞれ講義を担当し、メディアセンター職員が基本的な文献検索ツールとリサーチの方法について説明を行う。

【教科書】

教科書は特に指定しない。なお、担当教員によっては授業で使用する資料等を以下のサイトにアップすることがあるので必要におうじて参照すること。

<http://www.slis.keio.ac.jp/ushi/infolaw.html>

【参考書】

いしかわまりこ＝村井のり子＝藤井康子『リーガル・リサーチ』日本評論社（2003年）

団体法

「自然人以外の権利主体である法人その他の団体に関する法制度について」

2単位 春学期

阿久沢利明

【授業科目の内容】

人の人たるゆえんは、団体に結合することにあると言われるように、個人の限界を意識して、人と人とが重合して大きな力を発揮する団体の存在が歴史を支えてきたことも事実である。われわれは、自然人個人に対しても

う一方の権利主体である法人を中心とした団体について、その存在の意義と内容および使命・課題を十分理解しておく必要があるであろう。

なお、民法が改正され、遅くとも平成20年から、非営利法人ないし公益法人は、主として特別法（「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」など）の定めによることになったので、これについても講述したい。

【教科書】

森泉章著「新・法人法入門」有斐閣（2004年、2,300円）

法制史概論 ＊2007年度入学者

法制史（基礎）＊2005・2006年度入学者

法制史（基礎）＊2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

霞 信彦

【授業科目の内容】

法律学という学問に取り組み、これから長い期間にわたり法との関わりを持つであろう学生諸君にとって、古代以来のわが国の法の変遷を承知することは、法に対する知見を広げ、現行法理解に向けて豊かな基礎力を涵養するために、有効な手段のひとつであると考えられる。そこで本講義では、古代から近世に至る日本法の足跡をたどり論じてみたいと思う。つまり学生諸君は、通史的に、わが国の法の流れを俯瞰することとなる。

さて、具体的な内容であるが、古代については、まず聖徳太子の手になるといわれる「憲法十七条」、大化改新後に示された、古代律令制発祥の原点ともいえるべき「改新詔」、さらには、中国法継受の結果わが国にもたらされた「律令」をとりあげ、その編纂過程や具体的な内容を概観する。次いで中世における武家社会の法として著名な鎌倉時代の「貞永式目」、室町時代開幕期に定められた「建武式目」、さらに、戦国大名が領国経営のために制定した戦国家法について、それらの特徴に言及するつもりである。近世では、江戸時代の「法」の代表的な存在として、幕府と大名との支配関係を詳らかにする「武家諸法度」および、幕府が自ら直接支配する地域におこなった「公事方御定書」の具体的な内容を明らかにしたい。

【教科書】

霞・漆原・浜野「日本法制史史料集」（慶應義塾大学出版会）

【参考書】

講義において必要に応じて指摘する

法制史概論 ＊2007年度入学者

法制史（基礎）＊2005・2006年度入学者

法制史（基礎）＊2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

岩谷 十郎

講義内容は、4月に法学部掲示板を参照のこと。

法の基礎

2単位 春学期

小林 節	藤原淳一郎
斉藤 和夫	坂原 正夫
鈴木千佳子	安富 潔
井田 良	大森正仁
田村 次朗	内藤 恵
君嶋 裕子	六車 明

【学習指導】 小山 剛 太田 達也

担当者は変更になることがある

* 2006年度以前入学者は履修できません。

【授業科目の内容】

本講は、新カリキュラムによった新たに導入されたオムニバス形式の講義である。

法学部及び大学院法務研究科の教員が、各法分野の概要や関連分野との関係、学習方法、将来の進路との関わりなどについて講義するものである。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

各教員から講義において指示する。

政治学科

社会科学科目

社会学

「社会学入門」

4単位 春学期集中

有末 賢

【授業科目の内容】

社会学は、近代社会の登場と軌を一にして「社会」（社交、世間など）という目に見えない存在の「発見」から出発した。この講義では、第一に「社会」の発見から、社会学の基礎としての行為、関係、相互作用、地位と役割、社会化、集団、組織、制度、構造、変動、情報、コミュニケーション、社会調査など基礎知識を学ぶ。そして、後半では「21世紀社会」として、ジェンダー、国際化とエスニシティ、高齢化社会と福祉、公害問題と環境社会学、日本の社会学史などについて、講義を行う。基本的には、テキストに沿って解説していくが、抽象的な諸概念を暗記するのではなく、具体的な社会の諸問題を通して現代社会のしくみや変動について、自分自身の頭で考えられるようになるのが授業の目標である。

【教科書】

・有末賢・霜野壽亮・関根政美[編著] 『社会学入門』弘文堂、1996年

【参考書】

・川合隆男ほか『社会学 現代社会学の課題』劉草書房、1984年
 ・有末 賢『現代大都市の重層的構造』ミネルヴァ書房、1999年

社会学

「社会学でみる現代社会・文化の変動 現代社会学入門」

4単位 春学期集中

関根 政美

【授業科目の内容】

本講義では、19世紀の近代社会の生成から現代21世紀初頭までの間、主な社会・文化変動を探求し続けてきた社会学について紹介したい。それは、諸君らが今生きている現代社会を自分の力で分析し、理解し、対応できるようになってほしいからである。基本的には、19世紀後半から20世紀の社会・文化変動を概観し、21世紀の変動について予測してみたい。授業の進行具合により内容の変更はありうるが、必修授業なので第1回目より授業に入る。教科書は2回目授業より必要になる。なお、2006年秋に受験競争を名目に世界史の授業を履修していない高校生の存在が報道され問題視されたが、社会学は近代世界史の基本的知識を必要とするものであるため、万が一世界史の知識に不安がある場合は、世界史（近代世界史）のテキストなどを読んでおくこと。

【テキスト】

有末賢・霜野壽亮・関根政美編著『社会学入門』弘文

堂、1997年。教科書は授業の予習・復習に欠かせないものである。必ず購入すること。

【参考書】

宮島喬編『岩波小辞典 社会学』2003年10月。社会学の授業を効率的に進めるため、簡単な概念はこの辞書参照で済ませるので、できるだけ購入し利用すること。

法学（憲法を含む）

4単位 春学期集中
高田 晴仁

【授業科目の内容】

法律学における最も基本的な概念の習得と、法律なものへの考え方の基礎を身につけることを目標とします。

【教科書】

特に指定しませんが、小型のものでよいので六法を持参してください。

【参考書】

倉田康一郎『プレップ法と法学』（弘文堂）
ほか講義中に指示します。

法学（憲法を含む）

「わが国の社会と法」

4単位 春学期集中
青木 淳一

【授業科目の内容】

法律に接するにあたり求められる基礎的な知識を得ること、我われを取り巻く社会と法律との関わりを議論することが、この講義の目的である。

この講義は3つの段階を進める。第一に、わが国の法体系や司法制度について解説する。法律学を学ぶためには、ことば、制度、約束事を正確かつ確実に習得しておかなければならない。第二に、公法、民事法、刑事法について、その基本構造と特徴を講述する。複雑・多様化する現代社会に対応すべく、専門分化も著しい法律学であって、その全体を俯瞰するために、これらの基礎的な法分野の知識と理解は欠かせない。第三に、わが国の社会における特定の領域・分野に目を向ける。それがどのような状況にあり、いかなる問題や課題を抱えているか。そこに法律がどのように関わっていて、また、関わるのが期待されるのか。現状認識、問題発見という過程を通じて、そこに見え隠れする法律の存在をイメージする。法律が我われの身近なところにあって、極めて重要な役割を演じていることがわかるだろう。

【教科書】

佐藤幸治・鈴木茂嗣・田中成明・前田達明『法律学入門〔第3版〕』（有斐閣、2006年）

六法（『ポケット六法』（有斐閣）等、小型のもので良い。最新年版を用いること）

【参考書】

講義の進行に必要なものは、その都度指示する。

平易な解説を試みた法学入門書は数多くあるが、大学生として新たな生活を始める諸君には、肩肘張らずに読めるものとして、木村晋介・中野麻美・島村麻里『二十

歳の法律ガイド〔第4版〕』（有斐閣、2003年）を薦めたい。

憲法

4単位 秋学期集中
向井 久了

【授業科目の内容】

近代憲法は国民の権利義務（基本的人権）の部分と統治（政治）機構の二つの部分から成り立っている。日本国憲法を学ぶということは主としてこの構成部分を学ぶことを意味するが、日本国憲法が現実においてどのように運用されているか、一言でいえば日本国憲法に書かれている文字だけではなく、いわゆる「生きた憲法」の姿をとらえていきたい。

【教科書】

向井久了著『やさしい憲法（第3版）』（法学書院、2005年）

【参考書】

大沢秀介著『憲法入門（第3版）』成文堂

憲法

「立憲主義、人権、統治機構」

4単位 秋学期集中
大沢 秀介

【授業科目の内容】

この講義では、法学部政治学科の学生として理解しておくことが望ましい日本国憲法についての基本的な知識について学びます。具体的には、立憲主義の意味、人権の意味、内容、統治機構を取り上げます。

【教科書】

大沢秀介『憲法入門（第3版）』（成文堂、2003年、3000円）野中俊彦・江橋崇編著『憲法判例集』（有斐閣、2004年、950円）六法（小型のもの）

【参考書】

芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第三版）』（岩波書店、2002年、3000円）

民法

4単位 春学期集中
水津 太郎

【授業科目の内容】

民法は、社会の基本法です。具体的には、財産と家族をめぐる法関係の基礎を規律しています。本講義では、民法の基礎（民法総論）および、民法財産法の前半部分、すなわち民法典でいうと、第1編「総則」、第2編「物権」を対象とします。基本的知識の習得とともに、法的思考力の涵養を目的とします。

【教科書】

民法総論・総則：斎藤和夫編『レーアブーフ民法〔第3版〕』（中央経済社、2007年）（出版予定）

物権：開講時に指示します。

【参考書】

開講時に指示します。

民法

「債権法の基礎」

4単位 秋学期集中
武川 幸嗣

〔授業科目の内容〕

この科目は、民法第三編の債権編の諸規定(債権法)を講義対象とする。債権法は債権総論・各論に分かれるが、本講義では、契約と不法行為を二つの柱としつつ、主要な制度を効果的に取り上げながら、それらの概要および重要な問題に関する解説を行う予定である。なお、講義は、担当者作成・配布によるレジュメに基づいて行う。

〔教科書〕

上記の通り、講義は担当者によるレジュメにしたがって行うが、自習用の補助教材として、池田真朗『スタートライン債権法』日本評論社を挙げておく。

〔参考書〕

同上

行政法

4単位 秋学期集中
磯部 哲

〔授業科目の内容〕

この講義では、行政法総論と行政救済法の諸問題を取り扱う。具体的な内容については下記「授業の計画」を参照のこと。基本方針としては、判例など具体的素材を多く用いる、基本的な概念や理論の説明を丁寧に行う、広く浅くではなく重要な論点を厳選する、というようなことを考えている。

〔教科書〕

開講時に指示する。

〔参考書〕

開講時に指示する。

刑法

4単位 春学期集中
亀井源太郎

〔授業科目の内容〕

刑法一般について講義する。

〔教科書〕

前田雅英『刑法各論講義第4版』(東京大学出版会、2007年予定)

前田雅英ほか『ケースブック刑法』(弘文堂、2007年予定)

国際法

4単位 秋学期集中
尹 仁河

〔授業科目の内容〕

本講義では、国際社会において適用される法としての国際法とは何か、その基本構造・用語・概念について学び、現実には起きている国際問題を国際法の観点から理解してゆきます。国際社会を見る眼として、経済・政治・文化等様々な観点がありますが、法的観点から分析する力を養うことに目標をおきます。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。教科書については開講時までには掲示します。

〔参考書〕

- ・栗林忠男『現代国際法』(慶應義塾大学出版会、1999年)
 - ・大沼保昭編『国際条約集2007年版』(有斐閣、2007年)
- 他、開講時に一覧を示します。

経済原論

「マクロ経済学」

4単位 秋学期集中
吉岡 祐次

〔授業科目の内容〕

本講義では、マクロ経済学の基本的な内容を簡潔に解説する。最初に、国民経済計算の仕組みや三面等価の原則を説明し、国民全体の経済活動の価値が国民生産や国民支出および国民所得などにより測定されることを示す。そして、その国民所得が理論的にどのように決定されるのかについて、45度線分析やIS-LM分析およびAD-AS分析などにより説明する。同時に、その背景にある消費や投資の理論、貨幣市場の理論、および労働市場の理論などについても説明する。なお、簡単な計算やグラフを使う予定である。

〔教科書〕

板書中心の授業なので、教科書は基本的に使用しない。

〔参考書〕

中谷巖『入門マクロ経済学(第4版)』日本評論社

経済原論

「マクロ経済学入門」

4単位 秋学期集中
岡崎 哲郎

〔授業科目の内容〕

経済原論は、経済問題を分析するための基礎的な考え方を体系としてまとめたものです。その中でマクロ経済学は一国全体の経済活動を分析対象とします。具体的には、景気、インフレーション・デフレーション、失業率、国際収支等について分析していきます。

〔教科書〕

講義で指示します。

〔参考書〕

講義で指示します。

経済原論

「ミクロ経済学入門」

4単位 春学期集中
塚原 康博

【授業科目の内容】

現代の日本において、われわれ消費者は誰からも強制されずに自分の判断で買いたい商品を買ひ、生産者は誰からも強制されずに自分の判断で売りたい商品をつくって売っている。社会の構成員は自発的行動しているが、欲しい商品は市場を通じて過不足なく供給され、物質的に豊かな社会が実現している。これを実現しているのが「市場メカニズム」である。この講義では、市場メカニズムによって、なぜ豊かな社会が実現できるのかを解明する。ただし、市場メカニズムは万能ではなく、限界もあるので、それについても言及する。

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

経済原論

「ミクロ経済学入門」

4単位 春学期集中
麻生 良文

【授業科目の内容】

ミクロ経済学の入門的講義を行う。租税政策、国際貿易政策、競争政策、環境政策など、さまざまな公共政策の目的や効果を理解するために、ミクロ経済学の習得は不可欠である。マクロ経済学が経済全体の変数（GDPやインフレ・失業率など）に注意を集中するのに対し、ミクロ経済学では消費者や生産者が価格や政策にどのように反応するかという個別の意思決定の問題を明示的に扱う。ミクロ経済学を学ぶことによって、市場メカニズムがどのように機能し、そしてその限界がどこにあるのかを理解できるようになる。講義内容は以下の通り。

- 1) 経済学入門
- 2) 市場メカニズムの機能と限界
- 3) 消費者行動の理論
- 4) 生産者行動の理論
- 5) 独占・寡占

【教科書】

特定の教科書は使用しない。講義ノートは次のホームページを参照のこと。

<http://www.law.keio.ac.jp/aso/>

【参考書】

スティグリッツ『スティグリッツ ミクロ経済学』東洋経済新報社、ヴァリアン『入門ミクロ経済学』勁草書房、奥野正寛『新版ミクロ経済学入門』日経文庫

文化人類学

「自明性を問う」

2単位 春学期
中野 紀和

【授業科目の内容】

他者・他文化理解を深めると同時に、自己・自文化理解を深めることが目標です。日常生活を再考し、物事にたいする多面的な視点を習得することを目指します。

【教科書】

特に指定しません。参考資料を配布します。

【参考書】

授業中に随時紹介します。

文化人類学

「自文化を再考する」

2単位 秋学期
中野 紀和

【授業科目の内容】

信仰や信仰を基盤とした祭り、その祭りの変遷を通して現代社会を再考すると同時に、「伝統」のありかたを多面的に捉えていきます。多様な祭りの展開を学ぶことで、日本の多面性について知ることを目指します。

【教科書】

特に指定しません。参考資料を配布します。

【参考書】

授業中に随時紹介します。

政治学科目 - 基礎科目（必修）

政治学基礎

「政治学の基礎概念・理論・アプローチ」

2単位 春学期
萩原 能久

【授業科目の内容】

この講義では政治学の基礎概念、理論、アプローチについて、以下のような順序でできるだけわかりやすく説明していくつもりです。

- 1) 権力、権威、自由、正統性、イデオロギー
これらの諸概念について、特に相互の関連に留意して説明し、いくつかの理論を紹介します。
- 2) 国家
ネーション・ステートおよびナショナリズムの成立・展開と現在におけるその問題点を示し、未来の世界への展望を考えます。
- 3) 民主主義
近代民主主義の成立と現代における様々な民主主義・民主化理論を検討します。
- 4) 戦争と平和
平和の構築という課題の重要性と、政治学における戦争と平和の関係について様々な角度から考えます。

【教科書】

特に用いませんが、Web上に置いた、関連する様々な私の文章をあらかじめ読んで受講すれば理解が高まるでしょう。

【参考書】

逐一、講義・レジュメのなかで示していきます。多いです。

政治学基礎

「現代政治学～政治理論と政治過程の解明」

2単位 春学期

小林 良彰

【授業科目の内容】

公務員試験などの公的試験で重視されている「第二次世界大戦以降の現代政治学」を中心に、政治学における中心的テーマである「公共政策が形成される過程」、つまり政治過程の実態について、できるだけわかりやすく説明を行うことにします。

本授業では、まず「政治とは何か？」について説明した上で、政治学における重要なテーマである「決定」と「配分」の問題について、これまでの政治学で何が明らかになり、何が課題として残されているのかを説明します。また、政治に関する利益集団論や地域権力構造論、権力エリート論、政治多元論、ポリアーキー論、ネオ・コーポラティズム論、ニュー・ポリティカル・カルチャー論など様々な理論についても紹介して行くことにします。

本授業を通して、履修者は公共政策における必要な知識を得ると共に、これからの社会や政治を見ていく上で、新しい視点を持ってもらうことができると考えています。

【教科書】

小林良彰著『日本における民主主義の機能と選挙行動』

【参考書】

小林良彰編『地方自治体をめぐる市民意識の動態』慶應義塾大学出版会

政治思想基礎

2単位 春学期

堤林 剣

【授業科目の内容】

次のテーマにそって、政治思想史全般についての入門講義を行います。

政治思想史とは？ 主題と方法について
 認識・判断・行為の規定要因としての思想 哲学
 と歴史（時間）と宗教の作用
 理性・合理的解釈・科学の領域と限界 基礎・価値基準をめぐって
 ロゴスの地位 普遍性と個別性、必然性（確実性）と偶然性の狭間において
 歴史の意味と無意味 時間概念と進歩と「歴史のアンビヴァレンス」
 古代政治思想

ホメロス（神話）的世界観の衰退 思考様式の転換：ミュトスからロゴスへ？

ポリスにおける民主政治の展開と政治学の誕生

ソクラテス、プラトン、アリストテレスの政治思想

現代における古代思想の政治的意義と政治的利用

プラトンの呪縛～自由の政治

ポリスからコスモポリスへ ストア派的自然法の展開

ギリシア世界からローマ世界へ 哲学から法へ

ローマ共和政における自由と法の観念

ローマ帝政期における法と権力の観念

キリスト教の影響と古代政治思想の変容

中世政治思想

普遍世界（キリスト教共同体）の理念と現実

叙任権闘争とグラシウス理論 二つの中心を有する楕円の統一体としての中世

「12世紀ルネサンス」の政治的・思想的意義

教会法の体系化と自然法の新たな展開

中世における立憲思想・人民主権論の展開

近代政治思想

ルネサンスと宗教改革のインパクト 普遍世界の解体？

新たな人間像と国家観の出現 近代精神と近代国家

マキアヴェッリの政治思想

近代的主権論の生成と展開 ボダン～ホッブズ

王権神授説の生成と展開 ポシユエ

自然権理論に基礎づけられた人民主権論と社会契約論の生成と展開

ロックのプロパティ論 人権思想の原型？

フランス啓蒙思想とスコットランド啓蒙思想 合理主義と功利主義

モンテスキューの政治思想 反主権論の系譜

ルソーの政治思想

19世紀自由主義思想：コンスタン、ギゾー、トクヴィル、J・S・ミル

合理主義・啓蒙思想への反発とドイツ・ロマン主義の展開

近代国家とナショナリズム

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

授業の際に適宜紹介します

政治思想基礎

「西欧政治思想史」

2単位 春学期

蔭山 宏

【授業科目の内容】

政治思想の入門講義。ヨーロッパを中心に近代政治思想が20世紀にどのように変質していくのかを取り上げたい。

自由主義、民主主義、全体主義などキーワードを詳しく説明する。

〔教科書〕

特に用いない

〔参考書〕

その都度指示する。参考文献は多数ある

日本政治基礎

2単位 秋学期

増山 幹高

〔授業科目の内容〕

この講義では、なぜ政治が必要なのかという根源的な問いからはじめ、日本政治の実際を把握することを試みます。具体的には、政治を理解するアプローチの一つとして合理的選択論を採用し、有権者、政治家、組織の三つの視点から、戦後日本の政治状況を多角的に捉え、政治の作用・力学を理解することを目指します。

〔教科書〕

平野浩・河野勝『アクセス日本政治論』日本経済評論社（2003年、2,800円）

〔参考書〕

村松岐夫ほか『日本の政治〔第二版〕』（有斐閣、2,000円）

真淵勝ほか『はじめて出会う政治学：フリー・ライダーを超えて』（有斐閣、1,800円）

伊藤光利『ポリティカル・サイエンス事始め・新版』（有斐閣、1,900円）

日本政治基礎

「日本の統治体制と政治文化」

2単位 秋学期

玉井 清

〔授業科目の内容〕

日本政治の特徴を多角的に理解するため以下の授業項目に従い講義する予定である。抽象論に終始することなく、下記の授業計画の項目に従い過去から現在まで日本に生じた種々の具体的政治現象を取り上げながら話を進める予定である。

〔教科書〕

特に教科書は用いず、授業中に適宜参考文献を指示する予定。

地域研究基礎

2単位 秋学期

出岡 直也

〔授業科目の内容〕

「地域研究」を政治学から行うための方法（論）枠組、視角、概念などの基礎的な部分を解説します。

〔教科書〕

「教科書」として指定するものではありません。

〔参考書〕

各部分につき教室で紹介します。

地域研究基礎

「政治学から地域の問題にアプローチする」

2単位 秋学期

富田 広士

〔授業科目の内容〕

地域研究は、「各国別、各地域別の研究で、特定の国あるいは地域の総合的理解と、他の国・地域との比較を重視する」学際的学問といわれる。ここでいう「総合」とは、ある地域の近現代または現在が抱える問題に対し、複数の専門領域からアプローチし、その成果を総合して理解するという意味である。

地域研究者は第一にその地域の文化に惹かれ、言語を習得し、現地での生活を体験し、近現代史を概観した上で、地域特性を研究対象にする。その意味では実証的な学問である。しかしそれだけでは不十分で、上述のような社会科学の学問分野を少なくとも一つマスターし、そこで練り上げられた問題の見方や分析手法を地域の研究にできるだけ使う必要がある。

政治学科学者が地域研究に取り組む場合、政治学の立場から地域の問題にアプローチすることが必要になる。政治学的アプローチのいくつかの問題領域を取り上げ、入門的な講義を行う。

〔教科書〕

毎回、講義の骨子、参考文献等を記したプリント教材を配布する。（なるべくホームページよりダウンロードできるようにしたい）

〔参考書〕

学期中、図書館リザーブ・ブックとして閲覧可。

国際政治基礎

2単位 秋学期

西野 純也

〔授業科目の内容〕

本講義は、国際政治学で用いられる基礎的概念、分析枠組みを紹介しつつ、現代国際政治の諸問題に関する理解を深めることを目的とする。講義を通じて、21世紀の国際政治を表層的にはなく構造的に分析する力を養うことを目指します。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

中西寛『国際政治とは何か』中公新書、2003年。

原彬久編『国際関係学講義（第3版）』有斐閣、2006年。

田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』有斐閣、2004年。

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』有斐閣、2005年。

国際政治基礎

「20世紀の戦争と平和」

2単位 秋学期

赤木 完爾

〔授業科目の内容〕

このコースは、主として20世紀の戦争と平和に関する国際政治の出来事を素材として、国際政治研究における基礎的な考え方の枠組みや、多用される術語の意味、国際政治を分析する視角などを体得することを目的としています。講義は国際政治の核心にある戦争と平和の問題を中心に議論を展開する予定です。さらに21世紀に入ってから国際政治における大きな変化である非国家主体による脅威がもたらした戦略環境の変化や、大量破壊兵器の問題についても、論議する予定です。

〔教科書〕

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』[原書第5版] (有斐閣、2005年)

〔参考書〕

ヘンリー・A・キッシンジャー『外交』全2冊(日本経済新聞社、1996年)

ポール・ケネディ『決定版 大国の興亡』全2冊(草思社、1993年)

ゴードン・A・クレイグ、アレキサンダー・L・ジョージ『軍力と現代外交 歴史と理論で学ぶ平和の条件』(有斐閣、1997年)

ジョン・ルイス・ギャディス『歴史としての冷戦』(慶應義塾大学出版会、2004年)

ジョン・ルイス・ギャディス『アメリカ外交の大戦略』(慶應義塾大学出版会、2006年)

石井修『国際政治史としての20世紀』(有信堂高文社、2000年)

有賀貞『An International History of the Modern World 近現代世界の国際関係史』(研究社、2004年)

岩内亮一、藪野祐三『国際関係用語辞典』(学文社、2003年)

田中明彦、中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』(有斐閣、2004年)

[追加の文献紹介は講義開始後に行う。またプリント教材を使うことを予定しているが、詳細は開講後に指示する]

政治学科目 - 系列科目

行政学

「『ガバナンスの行政学』は可能か」

2単位 春学期

大山 耕輔

〔授業科目の内容〕

行政学 (public administration) の前半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」

を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「ガバナンスの行政学」の可能性と限界を考察します。

〔教科書〕

村松岐夫『行政学教科書(第2版)』有斐閣(2001年)

〔参考書〕

西尾勝『行政学(新版)』有斐閣(2001年)、福田耕治・真淵勝・縣公一郎共編著『行政の新展開』法律文化社(2002年)、拙著『エネルギー・ガバナンスの行政学』慶大出版会(2002年)、拙著『行政学入門 CDブック』

慶大通信教育部(2000年)拙著『行政指導の政治経済学』有斐閣(1996年)等

行政学

「『ガバナンスの行政学』は可能か」

2単位 秋学期

大山 耕輔

〔授業科目の内容〕

行政学 (public administration) の後半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「ガバナンスの行政学」の可能性と限界を考察します。

〔教科書〕

村松岐夫『行政学教科書(第2版)』有斐閣(2001年)

〔参考書〕

西尾勝『行政学(新版)』有斐閣(2001年)、福田耕治・真淵勝・縣公一郎共編著『行政の新展開』法律文化社(2002年)、拙著『エネルギー・ガバナンスの行政学』慶大出版会(2002年)、拙著『行政学入門 CDブック』慶大通信教育部(2000年)拙著『行政指導の政治経済学』有斐閣(1996年)等

有斐閣(1996年)等

国際政治論

「日本の安全保障について考える」

2単位 秋学期

阪田 恭代

〔授業科目の内容〕

本授業では、安全保障論を基礎に、日本の安全保障ならびに安全保障政策について講義する。

〔教科書〕

・初回の授業にて発表する。

〔参考書〕

赤根谷達雄・落合浩太郎編『日本の安全保障』有斐閣コンパクト、2004年。

山田高敬・大矢根聡『グローバル社会の国際関係論』有斐閣コンパクト、2006年。

防衛大学校安全保障研究会編『安全保障学入門(最新版)』亜紀書房、2003年。

山本吉宣・河野勝編『アクセス 安全保障論』日本経済評論社、2005年。

石井貴太郎編『国際関係論へのアプローチ 理論と実

証』ミネルヴァ書房、1999年。

児玉克哉ほか『はじめて出会う平和学』有斐閣アルマ、2004年。

平和・安全保障研究所編『アジアの安全保障』朝雲新聞社（年刊）

防衛研究所編『東アジア戦略概観』（年刊）

西川吉光『激動するアジア国際政治』晃洋書房、2004年。

長谷川雄一・高杉忠明編『新版 現代の国際政治』ミネルヴァ書房、2002年。

伊藤憲一・田中明彦監修『東アジア共同体と日本の針路』NHKブックス、2005年。

加藤秀次郎・渡邊啓貴編『国際政治の基礎知識（増補版）』芦書房、2002年

田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』有斐閣ブックス、2004年。

猪口孝ほか編『国際政治辞典』弘文堂、2005年。

佐島直子ほか編『現代安全保障用語事典』信山社、2004年。

・その他、授業にて発表する。

西洋外交史

「近代ヨーロッパの国際政治史」 2単位 春学期
細谷 雄一

【授業科目の内容】

本講義では、17世紀の近代国際社会の成立から第二次世界大戦勃発までの、近代ヨーロッパ外交史を検討することになる。主要なテーマは、以下の通り。

【教科書】

渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』（有斐閣）

【参考書】

キッシンジャー『外交（上）』岡崎久彦監訳（日本経済新聞社）

ルネ・ジロー『国際関係史』（未来社）

クレイグ＝ジョージ『軍事力と現代外交』木村修三他訳（有斐閣）

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』田中明彦・村田晃嗣訳（有斐閣）

佐々木雄太・木畑洋一編『イギリス外交史』（有斐閣）

田所昌幸編『ロイヤル・ネイヴィーとパクス・ブリタニカ』（有斐閣）

細谷雄一・矢澤達宏編『国際学入門』（創文社）

細谷雄一『大英帝国の外交官たち』（筑摩書房）

細谷雄一『外交による平和』（有斐閣）

日本外交史

「国際環境の変動と日本外交」 2単位 春学期
黒沢 文貴

【授業科目の内容】

戦前日本の外交が、江戸後期以降の国際関係の変動に依りて、どのように展開されたのかを考察することにする。とくに国際関係の秩序原理と日本外交の国際認識の

諸相についての基礎的理解を得ることを目的とする。

【教科書】

とくに指定しない

【参考書】

池井優『三訂 日本外交史概説』（慶応通信、1992年）
入江昭『日本の外交』（中公新書、1966年）井上寿一『日本外交史講義』（岩波書店、2003年）イアン・ニッシュ『日本の外交政策 1869 - 1942』（ミネルヴァ書房、1994年）細谷千博『日本外交の軌跡』（日本放送出版協会、1993年）三谷博・山口輝臣『19世紀日本の歴史』（放送大学教育振興会、2000年）山室信一『思想課題としてのアジア』（岩波書店、2001年）日本国際政治学会編『日本外交の国際認識と秩序構想』（有斐閣、2004年）外務省編『日本外交年表並主要文書』上下（原書房、1965年）外務省外交史料館編『日本外交史辞典』（山川出版社、1992年）

マス・コミュニケーション論

「マス・コミュニケーションと近現代社会」

2単位 春学期

津田正太郎

【授業科目の内容】

本講義の目的は、マス・コミュニケーションの誕生および発展の過程を論じるとともに、それがいかなる役割を果たしてきたのかを解説することにある。近代社会の生成過程においてマス・コミュニケーションは極めて重要な役割を果たしてきたと言われる。本講義ではまず、マス・コミュニケーションに関する理解を促進するための諸概念を論じ、次に近代化が進むなかでマス・コミュニケーションはどのような役割を果たしてきたのかを解説する。そして、マス・コミュニケーションが社会に与える影響に関する理論モデルを紹介し、さらに現代社会におけるマス・コミュニケーションの変容について検討を行う。

【教科書】

大石裕『コミュニケーション研究（第2版）』慶應義塾大学出版会、2006年

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

民主主義思想論

「デモクラシーの原理的考察 古代から現代まで」

2単位 秋学期

堤林 剣

【授業科目の内容】

冷戦終結後の現在、デモクラシーはもはや唯一実現可能にして正義に適う政治的イデオロギー、理論、制度として広く受容されるに至った（少なくとも建前上は）。また、日本を民主主義国家と定義することも、日本国憲法において主権在民、人権および平和が基本原理として尊重されている事実から疑うべくもないものとされる。しかしこうした一見自明な「事実」を前にして、「民主

主義とはいったい何であるか」、「それは何・誰のためにあるのか」、「それは永遠にして不変的かつ普遍的なものか」、「もしそうでなければそれはどう変わりうるか」といった問いに答えようとした時、その答が決して容易に得られないこと、そして実際には民主主義という理念および現実をめぐる見解が甚だしく多様かつ論争的であることが明らかになるであろう。

本講義の目的は、勿論こうした混迷に終止符を打つことでも唯一絶対にして真理の民主主義の定義・理論を提供することでもない。(それは不可能のみならず、そもそも問題解決のアプローチとして多くの問題を孕んでいられると思われる 詳しいことは講義で。) そうではなく、「民主主義とは何か」という原理的問いに立ち返り、古代ギリシアに遡る西洋政治思想の歴史のなかでそれがどのように問われてきたかを概観し、そこで得られる視野を通じて今日のデモクラシーの理論と現実を規定する問題群を理解し批判的に吟味する(これは否定とはまったく異なる)ための概念ツール、思考枠組みを探求することである。つまり、本講義で問題となるのは、答そのものではなく、問うべき問いをいかに探すか、そして問うべき問いに答える際に必要となる座標軸としていかなるものがありうるかを、西洋政治思想の伝統にヒントを求めつつ考えることである。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

授業の際に適宜紹介します

立法過程論

2単位 秋学期
増山 幹高

【授業科目の内容】

この講義では、立法過程における「制度と行動の相互性」について論じます。民主的な代議政体において、どのような権力の集中・分散が達成されるかは、現政権の実績と将来の政権構想の二者択一がどの程度有権者に意識されているのかということに依存する問題です。この講義では、どのように権力の集中・分散が立法過程や政策形成において促進されているのかということについて、これまでの政治学的な理論・実証分析を解説していきます。

【教科書】

増山著『議会制度と日本政治』(木鐸社、2003年)

河野・平野編著『アクセス日本政治論』(日本経済評論社、2003年)

【参考書】

クラスで随時案内します。

現代ロシア論

「プーチン時代のロシアとは？」 2単位 春学期
横手 慎二

【授業科目の内容】

この講義では、プーチン時代の内政をロシアの政治的伝統という観点と、ゴルバチョフ・エリツィン時代になされた改革のゆれ戻しという観点から考察する。何故民主化が困難であるのか、考えたい。

【教科書】

教科書として、横手慎二『現代ロシア政治入門』(慶應義塾大学出版会)を使う。

【参考書】

参考書は講義の中であげる。

現代アメリカ論

「現代アメリカの政党政治」 2単位 秋学期
岡山 裕

【授業科目の内容】

アメリカの政治において共和党と民主党という二つの大政党が競争していることは、日本でもよく知られています。また、日本の政党政治が二大政党制に向かっていくのではないかという議論がされる際、アメリカの例が持ち出されることも少なくありません。しかしアメリカの政党は、日本など他の先進民主主義諸国の多くの政党とはかなり異なる性格を持っており、日本の政党や政党政治の理解をそのまま当てはめようとする大変な誤解に陥る、その意味で厄介な存在です。この授業では、アメリカで、世界初の大衆に支持基盤を持つ政党政治がどのように発達したのかを簡単に振り返ったうえで、現代アメリカにおける政党の諸活動とその意義を、重要な側面のそれぞれについて検討していきます。それによって、政党が一時期よりも重要な役割を演じるようになっていく、現代のアメリカ政治全体についても理解を深めてもらいたいと考えています。またアメリカの政党には徹底的な理論分析が加えられてきたため、授業ではそうした分析上の知見にも頻繁に言及する予定です。

【教科書】

とくに指定しません

【参考書】

授業時に案内します

政治文化論

「ドイツ・フランス・イギリスの比較政治文化論」 2単位 春学期
蔭山 宏

【授業科目の内容】

政治文化論の大きな流れとしては、モンテスキューに由来する政治文化論、ウェーバーに由来する政治文化論、アメリカの政治文化論がある。

この講義では主としてウェーバー以降の政治文化論に依りつつ、英・独・仏の政治文化を比較検討したい。

【教科書】

特になし

【参考書】

多数ある。その都度指示する。

政治学科目 - 集中学習科目

演習

「ナショナリズムに関する考察」 2単位 秋学期
阿南 友亮

【授業科目の内容】

本演習では、ナショナリズムに関連した近代社会の諸問題について幅広く議論をすることを目的とする。学生は、テキストを読み、報告をおこない、その報告に関して積極的に議論をすることが求められる。本演習は、ネイションとナショナリズムに関する専門的知識の習得に加えて、問題発見・論理的思考・プレゼンテーションに関する能力・スキルの向上を目標とする。

【教科書】

ベネディクト・アンダーソン著、白石さや・白石隆訳『想像の共同体 ナショナリズムの起源と流行』（NTT出版）

【参考書】

アーネスト・ゲルナー著、加藤節訳『民族とナショナリズム』（岩波書店）
E.L.ホブズボーム著、浜林正夫訳『ナショナリズムの歴史と現在』（大月書店）
アンソニー・スミス著、巢山靖司訳『二〇世紀のナショナリズム』（法律文化社）
エティエンヌ・バリバル、イマニユエル・ウォーラスティン著、若森章孝訳『人種・国民・階級 揺らぐアイデンティティ』（大村書店）
橋川文三『ナショナリズム その神話と論理』（紀伊国屋書店）
小熊英二『単一民族神話の起源』（新曜社）
大澤真幸編『ナショナリズム論の名著50』（平凡社）

演習

「ブッシュ政権と現代アメリカ政治」 2単位 秋学期
天野 拓

【授業科目の内容】

ブッシュ政権の内政・外交政策を通して、現代アメリカ政治の現状について学ぶのが、本授業の目的である。現在第二期目を迎え、また支持率の低下も指摘されるブッシュ政権下の政治を概観し、同時にその今後を展望する。

【参考書】

たとえば、久保文明編『G.W.ブッシュ政権とアメリカの保守勢力 共和党の分析』（日本国際問題研究所）（2003年）

演習

「政治学の古典を読む」 2単位 春学期
有賀 誠

【授業科目の内容】

それぞれの学問領域には、古典と言われている書物が

あります。しかし、それらは、名前はよく知られているとしても、実際に読まれることは極めて少ないのではないのでしょうか。

理由はいくつも考えられますが、古典は、たいてい、教科書的な本の中でその概要が紹介されており、読む前からすでに読んだ気になってしまうということが大きいように思います。実は私もそのようにして学生時代に古典を読む機会を逸してきたのですが、後年、必要に迫られて読んでみると、概要には現れてこない細部にむしろ古典の魅力が残されていることに気づきました。

本演習では、なかなかひとりでは読み通せない古典を、みんなで輪読していきたくと思います。毎回、担当を決め、レジュメを作成した上で、30分程度の報告をしてもらいます。残り時間は、私のレクチャーと参加者のディスカッションにあて、理解を深めていくというのが基本的なスタイルになります。

取り上げる本は、広い意味での政治学の古典で、いまのところ、J・S・ミル『自由論』（塩尻公明・木村健康訳、岩波文庫）、A・トクヴィル『アメリカのデモクラシー』（松本礼二訳、岩波文庫）、W・リップマン『世論』（掛川トミ子訳、岩波文庫）といった候補を考えていますが、参加者の希望も聞いた上で、最終的な決定をしたいと思います。

【教科書】

輪読対象の本が、そのまま教科書ということになります。

【参考書】

必要に応じて、授業時に、紹介します。

演習

「昭和戦前期の政治と知識人」 2単位 春学期
岩村 正史

【授業科目の内容】

昭和戦前期に活動した自由主義者の評伝を輪読し、議論を行う。当時の政治状況を理解したうえで、狭められた言論空間における知識人やマスメディアのあり方について考える。

【教科書】

北岡伸一『清沢冽 外交評論の運命』増補版（中公新書、2004年）

御厨貴『馬場恒吾の面目 危機の時代のリベラリスト』（中央公論社、1997年）

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

演習

「現代世界の民主主義」 2単位 春学期
粕谷 祐子

【授業科目の内容】

比較政治学の名著である、『民主主義対民主主義：コンセンサス型と多数決型の36カ国比較』（原題：Patterns of Democracies）を輪読します。20世紀後半

において世界各国がとる現実の民主主義体制は、多数決型民主主義とコンセンサス型民主主義の二つを原型とし、その中間種・混合種として捉えることができる、というのが本書の基本的主張のひとつです。レイブハルトのこの議論は、彼が1970年代に著したオランダ政治の研究に端を発しており、その後の一連の著作とともに、現在に至るまで民主主義研究に多大な影響を与えてきました。その著者の最新作が本書です。ここでは、これまでの議論をさらに精緻化し、途上国、先進国の両方を含む36カ国を実証的に比較分析した上で、上記のような結論に達しています。本書を掘り下げて読むことにより、以下のような目的を達成するのが本演習の目的です。(1)「理想型」ではなく「現実」の民主主義体制の多様性について考える、(2)実証政治学における「測定」の諸問題について学ぶ、(3)様々な政治制度の働きについて理解する、(4)分析対象となっている36カ国の政治について知る、(5)アカデミックな議論のしかたを身につける。授業では、毎回、担当者が1章分の要約・コメントをおこない、その後クラス全体でディスカッションをします。参加者すべてが授業前に指定章を毎回読んでくることが履修の最低条件ですが、これを確認するため、何回か授業内小テストをおこないます。

【教科書】

『民主主義対民主主義：コンセンサス型と多数決型の36カ国比較』 アレンド・レイブハルト、勁草書房、2005年（各自購入してください）

【参考書】

猪口孝他編『政治学事典』弘文堂、2000年。その他、随時紹介。

演習

「幕末・維新时期における政権交代」 2単位 春学期
門松 秀樹

【授業科目の内容】

この授業では、下記に示す文献の講読を通じて、幕末・維新时期における政権交代について政治史的な観点から考察を行うことを目的とする。一般に、わが国の近代における大規模な政治変動は、江戸幕府から明治政府に政権が交代した明治維新と、第2次世界大戦の敗戦による戦後の民主改革の2つであると考えられている。ここでは、明治維新における政権交代を、薩摩藩・長州藩などの明治政府側と、幕府側の双方から展望することにより、政権交代に際しての政治過程の考察や、江戸幕府と明治政府の比較による近世・近代における連続・不連続論などについての政治史上の論点について理解を深めていきたいと考えている。なお、授業は演習形式で行うため、毎回、範囲を決めてそれぞれの文献の内容について、全員から論点・疑問点の提示などを行い、それらについて議論を進めていくことにより、考察や理解を深めていきたいと考えている。

【教科書】

家近良樹『孝明天皇と「一会桑」 幕末・維新の新視点』(文春新書、2002年)

松尾正人『維新政権』(吉川弘文館、1995年)

【参考書】

必要に応じて、適宜指定する。

演習

「昭和戦前期の戦争について考える」 2単位 春学期
黒沢 文貴

【授業科目の内容】

昭和戦前期の戦争については、大東亜戦争、太平洋戦争、十五年戦争、第二次世界大戦、アジア・太平洋戦争などさまざまな呼称があり、さらに政治は「先の大戦」と呼びならわしている。戦争の呼び名はそれぞれの価値観の反映であるが、それゆえ多様な呼称の存在は、「あの戦争」にたいするさまざまな評価・認識が日本国内にあることをあらわしている。本演習では、そうしたすべての視点を網羅的に取りあげることにはできないが、比較的最近出版された著作物を手がかりにして、昭和戦前期の戦争をめぐるいくつかの論点について考えてみたい。

【教科書】

演習参加者の意見も参考にしたいが、現在講読を予定しているのは、保阪正康『あの戦争は何だったのか』(新潮新書)、東條由布子編『大東亜戦争の真実』(WAC)、吉田裕『日本人の戦争観』(岩波現代文庫)、藤原帰一『戦争を記憶する』(講談社現代新書)、小菅信子『戦後和解』(中公新書)

【参考書】

入江昭『歴史を学ぶということ』(講談社現代新書)

演習

「日本行政の歴史的展開」 2単位 春学期
神崎勝一郎

【授業科目の内容】

この授業では、日本行政の歴史的展開について、下記教科書を輪読し、基礎を学びながら一緒に考えていきます。毎回担当を決め、30分程度の報告をしてもらい、残りの時間は、報告者と履修者との質疑応答、担当者の解説にあて、理解を深めていきます。この授業では、わが国の行政の仕組みを今一度歴史的に見直すことで、日本に固有な行政制度の本質について、履修者の皆さんと考えていきたいと思っています。

【教科書】

笠原英彦・桑原英明編著『日本行政の歴史と理論』芦書房(平成16年 2800円)

【参考書】

授業中必要に応じて指示します。

演習

「現代韓国政治を見る眼」 2単位 春学期
西野 純也

【授業科目の内容】

現代韓国の政治・経済に関する文献を購読すること

で、韓国政治に関する専門的知識を習得すると共に学問的な問題意識を深めることを目的とする。授業は主に、(1)歴代大統領の統治、(2)「漢江の奇跡」と言われた経済発展と1990年代の経済危機、(3)南北朝鮮関係と対米・対日関係を中心とする国際関係、といった内容を扱う。

【教科書】

木宮正史『韓国 民主化と経済発展のダイナミズム』ちくま新書、2003年。

その他の文献は、初回の授業で指示します。

【参考書】

渡辺利夫『韓国経済入門』ちくま学芸文庫、1996年。

木村幹『朝鮮半島をどう見るか』集英社新書、2004年。

演習

「環境の政治学」

2単位 春学期

萩原 能久

【授業科目の内容】

この演習では環境問題に対して、政治学の立場からどのような理論的・実践的貢献ができるかを、できるだけ多くの書物を読みながら皆で一緒に議論し、考えてみたい。先進国と途上国の圧倒的な非対称性のもとにあるグローバル化世界の中で、持続可能な発展と正義のバランスをどうとれるか、将来世代へ良好な地球環境を残さなければならない市民の義務とは何かといったテーマが中心となるだろう。

【教科書】

初回の授業の際に履修者と相談したいと思いますが、少なくとも以下にあげる書物は是非とも読みたいと思います。

『沈黙の春』、レイチェル・カーソン、新潮文庫

『自然保護という思想』、沼田真、岩波新書

『シチズンシップと環境』、アンドリュー・ドブソン、日本経済評論社

『自然保護を問い直す』、鬼頭秀一、ちくま新書

『環境倫理学のすすめ』、加藤尚武、丸善ライブラリー

『新・環境倫理学のすすめ』、加藤尚武、丸善ライブラリー

【参考書】

必要だと思う文献は議論のなかでアドバイスしていきます。

演習

「政治現象の経済学的分析」

2単位 秋学期

河野 武司

【授業科目の内容】

「なぜ棄権が起こるのか」、「既得権が守られるのはなぜか」といった疑問に対し、最新の経済分析の枠組みを用いてやさしく論じ、改革の方途を提案している下記の教科書を講読することを通して、合理的選択という観点から政治現象を分析する公共選挙論の基本的視点を理解する。

【教科書】

井堀利宏『経済学で読み解く日本の政治』東洋経済新報社、1999年。

【参考書】

特に指定しません。

演習

「国際関係理論と大国外交」

2単位 秋学期

今野 茂充

【授業科目の内容】

国際政治に限らず複雑な社会現象の「あるがままの現実」を細部まで完全に理解することはほぼ不可能であるが、理論や分析枠組はこうした複雑な現象を単純化して大局的に理解するための有効な「道具」となる。本演習では、国際関係理論および国際安全保障の基本的な考え方を学んだ上で、受講者が自らの頭で大国外交の諸問題について理論的に分析し、議論できるようになることを目指します。

毎回、2、3名程度の報告者に課題文献（および参考文献）の要旨と問題点について報告してもらい、報告内容と担当者による補足説明を土台に全員で議論する形をとります。

【教科書】

初回の授業の際に課題文献及び参考文献のリストを配布します。

【参考書】

ジョセフ・S・ナイ・ジュニア『国際紛争』（有斐閣、2005年）を初回の授業までに必ず読んでおいてください。その他、吉川直人・野口和彦（編）『国際関係理論』（勁草書房、2006年）、ゴードン・A・クレイグ、アレクサンダー・L・ジョージ『軍事力と現代外交 歴史と理論で学ぶ平和の条件』（有斐閣、1997年）などにも目を通しておくとよいと思います。

演習

「国際政治学の古典を読む」

2単位 秋学期

阪田 恭代

【授業科目の内容】

20世紀後半の現代国際政治学、とりわけリアリストの国際政治理論の古典、ハンス・モーゲンソー『国際政治 権力と平和』を読み、国際政治学の基礎を学び、さらに21世紀の国際政治におけるその意義について考える。

本演習では、「教科書」としてモーゲンソー『国際政治』の基礎編にあたる第1部から第6部を対象とする（応用編にあたる第7 - 10部は「参考書」として扱う）。詳細は、以下、「教科書」と「参考書」を参照。なお、第3回の授業で、教科書の第1部（第1章、2章）ならびに序文・「訳者あとがき」を扱い、小レポートの提出も予定しているので、事前に読んでおくこと。

【教科書】

ハンス・モーゲンソー（現代平和研究会訳・原彬久代表）『国際政治 権力と平和』福村出版、最新版。

(Hans J. Morgenthau, *Politics Among Nations: The Struggle for Power and Peace*) (邦訳版を入手してください。)

【目次】

序文 (初版から改定第5版)

- 第1部 国際政治の理論と実践 (第1章 リアリストの国際政治理論; 第2章 国際政治の科学)
- 第2部 権力闘争としての国際政治 (第3 - 7章)
- 第3部 国力 (第8 - 10章)
- 第4部 国家権力の制限 バランス・オブ・パワー (第11 - 14章)
- 第5部 国家権力の制限 国際道義と世界世論 (第15 - 17章)
- 第6部 国家権力の制限 国際法 (第18 - 19章)

・ ・

訳者あとがき

参考文献、人名・用語解説

【参考書】

- はプレゼン、レポート作成のためのガイドである。とくに は購入しておくこと。以降は、国際政治学の理論・アプローチを論じた書あるいは概説・ガイドである。その他、適宜、授業にて紹介する。

佐藤望ほか『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会、2006年。

河野哲也『レポート・論文の書き方入門』慶應義塾大学出版会 (第3版あるいは最新版)

小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書

小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術 インターネット完全活用編』講談社現代新書

ハンス・モーゲンソー (現代平和研究会訳・原彬久代表)『国際政治 権力と平和』(福村出版)

第7部 現代世界の国際政治 (第20 - 22章) 第8 - 10部 平和の問題 (第23 - 32章)

(英文最新版 Han J. Morgenthau (revised by Kenneth W. Thompson and W. David Clinton, *Politics Among Nations; The Struggle for Power and Peace*, 7th edition, McGraw-Hill Higher Education, 2006.)

E. H. カ (井上茂訳)『危機の二十年 1919-1939』岩波文庫

高坂正堯『国際政治 恐怖と希望』中公新書

ヘンリー・キッシンジャー (岡崎久彦監訳)『外交 (上・下)』日本経済新聞社

入江昭『二十世紀の戦争と平和』東京大学出版会

中西寛『国際政治とは何か 地球社会における人間と秩序』中公新書

ジョセフ・ナイ (田中明彦・村田晃嗣訳)『国際紛争 理論と歴史』有斐閣

加藤秀次郎・渡邊啓貴編『国際政治の基礎知識 (増補版)』芦書房

田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』有斐閣ブックス

猪口孝ほか編『国際政治事典』弘文堂

演習

「徳富蘇峰の生涯と近代日本史」

2単位 秋学期

沢田 次郎

【授業科目の内容】

徳富蘇峰 (1863 - 1957年) は近代日本を代表するジャーナリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。蘇峰の生涯を記した英語文献を購読することにより、近代日本の歴史を内面から探してみたい。

【教科書】

授業中に指示 (コピー配布の予定)

演習

「近代日本政治研究入門」

2単位 秋学期

玉井 清

【授業科目の内容】

近代日本政治史に関する理解を深めるため下記2冊の著書を輪読し討論する予定である。討論の対象は、明治中期から大正にかけての内政と外政、海軍の視点から見た昭和戦時期の政治である。授業の進め方は、履修者の数によりかわるが、要旨発表者と討論者を事前に決定し、その発表を軸に履修者全員で討論をする予定である。

また、歴史を始めとする実証研究に必要な研究の初歩的手ほどき、すなわち、新鮮かつ解決可能な問題設定の方法の仕方、既存研究の調査、資料の収集、整理、分析、さらにはこれを倫理的帰結へと導く方法に関しても、討論の過程の中で、具体的事例に則して講義する予定である。

【教科書】

1 川田稔『原敬と山県有朋：国家構想をめぐる外交と内政』(中公新書)

2 瀧藤厚『日本海軍の終戦工作：アジア太平洋戦争の再検証』(中公新書)

演習

「戦後日米関係と対日イメージ」

2単位 秋学期

昇 亜美子

【授業科目の内容】

戦後の日本外交は、安定した友好的な日米関係に支えられて展開してきた。しかしながら、米国の知識人および大衆が形成する対日イメージには、時代とともに大きな振幅があった。太平洋戦争中に形成された「敵」としての日本イメージから、共産主義圏と和解する可能性の高いひ弱な同盟国、そして米国にとって脅威となる経済大国といったイメージの変化が見られたのである。

本演習では、戦後日米関係史を学ぶと共に、主に米国における知識人の論考に表れた米国の対日イメージに焦点を当てることにより、日米関係の多角的な理解を深めることを目的とする。また、マス・メディアによる報道、世論調査、映画や文学に表れた対日イメージについても

随時触れ、映画やドキュメンタリーフィルムの上映も予定している。

毎回の授業の進め方は、2本の論文につき、それぞれ報告者を割り当てる。授業の後半は、戦後日米関係と対日イメージに関する自由な研究テーマに基づき各自が発表を行う。履修者の人数によってはグループ発表形式も考慮する。

【教科書】

細谷千博編『日米関係通史』（東京大学出版会、1995年）。

梅垣理郎編訳『戦後日米関係を読むー「フォーリン・アフェアーズ」の目』（中央公論社、1993年）。

【参考書】

奥井智之著『日本問題 「奇跡」から「脅威」へ』（中公新書、1994年）。

ジョン・W.ダワー著・斎藤元一訳『容赦なき戦争 太平洋戦争における人種差別』（平凡社、2001年）。

細谷千博・入江昭・大芝亮編『記憶としてのパールハーバー』（ミネルヴァ書房、2004年）。

演習

「中国をめぐる東アジアの国際関係」 2単位 春学期
星野 昌裕

【授業科目の内容】

現代中国の政治外交に関する文献を講読し、中国政治の視点から東アジアの国際関係を分析する専門知識を習得することを目的とする。

【教科書】

国分良成『中華人民共和国』ちくま新書（1999年）

若林正文『台湾 変容し躊躇するアイデンティティ』ちくま新書（2001年）

天児慧『中国・アジア・日本 大国化する「巨龍」は脅威か』ちくま新書（2006年）

毛里和子『日中関係 戦後から新時代へ』岩波新書（2006年）

【参考書】

授業で指示する。

演習

2単位 秋学期
三船 毅

【授業科目の内容】

現代日本政治過程研究に関する基礎的文献を購読する。具体的内容としては、有権者の政治行動（投票行動、政治参加など）に関する実証分析の文献を中心に講読し、政治学における実証研究とその方法を学ぶ。講読する文献は、最初の時間に受講者と相談したうえで決定する。

演習

「ネイション・ステイト（国民国家）と戦争」

2単位 春学期
阿南 友亮

【授業科目の内容】

本演習では、18世紀後半以降形成されたネイション・ステイト（国民国家）と戦争・軍隊との相関性について考察する。学生は、テキストを読み、報告をおこない、その報告に関して積極的に討論をすることが求められる。本演習は、専門的知識の習得に加えて、問題発見・論理的思考・プレゼンテーションに関する能力・スキルの向上を目標とする。

【教科書】

Bruce D. Porter, *War and the Rise of the State : The Military Foundations of Modern Politics* (New York : Free Press, 1994).

【参考書】

Theda Skocpol, *States and Social Revolution* (Cambridge : Cambridge University Press, 1979).

Theda Skocpol, "Social Revolutions and Mass Military Mobilization", Rosemary O'kane, *REVOLUTION vol.2* (London : Routledge, 2000).

ウィリアム・マクニール著、高橋均訳『戦争の世界史 技術と軍隊と社会』（刀水書房）

アンソニー・ギデンズ著、松尾精文他訳『国民国家と暴力』（而立書房）

加藤陽子『徴兵制と近代日本1868-1945』（吉川弘文館）

アルフレート・ファークツ著、望田幸男訳『ミリタリズムの歴史 文民と軍人』（福村出版）

演習

「ブッシュ政権下のアメリカ政治」 2単位 春学期
天野 拓

【授業科目の内容】

2001年以降のブッシュ政権の内政・外交政策についての考察を通じて、現在のアメリカ政治に関する考察を深める。ブッシュ政権の下でどのような政策がとられているのか、その功罪は何か、などの点について具体的なトピックをとり上げながら、考えてみたい。

【参考書】

講義にて紹介する。

演習

「選挙の実態をアメリカに学ぶ」 2単位 春学期
河野 武司

【授業科目の内容】

下記の教科書の輪読を通して、アメリカの実態から代議制民主主義を駆動させるエンジンの一つである選挙の諸問題を理解します。

【教科書】

Stephen J. Wayne, *Is this any Way to Run a Democratic Election ?*, Boston: Houghton Mifflin Company, 2003. 本書は全9章230ページからなる比較的短くて読みやすい英書です。

【参考書】

特に指定しません。

演習

「勢力均衡論と冷戦終結後の世界」 2単位 春学期
今野 茂充

【授業科目の内容】

冷戦終結後の世界において「勢力均衡論はもはや時代遅れになった」と批判されることも少なくない。本演習では、国際政治学における勢力均衡論に関する基礎的な知識を習得した上で、課題文献 (Balance of Power: Theory and Practice in the 21st Century) に所収されている論文を手がかりに、冷戦終結後の世界における勢力均衡論の意義と課題について考察していきたい。

毎回の授業では、課題文献に所収されている論文を1本ずつ読み進めていく予定であり、数人の報告者を決めて課題文献の内容について報告してもらい、報告内容と担当者による補足説明を土台に全員で議論する形をとります。

【教科書】

T.V. Paul, James J. Wirtz, and Michael Fortmann, eds., *Balance of Power: Theory and Practice in the 21st Century* (Stanford: Stanford University Press, 2004). その他の課題文献については、初回の授業の際にリストを配布します。

【参考書】

John A. Vasquez and Colin Elman, eds., *Realism and the Balancing of Power: A New Debate* (Upper Saddle River: Prentice Hall, 2003); Michael Sheehan, *Balance of Power: History and Theory* (London: Routledge, 1996). 日本語の参考文献については、初回の授業の際にリストを配布する予定です。

演習

「徳富蘇峰の生涯と近代日本史」 2単位 春学期
沢田 次郎

【授業科目の内容】

徳富蘇峰 (1863~1957年) は近代日本を代表するジャーナリスト、歴史家として知られ、戦時中まで日本の世論形成に大きな役割を果たした人物である。蘇峰の生涯を記した日本語文献を購読することにより、近代日本の歴史を内面から探ってみたい。

【教科書】

授業中に指示 (コピー配布の予定)

演習

2単位 春学期
津田正太郎

【授業科目の内容】

本演習では、マス・コミュニケーションに関する英語文献の輪読を行う。演習の参加者には、担当部分の訳文を作成してもらい、その訳文をもとに内容についての理解を深める。英語文献であることから、日本語文献の輪読と比較するとどうしてもペースは遅くなるが、そのぶん著者の主張をより詳細に検討できるというメリットもある。単なる英語の勉強に留まらず、受講者諸君がマス・コミュニケーションをより深く理解するきっかけとなる演習にしたいと考えている。

【教科書】

目下のところ、John Street, *Mass Media, Politics and Democracy* (2nd edition), Palgrave Macmillanを読むことを考えているが変更する可能性もある。

演習

「現代日本の外交と国際関係」 2単位 春学期
昇 亜美子

【授業科目の内容】

本演習は、戦後国際政治の展開と占領期から冷戦後に至るまでの日本外交の流れを学ぶことにより、現代の国際政治の中における日本をみる目を養うことを目的とする。戦後日本外交は、国際政治環境によってどのように規定されてきたのだろうか。また、日本外交は国際政治環境にどのように反応し、寄与してきたのだろうか。そして現在の国際関係の中で日本に期待される役割は何なのであろうか。こうした問題について考えていく。

毎回の授業の進め方は、教科書の指定箇所 (英文5ページ程度) につき、事前に決められた報告者がレジメを用意して要旨報告と問題提起を行う。授業の後半は、日本外交と国際関係に関する自由な研究テーマに基づき各自が発表を行う。

下記参考書以外にも逐次日本語の参考文献を紹介するので、教科書と併せて読むことが望ましい。

【教科書】

Glen D. Hook, Julie Gilson, Christopher W. Hughes, Hugo Dobson, *Japan's International Relations: Politics, economics and security*, second edition (London: Routledge, 2005).

Michael Yahuda, *The International Politics of the Asia - Pacific 1945 - 1995*, second edition (London: Routledge Curzon, 2004).

(該当箇所のコピーを配布するので、各自が購入する必要は必ずしもない。)

【参考書】

五百旗頭真編 『戦後日本外交史』 (有斐閣アルマ、2006年)

添谷芳秀著 『日本の「ミドルパワー」外交 戦後日本

の選択と構想』(ちくま新書、2005年)

演習 2単位 春学期
三船 毅

【授業科目の内容】

政治学における、実証研究分野の基礎的文献を講読する。今年度は、アメリカにおける大統領選挙の投票率低下に関する文献を講読する予定である。また、時間があれば受講生の要望も取り入れて、他の文献も講読する。

演習 2単位 秋学期
出岡 直也

【授業科目の内容】

重要な政治学の英語文献を講読します。テキストは次の基準で選びます。

- (1) 非常に優れた考察である(のに、それにふさわしいほどは注目されてこず、必ず引用されるほどではないので、「演習」の形で読む意味が大きい)。
- (2) 政治学の専門的知識なしに、誰でもちゃんと考察すれば理解できる。
- (3) 読んで受ける知的刺激が非常に大きい。

今のところ、考えているテキストは次のようなものですが、最終的には参加者の関心なども聞いたのちに決定します。

* 民主主義と市場経済、或いは、政治と経済の関係について：

Robert A. Dahl, "Why All Countries Have Mixed Economies," in John Chapman and Ian Shapiro (eds.), *Democratic Community* (New York: New York University Press, 1993), pp.259 - 82.

* 開発・経済発展の政治経済学について：

Albert O. Hirschman, "A Dissenter's Confession: The Strategy of Economic Development Revisited," in Gerard Meier and Dudley Seers (eds.), *Pioneers in Development* (New York, World Bank /Oxford University Press, 1984), pp.87 - 111.

* 政党システムと「ファシズム」について：

Juan J. Linz, "Political Space and Fascism as a Late - Comer," in Stein Ugelvik Larsen et al. (eds.), *Who Were the Fascists? Social Roots of European Fascism* (Bergen: Universitetsforlaget, 1980), pp.153 - 89.

* 「市民社会」について：

Nicos P. Mouzelis, "Modernity, Late Development and Civil Society," in John A. Hall (ed.), *Civil Society: Theory, History, Comparison* (Cambridge: Polity Press, 1995), pp.224 - 49.

こうしたテキストの内容の要約とそれについてのコメントを、担当者(人数によっては担当班)を決めて報告してもらい、みんなで議論します。

演習

「1930年代、各国出版界のナチス・ドイツ認識」 2単位 秋学期
岩村 正史

【授業科目の内容】

1930年代における英米出版界の対独姿勢に関する研究書(英語)を輪読し、議論を行う。また、同時代の日本の言論状況とも比較を行う。全体主義に対する言論人・出版人のあり方について、歴史から考える。

【教科書】

James J. Barnes and Patience P. Barnes, *Hitler's Mein Kampf in Britain and America: A Publishing History 1930-1939* (Cambridge: Cambridge University Press, 1980) のコピーを配布する。

【参考書】

岩村正史『戦前日本人の対ドイツ意識』(慶應義塾大学出版会、2005年)

演習

「西洋政治思想史 古代から現代まで」 2単位 秋学期
堤林 剣

【授業科目の内容】

政治思想の入門書(英文)を輪読しながらディスカッションを行う。古代から現代までの政治思想の流れを捉えることがこの授業の狙いである。使用するテキストに関しては履修者と相談の上決めるが、とりあえず以下の文献を考えている。

David Boucher and Paul Kelly (ed.), *Political Thinkers: From Socrates to the Present* (Oxford: Oxford University Press, 2003)

John Dunn (ed.), *Democracy: The Unfinished Journey, 508BC to AD1993* (Oxford: Oxford University Press, 1994)

演習

「民主化以降韓国の大統領制度と選挙」 2単位 秋学期
西野 純也

【授業科目の内容】

本演習では、1987年の民主化以降の韓国における大統領制度と選挙に関する英語文献の講読を通じて、韓国大統領制の現状と課題について理解することを目的とする。ちなみに、韓国にとって2007年は大統領選挙があるだけでなく、現行憲法が20周年を迎える節目の年である。比較政治学、地域研究のケース・スタディとして韓国政治を扱うため、他国との比較を念頭に置きつつ議論を深めたい。

【教科書】

最初の授業で、使用論文リストを提示します。

【参考書】

森山茂徳『韓国現代政治』東京大学出版会、1998年。
 大西裕『韓国経済の政治分析 大統領の政策選択』
 有斐閣、2005年。
 グレゴリー・ヘンダーソン『朝鮮の政治社会』サイマル出版会、1973年。

演習

「現代中国の政治外交」 2単位 秋学期
 星野 昌裕

【授業科目の内容】

The China Quarterlyといった英文学術雑誌から、現代中国の政治外交および東アジアの国際関係に関する論文をピックアップし、輪読する。

【教科書】

特になし。必要な論文を授業で配布する。

【参考書】

授業で指示する。

演習

「現代中東論に関する英語文献の講読」 2単位 秋学期
 富田 広士

【授業科目の内容】

現代中東論に関する次の英語文献の一部をコピーして、講読する。

- (1) Irwin, Robert(2006), *Dangerous Knowledge : Orientalism and Its Discontents*, Woodstock, The Overlook Press.
- (2) Cohen, Shana and Jaidi, Larabi(2006), *Morocco : Globalization and Its Consequences*, New York, Routledge.
- (3) Anderson, Betty S.(2005), *Nationalist Voices in Jordan : The Street and the State*, Austin, University of Texas Press.
- (4) Hassan bin Talal(1981), *Palestinian Self-Determination : A Study of the West Bank and Gaza Strip*, New York, Quartet Books Inc..

【教科書】

テキスト：文献のコピーの求め方は初回授業時間に指示する。

4 商学部

商学部では2005年4月一年次入学者より新カリキュラムが導入されました。それにより設置科目や設置形態が学則により異なりますので、シラバスを読む際に気をつけてください。参照ページは以下のとおりです。

2005年4月以降一年次入学者 344ページ～
2004年以前入学者(2005年度二年編入含) 369ページ～

基礎科目 類 (基礎必修科目)

経済学基礎 / 経済学 (春学期)

「ミクロ経済学の基礎」 2単位 春学期
牧 厚志 桜本 光
中島 隆信

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する

〔教科書〕

井原、牧、桜本、辻村『経済学入門』、日本評論社、2003年

〔参考書〕

牧のみ 牧『日本人の消費行動』ちくま新書、1998年

経済学基礎 / 経済学 (秋学期)

「マクロ経済学の基礎」 2単位 秋学期
牧 厚志 桜本 光
中島 隆信

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する

〔教科書〕

井原、牧、桜本、辻村『経済学入門』日本評論社、2003年

微積分 (微分法)

「微積分の基礎(前)」 2単位 春学期/秋学期
渡部 睦夫 小宮 英敏
白旗 優 安田 公美
菅原 昭博

*注意事項：この科目を履修し不合格だった場合は「微積分」を履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。

〔授業科目の内容〕

社会科学の様々な学問において、数学的な考え方や数学的手法が必要とされています。専攻科目の基礎となる経済学、経営学などを数学を用いて理解、研究する時に必要となる、微分、積分の基礎について学ぶのがこの「微積分」です。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示

〔参考書〕

最初の授業の時に指示

微積分 (微分法)

「微積分の基礎(後)」 2単位 春学期/秋学期
渡部 睦夫 小宮 英敏
白旗 優 安田 公美
田村 裕子

*注意事項：この科目は「微積分」が不合格だった場合は履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。

〔授業科目の内容〕

「微積分」にひき続き、微分、積分の基礎について学びます。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示

〔参考書〕

最初の授業の時に指示

統計学

「統計学入門コース」 2単位 春学期
吉岡 完治 早見 均
新保 一成

〔授業科目の内容〕

統計学 および統計学 を通じて、統計学の基本的知識を身に付けるとともに、データの分析手法を習得する。

〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版)
(東洋経済新報社)

〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』
(NTT出版)

統計学

「統計学基礎コース」 2単位 秋学期
吉岡 完治 早見 均
新保 一成

〔授業科目の内容〕

統計学 に引き続き、統計学の基本的知識を身に付けるとともに、データの分析手法を習得する。統計学 を履修してあることを前提とする。

〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版)
(東洋経済新報社)

〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』
(NTT出版)

基礎科目 類 (基礎基盤科目)

経済史 (春学期) 2単位 春学期
牛島 利明

〔授業科目の内容〕

この講義は、日本の経済や経営・産業について専門的に学ぶ際に必要となる、戦後の日本経済・産業の歴史的背景についての知識を習得してもらうことを目的とします。春学期の授業では、第二次大戦後の復興期から高度成長期までの日本経済全体の歩みを理解するとともに、各時代を代表する主要な産業をケースとしてとりあげ、「日本的」と称されるシステムがどのようなプロセスで生成してきたのかを講義する予定です。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭『現代日本経済』有斐閣、1998年。

経済史 (秋学期) 2単位 秋学期
牛島 利明

〔授業科目の内容〕

この講義は、将来、日本の経済や経営・産業について専門的に学ぶ際に必要となる、戦後の日本経済・産業の歴史的背景についての知識を習得してもらうことを目的とします。秋学期の授業では、「日本型」経済・企業システムの変化を意識しつつ、1970年代の石油危機以降から90年代までの日本経済全体の歩みを理解するとともに、各時代を代表する主要な産業・企業の事例に注目して講義する予定です。

〔教科書〕

とくに指定しません。

〔参考書〕

橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭『現代日本経済』有斐閣、1998年。

経済史 (春学期) 2単位 春学期
「近代日本経済史入門」 平野 隆

〔授業科目の内容〕

開港・明治維新时期から1920年代(昭和恐慌)までの時期を対象として、日本の経済・社会の歴史的展開を概観することによって、現代の様々な経済・社会問題の背景を理解するための視野と基礎知識を提供する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

安藤良雄編『近代日本経済史要覧』(第2版)東京大学出版会

三和良一『概説日本経済史・近現代』(第2版)東京大学出版会

中村隆英『日本経済』(第3版)東京大学出版会
梅村又次他編『日本経済史』(1~6巻)岩波書店
尾高煌之助・斎藤修(編)『日本経済の200年』日本評論社

大野健一『途上国ニッポンの歩み』有斐閣

その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

経済史 (秋学期) 2単位 秋学期
「現代日本経済史入門」 平野 隆

〔授業科目の内容〕

経済史 を受けて、1930年代(高橋財政)から21世紀初頭までの時期を対象として、現代日本の経済・社会の歴史的背景を理解するための視野と基礎知識を提供する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

三和良一『概説日本経済史・近現代』(第2版)東京大学出版会

中村隆英『日本経済』(第3版)東京大学出版会

梅村又次他編『日本経済史』(6~8巻)岩波書店

中村隆英『昭和経済史』岩波書店

橋本寿朗『戦後の日本経済』岩波新書

大野健一『途上国ニッポンの歩み』有斐閣

その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

社会経済学 2単位 春学期
赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

社会経済学 2単位 秋学期
赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構

造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

私法基礎 (春学期)

「市民法の基本概念と基礎理論(1)」 2単位 春学期
松尾 弘

【授業科目の内容】

この授業では、家族、財産、契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例に置き直しながら、かつ体系的に整理して解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利(人格権、物権、債権および家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権)が帰属するのかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。私法基礎(春学期分)では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の主体および客体を中心にして解説を行う。

【教科書】

初回の講義時に指定します。

【参考書】

道垣内弘人『ゼミナール民法入門(第2版)』(日本経済新聞社、2003)。

二宮周平『家族法(第2版)』(新世社、2005)。

私法基礎 (秋学期)

「市民法の基本概念と基礎理論(2)」 2単位 秋学期
松尾 弘

【授業科目の内容】

この授業では、家族、財産、契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例に置き直しながら、かつ体系的に整理して解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利(人格権、物権、債権および家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権)が帰属するのかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。私法基礎(秋学期分)では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の変動を中心にして

解説を行う。

【教科書】

初回の講義時に指定します。

【参考書】

道垣内弘人『ゼミナール民法入門(第2版)』(日本経済新聞社、2003)。

二宮周平『家族法(第2版)』(新世社、2005)。

私法基礎 (春学期)

「民事法の基礎」 2単位 春学期
本田 耕一

【授業科目の内容】

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

【教科書】

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

【参考書】

必要に応じて講義の際に指示します。

私法基礎 (秋学期)

「民事法の基礎」 2単位 秋学期
本田 耕一

【授業科目の内容】

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

【教科書】

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

【参考書】

必要に応じて講義の際に指示します。

専攻科目 類(専攻核科目)

経営学(環境と戦略) 2単位 春学期
岡本 大輔 谷口 和弘
梅津 光弘

【授業科目の内容】

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

【教科書】

初回の講義で説明する。

【参考書】

初回の講義で説明する。

経営学（組織と管理） 2単位 秋学期
岡本 大輔 谷口 和弘
梅津 光弘

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で説明する。

〔参考書〕

初回の講義で説明する。

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期
坂口 博

〔授業科目の内容〕

簿記はビジネスの言葉といわれて、現実の経済社会を正しく理解するうえで非常に重要な科目です。講義では、企業の簿記である複式簿記の基本的な考え方や、企業の活動とその業績を知るために不可欠になる財務諸表の作り方とその見方について学修します。半期科目で授業の回数が少ないので、進み方が早いですから休まないように心がけてください。

〔教科書〕

坂口博著『新簿記会計提要』泉文堂刊

〔参考書〕

日本商工会議所編『商業簿記問題集・3級』一ツ橋出版・税務経理協会等

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期
「複式簿記論と財務諸表分析」 佐藤 康廣

〔授業科目の内容〕

複式簿記の処理手続を体系的知識として修得すること。更に、記録に基づき財務諸表の作成・分析の技法を修得することを目的とする。このため、講義資料により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために練習を行う。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

『新検定簿記講義3級』中央経済社、『新検定ワークブック3級』中央経済社

基本簿記と財務諸表の見方

2単位 春学期
高田 京子

〔授業科目の内容〕

本講義では、複式簿記の概要、および、財務諸表の基本的な読み方を学習する。

複式簿記とは、企業の経済活動を翻訳し、記録し、報告するためのシステムである。このシステムによって作成される情報（財務諸表）は、企業の財政状態や経営成績を表すものとして、企業をとりまく種々の利害関係者によって利用される。本講義の学習内容は、企業や経済環境を理解するための基礎となるだろう。

〔教科書〕

開講時に指示する。

〔参考書〕

開講時に指示する。

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期
鷹野 宏行

〔授業科目の内容〕

企業は、その経済活動を継続的に記録し、それを加工して、定期的に報告していかなければならない。この一連の流れは、ふつう、企業会計と呼ばれている。企業会計が、企業を取り巻く利害関係者への一種のコミュニケーションの手段であるということに注目すると、企業会計は、ことばの体系にたとえることができよう。このようにたとえた場合、簿記は、さしずめ企業会計の文法規約であると考えられるであろう。

〔教科書〕

友岡賛、福島千幸著『アカウンティング・エッセンシャルズ』有斐閣

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期
永見 尊

〔授業科目の内容〕

企業の成績を評価するためには、会計数値を理解することが不可欠です。どの企業がより優れているのか、あるいは一企業の3年間の成績はどのように推移しているのか、といった側面を知るためには、たとえば売上高、経常利益、流動資産あるいは自己資本といった会計用語や数値の意味が理解できなければなりません。この授業は、簿記の仕組み、貸借対照表および損益計算書の意味、そして財務諸表の分析といった幅広い領域を対象として、簿記および会計の基本的な考え方を学びます。

〔教科書〕

中村忠『新訂 現代簿記』白桃書房。

講義資料プリントおよび問題プリントを適宜配布します。

商業学（春学期）

「ミクロ・マーケティング論の基礎」 2単位 春学期
齊藤 通貴

【授業科目の内容】

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究のミクロ・マーケティング論部分の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。また、秋学期に開講される商業学を同時に受講することが望ましい。講義内容は以下の通りである。

- ・商業学とマーケティング論
 1. 商業学とはなにか
 2. 商業学研究の領域 - ミクロおよびマクロ・マーケティング
- ・ミクロ・マーケティング論
 1. マーケティングの生成と発展
 2. マーケティング戦略意思決定とそのプロセス
 3. マーケティング・ミックスの構成要素
 4. サービス・マーケティング
 5. 生産財（B to B）マーケティング
 6. ブランド戦略
 7. 競争の戦略
 8. 消費者行動研究とマーケティング

【教科書】

講義で指示する。

【参考書】

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学（秋学期）

「マクロ・マーケティング論の基礎」 2単位 秋学期
齊藤 通貴

【授業科目の内容】

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中でマクロ・マーケティング論の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。講義内容は以下の通りである。

- ・商業学とマーケティング論
 1. 商業学とはなにか
 2. 商業学研究の領域 - ミクロおよびマクロ・マーケティング
- ・マクロ・マーケティング論
 1. 社会における流通・商業の役割と機能
 2. 日本の流通システムおよび商業の特質
 3. 小売業の発展と諸理論
 4. 小売流通の特質と課題
 5. 卸売業の特質と課題
 6. マーケティングと環境

【教科書】

講義で指示する。

【参考書】

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学（春学期）

「マクロ・マーケティングの基礎理論と実際」 2単位 春学期
里村 卓也

【授業科目の内容】

本講義の目的は、三田において提供されるミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中の、マクロ・マーケティング論についての基礎的知識を提供することである。本講義では生産と消費を結びつける流通の社会的役割とその変化を中心とした、マクロ・マーケティングの研究成果についてとりあげる。

【教科書】

特に指定しない。講義資料は事前にWebサイト www.fbc.keio.ac.jp/satomura/ で配布するので各自で印刷し授業に持参すること。

【参考書】

講義の中で必要に応じて指示する。

商業学（秋学期）

「ミクロ・マーケティングの基礎理論と実際」 2単位 秋学期
里村 卓也

【授業科目の内容】

本講義の目的は、三田において提供されるミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中の、ミクロ・マーケティング論についての基礎的知識を提供することである。本講義では個別企業の活動を対象とした、ミクロ・マーケティングの研究成果についてとりあげる。

【教科書】

特に指定しない。講義資料は事前にWebサイト www.fbc.keio.ac.jp/satomura/ で配布するので各自で印刷し授業に持参すること。

【参考書】

講義の中で必要に応じて指示する。

商業学（春学期）

「ミクロ・マーケティング基礎論」 2単位 春学期
鄭 潤澈

【授業科目の内容】

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とします。商業学は、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果と、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をミクロ・マーケティング論、後者をマクロ・マーケティング論と呼んでいます。商業学（春学期：ミクロ）では、上記のような商業学の構

造の説明をした上で、「企業レベル」の視野から見たマーケティング・マネジメントの基本概念を講義します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

商業学全般に関して様々なテキストがあるので各自参考にしてください。授業の内容に関連するものとして一例の参考文献を挙げますと、

鈴木安昭・田村正紀、『商業論』(有斐閣)1980年

嶋口充輝・石井淳蔵、『現代マーケティング』(有斐閣)

1995年

矢作敏行、『現代流通』(有斐閣)1996年

石原武政・池尾恭一・佐藤善信、『商業学』(有斐閣)

2000年

丸山雅祥、『経営の経済学：Business Economics』

(有斐閣)2005年

商業学 (秋学期)

「マクロ・マーケティング基礎論」

2単位 秋学期

鄭 潤澈

【授業科目の内容】

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とします。商業学は、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果と、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をミクロ・マーケティング論、後者をマクロ・マーケティング論と呼んでいます。商業学 (秋学期：マクロ)では、上記のような商業学の構造の説明をした上で、「社会レベル」の視野から見たマーケティング・マネジメントの基本概念を講義します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

商業学全般に関して様々なテキストがあるので各自参考にしてください。授業の内容に関連するものとして一例の参考文献を挙げますと、

鈴木安昭・田村正紀、『商業論』(有斐閣)1980年

嶋口充輝・石井淳蔵、『現代マーケティング』(有斐閣)

1995年

矢作敏行、『現代流通』(有斐閣)1996年

石原武政・池尾恭一・佐藤善信、『商業学』(有斐閣)

2000年

丸山雅祥、『経営の経済学：Business Economics』

(有斐閣)2005年

商業学 (春学期)

2単位 春学期

堀越 比呂志

【授業科目の内容】

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体

に焦点を当てたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。商業学

では、商業学全体にかかわる総論的イントロダクションに続いて、マクロ的研究成果の概観とその基礎知識の提供を目的とする。内容としては、商業史、流通論、流通政策といった分野の成果に焦点を置いたものとなる。

【教科書】

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。できるだけ、板書を詳しくするつもりなので、ノートの整理をきちんとするよう心がけてほしい。

【参考書】

久保村隆祐・荒川祐吉編『商業学』有斐閣

佐藤肇著『日本の流通機構』有斐閣

渡辺達朗著『現代流通政策』中央経済社

商業学 (秋学期)

2単位 秋学期

堀越 比呂志

【授業科目の内容】

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。商業学

では、上記のような商業学の構造の説明をした上で、ミクロ的研究成果の概観とその基礎知識の提供を目的とする。内容としては、商業経営論、マーケティング管理論、消費者行動論といった分野の成果に焦点を置いたものとなる。

【教科書】

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。できるだけ、板書を詳しくするつもりなので、ノートの整理をきちんとするよう心がけてほしい。

【参考書】

久保村隆祐・荒川祐吉編『商業学』有斐閣

P・コトラー著『マーケティング・マネジメント』(邦訳の4版、7版(プレジデント社)、ミレニアム版(ピアソン・エデュケーション)のどれでもよし)

村田昭治・田内幸一編著『現代マーケティングの基礎理論』同文館

産業経済論a / 産業経済論b

2単位 春学期 / 秋学期

コーディネーター 遠藤 正寛

跡田 直澄

【授業科目の内容】

本講義は、商学部の4大専攻分野のひとつである「経済・産業」に属する諸分野の総合的な入門講義である。他の3分野(経営、会計、商業)については、それぞれ入門的な講義が用意されているので、日吉の学生諸君に

も比較的なじみがあるものと思われる。しかし、「経済・産業」を構成する様々な分野、すなわち、財政、金融、保険、公共経済、産業組織、社会保障、労働経済、労務管理、国際経済、国際金融、産業史・経営史については、必ずしも十分には知られていないのが実情である。いずれも経済学（ミクロ経済学およびマクロ経済学）を基礎とする学問であるという点は共通性を持つが、取り上げる題材は異なり、アプローチの仕方も一様ではない。そこで、各分野の担当者による入門講義を集中的に組み合わせることで、これらの学問に対する認識を深めてもらい、あわせて三田でそれらを学ぶのに必要な基礎知識を身につけてもらうというのがこの講義のねらいである。

【教科書】

本講義に関する統一の教科書はない。文献は必要に応じて各担当者が講義中に指示する。

【参考書】

上に同じ。

専攻科目 類（専攻基本科目）

応用経営学

「企業をめぐる諸課題」 2単位 秋学期
今口 忠政（コーディネーター）

【授業科目の内容】

本講義は日吉キャンパスに設置されている経営学（環境と戦略）・経営学（組織と管理）と三田キャンパスに設置されている現代企業経営各論・経営管理各論・経営学説史各論などの講義との橋渡しの役割を持っている。前者では経営学の初学者を対象に入門的な経営学概論が講義され、後者ではより専門的な各論が扱われるが、本講義では、三田の各論担当者による各専門分野・各論の紹介が毎週オムニバス方式で行なわれ、経営学という学問分野全体に対する位置づけを考察する。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

応用簿記 4単位 秋学期集中
佐藤 康廣

【授業科目の内容】

「基本簿記と財務諸表の見方」の科目で修得した基本原則・知識を基礎にして、個人企業及び株式会社を対象にした複式簿記を学習する。このため講義資料・教科書により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために記帳練習を行う。

【教科書】

講義資料プリント・『新検定簿記講義商業簿記2級』中央経済社、『新検定簿記ワークブック商業簿記2級』中央経済社

【参考書】

『日商簿記検定試験問題集3級、2級』日本商工出版

応用簿記

4単位 秋学期集中
高田 京子

【授業科目の内容】

本講義では、「基本簿記と財務諸表の見方」をふまえ、日商簿記2級程度の商業簿記を修得することを目標とする。特殊取引や株式会社固有の会計処理、帳簿組織などを学習することにより、株式会社やそこで行われる取引を理解する。

【教科書】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

応用簿記

4単位 秋学期集中
鷹野 宏行

【授業科目の内容】

本講義は、春学期科目「基本簿記と財務諸表の見方」を履修済みの学生を対象に、株式会社で行われる簿記の諸手続を中心に展開される。概ね日商簿記検定2級商業簿記の学習範囲を対象とする。

【教科書】

開講時に指示する。

応用簿記

4単位 秋学期集中
前川 千春

【授業科目の内容】

本科目は「基本簿記と財務諸表の見方」を履修後の学生を対象にしており、複式簿記の基本構造についての理解を深めるとともに、特殊商品売買・本支店会計の学習に重点を置いて日商簿記2級程度の商業簿記を習得することを目的としている。

【教科書】

『新検定 簿記講義2級商業簿記』中央経済社

【参考書】

第1回の授業の際に紹介する。また、必要に応じてプリントを配付する。

財務会計論

4単位 春学期集中
黒川 行治

【授業科目の内容】

財務会計の基本的枠組み、会計基準の設定過程の問題、会計代替案選択に関する企業の会計意思決定の問題、会計認識および測定に関する基本的論理、会計測定の拡大・変容をふまえた近年の会計諸基準の具体的内容について、理解を深めることを目標とする。

【教科書】

武田隆二「会計学一般教程 [第6版]」（中央経済社）

当日配布資料

【参考書】

黒川行治「合併会計選択論」(中央経済社)

管理会計論

4単位 秋学期集中
園田 智昭

【授業科目の内容】

管理会計は、企業を経営するために必要な会計情報を、経営者・管理者・現場の作業員に提供します。そのときに用いられる情報の多くは原価計算の手法を用いて作成されますので、本講義では、管理会計だけではなく原価計算の基礎的な部分についても合わせて解説します。

【教科書】

9月に出版予定のテキストを使用します。出版が延びた場合には別のテキストを使用しますが、そのときは掲示により連絡します。

監査論

2単位 春学期
永見 尊

【授業科目の内容】

本講義では、監査論に初めて触れる人を対象に、監査とは何か、なぜ監査が必要とされるのか、監査の対象は何か、監査はどのように行われ、どのような形で報告されるのか、といったテーマについて学んでいきます。具体的には、「監査の主題」「監査生成論」、さらに財務諸表監査における「監査主体論」「監査証拠論」「監査報告論」に取り組んでいきます。また、毎回の授業で新聞記事の切り抜きを配布し、現在の監査の問題、現状、規定の動向、事件などに触れていきたいと思います。

【教科書】

最初の時間に指定します

また、講義資料プリントおよび問題プリントを適宜配布します。

企業法

4単位 秋学期集中
来住野 究

【授業科目の内容】

企業法とは商法の意義を実質的に捉えた場合の別名であり、商法総則・商行為法、会社法、手形法・小切手法などを含む。本講義では、商法総則・商行為法を中心として講義するが、会社法、手形法・小切手法、経済法・消費者保護法についても序論的に講義することにより、商法の主要な制度の体系的な理解と考え方の養成を目指すとともに、三田での関連科目の足がかりとしたい。

【教科書】

特に指定しない。レジュメを配布する。

【参考書】

近藤光男編『現代商法入門〔第7版〕』(有斐閣アルマ・2006年・1995円)

落合誠一・大塚龍児・山下友信『商法 - 総則・商行為〔第3版〕』(有斐閣Sシリーズ・2006年・2100円)

マーケティング・マネジメント論

2単位 春学期
小野 晃典

【授業科目の内容】

「マーケティング・マネジメント」は、マーケティングの基礎理念である企業と顧客との交換関係の構築を企業のマネジメントの基礎をなす重要戦略と見なす考え方である。本科目は、マーケティング・マネジメントに含まれる様々な戦略的アイデアを体系的に学習することを通じて、日吉設置の核科目である「商業学」「商業学」、および、三田設置の応用科目である「広告論」「流通論」「消費者行動論」「製品開発論」「マーケティング・リサーチ」等々を架橋することを目的とする。

【教科書】

なし

【参考書】

授業中に適時紹介する。

マーケティング・マネジメント論

「マーケティング戦略立案のための理論と実際」

2単位 秋学期
高橋 郁夫

【授業科目の内容】

マーケティング戦略を立案する上で必要となる理論や考え方を具体的な事例も踏まえながら講義する。商業学では取り上げ切れなかった応用的領域や先端的事例も適宜取り上げることによって、マーケティングへのより深い関心と理解を受講生に与えることを目的とする。

【教科書】

特に使用しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

高橋郁夫(2004)『消費者購買行動 - 小売マーケティングへの写像』千倉書房。その他については、講義の際に紹介する。

マーケティング・マネジメント論

「マーケティング意思決定入門」

2単位 春学期
濱岡 豊

【授業科目の内容】

この授業では、マーケティングにおける意思決定の諸局面および、そこで利用される主要な概念、モデルを紹介する。これを通じて、マーケティングにおける諸概念、なかでも情報、モデル、論理の一貫性の重要性を理解してもらいたい。あわせてマーケティングの最新の動向についても紹介し、日吉での商業学(マイクロ・マーケティング)から三田での専門科目(マイクロ・マーケティング各論)への橋渡しとしたい。

【教科書】

講義資料は濱岡のホームページからダウンロード可能とする予定である。

<http://news.fbc.keio.ac.jp/hamaoka/>

〔参考書〕

上記の資料およびホームページを参照

経済学

「現実社会や政策を理解するためのマクロ経済学」

2単位 春学期

樋口 美雄

〔授業科目の内容〕

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、マクロ経済学の視点から考察する。景気変動やインフレ、デフレはなぜ起こるか。これに対する政府や中央銀行の対策はいかにあるべきか。経済発展はどのような要因によって決まってくるか。少子高齢化とどのように関連しているかなどについて講義する。

〔教科書〕

樋口美雄『労働経済学』東洋経済新報社

〔参考書〕

中馬宏之・樋口美雄『労働経済学』岩波書店

経済学

「現実社会や政策を理解するためのミクロ経済学」

2単位 秋学期

樋口 美雄

〔授業科目の内容〕

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、ミクロ経済学の視点から考察する。資源配分やイノベーションが企業行動や家計行動、市場を通じてどのように変化していくかについて考察する。

〔教科書〕

樋口美雄『労働経済学』東洋経済新報社

〔参考書〕

中馬宏之・樋口美雄『労働経済学』岩波書店

経済学

「金融経済を理解するためのマクロ経済学」

2単位 春学期

山本 勲

〔授業科目の内容〕

この授業では、金融経済を理解するツールとしてのマクロ経済学を学習するとともに、身の回りで問題になっている経済現象に適用することを試みる。三田の専門課程で経済学の応用分野を学習する準備段階として、また、現実経済を経済学の視点から捉える訓練として、景気変動や経済成長のメカニズム、インフレ・デフレ、失業、金融・財政政策などについて、日本経済を例に取りながらわかりやすく講義する。

〔教科書〕

福田慎一・照山博司、『マクロ経済学・入門(第3版)』、

有斐閣、2005年

〔参考書〕

授業において適宜指定。

経済学

「金融経済を理解するためのミクロ経済学」

2単位 秋学期

山本 勲

〔授業科目の内容〕

この授業では、金融経済を理解するツールとしてのミクロ経済学を学習するとともに、身の回りで問題になっている経済現象に適用することを試みる。三田の専門課程で経済学の応用分野を学習する準備段階として、また、現実経済を経済学の視点から捉える訓練として、家計や企業の行動、価格、市場や政府・中央銀行の役割などについて、日本経済を例に取りながらわかりやすく講義する。

〔教科書〕

伊藤元重、『ミクロ経済学(第2版)』、日本評論社、2005年

〔参考書〕

授業において適宜指定。

総合教育科目(類)

社会との対話S / 社会との対話D

「短期インターンシップ科目」

2単位 秋学期

4単位 通年

朝比奈 緑

権上 善一

佐藤 和

成田 和信

前田 淳

孟 若燕

横田 絵理

〔授業科目の内容〕

この授業は商学部2年生を対象に、平成11年度に設置されました。他の授業との最大の違いは、夏休み中の2週間ないし3週間に企業・機関で実地研修を受けるという点にあります。

開講の趣旨

商学部では、学外での実地研修を通じて大学における教育内容と現実問題との関連を自覚的に把握できる機会を提供する目的で、短期インターンシップ科目「社会との対話」を平成11年度から開講しました。当学部が設置する「社会との対話」は、以下の特色があります。

- (1) 学業へのフィードバックを目的とするものであり、その後の研究・勉学、学生生活の改善、目的意識の明確化などに役立てることが期待されています。学業へのフィードバックを目的とすることから、対象を2年生としています。
- (2) 学生は与えられたテーマを年間をとおして研究・検討することを要求されます。事前教育、実地研修、事後教育をきっかけにしてテーマに対する理解を段階的に深め、粘り強く自主的に研究を進める事によ

り、総合的な問題解決能力を高めていく授業であることを理解しておいてください。

- (3) 人気の高い大企業だけでなく、中小の特徴ある優良企業、成長著しい新興のベンチャー企業、非営利組織など、多様な企業・機関に研修先を求めています。

授業の概要

- ・設置学年
商学部2年生
- ・単位数

「社会との対話D」(通年・4単位)

「社会との対話S」(通年・2単位)

(注意) 同一研修先に希望者が集中した場合には、選考(マッチング)を行います。選考に合格した学生は「社会との対話D」を履修し、実地研修に派遣されることとなります。選考に漏れた学生は実地研修には派遣されません——「社会との対話S」を履修することはできません。詳細については第一回目の授業で説明します。

- ・学生への報酬
無給
- ・講義概要
事前・事後教育および研修先での実地研修からなります。
- ・研修時期と期間
8月15日(月)～9月2日(金)を中心とする2週間ないし3週間研修先によって研修期間が若干異なる場合があります。
- ・実施規模
履修学生30名～40名程度
研修先として30～40社・機関を予定しています。
- ・開設曜日・時限
火曜日4限。ただし、授業は4・5限を使って行います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しませんが、各自が年間を通じて取り組むテーマに応じて、多くの参考図書を自分で見つけて内容を良く理解する必要があります。

情報リテラシー基礎	4単位	春学期 / 秋学期
	飯箸 泰宏	恩田 憲一
	河内谷幸子	瀬川 清
	五月女仁子	山本 喜一

【授業科目の内容】

ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立つことが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、

ネットワークを用いたコミュニケーションについて理解することが大切である。

授業計画については講義担当者によって細部に違いがあるが、一般的な内容を次に示す。なお、春学期は5月、秋学期は10月に、メディアセンターにおける文献検索などについての講義を行う。

【教科書】

山本喜一著：入門情報処理 Office XP版、J.B.企画、2100円

【参考書】

慶應義塾大学日吉メディアセンター編：情報リテラシー入門、慶應義塾大学出版会、1200円

日本の産業と経営

2単位 秋学期

(オムニバス科目) コーディネータ 小野 晃典

【授業科目の内容】

この科目では、日本の産業と経営をめぐる様々な研究課題にかんして、それぞれを専門に研究している商学部教授陣がオムニバス形式で講義をおこなう。各講義の担当教授は、初学者にとって興味深い課題を選択し、1回で講義が完結するように工夫している。本学部の研究対象がいかに幅広いものであり興味深い研究課題を抱えているかを知ってもらい、幅広く奥深い学究姿勢と問題意識をもつ手掛りを提供することが、科目のねらいである。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

総合教育科目 (類)

確率論基礎

2単位 秋学期

安田 公美

【授業科目の内容】

ランダムに起こる現象を数学的に取り扱う、確率論の基礎を学びます。

【教科書】

最初の授業の時に指示。

【参考書】

最初の授業の時に指示。

ゲーム理論基礎 / 数理計画法

2単位 秋学期

木戸 一夫 小宮 英敏

【授業科目の内容】

ゲーム理論とは、互いに無視し得ない力を持つ、複数の主体に係る最適化問題である。いろいろなタイプのゲームがあるが、この授業では、戦略形ゲームと協力ゲームを学ぶ。ゲーム理論の前提条件・基本概念・定理および含意を、身近にあるわかりやすいゲームや仕組みと対

比させながら学ぶことにより、「使えるゲーム理論」を身に付けることを目指す。すなわち、問題に直面した時、現状を鋭く分析し、現実的な解決策を提案する能力を養成する。

【教科書】

ミラー著『仕事に使えるゲーム理論』阪急コミュニケーションズ

【参考書】

中山幹夫著『はじめてのゲーム理論』有斐閣ブックス

線形代数演習

2単位 春学期
白旗 優

【授業科目の内容】

同時に開講される『中級線形代数』の授業内容に即して、練習問題の演習を行います。宿題として解いてきた練習問題の解答を、授業時に発表してもらい、その発表の出来具合と回数で評価を付けます。

【教科書】

『中級線形代数』と同一のものを使用します。

【参考書】

『中級線形代数』と同一のものを使用します。

微積分演習

2単位 秋学期
白旗 優

【授業科目の内容】

同時に開講される『中級微積分』の授業内容に即して、練習問題の演習を行います。宿題として解いてきた練習問題の解答を、授業時に発表してもらい、その発表の出来具合と回数で評価を付けます。

【教科書】

『中級微積分』と同一のものを使用します。

【参考書】

『中級微積分』と同一のものを使用します。

線形代数

2単位 春学期 / 秋学期
白旗 優 菅原 昭博
安田 公美

【授業科目の内容】

社会科学のかなりの分野で、その理論が数学を用いて記述されたり、数学的手法により問題解決が図られたりして、数学の知識の必要性が増してきている。この講義では、線形代数の中でも、特に、行列の理論を中心に講義する。行列は経済学、経営学においても用いられているので、この講義を通して、行列を自由に使いこなせるようになることを期待したい。

【教科書】

最初の授業の時に指示。

【参考書】

最初の授業の時に指示。

中級線形代数

「線形代数の完結に向けて」 2単位 春学期
渡部 睦夫

【授業科目の内容】

この科目では、「線形代数」で学んだ内容を前提として、引き続き、線形代数のいろいろな概念と理論を、応用を視野に入れて講義します。

【教科書】

渡部睦夫著『線形代数とその応用』培風館

【参考書】

講義の中で紹介します。

中級微積分

「経済学への応用のための微積分学」 2単位 秋学期
渡部 睦夫

【授業科目の内容】

経済学を学ぶには、数学の知識とその運用能力が求められます。この科目の内容は、『微積分』、『微積分』の内容をさらに発展させた内容から構成されています。経済学への応用を念頭に講義をします。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義の中で紹介します。

データとの対話D

「表計算応用」 4単位 春学期集中
木戸 一夫

【授業科目の内容】

EXCELの機能はあまりに豊富で、全てを予め覚えることは不合理である。こういうことをしたいという問題が生じた時に、最後までくじけずに試行錯誤し、「自分の力で」解決法を探すことを身につけたい。このような状況は予め解答が用意されていない世の中では必ず発生するものであり、この授業を通じて、一生を通じて役に立つ問題解決能力養成を目指す。最後までがんばれば、立派なEXCEL使いになっていることも必然である。

【教科書】

清水 誠著「データ分析 はじめの一步」講談社ブルーバックス

「データとの対話D」(Delphi)

「オブジェクト指向プログラミングとは」 4単位 通年
田村 高幸

【授業科目の内容】

DELPHIはWINDOWS形式で、WINDOWSプログラミングを簡単に行うことができる言語です。

そして、この言語はオブジェクトPASCALを基にしています。JAVAなどに代表されるオブジェクト指向の

プログラミングの概念を実際のWINDOWSプログラミングを通して、理解してもらうことを目的としています。

オブジェクト指向プログラミングの考え方はこのネットワーク社会において重要な役割を果たしているとともに、問題解決手法としても大変重要な方法であり、この点もあわせて、明らかにしていきます。

【教科書】

Delphiによるプログラミング入門 山崎 秀記 著 / 培風館 / ISBN 4-5630-1413-3

【参考書】

Delphiオブジェクト指向プログラミング 塚越一雄 著 / 技術評論社 / ISBN4-7741-0427-2

「データとの対話D」(ネットワーク活用)

「コンピュータネットワークセキュリティ入門」

4単位 通年
田村 高幸

【授業科目の内容】

コンピュータネットワークセキュリティの基礎となるTCP/IPプロトコルを中心にコンピュータネットワークにおける重要なプロトコルについて学び、それらが、コンピュータネットワークセキュリティに果たしている役割について、学びます。

【教科書】

絶対わかる！新・ネットワークセキュリティ超入門 (ムック) 日経NETWORK

【参考書】

久米原栄『TCP/IPセキュリティ』ソフトバンクパブリッシング

2004年度以前入学者用(旧学則)

基礎科目 類

商学概論 2単位 春学期 / 秋学期
(なし)

「商学概論」は以下の科目を読み替え科目としますので、単位未修得者は5科目の中から選択してください。

- ・基本簿記と財務諸表の見方 (シラバスP.343~参照)
- ・経営学(環境と戦略) (シラバスP.343参照)
- ・経営学(組織と管理) (シラバスP.343参照)
- ・商業学 (シラバスP.345~参照)
- ・商業学 (シラバスP.345~参照)

なお以下の表のとおり履修出来ないケースもありますので注意してください。

	経営学既習者もしくは 今年度履修希望者	商業学既習者もしくは 今年度履修希望者
基本簿記と財務諸表の見方		
経営学(環境と戦略)	×	
経営学(組織と管理)	×	
商業学		×
商業学		×

経済学 4単位 通年
桜本 光 中島 隆信
牧 厚志

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学基礎」「経済学基礎」(P.344)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

基礎科目 類 (A群)

簿記論 4単位 通年
高久 隆太 李 精

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、経済学部設置の講義要綱「簿記a/b」(P.284~)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会科学の考え方 4単位 通年
小野 修三

「社会科学の考え方」は以下の科目を読み替え科目としますので、履修希望者は2科目の中から選択してください。

- ・社会科学概論 ・ (小野修三) (P.34参照)
- ・近代思想史 ・ (小野修三) (P.19参照)

ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

情報処理 4単位 春学期集中 / 秋学期集中
飯箸 泰宏 恩田 憲一
河内谷幸子 瀬川 清
山本 喜一 五月女仁子

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「情報リテラシー基礎」(P.364)を参照してください。

情報処理 4単位 春学期集中
「表計算応用」 木戸 一夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.368)を参照してください。

情報処理 (Delphi) 4単位 通年
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.368)を参照してください。

情報処理 (ネットワーク活用) 4単位 通年
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.369)を参照してください。

基礎科目 類 (B群)

線形代数 2単位 春学期 / 秋学期
白旗 優 菅原 昭博
安田 公美

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「線形代数」(P.367)を参照してください。

微分法 2単位 春学期 / 秋学期
小宮 英敏 白旗 優
菅原 昭博 安田 公美
渡部 睦夫 田村 裕子

「微分法」は「微積分」「微積分」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「微積分」「微積分」(P.344)を参照してください。

解析 2単位 春学期
渡部 睦夫

「解析」は「中級線形代数」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級線形代数」(P.367)を参照してください。

解析 2単位 秋学期
渡部 睦夫

「解析」は「中級微積分」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級微積分」(P.367)を参照してください。

数理計画法 2単位 秋学期
木戸 一夫 小宮 英敏

「数理計画法」は「ゲーム理論基礎」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「ゲーム理論基礎」(P.365)を参照してください。

基礎科目 類 (C群)

統計学 2単位 春学期
新保 一成 早見 均
吉岡 完治

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「統計学」(P.345)を参照してください。

統計学 2単位 秋学期
新保 一成 早見 均
吉岡 完治

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「統計学」(P.345)を参照してください。

専攻科目 類

経済史 4単位 通年
牛島 利明 平野 隆

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済史」「経済史」(P.346)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会経済学 4単位 通年
赤川 元章

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会経済学」「社会経済学」(P.347)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

私法基礎 4単位 通年
本田 耕一 松尾 弘

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「私法基礎」「私法基礎」(P.348)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

商業学	4単位 通年
齊藤 通貴	里村 卓也
鄭 潤澈	堀越比呂志

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「商業学」「商業学」(P.352)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

経営学	4単位 通年
岡本 大輔	梅津 光弘
谷口 和弘	

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経営学(環境と戦略)」「経営学(組織と管理)」(P.350)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

専攻科目 類

会計学	4単位 春学期集中
	黒川 行治

「会計学」は「財務会計論」を読み替え科目としますので、講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「財務会計論」(P.358)を参照してください。

理論経済学	4単位 通年
樋口 美雄	
(春) 樋口 美雄 (秋) 山本 勲	

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学」「経済学」(P.361~)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

産業経済論	4単位 通年
コーディネーター	遠藤 正寛
	跡田 直澄

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「産業経済論a/b」(P.355)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

総合教育科目 (類)

社会との対話 S・D	2単位・4単位 / 秋学期・通年
朝比奈 緑	権丈 善一
佐藤 和	孟 若燕
成田 和信	前田 淳
横田 絵理	

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会との対話 S・D」(P.363)を参照してください。

日本の産業と経営	2単位 秋学期
コーディネーター	小野 晃典

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「日本の産業と経営」(P.364)を参照してください。

自主選択科目

確率論基礎	2単位 秋学期
	安田 公美

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「確率論基礎」(P.365)を参照してください。

線形代数演習	2単位 春学期
	白旗 優

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「線形代数演習」(P.366)を参照してください。

微積分演習	2単位 秋学期
	白旗 優

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「微積分演習」(P.366)を参照してください。

中級線形代数	2単位 春学期
	渡部 睦夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級線形代数」(P.367)を参照してください。

中級微積分	2単位 秋学期
	渡部 睦夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「中級微積分」(P.367)を参照してください。

5 医学部

【第1学年】

基礎科学必修科目

数学

*02学則の学生は数学

「線形代数学」 2単位 春学期
南 就将 鈴木 由紀

【授業科目の内容】

線形代数の基礎理論を学びます。

線形空間、行列、行列式、線形写像、内積空間、固有値問題を理解できるようにします。

【教科書】

青木利夫・大野勝寛・川口俊一共著『改訂 線形代数要論』（培風館）

数学

*02学則の学生は数学（春学期分）

「微分学」 2単位 春学期
南 就将 鈴木 由紀

【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の微分に関する基礎理論とその応用を学びます。

極限と連続関数、微分、偏微分を理解できるようにします。

【教科書】

難波 誠著『微分積分学』（裳華房）

数学

*02学則の学生は数学（秋学期分）

「積分学」 2単位 秋学期
南 就将 鈴木 由紀

【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の積分に関する基礎理論とその応用を学びます。

1変数関数の積分、多変数関数の重積分、級数を理解できるようにします。

【教科書】

難波 誠著『微分積分学』（裳華房）

物理学（既習）

*02学則の学生は物理学（春学期分）

「力学・波動・静電気学の数学的理解」 2単位 春学期
古野 泰二

【授業科目の内容】

物理学では、原理や法則に基づいて多くの自然現象を

理解し、結果を予測する。考え方ひとつで答えが簡単に見つかることもあるし、物理量の間を関係を方程式に表現しそれを解けばよいという場合も多い。数学の解がなぜ現実を表現できるのか、考えると不思議であるが、振り子の振動や電場中の荷電粒子の運動など、方程式の解が実際の現象を正しく表現していることが分かる。

春学期は運動方程式による質点の運動の解析、回転座標系で見た運動、物体の回転運動、振動・波動の数学的理解、静電気学などについて学ぶ。微積分を積極的に用いた理解と解析を試みる。

【教科書】

・講義資料プリントを配布する。

【参考書】

・原 康夫著『力学と電磁気学』（東京教学社）
・『ファインマン物理学 ~』（岩波書店）

物理学（既習）

*02学則の学生は物理学（秋学期分）

「1）電流と磁気、2）物質・原子・原子核、3）生物物理・ナノバイオテクノロジー」 2単位 秋学期
古野 泰二

【授業科目の内容】

物理学では、秋学期の3分の1程度の時間で物理学の基本として大切な電流と磁気分野を学んだ後、残り3分の2は高校物理ではあまり学ばなかったと思われる原子や放射線の物理学を学ぶ。これらは諸君が信濃町に進級したときに実地に役立つし、生体の物理学的研究法や最近のナノバイオテクノロジーなども知識として有用であろう。できるだけ具体的な解説と考察を試みる。

【教科書】

・講義資料プリントを配布する。

【参考書】

・物質・原子・原子核の物理学については、物理（高校物理学の教科書）
・生物物理学・ナノバイオテクノロジーについては、医学部の「生物学」および「分子細胞生物学」の講義で使用する教科書が多少役立つ。

物理学（未習）

*02学則の学生は物理学（春学期分）

「力学を中心とした自然界の表現と数式による自然現象の取り扱い」 2単位 春学期
三井 隆久

【授業科目の内容】

生命を含む自然現象は複雑で理解しがたいように思えるが、自然現象の中で物体の運動と力に関する部分は物理法則として既に解明されており、厳密な記述が容易に可能である。容易に記述できることについて無意味な苦労や誤解をしないため、物理学の基本法則を理解してい

る必要がある。

第1,2回の講義では、表現について述べる。ガリレオが述べたように、「自然という書物は数学の言葉で書かれている」。ここでは、自然現象を数学の言葉で表現するとはどのようなことなのかについて述べる。写真と同じような感覚で、自然現象を数式で表現できるようになって頂きたい。

力と運動との関係を理解し、ニュートンの運動方程式を使いこなして運動の解析ができるようになって頂きたい。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

- (1)『ファインマン物理学』、ファインマン、レイトン、サンズ著（岩波書店）
- (2)『力学（物理入門コース）』戸田盛和著（岩波書店）

物理学（未習）

*02学則の学生は物理学（秋学期分）

「電磁気現象の理解と医用画像診断装置への応用」

2単位 秋学期
三井 隆久

【授業科目の内容】

ニュートン力学では、力と運動の関係について学ぶが、世の中に存在する力について具体的に学ばない。ここでは、最も重要な力である電磁気力について述べる。電磁気力は、電荷と呼ばれる世の中の物体の持つ性質としての電荷に働く力であるが、電磁気現象は物体の持つ性質であるだけでなく、空間の持つ性質でもある。このような空間の働きについて数式を用いて定量的に述べる。また、電磁気現象の応用として、交流回路、光学、レーザー、医用画像診断装置について述べる。

×線CT、磁気共鳴イメージング装置などの医用画像診断装置は、現代の医療に欠かすことができない機器であるが、いずれも電磁気現象の応用である。この講義を通じて、動作原理を理解して頂きたい。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義内容の復習を容易にするため、講義に沿ったテキストを毎回講義の前に配布するので、教科書を購入する必要はない。以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

- (1)『ファインマン物理学』、ファインマン、レイトン、サンズ著（岩波書店）
- (2)『電磁気学』（物理入門コース）長岡洋介著

化学

*02学則の学生は化学（春学期分）

「現代物理化学の基礎」

2単位 春学期
久保田 真理

【授業科目の内容】

一般に物理化学とよばれる化学の理論的分野を学ぶ。物理化学の理論は、微視的観点からのものと巨視的観点からのものに大別できる。微視的観点からの理論としては量子力学が代表格であるが、その量子力学に立脚して原子の電子構造や化学結合のメカニズムについて考える。また、巨視的観点からの理論である化学反応速度論と化学熱力学の基本的考え方についても学ぶ。

【教科書】

小林常利『基礎化学結合論』（培風館）

【参考書】

- (1)玉虫伶太他編『イソトピック化学辞典』（東京化学同人）
- (2)吉岡甲子郎『化学通論』（裳華房）
- (3)児島邦夫他『基礎物理化学（上、下）』（朝倉書店）
- (4)P.W.アトキンス『アトキンス物理化学（上、下）』（東京化学同人）
- (5)原田義也『化学熱力学』（裳華房）

化学

*02学則の学生は化学（秋学期分）

「現代有機化学の基礎」

2単位 秋学期
小林 常利

【授業科目の内容】

有機化学の基礎について学ぶ。化学反応は、結局は、電子の働きによって起きる。本講義では化学、化学（春学期分）で学んだ定性的量子論の考え方を早速活かして、有機化学反応のメカニズムを量子論的に考えてゆく。また、有機化学の構造決定には、現代では、分子分光学的手法が盛んに用いられるので、分子分光学的な基本的考え方についても解説する。

【教科書】

小林常利『基礎化学結合論』（培風館）

J.マクラー『有機化学概説』第5版（東京化学同人）

【参考書】

玉虫伶太他編『イソトピック化学辞典』（東京化学同人）

補助教材：HGS分子構造模型B型セット（丸善）

生物学

4単位 春学期

長井 孝紀 鈴木 忠

【授業科目の内容】

この講義の生物学の対象は生物個体ばかりでなく、細胞の次元、もっと小さな分子の世界へと、あるいは逆に地球全域へと広がる。その広がりのゆえ、また科学としての進歩の急速さのゆえ、現代の生物学はそのほかの自然科学の学問領域からの知識を統合したものとなっている。したがって学ぶべき項目は非常に多い。しかし、よく整理して学べば恐れることはない。整理された生物学の知識は医学での基礎専門分野である解剖学、生理学などを学ぶために不可欠である。学習内容の量、詳細さ、常に最新の知見に基づき更新されている現状などを考え、海外で出版されている英文の教科書をそのまま使用する。

【教科書】

Biology N. A. Campbellほか著 Benjamin/Cummings
(春学期開始までに大学生協書籍部に入荷するので、
購入すること)

物理学実験

1単位 通年隔週
古野 泰二 三井 隆久

【授業科目の内容】

多くの諸君は、将来、信濃町あるいはそれ以後において、短期あるいは長期に亘って実験研究を経験する筈である。発見・発明・理論の検証など、創造的な研究はとても楽しいものであるが、すぐにこのレベルに達するのは困難である。そのための導入・練習として、日吉での実験科目が用意されている。

物理学実験では、長さの測定から始まり、オシロスコープによる電圧変化、パソコンを使った計測からプロテイングラフィックスまで、1年間に12課題を設定している。高校や大学の物理学講義で習った現象も出てくるし、物理法則や演繹法の有用性が実感できるので面白いはずである。長さ・質量・温度・時間など、必要な物理量を測定で求め、電卓を使ってそれらを数式に代入し、得られた結果をグラフ用紙にプロットし曲線でつないでみる。場合によっては、まったく的はずれな値や奇妙なグラフになってしまい、大いに悩むこともあると思われるが、「まずは自分で手を動かしてやってみる」、これが実験の基本であり、とても大切である。

【教科書】

慶應義塾大学医学部物理学教室編「物理学実験」を実験初日に配布する。

【参考書】

特に指定しないが、必要に応じて図書館備え付けの物理教科書および物理学実験書などを利用。

化学実験

1単位 通年隔週
小林 常利 久保田真理
大石 毅

【授業科目の内容】

春学期には、無機陽イオンの定性分析を題材として、化学実験の基本操作と実験のマナーを身に付けるとともに、無機化学の各論的分野を主体的・体験的に学ぶ。

秋学期は、有機化学実験を行う。有機化合物を合成・抽出し、定性分析やスペクトルによる構造決定などを行う。基礎的な有機化学実験を通して有機化学の理解を深めるとともに、有機化合物の取扱法、安全に実験を行うために注意すべき事項などを学ぶ。

【教科書】

J. マクリー『有機化学概説』第5版(東京化学同人)

【参考書】

【通年】

(1) 阿部光雄編『分析化学実験』(裳華房)

- (2) 木下是雄『理科系の作文技術』(中央公論新社)
(3) 泉美治他監修『化学のレポートと論文の書き方』
(化学同人)
(4) 玉虫伶太他編『イソトピック化学辞典』(東京化学同人)
(5) 長倉三郎他編『岩波理化学辞典』(岩波書店)

【春学期】

- (1) 松浦二郎他『無機半微量分析』(東京化学同人)
(2) 高木誠司『定性分析化学(上、中、下)』(南江堂)
(3) F. A. コットン、G. ウィルキンソン『基礎無機化学』(培風館)
(4) F. B. ハズロップ、K. ジョーンズ『無機化学(上、下)』
(東京化学同人)
(5) F. A. コットン、G. ウィルキンソン『無機化学(上、下)』(培風館)

【秋学期】

- (1) 畑一夫、渡辺健一『基礎有機化学実験』(丸善)
(2) L. F. フィーザー、K. L. ウィリアムソン『有機化学実験』
(丸善)
(3) R. M. シルバースタイン、F. X. ウェブスター『有機化合物のスペクトルによる同定法』(東京化学同人)
(4) J. R. デイヤール『有機化合物への吸収スペクトルの応用』(東京化学同人)
(5) 泉美治他監修『機器分析のてびき』(化学同人)
(6) 日本化学会編『実験化学講座』(丸善)シリーズ

生物学実験

2単位 通年
長井 孝紀 鈴木 忠
中澤 英夫

【授業科目の内容】

生物学実験ではアメーバ、ゾウリムシなど単細胞生物から始めて、マウスなどの哺乳動物までが観察対象として用意される。顕微鏡観察のために標本化された試料を観察する場合もあるが、その他に多くの生きた材料が提供される。動き回る精子、そして卵細胞が細胞分裂する瞬間を観て欲しい。そして観たものには、それを同定する和名、英名、ラテン名を与えてやって欲しい。3つの表記を用いなければならないのは、我が国の自然科学者の宿命である。自らの手を動かすことで、記憶の脳細胞は活性化される。

【教科書】

生物学実験教本 医学部生物学教室編 (春学期に配布する)

医学基礎教育科目

基礎分子細胞生物学

「基礎医学科目への準備と入門」 4単位 秋学期
末松 誠(医化学)他

【授業科目の内容】

基礎分子細胞生物学 は、高校で十分な生物学教育を受けなかった学生にも第2学年から信濃町キャンパスで

基礎医学科目の専門的且つ広範な領域での勉学についていけるよう、ごく基本的な生命現象の物質論的理解と統合的把握を目指すために設けられた科目である。教科書は最新の生物学分野を幅広く網羅しているMolecular Cell Biologyを用いるが、単に全章の網羅的読破を目的とするのではなく、各章内の重要な概念や生命活動の「しくみ」をピンポイントに理解してもらい、第2学年以降の専門教育の礎としていただきたい。

【教科書】

“Molecular Cell Biology 5th Edition” W.H. Freeman and Company

医療科学

4単位 通年
樽井 正義 他

【授業科目の内容】

医療はもとより自然科学としての医学研究も、それに関わるのは人です。人を自然科学とは異なる視点から考察する人文科学系の文献を講読し、報告と討議を行い、レポートを作成することを通じて、人と社会についての理解を深めることが、この授業の課題です。(1)人を理解する多様な視点を得ること、(2)医療や科学が生活のなかで占める位置、担っている課題を検討する基礎を得ること、(3)医師や研究者として診療や研究の場で人とどう関わればよいのかを考える基礎を得ることを目標とします。

【教科書】

春学期のテキストは、掲示にて通知する。

EEP

「本格的医学教育前の早期医療現場体験実習」

1単位 特定期間集中
天野 隆弘 鹿島 晴雄
長井 孝紀 長谷 公隆
星野 晴彦 山岸 敬幸
村松 太郎 広瀬 信義
大塚 宜夫 川城 丈夫
木村 彰男 佐藤 徹

【授業科目の内容】

EEP (Early Exposure Program) は、文字通り医学教育早期から医療現場を体験実習する課目である。医学教育の早い段階で医療現場に医学生が足を運び参加して、患者さん、御家族、そして看護師、PT、OT、福祉関係者など医師以外の多く医療関係者からお話を伺い、医療チームの一員の体験もして、医療の実際、現実を自ら体験し医師の役割を考えることを目的としている。

人文・社会科学科目 (選択履修)

心理学

「医学のためのミニマム・サイコロジー」 4単位 通年
増田 直衛

【授業科目の内容】

将来医学を学ぶ学生であることを考慮し、その専門に必要なと考えられる心理学の問題を中心に捉えて、基礎的な心理学の問題を扱います。人間を理解するためにはどのような枠組みがあり、心理学はそれらに対してどのような立場をとり、どのような事実を明らかにしてきたかを考えます。

【教科書】

山田 富美雄 (監修) 『シリーズ 医療の行動科学 医療行動科学のためのミニマム・サイコロジー』(北大路出版1900円)

【参考書】

講義に関連した文献は授業中に随時紹介します。

6 理工学部

基礎教育科目

数学A1 (学門1、3、4、5)

「微分法の基礎と応用」

2単位 春学期

井口 達雄	石川 史郎
加藤 剛	亀谷 幸生
下村 俊	田村 要造
宮崎 琢也	森吉 仁志

【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の微分法に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を身につけるのが本講義の目的です。

【教科書】

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編『数学 A1・B1』
(生協で購入可能)

数学B1 (学門1、3、4、5)

「重積分の基礎と応用」

2単位 秋学期

井口 達雄	石川 史郎
加藤 剛	亀谷 幸生
下村 俊	谷 温之
田村 要造	仲田 均
宮崎 琢也	森吉 仁志

【授業科目の内容】

1変数および多変数関数の積分に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を習得することが本講義の目標です。

【教科書】

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編『数学 A1・B1』
(生協で購入可能)

数学A2 (学門1、3、4、5)

「線形代数」の入門としての行列 (特に2次行列) の理論とその応用」

2単位 春学期

太田 克弘	小田 芳彰
清水 邦夫	下村 俊
田村 明久	前田 吉昭

【授業科目の内容】

線形代数の基礎を2次行列の計算を通して習得する。また、線形微分方程式の解法を通して、「線形性」の重要性を理解する。その過程で行列の対角化と線形微分方程式の解を求める計算の基礎が身に付くようにする。

【教科書】

指定のテキスト (生協で販売)

数学B2 (学門1、4、5)

「線形代数の基礎を学んだ学生がさらに深くその内容を理解するためのコース」

2単位 秋学期

太田 克弘	小田 芳彰
清水 邦夫	田村 明久
前田 吉昭	

【授業科目の内容】

数学A2で2次行列で学んだ線形代数の基本計算を3、4次行列で習得し多元連立方程式を解けるようにする。さらに多変数関数の極値問題を固有値問題と共に理解し、具体的計算法を身につける。

【教科書】

指定のテキスト (生協で販売)

数学A3 (学門2)

「解析学の基礎 (その1)」

2単位 春学期

谷 温之 前島 信

【授業科目の内容】

解析学の基礎理論を講義する。

1. 実数の定義、性質 (上限、下限、実数の連続性)
2. 数列とその極限 (収束の定義、コーシー列、基本性質)
3. 無限級数 (収束の判定法、絶対収束)
4. 1変数連続関数とその性質 (中間値の定理、最大値の定理、一様連続性)
5. 1変数関数の微分法 (平均値の定理)
6. 微分積分法の基本定理
7. 逆三角関数

【教科書】

この講義用に作成したプリントを使用する。(1回目の授業開始時に履修者に配布する。)

数学B3 (学門2)

「解析学の基礎 (その2)」

2単位 秋学期

谷 温之 前島 信

【授業科目の内容】

数学A3の続き

1. 有理関数の不定積分
2. 広義積分
3. ベキ級数 (収束性、収束半径、一様収束、項別積分、項別微分)
4. テーラー展開 (剰余項の評価、初等関数の展開、不定形の極限)
5. 多変数関数 (連続性、偏微分、全微分)
6. 多変数関数のテーラー展開
7. 2変数関数の極値問題

【教科書】

この講義用に作成したプリントを使用する。(1回目の授業開始時に履修者に配布する。)

数学A4(学門2)

「線形代数」

2単位 春学期

石井 一平 栗原 将人

【授業科目の内容】

線形代数とは、ベクトルや行列を扱う数学の分野であり、理工学の数学の基礎の大きな部分を占めるものである。この講義では線形代数の基礎概念である「ベクトル」「ベクトル空間」「行列」「行列式」「線形変換」などを学び、また実際の計算方法を習得する。

【教科書】

中岡稔、服部晶夫 著『線形代数入門』紀伊国屋書店

【参考書】

授業中に指示する。

数学B4(学門2)

「線形代数」

2単位 秋学期

石井 一平 栗原 将人

【授業科目の内容】

春学期の数学A4に引き続き、線形代数の基礎を学ぶ。この講義の主な内容は、「固有値」「固有ベクトル」および「行列の対角化」である。

【教科書】

中岡稔、服部晶夫 著『線形代数入門』紀伊国屋書店

【参考書】

授業中に指示する。

物理学A(全学門)

2単位 春学期

江藤 幹雄 齋藤 幸夫
志澤 一之 福田礼次郎

【授業科目の内容】

高校時代の力学とは異なり、ニュートン方程式を微分方程式と捉えて、すべての力学の法則はここから出てくるという、力学はまさに近代的な物理の理論の始まりといわれるゆえんを味わっていただく。

微分、積分、ベクトルなどの基本的な知識を仮定する。

【教科書】

教科書として『物理学A 一粒子系の力学』を使用します。生協で購入してください。

この中には、演習で使う問題、さらに過去の試験問題とその解答が載っています。

大いに活用して大学の力学問題が解ける実力を身につけてください。

【参考書】

特に指定しません。

物理学C(全学門)

2単位 秋学期

江藤 幹雄 齋藤 幸夫
杉浦 壽彦 福田礼次郎

【授業科目の内容】

物理学Aに続いて、力学の後半を学ぶ。主に、中心力の場の中の運動、多粒子系の運動、剛体の運動である。

【教科書】

教科書として『物理学C 中心力、多体系、剛体』を使用します。生協で購入してください。この中には、「物理学A 一粒子系nの力学」と同様、演習の時間に使う問題、過去の試験問題、その解答が収められています。積極的に活用して各自のレベルアップにつなげてください。

【参考書】

特に指定しません。

物理学B(全学門)

「真空中の静電磁気学」

2単位 春学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸

【授業科目の内容】

電界、電位、磁気密度、電流、など電磁気学の基本概念を学びながら、例えば対称性のよい電荷分布による電界の計算法などを身につける。さらに、流体力学、弾性体力学などの背景にある「場」というものの概念も身につける。

【教科書】

『物理学B & D』

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

【参考書】

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

物理学D(全学門)

「時間的に変動する電磁場および物質中の電磁場そしてマクスウェル方程式」

2単位 秋学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸

【授業科目の内容】

時間的に変動する電磁場を考える。電磁誘導や変位電流を導入し、真空中のマクスウェルの方程式を導出し、真空中の電磁波について論じる。つぎに電磁場中の物質の性質を扱う。誘電体にはどういう電界ができるか、磁性体中にはどういう磁界ができるか、ということを理解する。同時にベクトル解析の基礎を身につける。

【教科書】

『物理学B & D』

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

【参考書】

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

化学A (全学門)

「原子や分子の電子構造論と化学結合論入門」

2単位 春学期

伊藤 正時 中嶋 敦
吉岡 直樹 藪下 聡

【授業科目の内容】

化学物質の単位である原子の構造を、量子力学の考え方をを使って解説します。高校で習ったK殻、L殻、M殻、という考え方を、1s,2s,2pなどの原子軌道という考え方に深めることにより、原子の電子配置と周期律の関係を理解します。さらに、化学物質を形づくっている化学結合を、電子の振る舞いの点から解説して、分子軌道の考え方を理解します。ここで学んだ分子の化学結合の理解は、1年生秋学期の化学B、あるいは化学C、Dの基礎となります。

理解を助けるために、講義の中で、数回程度の簡単な演習をクイズ形式で行います。なお、この演習での解答は、平常点として考慮します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

教科書として特に指定はしませんが、以下の参考書の中から自分に合ったものを買っておくと便利です。

伊藤正時ら『物理化学演習』裳華房
中田宗隆『量子化学』東京化学同人
ハイワード著、立花明知『入門量子化学』化学同人
ウィンター著、西本吉助訳『フレッシュマンのための化学結合論』化学同人
田中政志・佐野充著『原子・分子の現代化学』学術図書出版社
小林常利著『基礎化学結合論』培風館
平尾公彦・加藤重樹著『化学の基礎』講談社サイエンスティフィク

化学B (学門1、2、4、5)

「無機化学、物理化学、有機化学の基礎(化学全般におけるものづくりの基礎)」

2単位 秋学期

伊藤 正時 磯部 徹彦
栄長 泰明 須貝 威
千田 憲孝 中田 雅也
平島 碩 山田 徹

【授業科目の内容】

理工学部1年生においては、数学、物理、化学を基礎科目として全員履修します。化学は「もの」づくりの基本となる分野であり、私達の身の回りにたくさんある「もの」を、サイエンスの立場から理解するためには、化学全般に渡る知識が必要です。講義の前半では無機化合物を、後半には有機化合物をとりあげ、サイエンスの化学的基礎知識、ものづくりの基礎知識を修得することを目標としています。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

茅幸二著 『物理化学演習』 裳華房
太田博道著 『コンパクト基本有機化学』 三共出版

化学C (学門3)

「初等物理化学」

2単位 秋学期

美浦 隆

【授業科目の内容】

1. 分子科学の基礎
 - 1.1 結合エネルギー
 - 1.2 結合のイオン性と原子の電気陰性度
 - 1.3 分子の極性と誘電分極
 - 1.4 分子間相互作用
 - 1.5 実在気体の状態方程式
2. イオン結晶
 - 2.1 イオン配列の規則性
 - 2.2 クーロンポテンシャルとイオン間平衡距離
 - 2.3 イオン半径
 - 2.4 イオン半径比と配位数
 - 2.5 イオン結晶の溶解(溶媒和)とイオン伝導
3. 金属・半導体
 - 3.1 等大球の充填と最密充填; 金属結晶
 - 3.2 異種原子の混在; 合金
 - 3.3 自由電子と束縛された電子
 - 3.4 価電子帯・禁止帯・伝導帯
 - 3.5 不純物半導体
 - 3.6 電子伝導率の温度変化
4. 錯体・錯イオン
 - 4.1 配位共有結合と配位子
 - 4.2 配位子場中のd軌道電子
 - 4.3 d軌道を含む混成
 - 4.4 対電子と常磁性
 - 4.5 吸光スペクトルと分光化学系列
5. 化学熱力学の基礎
 - 5.1 系と外界
 - 5.2 系の内部エネルギー
 - 5.3 系の状態変化とエネルギー保存則
 - 5.4 熱が状態量となる条件; エンタルピー
 - 5.5 可逆過程での熱とエントロピー変化
 - 5.6 自発変化の判定条件
 - 5.7 純化学変化の自発性判定条件; 自由エネルギー
 - 5.8 H、S、Gの温度変化
 - 5.9 体積仕事以外の仕事も関わる化学変化
6. 化学反応速度論の基礎
 - 6.1 応速度式; 微分形と積分形
 - 6.2 気体分子間の衝突反応
 - 6.3 活性錯体
 - 6.4 反応速度定数の温度変化

【教科書】

なし

【参考書】

一般に「物理化学」に分類される書籍。

特定のものには推奨しないが、アトキンス、パーローなどが著名。

どうせ購入するなら英語リプリント版の方が安価で、後々の役に立つ。

化学D (学門3)

「有機化学の基礎。有機化合物と反応。」 2単位 秋学期
西山 繁

〔授業科目の内容〕

炭素原子を中心に構成される有機化合物に特有の電子配置と立体化学を解説します。さらに、有機化合物の変化(反応)にともなう電子の動きを理解できるようにします。以上のような基本事項は、生命現象に関わる生体反応の仕組みを理解する上で非常に重要な手がかりとなります。

〔教科書〕

なし。必要に応じて、PDFファイルとして配布します。

〔参考書〕

ポルハルト・ショアー著『現代有機化学』(上・下)
化学同人
ストライトウィーザー著『有機化学解説』(1、2) 廣川書店

生物学序論 (全学門)

「ヒトの理解を目指して」 2単位 春学期 / 秋学期
井本 正哉 金子 洋之
鈴木 忠 長井 孝紀
中島 陽子 松本 緑

〔授業科目の内容〕

科学や技術を通じて次の時代を担う人材となることが期待されている理工学部の学生にとって、基礎的な生物学の知識(敢えていえば、生命のしなやかさとしたたかさをもたらす複雑なシステムの理解)は欠くことの出来ない素養であり、それ無しには人類が解決すべき諸問題に立ち向かうことはおぼつかないといっても過言ではない。生物は、歴史的に獲得した情報を内包している遺伝プログラムの枠組みのうちで、環境からの刺激に应答しながら、複雑な系を安定な状態に維持することのできる統合システムとしてとらえることができる。このような柔軟な統合システム的な考え方・見方を学ぶことは、理工学部の学生にとっては特に意義深いものと考えられる。また、すべてのテクノロジーはヒトによって担われ、最終的にヒトを対象としたものであり、生物としてのヒトという観点を抜きにしたテクノロジーは本来ありえない。

生物学序論はこのような認識に基づいて昨年度より新たに開講されたもので、細胞と個体を中心にすえて生命現象の多様性と共通性を見るときともに、それぞれのシステムの成り立ちとその活動の基本的な機構を学ぶことによって、生物の“しなやかさ”と“したたかさ”、およびそれらの裏返しでもある“もろさ”を理解し、その延

長としてヒトHomo sapiensのより深い理解を目指す。それぞれのテーマにつき、典型的なあるいは理解しやすい具体例を用いて説明するが、さらに深く学ぶために、関連する書籍等を随時紹介する。

〔教科書〕

指定せず

〔参考書〕

『生命科学のための基礎シリーズ 生物』実教出版

自然科学実験 (全学門)

「科学の基礎に関する物理および化学実験」
2単位 春学期 / 秋学期
西山 繁 他

〔授業科目の内容〕

自然科学実験は、物理学編と化学編から構成されています。物理学編は、重要な物理現象と基本的な測定技術習得を目的として各テーマを置いています。また、化学編は化学の基礎を理解する上で役立つ「ものを作る実験」と「物の性質を調べる実験」を中心にテーマを組み立てています。この実験を受講することで、あらゆる分野に関連する科学の基礎知識を習得します。

〔教科書〕

自然科学実験 物理学編および化学編の2冊があり生協で購入して下さい。

〔参考書〕

特にありません。

情報処理同実習 (全学門)

「パソコンを使いこなす」 2単位 春学期
佐藤 春樹 篠沢 佳久
高田 眞吾 高橋 正樹
中西はるみ 萩原 将文
山本 喜一 柚木 克之
横森 剛 大宮 正毅

〔授業科目の内容〕

これからの科学者、技術者にとってコンピュータを使いこなせることはもっとも基礎的な技術です。この科目では、ITCのパソコンを利用して、コンピュータに馴れ、その特徴を知るところを目的としています。このため、コンピュータ・リテラシー(コンピュータの基本的な使い方)を短期間に密度濃く実習します。

〔教科書〕

教科書は講義のはじめに指示します。また、Webに講義資料を載せておきます。

理工学概論 (全学門) 2単位 春学期 / 秋学期
小山内州一 中村 義春

〔授業科目の内容〕

新聞や雑誌でしか知らなかった、最新の学問分野あるいは社会の大きな潮流とその背景を把握するとともに、自身が目指す勉強あるいは働く分野の中身を十分に理解

し、同時に自分自身が持つ可能性を再認識することを目的としている。

【教科書】

なし

【参考書】

木下是雄著『理科系の作文技術』中公新書 ¥700
慶應義塾大学日吉メディアセンター編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会 ¥1200

専門基礎科目

アルゴリズム 2単位 秋学期
大野 義夫

【授業科目の内容】

コンピュータを用いて解きたい問題には、いくつかの典型的なパターンがあります。また代表的なパターンの問題に対しては、解法の定跡が確立しています。

この科目では、定跡となっているアルゴリズムやデータ構造を学ぶとともに、アルゴリズム同士の定量的な比較の仕方についても考えます。

【教科書】

石畑清『アルゴリズムとデータ構造』岩波書店

アルゴリズム同演習 2単位 秋学期
眞田 幸俊

【授業科目の内容】

C言語の既習者を対象に、処理対象をフローチャートにまとめ、C言語によってプログラミングする方法を学ぶ。オセロゲームを対象とし、機能を追加しながらプログラミングすることを学習する。学期末にトーナメントを開く。OSはLinuxを用いる。

【教科書】

講義資料を配布する。

【参考書】

森田和郎、国枝交子、津田伸秀『思考ゲームプログラミング - オセロゲームのアルゴリズムと作成法 - 』アスキー出版

アルゴリズムと情報処理 2単位 秋学期
榊原 康文

【授業科目の内容】

プログラミング言語を勉強しただけでは、データ解析などの実際の仕事を行うためのプログラムを書くことはできない。問題を解決するための手順を正確に記述して、それをプログラムに書き下す必要がある。この問題を解決するための手順には、いくつかの定石があり、その定石を組み合わせることにより、上質なプログラムを完成させることができる。計算機科学において、この定石はアルゴリズムと呼ばれている。

本講義では、データ構造の設計からはじめて、いくつ

かの代表的なアルゴリズム、ソーティング、グラフ探索、などを紹介し、さらにいくつかのアルゴリズムスキーマについても勉強する。

さらに、生命科学においてもっとも重要なデータ構造である「配列」を扱うための基礎理論である形式言語とオートマトン理論についても勉強する。

【教科書】

横森貴著『アルゴリズム データ構造 計算論』サイエンス社

【参考書】

富田、横森著『オートマトン・言語理論』森北出版

アルゴリズム論 2単位 秋学期
山口 高平

【授業科目の内容】

基本的なアルゴリズムをフローチャートレベルで理解し、書けるようになることを目標とする。

また、これらアルゴリズムの応用についても学ぶ。

【教科書】

資料配布。あるいは指定したWebページ各自ダウンロードして持参すること。

【参考書】

講義中に示す

位相数学
「トポロジー」 2単位 秋学期
亀谷 幸生

【授業科目の内容】

トポロジー（位相）は、場所（Topos）の概念を美しく抽象化した学問です。高度の抽象化により大幅に適用範囲が広がり、あらゆる数理科学分野に欠くことのできない礎となっています。ここでは、「もの」の中の点や集合の間の位置関係の基礎諸概念を実例をあげつつ学びます。たとえば、点と点の近さ（距離）、点と点が線でつながるか（連結性）、集合の中の点が無限小に動いたとき外にはみ出るか（開集合）、与えられた写像が、入力を無限小に動かせば出力も無限小に動くか（連続性）さらに、他分野で極めて重要な応用をもつコンパクト性、分離性、完備性を学びます。

【教科書】

特になし

【参考書】

松坂和夫『集合・位相入門』（第4章～） 岩波書店

インダストリアル・エンジニアリング
「作業システムの分析と改善」 2単位 春学期
金沢 孝

【授業科目の内容】

経営工学で中心的役割を果たすインダストリアル・エンジニアリング（IE）の諸手法を、歴史的な観点や哲学的な観点を加えながら説明します。企業活動における

IEの役割、「改善のための発想」に重点をおいた仕事の
方法の分析、仕事の時間の把握、工程設計の基礎知識に
関して講義します。

【参考書】

藤田彰久著 『IEの基礎』 建帛社
川瀬武志著 『IE問題の解決』 日刊工業新聞社

エレクトロニクス・デバイス

「半導体デバイスの基礎」

2単位 秋学期
松本 智

【授業科目の内容】

エレクトロニクス・デバイスは、現在の情報通信化社会の基盤技術として大きな役割を担っている。パソコン、ディスプレイ、携帯電話を始め、様々なエレクトロニクス機器には、半導体材料で作製された多種のデバイスが用いられている。この中で、本講義では、もっとも基本的なデバイスであるpn接合ダイオードとLSIを構成しているMOSトランジスタおよび基本的MOS論理ゲートに関して、その動作原理、動作特性について学習する。バイポーラ・トランジスタ、化合物半導体高速トランジスタ、太陽電池、半導体レーザ等の多種のエレクトロニクス・デバイスについては、3年秋学期「半導体物理」で講義を行う。

【教科書】

半導体デバイスの基礎（松本 智著）（培風館）

【参考書】

半導体デバイス、S.M.Sze著（産業図書）

エレクトロニクス基礎

「シリコンの中の電子を理解する」

2単位 春学期
斎木 敏治

【授業科目の内容】

電子工学科で回路、デバイスを学ぶ上で必須となる半導体（特にシリコン）の基本事項を習得することを目指します。半導体中の電気伝導を理解するために必要なエネルギー帯構造、有効質量、正孔、状態密度、エネルギー分布、不純物準位など、独習が難しい概念に重点を置いて講義をおこないます。不純物半導体の理解まで到達することを目標とし、秋学期の「エレクトロニクス・デバイス」へスムーズに移行できるように配慮します。

【教科書】

講義資料を配布し、それに沿って授業を進めます。

【参考書】

初回の講義で紹介します。

エレクトロニクス創造演習

2単位 秋学期
岡田 英史 高橋 信一

【授業科目の内容】

エレクトロニクス創造演習は、自らのアイデアを生かしてエレクトロニクス・システムを製作する“実験書なき実験”を行う科目です。個々の学生が主体的に取り

組めるよう、与えられるのは基本的にはテーマのみで、あとは決められた予算の範囲内でより高性能になるよう、各グループが自由に工夫を行ってシステムを構築します。システム構築の過程において、調査、討論、プレゼンテーションなどを実施して、研究・開発に必要とされる基本的なスキルについて学びます。学期末には、各グループが作成したシステムを用いてコンペティションを実施するとともに、各自の成果に関するプレゼンテーションを行います。

なお、2~4名程度の少人数でグループを組む演習科目ですので、履修制限を行うことがあります。

【教科書】

適宜プリントを配布する。

応用解析第1（機械）

「微分方程式の理解とその解法/ベクトル微分演算の基礎」

2単位 春学期

澤田 達男 堀田 篤

【授業科目の内容】

本講義は大きく2つに分けられる。

- (a) 微分方程式の解法
- (b) ベクトルの微分演算

おのおの6回の講義が行われる。演習・宿題を数多く取り入れ理解が深まるようにする。担当教員も(a)堀田(b)澤田が行う。(a)微分方程式の解法では、常微分方程式の性質を理解し、その解法をマスターすることが目標である。(b)ベクトルの微分演算では、添字表示に基づくベクトルの微分演算法をマスターし、微分演算の物理的性質を理解することが目標である。

【教科書】

- (a) 微分方程式の解法
洪谷仙吉・内田伏一、物理数学コース「常微分方程式」(1998)、裳華房
- (b) ベクトルの微分演算
無し。プリントを用意します。

【参考書】

無し

応用解析第1（電子、SD）

2単位 春学期

佐野 昭

【授業科目の内容】

微分方程式は、理工学分野に現れる現象を記述し解析するための重要なツールの一つである。常微分方程式、偏微分方程式の基礎を理解し、実際に微分方程式を導出したたり解いたりできる应用能力を修得することが目的である。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

志水・鈴木：常微分・偏微分方程式ノート、コロナ社

応用解析第1 (応化、化学) 2単位 春学期
朝倉 浩一

【授業科目の内容】

化学及び物理現象の解明に必要な種々の微分方程式に対する解析法の基礎を学びます。単に数学としての講義ではなく、化学及び物理現象と関連させて説明します。

【教科書】

志水・鈴木著 『常微分・偏微分方程式ノート』 コロナ社、1995年

応用解析第1 (数理、物理)
「常微分・偏微分方程式及び関数解析・変分問題への入門」
2単位 春学期
谷 温之

【授業科目の内容】

常微分及び偏微分方程式の初期値問題及び境界値問題、積分方程式、Fourier展開、変分問題

【教科書】

担当教員による講義原稿を配布

【参考書】

高橋陽一郎「微分方程式入門」東京大学出版会

応用解析第2
「線形システム解析の基礎理論」 2単位 秋学期
池原 雅章

【授業科目の内容】

線形常微分方程式で記述される対象(現象)すなわち、線形動的システムの基礎的理解を深めることを目的とし、線形システム理論、回路網理論、制御理論等への準備と位置付けられる。線形代数の基礎、ラプラス変換、Z変換を履習したあと、常微分方程式、差分方程式の解法、解析へ向かう。したがって、応用解析第一の履修を前提としない。

【教科書】

「線形システム解析入門」 高橋進一、高橋徹 共著 (培風館)

応用化学計算基礎
「化学系におけるコンピュータ操作のリテラシーおよびスキルアップ」 2単位 秋学期
寺坂 宏一 吉岡 直樹

【授業科目の内容】

化学分野においてもコンピュータは必要不可欠な道具となり、実験結果の整理および論文作成、実験操作の支援、反応装置の開発や設計を目的とした数値計算あるいは分子構造のシミュレーションなどを行う機会が多くなってきました。

そこで、化学分野においてコンピュータ計算を必要とする例題を、Windows上の表計算ソフトやプログラミ

ング言語を用いた実習の中で解きながら、コンピュータの操作方法や応用方法について理解を深めます。

表計算ソフトの実習ではExcelを用い、主としてデータの整理法および公的論文や報告書のグラフ様式として不都合のない作図法について学び、さらにマクロやVBAを使ったプログラミング入門へ導きます。

プログラミング言語の実習ではVisual Basic for Applicationsを用い、主としてコンピュータ処理の流れおよびコンピュータ言語に共通のプログラミング技術の基礎に関して学習します。

履修学生は基礎的な化学の知識を身につけたうえで、パソコンの利用によりどのような効果が期待できるかを体験してください。

【教科書】

寺坂宏一著：「化学系学生のためのExcel/VBA入門」CD-ROM付、コロナ社(2006)、3150円

応用確率論 (機械、物情)
「確率論・統計学を基礎にした乱数を用いたシミュレーション法」 2単位 秋学期
横井 康平

【授業科目の内容】

質点の運動はおなじみの運動方程式で表され、初期条件さえ決まれば完全に決定できます。しかし、我々が現実に出会う現象には、とても解けないほど数の多い気体分子の運動や、複雑な要因がからんで解が決定できない射的的的当てやサイコロ投げなどの確率的に扱わなければならないものがあります。ミクロの世界では、量子効果のため現象の記述に本質的に確率が使われます。ここでは、このような確率現象をどのように取り扱うかということと、このような現象を理工学の問題に適用する方法について解説します。

まず、確率の基礎を説明し種々の確率分布になじんでもらい、統計手法への応用を扱います。ついで、乱数を用いた確率論的なモンテカルロ・シミュレーションでいくつかの自然科学現象を調べます。そこでは確率を自由にコントロールしてその現象と同じ確率をもつ「粒子」を発生させ、その振る舞いを観察します。

【教科書】

なし

講義原稿は教育支援システム<http://www.edu.keio.jp/>からローカルユーザーログインしてダウンロードできます。

【参考書】

1. ガットマン、S.S. ウィルクス 共著 (石井恵一、堀素夫 共訳)『工科系のための統計概論』 培風館

応用確率論 (電子)
「理工学における現象を確率過程としてとらえるための基礎を学ぶ」 2単位 春学期
真壁 利明

【授業科目の内容】

駅改札口の込み具合、携帯電話の呼び、PCの故障など事故予測などは、確定現象と異なり、「その事象がある確率で起こることを予言する」立場の確率現象である。本講義では理工学の諸課題を確率過程の立場で明らかにするためのスキルを身につける入門編である。これまでに学んだ確率の諸概念を簡単に復習した後、確率現象を確率過程としてとらえる基礎をやさしく学ぶ。確率現象あるいは確率過程として自然を解き明かす喜びを伝えたい。

【教科書】

中川・真壁著 「確率過程」(培風館)

応用確率論(情報) 2単位 春学期
大槻 知明

【授業科目の内容】

確率は、情報理論、通信理論、信号処理、ネットワーク工学などの様々な工学分野から、経済などの分野まで広く利用されている。本講義では、確率の基礎から確率過程まで、工学分野で見られる様々な現象を例にして解説する。

【教科書】

中川正雄、真壁利明著、「確率過程」、培風館

応用数学(機械、電子、物理)
「フーリエ解析」と「線形代数」 2単位 秋学期
岡田 英史

【授業科目の内容】

理工学における現象の解明や工学機器の設計などへの応用を目的とした数学が応用数学です。この講義では、データ解析において必要とされるフーリエ解析と線形代数を中心に解説を行います。

応用数学(情報)
「デジタル情報処理のための数学」 2単位 春学期
斎藤 英雄

【授業科目の内容】

【講義項目】

1. フーリエ級数
2. フーリエ変換
3. ラプラス変換
4. z変換

画像や音声等のマルチメディア情報を解析・処理するために必須となる数学の基礎として、フーリエ・ラプラス変換を用いた信号解析法について講義します。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

- ・キーポイントフーリエ解析 船越満明 岩波書店 ISBN4-00-007869-0
- ・ラプラス変換とフーリエ解析要論 田代嘉宏 森北出版 ISBN4-627-02610-2

- ・フーリエ解析とその応用 洲之内源一郎 サイエンス社 ISBN4-7819-0134-4
- ・信号解析のための数学 三谷政昭 森北出版 ISBN4-627-78521-6
- ・フーリエ解析・ラプラス変換 寺田文行 サイエンス社 ISBN4-7819-0893-4
- ・フーリエ解析 大石進一 岩波書店 ISBN4-00-007776-7
- ・現代複素関数通論 樋口・田代・瀧島・渡邊 培風館 ISBN4-563-00572-X

応用電気電子回路

「実践的な電気回路・電子回路演習」 1単位 秋学期
松本 佳宣

【授業科目の内容】

概要

電気回路と電子回路に関して、身の回りや研究で良く用いられている回路を中心に概説して、演習問題等を通して各種回路理論を理解する。また、回路の設計論と実際の回路の関係に関して解説する。

学習の目標

電気回路と電子回路の基礎知識をもとにして、様々な用途の回路の具体例を理解しながら、実際に道具として使いこなせるように回路理論を修得する。また、身近にある電気機器の仕組みがある程度わかるようにする。

【教科書】

「電子回路」須田健二・土田英一著 コロナ社 及び配布プリント

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

応用電磁気学同演習 2単位 秋学期
白鳥 世明 畑山 明聖

【授業科目の内容】

1)マクスウェル方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解 2)電磁気学の応用問題を自分自身でモデル化し、解くことができる 3)そのための数学的な力を身につける。

【教科書】

プリント配布

オペレーションズ・リサーチ第1

「計画の科学としてのORのアプローチ」 2単位 秋学期
森 雅夫

【授業科目の内容】

オペレーションズ・リサーチ(OR)とは、システムの計画や管理の主として計量的な側面に焦点を当て、社会や企業の諸システムの中に内在する法則性を知り、その情報を意思決定の一助とするための“道具”であると云えます。システムの大規模化・複雑化に伴って、ORの管理技法を有効に活用することは、適正な意思決定を下すためにも、また、意思決定の根拠を他の人々に理解

してもらおうためのコミュニケーションのツールとしても、重要な“道具”である。いわば、物理学が諸工学のbasisであるように、ORは社会や経済などの人間活動の諸問題を科学的に解明するbasisと云えます。それでは、新聞や世間でORの手法やその活躍ぶりが、なぜ喧伝されないのでしょうか？しかし、開発された手法やそれを用いたソフトが、すでに多くのシステムに組み込まれ、知らず知らずのうちに社会で利用されています。身近なところでは、コンビニの商品の無駄の少ない在庫の管理や、適切なタイミングでの配送の計画などなど…。OR第1では、ORの考え方や、ORの方法についての基礎を習得することを目的とする。まず、問題を理解する上で、対象を“モデル化”して考えます。その造ったモデルにいろいろな手法を適用して思考実験を行います。これらのプロセスについて学習します。モデルには、大きく分けて“確定的なモデル”と偶然現象をも考慮するための“確率的なモデル”があります。ことにOR第1では、主として、確定的なモデルに対するアプローチである「数理計画法」の基礎について学習します。

また、我々はいろいろな計画を立てるときに、何期か先を読みながら、いま必要な手を打って行きます。そのような多段階の計画問題を扱う動的計画法について、その基礎を学習します。

【教科書】

適宜、プリントを配布する。

【参考書】

後期にテキストとして使用する次の本を第1の参考書とする。

森 雅夫、松井知巳 「オペレーションズ・リサーチ」(朝倉書店)

その他の参考書については、授業のときに、案内する。

解析力学

2単位 春学期
福田礼次郎

【授業科目の内容】

「物理学A」、「物理学C」で学んだニュートン力学は、変分原理に基づいて解析力学と呼ばれる新しい形式に体系化されます。それは現代物理学の理論体系の基礎となるものです。本講義では、解析力学のうち、「ラグランジュの運動方程式」と「ハミルトンの正準方程式」について解説をします。

解析力学を使うと力学の演習問題を見通しよく、容易に解くことができますが、その力を身につけることを目指します。量子力学への橋渡しに注目します。

【教科書】

特にありません。問題を集めたものを(解答も一緒に)何回かに分けて配ります。

【参考書】

原島鮮著「力学 解析力学」(裳華房)

回路とシステム第1

「電気回路の表現と解析」

2単位 春学期

大森 浩充 浜田 望

【授業科目の内容】

電気工学の中心的な理論である回路論の体系化された表現法・解析法・設計法は、電磁気現象がその他の物理現象と類似していることから、力学、化学、生物学など他の工学分野へ広く導入され、それぞれの分野で独自の理論へと発展している。このように、電気回路理論の概念は、多くの工学理論の根底を支える重要な考え方となっている。講義では、電気回路を用いてシステムを表現するセンスを養うことをひとつの目的とし、その基礎として、回路素子の性質と回路に関係する諸定理を述べ、回路方程式による表現法を習得した後、回路解析法として過渡応答解析法と交流回路解析法を習得する。授業は理論的内容を具体的に直ちに理解・確認できるように、演習・例題を含めた構成とする。

【教科書】

システムデザイン工学科配布のテキストを使用する。

【参考書】

浜田望著 電気回路 森北出版(株)

森真作著『電気回路ノート』(コロナ社)

森真作、南谷晴之著『電気回路演習ノート』(コロナ社)など

回路とシステム第2

「回路とシステムのアドバンスな内容」2単位 秋学期

浜田 望

【授業科目の内容】

回路解析手法のオーバービュー

回路の電力・エネルギーと受動性

3相交流回路と電力伝送

2端子対回路 - 回路の特性表示 -

演算増幅器(オペアンプ) 便利な機能素子

分布線路 - 回路における波動現象 -

周期信号に対する回路の解析

信号処理機能としての回路

非線形回路とシステム

動的システムのアナロジー 電気回路と他の動的システム

【教科書】

浜田望著書籍タイトル未定(共立出版)の予定

化学統計熱力学

2単位 春学期

中嶋 敦

【授業科目の内容】

Introduction 熱、温度、仕事(熱力学第0法則)

Part 1 エネルギー(気体分子運動論と熱力学第1法則)

§ 1 気体の状態方程式

§ 2 気体分子運動論

分子の運動と温度

§ 3 エネルギーと熱力学第1法則

仕事と熱、エネルギー

内部エネルギー、エンタルピー、比熱、熱化学

Part 2 エントロピー(統計熱力学と熱力学第2法則)

§ 4 気体分子の量子力学

§ 5 分子のエネルギー分布---統計熱力学入門

§ 6 量子統計 (Bose-Einstein分布、Fermi-Dirac分布)とMaxwell-Boltzmann分布

§ 7 エントロピーと第2法則

統計熱力学的エントロピー、第2法則、第3法則

Part 3 自由エネルギー(平衡)

§ 8 自由エネルギーと化学ポテンシャル

§ 9 化学平衡

化学反応と自由エネルギー、平衡定数、平衡定数の温度変化

§ 10 相平衡

実在気体の挙動と相平衡、Clausius-Clapeyronの式、Gibbsの相律、平衡状態図

§ 11 物質の混合:理想溶体と実在溶体

§ 12 「平衡状態」と「定常状態」

【教科書】

特に、教科書は指定しません。教科書がなくても、毎回聞く講義のノートで、十分な理解が得られるようにする。

【参考書】

茅幸二、他「物理化学演習」裳華房

バーロー「物理化学」(第6版)上・下 東京化学同人、アトキンス「物理化学」(第6版)上・下 東京化学同人、ライフ『統計熱力学の基礎』吉岡書店、その他、講義の進行に合わせて紹介する。

化学統計熱力学演習

1単位 春学期

中嶋 敦 三井 正明

【授業科目の内容】

「化学統計熱力学」の講義に対応して、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーといった重要な新しい考え方を中心として、これらの理解を具体的な問題を解くことを通じて深めるために演習を行なう。講義「化学統計熱力学」と進度をあわせて補足・先取りしながら進めるので、効果的な学習が期待できる。

【参考書】

茅幸二、他「物理化学演習」裳華房

アトキンス『物理化学』東京化学同人

学外実習第1

2単位 秋学期

松本 緑

【授業科目の内容】

定められたカリキュラム以外に理工学部外、塾外の大学等での授業の履修、あるテーマに関する講習会等の受講、企業・研究機関等での一定期間以上の実習等の内容

が専門基礎科目の単位として相応しい内容を有するものであると認定されたとき、本学科目の単位として認定する。すなわち、内容(場所・時間等を含む)については学生自身が企画することになる。

実習についての詳細は学習指導副主任に相談すること。

確率(機械、応化、数理、物理、化学)

2単位 春学期

増田 靖

【授業科目の内容】

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学びます。工学的・社会的現象への応用についても解説します。

【教科書】

清水良一著「確率と統計」新曜社、1980

講義資料プリントはwebサイト

<http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masudahp/lectures.htm>

よりダウンロードできます。

【参考書】

伏見正則著「確率と確率過程」講談社、1987

確率(管理)

「統計解析の基礎」

2単位 春学期

竹内寿一郎

【授業科目の内容】

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学ぶ。講義は解析を中心に進められ、推定、検定等、統計解析の入門として確率を学ぶ。

【教科書】

清水良一著「確率と統計」新曜社、1980

講義資料プリントを配布します。講義は概ね講義資料プリントに従いますが、テキストも参照してください。

環境化学概論

「地球環境の化学」

2単位 秋学期

鹿園 直建

【授業科目の内容】

- ・地球環境問題(温暖化学)
- ・廃棄物問題
- ・資源問題
- ・地球環境倫理

【教科書】

鹿園直建著「地球システム科学入門」東大出版、1992

鹿園直建著「廃棄物とのつきあい方」コロナ社、2001

【参考書】

鹿園直建著「地球システムの化学」東大出版、1997

関数論第1同演習

「複素変数関数についての微積分学」 3単位 秋学期
下村 俊 田中 孝明

【授業科目の内容】

関数論の基本事項について解説する。これらが自由自在に応用できるようになることを目標にする。

1. 複素平面、複素関数、数列、級数
2. 正則関数、べき級数の正則性
3. コーシーの積分定理、コーシーの積分公式とその応用
4. テーラー展開、一致の定理
5. 有理型関数、留数
6. ローラン展開、孤立特異点

【教科書】

解析関数 田村二郎 裳華房

管理工学概論

2単位 春学期
休講

管理工学基礎演習

1単位 春学期
篠崎 信雄 他

【授業科目の内容】

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則として各班隔週で2時限連続して行なう（班分けは事前に掲示する）。また、最終回に演習内容全般についての試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参すること。バーコードのシールも忘れないこと。

【教科書】

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購入すること。テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。

【参考書】

それぞれのテーマの参考書等については、担当者に尋ねること。

管理工学基礎演習

1単位 秋学期
篠崎 信雄 他

【授業科目の内容】

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則として各班隔週で2時限連続して行なうが、そうでないものもあるので注意すること。班分けについては事前に掲示する。また、最終回に演習内容全体についての試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参すること。バーコードのシールも忘れないこと。

【教科書】

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購入すること（管理工学基礎演習 で購入するテキストの

後半部分）。テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。

【参考書】

それぞれのテーマの参考書等については、各担当者に尋ねること。

管理工学用数学第1

「管理工学のための線形数学」 2単位 春学期
小澤 正典

【授業科目の内容】

1年生のときに線形代数の基本的なことは勉強していると思いますが、これから管理工学を学ぶ上で、線形代数が大事な用具・方法となります。この授業では、線形代数の幾何学的なイメージを養い、アルゴリズムを学ぶことを主眼とし、その工学や統計への応用、最適化の考え方などについて紹介し、講義+演習の形でしっかりと修得してもらうことを狙っています。

【教科書】

適宜、講義内容のプリントを配布する。

【参考書】

授業のときに紹介する。

機械工学創造演習

「自主的行動力と表現力の向上」 2単位 秋学期
小茂鳥 潤 他

【授業科目の内容】

機械工学創造演習は、各人の興味や才能に基づき、自らの発想でテーマを決め、自分で考えた実験や物作りを実際に行うことで、学びつつあることの具体的な意味や相互の関連を理解し、主体的な勉学の習慣を身につけることを目的とした実技科目です。演習の進行はおおよそ以下ようになります。テーマの検討などは4クラス×2曜日（20人程度）に分かれて行いますが、実験・加工などの相談についてはすべての科目担当者が対応します。このような自主的活動を通して、専門学力のみならず、これからの科学技術者に求められる行動力と表現力も向上することを期待しています。

【教科書】

テキストを配布する。

【参考書】

特に指定しない。

機械力学の基礎

「機械を動かすための仕組みと運動の力学」 2単位 春学期
杉浦 壽彦 三木 則尚
森田 寿郎 山崎 信寿

【授業科目の内容】

目的とする動きを実現するための機構要素と、そのために必要な力やモーメントの計算方法を学びます。これにより、ある機能を達成するにはどのような仕掛けにす

ればよいのか、それが動くときにはどのような力が加わるのか、あるいはどのような運動が起こるのかがわかるようになることを目指します。講義前半は、機構の模型も回覧します。また、機構の発想力や運動の解析力を養うために、毎回演習を行い、かつ毎回宿題も出します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

(講義の前半) 森田均: 機構学、サイエンス社

(講義の後半) S. ティモシェンコ・D. H. ヤング、渡辺茂・三浦宏文訳: 応用力学(動力学編)、好学社

基礎化学実験

2単位 秋学期

鈴木 孝治 他

【授業科目の内容】

化学実験の基礎となる操作、考え方並びに専門知識を修得するため、以下の内容について、少人数単位の実験実習を行う。

実験ガイダンス

過マンガン酸カリウムによる酸化還元滴定

アルカリ金属の原子発光分析

遷移金属錯体の可視スペクトル

電解質溶液の電導度

臭化アルキルの生成反応速度

D グルコースの変換光速度

アズラクトンの合成と同定

ポリマー粒子の作製と粒度分布

【教科書】

指定の実験テキストを生協で販売する。

【参考書】

理工学部のメディアセンターなどを利用のこと。

基礎生物学

2単位 春学期

星 元紀

【授業科目の内容】

生物の世界は、地球のごく表面を占めるに過ぎず、物理量としても微々たるものであるが、数千万種あるいは数億種からなる多彩な世界である。しかし、そのような多様性を示すにもかかわらず、生命体の基本構造やその営みの素過程は、驚くほどに共通性が認められる。この講義では、現代生物学の基礎知識として、生命活動の基本単位である細胞の構造と機能、生命活動を支える物質およびエネルギーの流れ、個体としての統一性を支える情報の処理と統合、個体性の認識、生命の連続性を支える生命情報の流れ、につき学習する。

【教科書】

Campbell and Reece "Biology" (7th ed.)

【参考書】

Molecular Biology of the Cell (細胞の分子生物学) 等を随時紹介する。

基礎生命実験

2単位 秋学期

井本 正哉 他

【授業科目の内容】

生命現象を理解するには、化学、生物、物理・情報の総合的な理解が必要である。

本講義では、実験を通してそれらの基礎を習得することを目的とする。

空間設計製図A

3単位 秋学期

岸本 達也 他

【授業科目の内容】

設計製図の基礎と空間構成手法を習得する。平面図、立面図、断面図、立面図の描き方、パース(透視図)の描き方、模型製作など建築の各種設計・表現手法を学ぶ。さらに用途を限定した小建築、小住宅の設計を通して空間構成手法の基礎を体得し、製図の基礎から小規模建築の空間構成手法までを習得することを目標とする。

経営管理論

「組織体における経営管理とは何か」

2単位 春学期

高橋 正子

【授業科目の内容】

組織体の経営管理活動に関する理解を深めるために、ここでは企業を代表例として取り上げます。企業は財やサービスなどの社会的な価値の生産と分配に携わる経済主体であるとともに、複数の構成員からなる組織体でもあります。そこで、経営管理活動に関わる経済的、財務的、社会心理的諸側面の基本的概念の理解や知識の習得を図るとともに、組織構造的な側面と組織行動的な側面とから経営管理活動のあり方、およびそれらの活動を支える経営管理システムのあり方を学びます。

【教科書】

テキストは特に指定しません。

講義資料は、毎回配布します。

【参考書】

適宜、授業の中で示します。

計算機科学同実習

「コンピュータ言語(C言語)入門」

3単位 秋学期

野寺 隆

【授業科目の内容】

マルチメディアやバーチャルリアリティなど、インターネットを使ったサイバースペースの世界が次々に出現している。このような現代社会で、新たに人とコンピュータのコミュニケーションを考えることは重要な事柄である。本講義は、最初に数式を含む文書処理の入門として、LaTeXの基本概念について実習を通して学習する。次に、コンピュータのプログラミングの入門として、C言語を利用し、その実習を通してアルゴリズムの構成法

やコンピュータの役割などについて学習する。C言語は、ワークステーション用のオペレーティングシステムUNIXの記述に利用され、高水準プログラミング言語の持つ「構造化」と呼ばれる機能を持ち、コンピュータの金物（ハードウェア）としての機能を充分発揮できるように考えられた高級言語である。この講義では、C言語の学習を通してコンピュータの持つ力を各自の情報処理の仕事に充分発揮できるための基礎的な素養を育成することにある。

【教科書】

なし

【参考書】

野寺隆志著 『楽々LaTeX（第2版）』 共立出版

野寺隆志著 『これだけは知っておきたい数学ツール』 共立出版

浦昭二、原田賢一共著 『C入門』 培風館

B.W.カーニハン、D.M.リッチー著、石田晴久訳 『プログラミング言語C』 共立出版

計算機基礎（機械、管理、数理、物理、化学、情報）

「ブール代数、デジタル回路、コンピュータアーキテクチャの基礎」

2単位 春学期

山中 直明

【授業科目の内容】

【月曜日 / 4時限のクラス】

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

本授業は、本来はコンピュータを主たるトピックスとはしない学科の学生のために情報系と分けて平行授業を行なっている、基礎からの理解を図るものである。

【水曜日 / 1時限のクラス】

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

【教科書】

特に指定しません。

以下のURLから授業で使用するパワーポイントのスライドをPDF形式で配布する予定です。

<http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp/>

ただし、ダウンロードは授業と平行して行なわれ、テスト前等に一括しては不可能です。

【参考書】

相磯秀夫、松下温共著 電子情報通信学会編 『電子計算機I 基礎編』 コロナ社

計算機基礎（SD）

「論理的思考、手続き的思考、構造化、オブジェクト指向」

2単位 春学期

矢向 高弘

【授業科目の内容】

実験を計画したりレポートを執筆したりする場合など、理工学に携わる者には初期状態から目標に向かって理路整然と物事を進行・展開していく能力が求められる。プログラミングに際しても同様であり、これを効率化するプログラミング技法はプログラミング以外にも様々な応用場面がある。本講義では、物事を論理的に思考したり、解法などの処理手続きを構成する手法を講義する。また、構造的な構成手法や、オブジェクト指向の構成手法により、手続きの可読性や再利用性が高まることを理解するであろう。簡単な論理だけを幾重にも組み合わせることで大規模な問題の解法を与えることができる面白さと利便性に興味を持ってもらえるように、また簡単な演習を通じて実体験を通して体得していただけるように、配慮して講義する予定である。

【教科書】

配布資料、およびウェブへの掲載資料による。

【参考書】

矢向高弘、村上俊之、大西公平共著 数理工学基礎シリーズ5 『コンピュータの数理』 朝倉書店

計算機構成同演習

2単位 秋学期

天野 英晴

【授業科目の内容】

マイクロコンピュータのCPUをHDL（Hardware Description Language）を用いて設計しながら、その内部構造を理解する。16bit RISC型CPU（パイプライン化されていないもの）の設計までを半期で行なう。1コマの授業の後に1コマの設計演習を行なう。具体的には、（1）加算、減算回路、パレルシフトを含むALUの設計ができる。（2）アキュムレータマシンの設計ができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。（3）16bit RISCに独自の命令を付け加えることができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。を目標とする。

【教科書】

天野、西村『作りながら学ぶコンピュータアーキテクチャ』 培風館

計算力学の基礎

「コンピュータによる数値計算の基礎と実習」

2単位 春学期

小尾 晋之介

【授業科目の内容】

本科目では主に以下の内容を扱う：

- A コンピュータを使用する際に必要な基礎知識
- B ワークステーションの利用

C 簡単な数値計算のプログラムの作成・実行

計算機の内部で処理される数値はアナログではない。このことによって、単純な四則演算を実行しても予想外の結果が得られることがある。この授業では計算機に特有の問題について理解するとともに、プログラムを作成し、使いこなすための基礎を習得することを目的とする。

プログラミングアプリケーションとしてMATLABを用い、数値計算のプログラムを作成・実行する。また、MAPLEなどのユーティリティの使用方法を学ぶ。秋学期の「計算力学の基礎」では、微分方程式の数値解析を取り扱うため、2つの科目を履修することにより機械工学で扱うさまざまな方程式について自力で数値解析を行う力が身につくことが期待される。コンピュータ(LINUX)に関する知識は前提としない。

【教科書】

テキストを配布予定

【参考書】

戸川隼人著『ザ・数値計算リテラシ』サイエンス社
『矢上キャンパスIT利用パイプ』慶應義塾大学理工学インフォメーションテクノロジーセンター

芦野隆一、Remi Vaillancourt共著『はやわかりMATLAB』共立出版

森下信編著『(機械工学基礎コース)コンピュータの基礎と数値計算』丸善株式会社

計算力学の基礎

「微分方程式の数値解析」

2単位 秋学期

泰岡 顕治

【授業科目の内容】

この科目では微分方程式の数値解析について学ぶ。物理学の基礎となる常微分方程式、流体力学や伝熱工学で用いる偏微分方程式などの解の性質を調べることで物理現象の理解を促進する。単なる知識の習得にとどまらず、方程式を自分で解ける、解いた結果の精度を評価できる、結果が正しく解釈できる、といった力を身につけることを目指す。「計算力学の基礎」の履修が必須。

【教科書】

配布テキストを使用

【参考書】

戸川隼人著『ザ・数値計算リテラシ』サイエンス社
『矢上キャンパスIT利用パイプ』慶應義塾大学理工学インフォメーションテクノロジーセンター

芦野隆一、Remi Vaillancourt共著『はやわかりMATLAB』共立出版

森下信編著『(機械工学基礎コース)コンピュータの基礎と数値計算』丸善株式会社

Numerical Methods for Engineering Application, J.H. Ferziger, John Wiley & Sons, Inc. など

計算論理学

「論理と計算のつながり」

2単位 秋学期

岡田 光弘

【授業科目の内容】

計算機科学や情報工学の理解のために必要な論理的基礎を与えることを目的とする。論理的言語及び論理的知識表現論、論理的意味論、ルールベースの推論システム、証明論等の基礎理論を与える。又、それらと計算モデル理論(チューリングマシンやラムダ計算等)、プログラム言語理論、フォーマルメソッド、AI分野等で提案されてきた推論エンジンモデル等との関係を示す。計算機や計算理論の基礎は論理学分野で確立されたが、それらの歴史的経過についても解説する。

【教科書】

教材については秋学期開始時に授業及び掲示で指示する。

【参考書】

授業の中で紹介する。

形状情報の表現

「三次元物体を二次元の図面に表現する方法、技術内容の指示方法等の習得」

2単位 秋学期

徳岡 直静 他

【授業科目の内容】

図面は、設計技術者の世界共通言語である。将来、機械技術者として自ら設計を行う場合は、自分が意図した機械等の構造や形状、精度、特性等を図面上に自由に表現するとともに、他の技術者の意図を自由に読み取ることができなければならない。また、直接設計に携わらない場合でも、製品の良否を判断する上で、図面内容を適確に把握できる能力が必要である。特に、グローバル化された現在、世界的に活躍するためには国際基準の図面を作成する能力が必要である。本講義では、グローバルに活躍できる技術者になるために、図面に記入すべき項目や国際基準に準拠した指示方法等を、CADを使った実習を通して教授する。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

日本機械学会編「機械実用便覧」(常に持参してください)

計測工学

「電気計測を中心とする「はかる」ことの方と技術」

2単位 秋学期

南谷 晴之

【授業科目の内容】

はかるということは、観察・調査・実験などに基づいて、自然・事物・対象についての知識を手に入れることです。私達が科学的に物事を進めようとする場合、まず

はかることから始めます。これを称して「計測なくして科学なし」といいます。もちろん、科学のみでなく、技術の発展にもはかることは欠かすことができません。この講義では、個別の測定法や測定装置もあげますが、それを通じて優れた計測システムの構成方法を理解できるように進めます。

【教科書】

南谷晴之・山下久直著『よくわかる電気電子計測』オーム社

および他の参考文献から引用した講義に関する図・資料を配布します。

【参考書】

南谷晴之・山下久直著『よくわかる電気電子計測』オーム社

南茂夫・木村一郎・荒木勉著『はじめての計測工学』講談社サイエンティフィック

前田良昭・木村一郎・押田至啓著『計測工学』コロナ社

光学基礎

2単位 秋学期

木下 岳司

【授業科目の内容】

光技術は現在最も急速に発展している技術の一分野です。レーザを応用した多くのハイテク機器が身近に使われています。光の波としての性質と代表的な応用例について講義します。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

Eugene Hecht 著 『Optics』 Addison- Wesley (丸善から和訳3冊組があります)

左貝潤一著『光学の基礎』コロナ社

大頭仁、高木康博著『基礎光学』コロナ社

大坪順次著『光入門』コロナ社

羽根一博著『光工学』コロナ社

光学システム

「Optics System」

2単位 秋学期

内山 太郎

【教科書】

『光学の基礎』

工学数学

2単位 春学期

大西 公平 野口 裕久

【授業科目の内容】

工学をシステム論から解析し、設計しようとするれば、必ず数学の助けが必要になる。本講では、級数、微積分、複素解析、ベクトル解析等を横断的に取り上げ、総合的な見方が出来るよう講義を行う。

【教科書】

資料プリント配布

高分子化学基礎

「分子レベルから材料レベルまでの“高分子”」

2単位 秋学期

川口 春馬

【授業科目の内容】

‘高分子とは’から始め、「構造」「構造をつくり出す方法」「構造がもたらす物性」「物性に由来する機能」を学び、‘高分子を理解しながら使いこなす’能力をつける。同時に、高分子を題材として、科学する力を培う。

1. 序論

1.1 高分子とは

1.2 高分子化学の歴史と未来

2. 高分子の化学構造

2.1 一次構造

2.2 モノマーの結合様式

2.3 分子量

3. 高分子鎖の特性と溶液の性質

3.1 高分子鎖の形と大きさ

3.2 溶液の熱力学

3.3 浸透圧

3.4 光散乱

3.5 粘度

4. 高分子の構造と物性

4.1 高分子の構造解析

4.2 ガラス転移と融解

4.3 高分子結晶

4.4 粘弾性

5. 高分子の合成

5.1 高分子生成の様式

5.2 連鎖重合

5.3 逐次重合

5.4 共重合

6. 高分子の反応

6.1 高分子改質

6.2 分解・劣化

7. 生体高分子

【教科書】

高分子学会編集『基礎高分子科学』(東京化学同人)

【参考書】

参考書：成智聖司他著 基礎化学シリーズ3 『基礎高分子化学』朝倉書店

蒲池幹治著 『改訂 高分子化学入門』NTS

コンピュータ実習

「UNIXの基礎」

2単位 春学期

斎藤 博昭 重野 寛

【授業科目の内容】

現在のコンピュータには様々な種類がある。その中にUNIXに基づいて動くものがあるが、UNIXはコマンドラインを中心としたものであり、Windowsと異なる部分が多々ある。本講義では、UNIXを利用する際の基本

的なコマンドや基本的なソフトウェアを実習することにより、UNIXに関する基礎の習得を目指す。

〔教科書〕

講義の初めに指示する。

〔参考書〕

講義の初めに指示する。

細胞生物学第1

2単位 秋学期

井本 正哉

〔授業科目の内容〕

生命を分子レベルで研究する上で必要な分子細胞生物学の基礎知識を教科書に沿って学ぶ。

〔教科書〕

分子細胞生物学 第5版 上巻 東京化学同人

材料力学の解法

「はり軸の強度・変形に関する実例と解法」

2単位 春学期

小茂鳥 潤 宗宮 詮

高橋 邦弘

〔授業科目の内容〕

必修科目「材料力学の基礎」と表裏を成す科目であり、選択科目ですが是非履修するよう勧めます。本科目では「材料力学の基礎」で学んだ原理あるいは定理を用いて、実際の構造物を解析する上での解決能力を養うことを目的としています。すなわち機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材に関する理解を演習を通じて深めることとなります。

個々人に対して丁寧な説明を行いながら演習問題を解説します。実際の計算の例題を豊富に提示することになりますから、「材料力学の基礎」の良き復習となるように構成されています。

内容は「材料力学の基礎」と同様で、下に示す項目です。教科書、参考書は特に定めません。必修科目である「材料力学の基礎」の講義の5日後に、本科目で例題を解くこととなりますので、「材料力学の基礎」の授業を良く把握して臨んで下さい。

〔教科書〕

特に指定しませんが、同名の書籍が多数あるのでそれを参考にして下さい。

材料力学の基礎 「はり軸の強度と変形」

2単位 春学期

小茂鳥 潤 宗宮 詮

高橋 邦弘

〔授業科目の内容〕

機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材を取り上げます。

はりや軸のような棒材における力と変形、あるいは応力とひずみについて解析を行います。材料力学の基本的考え方、基本原理を解説し、3年次以降の材料力学関連

科目を学ぶ上での基礎固めを目的としています。

基本事項の理解を深めることを主要課題とするとともに、計算に慣れることにも力を注ぎます。同時に開講されている選択科目「材料力学の解法」では、この「材料力学の基礎」における講義内容を基に、練習問題を解くこととなります。「材料力学の解法」では個々人に対し丁寧に解説を加えますから、併せて履修することにより深い理解が得られるよう配慮されています。

教科書、参考書は特に定めませんが、材料力学のテキストには市販のものが多くあるので個人的に参照することが可能です。ただし本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要があります。

〔教科書〕

特に指定しませんが、同名の書籍が多数あるのでそれを参考にして下さい。

酸塩基及び酸化還元

「あらゆる化学現象を理解するための基礎的概念」

2単位 春学期

大坂 武男

〔授業科目の内容〕

化学全般の基礎である「酸・塩基反応」および「酸化・還元反応」を理解できるようにします。

〔教科書〕

特に用いない。毎回、講義内容のプリント（A4用紙10枚程度）を配布し、同じ内容のOHPを用いて講義する。

〔参考書〕

「物理化学」関連の参考書

藤永太一郎訳「酸塩基の理論」化学同人

曾根興三著「酸化と還元」培風館

システム制御論

2単位 秋学期

富田 豊

〔授業科目の内容〕

1. Introduction
2. Control Systems Terminology
3. Differential Equations and Linear Systems
4. Laplace Transform
5. Stability
6. Transfer Functions
7. Block Diagram Algebra and Transfer Functions of Systems
8. System Sensitivity Measures and Classification of Feedback Systems
9. Analysis and Design of Feedback Systems with Bode Plot
10. Introduction to Nonlinear Control Systems
11. Controller

〔教科書〕

Joseph J. Distefano, et al., Schaum's Outlines Feedback and Control Systems Second Edition,

McGraw Hill, Paperback

システムデザイン工学概論 2単位 春学期
伊香賀俊治 村上 俊之

【授業科目の内容】

「システムデザインとは何か」について、特別講義、課外講義を通して学ぶ。

システムデザイン工学が目指すものは何か、何をどのように学ぶべきか？ システムデザイン工学に関して、学内の講義のみではない課外講義を含む活力ある形式により、その理念とその視点からの先端技術の状況を講義する。

この講義では、人類（社会・経済・文化）と自然との調和を考えた工学の必要性、情報化社会に適したシステムづくり、複雑そして総合的なシステムを扱える工学の確立など、社会で本学科が果たす役割を理解して、既成の分野に拘らない広い学識を持ち、新しい発想から新分野を開拓できる、横断的な思考と学際的な発想からシステムデザイン目指して学ぶその動機づけを与えることを目的としている。

機能を追求するだけでなく、現象の本質をグローバルな視点で解析するとともに取り巻く環境との調和にも十分配慮してシステムデザインすることを学びひとりひとりが積極的にシステムデザイン工学そのものを創造することを目指してほしい。

システムデザイン工学基礎演習 1単位 秋学期
佐藤 春樹 他

【授業科目の内容】

本科目は、システムデザイン工学科2年生春学期に開講した「熱流体システム第1」「力学的モデリング」「電磁気工学」「回路とシステム第1」なる4つの基礎必修科目に関する理解を深めさせ、学生に十分にその内容を身に付かせることを目的として設置した演習科目であり、基礎的な問題に対処できるようになることと、これら基礎科目に関する分野横断的な側面もカバーしている。春学期に履修した授業内容の演習を秋学期に行うことで、さらなる習熟度向上が期待され、同時に、秋学期に履修しているアドバンスな関連科目に関する理解向上に貢献することもねらいである。本演習科目は、上記基礎必修科目の担当教員8名による2クラス制のオムニバス形式で開講される。

【教科書】

『熱流体システム第1』『力学的モデリング』『電磁気工学』『回路とシステム第1』のテキスト

社会・経済と工学 2単位 秋学期
青山藤詞郎 三田 彰

【授業科目の内容】

科学技術を道具として出発したコンピューターを例にとれば、単なる計算道具でなく、経済活動や社会システ

ムまでも変えてしまう、予期しなかった大きな影響を生み出している。あるいはエネルギーの例に見れば、生活を豊かにしただけでなく、地球温暖化や資源競争など、国際・法律・社会心理へも及ぶ広い影響がある。科学技術者には、一方では技術の波及効果について社会的責任を求められる機会が増えており、また、他方では経済や社会の広い知識と問題意識を持つ人が社会で求められている。この講義では、一部は外部専門家の話を依頼して、現在の具体的な事例を挙げることにより、科学技術の影響の広がりを知り、将来の対応の糸口を考える。

周期表の化学基礎 2単位 春学期
山元 公寿

【授業科目の内容】

宇宙と地球における元素の誕生と分布の過程を知る。また、周期表にしたがって各元素の特性を把握し、それが化学物質の構造や性質にどのように反映されているかを理解する。特に、類似の性質を持つ元素群（族）に分類して、具体的な特徴を解説する。

1. 元素の誕生
2. 周期律
3. 元素各論

【参考書】

コットン、ウイルキンソン、ガウス著、中原訳 『基礎無機化学』 培風館
田中政志、佐野充著 『原子、分子の現代化学』 学術図書
井口洋夫 『元素と周期律』 裳華房

周期表の化学第1

「無機化学、錯体化学、配位子場理論、群論入門、群論の化学への応用」 2単位 秋学期
伊藤 正時

【授業科目の内容】

無機化学の基礎となる配位子場の考え方、配位結合について述べます。無機化合物を学ぶ上で最も大切な基礎を扱います。

【教科書】

特になし、プリントを配布する。

【参考書】

F. Basolo, R.C. Johnson (山田祥一郎訳) (配位化学) 化学同人

集合論 2単位 春学期
「数学の基礎的手法」 森吉 仁志

【授業科目の内容】

現代数学の基本的言語である集合の概念とその基本的演算について解説する。話題としては集合の概念、和と共通部分、写像、積集合、巾集合、無限集合と濃度の概念、選択公理、同値関係と商集合など。

その後、集合に数学的構造を入れることを考える。

特に距離空間とその抽象化である位相空間について解説する。

話題の性質上、抽象的な議論は不可避だが、具体例をなるべく多く交えながら理解を図りたい。

数学における標準的な記号法と議論の前提となる論理規則も合わせて導入していくので慣れてもらいたい。通常数学で行われる論理展開の方法に習熟し、頭で理解するだけでなく実際に自分で手を動かして自力で数学的な推論が実行できるようになることが目標である。

【参考書】

内田伏一 集合と位相 裳華房
 松阪和夫 集合・位相入門 岩波書店
 齋藤正彦 数学の基礎 集合・数・位相(基礎数学14) 東京大学出版会
 志賀浩二 集合への30講 朝倉書店
 志賀浩二 位相への30講 朝倉書店
 シンガー/ソープ トポロジーと幾何学入門 培風館
 赤堀也 集合論入門 培風館
 井関清志 集合と論理 新曜社

情報経済学 2単位 秋学期
 増田 靖

【授業科目の内容】

この科目では、管理工学の経済学的側面からのアプローチを考え、企業間・企業内活動を主な分析対象とします。具体的には、二つのテーマを取り扱います。第一のテーマは価格設定です。企業の行動に焦点をあて、市場と企業組織内部の両方に対する価格の役割を調べます。第二のテーマは不確実性と情報です。意思決定者が不確実性にどのように取り組むかという問題を、モデル分析を通じて検討します。そのために不可欠な道具である期待効用理論を学び、危険回避行動を議論します。典型的な例として保険契約の問題を議論します。

【教科書】

教科書は特に指定しません。講義資料はwebサイト
<http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/lectures.htm>
 よりダウンロードできます。

【参考書】

奥野正寛・鈴木興太郎著「ミクロ経済学I」岩波書店、1985、1988
 H.R.ヴァリアン著、佐藤隆三・三野和雄訳「ミクロ経済分析」勁草書店、1986
 P.ミルグローム・J.ロバーツ著「組織の経済学」NTT出版、1997

情報数学概論 2単位 春学期
 「計算機科学に使われる数学」 田村 明久

【授業科目の内容】

計算機科学でよく使われる数学概念を概説します。特に、論理的推論、集合、同値関係、半順序関係、グラフ、

組合せ論、簡単なアルゴリズムなどに重点をおき、講義を行います。広い範囲の話題を扱うので、それぞれの話題についてはあまり深入りせず、具体的な例を通じて概念や記法を理解してもらうことに主眼をおきます。

【教科書】

使用せず。毎回資料を配布します。配布方法については、受講人数にも依存するため初回に説明します。

【参考書】

特に指定せず。

情報通信工学基礎 2単位 春学期
 小沢 慎治

【授業科目の内容】

情報・通信分野の基礎を統括する科目として、以下の項目の概要が把握でき、重要な術語が理解できることを目的とする。また3年で設置される、情報・通信関連科目の関連、系統が理解できるように配慮する。

【参考書】

授業で用いるスライドのコピーを配布する。

情報理論 2単位 秋学期
 「情報を把握するための第一歩」 中川 正雄

【授業科目の内容】

情報とは何か、情報の量とは何か、情報をどう伝えるのか等、情報の本質に迫ります。情報理論は確率の基礎がわかれば、きわめて簡単な法則です。理解の容易な分野です。以下に目次を示します。

1. 情報理論の背景

軍用暗号の解析から始まったといわれる情報理論は、通信、計算機、メディア、経済など広い応用分野があります。コンパクトディスクに傷をつけても音に変化がないのも情報理論の成果の一つです。

2. 確率過程のモデル

文章や音符などは、一定の法則で構成されますが、それを表すのにマルコフモデルを使い、情報の流れを解析します。そこで見つけた遷移確率は逆に文章の自動作文や音楽の自動作曲に利用できるはずですが、はたしてどうでしょうか？モーツァルト風自動作曲はできますか？

3. 平均情報量(エントロピー)

めったに起こらないメッセージが伝わると大きな情報量になります。砂漠の国の雨のようなものです。しかし、殆ど晴れなので、平均情報量(エントロピー)は低いのです。日本では雨がよく降るので、雨の情報量は少ないのですが、晴れも、曇りもよくありますので、平均情報量(エントロピー)は砂漠の国よりも多いのです。エントロピーはこの場合天気予測のしにくさをあらわすことになります。

マルコフ過程のエントロピー、誤りのある場合のエントロピーなども紹介されます。

4. 通信路

情報源は複数のメッセージ(晴れ、曇り、雨など)とその確率で表し、通信路はそれらのメッセージの時間長で表します。短い時間長は高速な伝送を可能にします。この通信路でどれだけの最大の通信速度がでるかが通信路容量Cです。

5. シャノンの符号化定理：第一符号化定理(情報源符号化)と第二符号化定理(通信路符号化)

情報源から通信路に1, 0の符号で送りだすには種々の問題があります。まず、10進数字やアルファベット、音声、画像などの情報源は、固有の性格があり、そのままでは、必ずしも1, 0の2進数と整合がよいものではありません。整合をうまく取り損失を少なくしようというのが、情報源符号化です。また、1, 0は通信路で誤ります。これを検出したり、訂正するのが、通信路符号化の役目です。

情報源符号化としてシャノンの符号化、通信路符号化としてパリティ検査符号や、その拡張のブロック符号を紹介します。

6. 連続の情報源の情報量

どんな分布をもつ連続な情報源がエントロピー最大になるのでしょうか?これを追求していくと、雑音をもつ連続通信路の通信路容量を求める問題になります。雑音にもっとも強い情報源はガウス分布をもちますが、この関係から最大の通信速度、すなわち通信路容量と信号対雑音電力比(SN)の関係が示されます。SN比が大きいほど通信路容量は大きいのです。よく澄み切った(SN比が高い)空間では遠くの山の細部まで見える(通信路容量が大きい)のです。

7. 標本化定理

連続の情報源をデジタル化するには、サンプリング(標本化)が必要です。ではどれだけ細かく標本化するのでしょうか?細かすぎると冗長ですし、粗いと、元のアナログ波形に戻りません。連続波形の最高周波数の2倍のサンプリングが答えですが、それを証明します。

標本化定理と、6の通信路容量を利用すると、通信路容量は周波数帯域とSN比によって決まるのです。周波数帯域を広くすれば、通信路容量を大きくできるでしょう。たとえば光ファイバーの周波数帯域はすごく広いので、通信路容量は大きいのです。

【教科書】

藤田広一著 『基礎情報理論』 昭晃堂

振動と波動

2単位 春学期

下村 晋

【授業科目の内容】

振動と波動は、力学以外にも様々な物理系においてあらわれる現象である。本講義では、振動・波動現象を共通する性質としてとらえ、その考え方を理解することを目的とする。また、フーリエ級数、フーリエ変換について学び、その応用にもふれる。

【教科書】

特に指定しません(参考書の欄を参照してください)。

【参考書】

講義中にも紹介しますが、以下にいくつか参考書をあげます。

「振動と波」 長岡洋介 裳華房

「振動・波動」 小形正男 裳華房テキストシリーズ
フーリエ級数・変換については、物理数学の教科書を含め数多く出ていますので、自分にあった参考書で良いと思います。例えば、「フーリエ解析」 大石進一 岩波書店

振動波動論

2単位 秋学期

大橋 良子

【授業科目の内容】

私達の身の回りには機械の振動、水の波、音、光(電磁波)など色々な種類の振動波動現象が見られます。これらはそれぞれ異なった原因で起こる現象ですが、そこには物質の一部や電場、磁場など対象が時間的、空間的に周期的な変化をするという共通の性質があります。振動波動論では、この共通する性質を統一的に把握する方法を身につけ、現象を横断的に理解するための数学的手法に慣れることを目的としています。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

同じようなタイトルの参考書は、数多く出版されています。適宜選んで下さい。

数学解析第1(機械、応化、物理、化学)

2単位 春学期

石川 史郎

【授業科目の内容】

数学A1、B1及び数学A3、B3にひきつづき解析学の基礎を学ぶ。

数学A1、B1を履修したクラスでは解析の基本的な概念を学ぶ。予定している主な内容は、数列の収束性と極限、関数の連続性及びその基本的性質、関数列の収束性と極限、級数、ベキ級数等である。

数学A3、B3を履修したクラスでは陰関数定理と積分論を主に学ぶ。予定している内容は、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、変数変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等である。

演習はレポート提出の形で行なう。

数学解析第1(管理、数理)

2単位 春学期

井口 達雄

【授業科目の内容】

数学A3、B3に引き続き、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、積分変数の変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等を学ぶ。

【教科書】

なし

〔参考書〕

特に指定はしない。

数学解析第2 (機械、物理) 2単位 秋学期
下村 俊

〔授業科目の内容〕

微分方程式(常微分方程式)についての基礎的な内容を講義する。微分方程式はいろいろな力学的現象や電気的現象などの数学的な記述として現れ、応用上も重要であり、もちろん数学の様々な分野でも基礎的な概念となる。

この講義の主な内容は次の通りである。なお、履修者は「線形代数」、「数学解析第1」を既に履修していることが望ましい。

1. 微分方程式の基礎概念(定義、解、解の延長など)
2. 解の存在と一意性
3. 線形常微分方程式(独立解、一般解、解空間の構造)
4. 定数係数同次線形常微分方程式の解法
5. 定数係数非同次線形常微分方程式の解法(定数変化法)
6. 線形常微分方程式の級数解

〔教科書〕

原岡喜重著「微分方程式」(数学書房)

数学解析第2 (数理) 2単位 秋学期
石川 史郎

〔授業科目の内容〕

微分方程式(常微分方程式)についての基礎的な内容を講義する。微分方程式はいろいろな力学的現象や電気的現象などの数学的な記述として現れ、応用上も重要であり、もちろん数学の様々な分野でも基礎的な概念となる。

この講義の主な内容は次の通りである。なお、履修者は「線形代数」、「数学解析第1」を既に履修していることが望ましい。

1. 微分方程式の基礎概念(定義、解、解の延長など)
2. 解の存在と一意性
3. 線形常微分方程式(独立解、一般解、解空間の構造)
4. 定数係数同次線形常微分方程式の解法
5. 定数係数非同次線形常微分方程式の解法(定数変化法)
6. 線形常微分方程式の級数解

数理科学基礎第1 2単位 春学期
太田 克弘

〔授業科目の内容〕

1年生で学んだ数学の内容の復習を中心に、解析学、線形代数の基礎事項に関し演習を中心にして学ぶ。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

数学A3、B3、A4、B4の教科書

数理科学基礎第2
「数理科学の論理基礎」 2単位 秋学期
田村 明久

〔授業科目の内容〕

数理科学の基礎となる下記の内容について、演習を中心に学びます。

- (1) 命題・論理
- (2) 集合・順序・同値
- (3) 位相構造
- (4) 代数構造

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

特に指定せず。

数理計画法
「Mathematical Programming」 2単位 秋学期
佐野 昭

〔授業科目の内容〕

与えられた目的関数の最小値または最大値を求めるために必要となる数理的最適化の手法の基礎を身につけ、さらにそれを応用できる能力を修得することが目的である。講義内容は、最適化問題を取り扱うために必要な基礎的な数学、線形計画法の原理とその応用、拘束条件のない非線形計画法およびその繰り返し計算法、拘束条件のある非線形最適化問題へのアプローチ、さらに時間を含む工学システムや物理システムに関連した多くの最適化問題を、変分法やダイナミックプログラミングからアプローチする。また最近の話題にも触れる。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

各内容の理解のための参考書をそのつど紹介する。

図形情報処理 2単位 春学期
森田 寿郎 他

〔授業科目の内容〕

設計を行う際に必要となる図形情報の表現・伝達に関して、講義および演習を行う。具体的には、まず、CAD/CAM/CAEの製品開発における位置づけ、ならびにその現状と動向に関して、基礎知識の解説を交えて講義する。つぎに、図形情報の表現・伝達に関する基本スキルの修得を図るべく、CADおよび簡単なCGの演習を行う。さらに、その基本スキル習得のために不可欠な立体的表現能力の養成に関しても、スケッチや概案図などの演習を通じて試みる。

〔教科書〕

CADの利用法に関してはマニュアルを配布する。

【参考書】

とくに指定しない。

生化学

「生命現象を分子のレベルで理解する」 2単位 春学期
松本 緑

【授業科目の内容】

複雑な生命現象を分子レベルで理解するために必要な基礎を習得する。生命活動の基本である細胞を作っている分子とそこで働いている分子の構造と機能およびそれらの代謝過程を理解する。

【教科書】

分子細胞生物学 第5版 東京化学同人

【参考書】

『細胞の分子生物学 第4版』 トッパン

生体計測論

「電気・電子回路を用いた生体計測方法の理解」
2単位 秋学期
水谷 賢史

【授業科目の内容】

本講義では生命現象を解析する計測方法のうち、特に電気回路を利用した計測方法を理解するための基礎的な知識について講義する。まず電気回路を構成する基本的な受動素子(RCL)について理解を深め、回路網を記述する方法と電気回路の諸定理について説明する。また生命現象との関係として、生体膜等価回路としての電気回路についても述べる。次に能動素子の例としてトランジスタとオペアンプに着目し、加算減算、微分・積分回路を取り扱う。また生体信号の取得はノイズとの戦いでもあるので、フィルタ回路についても詳述する。本講義を履修することにより、基礎生命情報実験で扱う電子回路の動作についての理解が深まるものと考えている。

【教科書】

毎回プリントを配布する。

【参考書】

相田貞蔵・田中卓史・中川貴・松原和宣共著 基礎電子回路 培風館

平川光則 これでわかったOPアンプ回路 オーム社

最上善広 よくわかる生物基礎物理学 - 生命科学のよりよい理解のために - サイエンス社

生体反応論第1

「有機化学、反応機構」 2単位 秋学期
宮本 憲二

【授業科目の内容】

有機化合物の反応がどのように進行するかを予測すること、反応の結果をきちんと解釈し理論的な説明を付けることは非常に重要である。新しい化学反応を見出すという有機化学的な意味だけではなく、生体内の様々な合成反応、代謝反応も有機化学の反応理論によって説明

できる。したがって生命機能、生命システムを理解する上で必須の素養である。有機化合物の反応はおよそ以下の要素に支配されていることを様々な場面で応用できるよう理解を深めていきたい。

- (1) 電子の片寄りの度合い
- (2) 立体化学的高高さ
- (3) 立体化学的な形
- (4) HOMOおよびLUMOのエネルギーレベル、ローブの大きさと方向

この講義を理解した後に生体反応をその観点から見たとき、それがいかに巧みにデザインされているか実感できるようにすることを到達目標としたい。

【教科書】

特に指定しない

【参考書】

右田俊彦、永井洋一郎「有機反応機構」、裳華房

生体物質の化学

2単位 秋学期
梅澤 一夫

【授業科目の内容】

生化学の基礎と最近のトピック

以前の生物学が主に事実の集積であったのに比べ、現代の生物学は、有機化学、物理化学で多くの部分が説明される、系統的に整理された科学になった。本講では生体分子の構造と機能を中心に、生物学の骨子を解説する。生命科学における最近のトピックも合わせて紹介する。

1. 蛋白質の構造と機能
2. 酸素の構造と作用機構
3. 脂質の構造と機能
4. 糖質の構造と機能
5. 生体エネルギーの生成
6. 核酸の生化学

生体分子構造論

「生命を支える有機化合物の構造化学」 2単位 秋学期
佐藤 智典

【授業科目の内容】

生命現象を支える有機化合物分子の構造と構造に密接に関わる化学的性質について概説する。

【教科書】

マクマリー「生物有機化学」 生化学編 丸善株式会社

生物量子化学

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動、生物量子化学基礎」 2単位 秋学期
藪下 聡

【授業科目の内容】

現在、量子化学を代表とする分子科学における理論的手法は非常に高度に発展し、そのターゲットはより複雑な化学現象に向かっている。生命現象に関わりをもつ分

子の構造や機能を解明する手段としても、近い将来大いに威力を発揮するものと予想出来る。この授業では、化学的な視点から量子論の基本的な考え方を論じ、分子中の電子の運動(分布)および分子の振動回転運動を概説し、化学現象との関わりを述べる。取り扱う内容は、

- (1) 古典力学の復習。ハミルトンの運動方程式。
- (2) シュレディンガーの波動方程式と、簡単な系への応用。不確定性原理。波動関数の直交性、対称性など。
- (3) 軌道角運動量、水素原子、および多電子原子。
- (4) 二原子分子の電子状態。LCAO 近似。
- (5) 多原子分子とヒュッケル分子軌道法。
HOMO-LUMO 相互作用と反応性。
- (6) 分子の振動回転運動と分子分光法入門。
- (7) 生物量子化学。分子軌道法の応用。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト <http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html> よりダウンロードできます。
パスワードなどは最初の授業時にお知らせします。

【参考書】

田中政志、佐野充 『原子・分子の現代化学』 学術図書

茅幸二編著 『物理化学演習』 裳華房

朽津耕三・濱田嘉昭 『量子化学』 放送大学教育振興会

小林常利 『基礎化学結合論』 培風館

藤永茂 『入門分子軌道法』 講談社サイエンティフィック

平尾公彦・加藤重樹 『化学の基礎』 講談社サイエンティフィック

生命科学のための確率論

「生命科学の鍵となる確率論」 2単位 秋学期
柴田 里程

【授業科目の内容】

生命科学で必要となる確率論を、それがどのように役立っているかという視点で、基礎から講義します。駆使できるようになることが目標です。必要に応じて演習やレポートを課します。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布するとともに、Webで入手できるようにします。

【参考書】

講義中に随時紹介します。

生命系の数学

2単位 秋学期
岡 浩太郎 富田 豊

【授業科目の内容】

生命現象を記述するのに必要な数学、すなわち線形代数および微分方程式を学ぶ。主要な項目は、

1. 線形システムの数学(線形システムとは何か、行列、1次独立と1次従属、逆行列、基底と基底変換、フーリエ級数展開と正規直交系、固有値、部分ベクトル空間、行列の対角化とその応用、Jordan標準形、連立方程式の解法)
2. 連続システムの数学(常微分方程式、定常解と周期解、解の安定性、偏微分方程式、熱伝導・拡散・波動・膜振動の方程式)
毎週演習(宿題)できるよう、プリントを配布する。

【教科書】

伊理他、『応用システム数学』 共立出版社

生命系の有機化学

「分子レベルの生命科学」を指向した有機化合物の合成と反応入門」 2単位 春学期
太田 博道

【授業科目の内容】

1年生の化学B、Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだ。これを基礎に、重要な官能基について個々に合成法、反応性を解説する。

遺伝子の情報とは要するにどのようなタンパク質を創り出すかという情報である。そのタンパク質は、酵素として生体内で様々な有機化合物の反応を促進したり、レセプターとして機能して必要な情報の伝達を担っている。したがって生命機能を語る時、有機化学の基本的知識は本質的に重要であり、これ無しに生命の機能を理解することは難しい。生命体の中で起こる化学反応の理解に最低限必要なことをていねいに論述する。また、生命機能を理解したり、物質変換に応用するときには有機化学との相互作用が必要になることが多い。有機化学分野との会話を可能にする最小限の「知識と言葉」は身につける必要がある。そこへ到達することを目標としたい。

各化合物間の相互関係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さも忘れないようにしたい。

【教科書】

太田博道、西山繁著「ビギナーのための有機合成反応」 三共出版

【参考書】

太田博道「基本有機化学」三共出版(特に学門5出身者に)

生命物理化学第1

「熱力学から酵素反応速度論まで」 2単位 春学期
岡 浩太郎

【授業科目の内容】

生命を分子レベルから理解し、また定量的な議論を行うためには物理化学的な知識は必須である。本講義では「生命系研究に役立つ物理化学」の観点から、熱力学の法則、化学平衡、電気化学、反応速度論についての定量的な議論の方法について、演習を含めて詳述する。

【教科書】

Physical Chemistry for the Life Sciences
Peter Atkins, Julio de Paula, Oxford University
Press (2006)

(生命物理化学第1と第2では同じテキストを使います)

【参考書】

講義中に随時紹介する。

生命物理化学第2

「ミクロをマクロを結ぶ物理化学的なアプローチ」

2単位 春学期

岡 浩太郎

【授業科目の内容】

生命を分子レベルから理解し、また定量的な議論を行うためには物理化学的な知識は必須である。本講義では「生命系研究に役立つ物理化学」の観点から、統計力学と量子力学の初歩を、演習も行いながら解説する。

【教科書】

Physical Chemistry for the Life Sciences
Peter Atkins, Julio de Paula, Oxford University
Press (2006)

(生命物理化学第1と第2は同じテキストを用います)

【参考書】

講義中に随時紹介します。

線形代数(機械、物理、SD)

「対称行列の対角化問題」

2単位 春学期

栗原 将人

【授業科目の内容】

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

1. ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。
2. 内積と直交行列の性質を調べる。
3. 線形空間の基本的性質について。
4. 行列の固有値・固有ベクトル。
5. 対称行列の対角化。
6. 2次形式の標準形と応用問題。
7. ジョルダン標準形。

【教科書】

碓野 敏博、加藤 芳文著「理工系の基礎線形代数学」
学術図書出版社

【参考書】

- 斉藤正彦著 『線型代数入門』 東京大学出版会
 斉藤正彦著 『線型代数演習』 東京大学出版会
 佐竹一郎著 『行列と行列式』 裳華房

線形代数(応化、化学)

「対称行列の対角化問題」

2単位 春学期

前田 吉昭

【授業科目の内容】

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

1. ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。
2. 内積と直交行列の性質を調べる。
3. 線形空間の基本的性質について。
4. 行列の固有値・固有ベクトル。
5. 対称行列の対角化。
6. 2次形式の標準形と応用問題。
7. ジョルダン標準形。

【学生への要望】

目的の項で述べた様にこの科目は君達がどの学科に進んでも必ず大事となるものです。私達も理解を深めてもらう様工夫しますが、講義を聞く君達もぜひ努力して下さい。特に、計算がしっかり出来る様要望します。講義の中で演習も出来るだけ多く取り入れますが、講義90分についてそれと同等の予習復習をしてください。単位は上記の目的に到着した者に対して与えるつもりです。なお学期内に一度中間試験を行う予定です。

【教科書】

中岡稔・服部昌夫著 『線型代数入門』 紀伊国屋書店

【参考書】

- 斉藤正彦著 『線型代数入門』 東京大学出版会
 斉藤正彦著 『線型代数演習』 東京大学出版会
 佐竹一郎著 『行列と行列式』 裳華房

線形代数(管理、数理)

「線形空間の理論と行列の標準化(対角化とジョルダン標準形)」

2単位 春学期

小田 芳彰

【授業科目の内容】

線形空間の基礎的な概念と計算をマスターすることを目標とします。具体的には、線形代数が単にベクトルと行列の話にとどまらずに幅広い応用があることを理解することと、対称行列の対角化やジョルダン標準形の計算ができるようになることが目標となります。

【教科書】

講義内で指示します。

ソフトウェア工学 2単位 秋学期
飯島 正

〔授業科目の内容〕

オブジェクト指向の概念と、オブジェクト指向プログラミングの基礎の習得を目的とします。授業中に、PCをつかったJavaプログラミングの実習も行います。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

授業中に紹介します。

代数学基礎同演習 3単位 秋学期
「群の理論への入門」 栗原 将人 田中 孝明

〔授業科目の内容〕

群論の初歩から講義する。群の理論は、現代数学の基本的手法のひとつであり、代数学のみならず、幾何学、解析学さらには数学以外の他分野（化学、社会学、…）にも現れる重要なものである。ある種の対称性やパターンなどは、群を使ってよりよく理解できる。また、方程式の解の間の置換は群の考え方をを使うことによって、見通しよく理解できるようになった。群論は、抽象数学への入門としても、とてもよいトピックである。

講義では、次のような概念を説明する。

群の定義、部分群、正規部分群、剰余群、巡回群、直積、アーベル群、準同型定理、群の集合への作用、位数の小さな群の構造の決定、半直積、Sylow の定理、アーベル群の基本定理

〔参考書〕

永尾汎 『代数学』 朝倉書店

石田信 『代数学入門』 実教出版

原田耕一郎 『群の発見』（数学、この大きな流れ）岩波書店

ダイナミカルシステム（機械） 2単位 秋学期
「ダイナミカルシステムのモデリングと制御」 江上 正

〔授業科目の内容〕

現在の状態が過去の入力に依存して変化するシステムがダイナミカルシステム（動的システム）であり、メカニカルシステムの多くはダイナミカルシステムです。ダイナミカルシステムを制御するためには、まずこのダイナミカルシステムを数式を用いてモデル化し、そのモデルを解析して、特性を調べる必要があります。

本講義ではこのダイナミカルシステムのモデル化の方法や、その特性について述べます。さらにこの特性を望みのものに変えるフィードバック制御系の基礎について論じます。

〔教科書〕

土谷武士・江上正 『新版現代制御工学』（産業図書、第5刷、3700円）

〔参考書〕

土谷武士・江上正 『基礎システム制御工学』 森北出版

溝田喬・中溝高好 『自動制御の講義と演習』 日新出版

ダイナミカルシステム（SD）

「Dynamical Systems」 2単位 秋学期
佐野 昭

〔授業科目の内容〕

工学システムを構成する力学系、電気系、熱系、化学系などのアナロジー（相似性）を通して線形システムのダイナミクスの表現とその性質や構造の共通点や相違点など関連性を理解し、ダイナミクスを表現し解析する方法として、ラプラス変換、システムの入出力表現、微分方程式や状態変数表現、安定性の解析、状態空間の構造などの基礎知識を修得することを目標とする。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

関連する参考書については授業で紹介する。

通信システム 2単位 秋学期
重野 寛

〔授業科目の内容〕

通信ネットワークの基礎的な概念や技術とともに、電話網、ISDN、ATMネットワーク、移動体通信網などの構成や仕組みについて学びます。

〔教科書〕

松下温著 『図解 通信ネットワークの基礎』 昭晃堂

講義資料はwebサイトで提供します。

〔参考書〕

講義の中で適宜紹介します。

デジタル回路 2単位 秋学期
天野 英晴

〔授業科目の内容〕

現在のIT産業で不可欠なデジタル回路のデバイスレベル、回路レベルの設計技術を習得する。ブール代数等の論理回路の基礎は「計算機基礎」で、ハードウェア記述言語によるRTL（Register Transfer Level）設計は「計算機構成」でそれぞれ習得するため、この授業では、それらの技術により設計されたデジタル回路が動作するデバイスの特性、利用法に関してが中心となる。今後、情報工学科で行なうLSI設計関連の基礎科目である。具体的には、(1) CMOS回路の動作を判別でき、簡単なゲートのレイアウトを行なうことができる(2) 規格表を見て、動作レベル、消費電力を見積もることができる(3) 規格表から簡単な順序回路のSTA（Static Timing

Analysis) ができる(4)バス構成用の素子の記号と意味を判別する(5)SRAM回路を設計できる(6)FPGA、GPLDの分類を知り、簡単な回路の設計ができる。を目標とする。

【教科書】

天野『デジタル設計者のための電子回路』コロナ社

デザインリテラシー演習

2単位 春学期
青山藤詞郎 他

【授業科目の内容】

工業図面を正確に読みとりかつ作成できることは、物づくりの基本能力の一つである。この講義では、工業図面情報の理解とその記述を行うための基礎知識を教授する。すなわち、工業図面の機能と規格、投影法、公差、はめあい、部品の簡略図法などについて具体的な解説を行い、実際の機能部品を図面上に記述する能力を養う。また、演習においては、CAD(コンピュータ援用設計)システムを利用して、機能部品の設計を行い、部品の形状・寸法を、2次元図面情報あるいは3次元図面情報として記述するトレーニングを行う。

【教科書】

独自の資料を使用する。

デジタル・アナログ回路

「アナログ回路とデジタル回路の基礎」 2単位 秋学期
石黒 仁揮

【授業科目の内容】

本講義では、現代のエレクトロニクス社会を支える電子回路技術について、その概観を得ると同時に回路の基本動作原理を学ぶ。アナログ回路の基礎としてトランジスタを用いた増幅回路の小信号等価回路による解析方法を講義する。デジタル回路の基礎として組合せ回路、順序回路を取り扱う。また、アナログ信号とデジタル信号を変換するD/A変換、A/D変換について講義する。

【教科書】

電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3電子回路(高橋進一・岡田英史共著)培風館

デジタル基礎

「計算機を構成するデジタル回路の基礎」2単位 春学期
内山 孝憲

【授業科目の内容】

計算機の内部では、どのように数が扱われているのか、またそれらはどのように計算されているのかについて学びます。

【教科書】

なし

【参考書】

Digital Fundamentals, Floyd, Prentice Hall International

電気回路基礎(電子)

「電気回路理論と回路解析の基礎を学ぶ」2単位 春学期
津田 裕之

【授業科目の内容】

この科目では電気、電子、情報、通信などの諸分野に共通した基礎である電気回路についてその基本的な部分を中心に解説します。また、理解を深めるために演習を行います。回路解析に必要な微分方程式の解法についても理解できるようにします。

1. キルヒホッフの法則
2. 回路素子の性質
3. 基本回路の性質
4. ラプラス変換
5. 正弦波定常状態の解析
6. 回路方程式
7. 回路における諸定理

【教科書】

森真著作『電気回路基礎ノート』コロナ社(予定)

【参考書】

森真作、南谷晴之共著「電気回路演習ノート」(コロナ社)

森真著作『電気回路ノート』コロナ社

電気回路基礎(情報)

「電気回路の基本的性質」 2単位 春学期
南谷 晴之

【授業科目の内容】

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用して下さい。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方向的に聴くだけのものにならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

【教科書】

南谷晴之、松本佳宣共著『詳しく学ぶ 電気回路 - 基礎と演習 -』コロナ社

【参考書】

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』コロナ社

森真著作『電気回路ノート』コロナ社

電気回路同演習

「電気回路の基本的性質」

2単位 春学期
南谷 晴之**〔授業科目の内容〕**

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用して下さい。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方的に聴くだけのものにならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

〔教科書〕

南谷晴之、松本佳宣 共著『詳しく学ぶ 電気回路 - 基礎と演習 - 』コロナ社

〔参考書〕

森真作、南谷晴之 共著『電気回路演習ノート』コロナ社

電気回路理論
2単位 秋学期
池原 雅章**〔授業科目の内容〕**

春学期の電気回路基礎に続く科目であり、電気・電子系に必要とされる回路に関するより高度な内容について講義する。

1. 複雑な回路の初期値
2. 2端子対回路
3. 三相交流回路
4. 分布定数回路
5. 波形解析

〔教科書〕

高橋進一著 『定常回路解析』 オーム社

〔参考書〕

末崎輝雄、森真作、高橋進一著 『回路理論例題演習』コロナ社

電気電子工学セミナー

「エレクトロニクスの基礎と実際」

1単位 春学期
津田 裕之**〔授業科目の内容〕**

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうゆう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。

5名程度の班に分かれて複数の教員から直接指導を受ける。

電気電子工学セミナー

「エレクトロニクスの展望」

1単位 秋学期
津田 裕之**〔授業科目の内容〕**

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうゆう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。

5名程度の班に分かれて複数の教員から直接指導を受ける。

電気電子材料

「電気・電子材料」

2単位 秋学期
山下 久直**〔授業科目の内容〕**

電子デバイスには多くの種類が用いられています。これらの材料は最先端の科学技術を支える重要な基盤となるものです。この講義では、電子工学科の基盤分野の基礎として、材料の種類、特性、応用などについて、解りやすく概説します。

電子回路基礎（機械、応化、物理、化学）
「アナログ回路とデジタル回路の基礎」 2単位 秋学期
石黒 仁揮**〔授業科目の内容〕**

本講義では、現代のエレクトロニクス社会を支える電子回路技術について、その概観を得ると同時に回路の基本動作原理を学ぶ。アナログ回路の基礎としてトランジスタを用いた増幅回路の小信号等価回路による解析方法を講義する。デジタル回路の基礎として組合せ回路、順序回路を取り扱う。また、アナログ信号とデジタル信号を変換するD/A変換、A/D変換について講義する。

〔教科書〕電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3
電子回路（高橋進一・岡田英史共著）培風館

電子回路基礎 (情報)

2単位 春学期
齋藤 英雄

〔授業科目の内容〕

トランジスタ等の素子を含む回路の動作についての講義を行う。電気・電子回路における現象の解析法とともに、増幅回路、演算増幅器などについて学ぶ。また2年秋学期に開講される「デジタル回路」への導入とする。

〔参考書〕

竹村裕夫著 『電子回路の基礎』 コロナ社

電子回路同演習

「トランジスタと演算増幅器を用いた能動回路」

2単位 秋学期
宮下 照夫

〔授業科目の内容〕

増幅機能を持つ素子をふくんだ基本的な電子回路を取り上げて、能動回路の解析方法や実用回路の設計方法を易しく解説します。また、講義の中でしめされる演習問題を各自が解くことによって回路の動作を理解し、解析方法を身に付けるとともに応用力を養います。講義は、「電子回路基礎」の講義内容に含まれる受動回路の知識を踏まえて、トランジスタ素子や演算増幅器の回路要素としての特性を解説し、更にこれらを用いた実用的な能動回路網の特性解析や設計方法を、例題を用いて説明します。

〔教科書〕

プリントを配布します。

電磁エネルギー変換工学

「モータ、アクチュエータの原理と解析法」

2単位 秋学期
村上 俊之

〔授業科目の内容〕

物理現象の中には、圧電効果、Seebeck 効果などエネルギー変換に関する様々な現象が存在する。特に、電磁エネルギーから機械エネルギーへの変換は産業の発展に関わる重要な工学分野であり、現在の科学文明を支える分野といっても過言ではない。こうした観点から、電気・機械エネルギー変換の基本原則からはじめ電気・機械系システムの統一的解析手法までを概説し、電気・機械エネルギー変換システムの基本を知る。

〔教科書〕

村上 他著 『電磁気工学』 培風館 と配布プリント

〔参考書〕

宮入庄太 『大学講義最新電気機器学』 丸善
難波江章 『電気学会大学講座 基礎電気機器学』 電気学会

電磁気学

2単位 春学期
木下 岳司

〔授業科目の内容〕

物理B、Dで学んだ電気学を発展させて一般的な理論展開を理解することによってより問題解決力を向上させ、応用範囲を広げます。

1. 静電界

Gaussの法則、立体角、微分形のガウスの法則、球座標のdiv、電位、球座標のgrad、ポアソンの方程式、デルタ関数、電気双極子、電気二重層、鏡像法、誘電体、誘電体の境界条件、静電容量、帯電エネルギー、仮想変位の原理、起電力

2. 静磁界

ビオ・サバールの法則、ベクトルポテンシャル、円筒座標のrot、アンペールの法則、Stokesの定理、微分形のアンペールの法則、磁束、インダクタンス、磁気モーメント、磁界、磁位、磁気二重層、磁性体における境界条件

3. 電磁誘導と変位電流 ローレンツ力、電磁誘導の法則、磁界のエネルギー、変位電流

4. 電磁波 ゲージ変換、波動方程式、遅延ポテンシャル、ポインティングベクトル、電気双極子からの放射

〔参考書〕

電磁気学 砂川重信 岩波書店

電磁気学第1

「Maxwell方程式に立脚し真空・物質中の電磁場を解析する」

2単位 秋学期
宮島 英紀

〔授業科目の内容〕

電磁気学は1年生の物理学B・Dで、現象や分野別に勉強してきた。これらの電磁気学の諸現象は、物理学の中で最も美しい方程式、Maxwell方程式として集約される。物理学B・Dとは逆に電磁気学第1では、Maxwell方程式を出発点として、主として時間に依存しない静的な電磁気現象、回路素子の特性、および物質の電磁気的性質などについて解説する。なお、時間を陽に含んだ動的な電磁気学は、3年次に電磁気学第2で講義する。

〔教科書〕

毎回プリントを配布し、これをもとに講義を行う。

〔参考書〕

1年生のときの教科書「物理学B、D」
後藤憲一、山崎修一郎共編「詳解電磁気学演習」(共立出版)
両者とも生協の書籍部で入手できる。

電磁気学同演習

2単位 春学期
伊藤 公平 畑山 明聖

〔授業科目の内容〕

授業のターゲット/ゴール：

1) 真空中のマクスウェル方程式を書き下すことができる、2) 各方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解、3) 電磁気学の基本的問題を自分自身でモデル化し、解ける、4) そのための数学的な基礎力を身につける。

【教科書】

プリント配布

電磁気工学

「Electromagnetic Engineering」 2単位 春学期
内山 太郎 村上 俊之

【授業科目の内容】

現代の産業機器システムの動力メカニズムは力学と電磁気学にその基礎を置いているといっても過言ではない。本科目はそのうち電磁気現象について電磁気力、電磁エネルギーに重点を置き、さらに電磁波までを理解することを目的とする。電磁気学は、とかく物理現象の解釈に偏りがちであるが、ここではとくに工学的視野に立って、具体例をあげてわかりやすい身近な学問としてシステムの設計に役立つ電磁気学を身につける。

1. 電荷と力
2. 電界中のエネルギーと力
3. 電流と力
4. 磁界中のエネルギーと力
5. 電磁界

【教科書】

『電磁気工学』培風館

統計解析

「データ解析のための基礎としての統計的推測」 2単位 秋学期
篠崎 信雄

【授業科目の内容】

標本データを記述するための基礎的概念・道具としての平均や分散の議論から始め、分割表、散布図、相関係数といった2次元データの記述について、まず学びます。その上で、標本分布、推定・検定の統計的推測の議論に進みます。現実の問題に適用し情報を引き出すためには、統計学のものごとの見方・考え方を正しく理解することが必要であり、その修得に努めます。基本的な信頼区間や仮説検定などの手法を使いこなせるようになり、その意味を正しく理解できるようになることをめざします。

【教科書】

篠崎信雄著 『統計解析入門』サイエンス社

【参考書】

鷲尾泰俊著 『日常のなかの統計学』岩波書店
東京大学教養学部統計学教室編 『統計学入門』東京大学出版会

熱物理

「巨視的な現象の理解の基礎をかためよう。」

2単位 秋学期
藤谷 洋平

【授業科目の内容】

見通しよく一新された最近の熱力学理論の枠組みで解説する。旧来の多くの熱力学の教科書では、なにが仮定で、どういう前提条件でなにが結論されるのかが、全く不明確であった。本講義ではこの点が明確になる。

【参考書】

熱力学（培風館、田崎晴明著）

熱力学

2単位 秋学期
田島 圭介

【授業科目の内容】

以下に示す順序で講義を行う。

1. 熱力学の基礎概念
2. 熱と分子運動
3. 熱力学第一法則
4. 熱力学第二法則
5. エントロピー
6. 熱力学関数と平衡条件
7. 熱力学第3法則
8. 相転移と相平衡

また、演習時間も設ける。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

三宅哲：熱力学（裳華房） 同名の著者、本名、出版社の演習書もあるので注意。

演習書として、久保亮五編：大学演習 熱学・統計力学（裳華房）

熱力学の基礎

「熱力学の基礎となる熱力学第1法則と第2法則、状態量と状態式、実在気体と理想気体」 2単位 秋学期

植田 利久 小川 邦康
森 康彦

【授業科目の内容】

熱力学は機械工学の体系を支える重要な柱である。熱力学によって「熱を仕事に変換する熱効率」や「自然界で起こる変化の方向」を決めることができる。この講義では、熱力学の基本概念、熱力学の第1、第2法則とその応用を学ぶ。以下に講義の内容を示す。

第1章 概要

- 1.1 熱力学の意義
- 1.2 熱の授受と熱力学
- 1.3 熱力学の歴史的背景

第2章 基本概念と熱力学第0法則

- 2.1 系・物質・エネルギー

- 2.2 熱力学の微視的理解
 2.3 温度と熱平衡
 2.4 熱量と比熱
 2.5 状態量
 2.6 単位系
- 第3章 熱力学第1法則
- 3.1 熱と仕事（動力発生装置）
 3.2 閉じた系の熱力学第1法則
 3.3 熱力学的平衡と準静的過程
 熱力学的平衡、準静的過程、可逆過程と不可逆過程
 3.4 準静的過程における閉じた系の熱力学第1法則
 サイクルの正味の仕事、定積比熱と定圧比熱
 3.5 開いた系の熱力学第1法則
 定常流動系と質量保存、流動仕事とエンタルピー、定常流動系のエネルギー保存則、各種機械における定常流動系
 3.6 理想気体における熱力学の第1法則
 理想気体と内部エネルギー、比熱、準静的過程、混合
- 第4章 熱力学の第2法則
- 4.1 熱を仕事に変換する効率
 熱効率の限界、カルノーの考え
 4.2 熱機関のモデル化
 サイクル、可逆過程と不可逆過程、内部可逆過程
 4.3 カルノーサイクルの性質
 4.4 閉じた系の第2法則
 一つの熱源と作業するサイクル、二つの熱源と作用するサイクル、 n 個の熱源の場合
 4.5 エントロピー
 状態量としてのエントロピーの定義、閉じた系のエントロピーバランス、開いた系のエントロピーバランス、エントロピー生成
 4.6 エントロピーの利用
 エントロピー変化の式、理想気体、液体、固体のエントロピー変化、蒸気表でのエントロピー変化、エントロピー生成、線図
- 第5章 エネルギー有効利用とエクセルギー
- 5.1 エクセルギー解析の必要性
 5.2 仕事を発生する潜在能力
 5.3 自由エネルギー
- さらに、実在気体、蒸気の性質、エントロピー生成の具体例、サイクルなどの事例紹介を行う。
- 【教科書】
 JSMEテキストシリーズ「熱力学」丸善
- 【参考書】
 Yunus A. Cengel and Michael A. Boles, Thermodynamics - An engineering approach (4th edition) 2002, McGraw-Hill

熱流体システム第1

「モデリングと熱力学」

2単位 春学期

佐藤 春樹 長坂 雄次

【授業科目の内容】

熱および流体の関わる問題を、総合的に理解するための基礎的な科目である。従来の熱力学、流体力学を部分的に講義するのではなく、非平衡開放系からスタートし、熱流体システムにおける基礎方程式とモデル化の基本を教える。身近なテーマの演習問題やアニメーション等を利用して、本講義内容がデザインにどのように役立つかを強調する。熱流体システム第2とは内容が連続している。

【教科書】

学科で作成し配布するテキスト

【参考書】

JSMEテキストシリーズ、「熱力学」、(日本機械学会、2002年、1886円)

熱流体システム第2

「流れのメカニズムを理解するための基本」

2単位 秋学期

佐藤 洋平 谷下 一夫

【授業科目の内容】

システムデザインに即座に適用できる、流体力学及び流体工学に関して授業を行う。

【教科書】

システムデザイン工学科用意

バイオプログラミング第1

2単位 春学期

榊原 康文

【授業科目の内容】

C言語の学習と実践を通して、プログラミングの基本的な考え方と、技術を習得することを目標とする。C言語は、現在もっとも広く使われている実際的なプログラミング言語である。まずはじめに、プログラムの制御構造と基本的なデータ型、及び関数の使い方を学習する。次に、より実際的なプログラミング技術を習得することを目指し、関数の再起処理やポインタ、ファイル処理などを学習する。毎回、講義中にプログラミングの演習を行う。成績評価は、4回くらいを予定しているレポートと期末試験により行う。プログラミングの勉強は、とにかく自分でプログラムを作成して、何度も間違いを起こすことを通じて、プログラミング技法を覚えていくことが重要である。

【教科書】

石田晴久他著 『入門ANSI-C』 実教出版

【参考書】

カーニハン・リッチー著 石田訳 『プログラム言語C(第2版)』 共立出版

バイオプログラミング第2 2単位 秋学期
岡 浩太郎 榎原 康文
富田 豊

〔授業科目の内容〕

バイオプログラミング第1でのC言語習得を踏まえて、第2ではより実際的な問題の解法のために必要となるプログラミング手法とアルゴリズムについて学ぶ。プログラミング言語の文法を学んだだけでは問題の解を計算するためのプログラムを書くことは出来ない。効率的なプログラムを書くためには、アルゴリズムと呼ばれる基本的ないくつかのプログラム手法を習得して、それらを組み合わせることにより目的の問題のためのプログラムを作成できる。本講義では、微分方程式や線形代数を扱うための数値計算アルゴリズムと、木やグラフ構造などの離散データを扱うアルゴリズムを中心に勉強する。

毎回、講義中にプログラミングの演習を行なう。

〔教科書〕

なし

〔参考書〕

なし

反応有機化学

「有機化学反応をいかに理解し合成化学に利用するか」

2単位 秋学期
山田 徹

〔授業科目の内容〕

複雑で膨大な数の有機化学反応を反応形式で分類し、電子密度の片寄り、立体規制などの基本原理にもとづく理解を目指す。有機反応の基礎・酸と塩素・求核置換反応・脱離反応・求核付加反応・求核付加-脱離反応・求電子付加反応・芳香族求電子置換反応・芳香族求核置換反応、これらの機構を「曲がった矢印」で電子の流れを記述できることを学び、反応を原理から理解する。

〔参考書〕

参考書：ボルハルト・ショアー、古賀・野依・村橋監訳『現代有機化学』化学同人 ストライトウィーザー、湯川泰秀監訳『有機化学解説』廣川書店 畑一夫著『有機化合物の命名 - 解説と演習 - 』培風館、ISBN4-563-04222-6

演習書：吉原・神川・上方・藤原・鍋島共著『有機化学演習』三共出版

光デバイス工学

2単位 秋学期
高橋 信一

〔授業科目の内容〕

光ディスク、レーザープリンタ、デジタルカメラといった製品や光通信には種々の光デバイスが高度情報化(IT)社会を維持していくのに不可欠なものとして多数使われている。

この講義ではそうした光デバイスの動作原理を固体中

の光の吸収と放出の基本から理解して、光デバイスをよりよく利用出来るようにする。前半では光の持つ性質と固体中の電子のエネルギー構造を理解して吸収・発光の理論及びそれらと密接に関連する光学定数について学ぶ。後半では光デバイスの例として光伝導素子、太陽電池、フォトダイオード、アバランシェフォトダイオード、CCD、発光ダイオード、半導体レーザを取り上げ、その動作原理や応用について述べる。

最後に人工超格子や低次元の量子井戸などの量子サイズ効果を利用した各種光デバイスを紹介する。

〔教科書〕

板書しながら講義を進めます。OHP(パワーポイント)の図表等はプリントで配布します。

〔参考書〕

「オプトエレクトロニックデバイス」青木昌治編著(昭華堂)

「光エレクトロニクスデバイス」針生 尚著(培風館)

「半導体レーザー工学の基礎」沼居貴陽著(丸善)

その他個々のデバイスについて適宜講義の中で紹介します。

ヒューマン・ファクターズ

「人間の諸特性に関する管理工学的基礎」2単位 秋学期
岡田 有策

〔授業科目の内容〕

作業者と機械・製品だけでなく、作業者をとりまくシステム、組織・社会までを対象とし、そこにおける人間に関わる諸要因を総合的に評価する学問であるヒューマンファクターズの基本概念とアプローチの仕方について概説する。

〔教科書〕

ヒューマンファクターズ概論

岡田 有策 著

慶應義塾大学出版会 ISBN 4-7664-1173-0

複素解析(機械、応化)

「複素関数が舞う世界」

2単位 春学期
宮崎 琢也

〔授業科目の内容〕

これまでの微分積分学では実数を変数とする関数をあつかってきました。しかしたとえばよく勉強してきた多項式関数、三角関数などでも実は複素変数の世界で考えることができ、さらにそうやって広い視野に立ってみると、ずっと優雅で統制のとれた風景が開けてきます。こういう豊かな舞台のうえで複素変数関数をのびのびと解析してみましょう。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

神保道夫 「複素関数入門」 岩波書店

R.V.チャーチル、J.W.ブラウン 「複素関数論入門」サイエンティスト社

複素解析(電子、化学、物理)

「複素関数の微分積分」

2単位 春学期

本田 郁二

【授業科目の内容】

複素関数の微分積分計算が行えるようになることを当面の目標とします。

そのために原則として毎回講義の後に演習を行います。

【教科書】

用いません。補充プリントを配布します。

【参考書】

補充プリント内で提示します。

物質の精製分析

「相平衡の物理化学」

2単位 秋学期

山元 公寿

【授業科目の内容】

物質の機能や物性を正確にしかも効率よく引き出し利用するために、分離・精製して高純度の物質を得ることは極めて大切である。物質の分離・精製の過程は相平衡を基盤にしているものが多く、これを中心に物理化学の立場から平易に解説する。次の項目について演習も含めて講義する。

- 1) 相平衡
- 2) 分配平衡(溶媒抽出)
- 3) 沈殿平衡(沈殿、再結晶)
- 4) クロマトグラフィー
- 5) 蒸留による分離(気液平衡)
- 6) 結晶化による分離(固液平衡)
- 7) 膜分離

【教科書】

なし

【参考書】

プリント配布

物理化学1

「変化の方向と速度」

2単位 秋学期

木村 敏夫

【授業科目の内容】

「物質の性質」は、原子やイオンの配置などの「物質の構造」により決まります。そこで、所望の性質を持つ物質(製品)を合成するには、まず製品の構造を設計し、次に、その製品を合成する原料を選択し、反応経路を設計します。この講義は、主に反応経路の設計に関係し、原料から製品ができる反応(変化)が進行するか? 変化が生じるとすれば、どの程度の速さで進行するか? といった問題を取り扱います。これらのことは、変化の速度 = 駆動力 × 移動度という関係で表されます。この講義の目標は、駆動力と移動度を定める原理を理解することです。この講義を受講した結果、物理変化や化学反応の

速度についての洞察力が養われ、所望の性質を持つ物質を合成する方法を設計する基礎が身につきます。

【教科書】

アトキンス物理化学(上)(下)第6版(東京化学同人、2001年)

講義資料(プリント)を配布します。

【参考書】

多くの「物理化学」という名前の教科書が出版されていますが、教科書を含め、どれか一冊を読むと良いでしょう。

物理化学演習

「物理化学1」の演習」

1単位 秋学期

片山 靖 木村 敏夫

藤原 忍

【授業科目の内容】

専門基礎科目の「物理化学1」の理解を深めるために、講義内容についての演習を行う。

【教科書】

アトキンス物理化学(上)(下)第6版(東京化学同人、2001年)

演習問題のプリントを配布します。

物理化学基礎

2単位 春学期

朝倉 浩一

【授業科目の内容】

有機、無機に関わらず、化学の基礎として必須の学問である熱力学の初歩を学ぶ。

1. 気体の圧力、温度、体積は、それぞれどのような関係になっているのか?
2. 系に熱を流すと、どのように温度が変化し、またどのように仕事をするのか?
3. 化学反応が進行すると、どのように発熱や吸熱がおこるのか?
4. 熱は高温領域から低温領域へ、物質は高濃度領域から低濃度領域へと流れるのはなぜか? また、その流れはどのような速度で起こるのか?
5. 化学反応が進行する方向は、どのようにして決まるのか?
6. 1つの相を形成する個々の分子の挙動と相全体の挙動とは、どのような関係になっているのか?

といった物質の挙動に関する法則を理解し、化学の基盤となる知識を習得する。

【教科書】

Atkins著、千原・中村訳、「物理化学」、東京化学同人(2001)

物理学演習第1

1単位 秋学期

江藤 幹雄

【授業科目の内容】

「量子力学第1」の演習をおこなう。したがって本科目

の受講者は上記の講義を受講しているものと仮定して授業をおこなう。量子力学の具体的な問題や、その解法に必要な数学の問題を解くことで、講義の理解を深めることを目的とする。

物理学演習第2 1単位 秋学期
江藤 幹雄 光武亜代理

〔授業科目の内容〕

「電磁気学第1」の講義、物理数学（複素解析、フーリエ変換、ラプラス変換、特殊関数など）に関する演習を行う。従って、本科目の受講者は「電磁気学第1」、「複素解析」の講義を受講しているものと仮定して、授業を行う。また、「振動波動論」、「応用数学」、「応用解析第1」を受講していることが望ましい。

〔参考書〕

電磁気学（学部生の時に、下記の参考書または自分が気に入った本を読むことを望みます。）

後藤憲一、山崎修一郎著 「詳細電磁気学演習」（共立出版）

砂川重信著 「理論電磁気学」（紀伊国屋書店）

後藤尚久 「なっとくする電磁気学」（講談社）

砂川重信著 物理テキストシリーズ 「電磁気学」（岩波書店）

砂川重信著 物理テキストシリーズ 「電磁気学演習」（岩波書店）

ファインマン著ファインマン物理学 「電磁気学」（岩波書店）

ランダウ＝リフシッツ 「電磁気学」（東京図書株式会社）

ジャクソン著 「ジャクソン 電磁気学（上）」（吉岡書店）

物理数学（下記の参考書から問題を出す場合が多い）

弥永守著 「理工学部のための応用数学」、「」（朝倉書店）

後藤健一、山本郁夫、神吉健著 「詳細 応用物理数学演習」（共立出版）

神部勉、有馬朗人 「物理のための数学入門 複素関数論」（共立出版）

物理情報数学 A 2単位 春学期
足立 修一 大橋 良子

〔授業科目の内容〕

様々な物理現象の理解とその工学への応用に際して重要となる複素解析およびフーリエ解析の基礎を学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

第1部、第2部ともに同様のタイトルの参考書が多数出版されています。適宜選んで下さい。

第1部 については例えば 「複素関数入門（原書第4版） R.V.チャーチル/J.W.ブラウン著、中野實訳、サイ

エンティスト社」が詳細な内容で練習問題も豊富です。

物理情報数学B

「数理から物理まで横断的に「線形性」を学ぶ」

2単位 春学期
相吉英太郎 齊藤 英治

〔授業科目の内容〕

大学での「線形代数」という科目で初めて「線形」という用語に接しますが、小学校で習う「1次関数」から、高校で習う「ベクトルや行列」や「微分・積分」まで、そして高校の物理で習う「運動方程式」から「電気回路」に至るまで、これらすべてに「線形」という共通した性質があります。つまり、これまで習得してきた数学や物理の多くの事柄が、場合によっては経済現象や社会現象までも「線形現象」として、統一的に把握できます。そして、これらの性質が工学的に利用され、様々な技術を生み出してきました。この科目では、小学生以来大学1年生までに習得したことを、「線形」という概念の「横系を通す」ことによって、統一的に把握してその知識を工学の分野に応用できるようにし、1冊の教科書には書けない、きわめて横断的な数理的知識を学習します。

〔教科書〕

数回に1回の割合で、パワーポイントの内容を縮刷したプリントを配布します。欠席した人には、原則として渡しません。この授業およびプリントの内容は非公開としますので、プリントのコピー・転用・他人への譲渡を厳禁とします。

〔参考書〕

授業全体の参考になるような1冊を紹介することは不可能ですので、授業中に適宜紹介します。

プログラミング演習

「システムデザインのためのプログラミング技法」

2単位 秋学期
高橋 正樹 中澤 和夫
西 宏章 藤井 飛光
矢向 高弘

〔授業科目の内容〕

物理システムを対象として、高性能な計測制御システムを総合的に構築するには、実際の物理モデルと整合性のあるプログラムの作成法を習得し、情報の処理・変換・伝送などをマイクロコンピュータに実行させる必要がある。本講義では、単にソフトウェアを使用した情報の取り扱い手法を習得することよりも、物理システムとマイクロコンピュータ間の情報のやりとりを通して最適なシステムをデザインすることを目的としたプログラミングの方法論の習得に重点が置かれている。具体的には、計測制御用コンピュータを理解する上で基礎となる計算機の基本構成、入出力インターフェイスの基礎を理解し、C言語を用いたプログラミング実習により、計算機ユーザとして必要とされるシステム計測・制御と画像処理等の情報処理の基礎知識およびプログラミング技法を習

得する。

【教科書】

配布資料

プログラミング基礎同演習

「C言語によるプログラミング入門」 2単位 秋学期
田中 敏幸

【授業科目の内容】

C言語を用いて、コンピュータシミュレーションに必要なプログラミング技法の基礎を習得することを目的とする。各講義時間の後半に、その日に習ったC言語文法を用いたプログラミング実習を行い授業内容の理解を深める。また、実習は短時間でできる簡単な題材を扱うため、3週に一度程度の割合でプログラミングに時間のかかる課題を宿題とし、結果を提出してもらう。課題の作成によってそれまでに習ったC言語文法を体系的に理解し、いろいろな問題を解決できるようになる。授業の内容は次のようになっている。

【教科書】

田中敏幸著 『C言語によるプログラミングの基礎』
コロナ社

プログラミング言語

「コンピュータのプログラムを作ってみよう」
2単位 春学期
櫻井 彰人

【授業科目の内容】

自分でコンピュータのプログラムが書けるようになるためのプログラムの基礎を学ぶ。プログラミング言語はRuby言語またはJava言語を使用する。授業時間外にパソコンでプログラムを作成し、レポートとして提出する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

RubyもJavaも入門書がたくさん書かれています。自分の気に入ったものを選べばよい。また、WWW上にも多くあります。

プログラミング実習

2単位 春学期
古池 達彦 高野 宏

【授業科目の内容】

計算機の進歩（高速化、低価格化、ネットワーク化）にとともない、物理学において計算機を使う機会が非常に多くなってきている。数値計算、数式処理、実験データの処理、実験装置の制御、データの可視化等、従来の理論物理学、実験物理学の分野においても、計算機の利用は非常に重要である。さらに、これまで解析的理論や実験で扱うことのできなかった現象を、計算機を使うことによって初めて扱うことができるようになり、新しい物理学の分野として、計算物理学という分野も発展している。このような現状において、物理学における計算機利

用の基礎として、自ら計算機を用いて問題解決を行うためのプログラミングの基本を習得することが、この授業の目標である。

プログラミングについての解説の後、物理学の基本的問題を中心に関連する課題が与えられ、各自が具体的にプログラムを作成し計算を行うという形式で授業を行う。プログラミング言語はFORTRANを使用する。

【教科書】

特に指定しない。資料としてプリントを配布する。

【参考書】

富田博之著「FORTRAN 90 プログラミング」(培風館)

プログラミング第1同演習

「C言語の基礎」 2単位 春学期
大野 将樹 寺岡 文男
山本 喜一

【授業科目の内容】

プログラミングの初心者を対象とし、C言語の基礎およびプログラミングの基礎を学習する。授業ではLinuxオペレーティングシステムを使用し、コンピュータを操作しながら学習する。毎回演習を行い、レポートを提出する。

【教科書】

浦 昭二、原田賢一：C入門 電子計算機のプログラミング(11)(培風館)

【参考書】

なし。必要な情報は適宜Webにて公開。

プログラミング第3同演習

「C言語中級コース」 2単位 秋学期
斎藤 博昭

【授業科目の内容】

C言語を正確により深く理解するとともに、C言語を用いたプログラミング能力を磨く。

【教科書】

独自のものを販売します。

【参考書】

カーニハン&リッチー著(石田晴久訳)「プログラミング言語C」(共立出版)がお奨めです。他は、授業時に紹介します。

プログラム実習

「プログラミング言語Cとその応用」 2単位 春学期
岡田 英史 中野 誠彦

【授業科目の内容】

コンピュータを用いて問題を解決するためのアルゴリズムとそのプログラミング言語での記述について講義および実習を行う。プログラミング言語にはC言語を用いる。初回の講義は全体で行うが、実習は原則としてプログラミング言語の習熟度に応じたグループに分けて行う

ことにする。

【参考書】

プログラミング言語C

分子生物学第1

2単位 秋学期

柳川 弘志

【授業科目の内容】

2003年4月、ヒトゲノムの全塩基配列解読完了が宣言され、これまで166個のゲノム(145個の原核生物ゲノム、21個の真核生物ゲノム)が解読されている。さらに現在、775のゲノム解読プロジェクト(415個の原核生物ゲノム、360個の真核生物ゲノム)が進行中である。2003年には、アメリカでENCODE(ENCyclopedia Of DNA Elements)計画が発表され、いよいよポストゲノム時代が始まった。日本でも、文科省のゲノムネットワークプロジェクトが2004年10月にスタートした。ゲノムネットワーク解析は、ポストゲノム時代の最も重要な課題であり、その成果は生命現象の統合的理解と共に、ゲノム産業やゲノム創薬といった具体的実用化が期待されている。

また2002年1月には、チンパンジーのゲノムが解読され、ヒトのゲノム配列との差はわずか1.23%しかないとわかった。ヒトとチンパンジーの差はゲノム配列からだけではとても説明できないものであった。ここからわかることは、我々はまだ、「進化」を記録したゲノム地図の読み方、ゲノム配列が意味することを知らないということである。ポストゲノム研究とは、このゲノム地図の読み方を知ることにあるだろう。すなわち、ヒトとチンパンジーの差は、ゲノム配列から翻訳されるタンパク質とそのタンパク質間相互作用に支えられた遺伝子ネットワークのパターンの違いによる可能性がある。ポストゲノム研究に求められるものは、従来の一遺伝子を深く掘り下げる研究だけではなく、網羅的な遺伝子群の機能解析研究である。

このような日進月歩の生命科学の進展を背景に、21世紀のゲノムサイエンス時代を切り拓いて行く若い人達に、その基礎となるこれまでにわかった分子生物学の知識を、広くかつ深く理解してもらい、問題解決能力を養ってもらおうのが本科目の主旨である。

【教科書】

『分子細胞生物学』(上)第5版、H. Lodishら著、石浦章一ら訳、東京化学同人の第4章、第10章、第11章、第12章を担当します。

【参考書】

配布プリント

分析化学1

「Analytical Chemistry 1」

2単位 秋学期

鈴木 孝治

【授業科目の内容】

前提科目である「分析化学基礎」の授業で、「化学物質」に関する十分な知識を身につけた。また、物質を分

離する手法や理論的思考方を学んだ。この授業では、「物質」を検出する手法を学ぶことを中心に、分離分析の実際と使う機会の多い汎用の機器分析の基礎を講義とビデオで学ぶ。

1. 化学分析と機器分析の基礎
2. 分離分析
3. 光関連分析
4. 磁気関連分析
5. 電子関連分析
6. 分析化学トピックス

具体的には、

1. ガスクロマトグラフィーと元素分析
 - 1-1. 大気分析
 - 1-2. ガスクロマトグラフィーとは
 - 1-3. 分離カラムの構造と種類
 - 1-4. 検出器の構造と種類
 - 1-5. 有機元素分析
2. 質量分析
 - 2-1. 質量分析とは
 - 2-2. 質量選別部の種類と原理
 - 2-3. イオン化の種類と原理
3. 光化学分析
 - 3-1. 物質と光・色
 - 3-2. 光分析の装置構成
4. 吸光・蛍光分光光度法
 - 4-1. 光の吸収と放射
 - 4-2. 吸光分光光度法
 - 4-3. 蛍光分光光度法
 - 4-4. 化学発光・生物発光分析法
5. 原子吸光・原子発光分析
 - 5-1. 原子吸光・発光分析とは
 - 5-2. 原子吸光分析法
 - 5-3. 原子発光分析法
6. 核磁気共鳴分光法(NMR)
 - 6-1. 核磁気共鳴分光法(NMR)とは
 - 6-2. NMRから何がわかるか
 - 6-3. NMR測定の種類

【教科書】

生協から販売。

分析化学基礎

「Basic Analytical Chemistry」

2単位 春学期

鈴木 孝治

【授業科目の内容】

物質を分離し、同定し、定量する。この操作を確実にを行うためには、先ず様々な物質そのものの性質や特性を十分理解していなければならない。このことを念頭に置き、本科目では物質化学に立脚した分析化学および機器分析の基礎について学ぶ。

- ・分析化学体系
- ・化学物質の性質と見方
- ・化学物質の平衡
- ・物質の分離と検出

具体的には、

1. 分析化学とは
 - 1-1. 分析化学とは
 - 1-2. 分析に用いられる単位 (SI単位、非SI単位)
2. 分析値の取り扱い
 - 2-1. 誤差の考え方
 - 2-2. 分析データの処理演算
 - 2-3. 分析値の信頼
 - 2-4. 検量線
 - 2-5. 検定
3. 分析の実際
 - 3-1. 分析の実際
 - 3-2. 分析用器具
 - 3-3. 試薬・水の取り扱い
 - 3-4. 脱水剤、寒剤
 - 3-5. 固体試料の扱い
4. 物質の形態と特性
 - 4-1. 分析対象の選定と性質
 - 4-2. 原子と分子の性質
 - 4-3. 物質の状態と平衡
 - 4-4. 極性
5. 酸・塩基
 - 5-1. 酸・塩基の概念
 - 5-2. Bronsted-Lowry説 (ブレンステッド酸・塩基)
 - 5-3. Lewis説 (ルイス酸・塩基)
 - 5-4. イオンと活量
6. 物質の分離
 - 6-1. 物質の分離
 - 6-2. 難溶塩と溶解度積
 - 6-3. 沈殿生成現象
 - 6-4. 溶解度の抑制
7. 分配と抽出
 - 7-1. 分配と抽出
 - 7-2. 溶媒抽出
 - 7-3. キレート抽出
 - 7-4. HSAB則
 - 7-5. イオン会合抽出
8. クロマトグラフィー
 - 8-1. クロマトグラフィーとは
 - 8-2. クロマトグラフィーの理論
 - 8-3. クロマトグラフィーの種類
 - 8-4. 高速液体クロマトグラフィー

【教科書】

生協から販売。

【参考書】

基礎化学コース『分析化学』、『分析化学』および『分析化学』丸善

分布系の数理

2単位 秋学期
本多 敏

【授業科目の内容】

【概要】

物理現象を情報として扱うということはシンボル/記

号化するということから始まります。物理的变化を担う媒質が空間的に連続に分布しているような、物理学工学のいろいろな分野で現れる連続体の問題を、線形分布定数系という共通性に着目して理解できるようにします。数学的には応用偏微分方程式論に相当する内容ですが、物理的工学的意味を物理情報として理解できるようにします。

【学習の目標】

講義計画に示した毎回の演習を通じて

- ・放物型・楕円型・双曲型偏微分方程式が表現する拡散、熱移動、対流、振動、波動、ポテンシャル等の物理現象が理解できる。
 - ・現実のそれらの問題を境界条件も含めて定式化できる。
 - ・あたえられた問題を、変数分離法、積分変換法等を用いて解くことができる。
- よくなることをめざします。

【参考書】

スタンリー・ファーロウ (伊理訳)『偏微分方程式』啓学出版

マテリアルデザイン概論 1

2単位 春学期
仙名 保

【授業科目の内容】

僕たちの生活はモノがなくては始まらない。マテリアルは平たく言えばその「モノ」のことです。ケイタイでもクルマでも、便利になる一方ですが、それらの便利はマテリアルの研究と製造によって支えられています。薬や生体関連材料もマテリアルです。でも、エネルギーや環境、国際価格競争など、たくさんの制約に囲まれながらマテリアルを作っていくためには、ものすごく幅広い知恵が必要です。マテリアルデザイン概論()では、みなさんがこうした大問題に挑戦するための基礎体力をつけることを目的に、昨年度に新設された若い科目です。下に書いた表のようなあらましに沿って、わかりやすい話をしていこうと思っています。

【教科書】

資料として、プリントを毎回配布します。

【参考書】

最初の授業のときに紹介します。

マテリアルデザイン概論 2

2単位 秋学期
今井 宏明

【授業科目の内容】

マテリアルとは、僕らの役に立つ機能を持つ「モノ」のことです。ですから、僕たちの快適で豊かな生活はマテリアルの機能に支えられていることになります。マテリアルデザイン概論()ではマテリアルの実例を紹介し、それらの合成法、キャラクタリゼーションなどについて学んで基礎体力をつけてきました。マテリアル概論()では、マテリアルの機能について少し詳しく掘り下げ、なぜ、どうして、どのように、マテリアルが使わ

れるのかを学んでいきます。多様なマテリアルの世界から皆さんの未来が見出せるかも知れません。授業計画に示したテーマに沿って、わかりやすい話をしていこうと思っています。

【教科書】

資料としては、プリントを毎回配布します。

無機化学 1

2単位 春学期
磯部 徹彦

【授業科目の内容】

本講義では、無機化学の基礎が身につくことを目標としています。はじめに、原子、分子、錯体および固体の構造や結合に関して解説し、つぎに、酸塩基反応や酸化・還元による反応を紹介します。

【教科書】

シュライバー「無機化学」

無機化学 2

「無機化学や分子モデリングを理解するための量子論・分子分光学入門」
2単位 秋学期
井上 秀成

【授業科目の内容】

量子論が誕生してシュレーディンガー方程式が提案され約1世紀が経過し、機能材料を指向した「無機化学」の本質を理解するためにも、ますます量子化学の基礎が必要になって来ている。当初、シュレーディンガー方程式の水素原子への適用は成功をおさめたが、今日、多電子原子や分子の電子構造への応用ではまだ多くの未解決問題を残している。しかし、ここ十数年のコンピュータの発展は、これら量子化学における未解決問題の比較的簡単な系に対する近似計算を可能にした。ここでは、コンピュータによる近似計算(例えば、分子モデリング)の際に、ともするとブラックボックスになりがちな部分の理解を深める。そのため、量子論と原子の電子構造、分子の電子構造と対称性、原子および分子の分光学、分子の磁気的性質などについて分かりやすく解説する。

【教科書】

P. W. Atkins (千原秀昭・中村巨男 訳) 物理化学(上、下) 東京化学同人(2001)

【参考書】

P. Atkins and J. de Paula, ATKINS' PHYSICAL CHEMISTRY, 8th Edition, Oxford Univ. Press (2006).
www.oxfordtextbooks.co.uk/orc/pchem8e/

有機化学基礎

「有機化合物の合成と反応入門」
2単位 春学期
山田 徹

【授業科目の内容】

1年生の化学Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだことを基礎に、重要な官能基について、個々に合成法、反応性を解説する。各化合物間の相互の関係

についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さをも忘れないようにしたい。内容を箇条書きにすると以下のようである。

【参考書】

ボルハルト・ショアー著『現代有機化学』(第4版上・下) 化学同人 畑一夫著『有機化合物の命名 - 解説と演習 -』培風館、ISBN4-563-04222-6

有機立体化学

「三次元でみた有機化合物の構造と反応性」
2単位 秋学期
只野 金一

【授業科目の内容】

天然より見出される多種多様な有機化合物も、実験室で化学合成される有機化合物も、それらの大半は三次元立体構造をもつ。sp³混成をした炭素原子が、正四面体構造をとる事に由来した結果である。酵素などの生体触媒により司られる生体内での化学反応の本質を理解するためにも、機能性分子を創製する際にも、研究目的とする有機分子を三次元構造で捉えねばならない。2001年度のノベル化学賞が我が国の野依良治博士に授与されたが、この快挙は「有用な有機化合物を望む三次元構造をもつものとして化学合成する」という野依博士の研究業績が評価された結果である。本講義ではまず有機化合物を立体構造の視点から説明し、ついで有機化合物が行う化学反応を立体化学的な見地から考察し、さらには三次元構造をもつ有機化合物を実際に合成する手段について順次講述していく。受講者に、有機化合物を三次元構造で捉えることに慣れ、また有機化学反応を立体的に考えるようになってもらうことを講義の目的・目標としている。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

参考書：カガン著、小田順一訳「有機立体化学」(化学同人)
バクストン、ロバーツ著、小倉克之他訳「基礎立体化学」(化学同人)等。

力学的アナリシス

2単位 秋学期
野口 裕久 吉田 和夫

【授業科目の内容】

静力学と動力学に関するモデリングの基礎を力学的モデリングで学んだ後、その特性と応答解析の基礎を学ぶために設けられた科目である。機械工学、建築工学、土木工学の基礎としての静力学、動力学、機械力学、材料力学などの基礎知識を習得でき、基礎的で重要な科目である。近年制御工学、ロボット工学などの学際的な分野においても、対象は力学系であることが多く、エンジニアリングの広範な分野の基礎を学ぶことができる。

【教科書】

自作テキスト

【参考書】

坂田勝著 『工学力学』 共立出版
 下郷、田島著 『振動学』 コロナ社
 日本機械学会 『機械システムのダイナミクス入門』
 丸善

力学的モデリング 2単位 春学期
 野口 裕久 吉田 和夫

【授業科目の内容】

システムデザイン工学科のカリキュラムの一つの重要な柱として、静力学および動力学がある。これらの基礎知識はエンジニアにとって必須の基礎学力である。本科目は、静力学と動力学の学問的な基礎を学び、それらの知識を基にして物理現象のモデリングの方法を学ぶために設けられた基礎科目である。なお、力学を横断的に学ぶことができるように縦割りの内容を講義するのではなく、静力学と動力学を融合した教育を行う。以下の項目について講義する。

【教科書】

自作テキスト

【参考書】

坂田勝著 『工学力学』 共立出版
 L.Meirovitch“ Introduction to Dynamics and Control ”
 Wiley

理工学基礎実験 2単位 春学期 / 秋学期
 富田 豊 他

【授業科目の内容】

春学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABCを、また、秋学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABDの組合せによって全12課題について実験、レポートの提出、討論を完結する。

- A 実験 1. トランジスタ増巾回路
 2. 熱の移動
 3. 機械加工
 4. 応力およびひずみの測定
 5. 流体の流動
- B 実験 1. 音波の干渉
 2. 偏光
 3. 分光測定
 4. 回路の共振
 5. マイケルソンの干渉計
 6. 核磁気共鳴
- C 実験 1. 吸光光度法による銅の定量
 2. ガスクロマトグラフ法
 3. pH と電離平衡
 4. 可逆電池の超電力と平衡定数
- D 実験 1. 表示系のヒューマンインターフェース
 2. コンピューテーションコンプレキシティ
 3. 経営意思決定問題
 4. グラフィカルデータ解析
 5. 幾何学的確率の実験

【教科書】

理工学基礎実験（慶應義塾大学理工学部編）

流体力学の基礎 2単位 秋学期
 小尾晋之介 澤田 達男
 松尾亜紀子

【授業科目の内容】

流体力学は、水や空気など、気体や液体を問わず、流れと物体の運動やそれらの相互作用に関係する問題を扱う学問分野です。人間の体内やエンジンなどの機械の内部では様々な流体が熱や物質の輸送に重要な役割を果たし、風車やタービンでは流体のもつ運動エネルギーの有効利用が重要であり、大気や海洋の流れは地球環境に決定的な影響を及ぼす、というように、我々の周りの問題は流体運動なしでは考えられないもので満たされていることから、その重要性は容易に想像できるでしょう。

授業では、非常に多岐にわたる問題のなかから、流体運動を考えるための基礎理論とその応用力を身につけることを目指します。3年次の設置科目である「流体力学」、「高速空気力学」、「環境流体力学」は、「流体力学の基礎」から発展した内容を扱いますが、すべて共通の教科書を使いますので、一貫した内容となっています。

【教科書】

F.M.White “ Fluid Mechanics ” 5th Edition, McGraw-Hill International Editions

【参考書】

とくに定めない

量子化学基礎

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動」

2単位 秋学期
 藪下 聡

【授業科目の内容】

化学的な視点から量子論の基本を学び、分子中の電子状態および分子の振動回転運動を題材に、様々な化学現象にとって量子論の考え方がなぜ必要なのかを理解する。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト
<http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html>
 よりダウンロードできます。
 パスワードなどは最初の授業にお知らせします。

【参考書】

田中政志、佐野充 『原子・分子の現代化学』 学術図書
 茅幸二編著 『物理化学演習』 裳華房
 朽津耕三・濱田嘉昭 『量子化学』 放送大学教育振興会
 小林常利 『基礎化学結合論』 培風館
 藤永茂 『入門分子軌道法』 講談社サイエンティフィック
 平尾公彦・加藤重樹 『化学の基礎』 講談社サイエンティフィック

量子力学基礎

『『エレクトロニクス』を学ぶための基礎物理の1つ』

2単位 春学期

梅垣 真祐

〔授業科目の内容〕

本科目は、電磁気学、統計力学と共に、20世紀後半の技術社会の根幹を成した「エレクトロニクス」を理解する上で不可欠な基礎物理の1つである。21世紀は、さらに発展させた「電子技術」と、20世紀後半になって現れたレーザーを基とする「光技術」とを融合した「フォトニクス」の時代と言われる。レーザーもまた基礎物理に立脚した電子技術の産物である一方、将来の電子デバイス、光デバイスにおいては量子効果を十分に発揮させたデバイスが多用されるものと予想される。授業は教科書を中心に進めるが、上述の応用を念頭におき、固体物理、レーザー物理さらには量子化学との関連を理解するため、随時、参考書の内容についても触れる。教科書の範囲外の内容についてはプリントを配布する予定であるが、教科書の範囲内の内容についても教科書だけに頼らない自習を勧める。

本科目は上記の応用を念頭においた「量子力学の基礎」であり、(1)量子論が成立していく背景をなす物理現象を述べることから始め、(2)プランクの見出したエネルギー量子の考え方、(3)ボーアの前期量子力学、(4)ハイゼンベルグの行列力学、(5)ド・ブロイによる物質の波動論を経て、(6)シュレーディンガー方程式に至る量子力学を講義する。

〔教科書〕

砂川重信著『量子力学の考え方』岩波書店(物理の考え方シリーズ4)

〔参考書〕

1. 朝永振一郎(みすず書房)
『量子力学』
2. R.H.Pantell and H.E.Puthoff (John Wiley & Sons Inc.)
“Fundamentals of Quantum Electronics”
(絶版になっているが、当方に有り。興味のある学生は申出てください。)
3. 山下次郎他訳(丸善)
『キッテル固体物理学入門(上・下)』
4. 原田義也(裳華房)
『量子化学』

量子力学第1

2単位 秋学期

福田礼次郎

〔授業科目の内容〕

本格的な量子力学の履修の始まりと考える。

量子力学の基本原理解、数学的な構造、観測量と観測値、シュレーディンガー表示とハイゼンベルグ表示、対称性と保存則、(できれば群論との関係) 時間発展と定常問題、角運動量、など

〔教科書〕

特に指定はしない。プリントを前もって配り、それに従って講義する。

〔参考書〕

特に指定しない。

量子力学入門(機械、物理)

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」

2単位 春学期

高野 宏

〔授業科目の内容〕

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

〔教科書〕

川村清「量子力学」(産業図書)

量子力学入門(応化、数理、化学)

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」

2単位 春学期

植田 毅

〔授業科目の内容〕

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

〔教科書〕

川村清「量子力学」(産業図書)

量子力学入門(物情)

2単位 秋学期

椎木 一夫

〔授業科目の内容〕

原子、分子などのミクロな世界を支配する物理法則は日常世界における常識とは必ずしも相いれない。ミクロ世界の法則を理解して、ここから情報を得て制御する、つまり新しい機能性材料を開発したり電子波デバイスなどの先端素子を研究する、その準備段階として、量子力学の基礎を学ぶ。演習を行い、勉強した内容が使えるようになることを目標にする。

〔教科書〕

椎木一夫著「工科系 量子力学」裳華房

〔参考書〕

小出昭一郎著「量子力学()」裳華房

総合教育科目

遺伝子の科学 2単位 春学期
梅澤 一夫

【授業科目の内容】

1950年代にWatson-Crickのモデルが提唱され、分子レベルの生物学が盛んになった。1970年代にはDNAの操作技術が飛躍的に進歩して、現在では生物学のほとんどすべての分野で、DNAがかかわって研究が行われるようになった。本講ではDNA操作の実際(ビデオ使用)、最近の生物学と医療をDNAの役割を中心に説明してゆきたい。

1. 生体物質入門
2. 生命の情報の流れ
3. 遺伝子の構成
4. 遺伝子操作
5. ノックアウトマウス
6. その他のトピック

初学者用に「生体物質入門」を入れ、遺伝子は実際にどんな風に扱われているかをビデオで説明。

宇宙科学 2単位 春学期
休講

現代物理学概論

「原子核・素粒子物理学の過去・現在・未来」

2単位 秋学期
平田 光司

【授業科目の内容】

原子核・素粒子物理学は、物質の根源的な存在形態を研究する分野である。物質の根源形態を探求して、人類は原子、原子核、核子(陽子や中性子、中間子)、そして核子を構成する基本粒子クォークにいきついた。現在では、クォークとレプトン(電子やニュートリノ)、そしてそれらの相互作用を媒介するゲージ粒子によって、(重力の量子化が問題となる宇宙初期を除く)すべての現象が理解されている、と信じられている(素粒子の標準理論)。

物質の根源を求める知的好奇心に導かれて、20世紀前半には、原子核変換が発見され、核兵器および原子力へとつながっていった。20世紀後半には以下のようなことが起きた。(1)核兵器は国際政治を大きく変えた、(2)夢のエネルギー源と思われた原子力の様々な問題も明らかになった(3)巨大加速器の進歩によって、高エネルギー物理学が発達し、標準理論へとつながったが、巨額の資金を要し、産業に貢献しない「知識のための科学」は、今後も続けられるのか不明である。

このような、輝かしい、しかし、問題を含んだ原子

核・素粒子物理学について、物理学としての発展だけでなく社会への影響と社会からの影響を知ることは、理工系の学生にとって必須の課題であろう。

講義は(1)原子核・素粒子物理学の発展(2)原爆の開発と国際政治(3)原子力の利用と問題点(4)巨大科学となった素粒子物理学、についてそれぞれ解説する。歴史的には、これらすべてが半ば独立に、なかばもつれあって進んできたので、これら4つのテーマを別個にあつかうことはできないが、最低限、それぞれについての基本的な知識を持つように、授業を進めたい。

【予備知識】

高校までの数学。物理学の知識は必要に応じて復習するようにします。

【教科書】

なし

【参考書】

レーダーマン・シュラム『クォークから宇宙へ』東京化学同人

平田光司『加速器とビームの物理』(岩波講座・物理の世界)岩波書店

総研大ジャーナル2号特集「世界最強の加速器KEKBの挑戦」

(<http://www-kekb.kek.jp/Publication/Sokendai/sokendai.pdf>)

その他、インターネットからダウンロードできる資料を授業中に指示する

人体の生理

「人体調節の分子機構とその破綻」 2単位 秋学期
河上 裕

【授業科目の内容】

担当教員：河上裕・桜井敏晴・藤田知信・住本秀敏・工藤千恵・塚本信夫・松下麻衣子

医学部先端医科学研究所では生体防御機構の一つである免疫システムの研究を行っている。免疫系はリンパ球などの様々な血液細胞がネットワークを形成して、細菌やウイルスなどの微生物から体を守っている。AIDSでは、HIVによりリンパ球が破壊されるために、通常ではかからない微生物や癌におかされてしまうことは、免疫機構の重要性を示している。また、免疫ネットワークは神経・内分泌・免疫と呼ばれるように、神経系による情報伝達や内分泌系の各種ホルモンとも相互作用を行っている。このように、人体は、外界からの影響に対して、様々な制御システムにより、その恒常性が維持されているが、それが破綻したときに病気となる。例えば、免疫機構の異常により、免疫系が自己の体を障害してしまう自己免疫疾患や、外来分子に異常に反応してしまうアレルギーなども起こる。本講義では、人体の恒常性維持機構に関して、マクロな生理学から、細胞生物学としての細胞間相互作用、細胞内での遺伝子、蛋白質などの分子調節機構まで、その概要を解説する。正常調節機構の破綻による病気の一つとして、癌や自己免疫疾患などの病態も紹介する。現在、多くの生命現象が分子レベルで説明できるようになってきたが、まだ、不明なことだらけ

である。そのために、多くの病気の発症機構は明らかでなく、よい治療法も存在しない。これらを解決していくためには、今後の分子レベルでの、さらなる研究が必要である。そこで、最近、話題のヒトゲノム計画も含めて、現代の医学研究の手法についても紹介したい。理工学部の学生にとっても、このような生物の巧妙なシステムとその破綻による異常、またその研究方法を知っておくことは、役立つのではないかと思う。知的好奇心旺盛な熱意のある方の受講を希望します。

【教科書】

特定の教科書は指定しませんが、生理学、細胞生物学の薄い本を読むことを勧めます。

【参考書】

必要であれば講義で紹介します。(オックスフォード生理学、丸善など)

心理学

「生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを科学する」
2単位 春学期
高山 緑

【授業科目の内容】

本講義では、“生涯発達の視点”から、乳幼児から思春期、青年期を経て高齢期までを視野に入れて、しなやかに生涯発達する人間のチカラを学んでいきます。最新の実証研究から得られた知見をもとに、具体的には、愛着、自己、情動、性格の形成プロセス、対人関係、ストレスとコーピング、恋愛と結婚、ライフスタイル、サクセスフル・エイジング等のテーマを取り上げます。さまざまなテーマを通じて、生涯発達する“しなやかな”人間のチカラを学びましょう。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

心理学

「認知と学習」
2単位 秋学期
高山 緑

【授業科目の内容】

人の心の奥底では、いったい何が行われているのでしょうか。私たちはどのように外界から情報を受け取り、それを加工し、行動をとるのでしょうか。本講義では人間が“事物について物事を知る”といったことがどのようなメカニズムで行われているのか、そしてその能力がどのように発達していくのか学んでいきます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

生物科学入門

「ヒトの生物学：疾患を分子で捉える」 2単位 春学期
中村真理子

【授業科目の内容】

生体を1つの宇宙と見なすと、その中で起こっていることは無数のランダムなイベントの結果であることがわかります。近年問題になっている抗生物質に対する耐性菌の問題、免疫系の多様性を説明するclonal selection theoryなどは、まさに生物がランダムな事象から成り立っていることを示しています。

21世紀の医学では、病気について考える際に、生体反応を分子や細胞のレベルで考えることが必須であり、病気とは、前述の様なランダムな偶然が重なり、遺伝子が先天的あるいは後天的に極端に振れる結果として生じるわけですから、逆に病気は正常を知るための良いモデルとなるわけです。

社会のグローバル化、生態系の変化と共に、狂牛病、AIDS、結核などの新興・再興感染症の出現がめまぐるしく、人類に脅威を与えています。感染症の古典的な理解は同じ病気に2度かからないという免疫の基本を教えてください。自己免疫疾患、アレルギー、糖尿病や高血圧など体質依存性といわれている疾患や悪性腫瘍などのいわゆる難病には、生体防御系としての免疫反応が強く関与しています。さらにこれら疾病の発病に関しては、遺伝子変異に起因する部分と環境因子が作用した結果であることが知られています。さらに、細胞の分化誘導と幹細胞の再生医療への応用可能性の模索、gene chipやRNA干渉など最近の生物学に関する手法の進歩は著しく、以前には未知の世界と思われていた事象も次々に明らかにされてきました。今後の10年を考えるならばその進歩はさらに加速されるに違いなく、現時点では想像もできないような世界が拓かれている可能性が大きいと言わざるを得ません。こうした内なる宇宙への探索の旅に携えるべき知恵と知識を求めての講義を進行させたいと考えています。

オリエンテーションとして分子生物学の基本言語について説明しながら、AIDS、癌を中心に、最新の知見も加えながら生物学について学びます。その際に微生物(特にウイルス)という観点から病気の理解をしてゆきたいと考えています。なぜならば、今日の分子生物学の発展はウイルス研究に端を発しているからであり、生物の内包する原理を理解するための最もシンプルな実験系として当時の科学者がウイルスを選択したその視点も、今後の私たちの真理追究へのヒントを与えてくれると感じるからであります。

【教科書】

特に指定しませんが、分子生物学の簡単なテキストを一読することをお勧めします。

基礎分子生物学 第2版 田村隆明、村松正實 著 (東京科学同人) など。

毎講義時にプリントを配布します。

【参考書】

必要に応じて紹介します。

生物学実験

「生物のかたち、機能、メカニズムの理解 細胞を中心として」
2単位 春学期
金子 洋之

〔授業科目の内容〕

生物が持つ多様なかたち、機能、それらを裏打ちするいくつかの巧緻なメカニズムを理解するためには、それらの構成単位となる細胞をいろいろなテーマのもとで体験することが重要である。本実習では、種々の生物を材料に、細胞のかたちや動態を観察する。また細胞を構成する分子の同定操作も行う。これらの過程で、本質を見抜く眼力、柔軟な思考をトレーニングしたい。この科目は教職科目の「生物実験（コンピューター活用を含む）」との併設である。

〔教科書〕

指定しない。教材は教員が準備する。

〔参考書〕

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

生物学実験集中

「臨海実習」
2単位 春集中
松本 緑 佐藤 寅夫

〔授業科目の内容〕

生物世界の多様性と豊饒性を体験するとともに、分類体系の基本を理解することを目標にして、三浦半島西海岸のほぼ先端に位置する東京大学三崎臨海実験所において、夏休み期間中に実施する。各種採集法により自ら集めた磯の生物、プランクトン、ベントス等を材料にして観察と同定、ならびに初期発生の観察を行う。4月中旬に行うガイダンスに参加すること、全期間参加することが条件。収容人員は20名以内。ガイダンス日程は別途掲示参照のこと。

〔教科書〕

指定せず。

〔参考書〕

随時紹介する。

生命現象の分子科学

2単位 秋学期
柳川 弘志

〔授業科目の内容〕

現在の生物では遺伝情報の流れは、DNA RNA（リボ核酸）タンパク質となっている。これはセントラルドグマ（中心教義）と呼ばれている。DNAの情報がいったんmRNA（メッセンジャーRNA）に転写され、それからその情報がタンパク質に翻訳される。情報は核酸が、機能はタンパク質が担っている。核酸はタンパク質の働きによってつくられ、そのための情報は核酸がもっている。どちらが先に出現したのだろうか。本講では、分子生物学の立場から、生命の基本的な性格や特徴、仕

組み、セントラルドグマ、生命の起源や化学進化、タンパク質と酵素の働き、RNAの基本的な性質とRNA触媒、進化分子工学、ゲノムと医療などについて、基礎から先端分野まで解説する。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

配布プリント

柳川弘志著『遺伝子情報は人類に何を問うか』ウエッジ選書、ウエッジ

柳川弘志（共著）『新しい地球史・46億年の謎』有隣堂

柳川弘志著（共著）『地球惑星科学入門』岩波講座・地球惑星科学第1巻、岩波書店

世界の経済

2単位 秋学期
竹森 俊平

〔授業科目の内容〕

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

〔教科書〕

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

天文学

2単位 秋学期
休講

日本の経済

「いいもの作り国家をめざして」
2単位 秋学期
相沢 幸悦

〔授業科目の内容〕

日本経済は、ようやく長期不況から抜け出したといわれていますが、平成大不況というのはどういうものであったか、日本経済の現状をどうみたらいいか、これからの日本経済はどうあるべきかということを、理論的かつ実証的に講義します。

とくに、長期不況克服の為に経済の自由化や経済構造改革が進められましたが、その結果、マネー経済の膨張や規制緩和などによる「いいもの作り」軽視の傾向が出てきたように思います。そこで、本講義では、アメリカやドイツ経済などと比較検討しながら、どのようにして「いいもの作り国家」を再生したらいいか考えます。

〔教科書〕

相沢幸悦「平成大不況」（ミネルヴァ書房、2001年、3200円）

〔参考書〕

相沢幸悦「品位ある資本主義」(平凡社新書、2006年、720円)

比較文化論

「中国文化とフランス文化」 2単位 春学期/秋学期
森 英樹

〔授業科目の内容〕

中国文化とフランス文化、この二つの文化伝統の性格の対比ないし相互の交渉を、さまざまな個別的テーマのもとに考察することによって、われわれの生活の基盤である文化や文明への幅広い視野を獲得します。

〔教科書〕

森 英樹(南仙)著『比較文化論・講義要旨』三訂版

物性科学

「身のまわりのモノの世界」 2単位 春学期
伊藤 公平

〔授業科目の内容〕

私たちの身のまわりはモノ(materials)であふれ返っています。特に炊飯器からロケットまでの日用品?となると、それらは自然に存在したモノではなく、人々が工夫に工夫を重ねて生み出した製品です。物性科学では、私たちの生活を豊かにするモノを支える科学を物質・材料という観点から講義します。高校の物理と化学の知識のみを前提として、できるだけ式を使わずに物質・材料の世界を探検します。講義内容は目安として以下のとおりです。

〔参考書〕

毎回の講義で必要な資料は配布します。ただし、『材料科学1 材料の微視的構造』C.R. バレット、W.D. ニックス、A.S. テテルマン著、培風館は参考にとると良い本なので興味のある学生は購入してください。

研究所設置講座、履修案内

1 メディア・コミュニケーション研究所

【メディア・コミュニケーション研究所とは】

メディア・コミュニケーション研究所 (Institute for Media and Communications Research) は、研究所の専任の先生を中心に新聞・ラジオ・テレビ・雑誌などの在来のメディアと新しいインターネットなどのメディア、それらによるメディア・コミュニケーションの社会的相互作用とジャーナリズムの研究を行うと同時に、研究生と呼ばれる学部生諸君を教育し、各種メディア業界に有為な人材を送り込むための研究・教育機関です。1946 (昭和21) 年に産声を上げた新聞研究室を母体とする歴史の長い研究所です。後に新聞研究所に名称を改め、1996 (平成8年) に50回目の誕生日を迎えました。まさに、研究所は日本の戦後とともに歩んできたこととなります。

新聞研究所は、第2次世界大戦前と戦争中、新聞報道を中心とする日本のマスメディアが軍国主義に迎合した報道姿勢をとったことを憂いた連合軍占領軍が、戦後の民主化に新聞を中心とする言論報道機関の果たす役割の大きさを考慮して、その役割の遂行に貢献しうる人材の育成とともに、マスメディア研究を行いうる研究機関の設置をいくつかの日本の大学に求めました。選ばれた大学の一つが慶應義塾大学であり、後に法学部長になった米山桂三教授に運営が任された、というのがその発端であると伝えられております。

既述の通り、当初、新聞研究室は新聞を実際に発行して実習授業を盛んに行っていました (当時発行された新聞はマイクロフィルム化されていますので参照可能です)。しかし、後に研究機能の重視を目的に名称を研究所に改めました。今日では実習的な側面よりは研究生 (研究所に入所した学生はこう呼ばれます) にはマスメディアおよびマスコミュニケーション研究の基礎的教育を行い、専任教員を中心に基礎的な研究に力を入れるようになりました。メディア業界からはすぐに陳腐になりやすい皮相でテクニカルな知識や技術のみを身に付けた人間よりは、基礎的な知識や思考能力そして人間関係能力に裏打ちされ、しっかりとした考えと独創的な発想力をもつ人材が求められています。そうした要求に沿った教育と、各種メディア・コミュニケーション産業にとり有益な研究成果を提供することに新聞研究所は力を入れてきました。

しかし、時代は急速に変わりました。戦後50年の情報通信技術の革新の動きは目覚ましく、戦後直後の報道機関といえば活字メディアが中核で、ラジオがそれに付け加わっているだけでした。その後、テレビ放送が本格化しメディアの中核は電気通信・放送へと移行していきました。近年では地上波だけではなく、衛星放送・衛星通信、ケーブルテレビなど多面的に展開する時代となりました。そして、アナログ時代からデジタル時代へと移行し、インターネットを中核としたマルチ・メディアの展開が叫ばれるようになりました。新聞・ラジオ・テレビとインターネットの融合現象も注目されるようになりま

した。と同時に、かつては一方向的な伝達を中心だったものが、双方向的なものになりました。その情報通信範囲もパーソナル・ローカル・ナショナルなレベルからグローバルなレベルへと拡大し、コミュニケーション能力の著しい発展と質的な変化がもたらされました。多チャンネル時代を迎え放送内容も多様になり、アイデアや創造力がメディア業界で働く人々に要求される度合いも格段に高くなりました。

こうなってくると、新聞研究所という名称はさすがに古めかしさを感じさせるようになり、1996 (平成8) 年には、研究所50年の記念式典を行い翌年より名称を現行のものに変更しました。それが、メディア・コミュニケーション研究所出発の経緯です。新しいメディアの発展による多様なメディア・コミュニケーションの時代に合致した名称に変更したのです。もっとも、メディア・コミュニケーションの形態・技術は変化しても、報道ジャーナリズムの健全な発達のため、つまり、民主主義的で自由で公正で時には批判的な報道を行うための前途有為な人材育成の目的はそのままです。

しかし、研究生には報道ジャーナリズムやマスコミュニケーション研究の基本を学び、新しいメディア (とくにコンピュータ・メディア) を十分理解した上に自由に使いこなせるだけの能力を身に付けて欲しいと思っています。そのために、1998 (平成10) 年より、メディア・リテラシー向上のため「メディア・ワークショップルーム (MWR)」を開設しています。インターネット放送もはじめました。今では大学生になるまでに、インターネットに十分習熟した学生も増え、より高度なメディア・リテラシーが期待できるので、インターネット放送やオン・ライン新聞を盛んにしたいと思います。それは、研究生が送り手と受け手の双方を融合させることなので、メディア倫理教育の充実が必要です。

1997年4月より、新しい名称でスタートを切った研究所は、2006 (平成18) 年に改称後10年目の記念の年を迎え、研究所60年記念の年となりました。あっという間の10年でした。その間のインターネットの普及と展開はめざましく、在来メディアをインターネット会社が買収しようとする騒動が日本でも発生しました。今後もそうした激動の10年がくり返されると思います。

現在のスタッフは所長、専任および兼担所員、事務職員総勢でも10名に満たない小さな研究所ですが、非常勤講師の諸先生のご協力を得て研究生150名 (2~4年生) の教育を行っています。本年入所される研究生を含め現在の研究生は、新たな歴史を刻む当事者です。研究所が大きな成果を生むために大いに頑張ってもらいたいと思います。そして、綱町三田会 (修了生の同窓会) というOB・OG組織の皆さんの協力を得て、さらなる発展をめざしたいと思います。

平成19年度慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所基礎科目（オープン科目）一覧

*基礎科目（オープン科目）研究生以外も履修可能

設置場所	科目名	単位数	講師
三田設置科目	マス・コミュニケーション論 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	大石 裕
三田設置科目	マス・コミュニケーション発達史 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	鈴木 雄雅
三田設置科目	国際コミュニケーション論 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	奥野 昌宏
三田設置科目	メディア社会論 （法学部併設）	秋2	藤田 真文
三田設置科目	メディア法制	春2	宿南達志郎
三田設置科目	メディア法制	秋2	大石 泰彦
三田設置科目	ジャーナリズム論 ・	春2 / 秋2	伊藤 高史
三田設置科目	世論	秋2	竹下 俊郎
三田設置科目	情報行動論	春2	川浦 康至
三田設置科目	異文化間コミュニケーション	春2	白水 繁彦
日吉設置科目	異文化間コミュニケーション	秋2	（講師・未定）
三田設置科目	メディア文化論	春2	小川 葉子
三田設置科目	メディア文化論	秋2	岩淵 功一
三田設置科目	メディア産業と政策	春2	菅谷 実
三田設置科目	メディア産業と政策	秋2	宿南達志郎
三田設置科目	情報産業論 ・	春2 / 秋2	宿南達志郎
三田設置科目	ジャーナリズム総合講座 ・	春2 / 秋2	荒田茂夫・大石 裕・伊藤高史(3名で行う)
三田設置科目	コミュニケーション調査法 ・	春2 / 秋2	伊藤 陽一
三田設置科目	フジテレビ寄附講座 テレビメディア論 ・	春2 / 秋2	石丸省一郎・菅谷 実・他1名未定
日吉設置科目	マス・コミュニケーション論 （法学部併設）	春2	津田正太郎
日吉設置科目	社会心理学 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	萩原 滋

日吉キャンパスに設置されている「基礎演習」の科目（研究生以外は履修不可）についての講義内容等は、メディア・コミュニケーション研究所で配布される案内を参照のこと。

印は朝日新聞寄附講座

印はフジテレビ寄附講座

時事英語 ・
「英文記事で読む世界」 各2単位 春・秋
【日吉設置科目】 蓮実 潔

【授業科目の内容】

直近の外国通信社電や外国紙（主要米国紙）の記事を基本テキストに使い時事英語への理解力を養う。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

文章作法 ・ 各2単位 春・秋
【日吉設置科目】 浜村 寿紀

【授業科目の内容】

作文・小論文のスキルアップを図る。合わせてジャーナリスティックなものの方、考え方を養う。

【教科書】

特に指定しない。講義で使用するパワーポイント資料を配布する。

【参考書】

随時紹介する。

2 体育科目（体育研究所）

体育科目は授業形式と評価方法により以下の4つに分類されます。

履修にあたっては学部ごとに取り扱いが異なりますので、確認の上、申告してください。

体育学講義 半期2単位 「身体」「運動」「健康」等に関する講義 P475～478へ

体育学演習 半期1単位 講義+実習による演習形式の授業 P479～480へ

体育実技A 半期1単位 身体運動を中心にした実技 A～Dの4段階で評価する

1) ウィークリースポーツ： 週1回実施の授業

2) シーズンスポーツ： 夏季・春季休業中の集中授業

体育実技Aの成績評価方法は100点満点のうち、出席点が60点。欠席は1回につき5点減点、遅刻は1回につき3点減点します。評価対象者は全授業回数の2/3以上出席した者です。残りの40点を各授業担当者が技術・態度・理解の観点で配分します。

体育実技B 半期1単位 身体運動を中心にした実技 合否 (pass/fail) の2段階で評価する

3) ウィークリースポーツ： 週1回実施の授業

4) シーズンスポーツ： 夏季・春季休業中の集中授業

ウィークリースポーツの種目には以下のものがあります。

区分	種目別	掲載頁	区分	種目別	掲載頁
球技	1 サッカー(A)	P481	武道・格技	16 フェンシング(A)	P498
	2 フットサル(A)	P482		17 ボクシング(A)	P498
	3 ソフトテニス(A)	P482	個人種目	18 体力アップコース(A)	P499
	4 テニス(A)	P483		19 エアロビクス(A)	P500
	5 卓球(A)	P486		20 ダンス(A)	P501
	6 バドミントン(A)	P487		21 ウォーキングエクササイズ(A)	P501
	7 バスケットボール(A)	P488		22 ジョギング(A)	P502
	8 バレーボール(A/B)	P491		23 ゴルフ(A)	P502
	9 ハンドボール(A)	P493		24 自動車(A)	P503
	10 ソフトボール(A)	P493		25 陸上競技(A)	P503
	11 野球(A)	P494		26 アーチェリー(A)	P504
	12 軟式野球(A)	P495		27 トランポリン(A)	P504
武道・格技	13 合気道(A)	P495	28 ニュースポーツ(A/B)	P504	
	14 柔道(A)	P496	29 フライングディスク(A/B)	P505	
	15 剣道(A)	P496			

シーズンスポーツの種目には以下のものがあります。日数・費用の有無などがそれぞれ異なります。

実施日 (学期)	科目	定員	実施期間	実施場所	初日 集合場所	備考	掲載頁
7・8月 (春)	体育実技A(空手)	40	7/27(金)~8/3(金) 日曜を除く	空手道場(虻谷)	同左 10:00集合		P506
	体育実技A(弓術)	40	7/27(金)~8/3(金) 日曜を除く	志正弓道場(虻谷)	同左 9:00集合	¥500(教本) 初日徴収	P507
	体育実技A(水泳(オープンウ ォータースイミング)合宿)	25	8/2(木)~5(日)	体育会館山合宿所 (千葉県館山市)	同左	¥30,000 交通費除く	P507
	体育実技B(山岳)(合宿)	20	8/2(木)~5(日)	北アルプス表銀座周辺 (長野県)	同左	¥36,000 交通費除く	P507
	体育実技B(馬術)(合宿)	36	8/3(金)~8/6(月)	朝霧乗馬牧場 (静岡県)	日吉キャンパス 8:00集合	¥49,000 交通費含む	P508
	体育実技B(ヨット)(合宿)	40	7/30(月)~8/2(木)	ヨット部合宿所 (神奈川県三浦市)	同左 14:00	¥37,000 交通費除く	P508
	体育実技A(器械体操) (女子は器械体操または新体操)	30	7/27(金)・7/30 (月)~8/4(土)	日吉記念館	同左 15:00		P509
9月 (秋)	体育実技B(ビーチバレー)	30	9/13(木)~20(木) 日曜・祝日を除く	日吉記念館および 湘南サーフビレッジ	日吉記念館 9:00集合	¥2,840 (交通費)	P509
	体育実技B(アウトドア レクリエーション)(合宿)	50	9月上旬の4泊5日	立科山荘(長野県)	同左	¥27,000 交通費除く	P510
2月 (秋)	体育実技B(スキー)(合宿)	120	2/8(金)~11(月)	志賀高原発啼 (長野県)	同左	¥45,000 交通費除く	P510
	体育実技B(スケート)合宿)	40	2/6(水)~9(土)	軽井沢スケート センター(長野県)	スケートセン ターホテル	¥29,000 交通費除く	P511

合宿種目費用納入

納入日時 4月24日(火)~27日(金) 8:45~17:00

納入場所 日吉学事センター総合窓口

(費用が納入期間に間に合わない場合は、窓口で相談してください。)

体育学講義

体育学講義	火曜3限 春
「スポーツの効用を科学的にみる(スポーツ総論)」	
村山 光義	佐々木玲子
近藤 明彦	吉田 泰将

【授業科目の内容】

スポーツは社会の中で文化として多様な姿を持ちますが、その中心は我々が身体活動をする事です。体育・スポーツ活動は、ヒトの身体(こころとからだ)に多くの影響を与えます。本講義はこうした体育・スポーツ活動が我々に与える効用についてオムニバス形式で解説します。身体に関する知識を得るとともに、人文・社会・自然の科学的視点から身体活動実践の現代的意義を考えます。スポーツ実施・指導および教育場面に幅広く役立つ内容(教職や体育会・スポーツサークルのリーダーを目指す人に適切な内容)となるでしょう。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業の中で随時紹介します。

体育学講義	火曜3限 秋
「アウトドアを考える」	
村山 光義	野口 和行

【授業科目の内容】

1999年8月、神奈川県玄倉川の河原でキャンプをしていた人々が大雨による増水に流され、13名もの犠牲者を出す大事故が起きてしまった。また、2004年は台風や地震による自然災害が日本列島を震撼させた。被災地では大自然の中で厳しい避難生活が続いた。こうした事故や災害から我々は何を学ぶべきなのだろう。休日ともなると、思い思いのキャンプ道具や遊び道具を車に積んで、海や山に出かける人々が道路は渋滞している。町に出ればパタゴニアやノースフェイスといったアウトドア・ブランドに身を包んだ人々が闊歩している。こうした現代の「アウトドア文化」は、レジャーであり、スポーツであり、ファッションである。しかし、そこには本来自然の中に生まれ育って来た我々人間が失いかけている何か映し出されているのではないだろうか。ある調査では、都会の人間の7割以上が自然に対して「中にいるとほっとする」「出かけるのが好き」「安らぎの場である」と感じている。アウトドアでの活動が我々に魅力的で有益なものであることも事実である。本講義では「アウトドア」をQuality of Life(生活の質)を高めるライフスタイルのひとつとして享受していく上で、今何をしていくべきかを一緒に考えていきたい。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業の中で随時紹介します。

体育学講義	火曜3限 秋
「アスリートのためのスポーツ科学」	
近藤 明彦	村松 憲
加藤 幸司	

【授業科目の内容】

競技者にとって効果的・合理的なトレーニング計画を立てることは重要な課題です。そしてこの目的を達成するためにはスポーツトレーニングに関する様々な基礎的知識が必要です。この講座では「心・技・体」の三つの観点から効果的なトレーニングを考える上で必要な基本的知識の習得を目指します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

適宜紹介します。

体育学講義	火曜3限 秋
「健康と運動の科学」	
近藤 明彦	齊藤 郁夫
辻岡三南子	和井内由充子
森 正明	

【授業科目の内容】

高度な文明化が達成された現代を生きる我々が健康な生活をおくるために必要な知識を体系的に学んでいく。本講座では、人体の主要な臓器の機能、健康と生活習慣(運動、食事、喫煙、飲酒など)との関連を学び、健康な生活習慣が健康の保持増進に必要なであることを理解する。疾病に関しては、青年期に正確な知識を身につけておくことが特に重要なものを取りあげる。さらには運動が健康とどのように係わるかについて理解する。

【教科書】

指定しない。

体育学講義	木曜4限 春
「スポーツ心理学の世界」	
	近藤 明彦

【授業科目の内容】

20世紀はスポーツが大きく飛躍した世紀でした。そのスポーツの発展とともにスポーツ心理学が誕生し最近急速にその広がりが増えています。運動心理学・体育心理学・スポーツ心理学といった分野から現在ではスポーツの実施と健康の関連が着目され健康運動心理学という新しい領域も広がっています。この授業では、スポーツに関連する様々な心理学の分野からのアプローチを概観し、スポーツ実施に伴う心理的側面で現在どのような知見があるかを学びます。

【教科書】

特に指定しません。

体育学講義	木曜4限 春
「スポーツの技と文化を探る」	
植田 史生	綿田 博人
石手 靖	松田 雅之

〔授業科目の内容〕

スポーツ文化は人類の遺産として21世紀も益々発展するであろう。一方、人間の身体能力によって極められてきた「技」「技術」も、スポーツ文化を形成する重要な構成要素といえる。本講義は、人間のスポーツ技能の獲得や発達を基礎に置き、スポーツ文化を幅広く解説することを目的としている。世界のスポーツ技術やトレーニング方法の最前線、文化的側面からみたスポーツの現状そして、そこから市民スポーツのレベルに応用・示唆されることは何か？スポーツをする者にも見る者にも役立つ講義内容を目指し、4名の担当者のオムニバス形式で、様々な専門種目から話題を提供する。

体育学講義	金曜3限 春
「スポーツと身体（からだ）の基礎理論」	
	吉田 泰将

〔授業科目の内容〕

健康の大切さを実感するのは、その肝心な健康を損なってしまったときでしょう。現代社会において、私達は様々なストレスに曝されながら生活をしています。そこで、本講義では身体のメカニズムやスポーツ・トレーニングの基礎知識を学習することにより、「心身の状態を常に良好に保つ」方法を身につけることを目的とします。日々の生活をいかに送っていくのか、どのように生活をプログラムしていくのか、一緒に考えて行きましょう。

体育学講義	金曜3限 秋
「現代社会とスポーツ」	
	加藤 大仁

〔授業科目の内容〕

本来スポーツ活動は、私的な領域に属するものであり、公的な機関が介入すべきではないと論じられることが多い。しかし現実には、スポーツは社会の中に制度化されており、政治と全く無関係には存在しえない。

そこで、本講義では、主としてスポーツと政治の関係や、スポーツを通じて垣間見られる現代社会の問題点について、具体例を示しながら解説する。

〔教科書〕

特に指定しない。適宜講義資料プリントを配布する。

体育学演習

体育学演習 火曜3限 春
「自然体験活動演習（体験から学ぶ）」
野口 和行

【授業科目の内容】

近年、夏休み等を利用した自然体験を中心としたキャンプ等の活動が各所で行われるようになり、ボランティアとして子供のキャンプ等に参加する学生も増えている。そこで、さまざまな自然体験活動にボランティアとして参加したいと考えている学生を対象に、自然体験活動に関する知識、技術、対人関係トレーニング等を学び、夏休みに行われるキャンプにボランティアとして参加し、OJT（on the job training）を行う。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

体育学演習 水曜4限 春
「アスレチックトレーニング演習」
山内 賢 西村 忍

【授業科目の内容】

「アスレチックトレーニング演習」では、多くの学生がこれから経験する可能性のある学校教育現場やレクリエーションスポーツ現場などで発生する損傷や疾病に対する予防法や心肺蘇生法を含む応急処置法に関する基礎知識を身に付けることを目標として授業を展開していきます。また体を鍛えるために必要なスポーツ栄養学やトレーニング方法論に関する内容についても指導を行う予定である。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習 水曜4限 秋
「ライフセービング（救急法の基礎）」
山内 賢 西村 忍

【授業科目の内容】

事故に出あったり、怪我をしてしまった場合、その直後の処置がとても大切です。この授業の目的は、第一に「事故防止」の考え方を身につけてもらうこと。第二に緊急時に備え、各種の処置を実際に身につけることにあります。いつ、どこで、どのような事故にあったとしても、医師に患者を手渡すまでに落ち着いて適切な処置ができるような理論と対処の方法について、実技を伴い学んでもらいます。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習 木曜4限 秋
「スポーツメンタルトレーニング」
近藤 明彦

【授業科目の内容】

スポーツにおけるメンタルトレーニングの重要性が指摘されている。この講義では体力のトレーニングや技術の練習との係わりを基本に現在行われているメンタルトレーニング技法の理論と実際について学ぶことを目的とする。

【教科書】

指定しない。

体育学演習 木曜4限 秋
「からだの動きをはかる（バイオメカニクス）」
佐々木 玲子 村山 光義
村松 憲

【授業科目の内容】

人間の動きやスポーツの動作をバイオメカニクスの手法を用いて測り、分析することによって、定量的、客観的にながめてみます。本年度は、動作中のビデオ撮影および筋の活動状態を記録し、それらを分析することによってその運動の特徴を探ります。自分たちが興味のある動きをとりあげ、実際に自分たちをモデルとして測り、分析してみます。

私たちはどのように身体を使って動いているのか、巧い人の動きはどうなっているのか、動きのコツは何か、といったことにデータの分析から迫っていきます。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業内で適宜紹介します。

体育実技A/B(ウィークリー・スポーツ)

ウィークリー・スポーツ【球技】

体育実技A（サッカー）

月曜1限・2限・3限春、月曜1限・2限秋
（初心者・経験者を問わず） 野々村 芳和

【授業の目的】

サッカーをプレーする事の楽しさとともに、新たなサッカーの魅力を発見する。

【実施場所】

春：陸上競技場、秋：下田グラウンド

【服装・携帯品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A（サッカー）

火曜1限・2限・3限春、木曜3限春
（初心者・経験者を問わず） 須田 芳正

【授業の目的】

世界のスポーツであるサッカーの魅力、楽しさを体験するとともに、競技力向上を目指すことを目的とする。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携帯品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A（サッカー）

火曜1限・2限秋、木曜1限・2限
（初心者・経験者を問わず） 吉岡 宏

【授業の目的】

サッカーに必要な技術、戦術を学び、競技スポーツのレベルを高める。また、コミュニケーション能力の向上、問題解決能力の向上を目指し、生涯スポーツにつながるサッカーの魅力を学ぶ。

【実施場所】

春：陸上競技場、秋：下田グラウンド

【服装・携帯品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A（サッカー） 水曜1限・2限、金曜1限・2限
（上級・中級・初級など） 李 宇諤

【授業の目的】

チームスポーツであるサッカーを通してコミュニケーションを理解する。生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでいけるように、基本的な技術及び戦術を習得する。

【実施場所】

水曜日春学期は陸上競技場、秋学期は下田グラウンド。
金曜日は春学期秋学期ともに下田グラウンド。

【服装・携行品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A（フットサル）
（初級者）

月曜1限
大嶽 真人

【授業の目的】

フットサルに必要とされる基本技術の習得、コミュニケーションを通じてのチームワークの獲得を目指し、フットサルを生涯スポーツとして身につけることを目的とする。

【実施場所】

記念館

【服装・携帯品・その他】

フットサルのできる服装。シューズは室内用でゴム底が黒くないもの。

体育実技A（フットサル）

月曜2限・3限
大嶽 真人

【授業の目的】

フットサルの必要とされる基本技術と基本戦術の習得、コミュニケーションを通じてチームワークの獲得を目指し、フットサルの特性を理解すること、生涯スポーツとして身につけることを目的とする。

【実施場所】

記念館

【服装・携帯品・その他】

フットサルのできる服装。シューズは室内用でゴム底が黒くないもの。

体育実技A（ソフトテニス）

木曜2限
濱名 邦雄

【授業の目的】

日本で生まれ、現在国際化が進展し、アジア大会の正式種目ともなっている、ソフトテニスの楽しさを、授業で体験し、生涯スポーツとして実践して行く動機（きっかけ）作りを行う。

【実施場所】

日吉下田地区 体育会ソフトテニス部コート

【服装・携行品・その他】

運動可能な服装・テニスシューズ・ラケット（用意有り）

体育実技A（テニス） 月曜1限（初級）・2限（中級）
加藤 大雄

【授業の目的】

生涯スポーツとしてのテニスの基本的技術と、ルールの習得。

【実施場所】

鵜谷インドアテニスコート（更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。）

〔**服装・携行品・その他**〕

テニスラケット、テニスシューズ、運動ができるウェア

体育実技A(テニス) 月曜3限、木曜2限・3限
(中級) 手島 智佳子

〔**授業の目的**〕

テニス技術の向上並びに試合での戦術。

〔**実施場所**〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔**服装・携行品・その他**〕

- ・運動の出来る服装(出来ればテニスウェアが望ましい)
- ・テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)
- ・テニスラケット

体育実技A(テニス) 月曜4限
(初級) 手島 智佳子

〔**授業の目的**〕

テニス技術の向上

〔**実施場所**〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔**服装・携行品・その他**〕

- ・運動の出来る服装(出来ればテニスウェアが望ましい)
- ・テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)
- ・テニスラケット

体育実技A(テニス) 火曜3限、木曜1限
(初級) 竹村 りょうこ

〔**授業の目的**〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔**実施場所**〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい)

〔**服装・携行品・その他**〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ(ハードまたはオールコート用)

体育実技A(テニス) 火曜1限
(中級) 竹村 りょうこ

〔**授業の目的**〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔**実施場所**〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい)

〔**服装・携行品・その他**〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ(ハードまたはオールコート用)

体育実技A(テニス) 火曜2限
(上級) 竹村 りょうこ

〔**授業の目的**〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心技体の向上

〔**実施場所**〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい)

〔**服装・携行品・その他**〕

硬式テニスラケット、テニスシューズ(ハードまたはオールコート用)

体育実技A(テニス) 水曜1限
(中級) 松本 健太郎

〔**授業の目的**〕

テニスの基礎的な技能を習得する。打球技術を向上し、実際にゲームに応用できるレベルを目指す。また、生涯スポーツの一つとしてテニスを楽しめるようにルール、マナーや歴史を理解し、定期的に運動を行う習慣を身につけるとともに体力の向上と健康の増進を図る。

〔**実施場所**〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔**服装・携行品・その他**〕

ラケット、シューズは各自で準備する。(テニスシューズはハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス) 水曜2限・3限
(初級) 松本 健太郎

〔**授業の目的**〕

テニスの基礎的な技能を習得し、楽しくゲームを行えるレベルを目指す。生涯スポーツの一つとしてテニスを楽しめるようにルール、マナーや歴史を理解し、定期的に運動を行う習慣を身につけるとともに体力の向上と健康の増進を図る。

〔**実施場所**〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔**服装・携行品・その他**〕

ラケット、シューズは各自で準備する。(テニスシューズはハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス) 金曜1限
(中級) 村松 憲

〔**授業の目的**〕

試合を楽しむために役立つ技術・戦術・エチケット・ルールを身につけましょう。他の参加者と積極的にコミュニケーションをとりましょう。

〔**実施場所**〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を日吉記念館で行い、

荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携帯品・その他〕

テニスシューズ（ハードコート用またはオールコート用）・テニスラケット・運動に適した服装（シューズ、ラケットの貸し出しはありません）

体育実技A（テニス）

金曜2限・3限(2限と3限とで雨天時の対応が異なります!)
(初級) 村松 憲

〔授業の目的〕

テニスを楽しむために必要な技術・エチケット・ルールを身につけましょう。他の参加者と積極的にコミュニケーションをとりましょう。

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート(更衣を日吉記念館で行い、荷物を全て持ってコートに来て下さい。)

〔服装・携帯品・その他〕

テニスシューズ（ハードコート用またはオールコート用）・テニスラケット・運動に適した服装（シューズ、ラケットの貸し出しはありません）

体育実技A（卓球） 月曜2限・3限、金曜2限
松田 雅之

〔授業の目的〕

手軽に楽しめる卓球の特性を活かし、それぞれのレベルにあった技術の向上とゲームの展開を目的とする。

〔実施場所〕

体育館卓球場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・室内シューズ・ラケット(持っている人は持参)

体育実技A（卓球） 火曜2限・3限、木曜2限・3限
吉田 武

〔授業の目的〕

1. 卓球の楽しさの体験、基礎知識と技術の習得
2. スポーツによる健康づくり
3. 授業の中での級友とのコミュニケーション

〔実施場所〕

蝮谷仮設卓球場

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる軽装、室内用運動靴、タオル

体育実技A（バドミントン） 月曜1限、金曜1限・3限
加藤 幸司

〔授業の目的〕

バドミントンの基礎技術を身につけ、ゲームを楽しむ。また審判法も学ぶ。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを必ず用意すること。
裸足での授業参加は認めない。

体育実技A（バドミントン） 月曜2限、金曜2限
(中・上級者：競技としてのバドミントン経験者)
加藤 幸司

〔授業の目的〕

バドミントンの技術を再確認しながら、技能を向上させ、より高いレベルでゲームを楽しめるようにする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを必ず用意し、自分のラケットを使うこと。

体育実技A（バドミントン） 木曜1限・2限・3限
(初心者) 平井 克英

〔授業の目的〕

【気軽に楽しめるバドミントン】

バドミントンの基礎知識と基本ストロークの技術を習得し、審判方法とルールを理解する。又、試合を通して、生涯スポーツ、社会体育、ファミリースポーツとしてのバドミントンの本来の楽しさも学ぶことを目的とする。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

屋内シューズとスポーツ出来る服装

体育実技A（バスケットボール） 月曜1限・2限・3限
木村 和宏

〔授業の目的〕

バスケットボールは、「走・跳・投」と運動の三原則がバランスよく使われるスポーツである。

このスポーツを通じて基礎体力の向上を図ると同時に、基本的な技術・戦術の理解・習得を目標とする。あらゆるレベルの学生の履修を認めるが、主として初心者の学生をターゲットとした授業内容となっている。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携帯品・その他〕

服装は原則としてスポーツのできる服装であること。シューズは上履き必携のこと。できればバスケットシューズやテニスシューズなどのシューズ底が厚いものが望ましい。

体育実技A（バスケットボール） 火曜1限、金曜3限
(経験を問わない) 山内 賢

〔授業の目的〕

バスケットボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、バスケットボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、止まる、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、バスケットボールの楽しさを学んでもらう。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

運動のできる服装、タオル、室内シューズ(土足厳禁)、水分・栄養補給用のドリンク類、(ただし、記念館フロア内での飲食厳禁、スタンド内は可。)

体育実技A(バスケットボール)

火曜2限・3限、水曜1限・2限、金曜1限・2限
加藤 大仁

【授業の目的】

バスケットボールを通じて基礎体力の向上を図ると同時に、基本的な技術・戦術の理解・習得を目標とする。初級者から経験者まで、あらゆるレベルの学生の履修を認めるが、主として体育の授業以外ではバスケットボールに取り組んだことのない学生を念頭においた授業内容となっている。

【実施場所】

記念館

体育実技A(バスケットボール)

水曜3限
(経験者コース) 加藤 大仁

【授業の目的】

基礎体力の向上を図ると同時に、基本的なMan Offense/Man Defenseの考え方やプレーの習得を目指す。対象は小・中・高の何れかの時期にクラブ活動や愛好会活動を通じてバスケットボールに取り組んだことのある学生とする。

【実施場所】

記念館

体育実技A(バスケットボール)

木曜1限・3限
(全レベル対象) 木塚 孝幸

【授業の目的】

この授業は、初心者から経験者までの全レベルの学生を対象とする。体力の向上とバスケットボールの技術の習得を図りながら、ゲームを通してバスケットボールを楽しむことを目的とする。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

運動のできる服装、室内シューズを準備すること。

体育実技A(バスケットボール)

(経験者対象) 木曜2限
木塚 孝幸

【授業の目的】

この授業は、中・高いいずれかでクラブ活動を通じてバスケットボールを経験した学生を対象とする。5人で協力して攻守することを目標に、体力、技術の向上を図り、毎時限実施されるゲームの内容(レベル)を上げていく。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

運動のできる服装、バスケットシューズを準備すること。

体育実技B(バレーボール)

月曜3限・4限、火曜1限・2限・3限
石手 靖

【授業の目的】

バレーボールの技術向上

【実施場所】

記念館(火1・2・3)及び 第3校舎下バレーボールコート(月3・4)

【服装・携行品・その他】

スポーツウェア及びシューズ

体育実技A(バレーボール)

水曜1限
野口 和行

【授業の目的】

チームスポーツであるバレーボールの実践を通して、個々の技術レベルに応じた役割分担をしながら、相互のコミュニケーションを促進する。

【実施場所】

記念館

【服装・携行品・その他】

運動できる服装・屋内シューズ

体育実技A(バレーボール)

水曜2限
村山 光義

【授業の目的】

バレーボール実践における技能向上と戦術の理解を通じてバレーボール競技を理解するとともに、リーダーシップとメンバーシップを発揮したコミュニケーション能力を養う。

【実施場所】

第3校舎下 バレーボールコート

【服装・携行品・その他】

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技B（バレーボール） 水曜3限
村山 光義

〔授業の目的〕

バレーボールゲームを用いてメンバー相互のコミュニケーションを深め、その過程における自己表現・リーダー/メンバーシップ等を発揮し合うグループワークを実践する。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（必須）

体育実技A（バレーボール） 木曜2限・3限・4限
山田 美絵子

〔授業の目的〕

ボールを落とさなければ相手に得点を与えないですむという「バレーボール」の種目特性を活かしコミュニケーションをとりながら、ボールを落とさぬようカバーリングし、個人の技術の向上と集団での知識と技能の習得をねらいとする。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

「バレーボール」を行うのに相応しい服装（ジャージ、Tシャツ、短パン等）、シューズ（紐のついたものがよい）、タオル等（サングラス、帽子も可）

体育実技A（バレーボール） 金曜2限・3限
（初心者から経験者まで可） 山村 貴映

〔授業の目的〕

バレーボールという種目を通し、基本技術の習得・チーム編成およびゲーム展開をみんなで力を合わせ実行する経験の中で、周囲の意見と自己主張とのバランスを図りながら、技能の上達およびコミュニケーションをすることの重要性を認識してもらうことを目的とする。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携帯品・その他〕

屋外でバレーボールができる服装及びシューズ

体育実技A（ハンドボール） 水曜2限・3限
（経験を問わない） 山内 賢

〔授業の目的〕

ハンドボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、ハンドボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、ハンドボールの楽しさを

学んでもらう。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ（土足厳禁）水分・栄養補給用のドリンク類、（ただし、記念館フロア内での飲食厳禁、スタンド内は可。）

体育実技A（ソフトボール）
（問わず） 水曜1限・2限・3限 春、水曜1限・2限 秋
望月 康司

〔授業の目的〕

ソフトボールの基本的な技術・知識を習得するとともに、スポーツの楽しさを実感し、生涯スポーツの足がかりおよび集団の中での協調性を養うことを目的とする。

〔実施場所〕

春学期：陸上競技場 秋学期：矢上グラウンド

〔服装・携帯品・その他〕

運動に適した服装およびシューズを持参すること

体育実技A（ソフトボール）
金曜1限・2限・3限 春、金曜1限・2限 秋
石渡 千草

〔授業の目的〕

ソフトボールの基本技術（投球法、打撃法、守備法、走塁法など）を習得し、ゲームを中心とする実践練習にて、ゲームの進め方、ルールを学習する。また、ソフトボールを通して、スポーツに取り組む楽しさや社会性を学び、自主性や協調性の態度を身につける。

〔実施場所〕

春学期 陸上競技場、秋学期 矢上グラウンド

〔服装・携帯品・その他〕

運動のできる服装、運動靴を使用すること

体育実技A（野球） 月曜2限
（初心者） 綿田 博人

〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム又はトレーニングウェア・帽子・グラブ・アップシューズ

体育実技A（野球） 月曜3限
（経験者） 綿田 博人

〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム、又はトレーニングウェア・帽子・アップシューズ・グラブ

体育実技A(野球)
(初心者)

火曜2限
菊地 啓太

〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることが目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォームまたはトレーニングウェア、帽子、グラブ、アップシューズ

体育実技A(野球)
(経験者)

火曜3限
菊地 啓太

〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

〔実施場所〕

下田野球場

〔服装・携行品・その他〕

ユニフォームまたはトレーニングウェア、帽子、グラブ、アップシューズ

体育実技A(軟式野球)

木曜3限
小松 恭三

〔授業の目的〕

野球の基本技術及びチームプレイの習得を通じて、チームにおける個人の役割を認識し、野球の技術的向上を実践し、共同作業における人との関係を学ぶこと。また、生涯を通じて軟式野球にかかわり楽しんで貰うことを目的とする。

〔実施場所〕

日吉台野球場(蝮谷)

〔服装・携行品・その他〕

野球用ユニフォームが望ましいがトレーナー等の運動着でも可。野球用スパイクが望ましいが、運動靴でも可。グローブ、帽子、タオル、夏季のスポーツドリンクは持参のこと。

ウィークリー・スポーツ【武道・格技】

体育実技A(合気道)

水曜4限
藤平 信一

〔授業の目的〕

合気道の実技を通して、心と身体からだの正しい使い方しん(心

しんとういつ

身統一)を習得する。

心身統一を日常生活で活用できるように習得する。

大切な場面での心の落ち着きを習得する。危険に対する察知と対応を習得する。

〔実施場所〕

蝮谷合気道場

〔服装・携行品・その他〕

道着は貸与・Tシャツ(女子のみ)・タオル(汗をふくため)・道着を持ち運ぶバッグ、等。

体育実技A(柔道)

水曜3限、金曜2限・3限
(初心者、経験者を問わない：男女共習) 安藤 勝英

〔授業の目的〕

柔道を通して技術、体力の向上を図り、これから生涯スポーツとして取り組むことの出来るよう行う。中でも礼法、受身、正しい技の掛け方等をより深く解説する。また、見る柔道の立場から、国際、国内ルールを説明する。更に、昇段希望者にはこの授業の中で実施指導する。

〔実施場所〕

体育館柔道場

〔服装・携行品・その他〕

柔道着(希望者には貸与する)・タオル・Tシャツ(女子のみ)

体育実技A(剣道)

火曜2限、木曜2限・3限 秋
(初心者から有段者まで) 吉田 泰将

〔授業の目的〕

剣道をはじめて行うものから、有段者まですべてのレベルを対象に、初心者は一級に、有段者はさらにひとつ上の段に挑戦するために、基本的な技術、知識、日本剣道形を学習します。それぞれのレベルの人が協力して、クラス全体の実力アップを図りましょう。そして、生涯を通じて実践できる剣道をしっかりと身につけましょう。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着・袴(運動に相應しい服装も可)・手ぬぐい
剣道着(防具)・竹刀は準備しています。

体育実技A(剣道)

水曜2限・3限
(経験を問わないクラス) 植田 史生

〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え(心構え、身構え)から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、このクラスにおいては上級者、初級者に分け技術レベルに応じて正しい剣道を学習する。上級者は初級者への指導法も含め技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具、竹刀、剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の人は、運動できる服装とし、防具、竹刀は貸与する。手ぬぐいは全員持参する事。

体育実技A（剣道 日本剣道形クラス） 金曜2限
（経験は問わない） 植田 史生

〔授業の目的〕

日本剣道形は、大正元年（1912年）10月に制定、大正6年（1917年）9月に加注を行い、昭和8年（1933年）5月に加注を増補した。現在は全てこれを定本として実施している。打太刀（うちだち）仕太刀（しだち）の二名によって実施され、「太刀の形」が七本、「小太刀の形」が三本、計十本の技によって構成されている。この剣道形を学習する事により、

1. 正しい打突の筋を知る。
2. 正しい打撃の間合いを知る。
3. 正しい身体のさばきを知る。
4. 気位が養われる。

これらの事を体得でき、現代剣道に果たす役割は大きいと考える。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の人は、運動できる服装とし、木刀、形用模擬刀は貸与する。

体育実技A（剣道） 金曜3限
（有段者クラス） 植田 史生

〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え（心構え、身構え）から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である、この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげていくことを目的とする。また、各自ひとつ上の段（全日本剣道連盟）の昇段を各自の目標とし、技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。（試合や審判技術等の理解と実践。日本剣道形や古文書を通し、より深い知識を学習する。）

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具、竹刀、剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の人は、運動できる服装とし、防具、竹刀は貸与する。手ぬぐいは全員持参する事。

体育実技A（フェンシング） 木曜2限
（初級から上級まで） 田中 由美子

〔授業の目的〕

ヨーロッパに起源をもち、発達してきたフェンシングの基本技術を習得し、試合形式の練習でさらに興味を深めていく。

〔実施場所〕

蝮谷フェンシング場

〔服装・携帯品・その他〕

トレーニングウェア（下は必ず長ズボン）、ハイソックス、シューズ（滑りにくいもの）

体育実技A（ボクシング） 金曜3限・4限
（初心者～上級） 島田桂太郎

〔授業の目的〕

ボクシング基本実技の習得・体験

〔実施場所〕

蝮谷ボクシング道場

〔服装・携行品・その他〕

運動着・室内用シューズ・バンテージ又は軍手

ウィークリー・スポーツ【個人種目】

体育実技A（体力UPコース） 月曜2限、木曜2限・3限
牛山 潤一

〔授業の目的〕

基礎的なトレーニングを通じて、人間の身体の構造・機能を理解するとともに、個々の目的に即した正しいトレーニングプランを考案・実践すること。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携帯品・その他〕

運動に適した服装ならびに靴を持参すること

体育実技A（体力UPコース） 月曜3限、火曜2限・3限、金曜2限
山内 賢

〔授業の目的〕

この授業は、トレーニングの理論を基に、人間の体力を構成する筋力、パワー、柔軟性、持久力等をバランスよく鍛え、同時にトレーニングによる効果や体組成（体内脂肪量）の変化を自己観察するための授業である。この授業の目的は、自己の健康関連体力を観察し、その体力の向上と改善を個々のペースで管理するボディビルディングとコンディショニングのすすめにある。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、タオル、室内シューズ（土足厳禁）、水分・栄養補給用のドリンク類、サプリメント（ただし、ルーム内での飲食厳禁）

体育実技A(体力UPコース) 水曜2限、金曜3限
西村 忍

〔授業の目的〕

体を鍛える為のトレーニングの授業ではなく、一生涯を通じて健康維持・増進する方法論として体と知を育む授業を目的とする。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携帯品・その他〕

運動着、インシューズ(土足厳禁)、タオル、ドリンク(ルーム内での飲食は禁止)

体育実技A(体力UPコース) 水曜3限
近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、この講座ではレジスタンストレーニングマシンを用いた筋力のトレーニング、エアロバイクを用いた持久力のトレーニングそして、いつでもどこでも出来る自分の体重を負荷としたトレーニングを行うことにより、運動を継続的に行うことの重要性を理解するとともに、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、室内用運動靴、タオル

体育実技A(エアロピクス) 月曜2限・3限、火曜2限・3限、水曜4限
奥山 静代

〔授業の目的〕

エアロピクスについての基礎知識や基本的なステップを習得しながら、エアロピクス(有酸素運動)の特性を理解し、総合的な体力・健康づくりのための基礎を学びます。自らの健康の維持・増進のために、音楽に合わせて安全で楽しいエクササイズを実践し、身体を動かすことの楽しさを実感することを目的とします。

〔実施場所〕

記念館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

運動着に着替えて、室内シューズを持参して授業に出席してください。また、水分補給は各自で行えるように用意してください。

体育実技A(エアロピクス) 水曜2限・3限、金曜2限・3限
佐々木 玲子

〔授業の目的〕

日常生活を円滑に行うための体力向上を目指すとともに

に、シェイプアップも含めた総合的な身体づくりのための基礎を学び実践します。エアロビックダンスエクササイズを中心に行いますが、ストレッチング、リラクゼーション、筋コンディショニングエクササイズも取り入れ、広く身体についての理解を深めながら、身体を動かすことの楽しさを実感することを目指します。スポーツ・運動を通じて健康な生活をエンジョイしましょう。

〔実施場所〕

記念館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

運動着、室内用シューズは必須。水分補給のための飲料は適宜用意してください。

体育実技A(ダンス) 木曜2限・3限
篠原 しげ子

〔授業の目的〕

姿勢を正しく保ち、種目ごとの特徴を理解し、動けるようになる。

相手の動きも理解して、協力して動けるようになる。

〔実施場所〕

記念館エクササイズスタジオ

〔服装・携帯品・その他〕

動きやすい服装・ソックス(ダンスシューズは用意しなくてよい)

定員 男性10名・女性10名

体育実技A(ウォーキング・エクササイズ)火曜2限、水曜2限、木曜2限

近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、その予防・改善を目的とした有酸素運動としてのウォーキングの実践を通し、継続的な運動の実施および様々な生活習慣が健康にどのような影響を与えるかについて理解を深める。この授業では単に「歩けば健康になる」ということを強調するのみではなく、歩くことから派生する様々な文化的事象をも取り上げウォーキングへの興味を高めることを意図する。体力レベルが低い、あるいは技術系のスポーツ種目が不得意な者でも取り組みやすい種目である。誰でも出来るウォーキングの楽しみ方を理解し、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

陸上競技場・日吉周辺

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、靴、タオル、帽子

体育実技A(ジョギング) 木曜3限秋、金曜3限
松田 雅之

〔授業の目的〕

歩行・ジョギング・ランニングへと基本的な正しい走り方を学び、有酸素的能力の向上を図る。野外走などを

通じ、ジョギングの効用や楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場ほか

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ジョギングシューズ

体育実技A（ゴルフ） 火曜2限・3限、木曜2限・3限

綿田 博人

〔授業の目的〕

ゴルフの基本動作、打ち方を習得し、またゴルフのマナーを知ることとする。

〔実施場所〕

梅里カントリークラブ

〔服装・携行品・その他〕

ゴルフスラックス、ポロシャツ又はトレーニングウェア・アップシューズ

体育実技A（ゴルフ） 金曜2限・3限
（初級、上級いずれも可）

勝又 正浩

〔授業の目的〕

- ・スポーツとしてのゴルフを通じ体力の向上、技術、マナーを習得する。
- ・ゴルフ初心者の方々をコースラウンドが出来るレベルに向上させる。
- ・既にゴルフに取り組んでいる中・上級者を更にもう一段上のレベルに引き上げる。
- ・ゴルフ本来の楽しさを学ぶことにより、幅広い人間関係が構築できるように図る。

〔実施場所〕

体育会ゴルフ部練習場（矢上下）

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装、運動靴（ゴルフスパイクは不可）、練習用クラブ数本、ゴルフグローブ

体育実技A（自動車） 水曜1限春、水曜2限春・秋、水曜3限秋
（初級（普通自動車運転免許のない方）各時限とも同じ）

松山 保幸

〔授業の目的〕

自動車運転の基本操作に不可欠な知識と操作技術の習得。普通運転免許取得希望者が、正確な操作手順を身に付け、安全性への高い配慮ができるようになることを到達点とします。

〔実施場所〕

日吉宮崎台 自動車部専用練習場（塾高等学校グラウンド裏）

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴（かかとの高い靴、サンダルは運転安全性の面で問題があるため避けて下さい）

体育実技A（陸上競技） 木曜3限 春
松田 雅之

〔授業の目的〕

陸上競技に限らず、様々なスポーツに役立つ正しいランニングフォームを身に付ける。走・跳・投の各種目を通じて、陸上競技の楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ランニングシューズ・スパイク（ある者のみ）

体育実技A（アーチェリー） 月曜2限・3限
川西 大介

〔授業の目的〕

- ・スポーツ経験の少ない者も基礎練習から技術向上のための工夫を通じてスポーツの面白さを体験する。
- ・個人の身体能力に関わらず、学習し努力すれば達成できる体験を得る。
- ・的の中の向上という目に見える結果に向かって集中力を養う。
- ・生涯スポーツへの取り組みのきっかけとする。

〔実施場所〕

日吉台洋弓場（蝮谷東側の丘の上にある高校野球場隣＝慶應義塾Webの日吉台野球場西側）

〔服装・携行品・その他〕

上衣：運動に適したもので、特に腕、胸や首の周囲がだぶつかないもの。

下衣：スカートでの参加は認めません。

靴：ゴム底の運動靴・トレッキングシューズ等のランニングも可能なスポーツシューズ以外での参加は認めません。

服装や態度が不適で、安全の確保ができないと講師が判断した場合は受講を認めません。

着替えが必要な者は、予め記念館内の更衣室を利用して下さい。

体育実技A（トランポリン） 月曜3限・4限
（初心者向け） 菊池 秀悦

〔授業の目的〕

トランポリン運動を安全に楽しく行い、基本的な技術を習得する。

〔実施場所〕

記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装。（詳細はガイダンスで説明します）

体育実技A(ニュースポーツ) 火曜2限
野口 和行

〔授業の目的〕

1. 一般的に「ニュースポーツ」と呼ばれるレクリエーショナルなスポーツを取り上げ、幅広いスポーツ文化を体験する。
2. スポーツの実践を通して、仲間とのコミュニケーションを図り、生涯にわたってスポーツを楽しむ心を養う。

〔実施場所〕

陸上競技場(春) 矢上グラウンド(秋)

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技B(ニュースポーツ) 木曜1限
村山 光義

〔授業の目的〕

世界の様々なスポーツ文化・人間の遊びの文化を体験し理解する。スポーツ文化の歴史から、遊ぶ人間「ホモ・ルーデンス」を理解するとともに、スポーツ(遊び)の将来を考える。

〔実施場所〕

春学期:陸上競技場

秋学期:理工学部矢上グラウンド

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技B(フライングディスク) 月曜2限
野口 和行

〔授業の目的〕

フライングディスクは通称「フリスビー」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称です。ディスクは大きなカーブも長い滞空時間もスローイング次第で自由自在、人間が自力で最も遠くに投げられる物体のひとつです。この授業ではそのような特性を持ったディスクを使用した競技を紹介しながら、公園や海岸でも気軽に楽しむことのできるフライングディスクの楽しさを体感してもらいたいと思っています。

〔実施場所〕

陸上競技場(春) 下田サッカー場(秋)

〔服装・携帯品・その他〕

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技A(フライングディスク) 木曜2限
村山 光義

〔授業の目的〕

FLYING DISCとは通称「フリスビー」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称で、数多くの専門競技があります。本授業は、こうしたFLYING DISCの専門競技の

紹介と実践をし「空中を浮遊するDISCを本能的に追いかける人間の営み」を通じて新たなスポーツ文化を吸収することをねらいとしています。DISCの最大の特徴は世界記録で200mを越す飛距離と円盤特性による曲進性・滞空性です。DISCを遠くへ、思う所へ投げることはとても難しく、投げ方も一通りではありません。このスポーツを楽しむ重要な要素が、投げる技術の獲得です。従って、技能向上も重要な目的として授業を展開します。

〔実施場所〕

春学期:陸上競技場

秋学期:理工学部矢上グラウンド

〔服装・携帯品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技A/B(シーズン・スポーツ)

体育実技A(空手)

蓮池 敬一郎

〔実施期間〕

7月27日(金)~8月3日(金)日曜を除く7日間

〔開始時間〕

午前10時

〔実施場所〕

蟻谷道場

〔定員〕

40名(男女共習)

〔目的〕

空手の基本(立ち方、突き、蹴り)を実につける。また、希望選択によって組手あるいは形を実施。

〔授業内容〕

1日目(基本)立ち方、突き、蹴り

2日目 1日目と同じ。形希望と組み手希望に分ける。

3日目~6日目

基本練習後、グループに分かれ各々の種目の練習。

形...平安初段(初心者用)の順番・意味・技の実践を通じてマスターする

組み手...突き、蹴りの攻撃技を実践し、徐々にバツグなどを突き、蹴りし、相手をつけて1対1でその技を試してみる。(寸止め)

7日目 基本練習後、各自順番に披露。

形...平安初段演武

形...1対1の試合

〔服装携帯品等〕

空手着を貸すことが原則ではあるが、不足の場合は運動しやすい服装(Tシャツ、長ズボン)。空手着着用の場合、女子は空手着の下にTシャツ。

体育実技A(弓術)

蓮池 敬一郎

〔実施期間〕

7月27日(金)~8月3日(金)日曜を除く7日間

〔開始時間〕

午前9時

〔実施場所〕

蝮谷 志正弓道場

〔定員〕

40名(男女共習)

〔費用〕

500円(交通費を除く)初日徴収

〔費用内訳〕

教本、下ガケ代 7月27日(金)に徴収します。

〔目的〕

正射必中の射の技術を習得すると共に、道場における礼儀作法、射場における体配(立ち居振る舞い)を学び慶應弓術を理解してもらう。

〔授業内容〕

(未経験者)

初日 射法説明、イメージトレーニング
 2日目~3日目 イメージ、ゴム弓、巻藁
 4日目~6日目 巻藁、的前
 7日目 班を編成し対抗戦を行う。

(経験者)

初日 射法説明、ゴム弓、巻藁
 2日目~6日目 巻藁、レベルをみでの前練習
 7日目 班を編成し対抗戦を行う。

〔服装携帯品等〕

前にボタンの無い服装(Tシャツが望ましい)、ピアス、時計、アクセサリ類は外す。熱中症対策の飲料。

体育実技A(水泳)

(海洋体験 - Open Water Swimming)

鷲見 全弘

〔実施期間〕

8月2日(木)~5日(日)(合宿)

〔実施場所〕

体育会館山合宿所(千葉県館山市)

〔定員〕

25名(男女共習、ただし種目を問わず50m以上泳げること)

〔費用〕

30,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費(民宿泊)、食費、保険料、教本代、スイムキャップ代、その他

〔目的〕

海、川、湖などの自然環境での水泳をオープンウォータースイミングという。四方を海で囲まれた日本の自然環境を理解するとともに、大自然に親しみながら、海洋

体験の楽しさを知り、レベルに応じた泳力を身につけることを目的とする。

〔授業内容〕

レベル (初級者)

- ・海で安全に活動するために必要な、基本的な最低限の泳力を身につける
- ・合宿所前海岸での練習中心

レベル (中・上級者)

- ・効率の良い泳ぎ方や進路のとり方など、海での活動に欠かせない泳力・技術を身につける
- ・合宿所前海岸での練習から入り、海に慣れたら合宿所前の海岸と隣の海岸の間の岸沿いで練習

レベル ・ 共通

- ・シーカヤックおよびシュノーケリングの体験
- ・状況が常に変化する海という環境における自己保全能力(適応能力)の習得

*レベルを問わず、海での練習では3人でパディを組み常に安全確認を行う

*最終日にレベルに応じた距離でオープンウォータースイミングを行う

*海岸間での練習や集団泳には手漕ぎボートまたはレスキュー艇が伴走する

1日目午後 開講式(ガイダンス)、レベル分けテストおよび試泳

2日目 水泳およびシーカヤック体験

3日目午後 遠征およびシュノーケリング体験

4日目 レベルに応じた距離でオープンウォータースイミング体験

〔服装携帯品等〕

日常衣類、水着、水泳用ゴーグル、水中メガネ、シュノーケルほか、詳しくはオリエンテーションで説明する。

体育実技B(山岳)

丸 誠一郎

〔実施期間〕

トレーニング、気象・医療・地形勉強会:7月初旬

最終準備会:7月30日(月)

山行 :8月2日(木)~5日(日)(合宿)(3泊4日)

〔実施場所〕

北アルプス表銀座周辺(燕岳から蝶ヶ岳)

〔定員〕

20名(男女共習)

〔費用〕

36,000円(交通費の一部:東京から穂高のJR運賃等を除く)

〔費用内訳〕

宿泊・食費:30,000円、輸送費:4,500円、保険料:1,100円、雑費:400円

〔目的〕

1915年来受け継がれた、塾山岳部の「重装主義」という登山哲学を基本に、北アルプスの大自然に親しみ、チ

ームワークの中で山の楽しみを体験し、親切なベテラン指導員の手で縦走登山の基礎技術を学ぶ。

【授業内容】

【指導戦略】:4名の登山現役の山岳部OB・OG、1名の医学部山岳部OBが帯同し、登山経験が全くない塾生でも、楽しい山の思い出が作れるよう、登高会(山岳部OB会)全体で緻密な計画に基づいて丁寧に指導します。急病人・怪我人の救出対応に関しても、万全の対応を図れるよう塾体育研究所とも協議を重ねております。

【日程】7月17日 健康ストレッチ会・気象・医療・地形準備会(勉強会)

7月27日 登山用具買物アドバイス(予定)

7月30日 最終準備会・装備貸し出し(予定)

(東京から参加の場合は、8月1日夜新宿発の夜行列車等で出発の必要があります)

8月2日 6時 JR大糸線穂高駅集合(バス)中房温泉 燕岳アタック 燕山荘

8月3日 燕山荘 大天井岳 常念小屋

8月4日 常念小屋 常念岳 蝶槍 長堀尾根 徳沢

8月5日 徳沢 上高地下山後解散

8月8日までに、エッセイ提出、貸与した登山用品の返却をお願いします。

【服装携帯品等】

夏山登山用具一式をご用意いただき、ザック、雨具、ヘッドランプなど一部の用具は貸与します。但し、夏山とは言え、北アルプスの縦走を計画しているため、歩きやすい登山靴をご用意ください。

体育実技B(馬術)

細田 壮一

【実施期間】

8月3日(金)~8月6日(月)(合宿)(3泊4日)

【開始時間】

集合8月3日(金) 午前8時日吉キャンパス構内

【実施場所】

朝霧乗馬牧場(〒418-0190 静岡県富士宮市麓585 TEL0544-52-0890)

【宿泊場所】

水口屋(〒418-0108 静岡県富士宮市猪之頭854-4 TEL0544-52-0070)

【定員】

36名(男女共習)

【費用】

49,000円(交通費を含む)

【費用内訳】

宿泊代 交通費 食費 テキスト代 借馬料 施設利用料等込み

【目的】

馬術というスポーツを通じて、活発な身体活動を図り、体育会活動の経験をさせる。

馬上での技術向上と共に、馬の世話や厩舎作業など総合的な馬の管理を体得する。

合宿課目であるため起床から就寝まで規則正しい生活

をして、ルール・マナーの徹底を図る。

【授業内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

騎乗練習:乗馬、下馬、常歩・速歩での発進、停止、左右への回転

作業実習:厩舎作業、馬の手入れなどの体験

講義:馬の扱い方、馬術の基本、馬具・飼料についてなど

【服装・携行品・その他】

ポロシャツ(白) トレーニングウエア上下 運動靴 靴下 軍手 着替え 洗面用具 筆記用具 防寒具 帽子 虫除け 持薬 保険証のコピー 学生証 領収書

体育実技B(ヨット)

金子 隆司

【実施期間】

7月30日(月)~8月2日(木)(合宿)(3泊4日)

【開始時間】

第一日目 集合時間 14:00(京浜急行三崎口駅)の予定

【実施場所】

神奈川県三浦市

【定員】

40名(男女共習)

【費用】

37,000円(自宅から集合・解散場所までの交通費を除く)

【費用内訳】

宿泊費、食費、用具費、教材費、他

【目的】

小泉信三塾長は、ヨットについて「自然に順(したが)い、自然を制す」と表現し、スポーツとしてのヨットの意義について記されています。本クラスの目的は、人を相手とする他のスポーツと異なり、一切の妥協を許さぬ海上で、セーリング技術の習得を通じて、自然の素晴らしさと厳しさを体験し、理解することにあります。

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

短い期間中にできるだけヨットに乗り、セーリングの基本技術と安全知識を習得することを目的とした実習プログラムを編成します。

第1日目 ガイダンス、座学:「ヨットに関する基本知識(セーリングの原理、ヨットの構造)」、ロープワーク実習

第2日目 小型艇(ディンギー)、大型艇(クルーザー)を使用したセーリング実習

第3日目 セーリング実習

第4日目 セーリング実習、実技合宿成果のまとめ

・小型艇は大学選手権に使われる2人乗りのレース艇です。インストラクター1名と履修生1~2名が乗艇します。大型艇は外洋帆走可能な10人以上乗れるヨットです。インストラクター2~4名と履修生6~8名が乗艇します。

・小型艇と大型艇のどちらにも乗艇できるように配慮します。

- ・初めてヨットに乗る人を対象とした実習となりますが、再受講者、ヨット/ウィンドサーフィン経験者の参加も歓迎します。
- ・実習中は全員ライフベスト(救命胴衣)を着用しますので、泳げない人でも大丈夫です。船酔いする人もこの機会に乗り物酔いを克服しましょう。
- ・大学での唯一の臨海学校ですので毎年楽しい思い出ができますが、授業というルールのもとでの合宿なので、団体生活が苦手な人にはお勧めしません。

〔服装・携行品・その他〕

ヨットに乗ると必ず濡れますので、4日間の着替えは多めに持ってきてください。水着のままでの乗艇はできませんが、その上にTシャツなどを着用するのは構いません。直射日光の下での実習になりますので、肌を守るための準備(長袖シャツや日焼け止めクリーム等)を心がけてください。帽子は必携です。ただし、つばの大きいもの(麦わら帽子等)は風で飛ばされてしまいます。

〔持参するもの〕水着、ポロシャツ/Tシャツ、ウィンドブレーカー、長ズボン、短パン、パジャマ、下着類、スニーカー(乗艇用と陸上用の2足)、洗面用具、タオル(大・小)、日焼け止め、筆記用具、防水腕時計、防虫スプレーなど。

〔お小遣い〕実技合宿中はお金を使う機会はほとんどありません(実習中の飲み物は用意されています)ので、往復の電車賃と少しのお小遣いがあれば十分です。

体育実技A(器械体操)(女子は器械体操または新体操)
首藤 聡史

〔実施期間〕

7月27日(金)、7月30日(月)~8月4日(土)

〔開始時間〕

15:00~17:00

〔実施場所〕

記念館

〔定員〕

30名

〔目的〕

タンピングフロア、トランポリン等様々な器具を使用して、身体バランス、巧緻性を養い安全で楽しく器械体操・新体操の基礎を学ぶ

〔授業内容〕

器械体操

- 1日目 ガイダンス及び器具のセッティングの方法、各種目のポイント説明 基礎運動
- 2日目 床運動、トランポリンの基礎練習(前方系の技)選択種目の説明
- 3日目 床運動、トランポリンの基礎練習(後方系の技)選択種目の説明
- 4日目 床運動、トランポリン練習及び選択種目の練習
- 5日目 床運動、トランポリン練習及び選択種目の練習
- 6日目 床運動、トランポリン練習 演技発表に向けての練習
- 7日目 演技発表会

〔服装携帯品等〕

安全に授業をおこなうために、ネックレス、ブレスレット、時計等ははずして授業をうけること。

体育実技B(ビーチバレー)

石手 靖

〔実施期間〕

秋学期 9月実施 9月13日(木)~9月20日(木)日曜・祝日を除く6日間
(ただし9/20は予備日)

〔開始時間〕

初日9:30 日吉記念館集合

〔実施場所〕

日吉記念館及び県立湘南海岸公園内サーフビレッジ(神奈川県藤沢市鵠沼海岸)

〔定員〕

30名(男女共習)

〔費用〕

¥2,840程度

〔費用内訳〕

鵠沼海岸への交通費(参考:日吉~鵠沼海岸2往復)

〔目的〕

バレーボール技術の向上とビーチバレー体験

〔授業内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

- 1~2日目 ガイダンス・基礎練習(パス・トス・レシーブ・サーブ・スパイク・ブロック)
- 3日目 ビーチバレー
- 4日目 実践的な練習(攻撃法と守備法)
- 5日目 ビーチバレー
- 6日目 予備日

実施時間は日吉記念館の場合9:30~12:00、ビーチの場合10:30~16:00

ビーチバレーは天候により日程変更あり

〔服装携帯品等〕

スポーツウェア及びシューズ

体育実技B(アウトドアレクリエーション)

野口 和行

〔実施期間〕

9月上旬の4泊5日(詳しい日程は4月のオリエンテーション時に行う)

〔実施場所〕

長野県立科町 慶應義塾立科山荘

〔定員〕

50名(男女共習)

〔費用〕

27,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費、食費、プログラム費、傷害保険料、雑費

〔目的〕

- ・自然の中でのレクリエーションな活動を通しての自然環境の理解

- ・各活動に関する技術とそれに伴うさまざまな知識の習得
- ・集団生活を通しての人間関係の理解

【授業内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

この授業は長野県立科町にある慶應義塾の山荘に宿泊しながら、周辺の豊かな自然環境を利用したさまざまなプログラムを行います。いくつかのプログラムから自分の希望するものをチョイスする選択プログラム制で、経験豊かなスタッフがそれぞれのプログラムのガイド役を務めます。立科での5日間を通して、自然、ひと、自分とうまく付き合っていく方法を学んでみませんか？

1日目：設営、夕食作り

2日目：選択プログラム1

登山、カヌー、サイクリング、シャワークライミングなどのプログラムから1つを選択し、体験する

3日目：選択プログラム2

登山、カヌー、ロッククライミング、ピバークなどのプログラムから1つを選択し、体験する

4日目：森の時間、アウトドアパーティー

山荘周辺でクラフト、料理等の静的なプログラムの体験、会食形式のパーティー

5日目：撤収、ふりかえり

【服装携帯品等】

要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

体育実技B(スキー)

吉田 久男

【実施期間】

2月8日(金)～11日(月)(合宿)(3泊4日)

【実施場所】

志賀高原発喃温泉スキー場周辺(長野県)

【定員】

120名(男女共習)

【費用】

45,000円(交通費を除く)

【費用内訳】

リフト代含む。

【目的】

合宿形式のスキー実習を通じ、雪山での自然体験と集団生活・グループ活動を体験する(自然・人間の理解)。また、個人の技術的課題を認識するとともに、設定された達成目標をクリアするための努力実践をする(自己への挑戦)。

達成目標の具体例

初心者：山頂からのツアーの達成

初級班：ブルークボーゲンの完成

中・上級班：緩斜面または中・急斜面パラレルターンの完成

【授業内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

合宿形式のスキー実習を通じ、雪山での自然体験と集団生活・グループ活動を体験する(自然・人間の理解)。また、個人の技術的課題を認識するとともに、設定され

た達成目標をクリアするための努力実践をする(自己への挑戦)。

達成目標の具体例

初心者：山頂からのツアーの達成

初級班：ブルークボーゲンの完成

中・上級班：緩斜面または中・急斜面パラレルターンの完成

【服装携帯品等】

詳細は別途実施要項を参照のこと。

体育実技B(スケート)

小山 正

【実施期間】

2月6日(水)～9日(土)(合宿)(3泊4日)

【実施場所】

軽井沢スケートセンター

【定員】

40名(男女共習)

【費用】

29,000円(交通費を除く)

【費用内訳】

宿泊費、リンク貸切料、滑走料、障害保険料、雑費

【目的】

- ・スケートに関する知識及び技術の習得
- ・合宿生活の経験及び他学部の仲間との懇親

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

スケートの基礎知識を習得し、スケートの各種目(フィギュアスケート、アイスホッケー、スピードスケート)の体験をします(選択可能)。レベル別に班分けをし指導しますので初心者、経験者共に十分に楽しむことの出来る内容になっています。この機会にスケートの楽しさを体感しましょう!

一日目：開講式、基本技術の習得(フォア、バック、ストップ等)

二日目：基本技術の習得(ターン、クロス、ジャンプ、スピン)

三日目：フィギュア、アイスホッケー、スピードスケート、各種目の体験

四日目：氷上運動会、閉講式

【服装・携行品・その他】

防寒着、手袋、帽子など。要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

3 保健管理センター

1. 保健管理センター設置講座開講にあたり

めまぐるしい医学の前進と社会情勢の変化に対応でき、健康で健康志向の強い人になるための独自の講座を設置しています。

2. 設置科目履修上の取扱について

日吉キャンパスでは「現代社会と医学」を秋学期月曜日4時限に、「現代社会と医学」を春学期と秋学期の水曜日4時限にそれぞれ開講します。春学期と秋学期の講義内容は同じで、単位は2単位です。受講を希望する場合は履修の取扱について、各学部、研究科で確認の上、履修申告をして下さい。

現代社会と医学

「渡航医学」

【全】

2単位 秋

南里清一郎	河邊 博史
徳村 光昭	横山 裕一
広瀬 寛	柴田 洋孝
西村 由貴	

【授業科目の内容】

渡航医学とは、海外の移動(旅行、長期滞在)に伴って発生する病気や怪我の予防や治療を扱う医学のことです。

2005年外務省統計では、1600万人以上の人々が海外旅行をし、仕事や留学などの長期滞在者は、約96万人です。途上国は医療事情が悪く、いざという時の緊急医療でさえ不安があります。

先進国では医療費が高く医療機関受診方法に不安があります。感染症の予防に関しては、予防接種が重要な意味を持ちますが、途上国においては、個人防衛のために必要であり、先進国、特にアメリカでは集団生活(留学など)を行う際に義務となります。生活習慣病に関しては、環境の変化による持出し病の悪化や、発症を早める可能性もあります。またカルチャーショックによる精神的な問題も生じます。

以上のような事に関し、保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。

【参考書】

南里清一郎編・著『海外生活における健康管理 渡航に当たって心身の健康を守るために』

現代社会と医学 Medicine in Modern Society

「現代社会とcommon disease」

【全】

2単位 春・秋

コーディネーター 保健管理センター所長
齊藤郁夫 ほか

【授業科目の内容】

高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、動脈硬化など日本

人の代表的な病気は、運動不足、食べ過ぎ、喫煙などの生活習慣との関連が強いことから、現在では生活習慣病と呼ばれています。さらにこれらが同時に存在するメタボリックシンドロームは中高年の30～40%にみられ、問題になっています。また、ストレスの多い現代には精神保健もきわめて重要な課題です。さらに、急速な国際化に伴う感染症も大きな問題です。大学生に代表される若者が現代社会の医学の重要問題を理解し、健康的な生活習慣を実行維持するための保健教育の意義はますます大きくなっています。下記の講義内容に関し保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。春学期と秋学期は同じ内容になります。

【教科書】

保健衛生

【参考書】

各担当者による資料の配布 /

4 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターでは、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、インドネシア語、アラビア語、およびイタリア語の9つの外国語について特設科目を設置しています。これは、「表現技法」をキーワードとし、「聴く」「話す」ことから出発し、「読み」「書き」さらに「発想・思考」にいたる外国語学習本来のプロセスを尊重し、各要素のバランスのとれた外国語コミュニケーション能力が確実に身につくよう、少人数編成のクラスで授業を行うものです。また、超上級クラス、基礎固めのクラス、各種の検定試験に特化したクラスも用意されています。さらに、これらの特設科目のほかに、学部で開講されている外国語科目の一部が外国語教育研究センターに併設されています（オープン科目）。

外国語教育研究センターでは、塾生向けの講演会や、春

休みに行う海外短期語学研修、および高校生から大学院生を対象としたアカデミック・ライティング・コンテストなどを企画しています。詳細が決まり次第、外国語教育研究センターのホームページや掲示で広報し、参加者を募る予定です。

以下に本年度開講される外国語教育研究センター特設科目の一覧を掲載します。ガイダンスや、履修の手続き、および各科目の詳しい講義内容ならびにオープン科目一覧については、別途配布の『外国語教育研究センター 履修案内・講義要綱』を参照してください。

なお、『外国語教育研究センター 履修案内・講義要綱』は外国語教育研究センター事務室でも配布します。

ガイダンス日程：4月5日(木)13:00~14:30 J11番教室

外国語教育研究センター特設科目一覧（日吉）

- * 履修希望者が定員を超えた場合は抽選あるいは選考となります。選抜方法については『外国語教育研究センター 履修案内・講義要綱』または当センターホームページを参照してください。
- * 科目名に(a)(b)と表記されている科目は春(a)・秋(b)をセットで履修することが義務付けられている科目です。
- * 科目名に()と表記されている科目は春()と秋()どちらかひとつの履修あるいは両方の履修が可能です。
- * 英語テスト対策TOEFL(Writing)および英語アカデミック・オーラル・コミュニケーションは春学期のみの「半期終了科目」です。
- * 海外研修科目は、2007年2月から3月に実施した海外研修に参加した学部学生のみ履修できます。

語種	科目名	担当講師名	設置学期	曜日・時限	定員	形態	単位数
英語	英語最上級 アドバンスト英語	レイサイド、ジェイムズ	春 秋	月・3	25	通年	2
	英語最上級 アドバンスト英語(a)		春			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語	ハンリー、マシュー	春 秋	水・5	25	通年	2
	英語最上級 アドバンスト英語(a) (Academic English: Globalization and Culture)		春			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b) (Academic English: Globalization and Culture)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語	ハッター、デビット	春 秋	木・2	25	通年	2
	英語最上級 アドバンスト英語(a) (Modern Love)		春			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b) (Modern Love)		秋			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語	スネル、ウィリアム	春 秋	金・3	25	通年	2
	英語最上級 アドバンスト英語(a) (Ultra Advanced English)		春			半期	1
	英語最上級 アドバンスト英語(b) (Ultra Advanced English)		秋			半期	1
	英語異文化トレーニング	吉田 友子	春 秋	水・4	25	通年	2
	英語異文化トレーニング(a)		春			半期	1
	英語異文化トレーニング(b)		秋			半期	1
	英語ドラマ	横山 千晶	春 秋	火・3	15	通年	2
	英語ドラマ(a) (身体をツールに言葉を学ぼう)		春			半期	1
	英語ドラマ(b) (身体をツールに言葉を学ぼう)		秋			半期	1
	英語翻訳	武藤 浩史	春 秋	木・2	20	通年	2
	英語翻訳(a)		春			半期	1
英語翻訳(b)	秋		半期			1	
英語初級(a) (リスニングと発音練習)	横山 千晶	春	木・1	30	半期	1	
英語初級(b) (リスニング・リーディングの基礎体力をつける)		秋			半期	1	

英語	英語テスト対策 TOEFL() (TOEFL準備で英語の力をつけよう)	中村 優治	春	木・2	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEFL() (TOEFL準備で英語の力をつけよう)		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEFL() (Practice for the TOEFL test)	バトラー、アン	春	水・3	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEFL() (More practice for the TOEFL test)		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEFL(Writing) (Writing for the TOEFL Test)	水野 邦太郎	春	火・5	25	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC() (Listening Strategies for TOEIC)	ブルーカ、デイビッド	春	火・4	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC() (Reading Strategies for TOEIC)		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC() (Listening Strategies for TOEIC)	ブルーカ、デイビッド	春	火・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC() (Reading Strategies for TOEIC)		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC() (Basic TOEIC Strategies(Listening))	バロウス、リチャード	春	月・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC() (Basic TOEIC Strategies(Reading))		秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC() (Advanced TOEIC Strategies(Listening))	バロウス、リチャード	春	金・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC() (Advanced TOEIC Strategies(Reading))		秋			半期	1
	英語アカデミック・ライティング() (Writing an Academic Paper in English)	和田 朋子	春	火・4	25	半期	1
	英語アカデミック・ライティング() (Writing an Academic Paper in English)		秋			半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション() (初級)	ファロン、ルース	春	金・4	20	半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション() (初級)		秋			半期	1
	英語アカデミック・オーラル・コミュニケーション	松岡 和美	春	火・2	20	半期	1
	オーストラリア ニューサウスウェールズ大学海外研修	横山 千晶	春		20	半期集中	学部指定
	米国 カリフォルニア大学サンタクルーズ校海外研修	吉田 友子	春		20	半期集中	学部指定
オーストラリア シドニー大学海外研修	吉田 友子	春		10	半期集中	学部指定	
ニュージーランド オークランド大学海外研修	吉田 友子	春		15	半期集中	学部指定	
ドイツ語	ドイツ語表現技法1 (初級発音・聴解練習)	境 一三	春	月・2	25	通年	2
	ドイツ語表現技法1(a) (初級発音・聴解練習)		春			半期	1
	ドイツ語表現技法1(b) (初級発音・聴解練習)		秋			半期	1
	ドイツ語表現技法2 (ボキャブラリー・トレーニング)	鈴村 直樹	春	火・4	25	通年	2
	ドイツ語表現技法2(a) (ボキャブラリー・トレーニング)		春			半期	1
	ドイツ語表現技法2(b) (ボキャブラリー・トレーニング)		秋			半期	1
	ドイツ語表現技法3 (初級文章表現法)	ゲラート、アンネ	春	水・4	25	通年	2
	ドイツ語表現技法3(a) (初級文章表現法)		春			半期	1
	ドイツ語表現技法3(b) (初級文章表現法)		秋			半期	1
	フランス語	フランス語表現技法1() (発音と会話の基礎)	檜橋・アンリ、ナタリー	春	水・4	20	半期
フランス語表現技法1() (発音と会話の基礎)		秋		半期			1
フランス語表現技法2() (異文化間アプローチ)		前島 アンヌ=マリー	春	木・1	20	半期	1
フランス語表現技法2() (異文化間アプローチ)			秋			半期	1
ロシア語	ロシア語聴解	山田 恒	春		25	通年	2
	ロシア語聴解(a) (ロシア語の音のシャワーを浴びよう)		春			半期	2
	ロシア語聴解(b) (ロシア語の音のシャワーを浴びよう)		秋			半期	2
中国語	中国語聴解1() (上級)	劉 穎	春	火・4	25	半期	1
	中国語聴解1() (上級)		秋			半期	1

中国語	中国語表現技法1(Ⅰ上級) (中国語文章作法上級(日本語を中国語に翻訳すること))	呉 敏	春	金・3	25	半期	1
	中国語表現技法1(Ⅰ上級) (中国語文章作法上級(日本語を中国語に翻訳すること))		秋			半期	1
	中国文翻訳(Ⅰ最上級) (中国文学作品の高度な翻訳)	関根 謙	春	木・3	25	半期	1
	中国文翻訳(Ⅰ最上級) (中国文学作品の高度な翻訳)		秋			半期	1
	中国語表現技法Ⅱ(Ⅰ最上級) (中国語文章作法)	許 曼麗	春	水・1	25	半期	1
	中国語表現技法Ⅱ(Ⅰ最上級) (中国語文章作法)		秋			半期	1
スペイン語	スペイン語表現技法1	モジャーノ、 ファン・カルロス	春	水・2	25	通年	2
	スペイン語表現技法1(aⅠ初級)		春			半期	1
	スペイン語表現技法1(bⅠ初級)		秋			半期	1
	スペイン語表現技法Ⅱ(中級)	大楠 栄三	春	金・2	25	通年	2
	スペイン語表現技法Ⅱ(aⅠ中級) (実践的なスペイン語力の向上)		春			半期	1
	スペイン語表現技法Ⅱ(bⅠ中級) (実践的なスペイン語力の向上)		秋			半期	1
アラビア語	アラビア語	高田 康一	春	水・3	30	通年	2
	アラビア語(a) (アラビア語初級)		春			半期	1
	アラビア語(b) (アラビア語初級)		秋			半期	1
	アラビア語	高田 康一	春	水・4	30	通年	2
	アラビア語(a) (アラビア語初級)		春			半期	1
	アラビア語(b) (アラビア語初級)		秋			半期	1
イタリア語	イタリア語表現技法() (Comunicare in italiano コミュニケーション・トレーニング)	ペンナッキア、 ダニエーレ	春	火・3	25	半期	1
	イタリア語表現技法() (Comunicare in italiano コミュニケーション・トレーニング)		秋			半期	1

2006年度 外国語教育研究センター設置科目(日吉)春学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月			ドイツ語表現技法1(a) ドイツ語表現技法1	境	英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語	レイザイ			英語テスト対策 TOEIC()	バロウス
火			英語アカデミック・オーラル・ コミュニケーション	松岡	英語ドラマ(a) 英語ドラマ イタリア語表現技法()	横山 ベナキア	英語テスト対策 TOEIC() 英語アカデミックライティング() ドイツ語表現技法2(a) ドイツ語表現技法2 中国語聴解1()(上級) ロシア語聴解(a) ロシア語聴解	ブルーカ 和田 鈴木 劉 山田	英語テスト対策 TOEIC() 英語テスト対策 TOEFL(Writing)	ブルーカ 水野
水	中国語表現技法2() (最上級)	許	スペイン語表現技法(a)(初級) スペイン語表現技法1(初級)	モジャーノ	英語テスト対策 TOEFL() アラビア語(a) アラビア語	ハトラ 高田	英語異文化トレーニング(a) 英語異文化トレーニング フランス語 表現技法1() ドイツ語表現技法3(a) ドイツ語表現技法3 アラビア語(a) アラビア語	吉田 榎橋 ゲラート 高田	英語最上級アドバ ンス英語(a) 英語最上級アドバ ンス英語	ハンリー
木	フランス語 表現技法2() 英語初級(a)	前島 横山	英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語 英語翻訳(a) 英語翻訳 英語テスト対策TOEFL()	ハッター 武藤 中村	中国文翻訳()(最上級)	関根				
金			スペイン語表現技法2(a)(中級) スペイン語表現技法2(中級)	大楠	英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語 中国語表現技法1()(上級)	スネル 呉	英語オーラル・ プレゼンテーション()(初級)	ファロン	英語テスト対策 TOEIC()(上級)	バロウス
土										

2006年度 外国語教育研究センター設置科目(日吉)秋学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月			ドイツ語表現技法1(b) ドイツ語表現技法1	境	英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語	レイザイ			英語テスト対策 TOEIC()	バロウス
火					英語ドラマ(b) 英語ドラマ イタリア語表現技法()	横山 ベナキア	英語テスト対策 TOEIC() 英語アカデミックライティング() ドイツ語表現技法2(b) ドイツ語表現技法2 中国語聴解1()(上級) ロシア語聴解(b) ロシア語聴解	ブルーカ 和田 鈴木 劉 山田	英語テスト対策 TOEIC()	ブルーカ
水	中国語表現技法2() (最上級)	許	スペイン語表現技法(b)(初級) スペイン語表現技法1(初級)	モジャーノ	英語テスト対策 TOEFL() アラビア語(b) アラビア語	ハトラ 高田	英語異文化トレーニング(b) 英語異文化トレーニング フランス語 表現技法1() ドイツ語表現技法3(b) ドイツ語表現技法3 アラビア語(b) アラビア語	吉田 榎橋 ゲラート 高田	英語最上級アドバ ンス英語(b) 英語最上級アドバ ンス英語	ハンリー
木	フランス語 表現技法2() 英語初級(b)	前島 横山	英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語 英語翻訳(b) 英語翻訳 英語テスト対策TOEFL()	ハッター 武藤 中村	中国文翻訳()(最上級)	関根				
金			スペイン語表現技法2(b)(中級) スペイン語表現技法2(中級)	大楠	英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語 中国語表現技法1()(上級)	スネル 呉	英語オーラル・ プレゼンテーション()(初級)	ファロン	英語テスト対策 TOEIC()(上級)	バロウス
土										

5 情報処理教育室

情報処理教育室では、情報処理に関する講座を開講しています。

情報処理に関する知識・技術を持つことは、学生諸君にとって今や必須のこととなっています。将来、各学部専門課程に進学してからの学習・研究活動に役立つだけでなく、1年生からの学習・学内の諸活動に大変有効です。なるべく早い機会に履修しておくことを勧めます。

1 ガイダンス

次の2回のうち、都合の良い時間に出席してください。

4月5日(木) 14:45~15:25 J21番教室

15:35~16:15 J21番教室

2 受講申し込み手続き

受講する科目が決まったら、証紙券売機で受講料分の証紙を購入し、申し込み用紙に貼付して窓口へ提出してください。各講座とも定員になり次第締め切ります。

その際、学生証を提示してください。

日時：4月9日(月) 9:00~17:00

4月10日(火) 9:00~17:00

4月11日(水) 9:00~17:00

場所：日吉学事センター 情報処理教育室窓口

3 履修上の注意

情報処理教育室に申し込みを行った科目については、必ず各学部の履修案内にしたがって各自で履修申告をしてください。履修申告を行わないと単位は与えられませんので特に注意してください。また、受講申し込みを提出しないで履修申告をしても単位は認められません。

履修申告により単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないようにしてください。

4 問合せ先

情報処理教育室(日吉学事センター内)

5 平成19年度開講科目及び受講料

設置講座は受講料が必要です。

平成19年度 情報処理教育室設置講座(日吉)

講座名		クラス	担当者	時期	定員	受講料	単位
情報処理概論	C言語によるプログラミング入門	11A	恩田 憲一	通年	100	12,000円	4
		11B	斎藤 博昭		50		
情報処理概論 (Java)	Java	12D	藤村 光	春学期	50	6,000円	2
情報処理概論 (Java)	Java	12E	藤村 光	秋学期	50	6,000円	2
情報処理応用	コンピュータグラフィックス	31A	大野 義夫	春学期	50	5,000円	2

開講曜日・時限は学部の時間割ではなく、情報処理教育室設置講座の時間割に記載されます。授業は、学部授業と同様4月9日(月)から開始されます。

情報処理概論

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年
恩田 憲一

【授業科目の内容】

当科目はコンピュータプログラムの初心者を対象として開講します。具体的な内容としては、コンピュータの原理、式、変数、入出力、条件分岐、ループ、配列、ポインタ、関数、記憶クラス、スコープ、構造体、ファイル入出力などの項目を学び、C言語における中級レベルのプログラミング能力が身に付く事を目標として、通年で実習を交えた講義を行います。初心者を対象としているので基礎的な事項から講義を行いますが、既にプログラムが書ける学生が履修した場合にも、より高度な知識の習得と体系化に役立つよう配慮した内容となっています。C言語の基本的な知識の習得が終わる秋学期の後半からは、一般的に広く普及しているWindows上で動作する、Windowsプログラミングの書き方を学習する予定です。教室内での実習はITCのパーソナルコンピュータにインストールされたMicrosoft VisualStudio.netを使用しますが、ノートPCや自宅PCでの学習を希望する人を対象として、フリーソフトウェアのみで構成されたプログラミング環境の構築も指導します。

【教科書】

河西朝雄著『入門ソフトウェアシリーズ C言語』（ナツメ社、2002年、1750円）

【参考書】

B.W.Kernighan,D.M.Ritchie著 / 石田晴久訳『プログラミング言語C』（共立出版、2001年、2,800円）

Charles Petzold著 / 長尾高弘訳『プログラミングWindows 第5版（上・下）』（MicrosoftPress, 2002年、各5,200円）

情報処理概論

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年
斎藤 博昭

【授業科目の内容】

C言語を使ってプログラミングの基礎を習得します。C言語は広く世の中で使われているコンピュータ言語です。難しい数学は使わず、“きちんとした考え方”をすることで、プログラミングの楽しさを味わえます。プログラミングをすることで、コンピュータの内部でどのようなことが起こっているのかがわかり、IT社会で生きていく上で必ずや役に立つでしょう。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。Web上に資料を載せるので、必要に応じて印刷して授業に臨んでください。

【参考書】

授業時に指示します。

情報処理概論（Java）

「Java言語によるプログラミング入門」 2単位 春学期
藤村 光

【授業科目の内容】

プログラミング経験のない学生に対し、Java言語を用いてコンピュータを動かす方法、およびプログラミングの基礎を紹介します。問題をコンピュータで処理できるように分析し、処理を組み立て、プログラムを作成し、結果を検証するという手順で、いくつかの代表的な問題を取り上げます。プログラムを作成する際に必要となる一般的な知識を習得するのが目的です。

【教科書】

Webサイト <http://web.hc.keio.ac.jp/fujimura/> で公開しています。適宜更新します。

【参考書】

講義の展開と個人の進捗にあわせて適宜紹介します。

情報処理概論（Java）

「Javaらしいプログラミングとは」 2単位 秋学期
藤村 光

【授業科目の内容】

Java言語を用いて、構造をもつデータの処理、描画、ファイルの読み書き、通信といったテーマを取り上げます。問題をコンピュータで処理できるように分析し、処理を組み立て、プログラムを作成し、結果を検証するという手順を繰り返し、オブジェクト指向プログラミングを習得します。

情報処理概論（Java）を受講したレベルを前提にしていますが、他のプログラミング言語の知識があれば十分です。

【教科書】

Webサイト <http://web.hc.keio.ac.jp/fujimura/> で公開しています。適宜更新します。

【参考書】

講義の展開と個人の進捗にあわせて適宜紹介します。

情報処理応用

「コンピュータグラフィックス」 2単位 春学期
大野 義夫

【授業科目の内容】

コンピュータを用いて画像やアニメーションを作る技術を、実習中心として学ぶ。実習には、大学のパソコンを使用し、フリーソフトであるPOV-Rayを用いる。フリーソフトなので、自宅のパソコンで続きを行うことも可能である。

【教科書】

特定の教科書は使いません。必要な教材はPowerPointファイルなどとしてWebに掲示します。

【参考書】

小室日出樹『はじめてのCG-POV-Rayで出会う3DCGの基礎』CG-ARTS協会

6 教養研究センター

大学教養研究センター設置科目(極東証券寄附講座)

人類の知的営為の成果を継承・発展させることは大学の重要な役割のひとつです。また、大学には実際に広大な「知」の世界が広がっています。この世界に触れることで多様な価値観を知り、そこから自分の関心を探り、進むべき方向を定めることは有意義な大学生活を送るために不可欠な作業です。と同時に、大学では「自ら考え、選び、学ぶこと」も求められます。これは学問研究の出发点であると共に、長い人生を支える「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。

そのために、教養研究センターでは極東証券寄附講座として「生命の教養学」と「アカデミック・スキルズ」を設置しています。「生命をどう捉えるか」をキーワードとする「生命の教養学」は広大な「知」の世界に触れるためのきっかけとなる授業です。「アカデミック・スキルズ」の目的は、「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを、グループ作業と個人研究を通じて身につけることにあります。またそのようなスキルを、大学の中で出合うさまざまな講義に参加する際や、私たちの生きている社会の現状や問題を考える際に生かしていくことも「アカデミック・スキルズ」の目標です。

1. 平成 19 年度開講科目

- 春学期「アカデミック・スキルズ」
(2単位)月曜日5時限 定員20名
- 秋学期「アカデミック・スキルズ」
(2単位)月曜日5時限 定員20名
- 春学期「アカデミック・スキルズ - テーマを究める」
(2単位)火曜日5時限 定員15名
- 秋学期「アカデミック・スキルズ - テーマを究める」
(2単位)火曜日5時限 定員15名
- 春学期「アカデミック・スキルズ - 講義を究める」
(2単位)水曜日5時限 定員15名
- 秋学期「アカデミック・スキルズ - 講義を究める」
(2単位)水曜日5時限 定員15名
- 春学期「生命の教養学」
(2単位)木曜日3時限 定員100名

2. ガイダンス

履修希望者は下記のガイダンスに必ず出席してください。

教養研究センター設置科目全体ガイダンス

4月6日(金)14:30~16:00

会場:日吉22番教室

科目・クラス別ガイダンス

1)「生命の教養学」

4月12日(木)13:00~

会場:日吉来住舎1Fシンポジウム・スペース

2)「アカデミック・スキルズ(/)」

4月9日(月)16:30~

会場:日吉来住舎1Fシンポジウム・スペース

3)「アカデミック・スキルズ(/)

テーマを究める」

4月10日(火)16:30~

会場:日吉来住舎1Fシンポジウム・スペース

4)「アカデミック・スキルズ(/)」

講義を究める」

4月11日(水)16:30~

会場:日吉来住舎1Fシンポジウム・スペース

3. 受講申し込み手続き

上記のガイダンス(初回の授業)に出席し、その際に氏名登録した学生のみ「受講申込み」の権利を与えます。ただし、定員オーバーの場合には抽選を行います。

「授業申込み」の権利を得た学生は、所属学部の履修案内にしたがって「履修申告」をしてください。

4. 履修上の注意

教養研究センターの科目については、単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないように履修してください。成績評価は各科目につきませんが、履修上、次のことに注意してください。

- *「アカデミック・スキルズ」の履修者は、より広い視点から学習テーマを見据えるという意味で、春学期・教養研究センター設置「生命の教養学」(木曜日3時限)を履修することが望ましい。
- *「生命の教養学」だけを単独科目として履修することは可能です。
- *「アカデミック・スキルズ - テーマを究める」および「アカデミック・スキルズ - 講義を究める」の履修者は、すでに「アカデミック・スキルズ」を履修し、単位を取得していることが望ましい。
- *上記以外、「アカデミック・スキルズ」および各曜日の「アカデミック・スキルズ」では、学部設置の関連講義科目との組み合わせ履修が望まれる場合があります。関連講義科目の詳細については各クラスの初回授業(ガイダンス)にて説明いたしますので、履修希望者は必ず参加してください。

5. 問合せ先

教養研究センター事務室(日吉来住舎1階事務室)

教養研究センター極東証券寄附講座担当

(TEL 045-566-1151 平日8:30~17:00)

教養研究センター極東証券寄附講座
「アカデミック・スキルズ」[春学期]
「 知の基盤を築く・ 」

識名章喜 伏見岳志
村山光義 横山千晶

〔授業科目の内容〕

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行われる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、「アカデミック・スキルズ」[春学期]が基礎編、「アカデミック・スキルズ」[秋学期]が応用編となります。

「アカデミック・スキルズ」の履修者は、原則として秋学期に「アカデミック・スキルズ」を履修することになります。

各「アカデミック・スキルズ」の定員は20名です。履修希望者が多い場合は抽選となりますので、履修希望者は、ガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズ」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

〔教科書〕

佐藤望 編著『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2006年）
その他、適宜プリントを使用します。

〔参考書〕

授業を通じて適宜指示します。

教養研究センター極東証券寄附講座
「アカデミック・スキルズ」[秋学期]
「 知の基盤を築く・ 」

識名章喜 伏見岳志
村山光義 横山千晶

〔授業科目の内容〕

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行われる、学生の自主性を尊重し、か

つ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、本年度は基礎編「アカデミック・スキルズ」[春学期]が基礎編、「アカデミック・スキルズ」[秋学期]が応用編となります。

「アカデミック・スキルズ」の履修者は、原則として春学期に「アカデミック・スキルズ」を履修してください。

各「アカデミック・スキルズ」の定員は20名です。履修希望者が多い場合は抽選となりますので、「アカデミック・スキルズ」の履修希望者は、春学期のガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズ」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

〔教科書〕

佐藤望 編著『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2006年）
その他、適宜プリントを使用します。

〔参考書〕

授業を通じて適宜指示します。

教養研究センター極東証券寄附講座
「アカデミック・スキルズ」[春学期]
テーマを究める・

「20世紀の文化と社会

開かれた複数の<歴史=物語>へ向けて」
武藤浩史 加茂具樹
佐藤元状

〔授業科目の内容〕

当講義の目的は、現代史のさまざまな重要な局面を歴史的に検証することによって、複数の価値観が共存するグローバル化の時代にふさわしい、多元的で複眼的な視点を養成することにあります。担当者の専門領域は中国とイギリスですが、当講義がカバーする地域は中国語圏（中国・台湾・香港）、英語圏（イギリス・カナダ・オーストラリア・南アフリカ）および日本（沖縄・北海道）を含みます。グローバル化の時代はアメリカの覇権の時代として語られることが多いかもしれませんが、しかし、それはあくまでひとつの<歴史=物語>に過ぎません。アジア、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニアから現代史を読み返すことによって、開かれた複数の<歴史=物語>の豊かさを体験する機会としたいと思います。当講義では、さまざまな地域の映画や文学や芸術（定期的に映画の上映会を行う）に触れることも、もう一つの目的です。文化と社会のダイナミクスを実際に体感することは、生きた複数の歴史を理解することにつながるからです。

本講座では、テーマに基づいてさまざまな本を読みこなし、さまざまな形態の資料や情報を検索することを要求します。原則として「アカデミック・スキルズ」を前年度までに履修して、単位を取得していることを前提としますが、履修希望者は必ずガイダンスに出席し、担当者に面談してください。また、「文化と社会」を視座に据えた幅広い視点を得るために、「テーマを究める」の履修者は秋学期に「テーマを究める」を

履修することを強くお勧めします。

【教科書】

佐藤望 編著『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』(慶應義塾大学出版会、2006年)
その他、適宜プリントを使用します。

【参考書】

授業を通じて紹介します。

教養研究センター極東証券寄附講座

「アカデミック・スキルズ」[秋学期]

テーマを究める・

「20世紀の文化と社会

開かれた複数の〈歴史＝物語〉へ向けて」

武藤浩史 加茂具樹

佐藤元状

【授業科目の内容】

当講義の目的は、現代史のさまざまな重要な局面を歴史的に検証することによって、複数の価値観が共存するグローバル化の時代にふさわしい、多角的で複眼的な視点を養成することにあります。担当者の専門領域は中国とイギリスですが、当講義がカバーする地域は中国語圏(中国・台湾・香港)、英語圏(イギリス・カナダ・オーストラリア・南アフリカ)および日本(沖縄・北海道)を含みます。グローバル化の時代はアメリカの覇権の時代として語られることが多いかもしれませんが、しかし、それはあくまでひとつの〈歴史＝物語〉に過ぎません。アジア、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニアから現代史を読み返すことによって、開かれた複数の〈歴史＝物語〉の豊かさを体験する機会としたいと思います。当講義では、さまざまな地域の映画や文学や芸術(定期的に映画の上映会を行う)に触れることも、もう一つの目的です。文化と社会のダイナミクスを実際に体感することは、生きた複数の歴史を理解することにつながるからです。

本講座では、テーマに基づいてさまざまな本を読みこなし、さまざまな形態の資料や情報を検索することを要求します。原則として「アカデミック・スキルズ」を前年度までに履修して、単位を取得していることを前提としますが、履修希望者は必ずガイダンスに出席し、担当者に面談してください。また、「文化と社会」を視座に据えた幅広い視点を得るために、「テーマを究める」の履修者は春学期に「テーマを究める」を履修することを強くお勧めします。

【教科書】

佐藤望 編著『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』(慶應義塾大学出版会、2006年)
その他、適宜プリントを使用します。

【参考書】

授業を通じて紹介します。

教養研究センター極東証券寄附講座

「アカデミック・スキルズ」[春学期]

講義を究める・

「芸術で競う諸国民 近代世界システムの中の美術」

鶴崎明彦 武藤浩史

横山千晶

【授業科目の内容】

皆さんは、講義とは一方的な知の伝達の場所だと思っ
てはいないでしょうか? 講義とは研究者が自分の研究
テーマを掘り下げ、自分なりに解釈し、それを伝える場
であると同時に、学生にとっては最新の学問的な情報に
触れ、研究者とともに学術的なテーマを考える格好の知
的訓練の場でもあります。そして大学ではそのような知
的訓練を鍛えるさまざまな支援体制を整えているので
す。この「講義を究める」では、授業の基本とな
る「講義」を聞き、研究者による新たな学問的問題提
起に接し、自分なりの研究テーマの開拓につなげていく
知的な冒険を行います。また、そのような冒険に必要な
さまざまな支援を慶應義塾大学のどこからどのように得
ていくのか、グループや個人で見つけ出し、活用するこ
ともこの講義の目標です。

以上の目標のために「講義を究める」では、本年度、
以下のモデル講義を用意いたします。

産業革命以降、近代の社会体制も生産体制もかつてな
い変化を呈しました。さまざまなものを消費の対象とし、
市場を広げることが国力にそのまま影響を与える時代の
到来です。そして美術もこのような世界システムの中に
巻き込まれていったのでした。激化する貿易競争を勝ち
抜くために西欧諸国は機械による大量生産で衰退した工
芸デザインの刷新を目指して美術制度・政策・教育の改
革を行い、それは絵画の革新にも影響を与えたのです。
19世紀後半西欧に巻き起こった日本美術ブーム「ジャポ
ニスム」も、印象主義など絵画革新の触媒となると同時
に、工芸デザイン刷新の範例として着目されたことは、
その一例です。そのジャポニスムを重要な源泉の一つと
して19世紀末におこった「アール・ヌーヴォー」も、審
美的運動であると同時に産業振興を目的とした工芸刷新
運動の一環だったのです。そして産業と美術の結合をめ
ぐるこの大きなうねりは日本の社会制度にも大きな影響
を与えることになりました。近代世界システムに新たに
参入した明治日本は、富国強兵と殖産興業のための重要
な輸出品目として美術工芸を捉え、ジャポニスムに乗っ
た貿易拡大のための様々な政策を講じていったのです。

「アカデミック・スキルズ」講義を究める」では、
絵画中心の従来の西欧近代美術史を、世界システム
の中の産業と美術の結合＝美術工芸、万国博覧会を通し
た産業と美術をめぐる国際交流と競争、そして異文化と
の接触(日本美術)という観点から捉え直す一方で、西
欧の諸制度を取り入れて近代世界システムに参入しよう
とした明治日本を絡めることによって、地域を超え政
治・経済・社会・文化にまたがる学際的でグローバルな
文化研究の可能性を模索します。最新の研究にふれ、そ

こから皆さん自身でさらなる問題を見出し、解答を見つけ出していただきます。その際に、慶應義塾大学で所蔵しているさまざまな歴史的資料にもじかにアクセスし、研究の素材とします。

テーマに基づいてさまざまな本を読みこなし、さまざまな形態の資料や情報を検索していただくため、原則として「アカデミック・スキルズ」を前年度までに履修して、単位を取得していることを前提としますが、それ以外の履修希望者は必ずガイダンスに出席し、担当者に面談してください。また、モデル講義をもとにした知見を広げるために、「講義を究める」の履修者は秋学期に「講義を究める」を履修することを強くお勧めします。

【教科書】

佐藤望 編著『アカデミック・スキルズ 大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2006年）
その他、適宜プリントを使用します。

【参考書】

授業を通じて紹介します。

教養研究センター極東証券寄附講座

「アカデミック・スキルズ」[秋学期]

講義を究める・

「芸術で競う諸国民 近代世界システムの中の美術」

鶴崎明彦 武藤浩史

横山千晶

【授業科目の内容】

皆さんは、講義とは一方的な知の伝達の場所だと思っ
てはいないでしょうか？ 講義とは研究者が自分の研究
テーマを掘り下げ、自分なりに解釈し、それを伝える場
であると同時に、学生にとっては最新の学問的な情報に
触れ、研究者とともに学問的なテーマを考える格好の知
的訓練の場でもあります。そして大学ではそのような知
的訓練を鍛えるさまざまな支援体制を整えているので
す。この「講義を究める」では、授業の基本とな
る「講義」を聞き、研究者による新たな学問的問題提
起に接し、自分なりの研究テーマの開拓につなげていく
知的な冒険を行います。また、そのような冒険に必要な
さまざまな支援を慶應義塾大学のどこからどのように得
ていくのか、グループや個人で見つけ出し、活用するこ
ともこの講義の目標です。

以上の目標のために「講義を究める」では、本年度、
以下のモデル講義を用意いたします。

産業革命以降、近代の社会体制も生産体制もかつてな
い変化を呈しました。さまざまなものを消費の対象とし、
市場を広げることが国力にそのまま影響を与える時代の
到来です。そして美術もこのような世界システムの中に
巻き込まれていったのです。激化する貿易競争を勝ち
抜くために西欧諸国は機械による大量生産で衰退した工
芸デザインの刷新を目指して美術制度・政策・教育の改
革を行い、それは絵画の革新にも影響を与えたのです。
19世紀後半西欧に巻き起こった日本美術ブーム「ジャポ
ニスム」も、印象主義など絵画革新の触媒となると同時

に、工芸デザイン刷新の範例として着目されたことは、
その一例です。そのジャポニスムを重要な源泉の一つと
して19世紀末におこった「アール・ヌーヴォー」も、審
美的運動であると同時に産業振興を目的とした工芸刷新
運動の一環だったのです。そして産業と美術の結合をめ
ぐるこの大きなうねりは日本の社会制度にも大きな影響
を与えることになりました。近代世界システムに新たに
参入した明治日本は、富国強兵と殖産興業のための重要
な輸出品目として美術工芸を捉え、ジャポニスムに乗っ
た貿易拡大のための様々な政策を講じていったのです。

「アカデミック・スキルズ」講義を究める」
では、絵画中心の従来の西欧近代美術史を、世界システ
ムの中の産業と美術の結合＝美術工芸、万国博覧会を通
した産業と美術をめぐる国際交流と競争、そして異文化
との接触（日本美術）という観点から捉え直す一方で、西
欧の諸制度を取り入れて近代世界システムに参入しよう
とした明治日本を絡めることによって、地域を超え政治
・経済・社会・文化にまたがる学際的でグローバルな
文化研究の可能性を模索します。最新の研究にふれ、そ
こから皆さん自身でさらなる問題を見出し、解答を見つ
け出していただきます。その際に、慶應義塾大学で所蔵
しているさまざまな歴史的資料にもじかにアクセスし、
研究の素材とします。

テーマに基づいてさまざまな本を読みこなし、さまざ
まな形態の資料や情報を検索していただくため、原則と
して「アカデミック・スキルズ」を前年度までに
履修して、単位を取得していることを前提としますが、
それ以外の履修希望者は必ずガイダンスに出席し、担
当者に面談してください。また、モデル講義をもとにした
知見を広げるために、「講義を究める」の履修者は
春学期に「講義を究める」を履修することを強くお
勧めします。

【教科書】

佐藤望 編著『アカデミック・スキルズ 大学生のた
めの知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2006年）
その他、適宜プリントを使用します。

【参考書】

授業を通じて紹介します。

教養研究センター極東証券寄附講座

「生命の教養学」[春学期]

「誕生と死 その間にいる君たちへ」

中島陽子 吉田泰将

武藤浩史

【授業科目の内容】

21世紀が「生命の時代」であることは言うまでもない。
今世紀の知的核心を形づくる生命科学（分子生物学、脳
科学、生殖医療、臓器移植など）の諸問題は、メディア
報道も多く、学生の関心も高い、きわめて重要かつ刺激
的な領域である。しかし、自分の生に密接に繋がるはず
のこれらの問題は多くの場合、社会の最先端で起こって
いる驚異（すばらしい科学！）と脅威（おそろしい科
学！）の物語として提示されるだけで、多くの大学生は

これらを「生身の自分」という切実な生の感覚と結びつけ、かつ広い総合的視点に立って考えることが出来ない。また彼らは、現在の流行には敏感でも、生命科学や生命論が過去の歴史において果たしてきたさまざまな役割については、ほとんど何も知らない。本講座「生命の教養学」は、学生に対して21世紀における生命をめぐる諸問題を多角的にかつ自分の問題として捉える能力を与えるべく、年度ごとに異なったテーマを設定し、領域横断的に多彩な講師陣を迎えることによってそれについての多角的な考察を紹介するばかりか歴史的視点をも提示することを目的とする。それによって、理系・文系という領域的分断、現在・過去という時間的分断を超えた、総合的な思考の豊かな可能性を示したい。

今年度の講座『生命の教養学』では、生きることを境界づける「誕生と死」をテーマとして、この2つの対立しつつも1つの大きな過程を構成する極限的な出来事について、様々な分野で活躍する講師陣が真摯な思考を展開する姿を見せることにより、「生命をどう捉えるか？」という問題とその思考法を学生たちに紹介する。生物学者が受精・誕生・死の問題を自然科学的見地から考察し、人類学者が日本人の死の文化を論じ、文学研究者が人気小説に描かれる人の生死を分析する。医学を学ぶ禅宗の僧侶が宗教と科学の双方の観点から生と死を物語り、医学者が妊娠や救急救命あるいは人生哲学と関連づけて医療の現場を紹介し、生命倫理学者が誕生と死という観点から人間の歴史の過去・現在・未来を考える。最終回はまとめの回として、それらの講義から何を学ぶことができるのか、講座のコーディネイターが主導する形で、学生とともに考える。

【参考書】

必要に応じて、授業中に指示します。

7 国際センター

研究講座

国際センターでは、外国、国際関係および日本の文化や社会を理解するための英語による講座を開講しています。

本年度国際研究講座で取り扱う国/地域は、アジア・オセアニア、北米・南米、ヨーロッパからアフリカにおよぶほか、国際社会、異文化理解をうながす講座もあります。一方日本研究講座では、社会、経済、ビジネス、政治をはじめ歴史、文学、芸術、思想・宗教など幅広い側面から日本を探究します。

内容については、国際センター発行のパンフレットもしくは以下のURLを参照してください。

<http://www.ic.keio.ac.jp/iccourse/index.html>

ただし、新入生は対象となりません。

在外研修プログラム

全学部および研究科に在籍している学生を対象に、夏季および春季休業中に海外で在外研修プログラムを開講しています。

これは、外国語による講義およびディスカッションのほか、大学内の寮生活などを初めとする多彩な諸活動を通して、さまざまな異文化交流を体験することで、国際性豊かな学生を育成することを目的としています。

短期間に質の高い充実した内容が盛り込まれていますので、海外生活体験をしたい方、外国語によるコミュニケーション能力向上を期待する方、将来長期の留学を考えている方などにとって、ふさわしい講座といえるでしょう。

ここに記載のあるもののほか、中国語授業だけでなく太極拳などのアクティビティや中国の大学生との交流活動、西安市の名所旧跡の見学などを通じて中国語および中国文化を総合的に理解することができる「西安交通大学中国語・中国文化夏季講座」や、韓国の名門大学で英語により韓国の政治・経済・社会・文化を学ぶ「延世大学春季講座」も新たに開講しました。

形態は原則として、往復とも大学手配の航空便による団体旅行形式で、教職員が同行する講座もあります。

また、現地への出発前には事前研修を数回実施します。(事後研修を実施する場合もあります。)

なお、プログラムは、自然災害、戦争、航空機等交通機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故などのために中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

【問合せ先】三田国際センター

URL : <http://www.ic.keio.ac.jp/index.html>

「海外に関心のある塾生へ」の「短期プログラム」詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

【夏季講座ガイダンス】

4月4日(水) 矢上	11-41番教室	12:00~13:00
	SFC 11番教室	16:10~17:40
4月5日(木) 三田	526番教室	10:45~12:15
	日吉 J29番教室	17:00~18:30

【夏季講座応募について】

- (1) 募集期間 4月11日(水)、12日(木)(予定)
- (2) 一次合格発表 4月19日(木)(予定)
- (3) 面接審査 4月21日(土)(予定)
- (4) 選考結果発表 4月27日(金)(予定)

慶應義塾大学 - ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ 夏季講座

ケンブリッジ大学は、オックスフォード大学と並び英国の名門校で、美しいキャンパスは勉学に最適な環境にあります。

授業は英語による講義、ケンブリッジ大学在籍生を交えてのディスカッション、エッセイの作成・提出を中心としており、ケンブリッジ大学の教員が指導にあたります。

【現地研修期間】

2007年8月6日(月)~9月5日(水)(予定)

5月~7月に事前研修を2回程度行います。

【研修内容】

講義(午前) ケンブリッジ大生(TA: Teaching Assistant)をまじえてのディスカッション(午後) エッセイ作成・提出(週末)。

開講予定科目

English Literature, British Art,

Ancient Greece and Western Civilization,

Astronomy: Unveiling the Universe, The Science of Chaos, Evolution and Behaviour (予定)

6科目の中から3科目を選択して履修。

【単位数】: 4単位

本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認をしてください。

【募集人数】60名

慶應義塾大学 - ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座

ウィリアム・アンド・メアリー大学は、米国東海岸ヴァージニア州ウィリアムズバーグにあり、教育・研究で高い評価を得ている州立大学です。創立は1693年で、アメリカではハーバード大学について古い歴史を誇っています。

本講座は、毎年定められるテーマに沿った英語による講義、グループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション等で構成されています。また、大学内での寮生活や、

講演会、ワシントンDC近郊の家庭でのホームステイ等を通じ、さまざまな異文化交流を体験することができます。

【現地研修期間】

2007年7月27日（金）～8月14日（火）（予定）

4月下旬より事前研修（6回程度）また、帰国後には事後研修（2回程度）を行います。

【研修内容】

ウィリアム・アンド・メアリー大学の教員による講義および質疑応答、ダイアログクラス、ウィリアム・アンド・メアリー大生をまじえてのグループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション、ワシントンDC近郊の家庭でのホームステイなど

【単位数】：4単位

本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認してください。

【募集人数】40名

慶應義塾大学 - ワシントン大学夏季講座

ワシントン大学はアメリカ北西部ワシントン州シアトルにある1861年に創立した歴史のある学校で、ワシントン州最大の大学です。豊かな自然に恵まれたキャンパスはとても広大で美しく、緑が多い環境の中で落ち着いて学業に専念することができます。

「環境」を多面的な視点から学ぶ講義・ワークショップとディスカッションのほか、フィールドトリップ、ワシントン大学の学外施設を利用した実地自然体験宿泊旅行などをバランスよく配置しています。

【現地研修期間】

2007年8月18日（土）～9月8日（土）（予定）

5月～7月に事前研修を2回程度行います。

【研修内容】

講義/ワークショップ、ディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーション

体験宿泊旅行：

レーニア山，エコロジーウォーク（森林学）

フライデー・ハーバー・ラボ（海洋学）

【単位数】：4単位

本講座は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは、各学部・研究科によって異なりますので各自確認してください。

【募集人数】30名

慶應義塾大学 - パリ政治学院春季講座

パリ政治学院は、フランスのエリート養成機関『グランゼコール』の1つで、フランス現大統領のシラク氏をはじめ、歴代の政界・財界の著名人の母校として大変有名です。

本講座は、加盟国の増大により拡大するEUの政治・社会・財政・文化の問題のみならず、EU対アジアやEU対米国の関係など、様々なテーマを取り扱う非常に中身の濃いプログラムとなっています。

プログラム期間中に、各自が決めた研究テーマに沿ってエッセイを書き、プログラム終了時には、パリ政治学

院からディプロマが授与されます。また、最終週にはベルギーの首都ブリュッセルにあるEUの諸機関を実際に訪問し、EUの組織に対する理解を深める機会が設けられています。

講義はすべて英語で行われますが、午後にはフランス語の授業もありますので、2ヶ国語を同時にマスターできるのもこの講座の魅力となっています。

プログラムの詳細は、10月ごろ国際センターホームページで発表します。

【現地研修 2006年度参考】

2007年2月16日～2007年3月17日

【講義内容 2006年度参考】

共通ブロック1つと、選択ブロックの中から2つの計3ブロックを履修。

共通ブロック

“ Europe: what are we talking about? ”

講義例)

“ The History of Europe: Once upon a time... ”

“ Contemporary history and institutions of Europe ”

“ The values of the Europeans ”

“ The European identities ”

“ The economic performances of European economies ”

“ European welfare states and the dynamics of generations ”

“ Democracy at the European level ”

“ National political parties in Europe: Do they have a European vision? ”

選択ブロック

“ Economics of the Euro area ”

“ Europe and its external relations ”

“ Migration and identities ”

【単位数】：4単位（卒業に必要な単位として認められることがあります。ただし、次年度春学期設置科目として認定の為、参加時に最終学年の場合は対象外となります。）

【募集人数】

定員：20名

8 言語文化研究所

言語文化研究所特殊講座は三田に設置されています。時間割は文学部（2・3・4年）時間割に掲載してありますので履修希望者は文学部時間割を参照してください。

〔参考〕平成19年度言語文化研究所特殊講座

科目名	教員名	単位数
サンスクリット初級	土田龍太郎	半期 1単位
サンスクリット初級	土田龍太郎	
サンスクリット中級	土田龍太郎	
サンスクリット中級	土田龍太郎	
アラビア語基礎	榮谷温子	
アラビア語基礎	榮谷温子	
アラビア語現代文講読	榮谷温子	
アラビア語現代文講読	榮谷温子	
アラビア語古典	岩見 隆	
アラビア語古典	岩見 隆	
アラビア語文献講読	岩見 隆	
アラビア語文献講読	岩見 隆	
ヴェトナム語初級	嶋尾 稔	
ヴェトナム語初級	嶋尾 稔	
ヴェトナム語中級	嶋尾 稔	
ヴェトナム語中級	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読	嶋尾 稔	
朝鮮語文献講読	野村伸一	
朝鮮語文献講読	李 美江	
ヘブライ語初級	笈川博一	
ヘブライ語初級	笈川博一	
ヘブライ語中級	笈川博一	
ヘブライ語中級	笈川博一	
ペルシャ語初級	関 喜房	
ペルシャ語初級	関 喜房	
ペルシャ語中級	岩見 隆	
ペルシャ語中級	岩見 隆	
タイ語初級	三上直光	
タイ語初級	三上直光	
タイ語中級	ボンシー, ライト	
タイ語中級	ボンシー, ライト	
トルコ語初級	ヤマンラル, アイドゥン	
トルコ語初級	ヤマンラル, アイドゥン	
トルコ語中級	ヤマンラル, アイドゥン	
トルコ語中級	ヤマンラル, アイドゥン	
カンボジア語初級	三上直光	
カンボジア語初級	三上直光	
古代エジプト語初級	笈川博一	
古代エジプト語初級	笈川博一	
古代エジプト語中級	笈川博一	
古代エジプト語中級	笈川博一	
アッカド語初級	高井啓介	
アッカド語初級	高井啓介	
アッカド語中級	高井啓介	
アッカド語中級	高井啓介	

サンスクリット初級

サンスクリット初級

言語文化研究所 講師 土田龍太郎

〔授業科目の内容〕

サンスクリット語入門の講義である。ほぼ一年かけて、サンスクリット語文法体系のあらましを修得することを目的とする。

〔教科書〕

ヤン・ホンダ著 鎧淳 訳「サンスクリット語初等文法」(春秋社)

辻 直四郎著「サンスクリット文法」(岩波書店)

サンスクリット中級

サンスクリット中級

言語文化研究所 講師 土田龍太郎

〔授業科目の内容〕

サンスクリット語の初歩をすでに一通り取得したもののための授業である。

〔教科書〕

参加者の希望で決める。

アラビア語基礎

アラビア語基礎

言語文化研究所 講師 榮谷 温子

〔授業科目の内容〕

正則アラビア語(フスハー)のアラビア文字の読み方、綴り方からはじめ、一年間で基礎文法を習得することを目的とします。また正則アラビア語による簡単な日常会話フレーズも練習します。

〔教科書〕

佐々木淑子著『アラビア語入門』(翔文社、2004年、1905円)

必要に応じてプリントや練習問題を配付します。

〔参考書〕

David Cowan, An Introduction to Modern Literary Arabic (Cambridge University Press)

アラビア語現代文講読

アラビア語現代文講読

言語文化研究所 講師 榮谷 温子

〔授業科目の内容〕

基礎文法の習得を終えた人を対象として現代文の講読を行います。講読を通して、アラビア語の基本的な文章構造の理解、さらには母音記号などの補助記号がついていない文章にたいする読解力の養成を目的とします。

〔教科書〕

プリントを配布します。

辞書はHans Wehr, A Dictionary of Modern Written Arabic-English を使用します

〔参考書〕

佐々木淑子著『アラビア語入門』(翔文社、2004年、1905円)

David Cowan, An Introduction to Modern Literary Arabic (Cambridge University Press)

アラビア語古典

アラビア語古典

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

母音符号のついていない普通のアラビア語テキストを読めるようになるための演習です。文法の知識をテキスト読みにどう生かすかを課題としてやります。

〔教科書〕

Brünnow-Fischer: Arabische Chrestomathie プリントで配ります

〔参考書〕

井筒俊彦：アラビア語入門、慶應出版社1950

アラビア語文献講読

アラビア語文献講読

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

アラビア語の定評ある古典の中、平易な散文(叙事の文)をあたりまえに読めるようになることを目指します。

〔教科書〕

受講者と相談して決めます

〔参考書〕

Wright: Arabic Grammar Cambridge Univ. Press, 1962

ヴェトナム語初級

ヴェトナム語初級

言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

ヴェトナム語の基礎知識(発音、綴り字、初級文法、簡単な会話表現)の修得を目指します。

〔教科書〕

『ベトナム語入門』(慶應外国語学校)

ヴェトナム語中級

ヴェトナム語中級

言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

ヴェトナム語の基礎知識を身につけた人を対象に、ヴェトナム語の読解力の修得を目指します。ごく簡単な文章から始めますが、受講者のレベルや要望に応じて時事的な文章(雑誌・新聞の抜粋)に進みます。

〔教科書〕

初回に受講者と相談して決めます。

〔参考書〕

小高泰・Nguyen Thi Mai Hoa 『会話で覚えるベトナム語666』(東洋書店, 2005年)

ヴェトナム語文献講読
ヴェトナム語文献講読

言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔

〔授業科目の内容〕

ヴェトナム語で書かれたヴェトナムの歴史や文化に関する文章を読みます。或いは、ヴェトナム漢文に興味のある受講者があれば、漢文と現代ヴェトナム語の対訳テキストを読みます(この場合、ヴェトナム語未修者でもかまいません)。

〔教科書〕

初回に受講者と相談して決めます。

〔参考書〕

富田健次 『ヴェトナム語の世界：ヴェトナム語基本文典』(大学書林, 2000年)

ペルシア語初級

ペルシア語初級

言語文化研究所 講師 関 喜房

〔授業科目の内容〕

現代ペルシア語文法を全くの初歩から講義します。教科書の文法が終わり次第、易しい文章を読むつもりです。その際、文法書には記されていない文法上の例外事項などについて詳しく説明するつもりです。

〔教科書〕

岡崎正孝著 『基礎ペルシア語』(大学書林)

〔参考書〕

黒柳恒男著 『ペルシア語の話』(大学書林)

ペルシア語中級

ペルシア語中級

言語文化研究所 講師 岩見 隆

〔授業科目の内容〕

ペルシア語の文の流れをつかみとれるように、平易なペルシア語散文をできるだけたくさん読みます。

〔教科書〕

受講する人と相談して決めます。

〔参考書〕

Lambton : Persian grammar. Cambridge Univ. Press, 1974

タイ語初級

タイ語初級

言語文化研究所 教授 三上直光

〔授業科目の内容〕

タイ語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

〔教科書〕

開講時に指示します。

タイ語中級

タイ語中級

言語文化研究所 講師 ポンシー, ライト

〔授業科目の内容〕

タイの小学校二年生の教科書より短編ストーリーを用いてタイ語の運用能力向上を目指します。

〔教科書〕

プリント使用。

トルコ語初級

トルコ語初級

言語文化研究所 講師 ヤマンラール, アイドウン

〔授業科目の内容〕

トルコ共和国の現代トルコ語初級文法を講義します。基礎的な文法事項を学習しますが、簡単な講読も行います。

〔教科書〕

プリント使用

トルコ語中級

トルコ語中級

言語文化研究所 講師 ヤマンラール, アイドウン

〔授業科目の内容〕

初級文法を学んだ人を対象に講読を行います。文法事項の復習にも重点を置くとおりです。

〔教科書〕

プリント使用

朝鮮語文献講読

文学部教授 野村伸一

朝鮮語文献講読

言語文化研究所講師 李 美江

〔授業科目の内容〕

大韓民国という国家、社会の歴史と現状を知るためのテキストを講読します。

今日「韓流」というマスコミにより流布された一種の流行現象に興味を抱く人は多く、皆さんのなかにもそうした人はいるでしょう。そのこと自体はきっかけとしてはいいことです。しかし、それにまつわる言説だけをみても、決して内面的な理解には到達し得ないでしょう。

すべて、ものごとには、来歴と「いうにいわれぬこと」があるものです。朝鮮民族にとって、それはどういふものであったのか。それを知らない限り、日本と朝鮮半島は時流の往来をくり返すばかりではないでしょう。

〔教科書〕

韓洪九 『大韓民国史03』、ハンギョレ新聞社、2005年。各自、韓国書籍を扱う書店(例、三中堂、高麗書林)もしくはソウルの大型書店に注文して入手してください。

〔参考書〕

韓洪九著、高崎宗司監訳 『韓洪九の韓国現代史 韓国

とはどういう国か』、平凡社、2003年

同『韓洪九の韓国現代史2 負の歴史から何を学ぶのか』、平凡社、2005年

* 上記の翻訳書は韓洪九『大韓民国史01』、『大韓民国史02』に相当します。

<http://web.hc.keio.ac.jp/shnomura/shohyou1.html>に書評を掲載しました。

カンボジア語初級

カンボジア語初級

言語文化研究所 教授 三上直光

【授業科目の内容】

カンボジア語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

【教科書】

開講時に指示します。

ヘブライ語初級

ヘブライ語初級

言語文化研究所 講師 笈川博一

【授業科目の内容】

旧約聖書ヘブライ語の初歩。まったくの初心者をも想定している。

【教科書】

テキストは比較的繰り返しの多い創世記を用いるが、プリントを授業で配布する。

【参考書】

英語ないしドイツ語による辞書（¥2500～¥10000）が必要となるが、それについては授業で案内する。

ヘブライ語中級

ヘブライ語中級

言語文化研究所 講師 笈川博一

【授業科目の内容】

旧約聖書サムエル記の講読。

【教科書】

テキストはプリントを授業で配布する。

【参考書】

英語ないしドイツ語による辞書（¥2500～¥10000）が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代エジプト語初級

古代エジプト語初級

言語文化研究所 講師 笈川博一

【授業科目の内容】

文法体系が比較的よく分かっている後期エジプト語の初歩。まったくの初心者をも想定している。

【教科書】

テキストは「ヴェナモン」を用いるが、プリントを授業で配布する。

【参考書】

5月ごろから辞書（約¥9000）が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代エジプト語中級

古代エジプト語中級

言語文化研究所 講師 笈川博一

【授業科目の内容】

中期エジプト語の初歩。

【教科書】

テキストは「難破した水夫」であるが、プリントを授業で配布する。

【参考書】

辞書はRaymond O. Faulkner "A Concise Dictionary of Middle Egyptian" Oxford (Amazon JPで¥3542) あるいはその日本語訳が必要となる。

アッカド語初級

アッカド語初級

言語文化研究所 講師 高井啓介

【授業科目の内容】

アッカド語を学ぶ際の基礎となる古バビロニア方言（Old Babylonian）の初級文法及び文字表記システムの修得を目的とします。下記に指定した教科書を使いますが、足りないところは適宜プリントによって補っていく予定です。文法事項を学び進めながら、アッカド語が記されるときに使われた楔形文字のうち主要なものを覚えていきます。秋学期以降には、ハンムラビ法典など著名な作品の雰囲気にも触れていきたいと考えています。

【教科書】

Richard Caplice, *Introduction to Akkadian* (Biblical Institute Press)

【参考書】

開講時に指示します。

アッカド語中級

アッカド語中級

言語文化研究所 講師 高井啓介

【授業科目の内容】

アッカド語の初級文法を一通り学んだ人を対象に文献講読を行います。文法事項を再度確認しながら、簡単なものからはじめていろいろなジャンルのテキストを読んでいくことにします。具体的なテキストは受講者と相談して選びます。

【教科書】

テキストはプリントを準備します。

9 知的資産センター設置講座

1. 知的資産センター設置講座開講にあたり

慶應義塾大学では、研究成果の社会への還元を、教育・研究と並ぶ大学の使命と考えています。そして、「慶應義塾で生れた研究成果は義塾にとって貴重な知的資産であり、大学はこれら知的資産の保護と活用を積極的に促進・支援する」という理念を公表しています。

こうした方針に基づき、知的資産センターは慶應義塾で生れた研究成果を社会へ還元するために、慶應義塾大学の技術移転機関として1998年11月に設立されました。技術に関するものだけでなく、電子メディアを始めとして広汎な研究成果を対象とするとともに、新しい事業の創出に資するという意味をこめて「知的資産センター」と名付けられました。

知的資産センターの事業は、研究成果の特許保護、技術の移転、起業の支援と拡大しています。そして、教職員の熱意と高いポテンシャルをもった研究成果に支えられ、既に数多くの慶應義塾の特許出願が生まれ、技術移転も活発化し、多くの新製品を生み出しています。さらに、バイオ分野を中心にベンチャー企業のスタートアップも相次いでいます。

また、知的資産センターは技術移転に密接に関係する知的財産に関する教育・研究も任務としています。

情報技術の劇的な革新に伴い電子メディア、ビジネスモデル特許に代表されるように、知的財産は社会のあらゆる分野に密接に関係してきました。こうした時代の変化に対応していくためには、専攻分野に係わらず知的財産に関する幅広い知識と理解が求められています。

そこで、知的財産に関する教育の一環として、全学部の学生を対象として知的財産全般について基本的な事項の理解を図るため、設置講座を開講しました。

2. 設置科目、履修上の取扱いについて

今年度は「知的資産概論」の1科目を、春学期 三田キャンパスで開講します。

授業時間は水曜日 18:10~19:40、単位は2単位です。その他授業に関する情報は、三田掲示板、<http://www.ipc.keio.ac.jp>でお知らせします。受講を希望する場合は、履修の取扱いについて各学部、研究科の履修案内で確認の上、各学部窓口で履修申告をしてください。

知的資産概論

「知的財産の保護と活用をめぐる課題（ナテグリニド特別講座）」
知的資産センター所長（商学部教授） 清水 啓助

〔授業科目の内容〕

研究活動や創造活動の成果を知的財産として、戦略的に保護・活用し、我が国産業の国際競争力を強化するという国家戦略が策定され、知的財産に対する関心は高まっています。知的財産には、技術（特許）、デザイン

（意匠）、ブランド（商標）、音楽・映画のコンテンツ（著作権）といったものがあり、権利の内容や活用法はそれぞれ固有な特色があります。本講義では、代表的な知的財産の権利保護・活用における現状と課題についての理解を深め、知的財産に関する幅広い知識を得ることを目標とします。

〔教科書〕

講義資料を配布します。

〔参考書〕

清水啓助他著「知的創造時代の知的財産」慶應義塾大学出版会

竹田著「特許がわかる12章」ダイヤモンド社

岡本著「著作権の考え方」岩波新書

〔授業の計画〕（内容と順序は変更になる場合があります）

1. 知的財産の新たな時代
2. 特許の仕組み
3. 著作権の仕組み
4. 商標ブランドの価値
5. マルチメディアに関する知的財産
6. キャラクタービジネス
7. 音楽に関する著作権問題
8. 企業における知的財産戦略
9. 知的財産に関する世界の動向
10. 知的財産の紛争処理
11. ベンチャー・起業の仕組み
12. 知的財産ビジネス
13. 技術の移転

なお、講義は外部講師を含め、オムニバス形式で行います。

〔担当教員から履修者へのコメント〕

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

単位の取扱いについては、学部により異なりますので注意してください。

〔成績評価方法〕

平常点及びレポートによる評価

〔質問・相談〕

授業の最後に質問の時間を設けます。

10 教職課程センター

教員免許を取得しようと考えている学生は、「教職課程」を履修しなければなりません。本塾大学では「教職課程センター」が、教職課程履修者の指導に当たっています。

教職課程センターでは、毎年学年初めに教職課程の履修を希望する学生を対象に「教職課程ガイダンス」を実施しています。履修希望者は、その教職課程ガイダンスに出席し、本塾大学における教員養成について十分理解した上で、教職課程を履修してください。

1998年に教育職員免許法の改正がなされ、2000年度入学者から新免許法が適用されることになりました。それ以前に入学した人は88年改正免許法が適用されます。したがって、入学年度により免許状取得に必要な履修科目および単位数が異なりますので、注意してください。

以下の説明は、98年改正法適用者向けとなっています。

本塾大学の教職課程で取得できる教員免許状の種類および教科は以下のとおりです。

文学部	人文社会学科	中学校 1種	国語、社会、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）
		高等学校 1種	国語、地理歴史、公民、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）、情報
経済学部	経済学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
法学部	法律学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
	政治学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
商学部	商学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民、商業
理工学部	機械工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	数学
		高等学校 1種	工業
	電子工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	数学
	応用化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	工業
	物理情報工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	理科
	管理工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	情報
	数理科学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	情報
	物理学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	理科
	化学科	中学校 1種	理科
高等学校 1種		理科	
システムデザイン工学科	中学校 1種	理科	
	高等学校 1種	情報	
情報工学科	中学校 1種	数学	
	高等学校 1種	情報	
生命情報学科	中学校 1種	理科	
	高等学校 1種	理科	

教職課程履修案内

【教職課程の履修・登録の学年について】

1 教職課程の履修学年

教職課程を区分しますと、次の4領域にわたっています。

- (1) 教科に関する科目
- (2) 教職に関する科目
- (3) 教科又は教職に関する科目
- (4) (1)と(2)と(3)以外の科目

以上のうち、(1)はそのほとんどを第3学年から履修します。(2)および(3)は第2学年から履修できます。(4)は「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけるための科目で、学部によって名称が異なりますが、総合教育科目などと呼ばれている科目です。この科目は第1学年から履修します。以上はおおよそその目安であり、学部のカリキュラムによって多少の違いがあります。

(注) 法学部秋学期入学の学生は教職課程の履修の仕方に異なる点がありますから、個別に学習指導を受けてください。

2 教職課程の登録

教職課程を履修しようとする人は、所定の登録をしなければなりません。教職課程登録は第2学年から行っています。

登録学年		登録場所
文学部	第2学年	(三田)教職課程センター
経済学部	第2学年	(日吉)学事センター
法学部	第2学年	
商学部	第2学年	
理工学部	第2学年	

参考：登録の際「教職課程費」(現行30,000円)を納入しなければなりません。

【2 科目の履修について】

前述の教職課程の4つの領域について、各領域ごとにその履修解説をしておきます。

1 教科に関する科目

この科目群の詳細については、教職課程の登録の際の三田または矢上で行われる「教職課程ガイダンス」で学習指導担当者が説明します。ここでは履修上学生がよく誤解する点のみ以下に述べます。

- (1) 「教科に関する科目」は、学則上以下の3つの科目区分にわたって設置されています。

所属学部・学科の専門的領域に属する科目
各学部・学科の「教職課程教科に関する科目」
教職課程センター設置の「教科に関する科目」

この科目の名称は、学部ごとに異なり、以下のようになっています。

文学部 専門教育科目

経済学部 専門教育科目
法学部法律学科 法律学科目
法学部政治学科 政治学科目、社会科学科目
商学部 専攻科目
理工学部 専門教育科目、基礎教育科目

以上の科目のうちすべてが「教科に関する科目」とはなりません。当該学部・学科で取得できる免許教科に関連する科目が「教科に関する科目」となります。学部1・2学年に配当されている所属学部・学科の科目のうち、この科目にあたるものがありますので、なるべく単位を取得しておく方が望ましいです。第1・2学年に配当されている「教科に関する科目」のうち、特に第1・2学年で単位取得が望ましい科目については、4月の「教職課程ガイダンス」で説明しますので、必ず出席するようにしてください。

この科目は、第2学年以降で履修しますので、教職課程登録を行う学年に進級した際に各キャンパスで行われる「教職課程ガイダンス」に出席し、学習指導担当者の説明を聞いて履修してください。

- (2) 同一名称や類似名称の科目であっても、専門教育科目・法律学科目・政治学科目・専攻科目および「教職課程教科に関する科目」でない科目は、原則として「教科に関する科目」とならないので、注意してください。詳細につきましては、「教職課程ガイダンス」で説明します。

2 教職に関する科目

「教職に関する科目」は、教職課程を登録する学年から履修できます。これらの科目に関する学部での履修上の扱いは、多くは「自由科目」となっています。学部によって「自由科目」の扱いが異なる場合がありますので、学生諸君は履修申告の際、十分注意をはらう必要があります。

3 教科又は教職に関する科目

主に三田キャンパスに設置されている科目です。履修については「教職課程ガイダンス」で説明します。

4 1、2、3以外の科目

教育職員免許法施行規則には「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけることが規定されています。各学部で以下のような科目区分で設置されている科目を所属学部・学科の学則に従って履修すれば、この規定の要件は達成されます。

文学部 総合教育科目
経済学部 総合教育科目、保健体育科目
法学部 人文科学科目、自然科学科目、数学・統計・情報処理科目、社会科学科目、保健体育科目
商学部 総合教育科目
理工学部 総合教育科目

しかし、教員免許取得のためには、特に、次の単位が

必修となっていますので注意してください。

(1)「法学(憲法を含む)」(4単位)必修。または、「法学(憲法を含む)」(2単位)と「法学(憲法を含む)」(2単位)の2科目必修。 のみ、あるいは のみでは認められません。

(2)「体育」2単位必修

このうち、1単位は必ず実技科目でなくてはなりません。残りの1単位は、体育学講義、体育理論、体育学演習、体育実技のうちから選択できます。

(3)「外国語コミュニケーション」必修

卒業するための単位に含まれている外国語に関する必修科目を履修することによって単位修得できます。

(4)「情報機器の操作」必修

以下の科目のいずれかを修得しなければなりません。

文学部 基礎情報処理

経済学部 情報処理I・II・III

法学部 情報処理I・II・III・IV

商学部 情報リテラシー(情報処理I)・

データとの対話(情報処理II)

理工学部 情報処理同実習

なお、「法学(憲法を含む)」と「体育」は、第1・2学年に配当・設置されていることが多いので、なるべく配当学年の内に取得しておくこと。また、所属学部設置されている科目を原則として履修すること。

【3 教職課程履修開始の心構え】

安易な気持ちで教職課程を履修することがないようにしてください。特に以下の点は十分に理解することが必要です。

(1)教員免許状を取得するには卒業に必要な単位のほかに、かなり多くの単位を余分に履修しなければならないということ。

(2)教員免許状が取得できたとしても、教員の需給の関係からして就職は最近特に困難であるということ。

将来中学校・高校の教員になることを志望している学生諸君は、以上の点をよく考慮した上で、教職課程の履修を第2学年からはじめてください。

【4 介護等体験について】

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」(通称・介護等体験特例法)が成立し、平成10年4月1日から施行されました。これにより、小学校教諭または中学校教諭の普通免許状は取得しようとする人には、7日間を下らない範囲内で、盲学校、聾学校若しくは養護学校または社会福祉施設等で、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの人との交流等が必要となります。この法律は平成10年4月1日以降に入学した学生に適用されます。教職課程ガイダンスで、そのことについての説明がありますので、注意して聞いてください。なお、教職課程登録をした、3年生以上の学生のみが大学を通して社会福祉施設等に申し込むことができます。

【5 その他の注意】

(1)教職課程の掲示板は、第4校舎19番教室手前にあります。重要な事項および各種ガイダンス日程などを掲示します。見落としのないよう十分注意してください。

(2)教職課程ガイダンスについて

教職課程に興味のある1年生は、1年生向けの教職課程ガイダンスに出席してください。また、教職課程を履修しようとする2年生は、新規登録希望者向けの教職課程ガイダンスに必ず出席してください。

11 外国語学校

外国語学校は、昭和17年10月語学研究所（現在の言語文化研究所）の設置と同時にその実践部門として開校され、以来塾生はもとより、他校学生、一般社会人の外国語学習の場として、高い評価を得ています。現在、欧米諸国語はもとより、アジア諸言語など14外国語科を設置し、約1,000名の学生が在学しています。授業は、義塾内外の外国語担当教授をはじめ、外国語を使って実際の場で活躍している職業人、外国人講師など、優れた教員によって行われています。

授業は、三田キャンパスで18:30~20:00（英会話のみ16:30~18:00もあり）に開講しています。受講に当たっては外国語学校の定める入学手続きが必要で、詳細については、「外国語学校入学案内」（一部500円、三田・日吉正門警備室でも取扱う）を参照して下さい。開講は4月と10月で入学願書の受付は2月上旬~3月上旬、8月上旬~9月上旬の年2回です。

法学部の学生は、学部教授会によって認定された右表の科目を自由科目として春・秋学期各2単位履修することができます。履修申告の方法は、学部の自由科目の申告方法と同じです。必ず学部にお問い合わせください。

外国語学校の入学手続は、4月期（春学期）の場合、履修申告手続よりも前に行わなければならないので、後日もし学部の履修科目と時間が重なったことが判った時は、直ちに外国語学校事務室に相談してください。

また、日吉キャンパスでは日吉特別講座を18:30~20:00に開講しています。開講する語学は英語・ドイツ語・フランス語の3カ国語です。詳しくは、外国語教育研究センター日吉事務室へお問合せください。

<http://www.fls.keio.ac.jp/>

外国語学校で学べる外国語

三田

英語、英会話、ビジネス・イングリッシュ、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ロシア語、イタリア語、インドネシア語、アラビア語、朝鮮語、ベトナム語、タイ語

日吉

英語、ドイツ語、フランス語

外国語学校開講科目のうち、法学部の自由科目とすることができるもの

語学科	クラス	週間授業数
(1) 英語	上 級	3回
(2) 英会話	中 級	2回
	上 級	2回
(3) ビジネス・イングリッシュ		2回
(4) ドイツ語	基礎級	3回
(5) フランス語	初 級	3回
(6) スペイン語		
(7) 中国語	中 級	3回
(8) イタリア語	上 級	3回
(9) ロシア語	基礎級	2回
(10) インドネシア語	初 級	2回
(11) アラビア語		
(12) 朝鮮語		
(13) ベトナム語	中 級	2回
(14) タイ語	上 級	2回

スペイン語上級および中国語中級・上級は週2回

索引

索引

科目

あ	アッカド語Ⅰ (初級)	296	化学C	216
	アッカド語Ⅰ (中級)	296	化学D	217
	アッカド語Ⅱ (初級)	296	科学史Ⅰ	10
	アッカド語Ⅱ (中級)	296	科学史Ⅱ	11
	アラビア語Ⅰ (基礎)	294	化学実験	212
	アラビア語Ⅰ (現代文講読)	294	化学統計熱力学	222
	アラビア語Ⅱ (基礎)	294	化学統計熱力学演習	223
	アラビア語Ⅱ (現代文講読)	294	科学と社会	11
	アラビア語文献講読Ⅰ	294	学外実習第Ⅰ	223
	アラビア語文献講読Ⅱ	294	確率	223
	アラビア語古典Ⅰ	294	確率論入門Ⅰ	160
	アラビア語古典Ⅱ	294	確率論入門Ⅱ	161
	アルゴリズム	218	確率論基礎	205、209
	アルゴリズム同演習	218	環境化学概論	223
	アルゴリズムと情報処理	218	監査論	203
	アルゴリズム論	218	関数論第Ⅰ同演習	224
い	EEP	213	漢文	11
	位相数学	218	漢文 a	11
	遺伝子の科学	252	漢文 b	11
	医療科学Ⅰ	213	カンボジア語Ⅰ (初級)	296
	インダストリアル・エンジニアリング	218、219	カンボジア語Ⅱ (初級)	296
う	ヴェトナム語Ⅰ (初級)	294	管理会計論	203
	ヴェトナム語Ⅰ (中級)	294	管理工学基礎演習Ⅰ	224
	ヴェトナム語Ⅱ (初級)	294	管理工学用数学第Ⅰ	224
	ヴェトナム語Ⅱ (中級)	294	管理工学基礎演習Ⅱ	224
	ヴェトナム語文献講読Ⅰ	295	き	
	ヴェトナム語文献講読Ⅱ	295	機械工学創造演習	224
	宇宙の科学	4	機械力学の基礎	224、225
え	映像・音響文化論	4	企業法	203
	エレクトロニクス・デバイス	219	基礎化学実験	225
	エレクトロニクス基礎	219	基礎情報処理 (A)	138
	エレクトロニクス創造演習	219	基礎数学Ⅰ	164
	演習Ⅰ	188~192	基礎数学Ⅱ	164
	演習Ⅱ	192~195	基礎生物学	225
お	応用解析第Ⅰ	219、220	基礎生命実験	225
	応用解析第Ⅱ	220	基礎統計学Ⅰ	164
	応用化学計算基礎	220	基礎統計学Ⅱ	165
	応用確率論	220、221	基礎の数学	12
	応用経営学	202	基礎分子細胞生物学Ⅰ	212
	応用数学	221	基本簿記と財務諸表の見方	199
	応用電気電子回路	221	教育学	11、12
	応用電磁気学同演習	221	教育学Ⅰ	11
	応用簿記	202	教育学Ⅱ	12
	オペレーションズ・リサーチ第Ⅰ	221	行政学Ⅰ	185
	音楽	4~8	行政学Ⅱ	185
	音楽Ⅰ	4~8	行政法	181
	音楽Ⅱ	4~8	教養研究センター極東証券寄附講座	287~290
か	会計学	209	近代思想史	12、13
	解析Ⅰ	208	近代思想史Ⅰ	12、13
	解析Ⅱ	208	近代思想史Ⅱ	12、13
	解析学入門Ⅰ	160	近代日本と福澤諭吉	13
	解析学入門Ⅱ	160	く	
	解析力学	222	空間設計製図A	225
	回路とシステム第Ⅰ	222	け	
	回路とシステム第Ⅱ	222	経営学	198、199、209
	化学	9、10	経営管理論	225
	化学Ⅰ	9、10、211	経済学	14、196、207
	化学Ⅱ	9、10、211	経済学Ⅰ	14、204
	化学A	216	経済学Ⅱ	14、204
	化学B	216	経済学基礎Ⅰ	196
			経済学基礎Ⅱ	196
			経済原論Ⅰ	181
			経済原論Ⅱ	182
			経済史	208
			経済史Ⅰ	155、197
			経済史Ⅱ	155、197
			経済思想の歴史Ⅰ	156
			経済思想の歴史Ⅱ	157、158

経済人類学	14	国際法	181
経済人類学 a	14	古代エジプト語 I (初級)	296
経済人類学 b	14	古代エジプト語 I (中級)	296
経済数学 I	157	古代エジプト語 II (初級)	296
経済数学 I A	157	古代エジプト語 II (中級)	296
経済数学 I B	157	コンピュータ実習	228
経済数学 II	158	さ 細胞生物学第 I	229
経済数学 III	158	財務会計論	202
経済数学入門 I	161	材料力学の解法	229
経済数学入門 II	162	材料力学の基礎	229
経済と環境	158	酸塩基及び酸化還元	229
計算機科学同実習	225	産業経済論	209
計算機基礎	226	産業経済論 a	201
計算機構成同演習	226	産業経済論 b	201
計算力学の基礎 I	226	サンスクリット I (初級)	294
計算力学の基礎 II	227	サンスクリット I (中級)	294
計算論理学	227	サンスクリット II (初級)	294
形状情報の表現	227	サンスクリット II (中級)	294
計測工学	227、228	し ジェンダー論 I	19
刑法	181	ジェンダー論 II	20
刑法 I	173	時事英語 I	259
刑法 I A	173	時事英語 II	259
刑法 I B	173	システム制御論	229
刑法 II	173	システムデザイン工学概論	230
刑法 II A	174	システムデザイン工学基礎演習	230
刑法 II B	174	自然科学研究会 I	110
計量経済学概論	159	自然科学研究会 II	110、111
ゲーム理論基礎	205	自然科学実験	217
健康科学	14	自然科学総合講座 II	114
言語学	15、138	自然科学特論 I	20、145
言語学 I	15	自然科学特論 II	20、145
言語学 II	15	自然人類学	20
言語学 III	15	私法基礎	208
言語学 IV	16	私法基礎 I	198
言語認識論	16	私法基礎 II	198
現代アメリカ論 I	187	社会・経済と工学	230
現代化学概論	16	社会科学概論 I	20
現代芸術論	16	社会科学概論 II	21
現代思想論	17	社会科学特論	144
現代社会と医学 I	279	社会科学特論 I	144、145
現代社会と医学 II	279	社会科学特論 II	144、145
現代社会論	17、18	社会科学の考え方	20、21、207
現代生物学概論	18	社会学	21、22、178、180
現代世界史	18	社会学 I	21
現代物理学概論	252	社会学 II	21
現代メディア論	18、19	社会学 a	22
現代ロシア論 I	187	社会学 b	22
憲法	180	社会経済学	208
憲法 I	169	社会経済学 I	197
憲法 I A	169	社会経済学 II	197
憲法 I B	169	社会心理学 I	22
憲法 II	169、170	社会心理学 II	23
憲法 II A	169、170	社会との対話 D	204、209
憲法 II B	170	社会との対話 S	204、209
こ 光学基礎	228	社会問題 I	160
光学システム	228	社会問題 II	160
工学数学	228	周期表の化学基礎	230
高分子化学基礎	228	周期表の化学第 I	230
国語国文	19	宗教学	23
国語国文 I	19	宗教学 I	23
国語国文 II	19	宗教学 II	23
国語国文 a	19	宗教学 a	23
国語国文 b	19	宗教学 b	23
国際政治基礎	184、185	自由研究セミナー	99~108
国際政治論 I	185	自由研究セミナー a	100~108

自由研究セミナー b	100~108	政治学基礎 I	182
集合論	230、231	政治学基礎 II	183
住宅・建築史概論	24	政治思想基礎	183
商学概論	207	政治文化論	187
商業学	209	生体計測論	234
商業学 I	200、201	生体反応論第 1	234
商業学 II	200、201	生体物質の化学	234
情報経済学	231	生体分子構造論	234
情報処理 I	152、166、167、207	生物科学	37~39
情報処理 II	152~154、166、167、207、208	生物科学入門	253
情報処理 III	153、154、167	生物学	37~44、211
情報処理 IV	168	生物学 I	37~43
情報処理応用 I	285	生物学 II	37~44
情報処理概論 I	285	生物学実験	212、254
情報処理概論 II	285	生物学実験集中	254
情報処理同実習	217	生物学序論	217
情報数学概論	231	生物量子化学	234
情報通信工学基礎	231	生命科学のための確率論	235
情報リテラシー基礎	205	生命系の数学	235
情報理論	231	生命系の有機化学	235
女性学	24、25	生命現象の分子科学	44、254
書物の世界 I	139	生命の科学	44
書物の世界 II	139	生命物理化学第 1	235
人体の生理	252	生命物理化学第 2	236
身体文化論	24	西洋外交史 I	186
振動と波動	232	世界経済の現状と問題	147
振動波動論	233	世界の経済	254
人文科学特論	141、142	世界の政治	45
人文科学特論 I	111、112、139、140、142、143	線形代数	146、206、208、236
人文科学特論 II	113、114、139~144	線形代数演習	206、209
人文総合講座	24	線形代数統論	146
人文総合講座 I	24	戦争と社会	45
心理学	213	そ 造形・デザイン論	45
心理学 I	27~30、253	総合教育セミナー (II 類)	118
心理学 II	27~31、253	総合教育セミナー I	98、127~131
人類学	31、139	総合教育セミナー II	98、99、131~135
人類学 I	31	総合教育セミナー D (I 類)	115、116
人類学 II	31	総合教育セミナー D (II 類)	116~124
人類学 a	31	総合教育セミナー D (III 類)	124、125
人類学 b	31	総合教育セミナー S (I 類)	125、126
す 数学	31	総合教育セミナー S (II 類)	126、127
数学 I	31、165、210	ソフトウェア工学	237
数学 II	31、165、210	た 体育学演習	264
数学 III	32、210	体育学講義	262、263
数学 IV	32	体育実技 A (アーチェリー)	273
数学 A1	214	体育実技 A (合気道)	270
数学 A2	214	体育実技 A (ウォーキング・エクササイズ)	272
数学 A3	214	体育実技 A (エアロビクス)	272
数学 A4	215	体育実技 A (空手)	274
数学 B1	214	体育実技 A (器械体操)	277
数学 B2	214	体育実技 A (弓術)	275
数学 B3	214	体育実技 A (剣道)	270、271
数学 B4	215	体育実技 A (ゴルフ)	273
数学解析第 1	232	体育実技 A (サッカー)	265
数学解析第 2	233	体育実技 A (自動車)	273
数学概論 I	146	体育実技 A (柔道)	270
数学概論 II	147	体育実技 A (ジョギング)	272
数理科学基礎第 1	233	体育実技 A (水泳)	275
数理科学基礎第 2	233	体育実技 A (ソフトテニス)	265
数理計画法	205、208、233	体育実技 A (ソフトボール)	269
図形情報処理	233	体育実技 A (体力 UP コース)	271、272
せ 生化学	234	体育実技 A (卓球)	267
政治学	32~37	体育実技 A (ダンス)	272
政治学 I	32~36	体育実技 A (テニス)	265~267
政治学 II	32~37	体育実技 A (トランポリン)	273

体育実技 A (軟式野球)	270	データ解析入門 I	162
体育実技 A (日本剣道形クラス)	271	データ解析入門 II	162
体育実技 A (ニュースポーツ)	274	データとの対話 D	206、207
体育実技 A (バスケットボール)	267、268	デザインリテラシー演習	238
体育実技 A (バドミントン)	267	デジタル・アナログ回路	238
体育実技 A (バレーボール)	268、269	デジタル基礎	238
体育実技 A (ハンドボール)	269	哲学	59~63
体育実技 A (フェンシング)	271	哲学 I	59~63
体育実技 A (フットサル)	265	哲学 II	59~63
体育実技 A (ボクシング)	271	電気回路基礎	238
体育実技 A (野球)	269、270	電気回路同演習	239
体育実技 A (陸上競技)	273	電気回路理論	239
体育実技 B (アウトドアレクリエーション)	277	電気電子工学セミナー I	239
体育実技 B (山岳)	275	電気電子工学セミナー II	239
体育実技 B (スキー)	278	電気電子材料	239
体育実技 B (スケート)	278	電磁エネルギー変換工学	240
体育実技 B (ニュースポーツ)	274	電子回路基礎	239、240
体育実技 B (馬術)	276	電子回路同演習	240
体育実技 B (バレーボール)	268、269	電磁気学	240
体育実技 B (ビーチバレー)	277	電磁気学第 1	240
体育実技 B (フライングディスク)	274	電磁気学同演習	240
体育実技 B (ヨット)	276	電磁気工学	241
タイ語 I (初級)	295	天文学	63
タイ語 I (中級)	295	天文学 I	63
タイ語 II (初級)	295	天文学 II	63
タイ語 II (中級)	295	と 統計解析	241
代数学基礎同演習	237	統計学 I	154、166、196、208
ダイナミカルシステム	237	統計学 II	155、166、196、208
団体法	178	統計学 III	166
ち 地域研究基礎	184	統計学 IV	166
地域研究—スペイン事情 I	45	トルコ語 I (初級)	295
地域研究—スペイン事情 II	45	トルコ語 I (中級)	295
地域研究—中国事情 I	46	トルコ語 II (初級)	295
地域研究—中国事情 II	46	トルコ語 II (中級)	295
地域研究—北米事情 I	46	に 21世紀の実学	64
地域研究—北米事情 II	46	日本外交史 I	186
地域生態文化論	46	日本経済の現状と問題	147
地域文化論	47	日本政治基礎	184
地域文化論 I	48~50、52~54	日本の経済	254
地域文化論 II	48~50、52~54	日本の産業と経営	205、209
地域文化論 III	48、49、51、53、54	日本の政治	64
地域文化論 IV	49~51、53、54	ね 熱物理	241
地学	55、56	熱力学	241
地学 I	55、56	熱力学の基礎	241
地学 II	55、56	熱流体システム第 1	242
地球科学概論 I	56	熱流体システム第 2	242
地球科学概論 II	56	は バイオプログラミング第 1	242
知的資産概論	297	バイオプログラミング第 2	243
中級線形代数	206、209	反応有機化学	243
中級微積分	206、209	ひ 比較文化論	64、255
中国事情	56、57	比較文化論 a	64
朝鮮語文献講読 I	295	比較文化論 b	64
朝鮮語文献講読 II	295	光デバイス工学	243
朝鮮文化・文学の歴史	139	美術	65~68
朝鮮文化・文学の歴史 I	139	美術 I	65~68
朝鮮文化・文学の歴史 II	139	美術 II	65~68
地理学	57、58	微積分 I	196
地理学 I	58	微積分 II	196
地理学 II	58	微積分演習	206、209
地理学 a	57、58	人の尊厳	68
地理学 b	57、58	微分積分	146
つ 通信システム	237	微分積分入門	146
て デジタル回路	237	微分法	208
データ解析 I	162	ヒューマン・ファクターズ	243
データ解析 II	162	表象文化論	69

表象文化論 a	69	簿記 a	161
表象文化論 b	69	簿記 b	161
ふ ファイナンス数学 I	163	簿記論	207
ファイナンス数学 II	163	ま マーケティング・マネジメント論	203
複素解析	243、244	マクロ経済学初級 I	155
物質の精製分析	244	マクロ経済学初級 II	156
物性科学	255	マス・コミュニケーション論 I	186
物理化学 I	244	マテリアルデザイン概論 1	248
物理化学演習	244	マテリアルデザイン概論 2	248
物理化学基礎	244	マルクス経済学 I	160
物理学	69~73	マルクス経済学 II	160
物理学 I	69~72、210	み ミクロ経済学初級 I	156
物理学 II	70~73、210、211	ミクロ経済学初級 II	156
物理学 A	215	民主主義思想論 I	187
物理学 B	215	民族文化論	85
物理学 C	215	民法 I	170、171、180
物理学 D	215	民法 I A	170、171
物理学演習第 1	244	民法 I B	171
物理学演習第 2	245	民法 II	171、172、181
物理学実験	212	民法 II A	171、172
物理情報数学 A	245	民法 II B	172
物理情報数学 B	245	民法 III	172、173
プログラミング演習	246	民法 III A	172
プログラミング基礎同演習	246	民法 III B	172、173
プログラミング言語	246	民法演習 I	176、177
プログラミング実習	246	民法演習 I A	176、177
プログラミング第 1 同演習	246	民法演習 I B	176、177
プログラミング第 3 同演習	246	民法演習 II	175、176
プログラム実習	246	民法演習 II A	175
文学	73~79	民法演習 II B	175、176
文学 I	73~79	む 無機化学 1	249
文学 II	73~79	無機化学 2	249
文学 a	73、75、76、78	ゆ 有機化学基礎	249
文学 b	73、75、76、78	有機立体化学	249
文化人類学	80、81	ら ラテンアメリカ研究	85
文化人類学 I	80、182	ラテンアメリカ研究 a	85
文化人類学 II	81、182	ラテンアメリカ研究 b	85
分子生物学第 1	247	り 力学的アナリシス	249
文章作法 I	259	力学的モデリング	250
文章作法 II	259	理工学概論	217
分析化学 I	247	理工学基礎実験	250
分析化学基礎	247	立法過程論 I	187
分布系の数理	248	流体力学の基礎	250
文明学説史 I	81	量子化学基礎	250
文明学説史 II	81	量子力学基礎	251
へ ヘブライ語 I (初級)	296	量子力学第 1	251
ヘブライ語 I (中級)	296	量子力学入門	251
ヘブライ語 II (初級)	296	理論経済学 I	209
ヘブライ語 II (中級)	296	倫理学	85~87
ペルシア語 I (初級)	295	倫理学 I	85~87
ペルシア語 I (中級)	295	倫理学 II	85~87
ペルシア語 II (初級)	295	れ 歴史	88~94
ペルシア語 II (中級)	295	歴史 I	88~94
ほ 法学	81~85、168、169、180	歴史 II	88~94
法学 I	81~84、168、169	ろ 論理学	95
法学 II	81~85、168、169	論理学 I	94、95
法学演習	176~178	論理学 II	94、95
法学情報処理	178	論理学序論	95
法制史	178	論理学本論	95
法制史 I	178		
法制史 II	178		
法制史概論 I	178		
法制史概論 II	178		
法の基礎	179		
簿記	161		

教員名

- あ 相沢 幸悦 (アイザワ コウエツ) 255
 相磯 貞和 (アイソ サダカズ) 44
 相原 義弘 (アイハラ ヨシヒロ) 146
 相吉英太郎 (アイヨシ エイタロウ) 245
 青木 健一 (アオキ ケンイチ) 20
 青木健一郎 (アオキ ケンイチロウ) 69、70、99、158
 青木 淳一 (アオキ ジュンイチ) 180
 青山藤詞郎 (アオヤマ トウジロウ) 230、238
 赤川 元章 (アカガワ モトアキ) 197、208
 赤木 完爾 (アカギ カンジ) 185
 安形 麻理 (アガタ マリ) 138
 赤林 英夫 (アカバヤシ ヒデオ) 99
 赤林 由雄 (アカバヤシ ヨシオ) 152~155
 秋山 豊子 (アキヤマ トヨコ) 37、109、110
 秋山 裕 (アキヤマ ユタカ) 100、154、155、159
 阿久沢利明 (アクザワ トシアキ) 178
 明田ゆかり (アケダ ユカリ) 44
 浅井 隆 (アサイ タカシ) 175
 浅川 順子 (アサカワ ジュンコ) 116
 朝倉 浩一 (アサクラ コウイチ) 220、244
 浅野 光紀 (アサノ コウキ) 59
 朝比奈 緑 (アサヒナ ミドリ) 116、204、209
 浅見 昇吾 (アサミ ショウゴ) 127、131
 麻生 良文 (アソウ ヨシブミ) 182
 足立 健次 (アダチ ケンジ) 98
 足立 修一 (アダチ シュウイチ) 245
 足立 典子 (アダチ ノリコ) 126
 厚地 淳 (アツジ アツシ) 146、157、158、160、161
 跡田 直澄 (アトダ ナオスミ) 201、209
 阿南 友亮 (アナミ ユウスケ) 32、188、192
 阿部 祥人 (アベ ヨシト) 142
 天野 隆弘 (アマノ タカヒロ) 213
 天野 拓 (アマノ タク) 188、192
 天野 英晴 (アマノ ヒデハル) 226、237
 荒金 直人 (アラカネ ナオト) 17、59、127、131
 荒谷 大輔 (アラヤ ダイスケ) 63
 有賀 誠 (アリガ マコト) 12、188
 有末 賢 (アリスエ ケン) 179
 栗津 賢太 (アワツ ケンタ) 21
 安藤 勝英 (アンドウ カツヒデ) 270
 安藤 寿康 (アンドウ ジュコウ) 68、144
 安藤 広道 (アンドウ ヒロミチ) 88、142
 い 李 泰文 (イ テムン) 139
 李 美江 (イ ミガン) 296
 飯島 正 (イイジマ タダシ) 237
 飯田 隆 (イイダ タカシ) 59
 飯田 恭 (イイダ タカシ) 155
 飯箸 泰宏 (イイハシ ヤスヒロ) 205、207
 井奥 成彦 (イオク シゲヒコ) 88
 伊香賀俊治 (イカガ トシハル) 230
 井垣 竹晴 (イガキ タケハル) 138
 井口 達雄 (イグチ タツオ) 214、233
 池田 薫 (イケダ カオル) 146
 池田 真朗 (イケダ マサオ) 178
 池田 緑 (イケダ ミドリ) 17
 池原 雅章 (イケハラ マサアキ) 220、239
 石井 一平 (イシイ イツペイ) 215
 石井 達朗 (イシイ タツロウ) 73
 石川 史郎 (イシカワ シロウ) 214、232、233
 石川 透 (イシカワ トオル) 19、139、142
 石川 尋代 (イシカワ ヒロヨ) 138
 石黒 仁揮 (イシクロ ヒロキ) 131、238、239
 石多 正男 (イシタ マサオ) 4
 石手 靖 (イシデ ヤスシ) 263、268、277
 石橋 孝次 (イシバシ コウジ) 156
 石原あえか (イシハラ アエカ) 117
 石光 輝子 (イシミツ テルコ) 73、117
 石渡 哲 (イシワタ サトシ) 81
 石渡 千草 (イシワタ チグサ) 269
 磯部 哲 (イソベ テツ) 181
 磯部 徹彦 (イソベ テツヒコ) 216、249
 井田 良 (イダ マコト) 179
 井田 三夫 (イダ ミツオ) 111、113
 板橋 勇仁 (イタバシ ユウジン) 60
 市川 崇 (イチカワ タカシ) 143
 出岡 直也 (イツオカ ナオヤ) 85、184、194
 伊東 研祐 (イトウ ケンスケ) 173
 伊藤 公平 (イトウ コウヘイ) 240、255
 伊藤 誠一郎 (イトウ セイイチロウ) 156
 伊藤 正時 (イトウ マサトキ) 216、230
 伊藤 幹夫 (イトウ ミキオ) 156、161、162
 伊藤 行雄 (イトウ ユキオ) 100
 井戸田総一郎 (イトダ ソウイチロウ) 73
 稲田奈緒美 (イナタ ナオミ) 24
 井上 京子 (イノウエ キョウコ) 16、80、131
 井上 秀成 (イノウエ ヒデナリ) 249
 今井 宏明 (イマイ ヒロアキ) 248
 今泉 忠 (イマイズミ タダシ) 162
 今口 忠政 (イマグチ タダマサ) 202
 井本 正哉 (イモト マサヤ) 18、217、225、229
 岩下 真好 (イワシタ マサヨシ) 111、113
 岩谷 十郎 (イワタニ ジュウロウ) 14、178
 岩松研吉郎 (イワまつ ケンキチロウ) 142
 岩見 隆 (イワミ タカシ) 294、295
 岩村 正史 (イワムラ マサシ) 188、194
 う 宇 振領 (ウ シンリョウ) 46
 植田 毅 (ウエタ ツヨシ) 251
 植田 利久 (ウエダ トシヒサ) 241
 植田 史生 (ウエダ フミオ) 263、270、271
 鵜崎 明彦 (ウザキ アキヒコ) 51、288、289
 牛島 利明 (ウシジマ トシアキ) 124、197、208
 牛山 潤一 (ウシヤマ ジュンイチ) 271
 白杵 陽 (ウスキ アキラ) 85
 内山 孝憲 (ウチヤマ タカノリ) 238
 内山 太郎 (ウチヤマ タロウ) 228、241
 宇津木愛子 (ウツギ アイコ) 117
 内海 幸久 (ウツミ ユキヒサ) 158
 馬田 啓一 (ウマダ ケイイチ) 147
 梅垣 真祐 (ウメガキ シンスケ) 251
 梅澤 一夫 (ウメザワ カズオ) 234、252
 梅津 光弘 (ウメヅ ミツヒコ) 198、199、209
 え 栄長 泰明 (エイナガ ヤスアキ) 16、216
 エインジ、マイケル (エインジ マイケル) 24、101
 江上 正 (エガミ タダシ) 237
 江藤 幹雄 (エトウ ミキオ) 215、244、245
 遠藤 正寛 (エンドウ マサヒロ) 201、209
 お 笈川 博一 (オイカワ ヒロカズ) 296
 大石 毅 (オオイシ タケシ) 212
 大串 尚代 (オオグシ ヒサヨ) 138、142
 大久保教宏 (オオクボ ノリヒロ) 52
 大坂 武男 (オオサカ タケオ) 229
 大沢 秀介 (オオサワ ヒデオキ) 180
 大路 樹生 (オオジ タツオ) 55
 太田 昭子 (オオタ アキコ) 49、50、112、113

- 太田 克弘 (オオタ カツヒロ) 214、233
 太田 達也 (オオタ タツヤ) 179
 太田 博道 (オオタ ヒロミチ) 132、235
 大塚 真人 (オオツカ マサト) 265
 大塚 直哉 (オオツカ ナオヤ) 5
 大塚 宣夫 (オオツカ ノブオ) 213
 大槻 知明 (オオツキ トモアキ) 221
 大西 公平 (オオニシ コウヘイ) 228
 大西 瞳 (オオニシ ヒトミ) 128、132
 大沼あゆみ (オオヌマ アユミ) 158
 大野 将樹 (オオノ マサキ) 246
 大野 義夫 (オオノ ヨシオ) 218、285
 大場 茂 (オオバ シゲル) 9、98
 大橋 良子 (オオハシ ヨシコ) 232、245
 大畑 純一 (オオハタ ジュンイチ) 117
 大平 哲 (オオヒラ サトシ) 156
 大前 和幸 (オオマエ カズユキ) 45
 大宮 正毅 (オオミヤ マサキ) 217
 大村 達弥 (オオムラ タツヤ) 147
 大森 貴秀 (オオモリ タカヒデ) 166
 大森 浩充 (オオモリ ヒロミツ) 222
 大森 正仁 (オオモリ マサヒト) 179
 大矢 玲子 (オオヤ レイコ) 117
 大山 耕輔 (オオヤマ コウスケ) 185
 大和田俊之 (オオワダ トシユキ) 48
 岡 浩太郎 (オカ コウタロウ) 235、236、243
 岡 伸浩 (オカ ノブヒロ) 175
 岡崎 哲郎 (オカザキ テツロウ) 181
 岡田あおい (オカダ アオイ) 17
 小湊 昭夫 (オガタ アキオ) 69、101
 岡田 英史 (オカダ エイジ) 219、221、246
 岡田 光弘 (オカダ ミツヒロ) 94、227
 岡田 有策 (オカダ ユウサク) 243
 岡野 栄之 (オカノ ヒデユキ) 44
 岡本真一郎 (オカモト シンイチロウ) 44
 岡本 大輔 (オカモト ダイスケ) 198、199、209
 岡山 裕 (オカヤマ ヒロシ) 33、187
 小川 邦康 (オガワ クニヤス) 241
 小木曾啓示 (オギソ ケイジ) 146、157、158
 奥田 暁代 (オクダ アキヨ) 24、48
 奥山 静代 (オクヤマ シズヨ) 272
 尾崎 裕之 (オザキ ヒロユキ) 156
 長田 進 (オサダ ススム) 57、101
 長名 寛明 (オサナ ヒロアキ) 101、156
 小山内州一 (オサナイ シュウイチ) 217
 小沢 慎治 (オザワ シンジ) 231
 小澤 正典 (オザワ マサノリ) 224
 小澤 芳彰 (オダ ヨシアキ) 214、236
 尾高 暁子 (オダカ アキコ) 5
 小野 晃典 (オノ アキノリ) 203、205、209
 小野 修三 (オノ シュウゾウ) 12、13、20、21、33、118、207
 小野 裕剛 (オノ ヒロタケ) 38、109、110
 小野 雅之 (オノ マサユキ) 20
 小原 京子 (オハラ キョウコ) 128、132
 小原 實 (オハラ ミノル) 215
 小尾晋之介 (オビ シンノスケ) 226、250
 表 實 (オモテ ミノル) 4、70、115
 恩田 憲一 (オンダ ノリカズ) 166、205、207、285
 か 蔭山 宏 (カゲヤマ ヒロシ) 183、187
 笠井 裕之 (カサイ ヒロユキ) 51
 鹿島 晴雄 (カシマ ハルオ) 44、213
 柏崎千佳子 (カシワザキ チカコ) 124
 霞 信彦 (カスミ ノブヒコ) 178
 粕谷 祐子 (カスヤ ユウコ) 34、188
 片木 智年 (カタギ トモトシ) 74
 片山 直也 (カタヤマ ナオヤ) 172
 片山 靖 (カタヤマ ヤスシ) 244
 勝沼 聡 (カツヌマ サトシ) 88、89
 勝又 正浩 (カツマタ マサヒロ) 273
 桂田 昌紀 (カツラダ マサノリ) 146、157、158
 加藤 幸司 (カトウ コウジ) 262、267
 加藤 剛 (カトウ タケシ) 214
 加藤 久雄 (カトウ ヒサオ) 173
 加藤 大雄 (カトウ ヒロオ) 265
 加藤 浩子 (カトウ ヒロコ) 6
 加藤 大仁 (カトウ ヒロヒト) 263、268
 門松 秀樹 (カドマツ ヒデキ) 189
 金沢 孝 (カナザワ タカシ) 218
 金谷 信宏 (カナヤ ノブヒロ) 38、39、110、114
 金子 隆司 (カネコ リュウジ) 276
 金子 信久 (カネコ ノブヒサ) 65
 金子 洋之 (カネコ ヒロユキ) 39、98、217、254
 金子 勝 (カネコ マサル) 102
 鹿野菜穂子 (カノ ナオコ) 171
 鹿又 伸夫 (カノマタ ノブオ) 145
 亀井源太郎 (カメイ ゲンタロウ) 181
 亀谷 幸生 (カメタニ ユキオ) 214、218
 加茂 省三 (カモ ショウゾウ) 34
 加茂 具樹 (カモ トモキ) 54、287、288
 河井 啓希 (カワイ ヒロキ) 154、155、159
 河上 裕 (カワカミ ユタカ) 252
 川口 春馬 (カワグチ ハルマ) 228
 川城 丈夫 (カワシロ タケオ) 213
 河田 幸視 (カワタ ユキチカ) 102、159
 河内 恵子 (カワチ ケイコ) 139、142
 河内谷幸子 (カワチヤ サチコ) 205、207
 川西 大介 (カワニシ ダイスケ) 273
 河邊 博史 (カワベ ヒロシ) 279
 川村 晃生 (カワムラ テルオ) 142
 河村 好彦 (カワムラ ヨシヒコ) 82
 河原田有一 (カワラダ ユウイチ) 82
 神成 文彦 (カンナリ フミヒコ) 215
 き 菊地 啓太 (キクチ ケイタ) 270
 菊池 秀悦 (キクチ シュウエツ) 273
 岸 由二 (キシ ユウジ) 11、40、46、102
 岸田 和明 (キシダ カズアキ) 138
 来住野 究 (キシノ キワム) 203
 木島 伸彦 (キジマ ノブヒコ) 30、125
 岸本 達也 (キシモト タツヤ) 24、225
 北居 功 (キタイ イサオ) 172、173
 北川 尚 (キタガワ ヒサシ) 153
 北村 洋基 (キタムラ ヒロモト) 160
 木塚 孝幸 (キヅカ タカユキ) 268
 木戸 一夫 (キド カズオ) 205~208
 鬼頭 宏 (キトウ ヒロシ) 155
 木下 亮 (キノシタ アキラ) 65、66
 木下 京子 (キノシタ キョウコ) 18、45、132
 木下 岳司 (キノシタ タケシ) 228、240
 木俣 章 (キマタ ショウ) 74
 君嶋 祐子 (キミジマ ユウコ) 179
 木村 彰男 (キムラ アキオ) 213
 木村 和宏 (キムラ カズヒロ) 267
 木村 敏夫 (キムラ トシオ) 244
 木元 宏次 (キモト ヒロツグ) 167
 許 曼麗 (キョ マンレイ) 56、118
 許 光俊 (キョ ミツトシ) 50、112、114
 金田一真澄 (キンダイチ マスミ) 133、138
 く 久我 俊二 (クガ シュンジ) 112、114
 串田 裕彦 (クシダ ヒロヒコ) 94、95

- 工藤多香子 (クドウ タカコ) 85、102
 クナウプ・ハンス J (クナウプ・ハンス J) 102
 久保田真理 (クボタ マリ) 211、212
 神代 光朗 (クマシロ ミツオ) 156、160
 熊野谷葉子 (クマノヤ ヨウコ) 128、133
 倉沢 愛子 (クラサワ アイコ) 160
 栗原 将人 (クリハラ マサト) 215、236、237
 栗山 保之 (クリヤマ ヤスユキ) 89
 グレーヴァ香子 (グレーヴァ タカコ) 156
 黒川 行治 (クロカワ ユキハル) 202、209
 黒沢 文貴 (クロサワ フミタカ) 186、189
 けこ 権上 善一 (ケンジョウ ヨシカズ) 204、209
 小坪 淳子 (コアクツ ジュンコ) 176
 小池信太郎 (コイケ シンタロウ) 178
 古池 達彦 (コイケ タツヒコ) 246
 神崎勝一郎 (コウザキ ショウイチロウ) 189
 河野 武司 (コウノ タケシ) 34、35、190、192
 古賀 義顕 (コガ ヨシアキ) 128、133
 小嶋 祥三 (コジマ ショウゾウ) 27
 児島やよい (コジマ ヤヨイ) 45
 小菅 隼人 (コスゲ ハヤト) 74、75
 小瀬村誠治 (コセムラ セイジ) 9、110
 小林 潔 (コバヤシ キヨシ) 129、133
 小林 邦夫 (コバヤシ クニオ) 129、133
 小林 節 (コバヤシ セツ) 169、179
 小林 常利 (コバヤシ ツネトシ) 211
 小林 宏充 (コバヤシ ヒロミツ) 70、71
 小林ポオル (コバヤシ ポオル) 145
 小林 良彰 (コバヤシ ヨシアキ) 183
 駒形 哲哉 (コマガタ テツヤ) 160
 小松 恭三 (コマツ キョウゾウ) 270
 小松 英海 (コマツ ヒデミ) 30、31
 駒村 圭吾 (コマムラ ケイゴ) 169、170
 コミネッティ, フィリップ (コミネッティ, フィリップ) 118
 小宮 繁 (コミヤ シゲル) 129
 小宮 英敏 (コミヤ ヒデトシ) 126、196、205、208
 小室 正紀 (コムロ マサミチ) 13、155、157
 小茂鳥 潤 (コモトリ ジュン) 224、229
 小安 重夫 (コヤス シゲオ) 44
 小山 剛 (コヤマ ゴウ) 170、177、179
 小山 正 (コヤマ タダシ) 278
 近藤 明彦 (コンドウ アキヒコ) 262、264、272
 近藤 光雄 (コンドウ ミツオ) 24、46
 近藤 幸夫 (コンドウ ユキオ) 19、66、134
 今野 茂充 (コンノ シゲミツ) 190、193
 さ 斎藤 敏治 (サイキ トシハル) 219
 斎藤 郁夫 (サイトウ イクオ) 262、279
 斎藤 英治 (サイトウ エイジ) 245
 斎藤 和夫 (サイトウ カズオ) 172、179
 斎藤 太郎 (サイトウ タロウ) 143
 斎藤 直樹 (サイトウ ナオキ) 18
 斎藤 英雄 (サイトウ ヒデオ) 221、240
 斎藤 博昭 (サイトウ ヒロアキ) 228、246、285
 斎藤 通貴 (サイトウ ミチタカ) 200、209
 齋藤 幸夫 (サイトウ ユキオ) 215
 斎藤 慶典 (サイトウ ヨシノリ) 139
 酒井 良清 (サカイ ヨシキヨ) 156
 榮谷 温子 (サカエダニ ハルコ) 294
 榊 博文 (サカキ ヒロフミ) 22
 榊原 康文 (サカキバラ ヤスブミ) 218、242、243
 坂口 博 (サカグチ ヒロシ) 199
 坂倉 杏介 (サカクラ キョウスケ) 129、134
 阪田 恭代 (サカタ ヤスヨ) 185、190
 坂原 正夫 (サカハラ マサオ) 179
 坂本 邦彦 (サカモト クニヒコ) 80
 櫻井 彰人 (サクライ アキト) 246
 桜本 光 (サクラモト ヒカル) 196、207
 佐古 彰史 (サコ アキフミ) 146
 佐々木昭則 (ササキ アキノリ) 95
 佐々木玲子 (ササキ レイコ) 262、264、272
 里 嘉千茂 (サト カチシゲ) 55
 佐藤 和 (サトウ ヤマト) 204、209
 佐藤 方宣 (サトウ マサノブ) 157
 佐藤 孝雄 (サトウ タカオ) 142
 佐藤 拓磨 (サトウ タクマ) 82、83
 佐藤 徹 (サトウ トオル) 213
 佐藤 智典 (サトウ トシノリ) 234
 佐藤 寅夫 (サトウ トラオ) 254
 佐藤 望 (サトウ ノゾミ) 6、7、124
 佐藤 春樹 (サトウ ハルキ) 217、230、242
 佐藤真基子 (サトウ マキコ) 60
 佐藤 道生 (サトウ ミチオ) 19、138、142
 佐藤 元状 (サトウ モトノリ) 287、288
 佐藤 康廣 (サトウ ヤスヒロ) 199、202
 佐藤 洋平 (サトウ ヨウヘイ) 242
 里村 卓也 (サトムラ タクヤ) 200、209
 眞田 幸俊 (サナダ ユキトシ) 218
 佐野 昭 (サノ アキラ) 219、233、237
 佐谷眞木人 (サヤ マキト) 64、85
 沢田 次郎 (サワダ ジロウ) 35、191、193
 澤田 達男 (サワダ タツオ) 219、250
 三瓶 慎一 (サンベ シンイチ) 50
 し 椎木 一夫 (シイキ カズオ) 251
 塩澤 修平 (シオザワ シュウヘイ) 156
 塩澤 寛樹 (シオザワ ヒロキ) 66
 鹿園 直建 (シカゾノ ナオタツ) 55、56、223
 識名 章喜 (シキナ アキヨシ) 47、118、287
 重野 寛 (シゲノ ヒロシ) 228、237
 茂山 俊和 (シゲヤマ トシカズ) 64
 志澤 一之 (シザワ カズユキ) 215
 篠崎 信雄 (シノザキ ノブオ) 224、241
 篠沢 佳久 (シノザワ ヨシヒサ) 217
 篠原しげ子 (シノハラ シゲコ) 272
 篠原 俊吾 (シノハラ シュンゴ) 15
 柴田 里程 (シバタ リテイ) 235
 柴田 洋孝 (シバタ ヒロタカ) 279
 渋谷 誉一郎 (シブヤ ヨウイチロウ) 142
 嶋尾 稔 (シマオ ミノル) 294、295
 島田桂太郎 (シマダ ケイタロウ) 271
 清水 邦夫 (シミズ クニオ) 214
 清水 啓助 (シミズ ケイスケ) 297
 清水 健一 (シミズ ケンイチ) 9、10、158
 清水 透 (シミズ トオル) 85
 清水 亮 (シミズ リョウ) 89
 志村 正 (シムラ タダシ) 10、20、111、114
 下村 俊 (シモムラ シュン) 214、224、233
 下村 晋 (シモムラ ススム) 232
 下村 裕 (シモムラ ユタカ) 71、114
 首藤 聡史 (シュトウ サトシ) 277
 鄭 潤澈 (ジュン ユンチョル) 200、201、209
 白井 義昌 (シライ ヨシマサ) 155
 白崎 容子 (シラサキ ヨウコ) 99
 白鳥 世明 (シラトリ セイメイ) 221
 白根 孝胤 (シラネ コウイン) 89、90
 白波瀬 丈一郎 (シラハセ ジョウイチロウ) 44
 白旗 優 (シラハタ マサル) 115、196、206
 新旗 一成 (シンボ カズシゲ) 196、208
 神保 剛 (ジンボ ツヨシ) 119
 す 水津 太郎 (スイズ タロウ) 180

- 末松 誠 (スエマツ マコト) 44、212
末吉 雄二 (スエヨシ ユウジ) 67、141
須貝 威 (スガイ タケシ) 216
菅野 智巳 (スガノ トモミ) 176、177
菅野理樹夫 (スガノ リキオ) 29
菅原 昭博 (スガワラ アキヒロ) 196、206、208
菅原万里子 (スガワラ マリコ) 177
杉浦 章介 (スギウラ ノリユキ) 24
杉浦 壽彦 (スギウラ トシヒロ) 215、225
杉田 敦 (スギタ アツシ) 4
杉野 元子 (スギノ モトコ) 142
杉原 賢彦 (スギハラ カツヒロ) 69
杉村 浩哉 (スギムラ ヒロヤ) 67
杉本 智俊 (スギモト トモトシ) 142
杉山 伸也 (スギヤマ シンヤ) 155
鈴木 晃仁 (スズキ アキヒロ) 19、20、90、103
鈴木 恵美子 (スズキ エミコ) 52
鈴木 孝治 (スズキ コウジ) 225、247
鈴木 左斗志 (スズキ サトシ) 174、177
鈴木 順二 (スズキ ジュンジ) 64、126
鈴木 忠 (スズキ アツシ) 211、212、217
鈴木 達夫 (スズキ タツオ) 146
鈴木 千佳子 (スズキ チカコ) 169、179
鈴木 恒男 (スズキ ツネオ) 29
鈴木 透 (スズキ トオル) 24、48、85
鈴木 由紀 (スズキ ユキ) 210
鈴木 亮子 (スズキ リョウコ) 15
須田 芳正 (スダ ヨシマサ) 265
栖原 学 (スハラ マナブ) 14
鷺見 全弘 (スミ マサヒロ) 275
せ 瀬川 清 (セガワ キヨシ) 205、207
関 俊則 (セキ トシノリ) 40
関 喜房 (セキ ヨシフサ) 295
関根 謙 (セキネ ケン) 142
関根 政美 (セキネ マサミ) 179
関場 武 (セキバ タケシ) 68
瀬古 美喜 (セコ ミキ) 155
芹沢 一也 (セリザワ カズヤ) 18
仙名 保 (センナ マモル) 248
そ 五月女 仁子 (ソウトメ ヒロコ) 205、207
宗宮 詮 (ソウミヤ サトシ) 229
曾我 重司 (ソガ シゲジ) 28
園田 智昭 (ソノダ トモアキ) 203
た 高井 啓介 (タカイ ケイスケ) 296
高木 久夫 (タカギ ヒサオ) 23
高草木 光一 (タカクサギ コウイチ) 160
高久 隆太 (タカク リュウタ) 161、207
高乘 和巳 (タカクワ カズミ) 16、17、130、134
高田 京子 (タカダ キョウコ) 199、202
高田 真吾 (タカダ シンゴ) 217
高田 晴仁 (タカダ ハルヒト) 180
高野 宏 (タカノ ヒロシ) 215、246、251
鷹野 宏行 (タカノ ヒロユキ) 199、202
高橋 郁夫 (タカハシ イクオ) 203
高橋 勇 (タカハシ イサム) 138、142
高橋 邦弘 (タカハシ クニヒロ) 229
高橋 智 (タカハシ サトシ) 138
高橋 信一 (タカハシ シンイチ) 219、243
高橋 宣也 (タカハシ ノブヤ) 75
高橋 則夫 (タカハシ ノリオ) 174
高橋 正樹 (タカハシ マサキ) 217、245
高橋 正子 (タカハシ マサコ) 225
高宮 利行 (タカミヤ トシユキ) 138
高山 晶 (タカヤマ アキラ) 119
高山 博 (タカヤマ ヒロシ) 31、98、99、139
高山 緑 (タカヤマ ミドリ) 253
瀧本佳容子 (タキモト カヨコ) 119
竹内寿一郎 (タケウチ ジュイチロウ) 223
竹内 勤 (タケウチ ツトム) 44
竹内美佳子 (タケウチ ミカコ) 64、77、126
竹中 淑子 (タケナカ ヨシコ) 31、32
竹村 りょうこ (タケムラ リョウコ) 266
竹森 俊平 (タケモリ シュンペイ) 147、254
武山 政直 (タケヤマ マサナオ) 158
田子山和歌子 (タゴヤマ ワカコ) 61
田島 圭介 (タジマ ケイスケ) 241
田代 真 (タシロ マコト) 64
只野 金一 (タダノ キンイチ) 249
立谷 洋平 (タチヤ ヨウヘイ) 146
巽 孝之 (タツミ タカユキ) 138
田中 孝明 (タナカ タカアキ) 146、224、237
田中 辰雄 (タナカ タツオ) 159
田中 敏幸 (タナカ トシユキ) 246
田中 由美子 (タナカ ユミコ) 271
田辺 秋守 (タナベ シュウジ) 17
谷 温之 (タニ アツシ) 214、220
谷 寿美 (タニ スミ) 140
谷口 和弘 (タニグチ カズヒロ) 198、199、209
谷下 一夫 (タニシタ カズオ) 242
種村 和史 (タネムラ カズフミ) 85、120
玉井 清 (タマイ キヨシ) 184、191
玉田 康成 (タマダ ヤスナリ) 156
田村 明久 (タムラ アキヒサ) 214、231、233
田村 俊作 (タムラ シュンサク) 138
田村 次朗 (タムラ ジロウ) 168、179
田村 高幸 (タムラ タカユキ) 206~208
田村 裕子 (タムラ ヒロコ) 196、208
田村 要造 (タムラ ヨウゾウ) 214
樽井 正義 (タルイ マサヨシ) 13、213
段 瑞聡 (ダン ズイソウ) 120
ち 崔 在東 (チュ セドン) 103、155
千田 大介 (チダ ダイスケ) 11、103
千田 憲孝 (チダ ノリタカ) 216
中条 潮 (チュウジョウ ウシオ) 124
つ 塚原 康博 (ツカハラ ヤスヒロ) 182
柘植 尚則 (ツゲ ヒサノリ) 85
辻 幸夫 (ツジ ユキオ) 15、112、114
辻岡三南子 (ツジオカ ミナコ) 262
津田正太郎 (ツタ ショウタロウ) 186、193
津田 裕之 (ツタ ヒロユキ) 238、239
葛木 能雄 (ツタキ ノリオ) 103、157
土田龍太郎 (ツチダ リュウタロウ) 294
土屋 博政 (ツチヤ ヒロマサ) 104
堤林 劍 (ツツミバヤシ ケン) 183、186、194
常石 敬一 (ツネイシ ケイイチ) 10、11
常山 菜穂子 (ツネヤマ ナホコ) 24、49
坪田 幸政 (ツボタ ユキマサ) 56
津曲 正俊 (ツマガリ マサトシ) 156
津谷 典子 (ツヤ ノリコ) 104
敦賀 公子 (ツルガ キミコ) 85
て 手島智佳子 (テシマ チカコ) 266
手島 玲子 (テシマ レイコ) 14
鉄野 昌弘 (テツノ マサヒロ) 75
寺岡 文男 (テラオカ フミオ) 246
寺坂 宏一 (テラサカ コウイチ) 220
寺崎 修 (テラサキ オサム) 13
寺崎 行忠 (テラサワ ユキタダ) 19、76、104
と 土居 洋平 (トイ ヨウヘイ) 22
遠山 公一 (トオヤマ コウイチ) 140
遠山 朋子 (トオヤマ トモコ) 167

- 徳岡 直静 (トクオカ ナオチカ) 227
 徳永 聡子 (トクナガ サトコ) 138
 徳村 光昭 (トクムラ ミツアキ) 279
 戸瀬 信之 (トセ ノブユキ) 146、157、158、163
 トビン, ロバート (トビン, ロバート) 120
 富田 章 (トミタ アキラ) 68
 富田 広士 (トミタ ヒロシ) 184、195
 富田 豊 (トミタ ユタカ) 230、235、243、250
- な
 内藤 正人 (ナイトウ マサト) 68
 内藤 恵 (ナイトウ メグミ) 179
 長井 孝紀 (ナガイ タカトシ) 211~213、217
 永井 容子 (ナガイ ヨウコ) 105
 長沖 暁子 (ナガオキ サトコ) 11、19、20、24、41、105
 中川 純男 (ナカガワ スミオ) 61
 中川 正雄 (ナカガワ マサオ) 231
 長坂 雄次 (ナガサカ ユウジ) 242
 中澤 和夫 (ナカザワ カズオ) 246
 中澤 英夫 (ナカザワ ヒデオ) 212
 長澤 英俊 (ナガサワ ヒデオシ) 61
 中嶋 敦 (ナカジマ アツシ) 216、222、223
 中島 隆信 (ナカジマ タカノブ) 196、207
 中島 陽子 (ナカジマ ヨウコ) 41、42、217、289
 仲田 均 (ナカダ ヒトシ) 214
 中田 雅也 (ナカタ マサヤ) 216
 中西はるみ (ナカニシ ハルミ) 217
 中野 誠彦 (ナカノ ノブヒコ) 246
 中野 紀和 (ナカノ キワ) 182
 中野 文平 (ナカノ ブンペイ) 164、165
 中野 實 (ナカノ ミノル) 12
 中野 泰志 (ナカノ ヤスシ) 28
 中丸 宣明 (ナカマル ノブアキ) 76
 永見 尊 (ナガミ タカシ) 199、203
 中村 公則 (ナカムラ キミノリ) 90
 中村 慎助 (ナカムラ シンスケ) 156
 中村真理子 (ナカムラ マリコ) 253
 中村 義春 (ナカムラ ヨシハル) 217
 中山 和久 (ナカヤマ カズヒサ) 21
 中山 幹夫 (ナカヤマ ミキオ) 158
 流矢 大士 (ナガレヤ ヒロシ) 175、176
 奈良 雅俊 (ナラ マサトシ) 86
 成田 和信 (ナリタ カズノブ) 86、120、204、209
 南里清一郎 (ナンリ セイイチロウ) 279
- に
 仁子 寿晴 (ニゴ トシハル) 62
 西 宏章 (ニシ ヒロアキ) 246
 西尾 修 (ニシオ オサム) 76、105
 西岡久美子 (ニシオカ クミコ) 146、157、158
 西川 正二 (ニシカワ シヨウジ) 120
 西川 純雄 (ニシカワ スミオ) 42
 西川 尚生 (ニシカワ ヒサオ) 140
 西川 僚介 (ニシカワ リョウスケ) 77、121
 西澤 直子 (ニシザワ ナオコ) 13
 西野 純也 (ニシノ ジュンヤ) 35、185、190、194
 西村 忍 (ニシムラ シノブ) 264、272
 西村多美子 (ニシムラ タミコ) 14
 西村 由貴 (ニシムラ ユキ) 279
 西山 繁 (ニシヤマ シゲル) 217
 西山千恵子 (ニシヤマ チエコ) 25
 新田 宗土 (ニッタ ムネト) 71、72、126
 二瓶 栄輔 (ニヘイ エイスケ) 134
- ね
 根岸宗一郎 (ネギシ ソウイチロウ) 64、106
 鼠屋 将志 (ネズミヤ マサシ) 167
- の
 野口 和行 (ノグチ カズユキ) 262、264、268、274
 野口 裕久 (ノグチ ヒロヒサ) 228、249、250
 野寺 隆 (ノデラ タカシ) 225
- 野々村芳和 (ノノムラ ヨシカズ) 265
 延近 充 (ノブチカ ミツル) 160
 昇 亜美子 (ノボリ アミコ) 191、193
 野村 伸一 (ノムラ シンイチ) 139、295
- は
 萩原 滋 (ハギワラ シゲル) 22、23
 萩原 将文 (ハギワラ マサフミ) 217
 萩原 能久 (ハギワラ ヨシヒサ) 182、190
 橋本 順一 (ハシモト ジュンイチ) 121
 蓮池敬一郎 (ハスイケ ケイイチロウ) 274、275
 蓮実 潔 (ハスミ キヨシ) 259
 長谷 公隆 (ハセ キミタカ) 213
 長谷川 淳一 (ハセガワ ジュンイチ) 45、155
 長谷川由利子 (ハセガワ ユリコ) 43、115
 羽田 功 (ハダ イサオ) 85
 羽田野洋子 (ハタノ ヨウコ) 130
 畑山 明聖 (ハタヤマ アキヨシ) 221、240
 英 知明 (ハナブサ チアキ) 127
 花房 博文 (ハナブサ ヒロフミ) 171
 浜 日出夫 (ハマ ヒデオ) 144
 濱岡 豊 (ハマオカ ユタカ) 203
 浜田 望 (ハマダ ノゾム) 222
 濱名 邦雄 (ハマナ クニオ) 265
 浜村 寿紀 (ハナムラ ヒサノリ) 259
 林 栄美子 (ハヤシ エミコ) 69、106
 林田 愛 (ハヤシダ アイ) 106
 早見 均 (ハヤミ ヒトシ) 196、208
 原田 隆史 (ハラダ タカシ) 144、178
 針谷 寛 (ハリガヤ ヒロシ) 13
- ひ
 光 道隆 (ヒカリ ミチタカ) 146、147
 樋口 美雄 (ヒグチ ヨシオ) 204、209
 日向 裕幸 (ヒュウガ ヒロユキ) 215
 平井 克英 (ヒライ カツヒデ) 267
 平島 碩 (ヒラシマ ヒロシ) 216
 平田 光司 (ヒラタ コウジ) 252
 平野 隆 (ヒラノ タカシ) 13、197、208
 平野 裕之 (ヒラノ ヒロユキ) 170、171
 平林 正司 (ヒラバヤシ マサジ) 90、91
 平林 義彰 (ヒラバヤシ ヨシアキ) 130、134、135
 比留川 彰 (ヒルカワ アキラ) 106
 広瀬 大介 (ヒロセ ダイスケ) 7
 広瀬 信義 (ヒロセ ノブヨシ) 213
 広瀬 寛 (ヒロセ ヒロシ) 279
 広田すみれ (ヒロタ スミレ) 166
- ふ
 フォーグル, ヴァルター (フォーグル, ヴァルター) 122
 深澤はるか (フカザワ ハルカ) 122
 福澤 利彦 (フクザワ トシヒコ) 43、116
 福田 浩章 (フクダ ヒロアキ) 138
 福田 真実 (フクダ マミ) 30
 福田礼次郎 (フクダ レイジロウ) 215、222、251
 福田 弥 (フクダ ワタル) 8
 福中 冬子 (フクナカ フユコ) 8
 福山 欣司 (フクヤマ キンジ) 43、44、107、159
 藤井 飛光 (フジイ ヒカリ) 245
 藤川 千歳 (フジカワ チトセ) 22
 藤崎 康 (フジサキ コウ) 69
 藤澤 啓子 (フジサワ ケイコ) 12
 藤田 祥子 (フジタ サチコ) 83
 藤田 康範 (フジタ ヤスノリ) 107
 藤谷 洋平 (フジタニ ヨウヘイ) 241
 藤平 信一 (フジヒラ シンイチ) 270
 伏見 岳志 (フシミ タケシ) 85、91、122、287
 藤村 光 (フジムラ コウ) 285
 藤原 茂樹 (フジワラ シゲキ) 142
 藤原 忍 (フジワラ シノブ) 245
 藤原淳一郎 (フジワラ ジュンイチロウ) 179

- 二見 千尋 (フタミ チヒロ) 86
 古田 和子 (フルタ カズコ) 155
 古野 泰二 (フルノ タイジ) 210、212
 不破 有理 (フワ ユリ) 107
ほ 法橋 量 (ホウキョウ ハカル) 80、81
 星 元紀 (ホシ モトノリ) 225
 星野 嶽男 (ホシノ タケオ) 62
 星野 晴彦 (ホシノ ハルヒコ) 213
 星野 昌裕 (ホシノ マサヒロ) 36、192、195
 細川 達己 (ホソカワ タツミ) 154
 細田 衛士 (ホソダ エイジ) 158
 細田 壮一 (ホソダ ソウイチ) 276
 細谷 雄一 (ホソヤ ユウイチ) 186
 堀田 篤 (ホッタ アツシ) 219
 堀江 聡 (ホリエ サトシ) 139、140
 堀越比呂志 (ホリコシ ヒロシ) 201、209
 ポンシー, ライト (ボンシー, ライト) 295
 本田 郁二 (ホンダ イクジ) 244
 本田 耕一 (ホンダ コウイチ) 83、198、208
 本多 敏 (ホンダ サトシ) 248
 本谷 裕子 (ホンヤ ユウコ) 53
ま 真家 和生 (マイエ カズオ) 31
 前川 千春 (マエカワ チハル) 202
 前島 信 (マエジマ マコト) 214
 前田 淳 (マエダ ジュン) 204、209
 前田 伸人 (マエダ ノブヒト) 77
 前田 吉昭 (マエダ ヨシアキ) 214、236
 真壁 利明 (マカベ トシアキ) 220
 牧 厚志 (マキ アツシ) 196、207
 マシュー, ハンリー (マシュー, ハンリー) 121
 増田 直衛 (マスタ ナオエ) 27、145、213
 増田 靖 (マスタ ヤスシ) 223、231
 増山 幹高 (マサヤマ ミキタカ) 184、187
 松尾亜紀子 (マツオ アキコ) 250
 松尾 弘 (マツオ ヒロシ) 198、208
 松方 冬子 (マツカタ フユコ) 92
 松田 隆美 (マツダ タカミ) 138、142
 松田 雅之 (マツダ マサユキ) 263、267、273
 松永 賢次 (マツナガ ケンジ) 167
 松原 彰子 (マツバラ アキコ) 57、58、107、158
 松村 友視 (マツムラ トモミ) 142
 松村 宏 (マツムラ ヒロシ) 13、81、125
 松本 健太郎 (マツモト ケンタロウ) 266
 松本 智 (マツモト サトル) 219
 松本 典久 (マツモト フミヒサ) 92
 松本 緑 (マツモト ミドリ) 217、223、234、254
 松本 佳宣 (マツモト ヨシノリ) 221
 松山 保幸 (マツヤマ ヤスユキ) 273
 丸 誠一郎 (マル セイイチロウ) 275
 丸山 徹 (マルヤマ トオル) 156
 丸山 文綱 (マルヤマ フミツナ) 146、152、153
み 美浦 隆 (ミウラ タカシ) 216
 三浦 直子 (ミウラ ナオコ) 21、22
 三上 直光 (ミカミ ナオミツ) 295、296
 三木 則尚 (ミキ ノリヒサ) 130、224
 水嶋 一雄 (ミズシマ カズオ) 58
 水谷 賢史 (ミズタニ ケンジ) 234
 三田 彰 (ミタ アキラ) 230
 三井 隆久 (ミツイ タカヒサ) 210~212
 三井 正明 (ミツイ マサアキ) 223
 光武代理 (ミツタケ アヨリ) 245
 水戸 克典 (ミト カツノリ) 64
 南 就将 (ミナミ ナリユキ) 210
 南谷 晴之 (ミナミタニ ハルユキ) 228、238、239
 三根 慎二 (ミネ シンジ) 138
 三船 毅 (ミフネ ツヨシ) 36、167、168、192、194
 宮内 環 (ミヤウチ タマキ) 154、155
 三宅 和朗 (ミヤケ カズオ) 141
 宮崎 琢也 (ミヤザキ タクヤ) 214、243
 宮崎 直哉 (ミヤザキ ナオヤ) 146、160
 宮崎 洋 (ミヤザキ ヒロシ) 93
 宮下 照夫 (ミヤシタ テルオ) 240
 宮島 英紀 (ミヤジマ ヒデキ) 240
 宮瀧 交二 (ミヤタキ コウジ) 58
 宮地 忠幸 (ミヤチ タダユキ) 58
 宮本 憲二 (ミヤモト ケンジ) 234
 宮本 忠 (ミヤモト タダシ) 138
む 向井 久了 (ムカイ ナガノリ) 180
 向井万起男 (ムカイ マキオ) 44
 武藤 功 (ムトウ イサオ) 14
 武藤 浩史 (ムトウ ヒロシ) 49、50、78、287~289
 村上 俊之 (ムラカミ トシユキ) 230、240、241
 村上 康代 (ムラカミ ヤスヨ) 135
 武川 幸嗣 (ムカワ コウジ) 172、181
 村越貴代美 (ムラコシ キヨミ) 108
 村田 真 (ムラタ マコト) 16
 村松 弘一 (ムラマツ コウイチ) 93
 村松 憲 (ムラマツ タダシ) 262、264、266、267
 村松 太郎 (ムラマツ タロウ) 213
 村山 達也 (ムラヤマ タツヤ) 87
 村山 光義 (ムラヤマ ミツヨシ) 262、264、268、269、274
も 孟 若燕 (モウ ジャクエン) 57、123、204、209
 望月 要 (モチヅキ カナメ) 27
 望月 康司 (モチヅキ コウジ) 269
 森 英樹 (モリ ヒデキ) 78、255
 森 正明 (モリ マサアキ) 262
 森 雅夫 (モリ マサオ) 221
 森 庸 (モリ ヤスシ) 87
 森 康彦 (モリ ヤスヒコ) 241
 森田 寿郎 (モリタ トシオ) 224、233
 森山 剛 (モリヤマ ツヨシ) 138
 森吉 直子 (モリヨシ ナオコ) 123
 森吉 仁志 (モリヨシ ヒトシ) 214、230
や 八木 章好 (ヤギ アキヨシ) 142
 八木 輝明 (ヤギ テルアキ) 78
 矢向 高弘 (ヤコウ タカヒロ) 226、245
 矢澤 達宏 (ヤザワ タツヒロ) 52
 八嶋由香利 (ヤシマ ユカリ) 45、85
 安井 伸 (ヤスイ シン) 85、123
 泰岡 顕治 (ヤスオカ ケンジ) 227
 安田 公美 (ヤスタ クミ) 116、196、205、206
 安田 淳 (ヤスタ ジュン) 53、54
 安富 潔 (ヤストミ キヨシ) 179
 安元 稔 (ヤスモト ミノル) 155
 柳川 弘志 (ヤナガワ ヒロシ) 44、247、254
 柳沢 遊 (ヤナギサワ アソブ) 108、155
 柳瀬 昇 (ヤナセ ノボル) 36、37
 矢野 久 (ヤノ ヒサシ) 45、155
 藪下 聡 (ヤブシタ サトシ) 216、234、250
 山内 賢 (ヤマウチ ケン) 264、267、269、272
 山内 憲一 (ヤマウチ ケンイチ) 164、165
 山内 志朗 (ヤマウチ シロウ) 87、140
 山岸 敬幸 (ヤマギキ ヒロユキ) 213
 山口 昭彦 (ヤマグチ アキヒコ) 93
 山岸 敬幸 (ヤマグチ コウヘイ) 213
 山口 高平 (ヤマグチ タカヒラ) 218
 山口 徹 (ヤマグチ トオル) 142
 山崎 信寿 (ヤマザキ ノブトシ) 131、224

- 山下 輝彦 (ヤマシタ テルヒコ) 142
 山下 久直 (ヤマシタ ヒサナオ) 239
 山下 真史 (ヤマシタ マサフミ) 79
 山田 篤裕 (ヤマダ アツヒロ) 108
 山田 太門 (ヤマダ タモン) 156
 山田 徹 (ヤマダ トオル) 216、243、249
 山田 恒 (ヤマダ ヒサシ) 54
 山田美枝子 (ヤマダ ミエコ) 83、84
 山田美絵子 (ヤマダ ミエコ) 269
 山中 直明 (ヤマナカ ナオアキ) 226
 山梨 あや (ヤマナシ アヤ) 12
 山道 佳子 (ヤマミチ ヨシコ) 141
 山村 貴映 (ヤマムラ タカオ) 269
 山本 昭代 (ヤマモト アキヨ) 85
 山本 勲 (ヤマモト イサム) 204、209
 山本 英史 (ヤマモト エイシ) 141
 山本 賀代 (ヤマモト カヨ) 64、108
 山本 公寿 (ヤマモト キミヒサ) 230、244
 山本 喜一 (ヤマモト ヨシカズ) 205、207、217、246
 ヤマンラール, アイドゥン (ヤマンラール, アイドゥン) 295
- ゆ 湯浅 吉美 (ユアサ ヨシミ) 93
 柚木 克之 (ユギ カツユキ) 217
 弓削 隆一 (ユゲ リュウイチ) 95
 尹 仁河 (ユン インハ) 84、181
- よ 横井 康平 (ヨコイ コウヘイ) 220
 横井 喜充 (ヨコイ ノブミツ) 72
 横尾 剛 (ヨコオ ツヨシ) 62、63
 横田 絵理 (ヨコタ エリ) 204、209
 横手 慎二 (ヨコテ シンジ) 187
 横森 剛 (ヨコモリ タケシ) 217
 横山 千晶 (ヨコヤマ チアキ) 49、50、287~289
 横山 裕一 (ヨコヤマ ヒロカズ) 279
 横山和加子 (ヨコヤマ ワカコ) 85、123
 吉岡 完治 (ヨシオカ カンジ) 196、208
 吉岡 忠昭 (ヨシオカ タダアキ) 14
 吉岡 直樹 (ヨシオカ ナオキ) 216、220
 吉岡 宏 (ヨシオカ ヒロシ) 265
 吉岡 祐次 (ヨシオカ ユウジ) 181
 吉澤 徹 (ヨシザワ アキラ) 72、73
 吉田 和夫 (ヨシダ カズオ) 249、250
 吉田 武 (ヨシダ タケシ) 267
 吉田 友子 (ヨシダ トモコ) 124
 吉田 久男 (ヨシダ ヒサオ) 278
 吉田 泰将 (ヨシダ ヤスマサ) 262、263、270、289
 吉武 憲司 (ヨシタケ ケンジ) 94、141
 吉永 壮介 (ヨシナガ ソウスケ) 142
 米山 光儀 (ヨネヤマ ミツノリ) 13
 頼松 瑞生 (ヨリマツ タマオ) 84、85
- り 李 宇諤 (リ ウエイ) 265
 李 精 (リ セイ) 161、207
 林 秀光 (リン シュウコウ) 53、54
- れ レイサイド・ジェームズ M (レイサイド・ジェームズ M) 79
- ろ 六車 明 (ロクシャ アキラ) 179
- わ 和井内由充子 (ワイナイ ユミコ) 262
 綿田 博人 (ワタダ ヒロヒト) 263、269、273
 渡辺 茂 (ワタナベ シゲル) 145
 渡邊 千秋 (ワタナベ チアキ) 52
 渡辺 秀樹 (ワタナベ ヒデキ) 68
 渡部 陸夫 (ワタベ ムツオ) 116、196、206、208、209